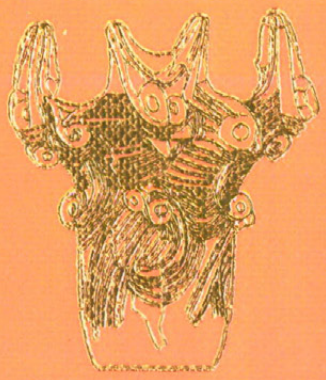
塩野西遺跡群　The excovation report of KAWARADA site

川原田遺跡

―長野県北佐久郡御代田町川原田遺跡発掘調査報告書―

縄文編



1997

長野県御代田町教育委員会

塩野西遺跡群

川原田遺跡

——長野県北佐久郡御代田町川原田遺跡発掘調査報告書——

縄文編

1997

長野県御代田町教育委員会

例　言

1　本書は、長野県北佐久郡御代田町所在の川原田(かわらだ)遺跡の発掘調査報告書である。

2　本発掘調査は、佐久地方事務所の委託を受け、御代田町教育委員会が実施した。

3　調査の内容の一部については『川原田遺跡　平安・中世編』(1993) および、
『川原田遺跡　縄文図版編』(1995) として刊行済である。

4　本発掘調査報告書作成の作業分担は以下のとおりである。

◎ 遺物復原　伴野有希子、小山内玲子、内堀久代、中山祐子、田村朗子、竹原久子。
◎ 遺物実測　鳥居　亮、伴野有希子、齋藤真理、中山祐子、シン航空写真㈱。
◎ 遺物拓本　伴野有希子、内堀久代、佐藤夫美子。
◎ 遺物トレース　鳥居　亮、齋藤真理、竹原久子。
◎ 遺構トレース　鳥居　亮。
◎ 遺構・遺物写真　堤　隆、鳥居　亮。
◎ 遺物観察表作成　堤　隆、中沢道彦、贄田　明。
◎ 版 組 み　堤　隆、鳥居　亮、中込輝子、砂連尾恵美子。

5　出土遺物の石材鑑定は都立青山高校柴田　徹氏、筑波大学山本　薫氏にお願いした。

6　本書に使用した航空写真は、㈱協同測量社が撮影したものである。

7　本書に使用した土器集合写真と土器展開写真は、小川忠博氏が撮影したものである。

8　本書は第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ章を堤　隆が執筆した。他は寄稿により、寄稿者は目次に記してある。

9　本書の英文要旨は堤　隆が作成し、Sophia English Academy の古清水正幸氏とBradley James Egerton 氏に校閲をいただいた。

10　本書の編集は、御代田町教育委員会の責任のもとに、堤　隆が行なった。

11　本調査・本報告書作成に際しては、以下の方々から貴重な御助言・御配意を得た。御芳名を記して厚く御礼申し上げる次第である。(順不同・敬称略)

坪井清足、戸沢充則、西本豊弘、桐原健、川島雅人、諏訪間順、佐野隆、建石徹、近藤尚義、
臼田武正、木内捷、児玉卓文、小林謙一、須藤隆司、小林眞寿、翠川泰弘、竹原学、
市沢英利、下平博行、西井幸雄、贄田明、早田勉、辻本崇夫、金子直行、樋口昇一、土肥孝、
野村一寿、藤森英二、小口達志、吉井雅勇、上野修一、赤山容造、佐藤雅一、水沢教子、
山口逸弘、寺内隆夫、藁科哲男、永嶋正春、細田勝、中沢道彦、山本薫、柴田徹、島田哲男、
今福利恵、寺崎祐介、山本輝久、恩田勇、高橋保、高橋保雄、森幸彦、馬場秀之、小川忠博、
山形眞理子、岡村道雄、阿部芳郎、山本孝司、古清水正幸、塚本師也、本橋恵美子、綿田弘実、
Bradley James Egerton

凡　例

1　遺構の名称

J→　縄文時代竪穴住居址　　D　→　土坑　　T　→　土器集中遺構

F→　掘立柱建物址　　M→　溝状遺構　　H→　平安時代竪穴住居址

2　遺構のナンバーは、時代別・時期別にはなっていない。

3　挿図の縮尺

竪穴住居址・掘立柱建物址・土坑＝1/80　炉＝1/40

土器＝1/4　　石器＝１/2、１/3、１/4　　土器展開図＝縮尺不同

以上が基本的なものである。これ以外のものも含めて挿図中にその縮尺を明示してある。

4　図版の縮尺

遺構写真の縮尺については統一されていない。

遺物写真の縮尺については、土器が1/4、石器＝1/2、1/3、1/4で、その縮尺は図版中に明記してある。

5　遺構面積の計測にはプラニメーターを用い、３回の計測の平均値を面積として示した。

6　出土遺物一覧表〈縄文土器〉の法量は、上から口径･器高･底径の順に記載し、－は不明、（　）は推定値、〈　〉は大幅な推定値を示す。単位はcmである。

7　出土遺物一覧表〈石器･土偶〉の法量は、－は不明、それ以外は現存値を表わす。単位は、mm･gである。

8　遺構の層序説明は本文中に記した。

9　土層の色調、遺物胎土の色調については、『新版標準土色帖』の表示に基づいて示した。

10　石器石材では、頁岩を頁岩Ⅰ・頁岩Ⅱとして分別した。頁岩Ⅰは黒色で頁岩Ⅱよりやや緻密なもの、頁岩Ⅱは肌色で頁岩Ⅰよりやや緻密さにかけるものをさす。これ以外にチョコレート色で緻密で良質なもの（たとえば東北地方にあるような）を硬質頁岩とした。

11　土器文様表現で、隆線はその頂部が尖るもの、隆帯はその頂部が尖らず平坦な面をなすものを呼称した。

12　挿図中におけるスクリーントーンは以下のものを表わす。

（１）遺構

遺構断面＝斜線　ただし、切り合いによる破壊部分は斜線を逆方向にした。

（２）遺物

土器断面　　繊維混入＝網点（太）、赤彩部＝網点（細）

石器外面　　磨製石斧・磨石研砥面範囲、石器使用痕等磨滅範囲＝網点

目　次

例　言
凡　例
目　次

Ⅰ　発掘調査の概要……堤　隆… 1
　1　発掘調査の概要 …… 3
　　（1）　調査に至る動機 …… 3
　　（2）　発掘調査の概要 …… 4
　　（3）　発掘区の設定と遺構の検出 …… 5
　　（4）　発掘調査の経緯 …… 7

Ⅱ　遺跡の環境 ……堤　隆… 9
　1　遺跡の環境……11
　　（1）　自然環境 ……11
　　（2）　歴史的環境 ……11
　2　層　序……17

Ⅲ　遺構と遺物 ……堤　隆…19
　1　竪穴住居址……21
　　（1）　J－1号住居址……21
　　（2）　J－2号住居址……25
　　（3）　J－3号住居址……29
　　（4）　J－4号住居址……34
　　（5）　J－5号住居址……42
　　（6）　J－6号住居址……57
　　（7）　J－7号住居址……63
　　（8）　J－8号住居址……69
　　（9）　J－9号住居址……76
　　(10)　J－10号住居址……81
　　(11)　J－11号住居址……82
　　(12)　J－12号住居址……96
　　(13)　J－13号住居址 ……118
　　(14)　J－14号住居址 ……125
　　(15)　J－15号住居址 ……128
　　(16)　J－16号住居址 ……138
　　(17)　J－17号住居址 ……144
　　(18)　J－18号住居址 ……148
　　(19)　J－19号住居址 ……152
　　(20)　J－20号住居址 ……158
　　(21)　J－21号住居址 ……170
　　(22)　J－22号住居址 ……178
　　(23)　J－23号住居址 ……186
　　(24)　J－24号住居址 ……188
　　(25)　J－25号住居址 ……203
　　(26)　J－26号住居址 ……208
　　(27)　J－27号住居址 ……210
　　(28)　J－28号住居址 ……217
　　(29)　J－29号住居址 ……219
　　(30)　J－30号住居址 ……229
　　(31)　J－31号住居址 ……233
　　(32)　J－32号住居址 ……236
　　(33)　J－33号住居址 ……237
　　(34)　J－34号住居址 ……239
　　(35)　J－35号住居址 ……246
　　(36)　J－36号住居址 ……250

(37) J－37号住居址 ……258
(38) J－38号住居址 ……261
(39) J－39号住居址 ……265
(40) J－40号住居址 ……267
(41) J－41号住居址 ……268
(42) J－42号住居址 ……269
(43) J－43号住居址 ……270
(44) J－44号住居址 ……272
(45) J－45号住居址 ……273
(46) J－46号住居址 ……278
(47) J－47号住居址 ……282
(48) J－48号住居址 ……294
(49) J－49号住居址 ……296
(50) J－50号住居址 ……297
(51) J－51号住居址 ……306
(52) J－52号住居址 ……315
2 掘立柱建物址 ……317
(1) F－2号掘立柱建物址 ……317
3 土　坑 ……319
(1) 土　坑 ……319
4 縄文草創期の石器 ……390
(1) 有茎尖頭器 ……390
5 縄文早期の土器 ……中沢道彦…391
(1) 縄文早期の土器 ……391
6 縄文前期の土器 ……399
(1) 縄文前期の土器 ……399
7 縄文中・後期の遺物 ……堤　隆…403
(1) T－1号遺物集中 ……403
(2) 縄文中・後期の土器 ……407
8 土偶・石器類 ……435
(1) 耳飾り・土偶 ……435
(2) 石器類 ……436

IV 自然科学的研究 ……449
1 川原田遺跡の地質調査 ……早田　勉…451
2 放射性炭素（^{14}C）年代測定 ……パリノ・サーヴェイ㈱…455
3 川原田遺跡出土黒曜石の水和層厚測定と水和層年代 ……堤　隆…456
4 炭化材および炭化種実同定 ……パリノ・サーヴェイ㈱…459
5 黒色塊の成分分析 ……パリノ・サーヴェイ㈱…465
6 川原田遺跡・下弥堂遺跡出土の赤彩資料、漆資料について ……永嶋正春…467
7 川原田遺跡出土の黒曜石製遺物の石材産地分析 ……藁科哲男…472
8 縄文時代前・中期の浅間山麓塩野西遺跡群における石器石材の入手について　山本　薫・高松武次郎…479

V 考古学的研究 ……513
1 縄文時代早期末「膳棚B式」の設定と「プレ塚田式」の理解に向けて ……中沢道彦…515
2 川原田遺跡縄文時代中期中葉の土器群について ……寺内隆夫…537
3 川原田遺跡「新巻類型」と「焼町類型」 ……山口逸弘…558

4　川原田遺跡出土の縄文中期後半の土器について……水沢教子…579
5　川原田遺跡縄文前・中期の石器について……堤　隆…585
6　川原田遺跡における縄文集落の構成……堤　隆…595

Ⅵ　総　括……堤　隆…609
浅間山南麓における縄文社会復原に向けて……611
英文要旨……631

下巻　縄文時代写真図版編

執筆者・寄稿者（執筆順）

第Ⅰ～Ⅲ章

堤　　隆　　御代田町教育委員会

第Ⅳ章

早田　勉　　古環境研究所
堤　　隆　　御代田町教育委員会
パリノ・サーヴェイ㈱
永嶋正春　　国立歴史民俗博物館
藁科哲男　　京都大学原子炉実験所
山本　薫　　筑波大学歴史・人類学系
髙松武次郎　国立環境研究所

第Ⅴ章

中沢道彦　　長野県教育委員会
寺内隆夫　　長野県埋蔵文化財センター
山口逸弘　　群馬県埋蔵文化財調査事業団
水沢教子　　長野県埋蔵文化財センター
堤　　隆　　御代田町教育委員会

第Ⅵ章

堤　　隆　　御代田町教育委員会

1 発掘調査の概要

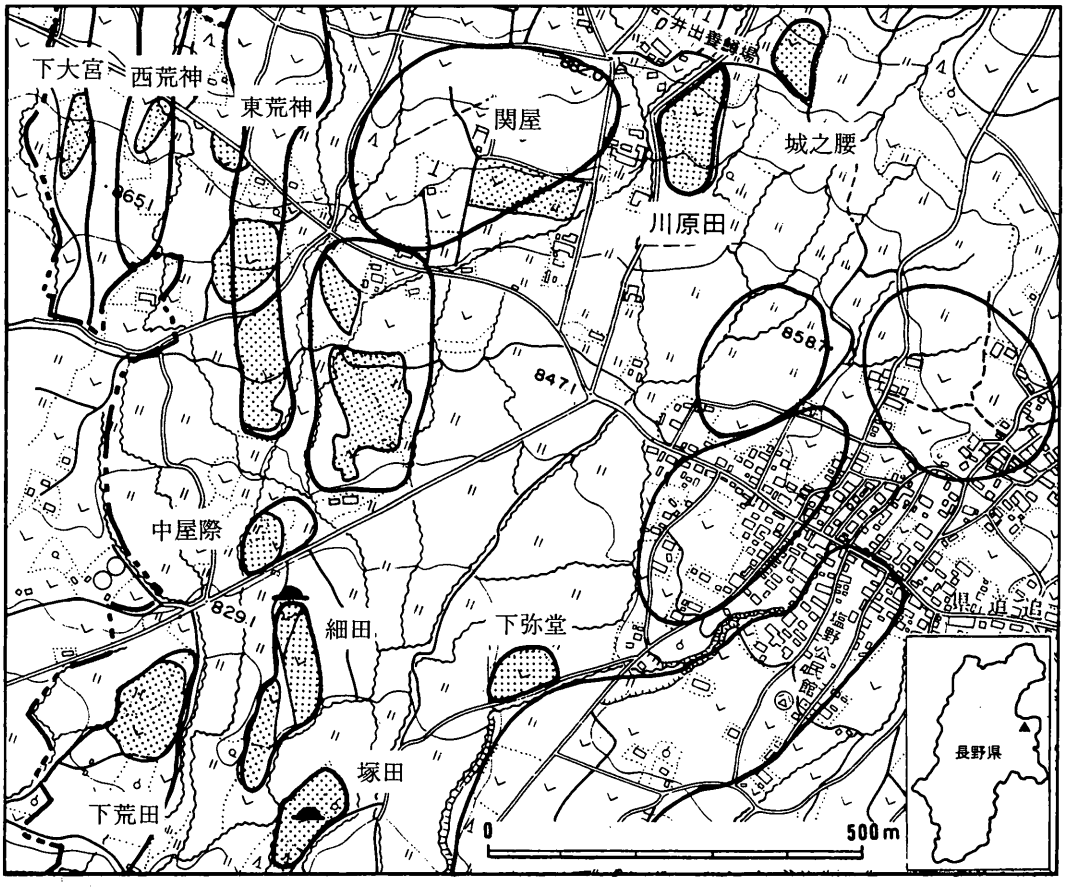
J－12号住居
出 土 土 器

1　発掘調査の概要

（1）　調査に至る動機

長野県北佐久郡御代田町大字塩野・小諸市大字塩野・八幡・柏木にかかる一帯、北大井地区において、水田経営の合理化を目的とした県営土地改良総合整備事業が平成2年より実施された。

一方、この地区には周知の遺跡が群在化しており、その保護問題が表面化してきた。このため、その原因者である佐久地方事務所と、保護部局である長野県教育委員会、御代田町教育委員会の三者において話し合いがもたれ、該当する遺跡について緊急発掘調査を実施し、数ヵ年計画で記録保存をはかることとなった。



第1図　塩野西遺跡群と発掘調査地点（網点）（1：10,000）

これを受けて、平成元年には翌年度工事実施地区にかかる弥堂・細尾・上西田・城之腰・川原田遺跡の5遺跡について試掘調査が実施された。その結果、平成2年度工区に直接かかる遺跡は城之腰と川原田の2箇所に絞り込まれ、翌平成2年にその2遺跡の本発掘調査が実施された。

（2）　発掘調査の概要

1　遺跡名　川原田（かわらだ）遺跡

2　所在地　長野県北佐久郡御代田町大字塩野字川原田

3　発掘期間　平成2年4月9日～平成2年9月30日（平成2年度）

4　整理期間　平成2年11月1日～平成3年3月30日（平成2年度）
平成3年4月15日～平成4年3月27日（平成3年度）
平成4年4月3日～平成5年3月25日（平成4年度）
平成5年4月2日～平成6年3月25日（平成5年度）
平成6年4月4日～平成7年3月24日（平成6年度）
平成7年4月3日～平成8年3月25日（平成7年度）
平成8年4月3日～平成9年3月21日（平成8年度）

5　発掘理由　平成2年度北大井地区県営土地改良総合整備事業に伴い、川原田遺跡の破壊が予想されたため、緊急発掘調査を実施し記録保存を行なった。

6　発掘方針　広大な調査対象区について、居住域・生産域・墓域等全体の検出に努める。

7　費用負担　調査費用総額のうち、77.5%は原因者である農政部局（佐久地方事務所）が負担し、残りの22.5%については文化財補助事業として文化財保護部局が負担した（国庫補助金50%、県補助金15%、町費35%）。

8　事務局　教育次長　山本岩正、藤巻興樹、柳沢忠良、土屋和雄
社会・同和教育係長　萩原茂、古越恵美夫、内堀篤志、茂木康生
社会・同和教育係　堤　隆、小山岳夫

9　調査団
顧問　柳沢　薫（御代田町長）
参与　内山俊雄、小林太郎、桜井為吉、田村泉、柳沢恒三郎、小林五郎、大井源寿、萩原弘祐（御代田町文化財審議委員）
団長　原田正夫、土屋秀憲、柳沢忠良（御代田町教育長）
担当者　堤　隆（御代田町教育委員会）
調査員　鳥居　亮（主任）、吉井雅勇、山口逸弘、水沢教子、山本薫、寺内隆夫、

柴田徹、諏訪間順、贄田明、中沢道彦

補助員　伴野有希子、小山内玲子、竹原久子、小口達志、小林嘉孝、宮下泰、高瀬武男、吉田政行、加藤学、中沢祐一、美安慶子

協力者　高地正雄、森川宗治、尾沼けさと、山本まさる、飯田すえの、内堀ときい、日向万平、日向愛子、甘利隆志、古川まち子、小杉静江、古越邦和、掛川孝子、萩原正子、内堀久代、佐藤夫美子、内堀久美子、内堀美保子、小林満子、松原昭一、大井けさみ、田村朗子、中山祐子、中込輝子、斎藤真理、本橋典子、砂連尾恵美子、神蔵惇子、行田祐子

（3）　発掘区の設定と遺構の検出

本調査の発掘区については第１図に示したとおりで、図の約8,800㎡が該当する。

この発掘区については、一軸を磁北にとって10ｍ四方のグリッドを設定し、北から南に向かって１・２・３～、西から東に向かってＡ・Ｂ・Ｃ～と名称を付した。なお、地区全体の把握については、土地改良総合整備事業に関する遺跡総体において、国家座標第Ⅷ系を用い位置付けた。

調査は、調査対象区についてまずは自然地形と遺跡の範囲をみきわめるため、重機により東西・南北に試掘トレンチを入れてみた。その結果おおよその自然地形と遺跡の範囲をとらえることができたので、つぎに遺跡全部分の表土を重機によって除去した。

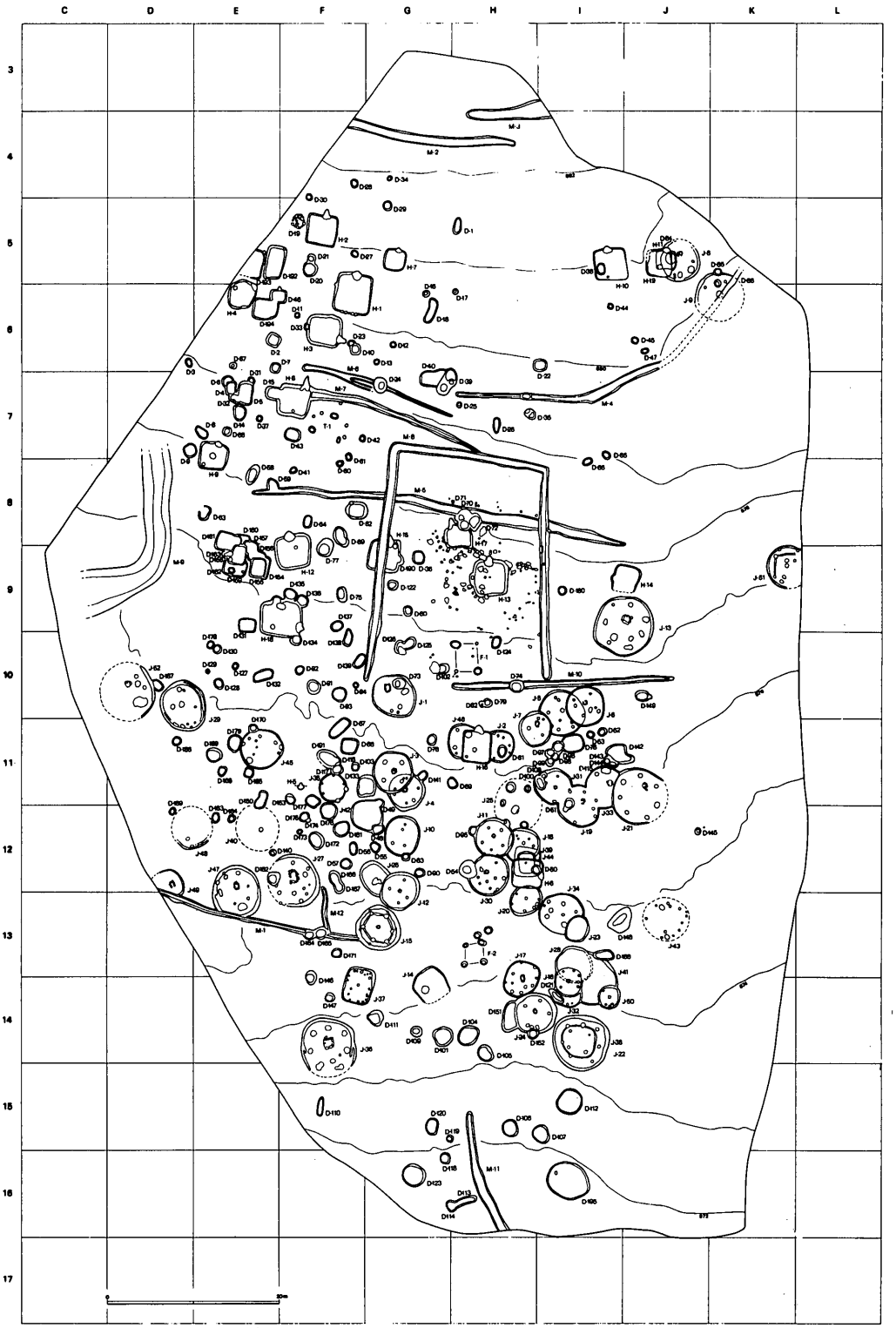
調査地区から検出された遺構の概要は第１表のとおりである。

第２図　川原田遺跡（左）と城之腰遺跡（右）

第１表　川原田遺跡の検出遺構数

遺構／時代	竪穴住居址	掘立柱建物址	土坑	礎石建物	配石	屋外炉	溝状遺構	計
縄文前期	6	0	2	0	0	0	0	8
縄文中期	46	1	18	0	0	1	0	66
縄文中期？	－	－	57	0	－	－	0	57
平安	19	－	22	－	－	0	－	41
中世	0	－	19	－	－	0	－	19
不明	0	1	77	1	4	0	11	94
計	71	2	195	1	4	1	11	285

※その後の時期訂正も含む最終的な遺構数



第３図　川原田遺跡全体図（１：800）

（4）発掘調査の経緯

平成２年度

４月９日

　発掘調査準備開始

４月13日

　重機による表土削平開始

　プレハブ設置

４月19日

　Ｈ－４より火熨斗出土

４月～７月中旬

　平安時代を中心とした調査

７月中旬～９月下旬

　縄文時代を中心とした調査

９月27日

　航空写真撮影（第一回）

９月30日

　発掘調査終了

10月18日

　航空写真撮影（第二回）

平成３年度　　川原田遺跡ほか遺物整理

平成４年度　　〃　　遺物整理

平成５年３月　平安時代編刊行

平成５年度　　川原田遺跡ほか遺物整理

平成６年度　　〃　　遺物整理

平成７年３月　縄文時代図版編刊行

平成７年度　　川原田遺跡ほか遺物整理

平成８年度　　〃　　遺物整理

平成８年11月　縄文時代本文編原稿完成

平成８年11月　縄文時代本文編報告書入札

平成９年３月　縄文時代本文編報告書刊行

第４図　表土削平とプラン確認

第５図　作業風景

第６図　住居清掃

第７図　現地説明会

第8図　住居実測作業

第9図　発掘参加者

第10図　発掘参加者

第11図　遺物トレース

第12図　土器実測

第13図　土器復元

第14図　土器拓本

第15図　一覧表作成

II

遺跡の環境

J－12号住居
出 土 土 器

1　遺跡の環境

（1）　自然環境

川原田遺跡は、浅間山南麓の細い尾根上に位置しており、標高872～882ｍを測る。

遺跡の背後にそびえる浅間山は標高2,560ｍを測り、その火山の形態（コニーデ型の裾野・三重式噴火口・寄生火山など）から、わが国においても代表的な活火山といわれており、現在も盛んにその活動を続けている。

浅間火山の最初の噴火は、およそ数万年前から始まったといわれ、その変遷は、古い順から黒斑山期（数万年前）・仏岩期（１万５千年前頃）・軽石流期（１万４千年前～１万１千年前頃）・前掛山期（数千年前）とされている。ちなみに、前掛山期における天仁元年（1108年）および天明３年（1783年）の噴火は、歴史時代の記録に残る大噴火として、あまりにも有名である。

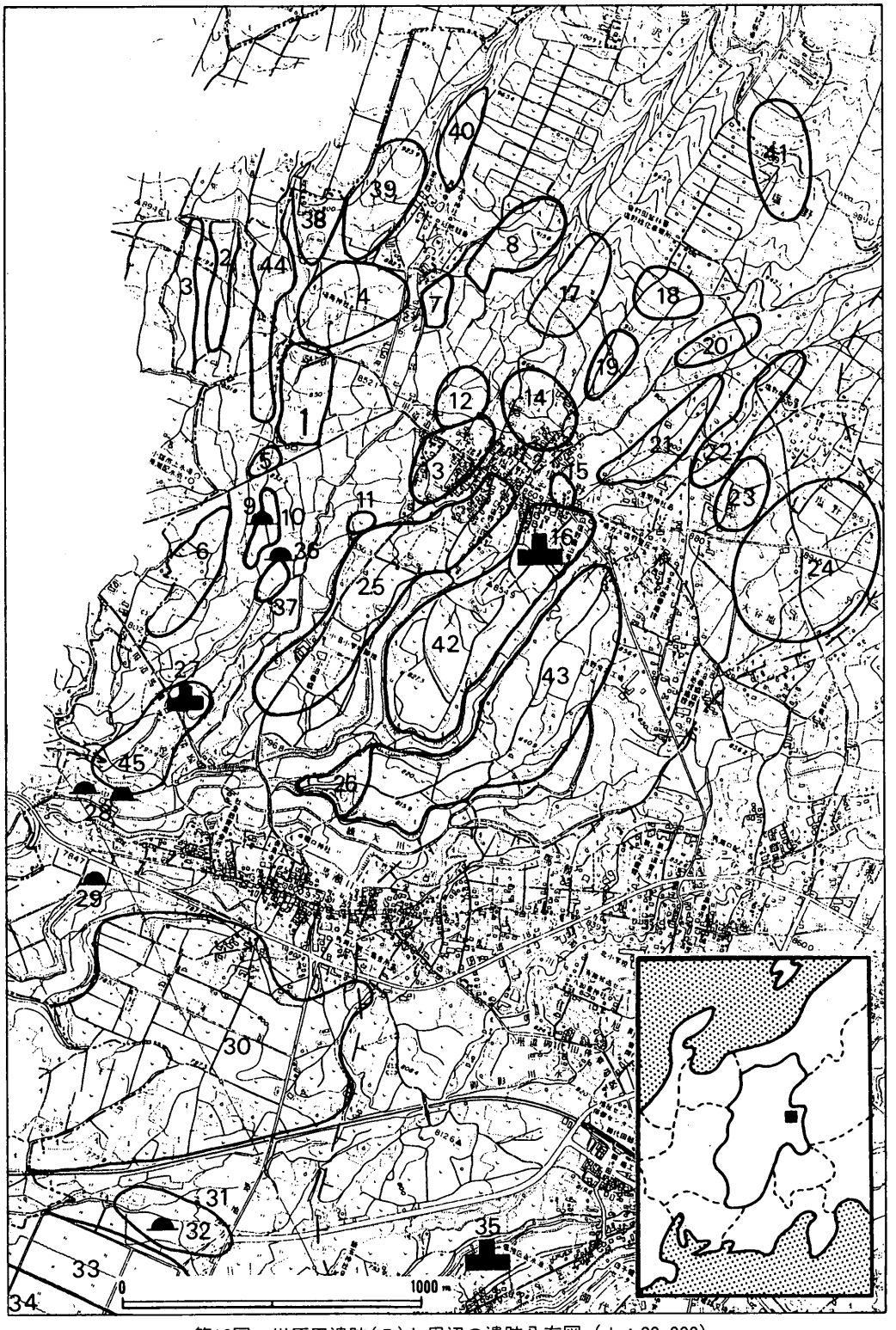
この地域の基盤層は、その浅間山の火山噴出物により構成される。本遺跡の基盤層は主として軽石流期のうち、第２軽石流による堆積物からなっている。また、天仁元年の噴火によると推定される追分火砕流堆積物は、本遺跡の約１㎞以東の御代田町・軽井沢地域を覆っている。

ところで、この遺跡を包括する標高800～900ｍ地帯は、浅間山麓の第一伏流水が、地表の各所に湧出する地帯である。本遺跡の西側、真楽寺の「大沼の池」をたたえる豊富な湧水をはじめ、本遺跡の東方の湧玉の湧水など随所に湧水がみられ、往時の集落形成のための要件となっている。なお、湧水や河川の流下は、山麓末端部の軽石流堆積物を刻んで、当地方特有ないわゆる「田切り地形」を発達させている。

この地帯の現在の植生を見ると、北側に植付されたカラマツの林地があり、これにアカマツ、クリ、などが点在している。縄文時代以降の自然植生を想定するなら、コナラ類やクリなどの落葉広葉樹を主とする自然林を含む景観が展開したと見て、差し支えないであろう。

（2）　歴史的環境

川原田遺跡の位置する浅間山南麓の標高800～900ｍ内外には、さきに述べた豊富な湧水や動植物など生活環境や自然環境を背景に、縄文時代を中心とし弥生・古墳・奈良平安時代の、数多くの遺跡が分布している(第16図)。近年の発掘調査成果にも基づいて、以下には時代ごとに遺跡のあり方を追い、歴史的環境についてふれてみたい。



第16図　川原田遺跡(７)と周辺の遺跡分布図（１：20,000）

第2表　周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	所在地	時代						備考
			旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良平安	中世	
1	滝沢	御代田町大字塩野字滝沢		○			○		1992・1993年度発掘調査
2	西荒神	御代田町大字塩野字西荒神		○			○		1993年度発掘調査
3	下大宮	御代田町大字塩野字下大宮		○			○		1993年度発掘調査
4	関屋	御代田町大字塩野字関屋		○			○	○	1993年度発掘調査
5	中屋際	御代田町大字塩野字中屋際		○			○		1992年度発掘調査
6	下荒田	御代田町大字塩野字下荒田		○	○		○		1991年度発掘調査
7	川原田	御代田町大字塩野字川原田		○			○	○	1991年度発掘調査
8	城之腰	御代田町大字塩野字城之腰		○			○	○	1991年度発掘調査
9	細田塚古墳	御代田町大字塩野字細田				○			1991・1992年度発掘調査
10	細田	御代田町大字塩野字細田			○		○		1991年度発掘調査
11	下弥堂	御代田町大字塩野字下弥堂		○					1991年度発掘調査
12	上弥堂	御代田町大字塩野字弥堂		○					
13	西畠	御代田町大字塩野字西畠			○				
14	上西田	御代田町大字塩野字上西田		○					
15	下藤塚	御代田町大字塩野字下藤塚		○					
16	塩野城	御代田町大字塩野字荒屋						○	
17	細尾根	御代田町大字塩野字細尾根		○			○		
18	広畑	御代田町大字塩野字広畑		○			○		1987年度発掘調査
19	狸窪	御代田町大字塩野字狸窪		○					
20	西駒込	御代田町大字塩野字西駒込		○					1991年度発掘調査
21	上藤塚	御代田町大字塩野字上藤塚		○					
22	東二ツ石	御代田町大字塩野字東二ツ石		○					1991年度発掘調査
23	塩野西原	御代田町大字塩野字西原		○					
24	湧玉	御代田町大字塩野字湧玉		○					1991・1993年度発掘調査
25	馬場	御代田町大字塩野字馬場					○		
26	馬瀬口城	御代田町大字馬瀬口字北原						○	
27	東十石城	御代田町大字馬瀬口字東十石						○	
28	めがね塚古墳群	御代田町大字馬瀬口字戻場				○			1996年度発掘調査
29	下原古墳群	御代田町大字馬瀬口字下原				○			1974年度発掘調査
30	下前田原遺跡群	御代田町大字馬瀬口字西向原					○		
31	根岸	御代田町大字御代田字根岸					○		1987年度発掘調査
32	根岸古墳	御代田町大字御代田字根岸				○			1991年度発掘調査
33	十二	御代田町大字御代田字十二					○		1986年度発掘調査
34	前田	御代田町大字御代田字前田				○	○		1985年度発掘調査
35	谷地城	御代田町大字御代田字棚場						○	
36	塚田	御代田町大字塩野字塚田		○		○			1991年度発掘調査
37	塚田古墳群	御代田町大字塩野字塚田				○			1991年度発掘調査
38	西城西	御代田町大字御代田字西城		○					
39	西城東	御代田町大字御代田字西城		○					
40	大沼	御代田町大字御代田字大沼		○			○		1985年度発掘調査
41	塩野山	御代田町大字御代田字塩野山		○					
42	下ノ平	御代田町大字御代田字下ノ平ほか		○			○		
43	北原	御代田町大字塩野字北原ほか		○			○		
44	東荒神	御代田町大字塩野字東荒神		○			○	○	1992・1993年度発掘調査
45	戻場	御代田町大字馬瀬口字戻場		○					

Ⅰ　縄文時代

縄文時代の草創期では、本遺跡（第８図７）からは有茎尖頭器が、東荒神遺跡（44）では微隆起線文土器が出土しており、御代田町においては最も古い時期の遺物として位置付けられる。

縄文時代の早期の遺跡としては、塚田（36）・下荒田（６）・滝沢（１）・城之腰（８）などの遺跡がある。このうち塚田遺跡からは、山形文・楕円文・格子目文の押型文土器、完形に復元された鵜ケ島台式土器、山梨県古屋敷遺跡のⅣ群とされる土器との類似をみせる縄文施文の尖底土器、田戸上層式土器や、東海系の木島式土器の破片も出土しており多様である。また、下荒田遺跡では早期後半の沈線文系土器群が数多く出土しており注目される。

縄文時代前期初頭では、下弥堂遺跡（11）から竪穴住居址14軒と土坑16基、塚田遺跡（36）で竪穴住居址12軒からなる集落が検出された。この両遺跡出土の尖底土器は、従来「中道式」とも呼称されたものであるが、塚田遺跡の資料によって「塚田式」との型式設定があらためてなされ、注目を浴びるところである。

縄文時代の前期の遺跡としては、本遺跡および城之腰遺跡・塚田遺跡・関屋遺跡（４）・東荒神遺跡（44）がある。このうち城之腰遺跡においては、神ノ木式土器を含む竪穴住居址が５軒検出されている。塚田遺跡は神ノ木式土器および関山Ⅱ式を伴う集落で本遺跡の南側約１kmに位置する。塚田遺跡は平成３年に調査がなされ、当該期の竪穴住居址の10数軒をはじめ数多くの土坑より構成されており、良好な資料を提示するに至った。

縄文時代中期の遺跡としては、本川原田遺跡のほか城之腰遺跡と滝沢遺跡がある。滝沢遺跡では中期初頭の五領ヶ台式並行の土器や深沢類型とされる土器を出土した住居がみられる。中葉～後葉前半の遺構は、隣接する城之腰遺跡でも住居数軒が検出されているが、本川原田遺跡での竪穴住居址46軒の検出は注目されるところであろう。竪穴住居により構成される舌状台地上の集落全体の検出は、県内でも有数の調査事例となった。集落から出土した中期中葉の「焼町土器」は、長野・群馬を中心に分布しており、本遺跡から出土した「焼町土器」は、これまでのものを質量ともに上回り充実した資料となった。

中期後葉では、滝沢遺跡において加曽利Ｅ３・４段階の土器をもつ敷石住居が検出されており良好な資料となっている。

縄文時代後期の前葉では、同じく滝沢遺跡において称名寺式・堀之内Ⅰ・Ⅱ式土器等が充実して出土している。また、西荒神遺跡（２）においても称名寺式土器をもつ竪穴住居址が検出された。

縄文晩期の遺跡は、本遺跡の２km南にある戻場遺跡（45）が確認されているにすぎない。戻場では、表面採集ではあるが、氷式土器や細密条痕のある土器がみられる。

2　弥生時代後期～古墳時代初頭

弥生時代後期の遺跡には、細田遺跡・下荒田遺跡がある。細田遺跡からは、竪穴住居址10軒が検出されている。従来、当町一帯の地域は、標高が高く気温が低いことから、稲作が営まれ始めて間のないこの時代の遺跡は存在しないのではないかと言われてきた。しかし、はからずも平成3年の発掘調査によってこの時代の住居址が確認されたのである。ただ、遺跡付近では残念ながら水田跡は検出されなかったが、当時の人々が付近の湿地などを利用して水稲耕作を行なっていたことは十分に推測されうる。一方、下荒田遺跡からは、当該期の竪穴住居址5軒が検出されている。これらの住居址からは、ベンガラで染められた千曲川流域特有のいわゆる「赤い土器」を含む箱清水式土器が一括して出土した。

その弥生時代後期に続く古墳時代初頭では、塚田遺跡より竪穴住居址6軒からなる集落が検出された。そのなかには、長辺10mを測る佐久地方最大の大形住居が含まれている。集落出土の土器群は前時期より継続した様相を呈している。

3　古墳時代後期

当町の北部馬瀬口・塩野地区には、従前から古墳が散見されていたが、最近の発掘調査（平成3年度）によって、塚田古墳群（円墳5基）の調査がなされた。しかし残念なことに、これらのいずれも畑地造成などにより墳丘が削られ、その存在が明確でなかったものである。したがって1基を除いてはいずれも周溝のみが検出されたにすぎない。また、細田塚古墳（9）も塚田古墳群に隣接して存在している。

また、国道18号線沿いにある下原1号墳（29）は昭和49年に発掘調査が、めがね塚1号墳（28）は平成8年夏に発掘調査がなされ直刀4本が出土した。

4　平安時代

この時代の遺跡は、城之腰遺跡（8）・下荒田遺跡（6）・関屋遺跡（4）・東荒神遺跡（44）・西荒神遺跡（2）・中屋際遺跡（5）および本川原田遺跡があり、いずれも竪穴住居址が検出されている。

本遺跡の竪穴住居址19軒からは、土師器・須恵器・灰釉陶器が出土した。特筆すべきは、土師器のいくつかに「大内寺」もしくは「大平寺」の墨書が認められており、文献はもちろん伝承にもない、いわば幻の寺「大内寺」もしくは「大平寺」が、存在したことを想定させることである。また、溝の巡る礎石建物址も検出されており、寺院の可能性がある。このほか竪穴住居址の1軒からは、全国で10例前後といわれる青銅製の火熨斗も出土した。

平安時代の当地域は、延喜式に見られる御牧「塩野牧」が存在したといわれている地域である。

現在、その「塩野牧」の遺構とみられ、通称、「駒飼の土堤」と呼ばれる一辺50mの方形状の土堤構築物が、本遺跡の北東約1kmに塩野山遺跡（41）としてある。

なお、この「塩野牧」の明確な範囲については不明であるが、その入口は、柵口（ませぐち）ともされた現在の御代田町馬瀬口と推定されることや、駒などのついた牧に由来する地名から考えるに、相当広範囲に及んでいたことが推定される。先に述べた本遺跡や、下荒田などの各遺跡も当然この範囲に包括されていたものと考えられる。したがって、これらの遺跡の集落に住んでいた人々について、「塩野牧」との何らかの係りも想定できる。

さて、延喜の官道といわれる「東山道」が、当時、本地域を横断していたことが推定されている。小諸から東進した「東山道」は、軽井沢・碓井峠を経て群馬へと通ずるが、そのためには必然的に本地域近隣を通過せねばならない。本地域では、残念なことにこれまで「東山道」そのものの発見には至っておらず、またその通過ルートについても諸説が提示されたままで決着に至っていない。想定されている「東山道」通過ルート説は、大きくは3つあって、それぞれ「小田井ルート」・「馬瀬口ルート」・「塩野ルート」となっている。ここで、仮に、「塩野ルート」を採った場合、奈良平安時代の本川原田遺跡の集落付近をこの「東山道」が通っていたことになり、その関連も無視できない。

ところで、昭和59年から62年にかけて発掘調査のなされた鋳師屋遺跡群（31～34）では、奈良平安時代の集落が充実して検出された。それに伴って多数の馬骨も出土したことなどから、鋳師屋の集落は「東山道」や「御牧」に関連が深いとする見解がある。かつて一志茂樹氏も、「東山道長倉駅」が存在したのは鋳師屋遺跡群に隣接する中屋敷地籍（小田井ルート）であると推定した経緯がある。鋳師屋遺跡群前田遺跡では、「長倉寺」と墨書された土器も検出されており、その関連性も窺わせている。本遺跡以外にもそうした関連性が考えられるところである。

5　中　世

城之腰遺跡は、その小字名から「城」との関連が想定されていたが、果たして発掘調査によって二重に巡らされた堀跡など検出され、中世城郭としての機能の一端をになっていたことが明らかになった。

また、城之腰の周辺には、「塩野城」（16）・「西城」・「馬瀬口城」（26）とされる史跡が、中世城郭として周知されている。

ちなみに、本遺跡の南方5kmに位置する金井城跡については、破格の8万㎡が調査され、16世紀における中世城郭の構造が明らかにされた。

以上、川原田遺跡を取り巻く歴史的環境について述べてみた。

2　層　序

川原田遺跡の基本層序については、第17図に示した。以下にその基本層序を説明する。

Ⅰ層　耕作土層　　黒褐色（10YR2/3）を呈し、粒子細かくてやや粘性あり。層厚30～40cm前後。

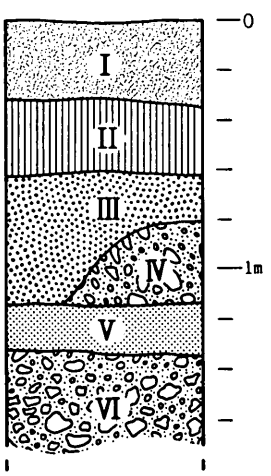
Ⅱ層　黒褐色土層　黒褐色（10YR3/2）。細粒パミスをよく含む。層厚20～30cm前後。

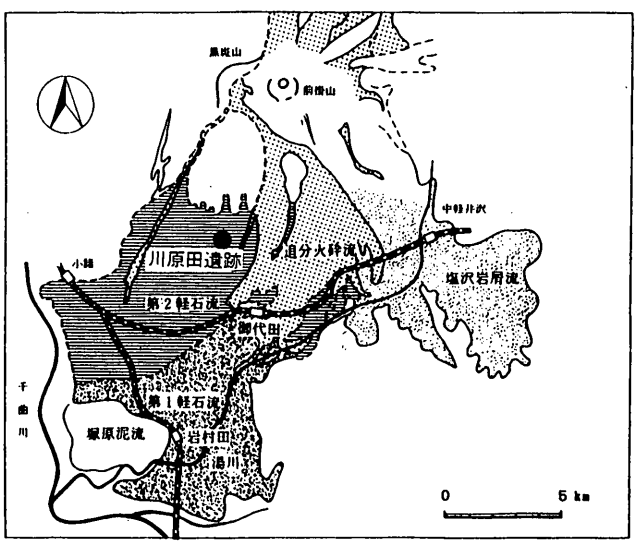
Ⅲ層　黒褐色土層　黒褐色（10YR3/1）。細粒パミスを大量に含む。層厚30～40cm前後。

Ⅳ層　暗褐色土層　暗褐色（10YR3/3）。拳大の軽石を大量に含む。部分的に認められるのみ。

Ⅴ層　漸移層　　にぶい黄褐色(10YR4/3)。ローム粒子を多く含み始める。細粒パミスをよく含む。

Ⅵ層　ローム層　　灰黄褐色（10YR6/2）。浅間山軽石流期の第２軽石流堆積物（約１万１千年前）。径15～30mm前後の軽石を主体的に含み、わずかに拳大の軽石を多く含む。





第17図　川原田遺跡の基本層序と浅間の火山堆積物の分布

III

遺構と遺物

J－11号住居
出 土 土 器

1　竪穴住居址

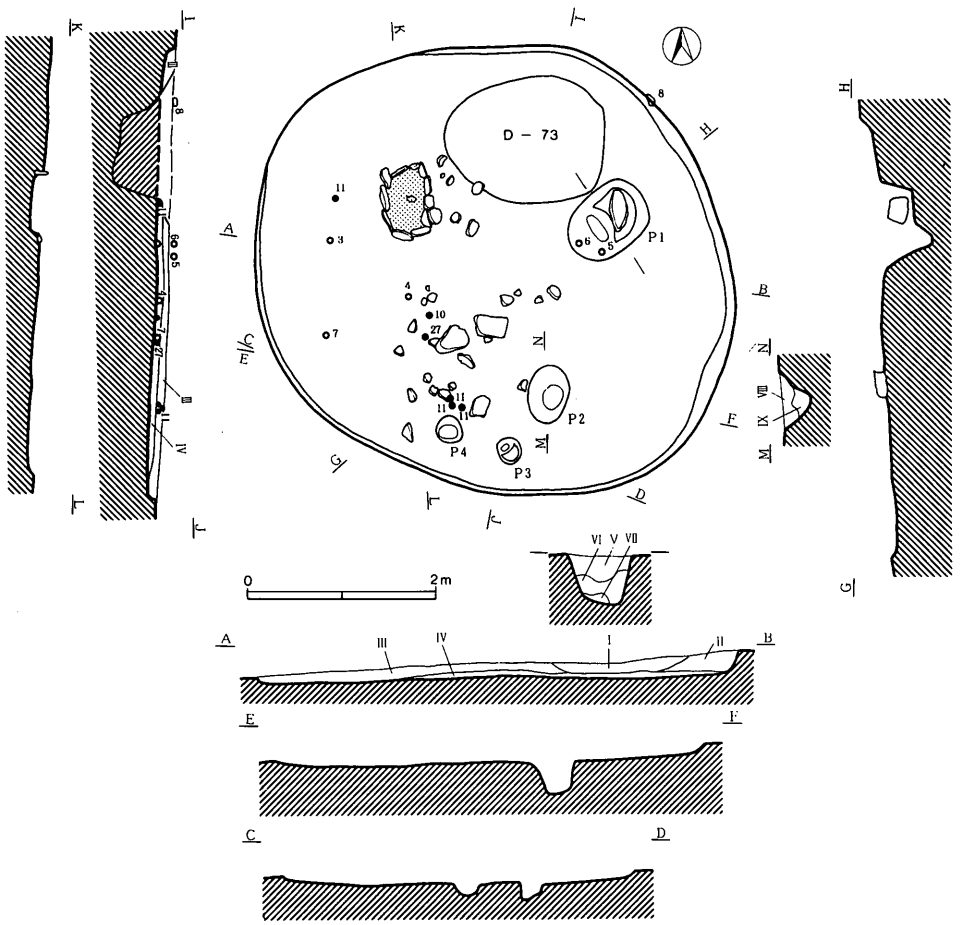
（1）　J－1号住居址

住居址　　第18図

J－1号住居址は、G－10グリッドにおいて検出された。D－73号土坑と重複し、土坑が新しい。

本址は、南北5.5m・東西4.8mの円形を呈し、床面積18.7m²を測る。壁の残存高は、10～20cmを測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。中央帯部分には礫が散布している。

ピットは、住居址の南壁よりP₂・P₃・P₄がまとまって認められた。北側には内部に安山岩礫



第18図　J－1号住居址（1：80）

のあるP_1が存在する。ピットの大きさは、P_1が94×68×54cm、P_2が60×34×36cm、P_3が30×26×18cm、P_4が30×26×12cmを測る。

住居覆土は、4層に分層された。I層はローム粒子を若干含む暗褐色土層(10YR3/3)、II層はローム粒子をよく含む暗褐色土層(10YR3/3)、III層は人為埋土的でローム粒子をよく含む褐色土層（10YR4/6)、IV層はロームを小ブロック状に含む褐色土層（10YR4/4）であった。

P_1の覆土は、V層はローム粒子・カーボンを含む黒褐色土層(10YR2/3)、VI層はロームを小ブロック状に含む暗褐色土層(10YR3/4)、III層はローム粒子をよく含むにぶい黄褐色土層(10YR4/3)、VII層はロームをブロック状に含む褐色土層（10YR4/4）であった。P_2覆土は、VIII層はローム粒子をよく含むにぶい黄褐色土層(10YR4/3)、IX層はロームを小ブロック状に大量に含む暗褐色土層（10YR3/3）であった。

炉　　第20図

炉は、住居址の北西よりに存在している。扁平な安山岩礫11個を配した長方形の石囲い炉で、75×55cm深さ17cmを測る。

覆土は2層に分層された。I層は焼土・カーボンを若干含む暗褐色土層（10YR3/4)、II層は焼土・カーボンをまったく含まないロームの埋土（火床）の黄褐色土層（10YR5/6）である。

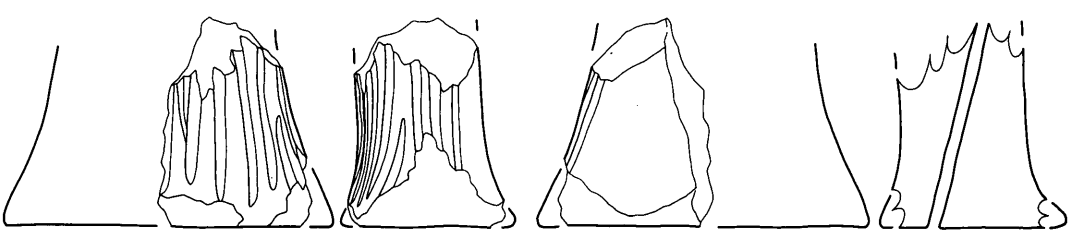
遺　物　　第19～22図・第3・4表

遺物は、石器では石鏃（1・2）・スクレイパー（3）・打製石斧（4～7）・敲石（8）が出土した。

土器は少ない。主なものでは環状突起・組紐上の隆帯・刻みのある隆帯・沈線などで器面を構成した9の深鉢がある。また11は台付土器の台の部分で、円形の透かしに沿って2本の沈線がみられる。26も台付土器の台の部分である。16・17・18は撚糸文の施された土器、22・23・24は2本の隆線によるS字状モチーフを口縁部にもつものである。12は、縦位の平行沈線の施された土偶の下半部分で、内部には細い穴が貫通しており、おそらく製作時の部分連結のための穿孔と考えられる。

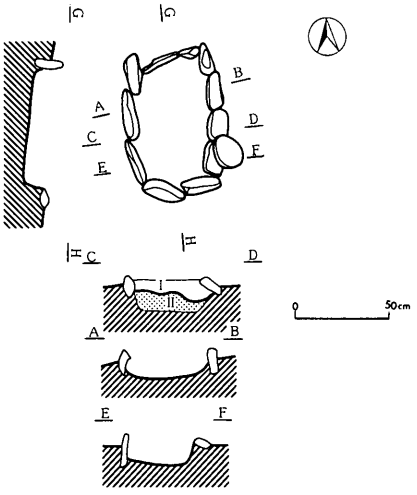
時　期

本住居址は、縄文時代中期中葉（川原田遺跡第11期）に位置付けられる。



27

第19図　J－1号住居址出土遺物（土偶）（1：2）

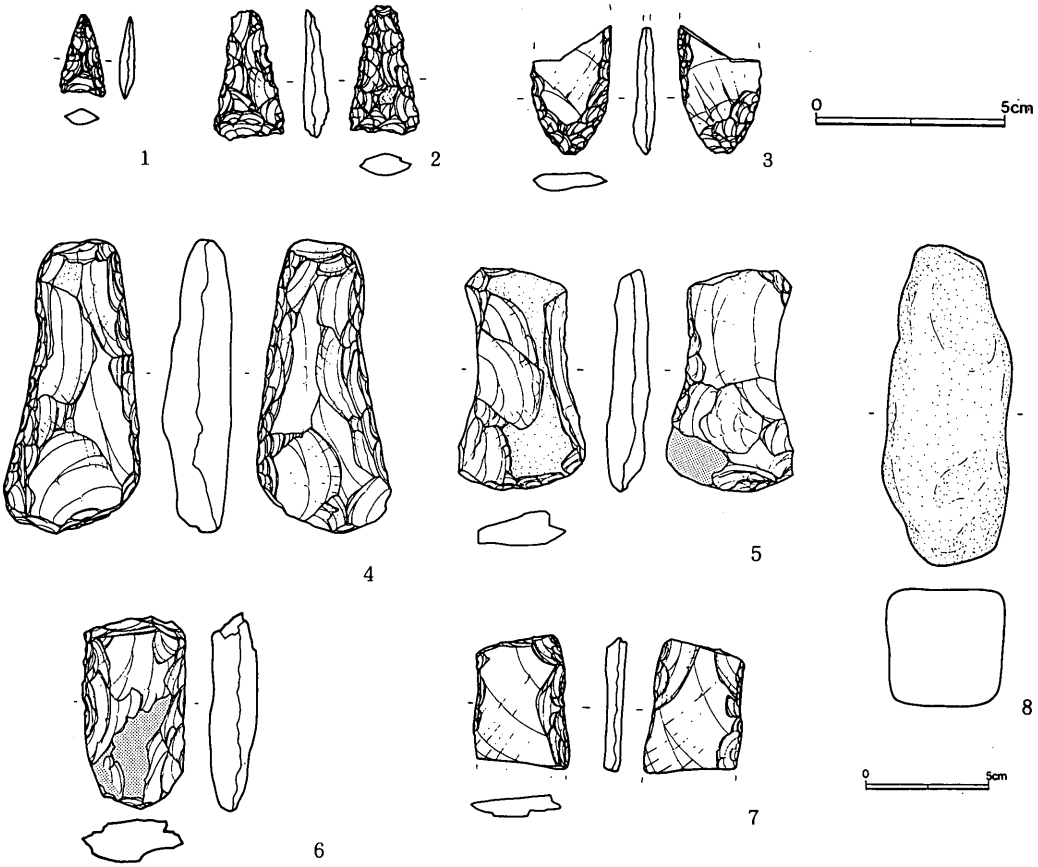


第20図　J－1号住居址炉（1：40）

第3表　J－1号住居址出土遺物一覧表＜石器・土偶＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	ガラス質黒色安山岩	22	12	4	0.7	
2	石鏃未成品	ガラス質黒色安山岩	34	18	7	2.9	
3	スクレイパー	ガラス質黒色安山岩	34	21	6	3.2	欠損
4	打製石斧	頁岩	117	55	28	166.0	
5	打製石斧	安山岩	88	51	18	77.6	
6	打製石斧	安山岩	77	41	19	70.7	基部欠損
7	打製石斧	安山岩	53	39	8	19.6	先端欠損
8	敲石	安山岩	127	52	48	470.0	
27	土偶	－	56	40	42	74.7	

（単位mm，g）



第21図　J－1号住居址出土石器（1：2，1：3）

第22図　J－1号住居址出土土器（1：4）

第４表　Ｊ－１号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
9	深鉢	胴部	－ － 7.8	環状突起 編み込み状の隆帯 刻みのある隆帯	ヨコナデ	黒雲母 白色粒子	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 5YR 6/6	通常	一括	D-73の破片と接合
10	深鉢	口縁	－ － －	環状突起	ヨコナデ	白色粒子 角閃石	赤褐色 5YR 4/6	橙色 5YR 6/6	通常	73	
11	深鉢	台部	－ － 11.0	四方に、２条の沈線の縁どりのある円形の透かし	ヨコナデ	白色粒子 角閃石	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	通常	41・42 216	
12	深鉢	口縁	－ － －	平行沈線と、沈線の間に連続する刻みを施す	横位のミガキ	黒雲母 白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい黄褐色 7.5YR 5/3	良	194	
13	深鉢	胴部	－ － －	平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 4/4	にぶい赤褐色 5YR 4/4	通常	32	
14	深鉢	胴部	－ － －	縦位の平行沈線 粘土紐数本を束ねた隆帯	ヨコナデ	白色粒子	明褐色 5YR 5/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	良	130 ＋ 140	
15	深鉢	胴部	－ － －	平行する隆帯 撚糸文Ｌ	横位のミガキ	黒雲母 白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/4	暗赤褐色 5YR 3/6	通常	140	
16	深鉢	胴部	－ － －	地文撚糸文Ｌ 渦巻き状沈線	ヨコナデ	白色粒子	褐色 7.5YR 4/4	褐色 7.5YR 4/4	通常	207	
17	深鉢	胴部	－ － －	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	7	
18	深鉢	胴部	－ － －	沈線、撚糸文Ｌ	ヨコナデ	白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/4	褐灰色 7.5YR 4/1	通常	120 ＋ 70	
19	深鉢	胴部	－ － －	地文縄文ＬＲ 平行沈線、Ｕ字状沈線	ヨコナデ	黒雲母 白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	113	
20	深鉢	胴部	－ － －	撚糸文Ｒ	ミガキ	白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/6	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	68 ＋ 75	
21	深鉢	胴部	－ － －	渦巻き状の隆帯とその末端に双突起 半截竹管による細沈線	ナデ	黒雲母目立つ	明赤褐色 5YR 5/8	明赤褐色 5YR 5/8	良	38 ＋ 58	
22	深鉢	口縁	－ － －	地文は撚糸文Ｌ 粘土紐による横Ｓ字状文	ヨコナデ	黒雲母 白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 5/4	良	111	
23	深鉢	口縁	－ － －	地文は撚糸文 粘土紐による横Ｓ字状文	ヨコナデ	黒雲母 白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい黄褐色 10YR 5/3	通常	173 炉	
24	深鉢	口縁	－ － －	地文は撚糸文 粘土紐による横Ｓ字状文	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 4/4	明褐色 5YR 5/6	通常	176	
25	深鉢	底部	－ － (9.5)	わずかにＬＲ縄文が残る	ヨコナデ	白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/3	暗褐色 7.5YR 3/3	通常	185	
26	深鉢	台部	－ － (8.0)	台付深鉢台部 無文	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	117	

（単位cm）

（２）　Ｊ－２号住居址

住居址　　第23図

Ｊ－１号住居址は、Ｈ－11グリッドにおいて検出された。平安時代の住居Ｈ－16に切られている。また、Ｊ－46号住居址、Ｄ－81号土坑と重複するがそれらとの新旧関係は不明である。

本址は、南北3.6ｍ・東西推定3.6ｍの円形を呈し、床面積9.5㎡を測る。壁の残存高は、10～15cmを測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

ピットは、壁際にP_1～P_6が不規則に分布する。ピットの大きさは、P_1が34×28×26cm、P_2が26×18×10cm、P_3が30×24×20cm、P_4が36×28×10cm、P_5が30×20×10cm、P_6が32×16×4cmを測る。

住居覆土は、2層に分層された。I層はローム粒子を含まない黒色土層(10YR1.7/1)、II層はローム粒子をよく含む暗褐色土層（10YR3/4）であった。

炉

住居内からは炉に相当する施設は検出されなかった。

遺　物　第24～26図・第5・6表

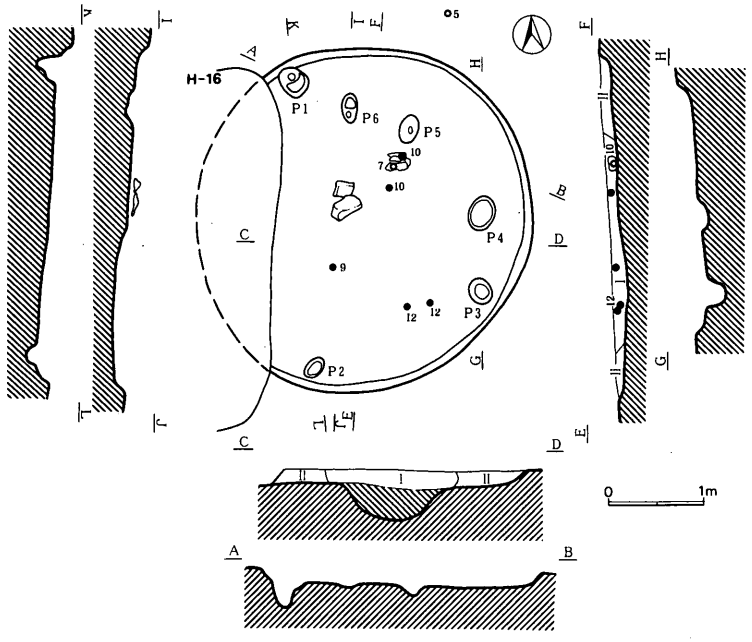
遺物は、石器ではチャートの石匙（1）・スクレイパー（2）・黒曜石原石（3）・磨製石斧（5）・打製石斧（6）・磨石（7）が出土した。

土器は、10・11・12が遺存のよいものである。8は焼町土器の深鉢で4単位の環状突起とそれを連結する隆線沈線など口縁部のみに文様が集中し胴部以下は無文である。11は器面に縄文の施し、刻みのある隆帯を波状口縁に沿わせ、あるいは垂下させている。12も器面に縄文の施されたラッパ状の深鉢で、2～3条の沈線によって区画される。10のバケツ形の深鉢は小形で、口縁に突起をもち、垂下沈線・鋸歯状沈線の間を斜行沈線が埋めるものである。

また、28（図版184）はつり上がった切れ長の目をもつ顔面把手である。

時　期

本住居址は、縄文時代中期中葉（川原田遺跡第9期）に位置付けられる。



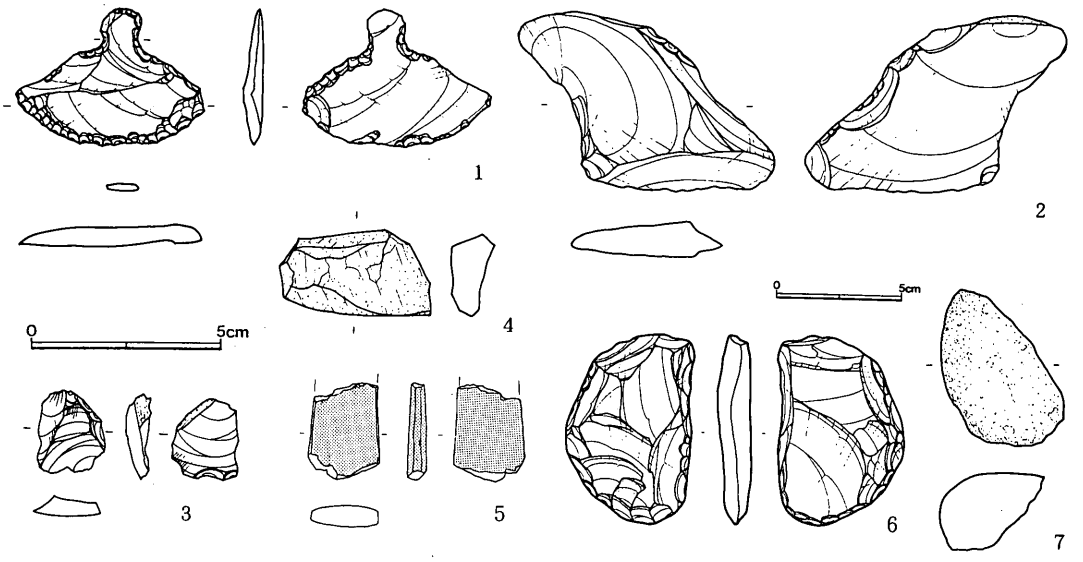
第23図　J－2号住居址（1：80）

第５表　Ｊ－２号住居址出土遺物一覧表　＜石器・把手＞

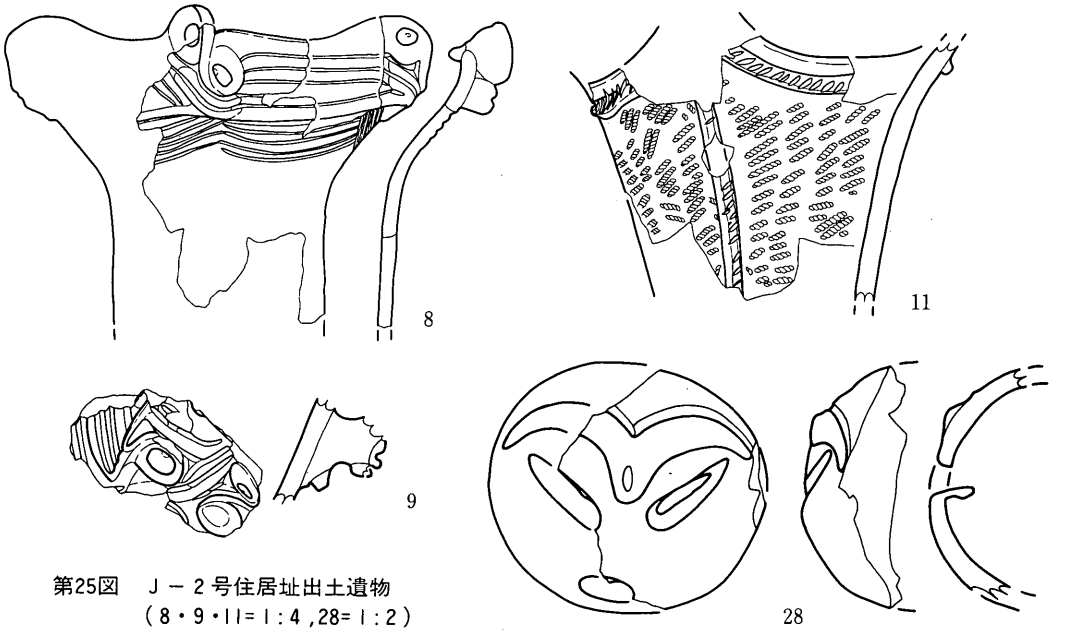
挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石匙	硬質頁岩	36	50	6	6.6	
2	スクレイパー	安山岩	47	67	9	22.0	
3	ピエス・エスキーユ	黒曜石	21	23	7	1.9	
4	原石	黒曜石	22	40	10	9.9	

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
5	磨製石斧	蛇紋岩	38	29	8	14.8	両端欠損
6	打製石斧	ホルンフェルス	76	50	14	59.2	基部欠損
7	磨石	安山岩	63	50	31	67.2	欠損
28	顔面把手	—	68	73	44	77.2	

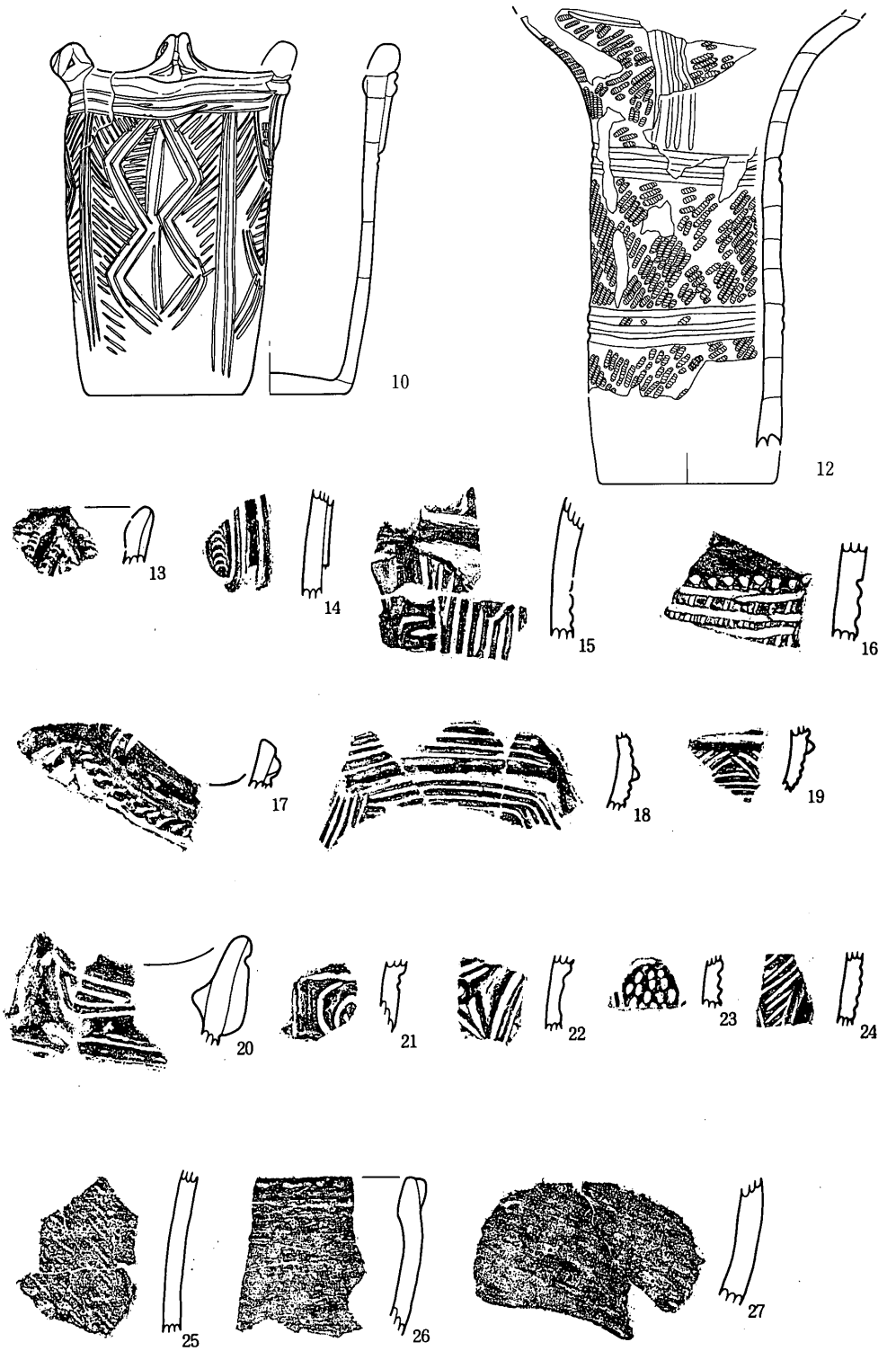
（単位mm，g）



第24図　Ｊ－２号住居址出土石器（１～４＝１：２，５～７＝１：３）



第25図　Ｊ－２号住居址出土遺物
（８・９・11＝１：４，28＝１：２）



第26図　Ｊ－２号住居址出土土器（１：４）

第６表　Ｊ－２号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

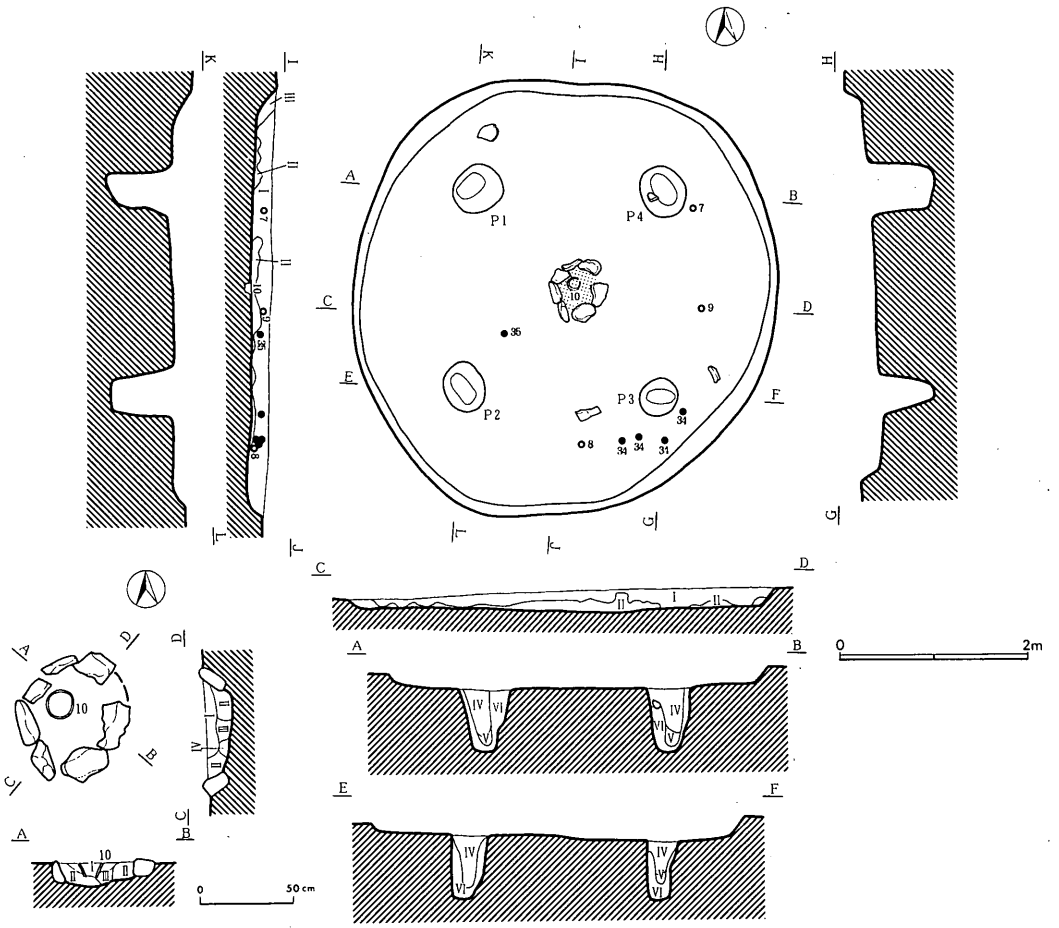
挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
8	深鉢	口縁 胴部	(22.4) － －	眼鏡状突起 曲隆線とそれに付随する沈線	ヨコナデ	黒雲母 白色粒子	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 5YR 7/6	通常	一括	
9	深鉢	口縁	－ － －	眼鏡状突起 曲隆線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 7.5YR 6/4	橙色 7.5YR 6/6	通常	52	
10	深鉢	口縁 ｌ 底部	14.8 21.2 9.2	４単位の突起 沈線による縦位区画内に鋸歯状文	ヨコナデ	白色粒子 角閃石	明赤褐色 5YR 5/8	にぶい橙色 5YR 7/4	通常	12	
11	深鉢	口縁 胴部	－ － －	刻みのある隆帯 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
12	深鉢	口縁 胴部	－ － －	縄文ＬＲ ３条の平行沈線	ヨコナデ	長石多量 白色粒子	明赤褐色 5YR 5/8	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	19	
13	深鉢	口縁	－ － －	隆帯とその脇に半截竹管による爪形の連続刺突	ヨコナデ	黒雲母含	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/6	良	38	
14	深鉢	胴部	－ － －	垂下する隆帯とそれに沿う沈線 半截竹管の連続刺突	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	良	4	
15	深鉢	胴部	－ － －	直交する幅広隆帯 垂下する沈線	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	黒褐色 5YR 3/1	通常	一括	
16	深鉢	胴部	－ － －	棒状工具の刺突文 垂下する沈線を平行沈線によって帯状に区画する	ヨコミガキ	白色粒子	黒褐色 5YR 3/1	明赤褐色 5YR 5/6	通常	一括	
17	深鉢	口縁	－ － －	波状口縁 隆帯上に刻み	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	46 ＋ 17	
18	深鉢	胴部	－ － －	隆帯と平行する沈線	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	一括	
19	深鉢	胴部	－ － －	横位隆帯 斜位・横位の平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	一括	
20	深鉢	口縁	－ － －	逆Ｔ字状隆帯 沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	34.	
21	深鉢	胴部	－ － －	横位隆帯 渦巻き状沈線	ヨコミガキ	白色粒子	暗褐色 10YR 3/4	灰黄褐色 10YR 4/2	通常	一括	
22	深鉢	胴部	－ － －	沈線		白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	灰褐色 5YR 5/2	通常	57	
23	深鉢	胴部	－ － －	沈線の楕円区画内に列点刺突		黒雲母 白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/4	赤褐色 5YR 5/6	通常	一括	
24	深鉢	胴部	－ － －	垂下する隆帯 斜行沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 5/4	明褐色 7.5YR 5/6	通常	13	
25	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＬＲを縦位施文	ナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	35	
26	浅鉢	口縁	－ － －	平縁、無文	ヨコミガキ	黒雲母多量	にぶい褐色 7.5YR 5/4	黒褐色 7.5YR 3/1	良	33	
27	深鉢	胴部	－ － －	無文	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	一括	

（単位cm）

（３）　Ｊ－３号住居址

住居址　　第27図

Ｊ－３号住居址は、Ｇ－11グリッドにおいて検出された。Ｊ－４号住居址と重複するが、本址が新しい。



第27図　J－3号住居址（住居＝Ⅰ：80，炉＝Ⅰ：40）

本址は、南北4.5m・東西4.5mの円形を呈し、床面積15.0m²を測る。壁の残存高は、10～20cmを測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

ピットは、主柱穴と考えられるP_1・P_2・P_3・P_4が方形に配列されて検出された。北側には内部に安山岩礫のあるP_1が存在する。ピットの大きさは、P_1が54×48×64cm、P_2が50×42×64cm、P_3が42×38×58cm、P_4が54×48×70cmを測る。各ピット内には20cm前後の柱痕跡が確認された。

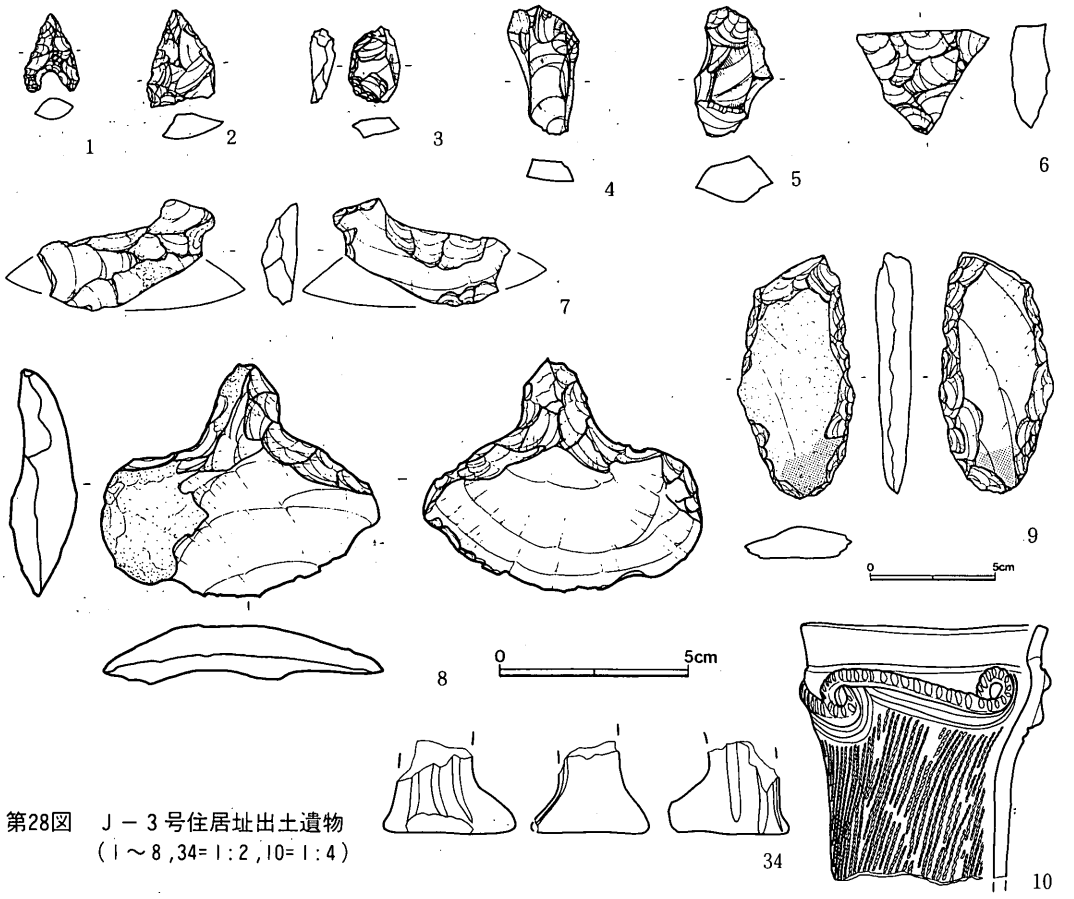
住居覆土は、3層に分層された。Ⅰ層は若干のカーボンを含む暗褐色土層(10YR3/3)、Ⅱ層はロームをブロック状に多く含み人為的な埋土の可能性のある褐色土層(10YR4/4)、Ⅲ層はローム粒子をよく含む壁の崩落土である暗褐色土層（10YR3/4）であった。

ピットの覆土は、Ⅳ層はローム粒子をよく含む暗褐色土層(10YR3/3)、Ⅴ層はロームを小ブロック状に含む褐色土層（10YR4/4)、Ⅵ層は人為的埋土でロームをブロック状に含む暗褐色土層（10YR3/4）であった。

第７表　Ｊ－３号住居址出土遺物一覧表　＜石器・土偶＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	21	15	5	0.9	
2	石鏃	硬質頁岩	26	18	6	2.0	
3	ピエス・エスキーユ	黒曜石	20	14	7	1.2	
4	ピエス・エスキーユ	黒曜石	34	19	9	4.5	
5	ピエス・エスキーユ	黒曜石	34	20	11	5.9	
6	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	27	35	10	9.2	
7	石匙	ガラス質黒色安山岩	29	46	10	8.3	欠損、山本分析№1八風山産
8	石匙	ガラス質黒色安山岩	61	73	18	38.0	
9	打製石斧	安山岩	97	47	15	70.8	
34	土偶	－	24	30	35	17.0	脚部

（単位mm，g）

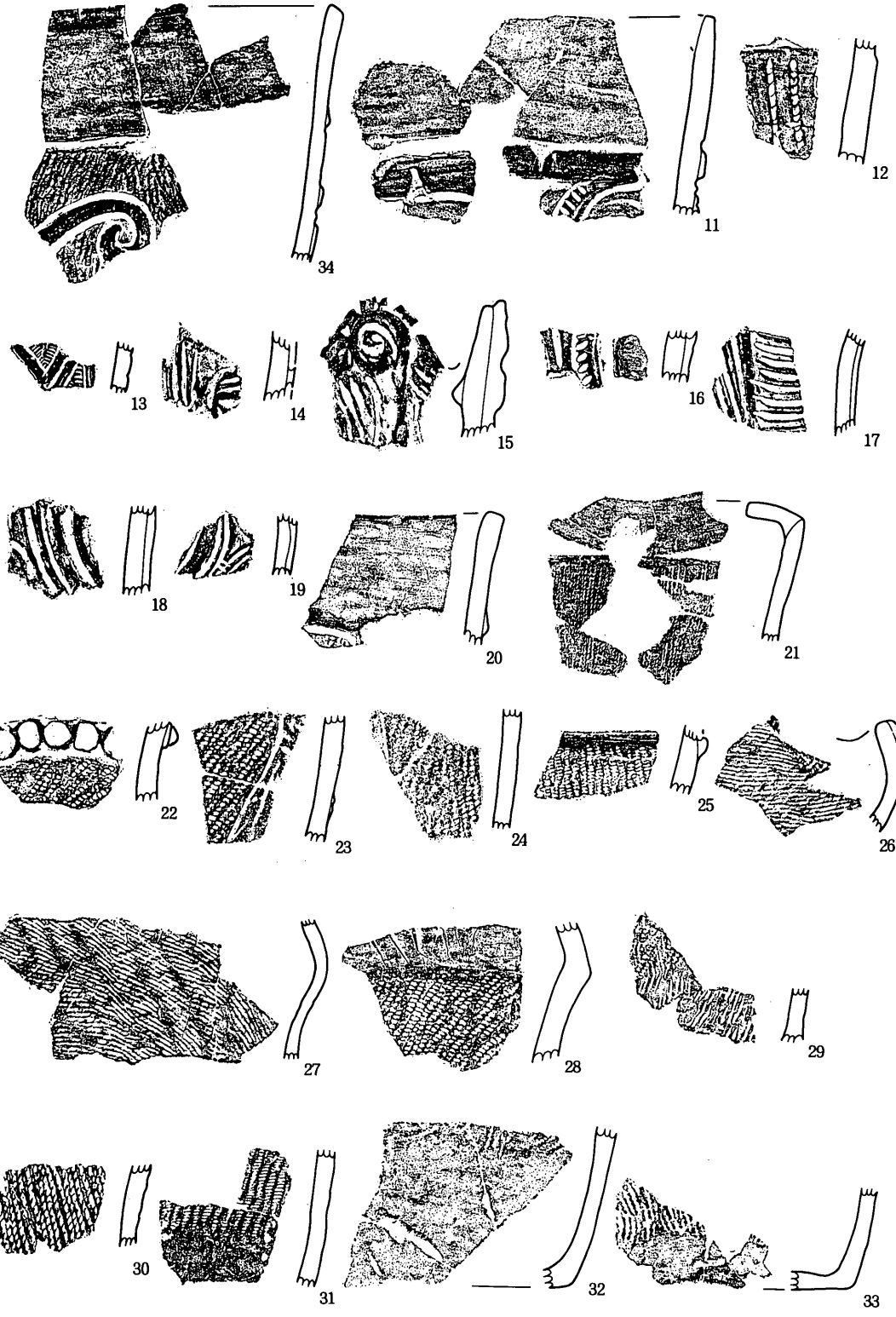


第28図　Ｊ－３号住居址出土遺物
（１～８，34＝１：２，10＝１：４）

炉　　第27図

炉は、住居址の中央に存在している。安山岩礫７個を配した円形の石囲い炉で、60×60cm深さ30cmを測り、中央には底の抜けた深鉢（10）が配されている。

覆土は４層に分層された。Ⅰ層は焼土を若干含む黒褐色土層(10YR2/3)、Ⅱ層は焼土をよく含みロームをブロック状に含む褐色土層（10YR4/4)、Ⅲ層は焼土を大量に含む褐色土層（10YR3/4)、Ⅳ層は焼土を大量に含む明赤褐色土層（10YR5/6）である。



第29図　J－3号住居址出土土器（1：4）

第8表　J－3号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
10	深鉢	口縁 胴部	12.5 — —	口縁に刻みのある横S字状隆帯 撚糸文	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 5YR 6/6	通常	炉	
11	深鉢	口縁	— — —	幅広の隆帯 一部に沈線による刻み	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	暗赤褐色 5YR 3/3	通常	310	
12	深鉢	胴部	— — —	棒状工具による連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	黒褐色 5YR 3/2	赤褐色 5YR 5/6	通常	310	
13	深鉢	胴部	— — —	半截竹管の連続刺突文	ナデ	白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/3	にぶい黄橙色 10YR 6/3	通常	190	
14	深鉢	胴部	— — —	沈線と隆帯	ナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	300	
15	深鉢	口縁	— — —	渦巻き状の小突起から隆帯が垂下する 波状口縁	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	215	
16	深鉢	胴部	— — —	隆帯上に刻み	ナデ	白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/4	赤褐色 5YR 3/6	通常	310	
17	深鉢	胴部	— — —	垂下する隆帯 平行沈線	ナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 4/4	赤褐色 5YR 4/6	通常	283	
18	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯とそれに平行する沈線	ナデ	黒雲母多量	暗赤褐色 5YR 3/2	暗赤褐色 5YR 5/6	通常	209	
19	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯と沈線	ナデ	黒雲母多量	黒褐色 5YR 2/1	にぶい赤褐色 5YR 5/4	良	108	
20	深鉢	口縁	— — —	平口縁 沈線	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 5YR 4/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	良	274	
21	深鉢	口縁	— — —	口縁は横方向に折り返す 撚糸文L	ヨコナデ	黒雲母多量	赤褐色 5YR 4/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	162 P_3	
22	深鉢	頸部	— — —	横の隆帯に連続押圧をなしクサリ状の効果を出す 縄文LR	ヨコナデ	白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/2	赤褐色 5YR 4/6	通常	75	
23	深鉢	胴部	— — —	縄文RL 沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	62	
24	深鉢	胴部	— — —	縄文RL	タテナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 7.5YR 7/4	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	60 + 285	
25	深鉢	胴部	— — —	横の隆帯 縄文RL	ヨコナデ	白色粒子	褐色 7.5YR 4/3	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	177	
26	深鉢	口縁	— — —	無節の縄文L	ヨコナデ	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 5/4	灰褐色 7.5YR 6/2	通常	268 + 269	
27	深鉢	胴部	— — —	無節の縄文L	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 6/4	橙色 7.5YR 6/6	通常	257 258 185	
28	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	白色粒子	赤褐色 5YR 4/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	256	
29	深鉢	胴部	— — —	無節の縄文L 縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	45 110	
30	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L	タテナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/4	赤褐色 5YR 4/6	通常	40	
31	深鉢	底部 付近	— — —	縄文RL	ナデ	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	明褐色 7.5YR 5/6	通常	11 214	
32	深鉢	底部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	256	
33	深鉢	底部	— — —	撚糸文L	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 5/4	橙色 7.5YR 6/6	通常	21	
34	深鉢	口縁	— — —	平口縁 縄文LR、渦巻き状隆帯	ヨコナデ	角閃石 白色粒子	明赤褐色 5YR 5/8	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	260 59	

（単位cm）

遺　物　　第28図・第７・８表

遺物は、石器では石鏃（１・２）・ピエス・エスキーユ（３～６）・石匙（７・８）・打製石斧（９）が出土した。

土器は少ないが、良好なものでは炉に配置されていた10の小形深鉢がある。胴部に撚糸文が施され口縁部には無文帯の下に刻みのある横Ｓ字状の隆起帯がつく土器である。34は土偶の足の部分で、沈線がみられる。

時　期

本住居址は、縄文時代中期中葉（川原田遺跡第11期）に位置付けられる。

（４）　Ｊ－４号住居址

住居址　　第30・31図

Ｊ－４号住居址は、Ｇ－11グリッドにおいて検出された。Ｊ－３号住居址と重複するが、本址が古い。

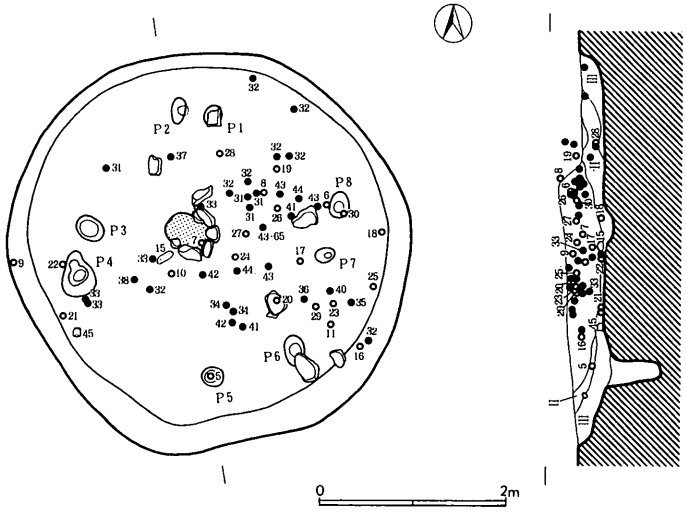
本址は、南北4.2ｍ・東西4.3ｍの円形を呈し、床面積11.2㎡を測る。壁の残存高は、20～40cmを測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

ピットは、２個が対をなす４組が規則的に配置されている。ピットの大きさは、P_1が22×18×26cm、P_2が28×14×62cm、P_3が32×24×30cm、P_4が48×36×64cm、P_5が24×20×60cm、P_6が32×20×48cm、P_7が20×16×22cm、P_8が28×22×60cmを測る。

住居覆土は、３層に分層された。Ⅰ層はカーボンを含む黒褐色土層(10YR2/1)、Ⅱ層はローム粒子を多く含み人為的な埋土の可能性のある褐色土層（10YR4/4)、Ⅲ層はロームをブロック状に含む褐色土層（10YR3/4）であった。遺物は中に廃棄されたような状況を呈していた。

炉　　第31図

炉は、住居址のほぼ中央に存在している。安山岩礫４個と凹石を配した石囲い炉で、残りの半分は石材が抜き取ら



第30図　Ｊ－４号住居址遺物分布図（１：80）

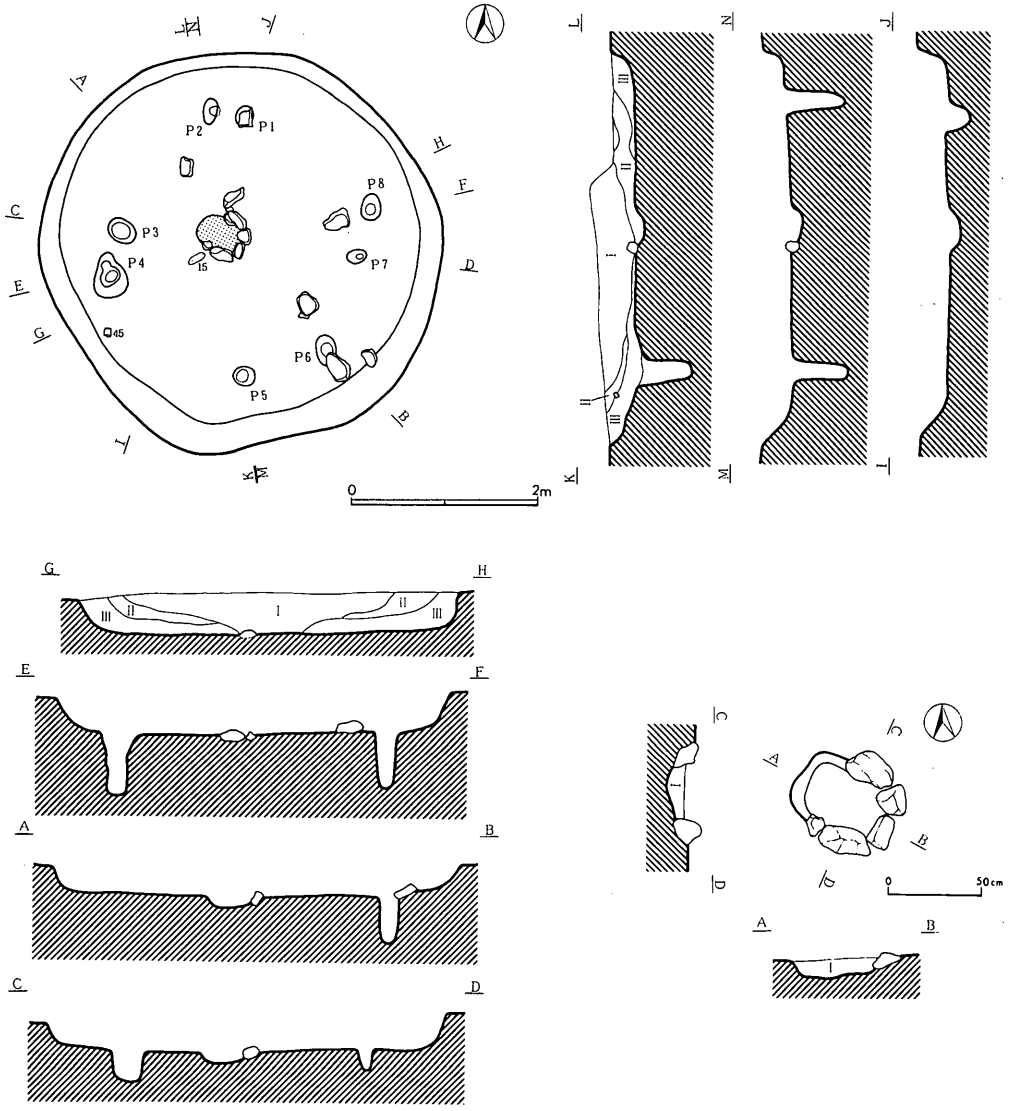
れたのか石がみられない。60×55cm深さ20cmを測る。

覆土はⅠ層のみで、焼土を若干含む極暗赤褐色土層（5YR2/3）である。

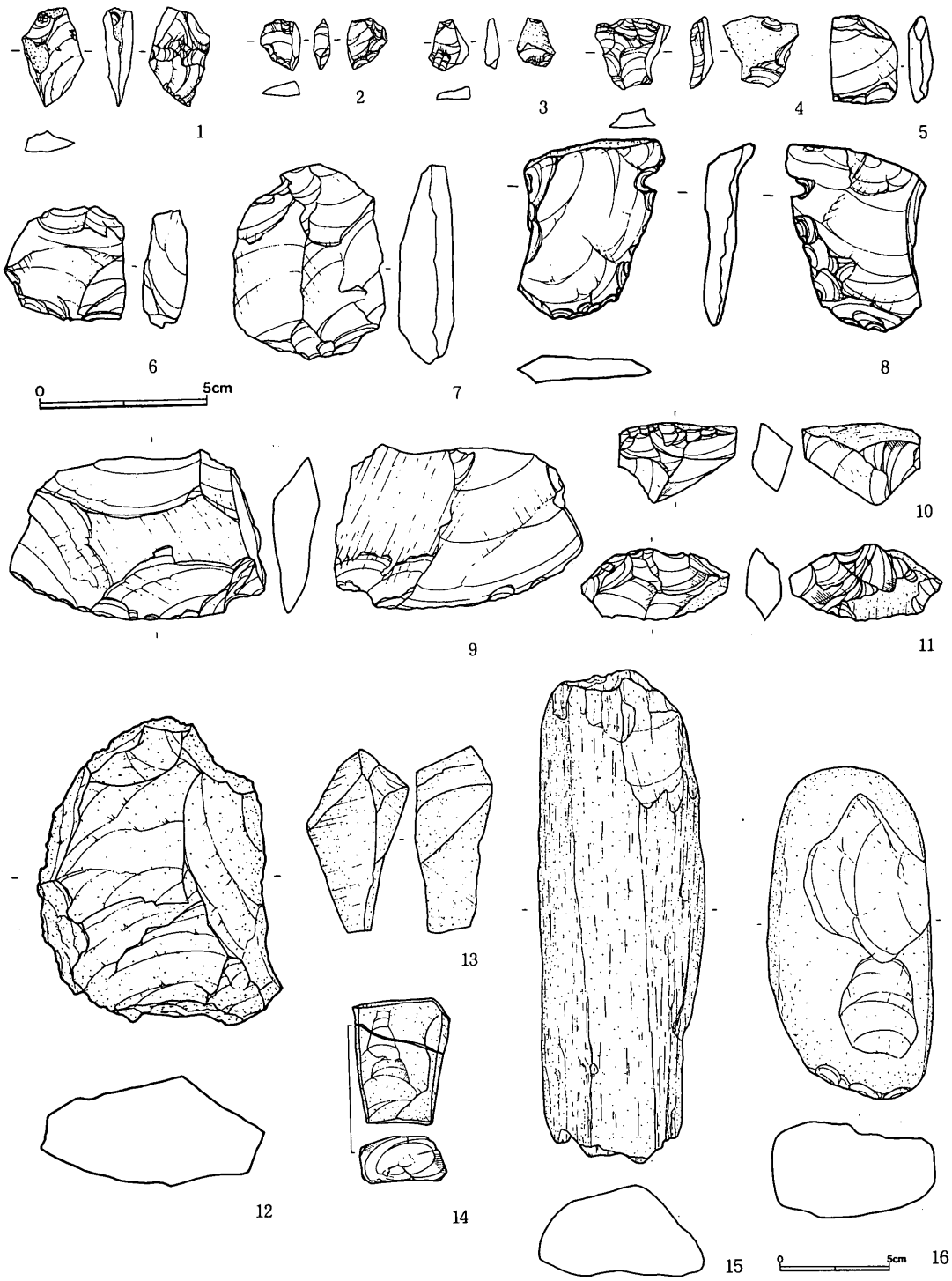
遺　物　第32～36図・第9～11表

遺物は、石器では石鏃未成品（1）・ピエス・エスキーユ（2～7）・スクレイパー（8・9・19）・石核（10・11）・黒曜石原石（12～14）・棒状石製品（15）・磨石・打製石斧（20～29）・磨製石斧（30）が出土した。12は蛍光X線分析により浅間産と判明した黒曜石の原石である。

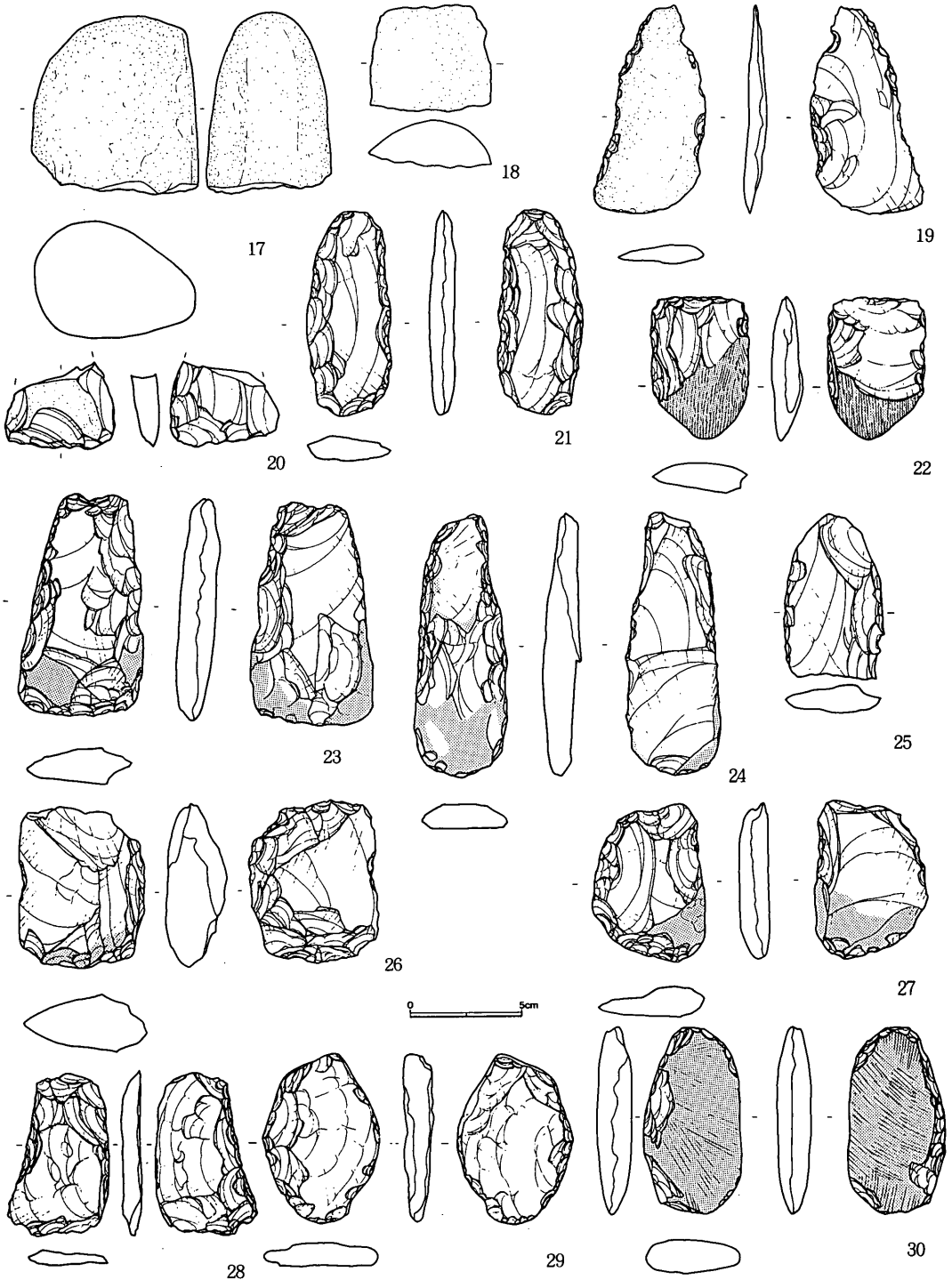
土器は、焼町土器の深鉢の破片が主体的に検出されている。



第31図　J－4号住居址（住居＝1：80，炉＝1：40）



第32図　J－4号住居址出土石器（1～14＝1：2，15・16＝1：3）

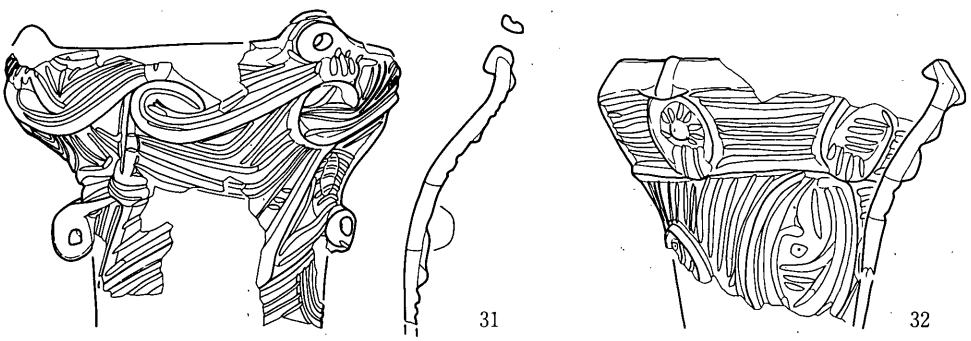


第33図　J－4号住居址出土石器（1：3）

第９表　Ｊ－４号住居址出土遺物一覧表　＜石器・土偶＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃未成品	黒曜石	29	18	9	3.2	
2	ピエス・エスキーユ	黒曜石	15	12	5	0.4	
3	ピエス・エスキーユ	黒曜石	15	12	5	0.3	
4	ピエス・エスキーユ	黒曜石	21	22	7	2.3	
5	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	26	20	7	4.2	山本分析№２八風山産
6	ピエス・エスキーユ	ホルンフェルス	34	36	14	17.8	
7	ピエス・エスキーユ	頁岩	58	46	16	37.1	
8	スクレイパー	ガラス質黒色安山岩	53	44	16	22.2	
9	スクレイパー	ガラス質黒色安山岩	50	76	14	59.1	
10	石核	黒曜石	23	35	12	8.0	
11	石核	黒曜石	21	44	11	8.8	
12	原石	黒曜石	92	73	20	226.2	藥科分析№38293産地不明
13	原石	黒曜石	54	30	24	27.8	
14	原石	黒曜石	37	29	14	21.4	
15	棒状石製品	緑泥片岩	222	76	42	1,109.0	欠損
16	磨石	安山岩	150	75	45	710.7	
17	磨石	安山岩	79	75	56	471.1	欠損
18	磨石	安山岩	47	55	23	95.2	欠損
19	スクレイパー	頁岩Ⅰ	92	52	10	31.3	
20	打製石斧	ホルンフェルス	39	49	13	26.0	欠損
21	打製石斧	ホルンフェルス	91	39	12	46.5	
22	打製石斧	頁岩Ⅰ	63	45	14	46.2	
23	打製石斧	安山岩	100	56	19	93.5	
24	打製石斧	安山岩	118	42	18	83.9	
25	打製石斧	ホルンフェルス	75	45	14	51.3	欠損
26	打製石斧	頁岩Ⅰ	72	57	28	115.9	欠損
27	打製石斧	ホルンフェルス	71	51	13	56.9	欠損
28	打製石斧	頁岩Ⅰ	72	45	9	26.4	欠損
29	打製石斧	安山岩	76	52	13	54.5	
30	磨製石斧	蛇紋岩	83	44	16	86.6	欠損
65	土偶	－	35	20	15	－	胴部

（単位mm，g）



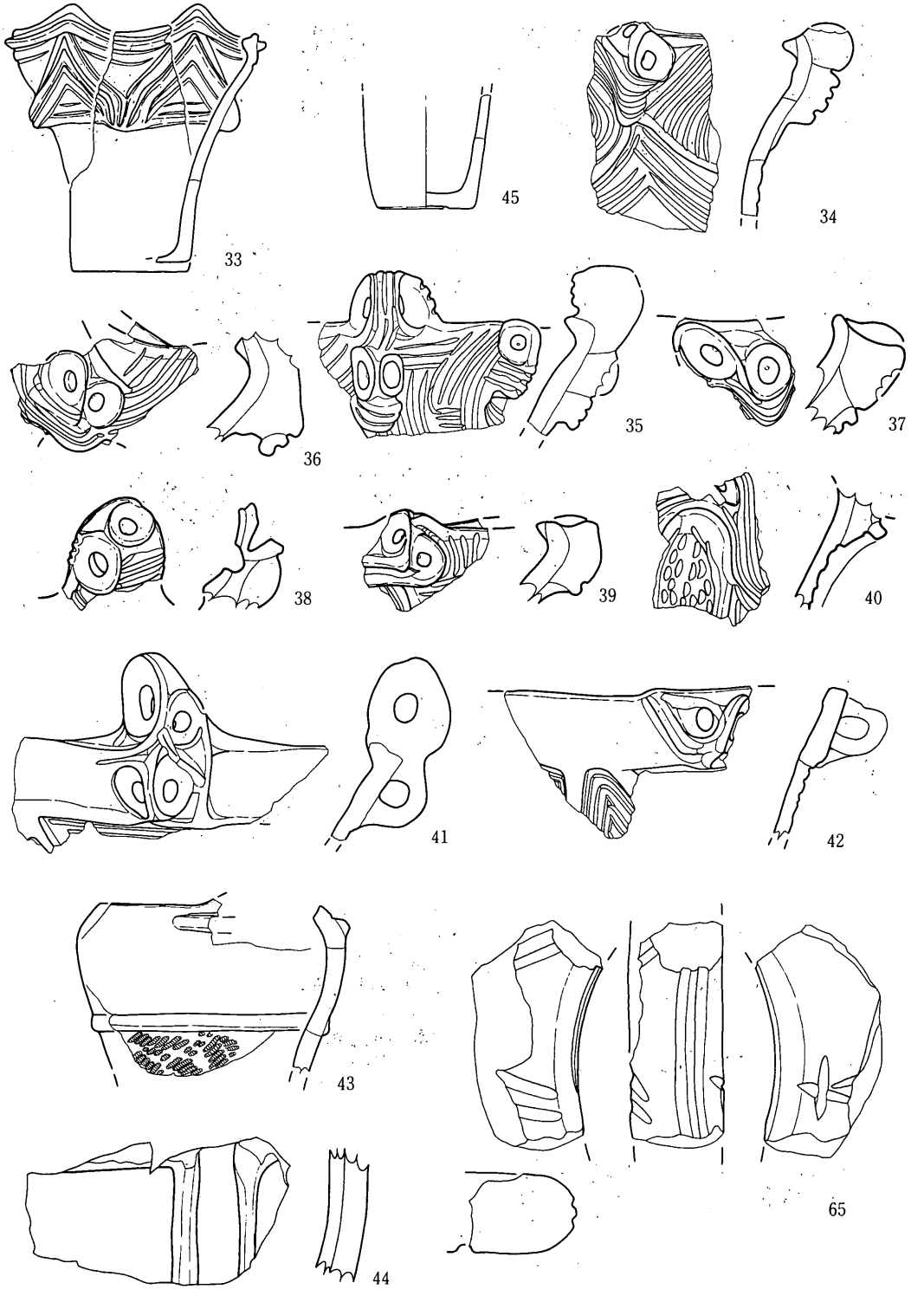
第34図　Ｊ－４号住居址出土土器（１：４）

31は、口唇に４単位の環状突起を配し、口辺に曲隆線がＳ字状に巡るもので、胴部には４単位の眼鏡状突起をもつ焼町土器の小形深鉢である。32も焼町土器の小形深鉢で、口辺が隆線で帯状に区画され、その中に列点刺突をもつ隆線による楕円区画が配される。また、胴部にも口辺より大きな楕円区画が配されている。34～40・55も眼鏡状突起や曲隆線・列点刺突をもつ焼町土器の破片である。

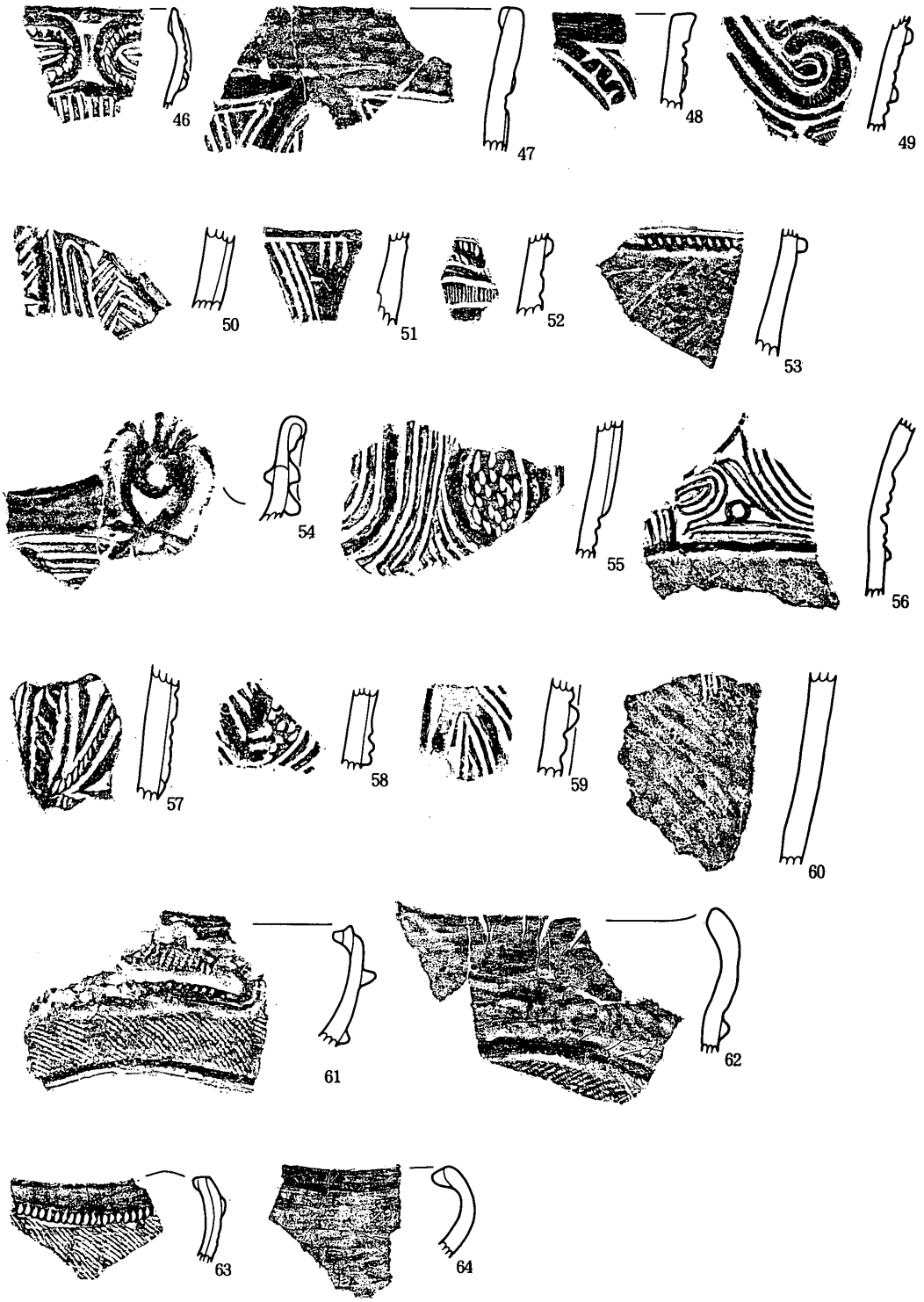
55は沈線の施された土偶の胴部である。

時　期

本住居址は、縄文時代中期中葉（川原田遺跡第９期）に位置付けられる。



第35図　J－4号住居址出土遺物（1：4，65＝1：2）



第36図　Ｊ－４号住居址出土土器（１：４）

第10表　J－4号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
31	深鉢	口縁 胴部	20.0 － －	眼鏡状突起、環状突起 曲隆線とそれを埋める沈線	ヨコナデ	黒雲母多量 角閃石	明赤褐色 5YR 5/8	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	561	
32	深鉢	口縁 胴部	16.0 － －	隆線による楕円形区画 平行沈線	ヨコナデ	黒雲母 白色粒子	赤褐色 5YR 4/8	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	159 508	
33	深鉢	口縁 ～ 底部	－ (16.0) －	波状口縁 隆帯、沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	455 591	
34	深鉢	口縁	－ － －	眼鏡状突起、コイル状突起 曲隆線、平行沈線	ヨコナデ	角閃石 白色粒子	赤褐色 5YR 4/8	明赤褐色 5YR 5/8	通常	434 540	
35	深鉢	口縁	－ － －	眼鏡状突起、コイル状突起 曲隆線、平行沈線	ヨコナデ	角閃石 白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/3	通常	238	
36	深鉢	口縁	－ － －	眼鏡状突起 曲隆線、沈線	ヨコナデ	角閃石 白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/6	橙色 10YR 6/6	通常	245	
37	深鉢	口縁	－ － －	眼鏡状突起 曲隆線、沈線	ヨコナデ	角閃石 黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 10YR 6/6	通常	557	
38	深鉢	口縁	－ － －	眼鏡状突起 曲隆線、沈線	ナデ	黒雲母	赤褐色 5YR 4/6	橙色 5YR 6/8	通常	449	
39	深鉢	口縁	－ － －	眼鏡状突起 曲隆線、沈線	ヨコナデ	角閃石 黒雲母	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/6	良好		
40	深鉢	口縁	－ － －	曲隆線 列点刺突	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/6	良好	242 247	
41	深鉢	口縁	－ － －	眼鏡状突起 沈線	ヨコナデ	角閃石多量	暗赤褐色 5YR 2/4	明赤褐色 5YR 5/8	通常	58 224	同一個体
42	深鉢	口縁	－ － －	眼鏡状突起 沈線	ヨコナデ	角閃石多量	暗赤褐色 5YR 2/4	明赤褐色 5YR 5/8	通常	223	
43	深鉢	口縁	－ － －	頸部に横位隆線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石多量	赤褐色 5YR 4/6	明赤褐色 5YR 5/8	通常	77 391	
44	深鉢？	胴部	－ － －	甲高の隆帯	ヨコミガキ	白色鉱物	橙色 5YR 6/8	にぶい橙色 5YR 6/3	良好	472 502	内外面赤彩
45	深鉢	底部	－ － 5.8	下半部は無文 小形品	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	580	
46	深鉢	口縁	－ － －	隆帯による楕円区画に沿う連続刺突。沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 4/4	明赤褐色 5YR 5/8	良	26	
47	深鉢	口縁	－ － －	口縁以下は太い隆帯と沈線	ナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	102 430	41・42 と同一個体
48	深鉢	口縁	－ － －	隆帯に交互に刻みを入れ蛇行文の効果を出す	ヨコミガキ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	289	
49	深鉢	胴部	－ － －	刻みのある隆帯と沈線による渦巻き状の文様	タテミガキ	白色粒子	にぶい褐色 10YR 5/4	にぶい褐色 10YR 5/4	通常	122	
50	深鉢	胴部	－ － －	垂下する隆帯 矢羽根状沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	296	
51	深鉢	胴部	－ － －	沈線	不明	黒雲母	赤褐色 5YR 4/6	赤褐色 5YR 4/6	通常	105	
52	深鉢	胴部	－ － －	密接する連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	赤褐色 5YR 4/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	470	
53	深鉢	胴部	－ － －	横位の隆帯上に刻み	ヨコナデ	白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/2	にぶい赤褐色 5YR 4/4	通常	315	
54	深鉢	口縁	－ － －	環状突起	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 4/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	351 413	
55	深鉢	胴部	－ － －	曲隆帯、沈線 列点刺突	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	249	

（単位cm）

第11表　J－4号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
56	深鉢	胴部	― ― ―	弧状沈線 三叉区画内に円文	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	233	
57	深鉢	胴部	― ― ―	ねじり状隆線	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 5YR 4/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	354	
58	深鉢	胴部	― ― ―	沈線 列点刺突	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	70	
59	深鉢	胴部	― ― ―	隆帯と沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 7.5YR 6/6	明褐色 7.5YR 5/6	通常	572	
60	深鉢	胴部	― ― ―	沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	462	
61	深鉢	口縁	― ― ―	横位の隆帯 縄文	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/2	明赤褐色 5YR 5/6	通常	503	
62	深鉢	口縁	― ― ―	頸部に横位の隆帯 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	暗赤褐色 5YR 3/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	446	
63	深鉢	口縁	― ― ―	横位隆帯に刻み 無節の縄文Ｌ	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 7.5YR 6/6	灰褐色 7.5YR 6/2	通常	355	
64	深鉢	口縁	― ― ―	口縁部内湾	ヨコミガキ	白色粒子	褐色 7.5YR 4/3	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	157 447	

（単位cm）

（5）　J－5号住居址

住居址　　第37図

J－5号住居址は、I－10グリッドにおいて検出された。J－5号住居址は、J－6・7号住居址と重複し、その両者よりも古い所産である。

本址は、南北5.3m・東西推定5.6mの円形を呈し、床面積20.5m²を測る。壁の残存高は、10～20cmを測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。中央部分には礫が散布している。

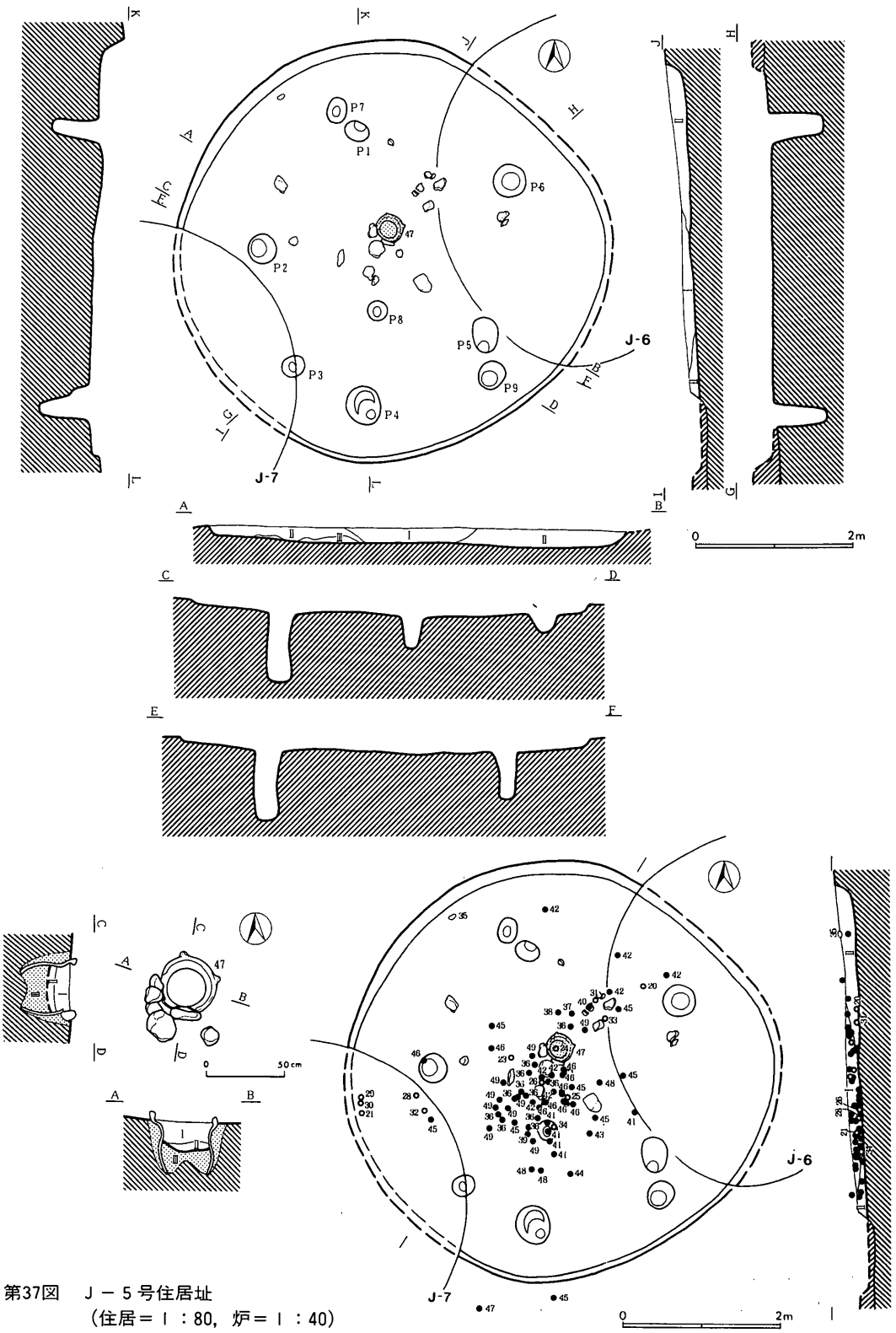
ピットは、住居址の壁を取り巻くようにP_1～P_7・P_9が認められた。また、住居の中央にはP_8が存在する。ピットの大きさは、P_1が30×24×60cm、P_2が38×36×86cm、P_3が30×26×68cm、P_4が50×42×60cm、P_5が44×32×56cm、P_6が42×40×68cm、P_7が32×24cm、P_8が36×24×40cm、P_9が36×32×24cmを測る。

住居覆土は、3層に分層された。I層はローム粒子を含まない黒褐色土層(10YR2/2)、II層はローム粒子をよく含むにぶい黄褐色土層(10YR4/3)、III層はロームのブロック状堆積である黄褐色土層（10YR5/6）であった。

炉　　第37図

炉は、住居址の中央に存在する。埋甕炉で、口縁の欠けた部分には安山岩の礫を添え、40×40cm深さ40cmを測る。

覆土は3層に分層された。I層はロームをよく含むが焼土・カーボンを含まないにぶい黄褐色土層（10YR4/3)、II層は焼土・カーボンをブロック状に含む赤褐色土層（5YR4/8)、III層はロ



第37図　J－5号住居址
（住居＝1：80，炉＝1：40）

ームを多量に含む黄褐色土層（10YR5/6）である。III層上面が火床と考えられる。

遺　物　　第38～46図・第12～18表

遺物は、住居中央に集中し、廃棄パターン的出土状態を示していた。

出土した石器には、石鏃（1～6）・石鏃未成品（7～12）・石錐（13・14）・石核（15～17）・黒曜石原石（18・19）・スクレイパー（20・21・27～30）・盤状の軽石製品（22・23）・磨石（24・25）・盤状石皿（26）・打製石斧（31～34）・敲石（35）がある。

土器は、焼町土器が主体的に出土している。

36は、4単位の大形環状把手をもち、頸部にも環状突起がつく。また、胴部には列点刺突を充塡した隆線による楕円区画のある大形の焼町土器で、環状把手―環状突起―楕円区画はそれぞれ対をなし4単位となっている。41の大形の焼町土器は眼鏡状突起の上に環状突起をのせて把手としたもので、胴部下半は隆線に沈線を沿わせて逆U字状のモチーフをなしている。列点刺突もみられる。

42は口辺において連弧する曲隆線をコイル状の突起で結ぶもので、その突起から垂下した曲隆線は環状突起に結びさらに垂下している。47は炉胎土器で、平行する隆線によって口縁・頸部・胴部の文様帯の区分がなされ、4単位の眼鏡状把手が頸部につく。列点刺突がない点で36・41とは異なる焼町土器である。

49は、隆帯による方形区画の中に平行沈線が充塡されるほか、隆帯による環状モチーフなどがみられる勝坂式の大形深鉢である。50は阿玉台式土器の破片で、楕円区画の中に連点(有節沈線)がみられる。120の無文浅鉢は、外面に赤色塗彩がみられる。

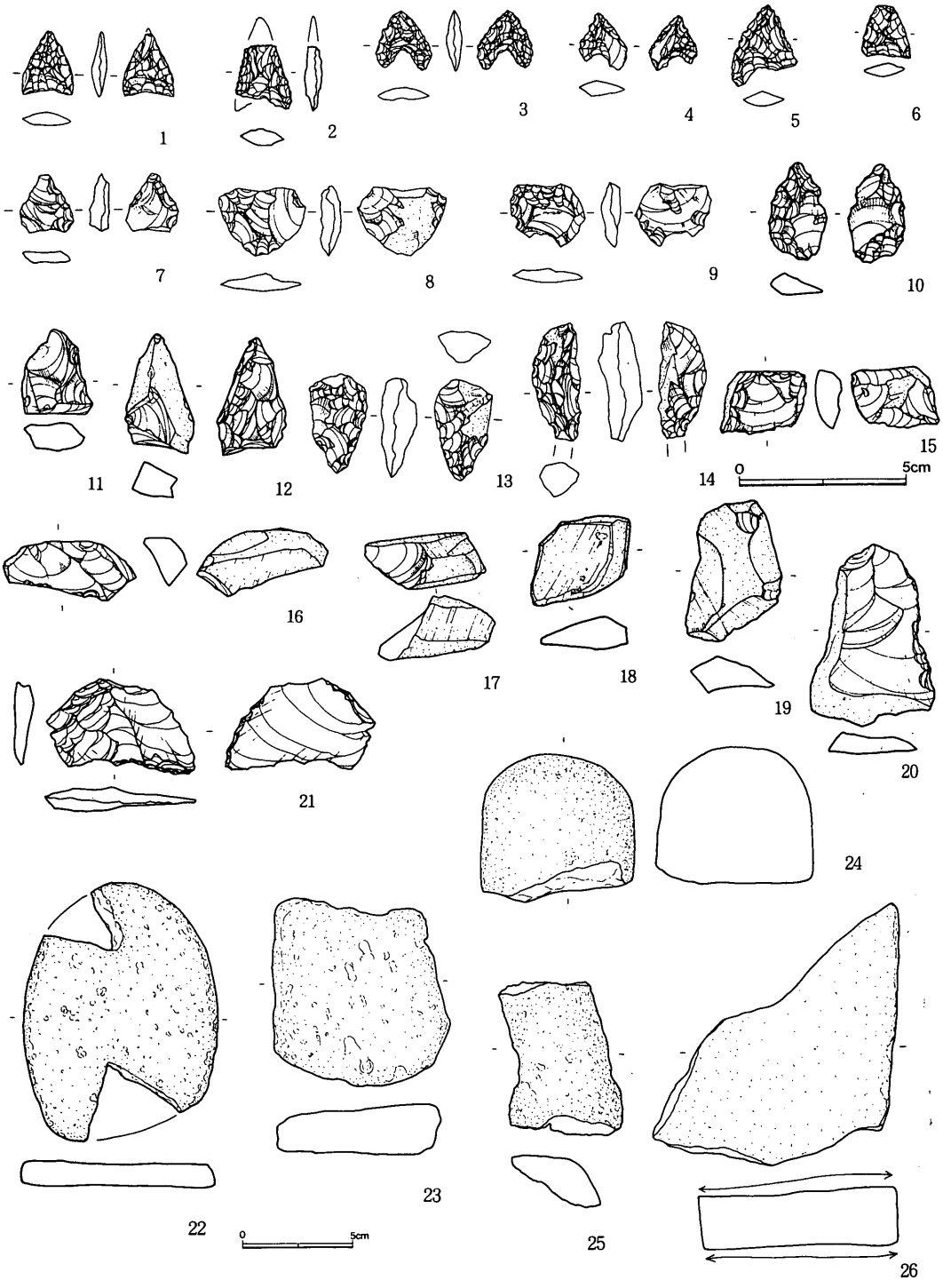
時　期

本住居址には、縄文時代中期中葉、川原田遺跡第9期から第11期にかけての遺物が認められる。

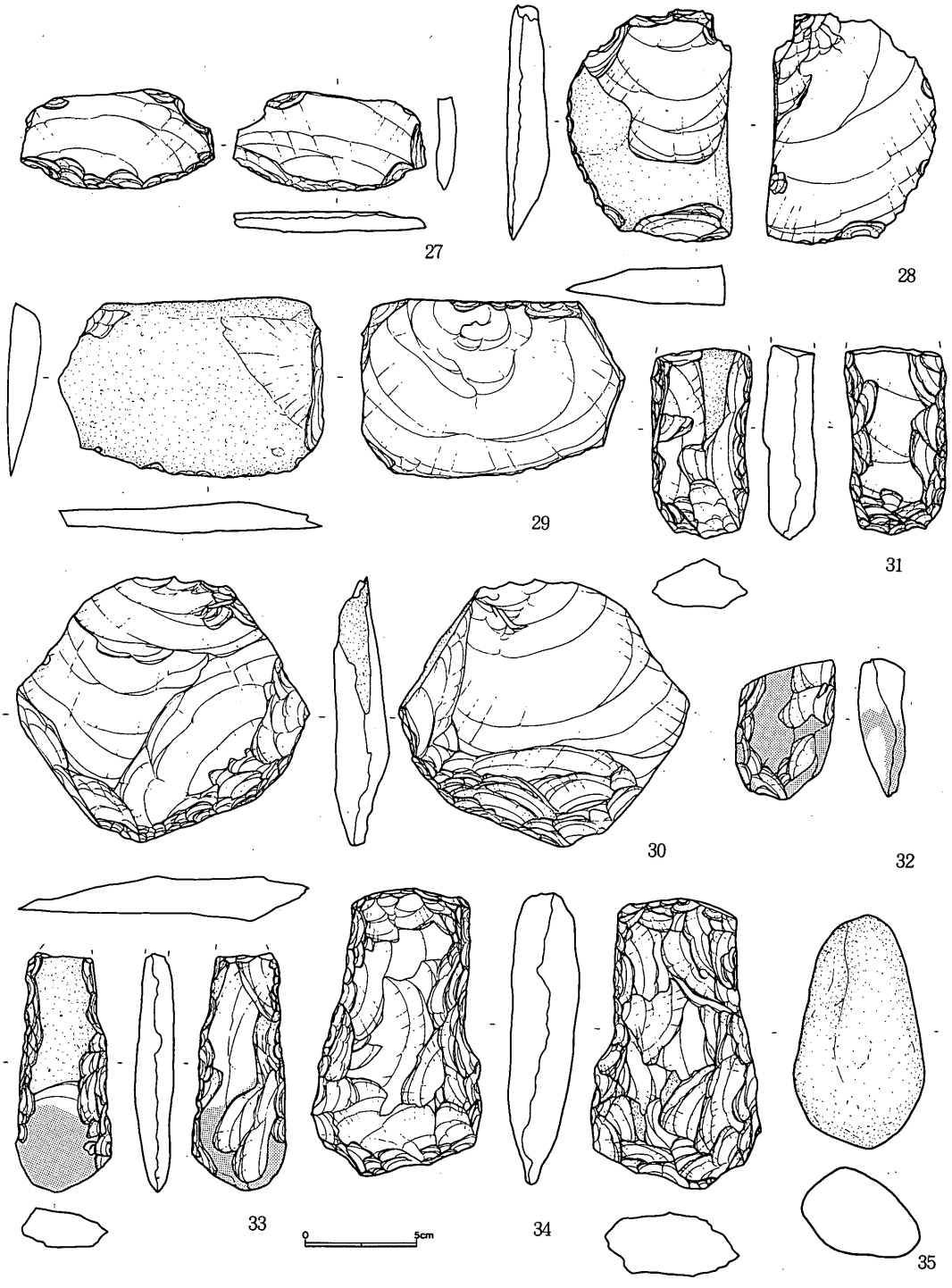
第12表　J－5号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	チャート	19	15	5	0.9	
2	石鏃	ガラス質黒色安山岩	19	16	5	1.3	欠損・山本分析No.3八風山産
3	石鏃	黒曜石	17	17	5	0.7	
4	石鏃	黒曜石	17	14	4	0.6	
5	石鏃	黒曜石	24	20	6	1.7	欠損
6	石鏃	黒曜石	16	15	4	0.8	欠損
7	石鏃未成品	黒曜石	17	16	6	0.9	
8	石鏃未成品	黒曜石	20	26	6	2.3	
9	石鏃未成品	黒曜石	19	22	6	1.7	
10	石鏃未成品	黒曜石	29	18	10	2.0	
11	石鏃未成品	黒曜石	25	21	9	3.7	
12	石鏃未成品	黒曜石	35	21	11	5.6	
13	石錐	黒曜石	29	17	11	4.0	
14	石錐	黒曜石	34	14	13	4.6	先端欠損
15	石核	黒曜石	19	25	9	4.2	
16	石核	黒曜石	18	39	13	7.1	
17	石核	黒曜石	17	36	17	8.6	
18	原石	黒曜石	28	30	11	8.3	
19	原石	黒曜石	42	29	11	11.2	
20	スクレイパー	安山岩	83	56	11	45.9	
21	スクレイパー	安山岩	28	44	8	－	
22	円盤	軽石	116	88	11	49.8	欠損

（単位mm，g）



第38図　J－5号住居址出土石器（1～21＝1：2，24～26＝1：3）

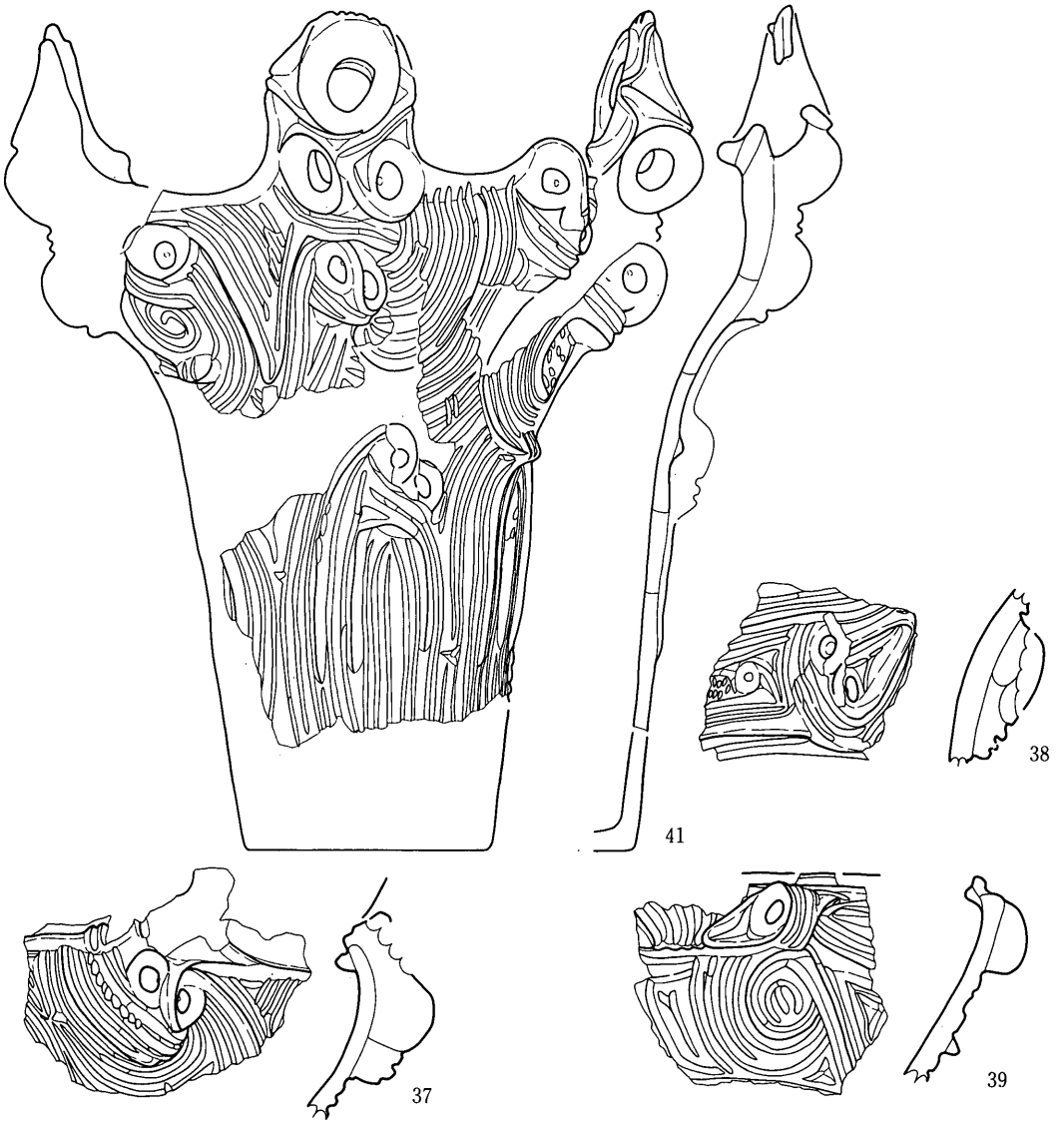


第39図　Ｊ－５号住居址出土石器（１：３）

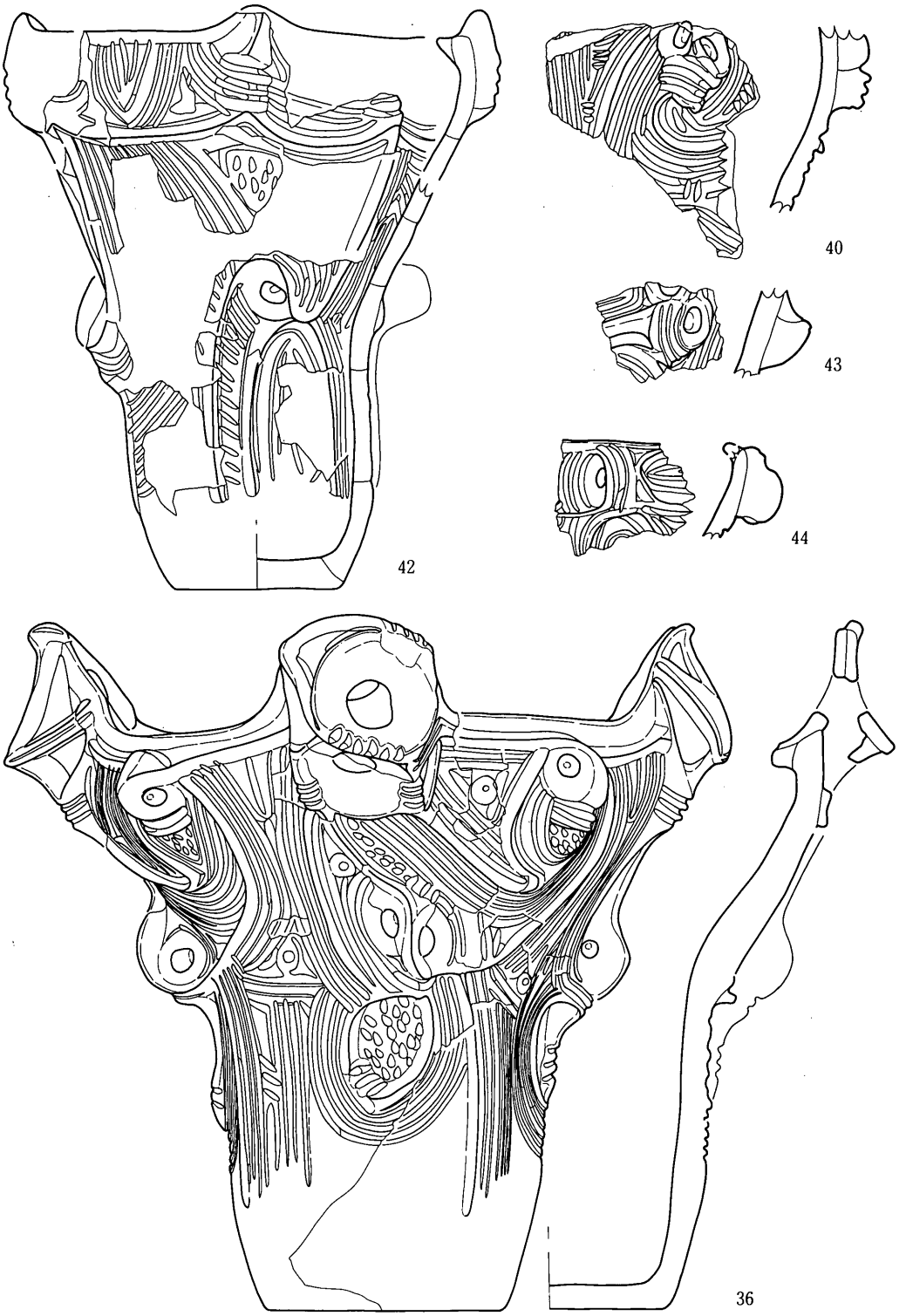
第13表　Ｊ－５号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
23	方　盤	軽　石	85	80	22	66.3	
24	磨　石	安山岩	66	69	69	451.8	欠損
25	磨　石	安山岩	69	57	32	113.5	欠損
26	盤状石皿	安山岩	118	112	25	350.6	欠損
27	スクレイパー	安山岩	44	87	9	36.5	
28	スクレイパー	頁岩Ⅰ	103	75	19	158.5	
29	スクレイパー	頁岩Ⅰ	79	118	15	166.6	
30	スクレイパー	頁岩Ⅰ	117	130	25	272.1	
31	打製石斧	安山岩	84	46	24	109.9	欠損
32	打製石斧	安山岩	62	45	21	65.5	欠損
33	打製石斧	安山岩	107	43	19	88.6	
34	打製石斧	安山岩	129	76	33	325.0	
35	敲　石	安山岩	105	58	42	236.1	

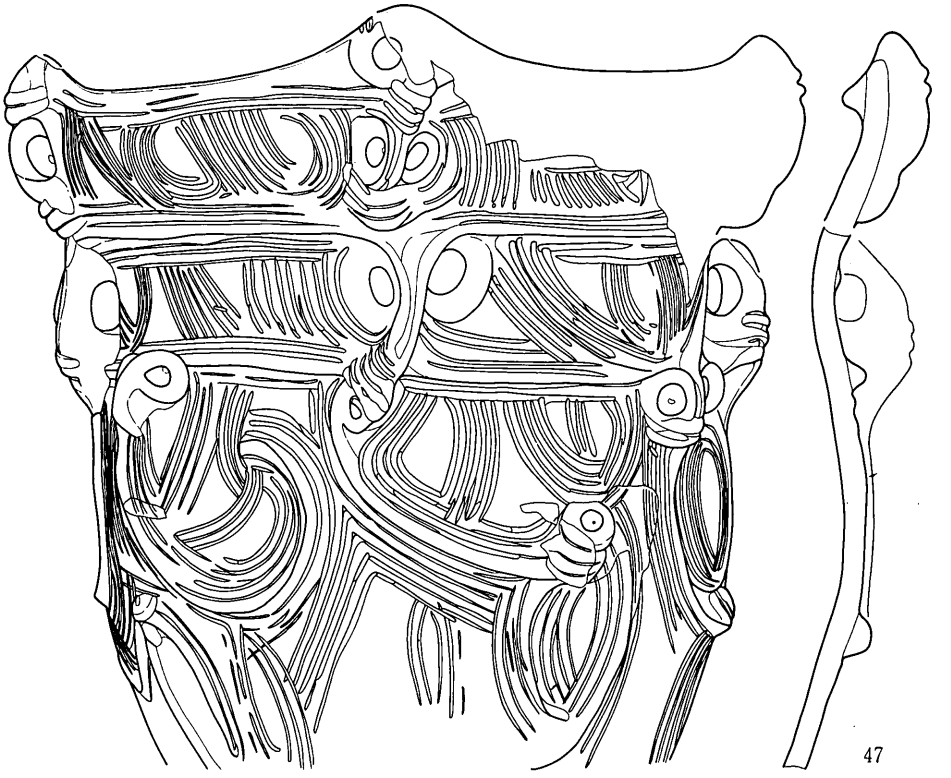
（単位mm，g）



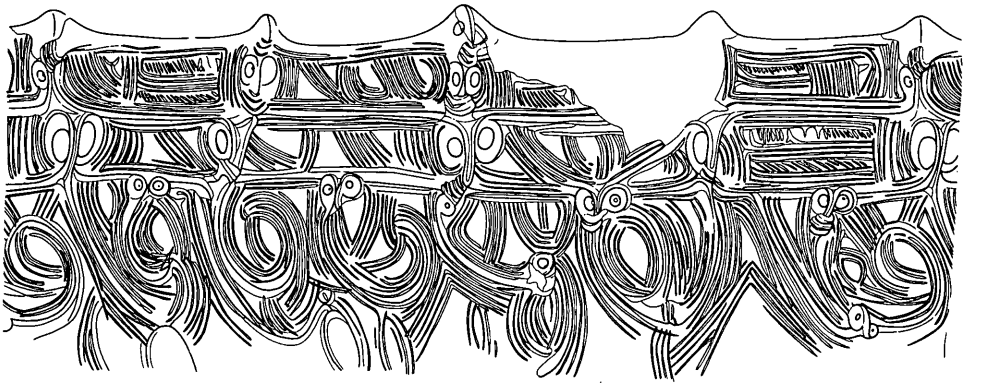
第40図　Ｊ－５号住居址出土土器（１：４）



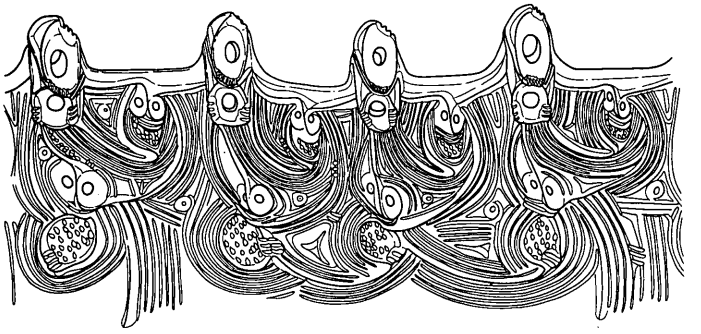
第41図　J－5号住居址出土土器（1：4）



47

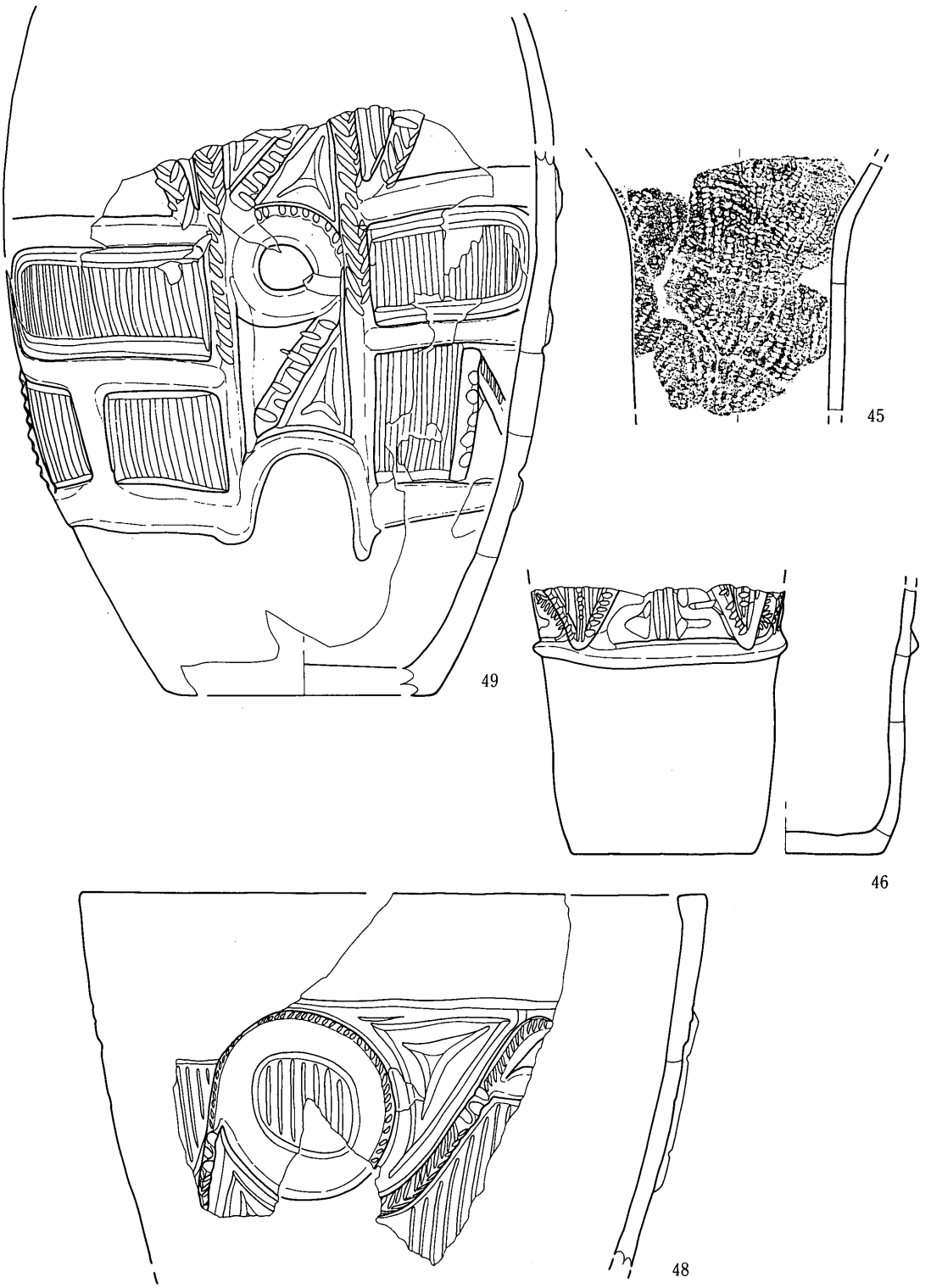


47展開図（1 ： 8）

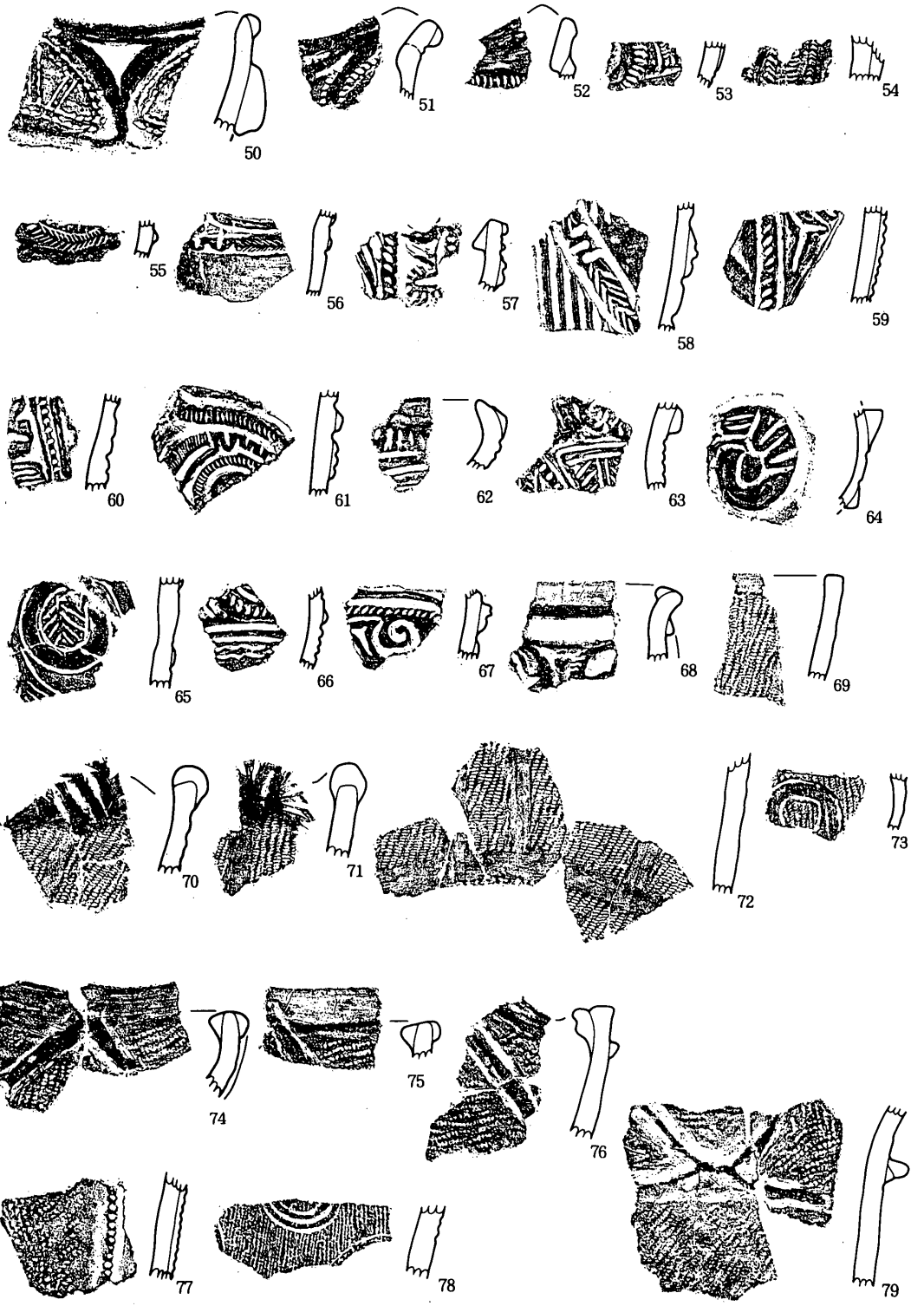


36展開図（1 ： 8）

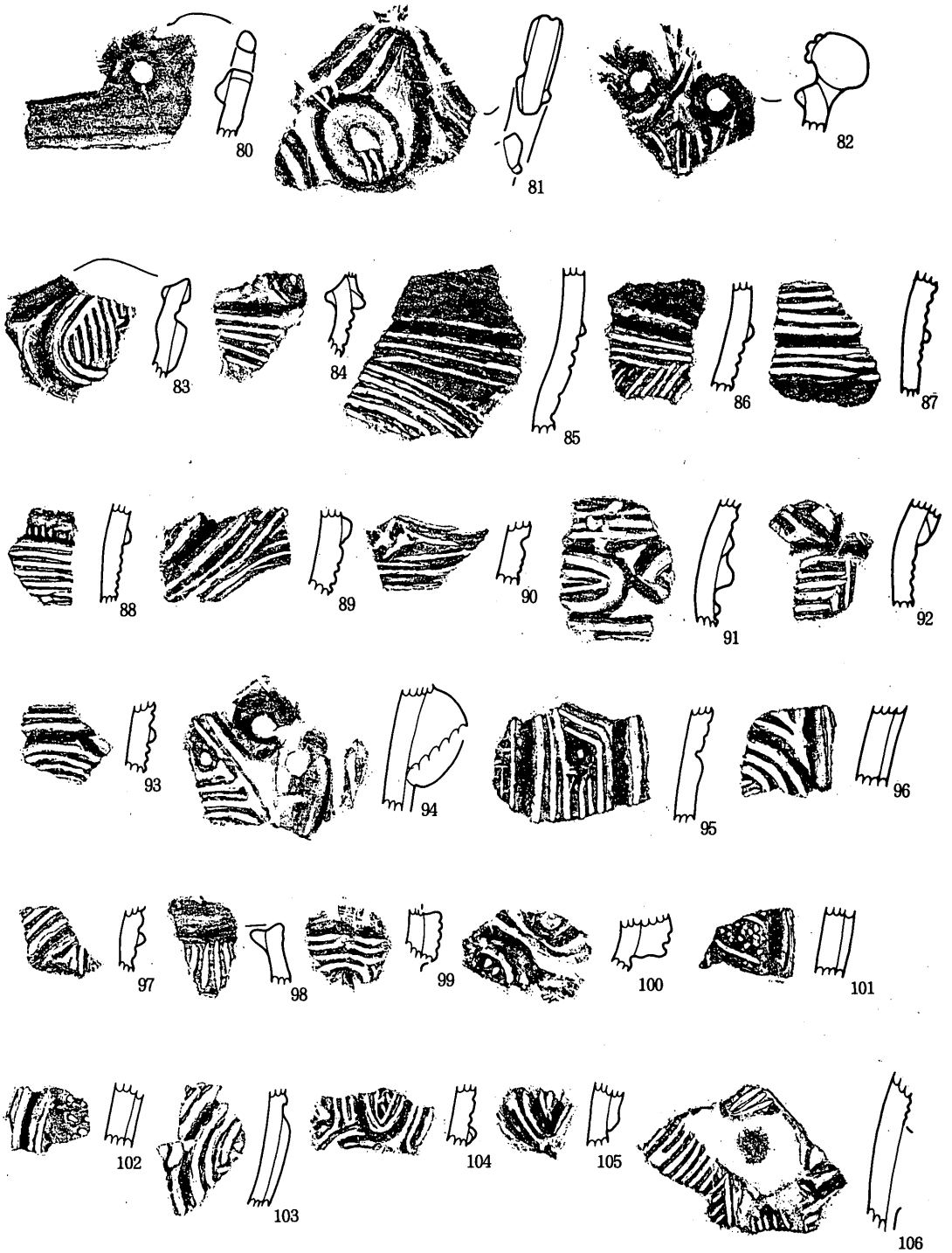
第42図　J－5号住居址
出土土器



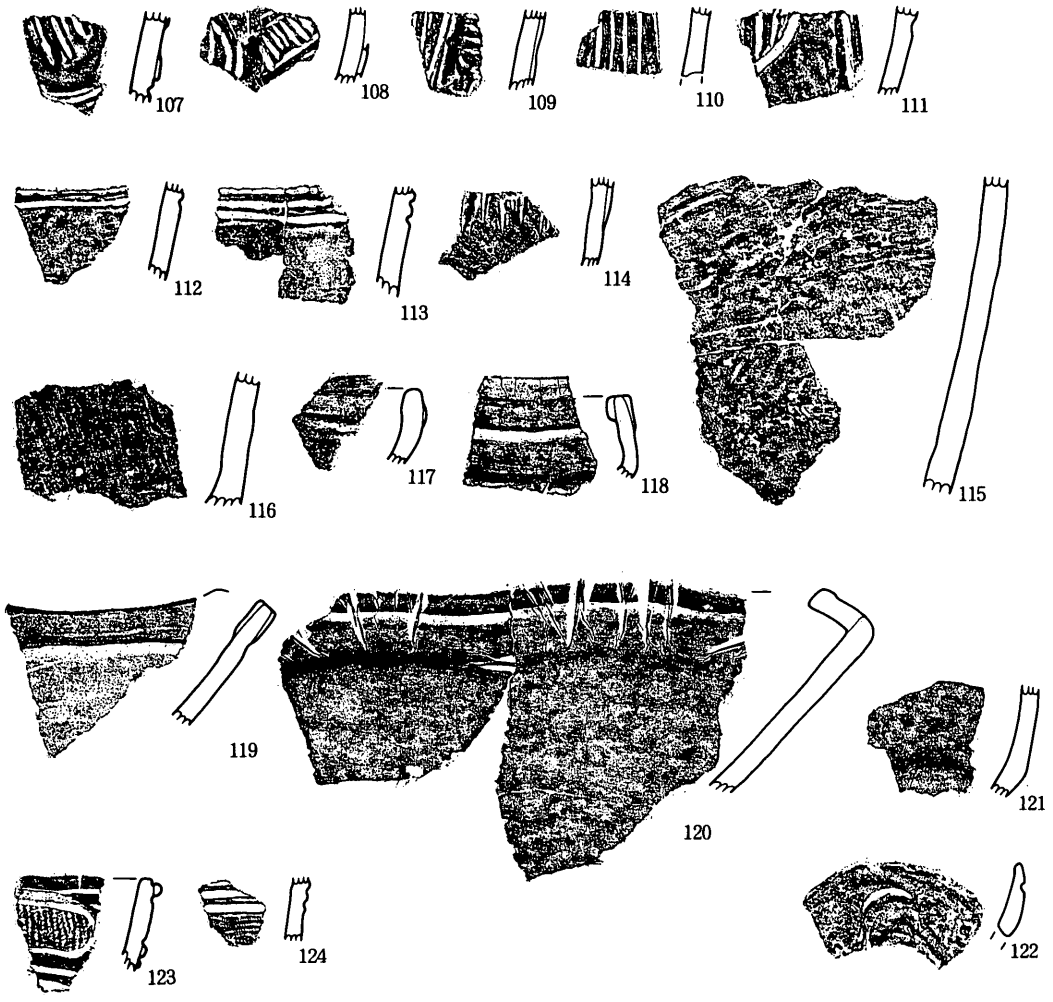
第43図　J－5号住居址出土土器（1：4）



第44図　Ｊ－５号住居址出土土器（１：４）



第45図　J－5号住居址出土土器（1：4）



第46図　Ｊ－５号住居址出土土器（１：４）

第14表　Ｊ－５号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
36	深鉢	口縁↑底部	32.0 41.6 14.0	4単位の刻みのある環状把手 曲隆線、列点刺突	ヨコナデ	角閃石 黒雲母	赤褐色 5YR 4/8	橙色 5YR 6/6	通常	603 505 923	
37	深鉢	口縁	－ － －	眼鏡状突起 曲隆線、沈線に沿い連続刺突	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	650	
38	深鉢	胴部	－ － －	眼鏡状突起 曲隆線、列点刺突	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 5YR 6/6	通常	651	
39	深鉢	口縁	－ － －	環状突起 曲隆線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	597	
40	深鉢	胴部	－ － －	眼鏡状突起 コイル状突起、曲隆線、沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	652	
41	深鉢	口縁↑胴	－ － －	おそらく4単位の環状把手 曲隆線、沈線、列点刺突	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	563 756	

（単位cm）

第15表　J－5号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
42	深鉢	口縁～底部	27.2 34.8 10.0	4単位の波状口縁 環状突起、コイル状突起 列点刺突	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	471 732	
43	深鉢	胴部	－ － －	環状突起 曲隆線、沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	469	
44	深鉢	口縁	－ － －	環状突起 曲隆線、沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/3	通常	626	
45	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/8	にぶい橙色 5YR 6/3	通常	863 914	
46	深鉢	胴部～底部	－ － 11.5	刻みをもつ隆帯 沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/8	にぶい橙色 5YR 6/3	通常	844 785	
47	深鉢	口縁～胴部	(38.8) － －	環状突起、曲隆線 平行沈線、コイル状突起 列点刺突はみられず	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	炉	炉胎土器
48	深鉢	口縁	－ － －	幅広い隆帯とその中を埋める平行沈線、三叉文	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 5YR 6/6	通常	610 620	49と同一個体か？
49	深鉢	胴部～底部	－ － －	刻みのある隆帯による区画内を半隆起線で埋める	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 5YR 6/6	通常	588 212	48と同一個体か？
50	深鉢	口縁	－ － －	隆帯によるＶ字状の添付 複列結節沈線	ヨコミガキ	黒雲母多量	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい黄橙色 10YR 7/2	良	648	
51	深鉢	口縁	－ － －	隆帯とそれに沿うペン先状の連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい褐色 7.5YR 5/3	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	257	
52	深鉢	口縁	－ － －	半截竹管の連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	黒褐色 7.5YR 2/2	明褐色 7.5YR 5/6	通常	315	
53	深鉢	胴部	－ － －	半截竹管の連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	明赤褐色 5YR 5/8	通常	535	
54	深鉢	胴部	－ － －	ペン先状の連続刺突	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤橙色 5YR 5/4	灰褐色 7.5YR 4/2	通常	513	
55	深鉢	胴部	－ － －	隆帯上に連続刺突	ヨコナデ	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	233	
56	深鉢	胴部	－ － －	連続刺突文の施された隆帯沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	699	
57	深鉢	口縁	－ － －	刻みの入る隆帯	ヨコナデ	黒雲母	暗褐色 7.5YR 3/4	橙色 7.5YR 6/6	通常	222	
58	深鉢	胴部	－ － －	隆帯上に矢羽根状の刻み 半截竹管腹面による沈線	ヨコナデ	白色粒子	暗褐色 10YR 3/3	にぶい黄橙色 10YR 7/4	良	638	
59	深鉢	胴部	－ － －	隆帯上に刻み	ヨコナデ	白色粒子	にぶい黄橙色 10YR 6/4	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	663	
60	深鉢	胴部	－ － －	平行沈線内に連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	黒褐色 5YR 2/1	通常	445	
61	深鉢	胴部	－ － －	隆帯上に連続刺突文 隆帯を交互に刻み蛇行状の文様	ヨコナデ	黒雲母	褐色 7.5YR 4/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	220	
62	深鉢	口縁	－ － －	沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	414	
63	深鉢	胴部	－ － －	刻みをもつ隆帯 沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 7.5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	102	
64	深鉢	胴部	－ － －	渦巻き状隆帯に単沈線を施す	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 5YR 6/4	良	198	
65	深鉢	胴部	－ － －	渦巻き状隆帯内に矢羽根状の沈線	タテナデ	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	良	703	
66	深鉢	胴部	－ － －	沈線	ヨコナデ	黒雲多量	にぶい橙色 5YR 6/3	にぶい橙色 5YR 6/4	良	215	

（単位cm）

第16表　J－5号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
67	深鉢	胴部	— — —	渦巻き状沈線 隆帯上に刻み	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	189	
68	深鉢	口縁	— — —	隆帯	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	297	
69	深鉢	口縁	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	良	16	
70	深鉢	口縁	— — —	縄文ＬＲ 口唇にとぐろ状の突起	ヨコナデ	白色粒子	褐灰色 7.5YR 4/1	橙色 7.5YR 6/6	通常	706 551	同一個体
71	深鉢	口縁	— — —	縄文ＬＲ 口唇にとぐろ状の突起	ヨコナデ	白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/4	橙色 7.5YR 6/6	通常	311	
72	深鉢	胴部	— — —	縄文ＬＲ 直交する無文帯	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	495	
73	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ 磨消しによる円形モチーフ	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 7.5YR 2/2	褐色 7.5YR 4/6	通常	212	
74	深鉢	口縁	— — —	平縁、逆Ｖ字状隆帯 縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲多量	にぶい黄褐色 10YR 4/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	305 163	
75	深鉢	口縁	— — —	平縁、逆Ｖ字状隆帯	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい褐色 7.5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	182	
76	深鉢	口縁	— — —	波状口縁、隆帯 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	褐灰色 5YR 4/1	明赤褐色 5YR 5/8	通常	456 212	
77	深鉢	胴部	— — —	垂下する隆帯上に刻み	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/8	通常	143	
78	深鉢	胴部	— — —	Ｕ字状沈線 撚糸文Ｒ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 7/4	にぶい黄橙色 10YR 7/3	通常	659	
79	深鉢	胴部	— — —	隆帯により三角状区画を描出 地文縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	646	
80	深鉢	口縁	— — —	環状突起	ヨコナデ	黒雲母多量	黒褐色 10YR 2/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	214	
81	深鉢	口縁	— — —	環状突起	ナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 6/6	明赤褐色 5YR 6/6	通常	722	
82	深鉢	口縁	— — —	眼鏡状突起	ナデ	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 6/4	明褐灰色 7.5YR 7/2	通常	795	
83	深鉢	口縁	— — —	隆帯による楕円区画内に沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	842	
84	深鉢	口縁	— — —	隆帯と沈線	ヨコナデ	黒雲母	褐灰色 7.5YR 4/1	明褐色 7.5YR 5/6	通常	626	
85	深鉢	胴部	— — —	隆帯による区画内に沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	良	579	同一個体
86	深鉢	胴部	— — —	隆帯による区画内に沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	良	一括	
87	深鉢	胴部	— — —	隆帯と沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	629	
88	深鉢	胴部	— — —	刻みをもつ隆帯 沈線	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/8	明赤褐色 5YR 5/8	通常	201	
89	深鉢	胴部	— — —	隆帯と沈線	ナデ	黒雲母	黒褐色 5YR 2/1	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	817	
90	深鉢	胴部	— — —	沈線	ナデ	黒雲母	赤褐色 5YR 4/6	明赤褐色 5YR 5/8	通常	789	
91	深鉢	胴部	— — —	楕円隆帯の連鎖	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	629	

（単位cm）

第17表　J－5号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
92	深鉢	胴部	— — —	隆帯および沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	一括	
93	深鉢	胴部	— — —	隆帯とそれに沿う沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/8	通常	171	
94	深鉢	胴部	— — —	ねじれた眼鏡状突起と沈線、円文	ヨコナデ	白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/4	明褐色 7.5YR 5/6	通常	618	
95	深鉢	胴部	— — —	垂下隆帯と沈線、円文	タテナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	739	
96	深鉢	胴部	— — —	隆帯および沈線	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 7.5YR 3/1	明褐色 7.5YR 5/8	通常	382	
97	深鉢	胴部	— — —	隆帯と沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	明赤褐色 5YR 5/6	通常	418	
98	深鉢	口縁	— — —	縦位の沈線	ヨコナデ	黒雲母	暗褐色 7.5YR 3/3	明褐色 7.5YR 5/6	通常	455	
99	深鉢	胴部	— — —	突起上に横位の沈線	ヨコナデ	黒雲母	明褐色 7.5YR 5/6	明褐色 7.5YR 5/6	通常	517	
100	深鉢	胴部	— — —	環状突起と列点刺突	ヨコナデ	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/8	通常	621	
102	深鉢	胴部	— — —	垂下隆帯、沈線による円形区画内に列点刺突	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/8	通常	169	
103	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯とそれに沿う沈線内部に列点刺突	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/3	赤褐色 5YR 4/6	通常	632	
104	深鉢	胴部	— — —	隆帯による楕円区画とそれに沿う沈線、列点刺突	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	838	
105	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯	ヨコナデ	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	212	
106	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯と沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/8	通常	184	
107	深鉢	胴部	— — —	渦巻き状の隆帯と沈線	ヨコミガキ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/2	灰褐色 5YR 4/2	通常	1002	
108	深鉢	胴部	— — —	隆帯と沈線	ナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	476	
109	深鉢	胴部	— — —	垂下隆帯と横位の隆帯	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	明赤褐色 5YR 5/8	通常	637	
110	深鉢	胴部	— — —	縦位の平行沈線	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	良	662	
111	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	にぶい黄褐色 10YR 5/4	通常	671	
112	深鉢	胴部	— — —	横位の沈線	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	246	
113	深鉢	胴部	— — —	横位の平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	3389	
114	深鉢	胴部	— — —	縦位の平行沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	656	
115	深鉢	胴部	— — —	無文	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	679 774 740	
116	深鉢	底部付近	— — —		ケズリ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	赤褐色 5YR 4/8	通常	104	
117	深鉢	口縁	— — —	無文	ヨコナデ	白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	366	

（単位cm）

第18表　J－5号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
118	浅鉢	口縁	— — —	無文	ヨコミガキ	白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/6	暗赤褐色 5YR 3/6	通常	368	
119	浅鉢	口縁	— — —	無文	ヨコミガキ	黒雲母多量	暗赤褐色 5YR 3/6	にぶい黄褐色 10YR 5/4	通常	606	
120	浅鉢	口縁	— — —	外面赤色塗彩 内面は不明	ヨコミガキ	白色粒子	赤褐色 5YR 4/8	褐色 7.5YR 4/3	良	631 636	
121	浅鉢	胴部	— — —	無文	ミガキ	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	645	
122	深鉢	突起	— — —	環状突起	ナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	186	
123	深鉢	口縁	— — —	隆帯による楕円区画内に縄文RL	ヨコミガキ	黒雲母	黒褐色 10YR 3/1	にぶい黄褐色 10YR 6/4	通常	33	
124	深鉢	胴部	— — —	沈線 縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 10YR 2/3	灰黄褐色 10YR 4/2	通常	582	

（単位cm）

（6）　J－6号住居址

住居址　　第47図

J－6号住居址は、I－10グリッドにおいて検出された。J－5号住居址と重複し、本住居址が新しい。

本址は、南北4.5m・東西推定4.5mの円形を呈し、床面積15.9m²を測る。壁の残存高は、10～15cmを測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

ピットは、壁際にP_1～P_4が対で配置されるほか、P_5・P_6が存在する。ピットの大きさは、P_1が26×20×58cm、P_2が36×24×68cm、P_3が32×28×82cm、P_4が36×28×54cm、P_5が54×32×54cm、P_6が46×44×32cm、を測る。

住居覆土は、2層に分層された。I層はカーボンを多く含みローム粒子を含む暗褐色土層（10YR3/4）、II層はローム粒子を多量に含む褐色土層（10YR4/4）であった。

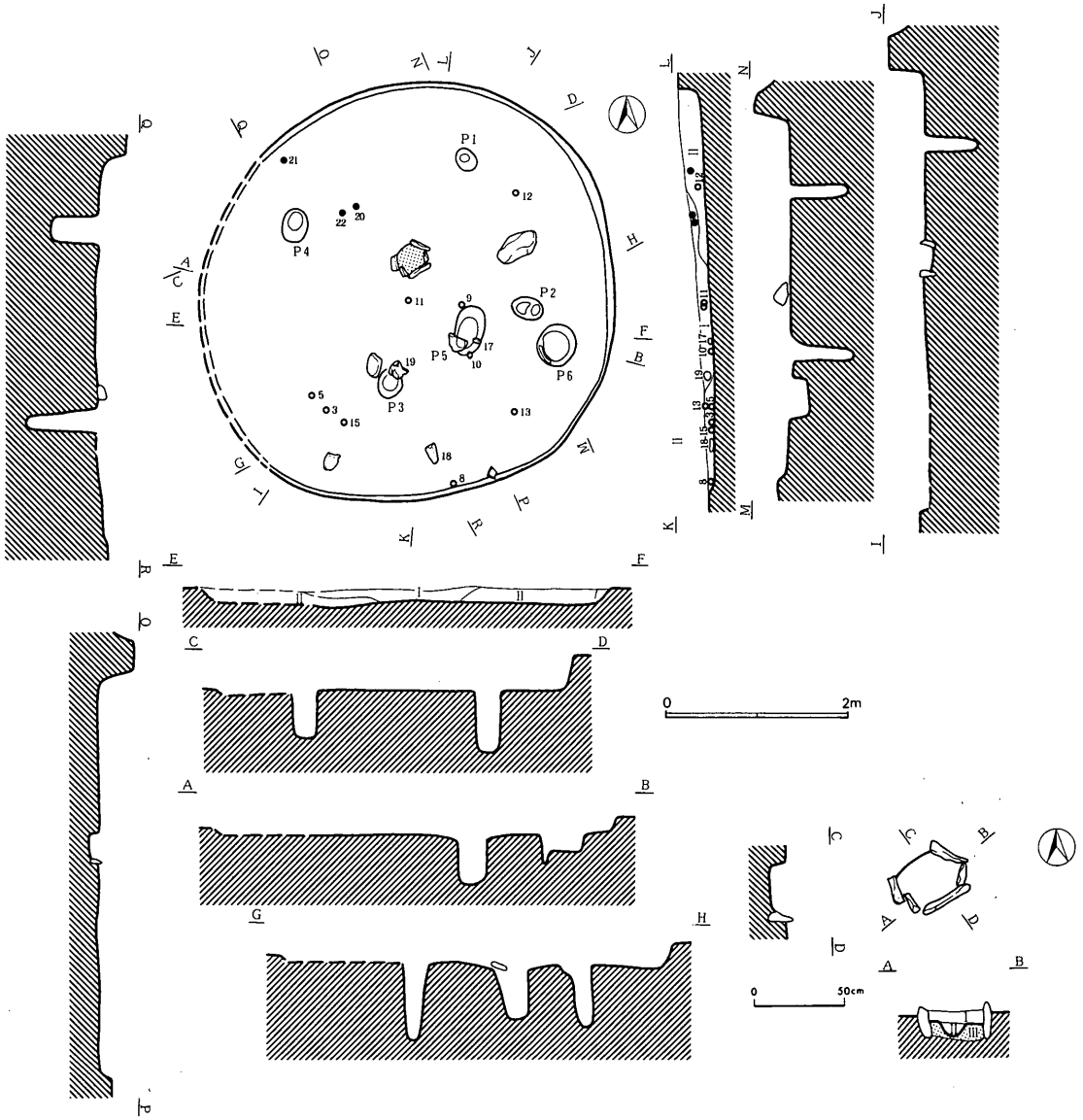
炉　　第47図

炉は、住居址の中央に存在している。安山岩礫5個を配した石囲い炉で、一辺は礫が欠落、48×30cm深さ18cmを測る。

覆土は3層に分層された。I層はカーボンを少量含む褐色土層(10YR4/4)、II層は埋土と考えられ焼土を含まない黄褐色土層（10YR5/8)、III層はカーボンを若干含む褐色土層（10YR3/4）である。III層からみると、炉中にあるいは埋甕が存在した可能性も考えられる。

遺　物　　第48～50図・第19～21表

出土した石器には、石鏃（1・2）・石錐（3）・石核（5・6）・石匙（8）・スクレイパー（9・



第47図　J－6号住居址（住居＝Ⅰ：80，炉＝Ⅰ：40）

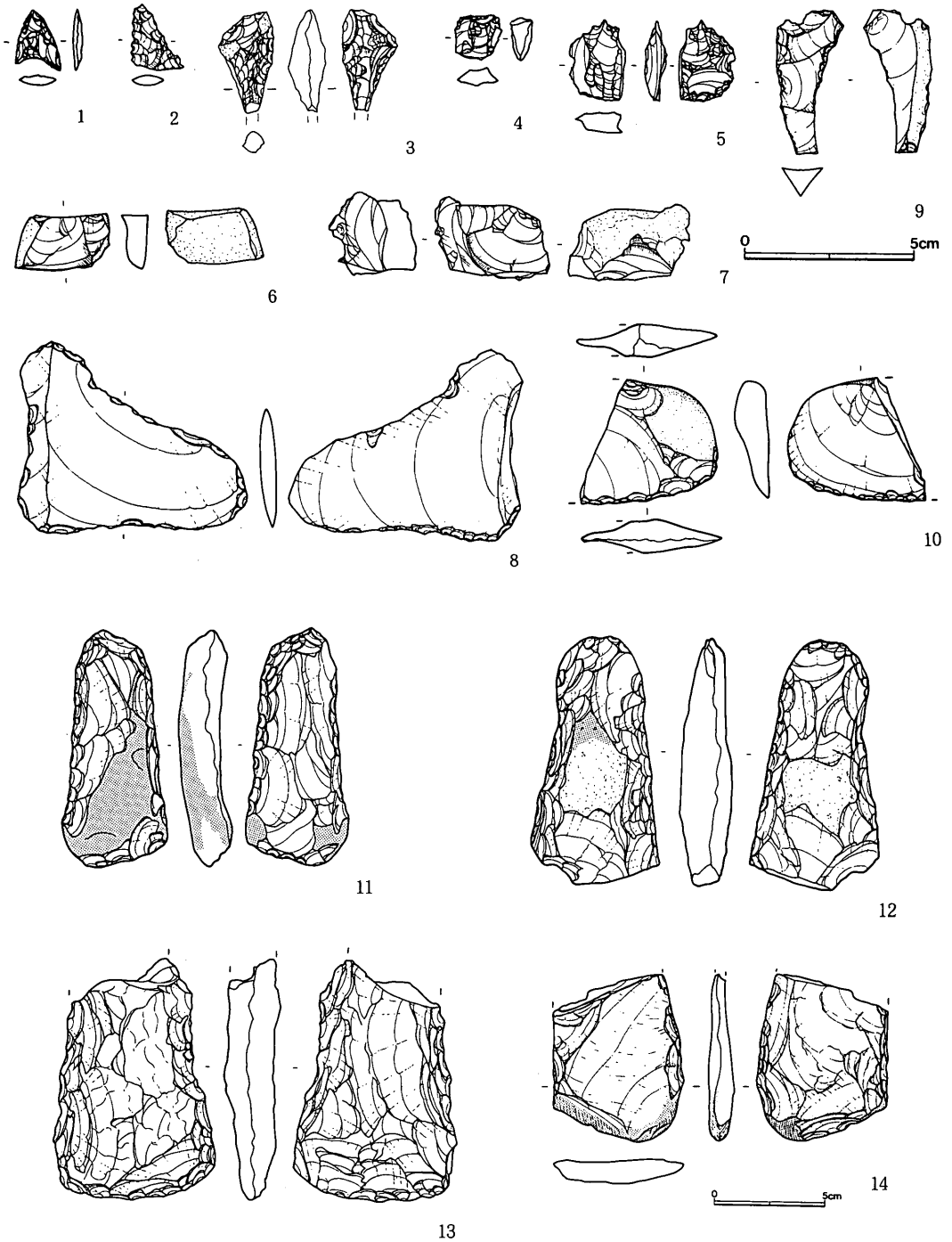
10）・打製石斧（11～14）・磨石（15～17）・石皿（18）がある。

土器はあまり多く出土していない。19の深鉢が遺存のよいもので、曲隆線と平行沈線が口縁部文様帯を構成し、胴下半部が無文の焼町土器の小形深鉢である。20～22・38・39も焼町土器で、眼鏡状突起・曲隆線などの部分である。

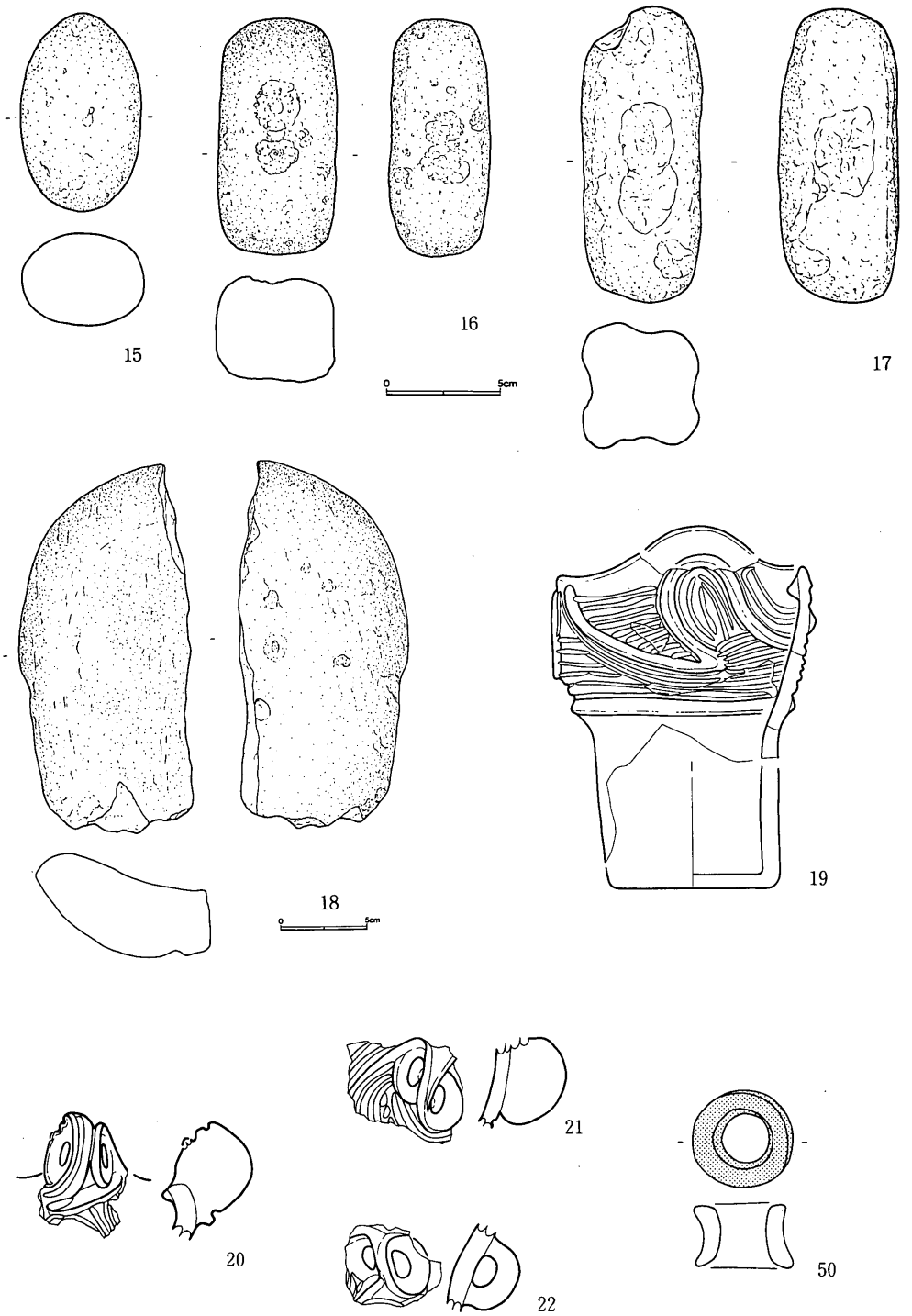
50は赤色塗彩のなされた耳飾りである。

時　期

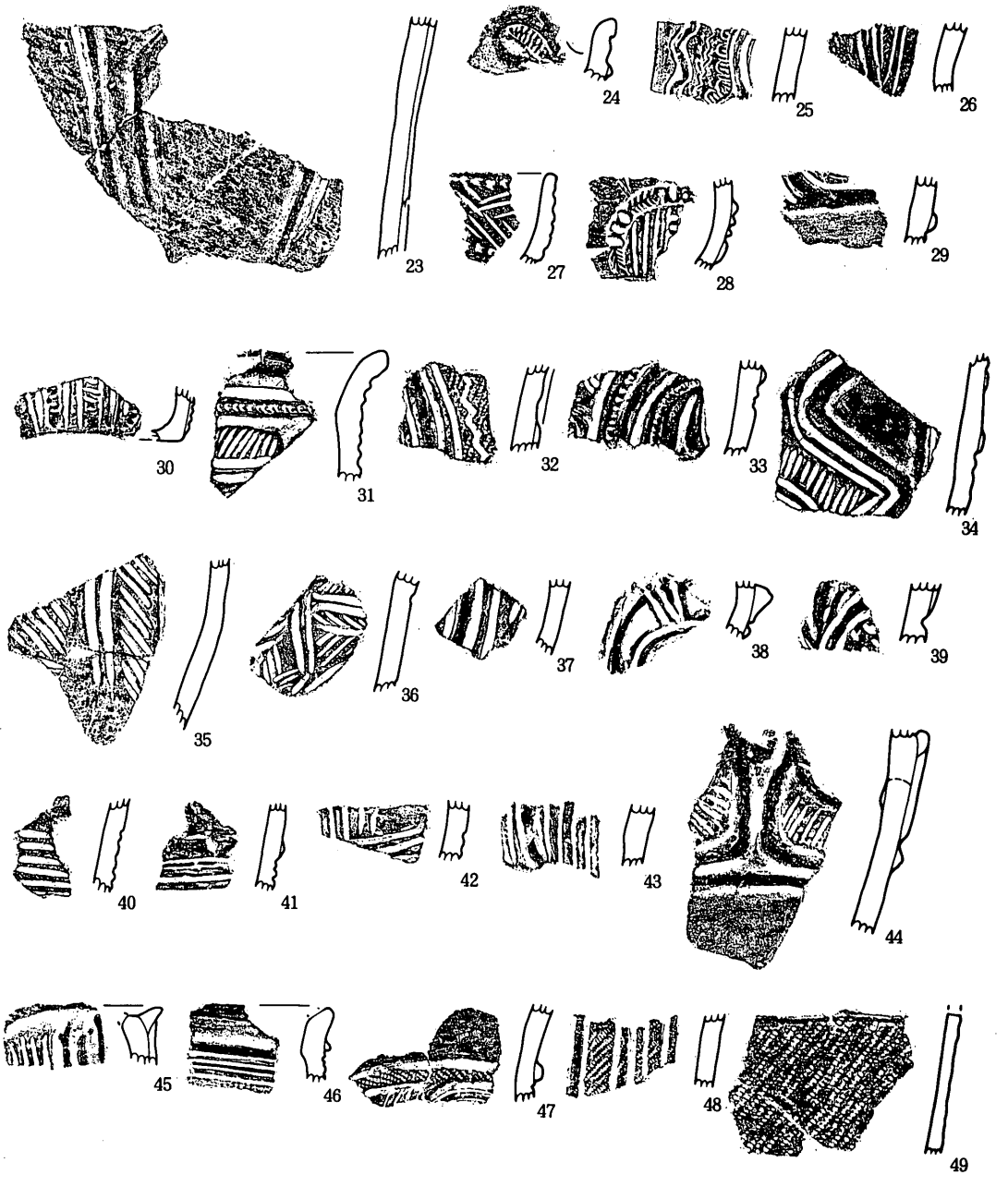
本住居址は、縄文時代中期中葉（川原田遺跡第11期）に位置付けられよう。



第48図　J－6号住居址出土土器（1～9＝1：2，10～14＝1：3）



第49図　J－6号住居址出土遺物(15～17＝1：3，18～22＝1：4，50＝1：2)



第50図　Ｊ－６号住居址出土土器（１：４）

第19表　J－6号住居址出土遺物一覧表　＜石器・耳飾り＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	18	14	3	0.4	
2	石鏃	黒曜石	20	16	4	0.7	欠損
3	石錐	黒曜石	30	16	11	3.8	
4	ピエス・エスキーユ	黒曜石	13	14	6	0.9	
5	ピエス・エスキーユ	黒曜石	23	17	7	2.0	
6	石核	黒曜石	17	29	8	4.8	
7	石核	黒曜石	25	35	35	13.4	
8	石匙	安山岩	56	68	8	23.1	
9	スクレイパー	黒曜石	42	20	9	4.5	
10	スクレイパー	頁岩II	55	62	15	42.2	刃部に光沢あり
11	打製石斧	頁岩II	106	47	25	98.1	
12	打製石斧	安山岩	111	58	24	146.3	欠損
13	打製石斧	安山岩	108	123	25	176.4	欠損
14	打製石斧	安山岩	75	59	12	59.2	欠損
15	磨石	安山岩	85	53	38	232.9	
16	磨石	安山岩	101	45	43	339.4	
17	磨石	安山岩	127	52	51	540.0	
18	石皿	緑泥片岩	210	98	50	1,700.0	欠損
19	耳飾り	土製	28	27	18	11.0	

（単位mm，g）

第20表　J－6号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
19	深鉢	口縁～胴部	14.0 — —	曲隆線とその間を埋める平行沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	通常	382	
20	深鉢	把手	— — —	環状突起 曲隆線	ナデ	黒雲母多量	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	26	
21	深鉢	突起	— — —	眼鏡状突起 曲隆線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	297	
22	深鉢	突起	— — —	環状突起	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	25	
23	深鉢	胴部下半	— — —	垂下する隆帯	タテナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/8	通常	224 155	
24	深鉢	口縁	— — —	沈線による楕円区画内に連続刺突	ナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/8	明赤褐色 5YR 5/8	通常	169	
25	深鉢	胴部	— — —	縦位波状沈線 半截竹管の連続刺突文	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	にぶい赤褐色 5YR 4/4	良	185	
26	深鉢	胴部	— — —	沈線	不明	白色粒子	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	通常	59	
27	深鉢	口縁	— — —	ハの字状の沈線 ペン先状の連結刺突文	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	103	
28	深鉢	胴部	— — —	刻みをもつ隆帯による楕円区画内に平行沈線	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	264	
29	深鉢	胴部	— — —	隆帯	ナデ	白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	55	
30	深鉢	底部	— — —	刻みをもつ垂下隆帯とそれに平行する沈線	ナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/8	通常	324	
31	深鉢	口縁	— — —	半截竹管の連続刺突文 斜位の沈線	ヨコミガキ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	80	
32	深鉢	胴部	— — —	隆帯、波状沈線 地文縄文RL	ナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/3	赤褐色 5YR 4/6	通常	72	
33	深鉢	胴部	— — —	隆帯とそれに沿う沈線 ペン先状の連続刺突文	ナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	110	
34	深鉢	胴部	— — —	蛇行する隆帯とそれに沿う沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい褐色 7.5 4/3	明褐色 7.5YR 5/6	通常	80	

（単位cm）

第21表　Ｊ－６号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
35	深鉢	胴部	—	垂下する沈線と斜めの平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	褐色 7.5YR 4/4	明褐色 7.5YR 5/6	通常	212	
36	深鉢	胴部	—	沈線をハの字状に配する	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	206	
37	深鉢	胴部	—	沈線と隆帯	ヨコナデ	黒雲母多量	褐色 7.5YR 4/4	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	P_3	
38	深鉢	胴部	—	突起より隆線が伸びる	ヨコナデ	黒雲母	にぶい黄褐色 10YR 4/3	褐色 10YR 4/4	通常	121	
39	深鉢	胴部	—	隆帯、沈線、列点刺突	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	151	
40	深鉢	胴部	—	平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	灰褐色 7.5YR 4/2	明褐色 7.5YR 5/6	通常	11	
41	深鉢	胴部	—	隆帯と平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 6/3	通常	65	
42	深鉢	胴部	—	沈線	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	18	
43	深鉢	胴部	—	隆帯とそれに平行する沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 5/3	にぶい黄橙 10YR 7/3	通常	316	
44	深鉢	胴部	—	渦巻き状の突起から垂下する隆帯区画内に斜位の沈線	ヨコナデ	黒雲母	暗褐色 10YR 3/3	明褐色 7.5YR 5/6	通常	179	
45	深鉢	胴部	—	隆帯と沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	明褐色 7.5YR 5/6	通常	330	
46	深鉢	胴部	—	横位の隆帯と平行する沈線 地文に縄文	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/3	赤褐色 5YR 4/6	通常	155	
47	深鉢	口縁付近	—	隆帯上に縄文ＲＬ	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/8	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	117	
48	深鉢	胴部	—	地文に縄文ＲＬ 縦位の沈線	不明	白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 7/4	橙色 7.5YR 6/6	通常	109	
49	深鉢	胴部	—	縄文ＲＬ	ヨコナデ	白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/6	明赤褐色 5YR 5/8	通常	52	

（単位cm）

（７）　Ｊ－７号住居址

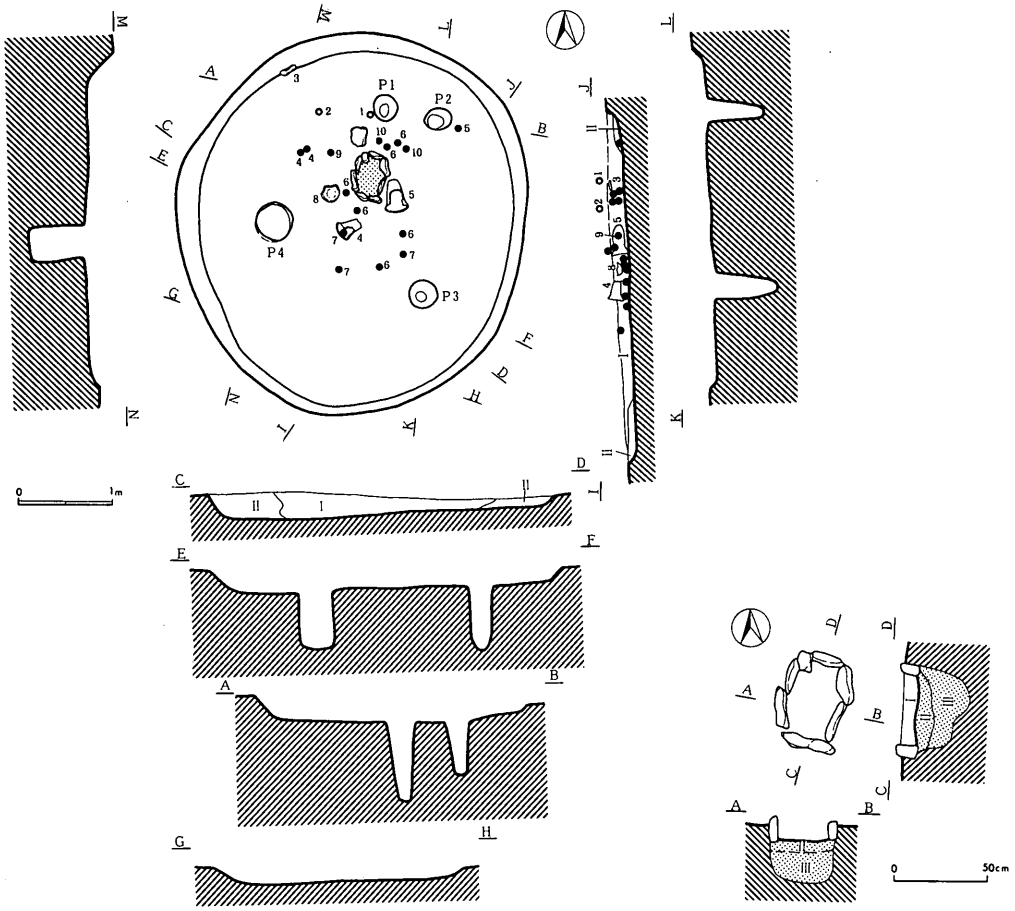
住居址　　第51図

Ｊ－７号住居址は、Ｈ－11グリッドにおいて検出された。Ｊ－５号住居址と重複するが、本址が新しい。

本址は、南北4.0ｍ・東西3.7ｍの円形を呈し、床面積9.9㎡を測る。壁の残存高は、10～20cmを測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

ピットは、P_1～P_4が不規則ともいえる配置で検出された。柱穴と考えられるのはP_1・P_2・P_3である。P_4は柱かどうかはわからない。ピットの大きさは、P_1が28×26×84cm、P_2が30×22×60cm、P_3が30×30×68cm、P_4が42×40×60cmを測る。

住居覆土は、２層に分層された。Ⅰ層はローム粒子を多く含み若干のカーボンを含む暗褐色土



第51図　J－7号住居址（住居＝1：80，炉＝1：40）

層(10YR3/4)、II層はローム粒子を大量に含み人為的な埋土の可能性のある黄褐色土層(10YR5/6）であった。

炉　　第51図

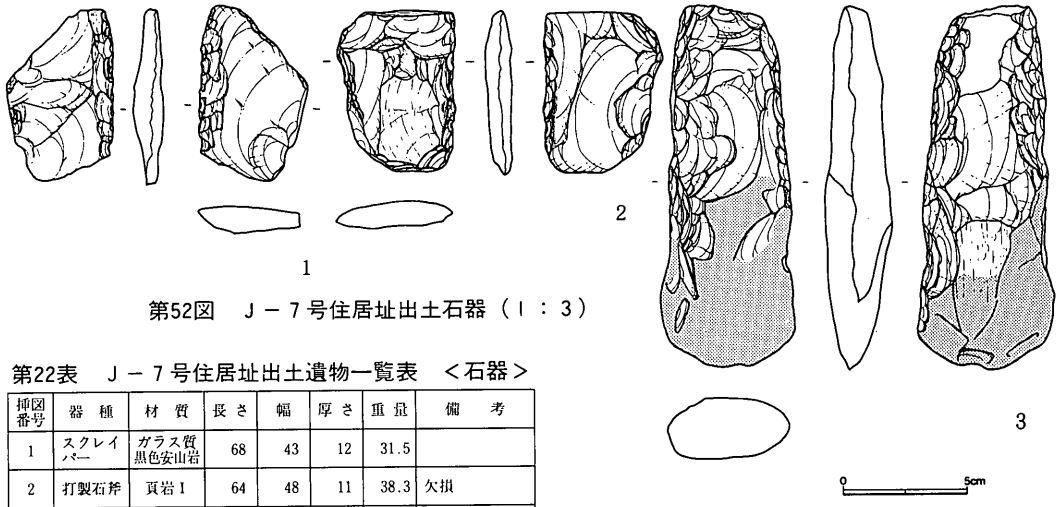
炉は、住居址の中央よりやや南よりに存在している。安山岩礫7個を配した長方形の石囲い炉で、55×40cm深さ35cmを測る。

覆土は3層に分層された。I層はカーボン・焼土を若干含む褐色土層（7.5YR4/3)、II層は火床でロームをブロック状に含み焼土を含まない褐色土層(10YR4/4)、III層はローム粒子をよく含む暗褐色土層（10YR3/4）である。

遺　物　　第52～54図・第22～24表

遺物は、石器ではスクレイパー（1）・打製石斧（2・3）が出土したのみである。

土器は少ないが、良好なものでは炉の周囲に遺存していた曽利I式の深鉢4・5がある。4は



第52図　Ｊ－７号住居址出土石器（１：３）

第22表　Ｊ－７号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	スクレイパー	ガラス質黒色安山岩	68	43	12	31.5	
2	打製石斧	頁岩Ⅰ	64	48	11	38.3	欠損
3	打製石斧	頁岩Ⅱ	143	55	27	242.7	

（単位mm，g）

頸部に蛇行する粘土紐を貼り付け、口唇から胴部にかけて刻みのある垂下隆線が飾るもので、その垂下隆線の中途には渦巻き状の貼り付けと環状突起がつく。胴部は縦位の平行沈線とＵ字状・逆Ｕ字状の沈線で埋められ、その間をまま連点が埋める。５は口縁に２単位２条の太い垂下隆線が貼り付けられ、胴部は横位の沈線（半隆起線）で区画された後縦位の平行沈線（半隆起線）で埋められている。

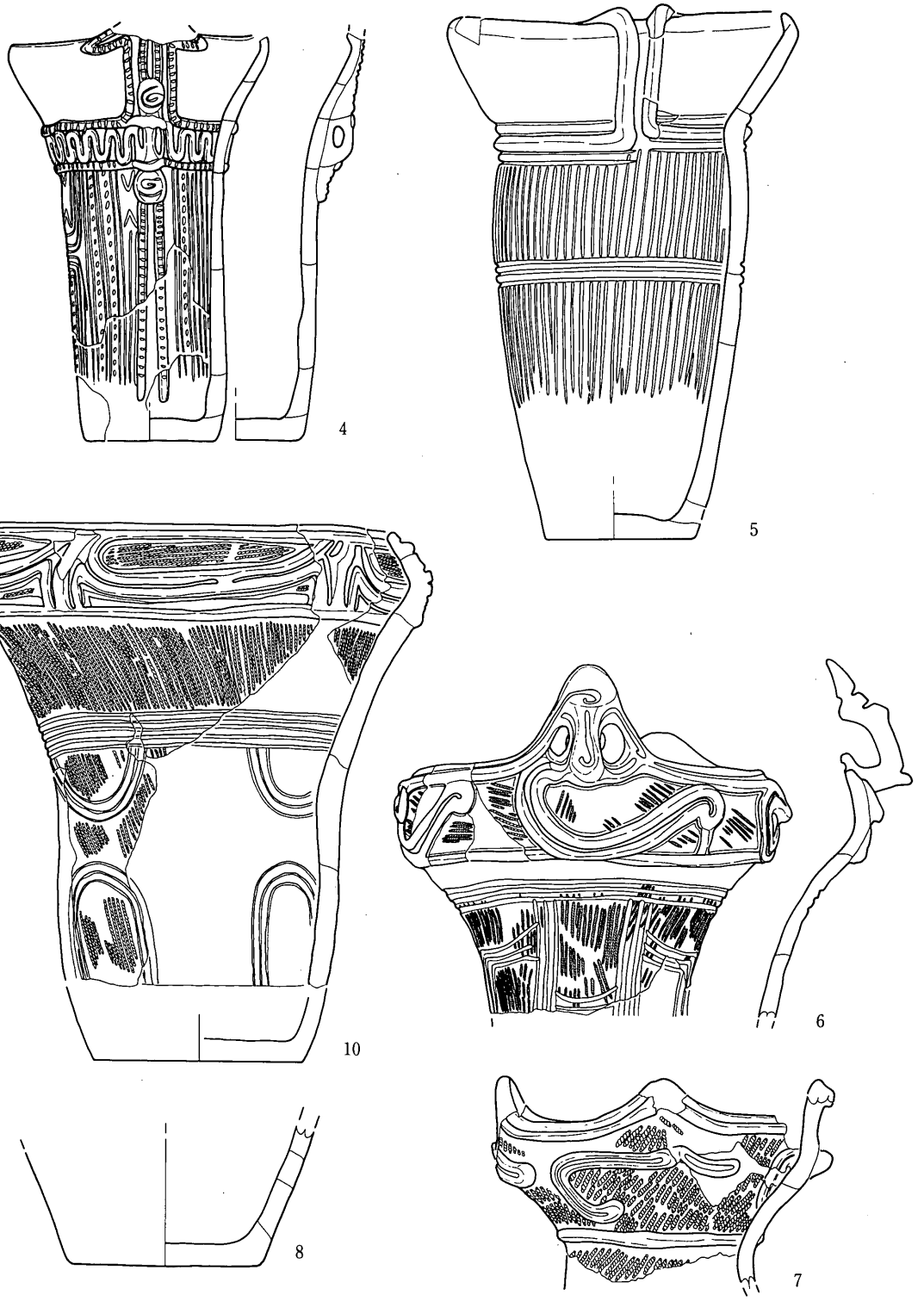
６・７は加曽利Ｅ２式の土器である。６は横位の隆線による口縁の区画内に２条の隆線によって横Ｓ字状文が施され、口唇には沈線でアレンジされた環状把手がつき、胴部には３条の沈線が縦横に施される。地文は撚糸文である。７は、４単位の波状口縁で横位の隆線による口縁の区画内に２条の隆線によって横しの字状文が施される。地文は縄文である。

10は口縁部に横位の撚糸文、口縁部以下には縦位の撚糸文が地文として施され、口縁部には隆線・沈線によって涙状の区画が描かれる。

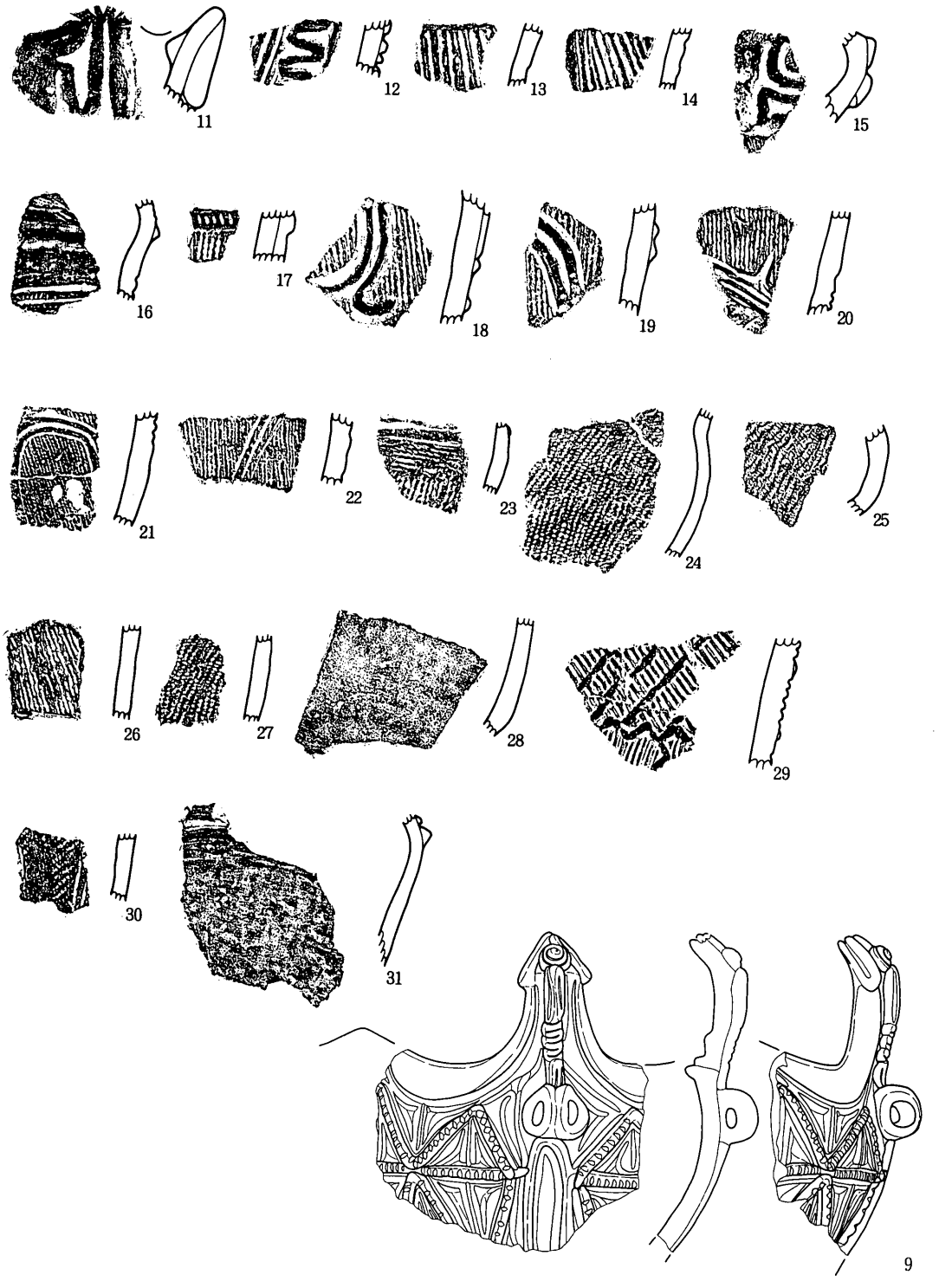
９は蛇体把手で蛇体頭部には渦巻き状の貼り付けがなされている。この破片は炉のそばから置かれたような状態で出土し、破損後も象徴的な意味で保有されていたかのようである。

時　期

本住居址はまとまりのある曽利Ⅰ式土器などから、縄文時代中期後葉（川原田遺跡第12期）に位置付けられよう。



第53図　J－7号住居址出土土器（1：4）



第54図　Ｊ－７号住居址出土土器（１：４）

第23表　J－7号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
4	深鉢	口縁 ～ 底部	16.0 22.3 8.0	刻みのある隆帯 粘土紐を横に蛇行させ貼付 縦位の平行沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	125	
5	深鉢	口縁 ～ 底部	20.0 32.0 9.2	胴部に横位の半隆起線を施し、その中を縦位の半隆起線で埋める	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	124	内面底部にこげつき
6	深鉢	口縁 ～ 胴部	21.0 － －	沈線をもつ環状把手 2条の横S字状隆線 撚糸文R	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	86 124 824	
7	深鉢	口縁	17.0 － －	2条の隆線による横Lの字状文 縄文LR、波状口縁	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	96 100	
8	深鉢	底部	－ － 11.0	底部付近は文様なし	ヨコナデ	角閃石	橙色 7.5YR 7/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	90	
9	深鉢	口縁	－ － －	把手は蛇体をモチーフ 環状突起 刻みのある隆帯による鋸歯状文	ヨコナデ	角閃石多量	橙色 5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	80	
10	深鉢	口縁 ～ 胴部	－ －	口辺部は、5分割して、2条の曲隆線を横に連結する撚糸文R	ヨコナデ	角閃石多量	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 5YR 6/3	通常	84 62	
11	深鉢	口縁	－ － －	沈線に刻まれた突起	ヨコミガキ	白色粒子	赤褐色 5YR 4/8	橙色 5YR 6/6	通常	88	
12	深鉢	胴部	－ － －	蛇行する隆帯 平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 4/4	橙色 5YR 6/6	通常	62	
13	深鉢	胴部	－ － －	平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 4/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	66	
14	深鉢	胴部	－ － －	垂下する隆帯と平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 4/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	48	
15	深鉢	口縁	－ － －	蛇行する隆帯とその内側に縄文RL	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 4/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	82	
16	深鉢	胴部	－ － －	平行する沈線間に縄文 隆帯	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	126	
17	深鉢	胴部	－ － －	刻みをもつ横位の隆帯 撚糸文R	ヨコナデ	白色粒子	黒褐色 7.5YR 3/1	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	33	
18	深鉢	胴部	－ － －	カギ状に巻く隆帯 地文は撚糸文R	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	27	
19	深鉢	胴部	－ － －	曲隆線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	26	
20	深鉢	胴部	－ － －	平行する沈線 地文縄文RL	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	105	
21	深鉢	胴部	－ － －	沈線による楕円区画 地文に撚糸文R	タテナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	一括	10と同一個体
22	深鉢	胴部	－ － －	沈線 地文に撚糸文R	ナデ	白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	通常	164	
23	深鉢	胴部	－ － －	撚糸文L	ナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	通常	111	
24	深鉢	胴部	－ － －	縄文LR	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	100	
25	深鉢	胴部	－ － －	縄文RL	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	54	
26	深鉢	胴部	－ － －	縄文RL	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	104	
27	深鉢	胴部	－ － －	縄文LR	ヨコナデ	黒雲母少量	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/4	通常	101	
28	浅鉢	胴部	－ － －	内面赤色塗彩	ミガキ	白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	上部一括	

（単位cm）

第24表　Ｊ－７号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
29	深鉢	胴部	－ － －	地文に平行する半隆起線 細い粘土紐を添付	ナデ	白色粒子	灰褐色 5YR 4/2	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	Ｊ－７ の東	遺構外
30	深鉢	胴部	－ － －	縦の沈線 縄文ＲＬ	タテナデ	白色粒子	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	Ｊ－７ の東	遺構外
31	深鉢	胴部	－ － －	隆帯	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	Ｊ－７ の東	遺構外

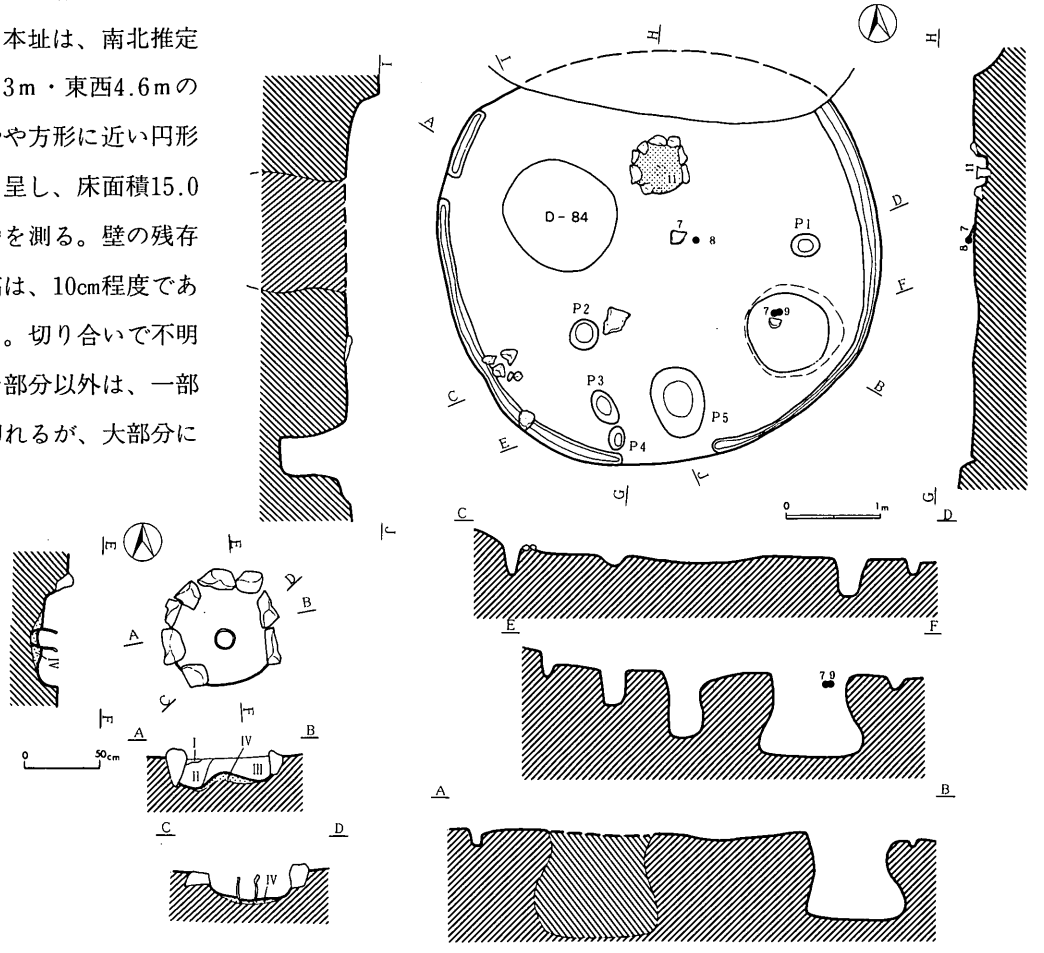
（単位cm）

（８）　Ｊ－８号住居址

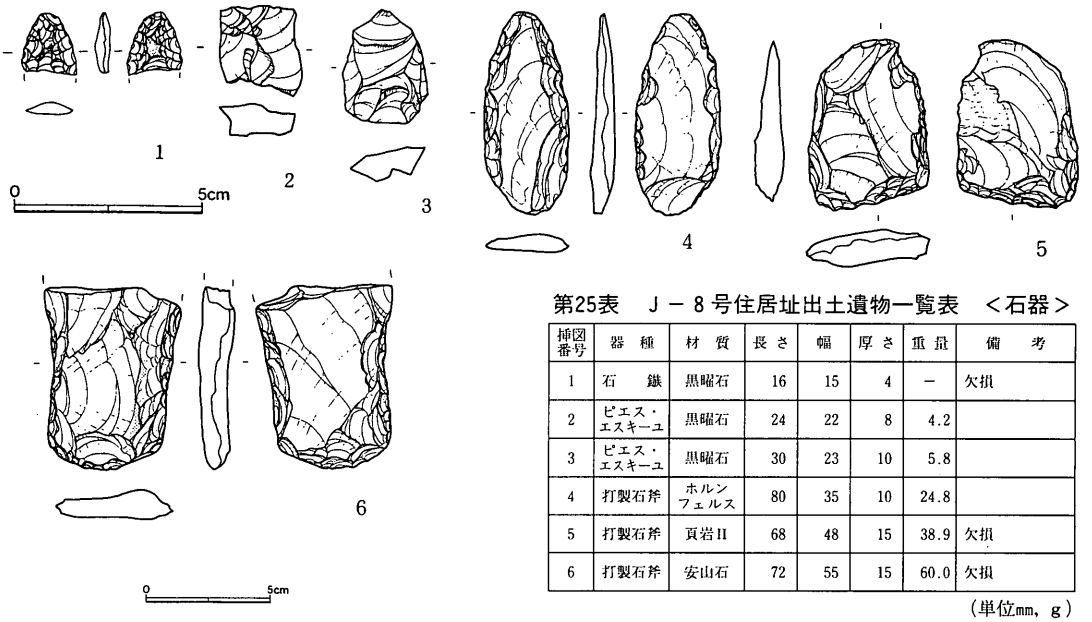
住居址　　第55図

Ｊ－８号住居址は、Ｊ－５グリッドにおいて検出された。平安時代のＨ－11・19号住居址に切られて存在する。またＤ－84号土坑と重複するが、新旧関係は不明である。

本址は、南北推定4.3ｍ・東西4.6ｍのやや方形に近い円形を呈し、床面積15.0㎡を測る。壁の残存高は、10cm程度である。切り合いで不明な部分以外は、一部切れるが、大部分に



第55図　Ｊ－８号住居址（住居＝１：80，炉＝１：40）



第25表　J－8号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	16	15	4	－	欠損
2	ピエス・エスキーユ	黒曜石	24	22	8	4.2	
3	ピエス・エスキーユ	黒曜石	30	23	10	5.8	
4	打製石斧	ホルンフェルス	80	35	10	24.8	
5	打製石斧	頁岩II	68	48	15	38.9	欠損
6	打製石斧	安山石	72	55	15	60.0	欠損

（単位mm，g）

第56図　J－8号住居址出土石器（1～3＝1：2，4～6＝1：3）

幅10～20cm深さ10～30cmの壁溝が巡る。床面は貼り床である。

ピットは、P_1～P_5が検出されているが、P_1・P_2が対をなす柱穴と考えられる。ピットの大きさは、P_1が30×24×38cm、P_2が30×30×10cm、P_3が40×22×38cm、P_4が24×18cm、P_5が74×54×70cmを測る。また、セクションポイントBよりには、90×85×80cmの袋状土坑が検出された。

住居セクションは削平により観察不能であった。

炉　　第55図

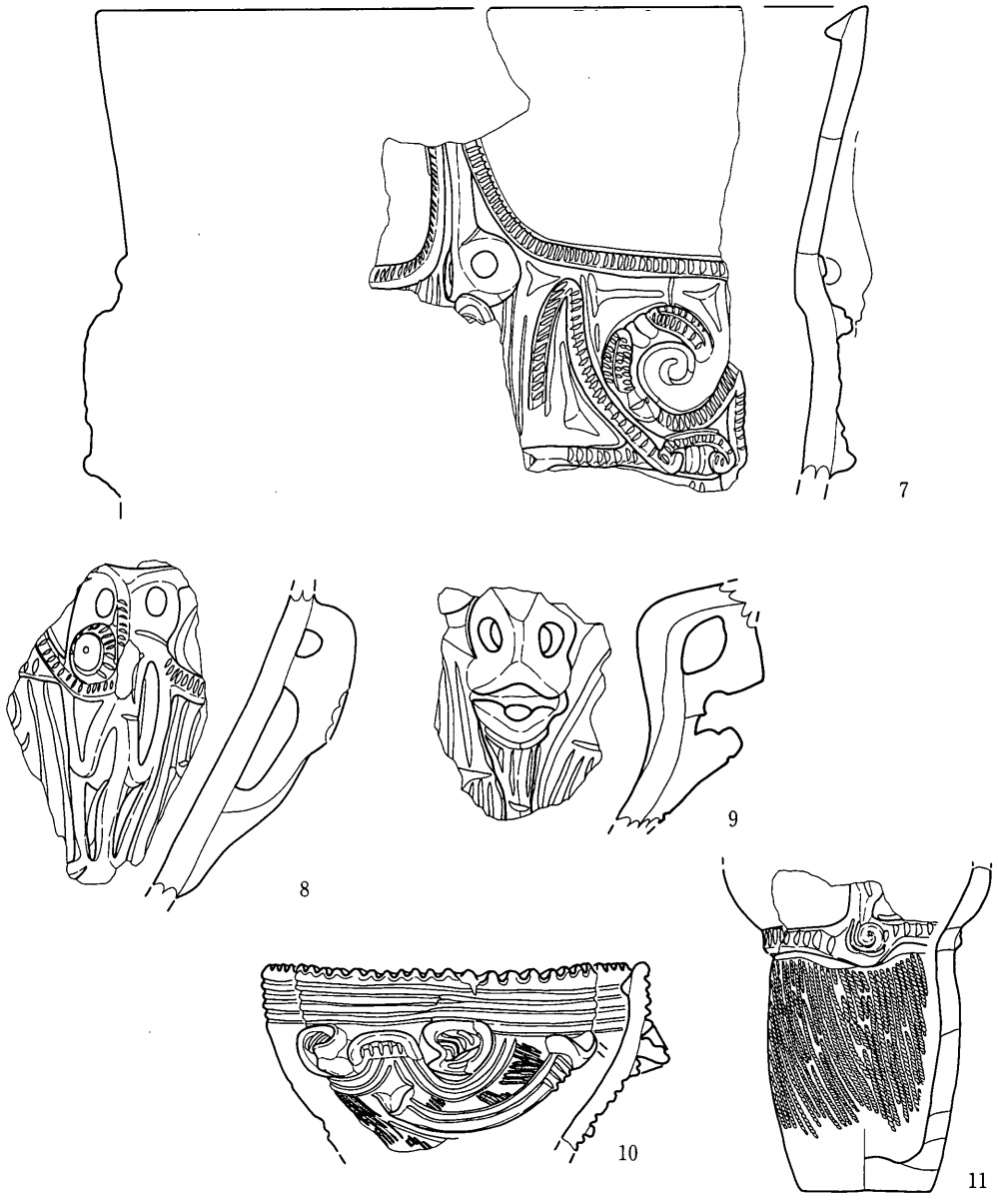
炉は、住居址の中央より北よりに存在している。安山岩礫8個を配した円形の石囲い炉で、南側の一辺は石材が抜き取られたのか石がみられない。60×60cm深さ18cmを測る。炉の中央には深鉢11が据えられていた。

炉の覆土は4層に分層された。I層が焼土層で極暗赤褐色土層（5YR2/3）、II層はカーボンを若干含む暗褐色土層（10YR3/4）、III層はカーボン・焼土を若干含む褐色土層（10YR4/6）、IV層はカーボン・焼土を含まない黄褐色土層（10YR5/6）である。

遺　物　　第57～59図・第25～28表

遺物は、石器では石鏃（1）・ピエス・エスキーユ（2・3）・打製石斧（4～6）が出土している。

土器は、炉の中央に残された11の資料が良好である。口縁部は無文、胴部に撚糸文を施し、頸部に刻みのある隆帯が横位に巡り、突起で結ばれている。また、10は鋸歯状態の口縁と曲隆線を

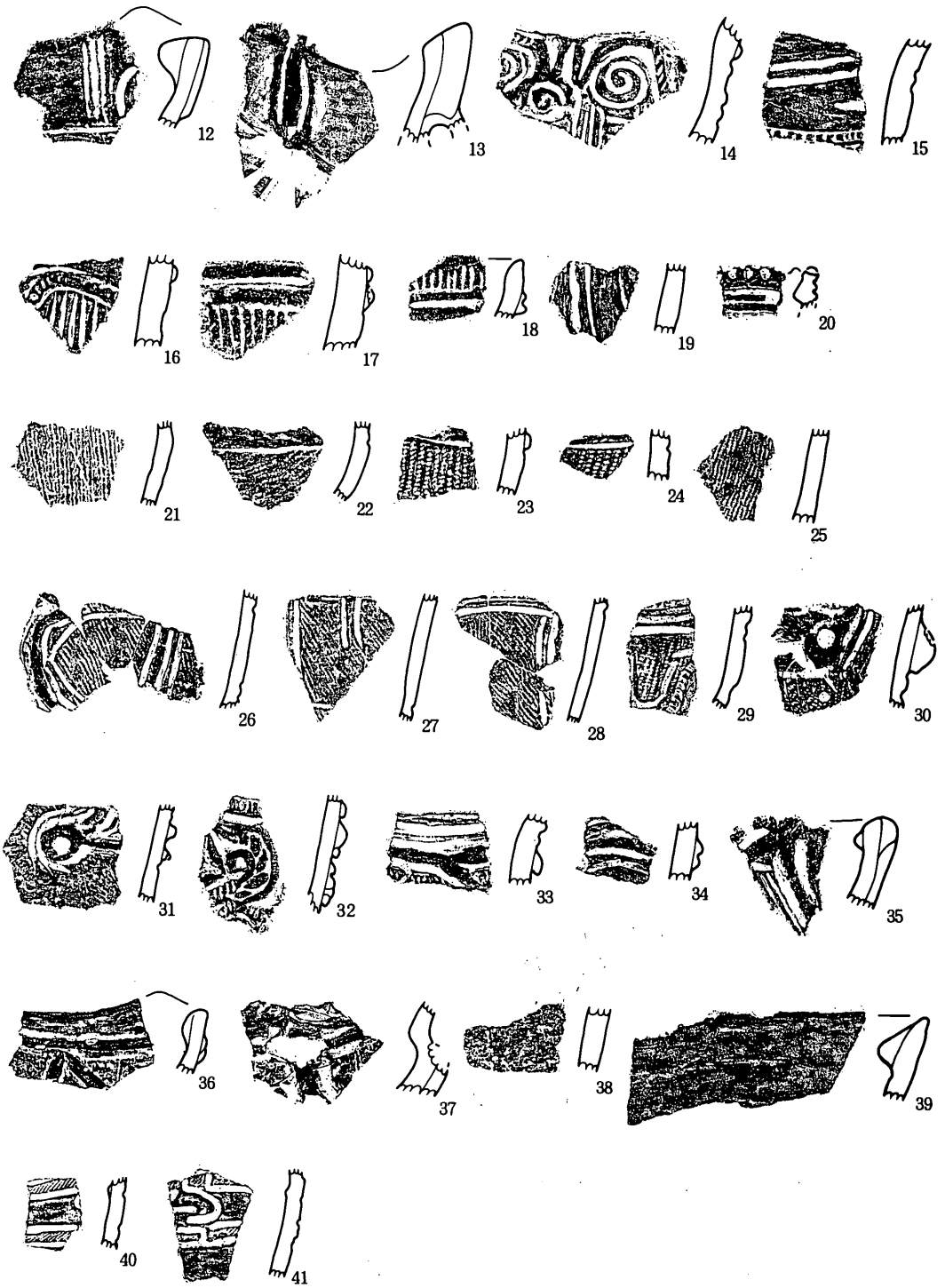


第57図　Ｊ－８号住居址出土土器（１：４）

もち地文に縄文が施された焼町系の深鉢である。

時　期

本住居址は、各期資料の混在が目立つが、10の資料をもって、縄文時代中期中葉（川原田遺跡第11期）に位置付けられようか。



第58図　Ｊ－８号住居址出土土器（１：４）

第59図　Ｊ－８号住居址出土土器（１：４）

第26表　Ｊ－８号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
7	深鉢	口縁	(40.8) － －	環状突起 刻みのある隆帯を縦横渦巻き状に施す	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 5YR 7/4	通常	1・3	
8	深鉢	突起	－ － －	環状突起 刻みのある隆帯	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/6	通常	2	
9	深鉢	突起	－ － －	顔面状の突起	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	1	

（単位cm）

第27表　J－8号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
10	深鉢	口縁	(20.0) — —	鋸歯状口唇、半隆起線 地文縄文ＲＬ 曲隆線	ヨコミガキ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	外北側	
11	深鉢	口縁 ↓ 底部	— — 7.0	頸部に刻みのある隆帯 撚糸文Ｒ	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	4	
12	深鉢	口縁	— — —	３条の縦位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 7/3	通常	北側	
13	深鉢	口縁	— — —	突起上に２条の沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	北側	
14	深鉢	胴部	— — —	渦巻き状の突起および渦巻き状沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	2	
15	深鉢	胴部	— — —	平行沈線 半截竹管の連続刺突	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	北側	
16	深鉢	胴部	— — —	刻みのある隆帯による楕円区画内に平行沈線	ナデ	黒雲母	橙色 5YR 7/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	北側	
17	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯と縦位の平行沈線	不明	白色粒子	灰褐色 5YR 4/2	にぶい褐色 5YR 5/4	不良	北側	
18	深鉢	口縁	— — —	横位隆帯と縦位の平行沈線	不明	白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	不良	北側	
19	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコミガキ	白色粒子	黒褐色 7.5YR 3/1	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	II区	
20	深鉢	口縁	— — —	口唇は棒状工具の押し付けにより波状とする。平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 5YR 3/1	橙色 5YR 6/6	通常	北側	
21	深鉢	胴部	— — —	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	北側	
22	深鉢	胴部	— — —	縄文ＬＲ	ヨコナデ	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	北側	
23	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯 縄文ＲＬ	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	北側	
24	深鉢	胴部	— — —	横位沈線 縄文ＬＲ	ナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	北側	
25	深鉢	胴部	— — —	縄文ＬＲ	ナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	IV区 ピット	
26	深鉢	胴部	— — —	隆帯による区画内に沈線と縄文ＬＲ	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	北側	
27	深鉢	胴部	— — —	縦位の沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	北側	
28	深鉢	胴部	— — —	垂下隆帯と沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	北側	
29	深鉢	胴部	— — —	結節沈線 縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	北側	
30	深鉢	胴部	— — —	環状突起。沈線 地文に縄文	タテナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区	
31	深鉢	胴部	— — —	環状突起より隆帯が派生	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	北側	
32	深鉢	胴部	— — —	ねじり状隆帯に円文 刻みのある隆帯	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	北側	
33	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯とそれに沿う沈線	ヨコミガキ	白色粒子	灰褐色 5YR 4/2	橙色 5YR 6/6	通常	北側	
34	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯	不明	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	II区	

（単位cm）

第28表　J－8号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
35	深鉢	胴部	－ － －	突起から垂下する隆帯	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	北側	
36	深鉢	口縁	－ － －	横位隆帯から逆Ｖ字状に隆帯が派生	ヨコミガキ	白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	良	北側	
37	深鉢	口縁付近	－ － －	隆帯 撚糸文ＬＲ	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい橙色 5YR 6/4	良	北側	
38	深鉢	胴部	－ － －	無文	不明	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	北側	
39	浅鉢	口縁	－ － －	無文 赤彩不明	ヨコミガキ	黒雲	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	1	
40	深鉢	胴部	－ － －	横位沈線による区画内に無節の縄文Ｌ	ヨコミガキ	白色粒子	灰黄褐色 10YR 5/2	黒褐色 10YR 3/1	良	北側	後期
41	深鉢	胴部	－ － －	沈線と地文に無節の縄文Ｌ	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい黄橙色 10YR 7/3	黒褐色 10YR 3/1	良	北側	後期
42	深鉢	口縁	－ － －	渦巻き状突起	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	Ⅲ区	
43	深鉢	胴部	－ － －	渦巻き状突起から刻みのある隆帯が派生	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	1	
44	深鉢	口縁付近	－ － －	横位沈線	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	1	
45	浅鉢？	口縁	－ － －	波状口縁、口脚に刻み	ヨコミガキ	白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/2	暗赤褐色 5YR 3/6	通常	北側	
46	浅鉢	口縁	－ － －	内面口脚に刻み 内外面赤色塗彩	ヨコミガキ	白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/2	にぶい赤褐色 5YR 4/4	通常	北側	
47	深鉢	胴部	－ － －	垂下するコイル状の隆帯	ヨコミガキ	白色粒子	赤褐色 5YR 4/6	赤褐色 5YR 4/6	通常	1	
48	深鉢	胴部	－ － －	刻みをもつ隆帯	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	1	風化激しい
49	深鉢	底部	－ － －		ナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ⅲ区	
50	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＲＬ	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	Ⅱ区	
51	深鉢	胴部	－ － －	隆帯	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅱ区	
52	深鉢	胴部	－ － －	環状突起	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 5YR 3/1	明赤褐色 5YR 5/6	通常	北側	
53	深鉢	胴部	－ － －	芽状の小突起から曲隆帯が伸びる	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	赤褐色 2.5YR 4/6	良	3	
54	深鉢	胴部	－ － －	芽状の小突起から曲隆帯が伸びる。地文縄文ＲＬ	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	赤褐色 2.5YR 4/6	良	3	10と同一個体
55	深鉢	胴部	－ － －	曲隆帯と地文に縄文	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	赤褐色 2.5YR 4/6	良	2	10と同一個体
56	深鉢	胴部	－ － －	芽状の小突起	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	良	2	10と同一個体
57	深鉢	胴部	－ － －	無文	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	北側	

（単位cm）

（9）　J－9号住居址

住居址　　第60図

J－9号住居址は、K－6グリッドにおいて検出された。本住居址は、その南半分を水田の削平によって失う。また、D－85・D－86号土坑と重複するがその新旧関係は明らかでない。M－4は本址を切る新しいものである。

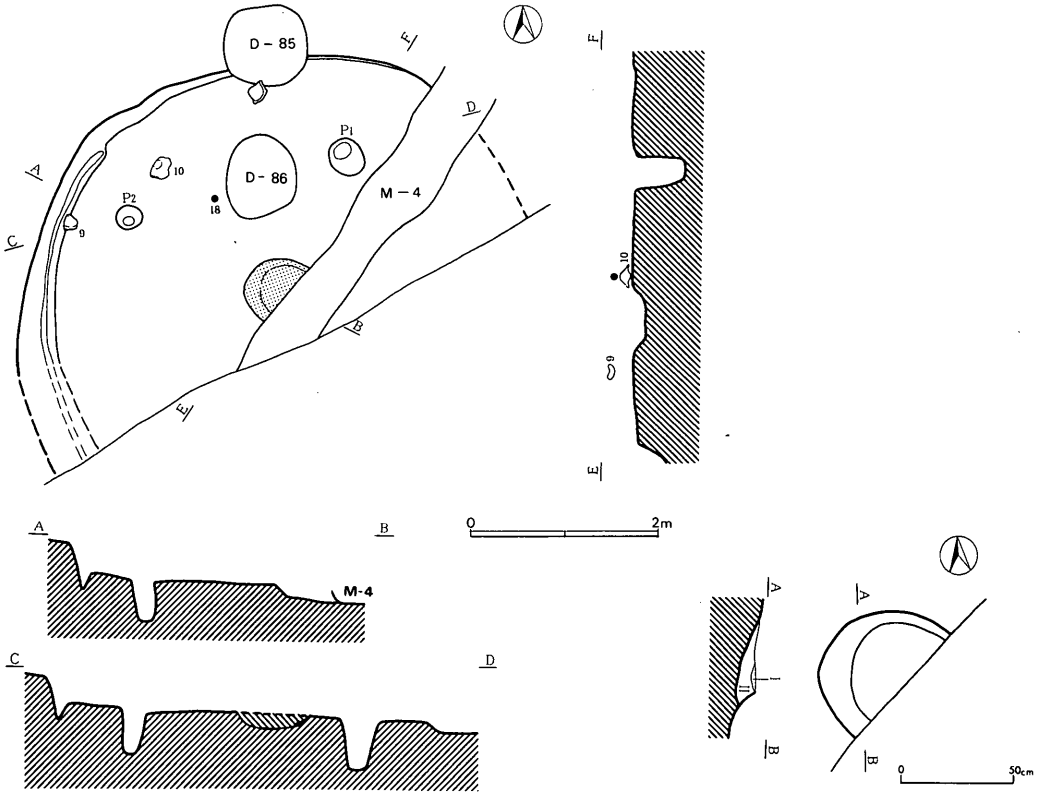
本址は、推定径5.6mの円形を呈す。壁の残存高は、10～30cmを測る。壁溝は幅10cm深さ15cmほどのものが南壁に認められた。床面は貼り床である。中央部分には礫が散布している。

ピットは、P_1・P_2が認められたのみである。大きさは、P_1が40×36×56cm、P_2が28×24×48cmを測る。

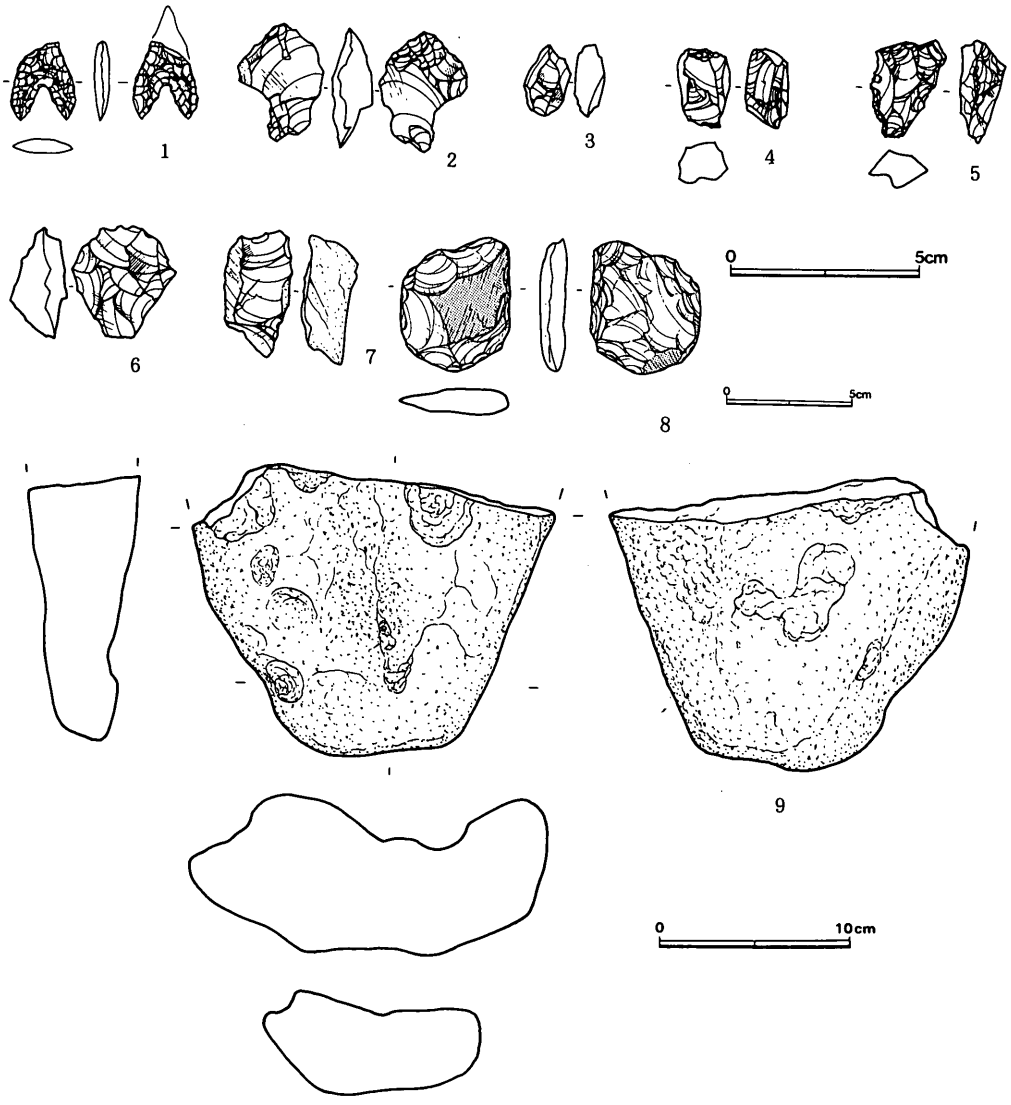
住居覆土は、I層のみで、パミスを多く含みローム粒子を若干含む黒褐色土層（10YR2/3）であった。

炉　　第60図

炉は、住居址の中央に存在する。地床炉で、半分を失うが、径70～80cmの円形を呈し、深さ10



第60図　J－9号住居址（住居＝1：80，炉＝1：40）

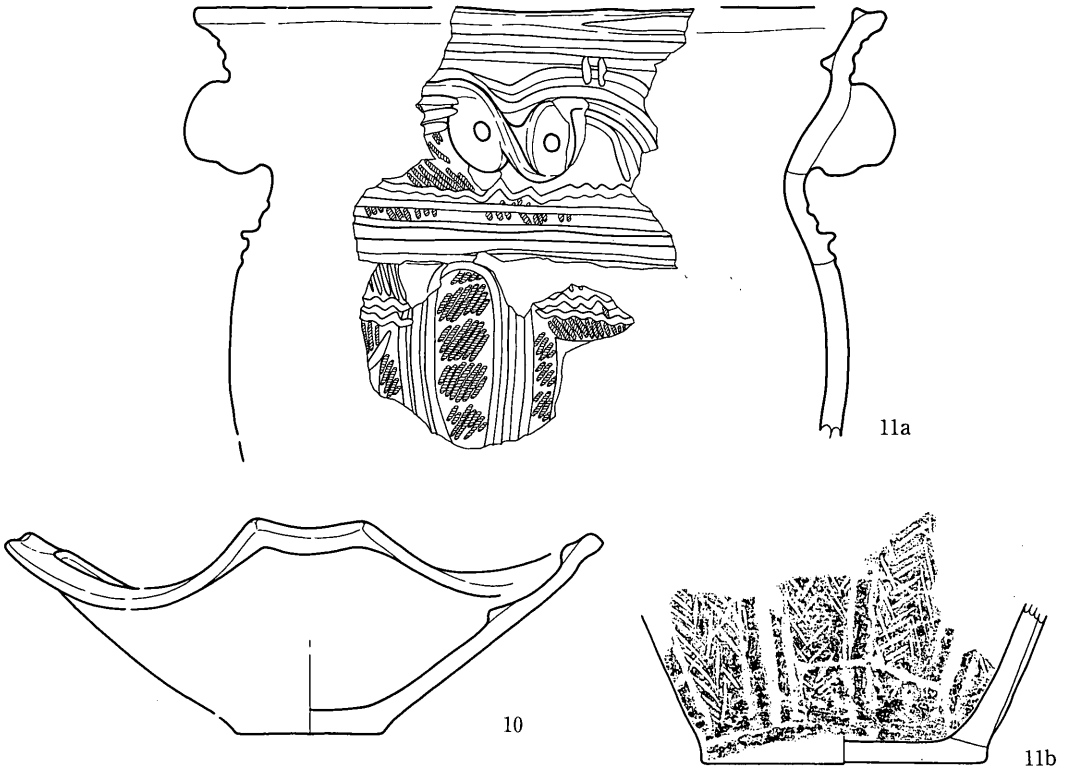


第61図　J－9号住居址出土石器（1～7＝1：2，8＝1：3，9＝1：4）

第29表　J－9号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	20	17	4	0.9	欠損
2	石鏃未成品	黒曜石	31	23	11	4.6	
3	ピエス・エスキーユ	黒曜石	19	13	8	1.4	
4	ピエス・エスキーユ	黒曜石	21	14	11	3.6	
5	ピエス・エスキーユ	黒曜石	26	20	15	9.0	
6	ピエス・エスキーユ	黒曜石	29	28	15	7.4	
7	石核	黒曜石	33	18	15	7.5	
8	打製石斧	頁岩Ⅰ	53	44	11	30.4	欠損
9	石皿	安山岩	154	192	84		欠損

（単位mm，g）



第62図　J－9号住居址出土土器（1：4）

cmを測る。

覆土は2層に分層された。I層は焼土・カーボンを含まない黒色土層（10YR2/1）、II層は焼土を大量に含む赤褐色土層（5YR4/6）である。

遺　物　　第61～63図・第29～31表

遺物は、あまり多く出土していない。

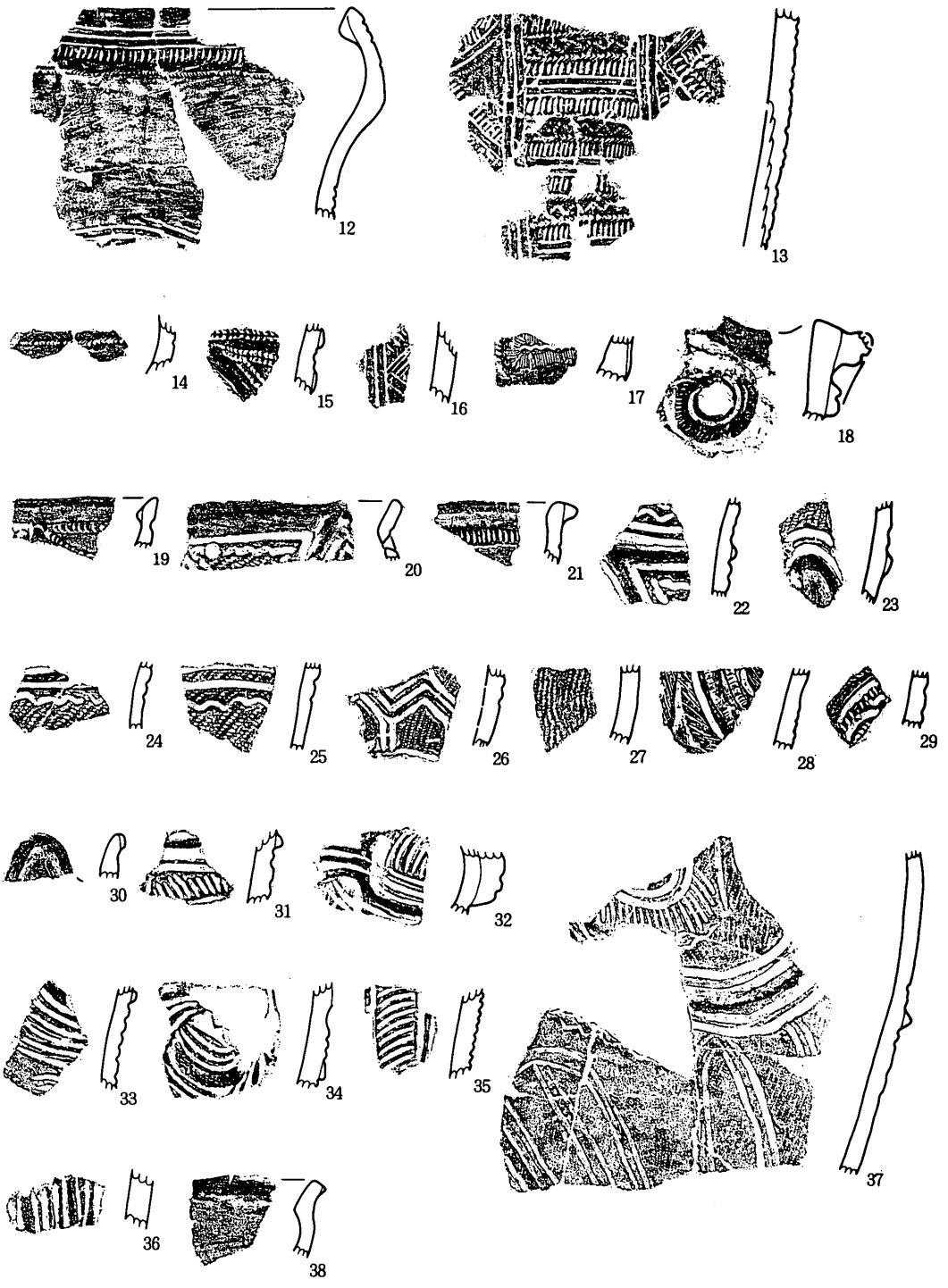
出土した石器には、石鏃（1）・石鏃未成品（2）・ピエス・エスキーユ（3～6）・石核（7）・石皿（9）・打製石斧（8）がある。

土器は、10のハの字状の部分が4単位をなす波状口縁の浅鉢が遺存良好なもので、床面に伏せられた状態で出土した。この浅鉢の器面には赤彩が残らなかったが、本来赤彩がなされていた可能性もある。

11は、平口縁で、地文に縄文を施し、曲隆線・眼鏡状突起をもつ焼町系の土器である。このほか12～18は勝坂系の土器である。

時　期

本住居址は、縄文時代中期中葉（川原田遺跡第7期）に位置付けられよう。



第63図　Ｊ－９号住居址出土土器（１：４）

第30表　J－9号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
10	浅鉢	口縁～底部	(30.5) 9.0 7.3	ハの字状、4単位の口縁 無文	ヨコナデ	白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	270	内外に赤彩がなされていたかどうかは不明
11a	深鉢	口縁～胴部	(36.8) — —	眼鏡状突起、曲隆線 沈線、地文縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量 角閃石多量	明赤褐色 2.5YR 5.6	明赤褐色 2.5YR 5.6	通常	76 82 53	
11b	深鉢	底部	— — 15.0	２条の垂下隆線、その間に綾杉状沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	274	
12	深鉢	口縁	— — —	横位に平行沈線と連続刺突文、ペン先状刺突文	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	にぶい赤橙色 5YR 5/4	通常	30 35 37	
13	深鉢	胴部	— — —	平行沈線による小区画内に幅広の連続刺突文とペン先状刺突文	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	17 19 27 22	
14	深鉢	胴部	— — —	横位のペン先状刺突文	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/3	通常	74 71	
15	深鉢	胴部	— — —	隆帯に沿って、並べてペン先状の連続刺突文を施す	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	褐灰色 5YR 4/1	通常	184	
16	深鉢	胴部	— — —	平行沈線	ナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	16	
17	深鉢	胴部	— — —	隆帯に沿わせキャタピラ文を施す	ナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	赤褐色 2.5YR 4.6	通常	189	
18	深鉢	口縁	— — —	環状突起上に刻み	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	灰褐色 5YR 4/2	通常	101	
19	深鉢	口縁	— — —	連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/3	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	通常	135	
20	深鉢	口縁	— — —	縄文ＬＲ 隆帯、補修孔	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/2	暗赤褐色 5YR 3/6	通常	38	
21	深鉢	口縁	— — —	横位の連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい黄橙色 10YR 7/2	通常	195	
22	深鉢	胴部	— — —	隆帯および沈線	不明	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5.6	灰赤色 2.5YR 4/2	通常	2	
23	深鉢	胴部	— — —	隆帯、沈線 地文縄文ＬＲ	ヨコナデ	白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	102	
24	深鉢	胴部	— — —	沈線（蛇行・平行） 地文縄文ＬＲ	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	8 237	
25	深鉢	胴部	— — —	沈線（蛇行・平行） 縄文ＬＲ	ヨコナデ	白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	にぶい橙色 7.5YR 7.4	通常	7	
26	深鉢	胴部	— — —	沈線による幾何形の区画	不明	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 4/3	橙色 5YR 6/8	通常	101	
27	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	にぶい赤褐色 25YR 4/4	通常	183	
28	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯。結節沈線 斜めの沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	257	
29	深鉢	胴部	— — —	連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	101	
30	深鉢	口縁	— — —	舌状の突起	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	にぶい赤褐色 5YR 4/3	通常	20	
31	深鉢	胴部	— — —	斜めの平行沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	暗赤褐色 5YR 3/3	赤褐色 2.5YR 4.6	通常	89	
32	深鉢	胴部	— — —	小突起から曲隆線が派生する	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 4/4	通常	155	
33	深鉢	胴部	— — —	曲隆線とそれに沿う沈線	ヨコナデ	白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	通常	炉	

（単位cm）

第31表　J－9号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
34	深鉢	胴部	— — —	曲隆線とそれに沿う沈線	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	147	
35	深鉢	胴部	— — —	帯状の区画内を平行沈線が埋める	ナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	良	70	
36	深鉢	胴部	— — —	垂下する隆帯と沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	通常	149	
37	深鉢	胴部	— — —	曲隆線 地文縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	51.55 56.57 60.218	
38	深鉢	口縁	— — —		ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	15	

（単位cm）

(10)　J－10号住居址

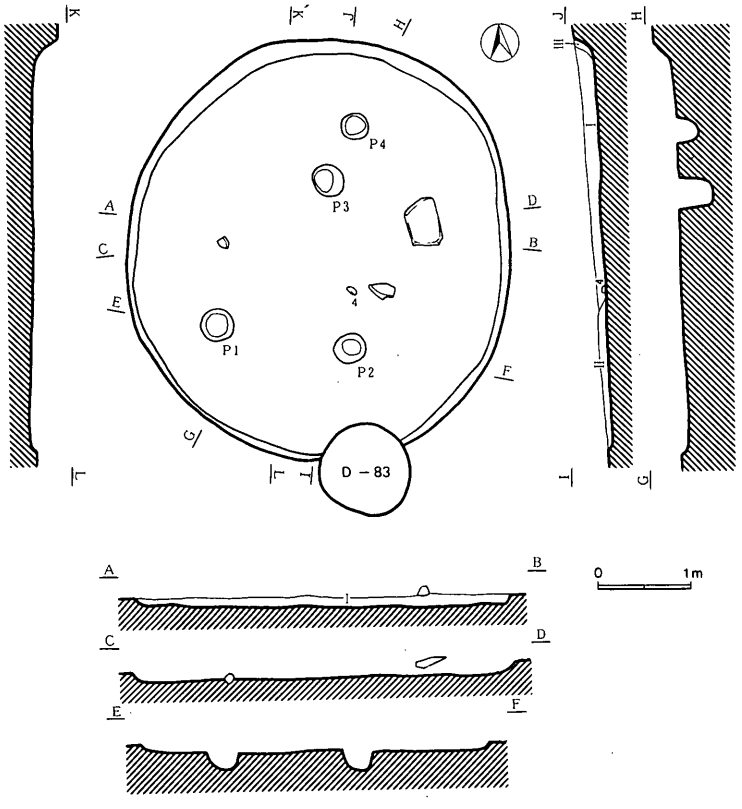
住居址　　第64図

J－10号住居址は、G－12グリッドにおいて検出された。D－83号土坑と重複するが新旧関係は不明である。

本址は、南北4.5m・東西4.1mの円形を呈し、床面積13.3m²を測る。壁の残存高は、10～20cmを測る。壁溝は認められない。

ピットは、P_1～P_4が不規則な配置で認められた。ピットの大きさは、P_1が34×34×18cm、P_2が34×30×20cm、P_3が36×30×36cm、P_4が28×28×22cmを測る。

住居覆土は、3層に分層された。Ⅰ層はローム



第64図　J－10号住居址（1：80）

粒子をほとんど含まない黒褐色土層（10YR2/3）、II層はローム粒子を多量に含む黄褐色土層(10YR5/6)、III層はローム粒子をブロック状に含む褐色土層（10YR4/6）であった。

炉

炉は検出されなかった。

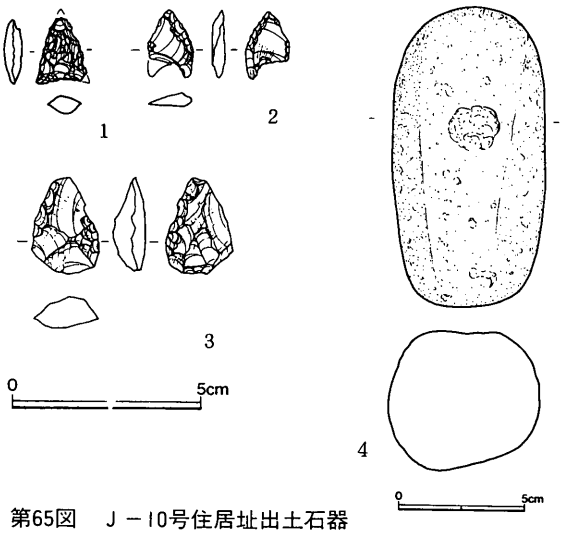
遺　物　　第65図・第32表

出土した石器には、石鏃（1・2）・石鏃未成品（3）・磨石（4）がある。

中期の土器片が少量出土したが、図示しうる土器はみられなかった。

時　期

本住居址は、少量の土器片から中期であることはわかるが、中葉か後葉かの判断はつかなかった。



第65図　J－10号住居址出土石器
（1～3＝1：2，4＝1：3）

第32表　J－10号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	17	14	5	0.7	欠損
2	石鏃	黒曜石	18	12	4	0.4	欠損
3	石鏃未成品	チャート	25	18	9	2.9	
4	磨石	安山岩	118	61	55	549.8	

（単位mm，g）

(11)　J－11号住居址

住居址　　第66図

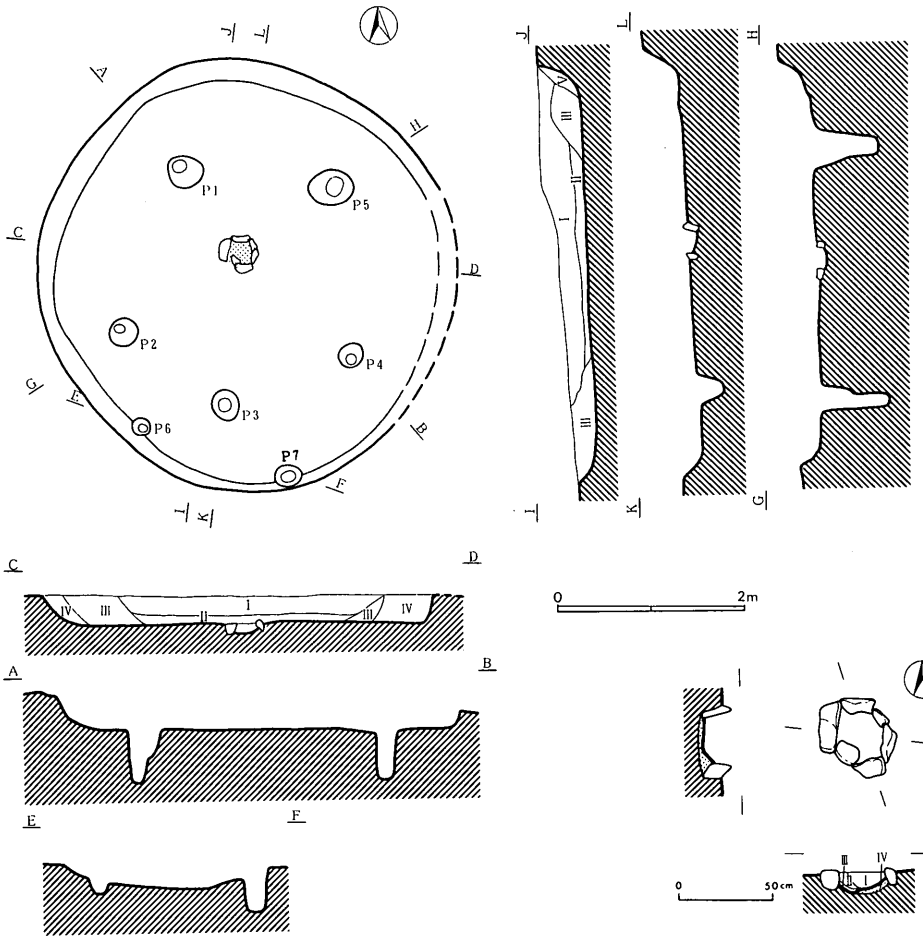
J－11号住居址は、H－12グリッドにおいて検出された。J－18号住居址（前期）・J－30号住居址（中期）と重複するが、本址が新しい。

本址は、南北4.6m・東西4.5mの円形を呈し、床面積13.3m²を測る。壁の残存高は、20～40cmを測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

ピットは、P_1～P_5が五角形に配され、壁際からはP_6・P_7が検出された。ピットの大きさは、P_1が38×34×58cm、P_2が32×32×72cm、P_3が34×28×28cm、P_4が28×24×50cm、P_5が48×38×68cm、P_6が18×18×16cm、P_7が30×24×42cmを測る。

住居覆土は、5層に分層された。I層はローム粒子をあまり含まず多量のカーボン・若干の焼土を含む黒褐色土層（10YR2/2）、II層はロームをブロック状に含む褐色土層（10YR4/4）、III層はローム粒子を多く含む暗褐色土層（10YR3/4）、IV層はローム粒子を若干含む暗褐色土層（10YR3/4）、V層はロームをブロック状に含む褐色土層（10YR4/4）であった。

遺物は、床面直上から24・26・27の深鉢が遺存度の高い状態で出土している。また、住居の床

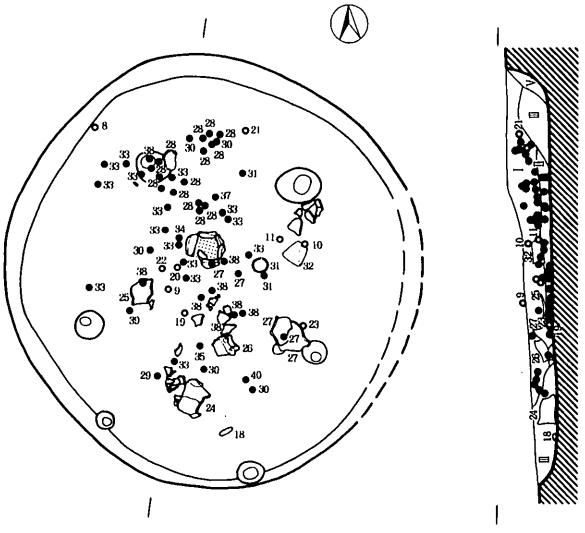


面の一部には粘土塊がみられた。18の磨製石斧も床面直上から出土している。

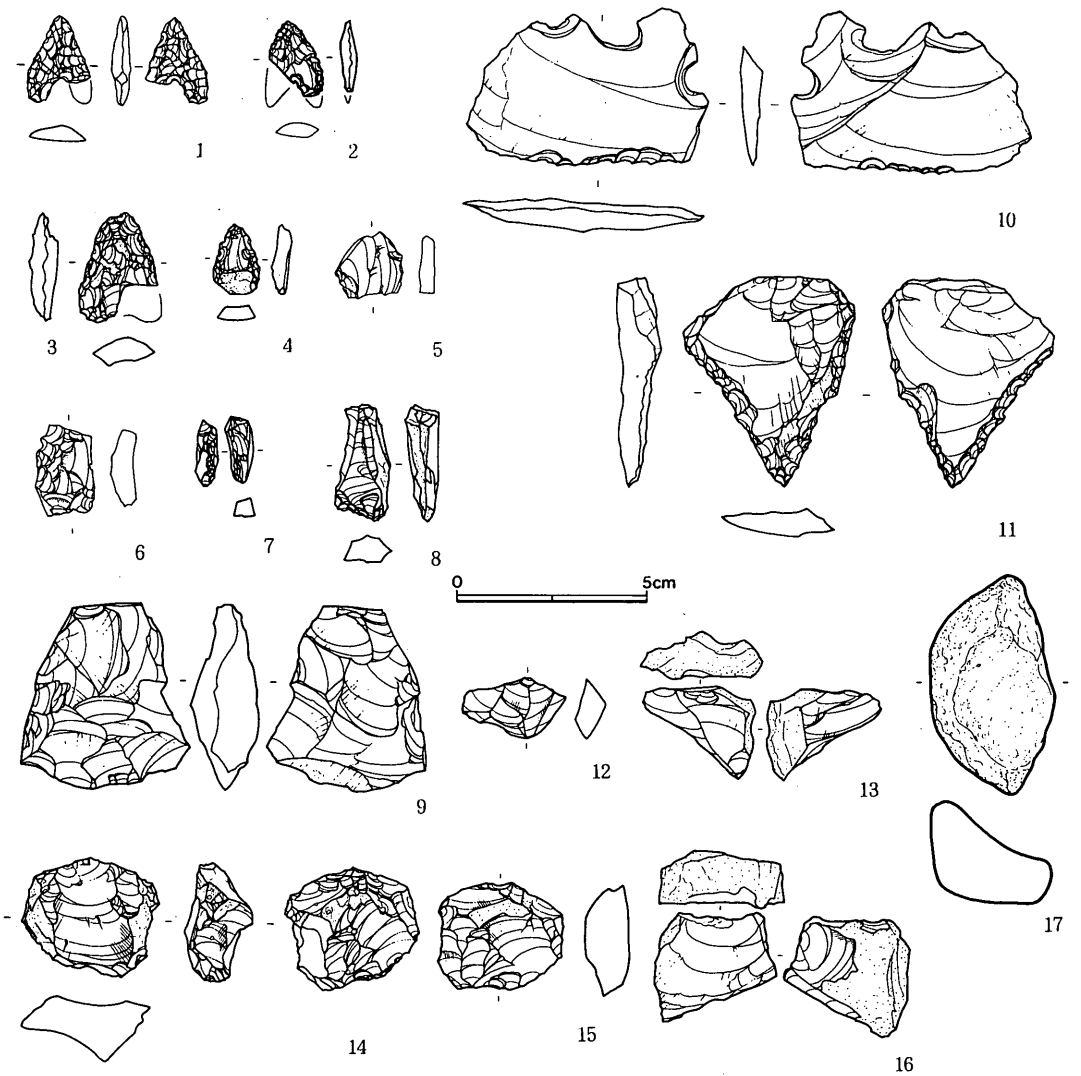
炉　　第66図

炉は、住居址のほぼ中央に存在している。安山岩礫6個を配した石囲い炉で、50×35cm深さ20cmを測る。

覆土は4層に分層された。Ⅰ層はカーボンを多く含み焼土を含まない黒色土層(10YR2/1)、Ⅱ層はローム粒子を多量に含む焼土を含



第66図　J－11号住居址（住居址＝1：80，炉＝1：40）



第67図　J－11号住居址出土石器（1：2）

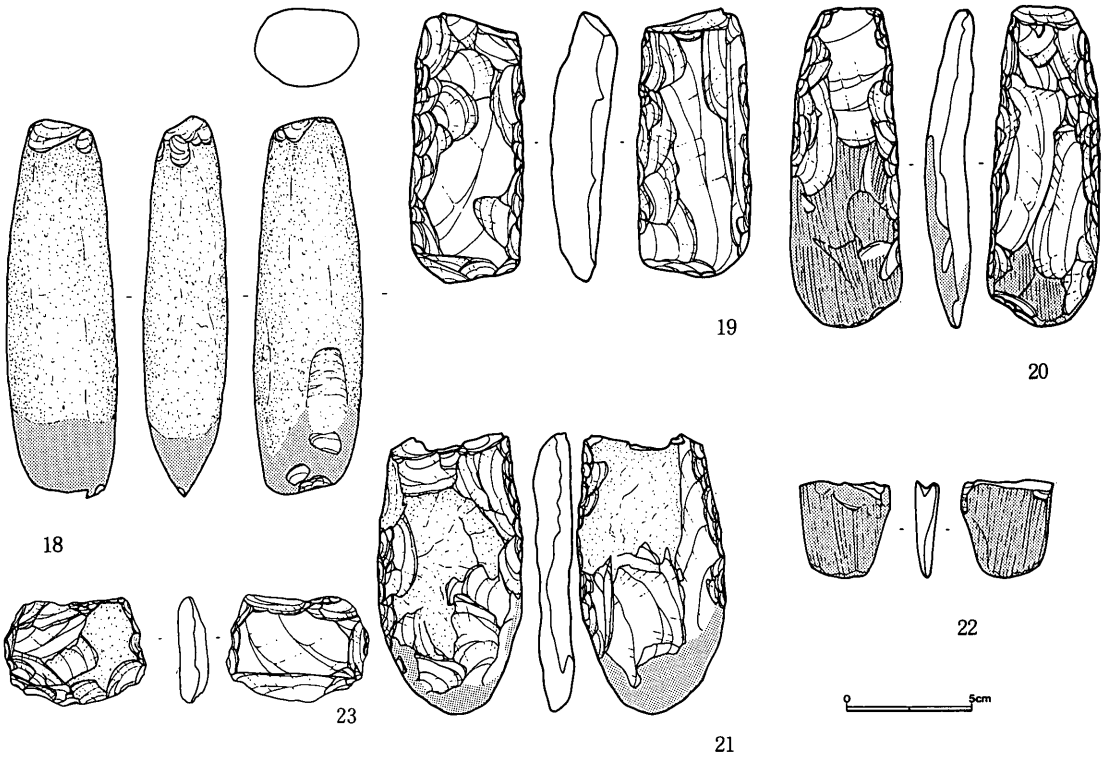
まない黄褐色土層（10YR5/6）、III層は焼土層である赤褐色土層（5YR4/8）、IV層はローム埋土の黄褐色土層（10YR5/8）である。

遺　物　　第67～75図・第33～37表

遺物は、石器では、石鏃（1・2）・石鏃未成品（3～6）・ピエス・エスキーユ（7～9）・石匙（10）・スクレイパー（11）・石核（12～16）・軽石製の小形石鉢（17）・磨製石斧（18）・打製石斧（19～23）が出土している。

土器は良好な遺存状態のものがいくつかあり、なかでも焼町土器の出土が目立った。

24は山椒魚文が器面にみられ眼鏡状把手がつく勝坂系の深鉢である。25は地文に縄文が施され、



第68図　Ｊ－11号住居址出土石器（１：３）

第33表　Ｊ－11号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考	挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	23	17	5	1.0	欠損	13	石核	黒曜石	24	30	12	5.6	
2	石鏃	黒曜石	41	63	9	0.8	欠損	14	石核	黒曜石	31	36	18	12.7	
3	石鏃未成品	黒曜石	29	21	8	2.7	欠損	15	石核	黒曜石	28	33	16	14.4	
4	石鏃未成品	黒曜石	19	12	5	0.9		16	石核	黒曜石	29	32	15	14.5	
5	石鏃未成品	黒曜石	17	18	4	1.3		17	石鉢	軽石	57	33	29	19.4	欠損
6	石鏃未成品	黒曜石	24	15	7	2.7	ピエスか	18	磨製石斧	蛇紋岩	150	44	34	349.6	
7	ピエス・エスキーユ	黒曜石	18	6	8	0.8		19	打製石斧	ホルンフェルス	107	45	27	144.7	
8	ピエス・エスキーユ	チャート	30	15	9	3.4		20	打製石斧	頁岩Ⅰ	126	45	20	110.9	欠損
9	ピエス・エスキーユ	硬質頁岩	49	45	18	28.3		21	打製石斧	頁岩Ⅱ	112	59	15	113.5	欠損
10	石匙	ホルンフェルス	41	53	9	15.1		22	打製石斧	頁岩Ⅰ	38	38	10	16.4	欠損
11	スクレイパー	頁岩Ⅱ	55	45	12	19.9	尖頭形	23	打製石斧	安山岩	43	56	10	31.2	欠損
12	石核	黒曜石	16	27	10	3.2									

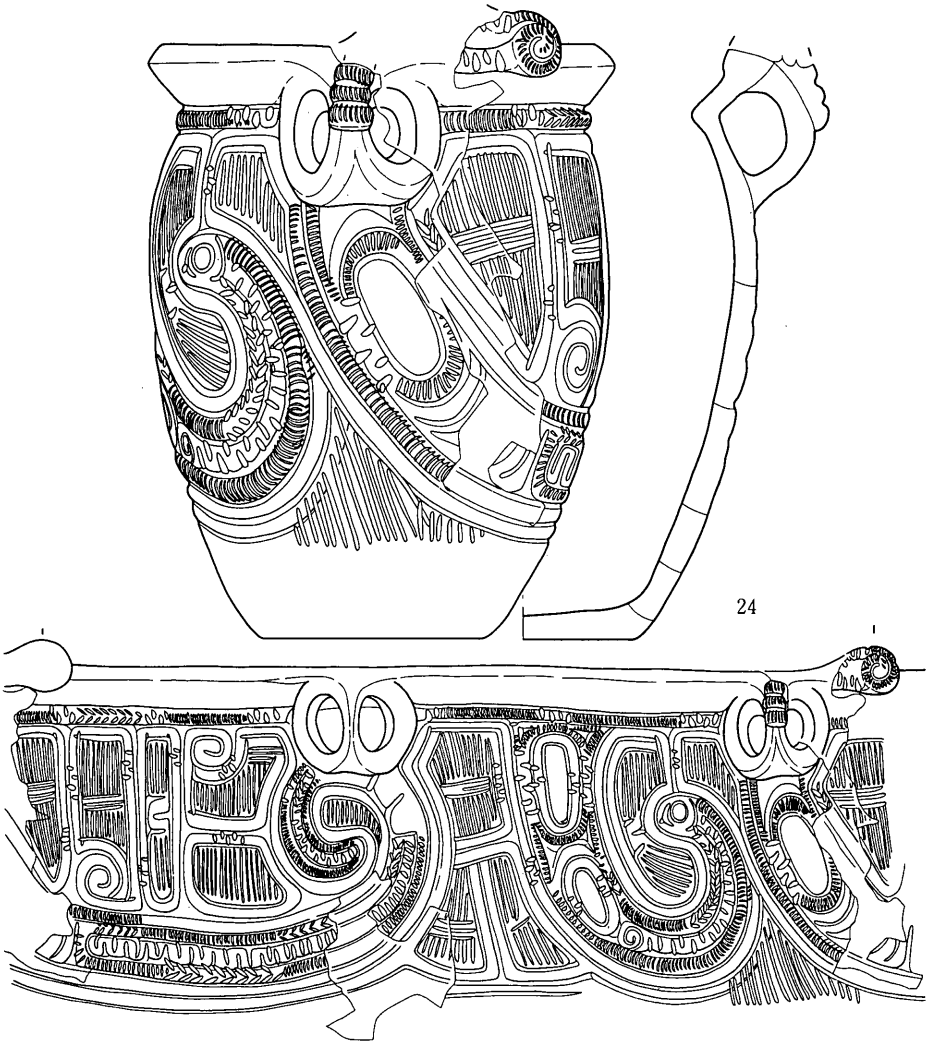
（単位mm，g）

曲隆線・沈線が施された大形の深鉢である。26～37は焼町土器の深鉢である。26は底部など一部を欠損するが遺存状態の良好な小形の深鉢で、口縁に4単位の環状把手が配され横位の隆線・沈線が巡る。胴部は眼鏡状突起と曲隆線・平行沈線が飾る。27も焼町土器の深鉢で、口縁に4単位の眼鏡状把手が配され、器面を眼鏡状突起と曲隆線・沈線が飾り、逆U字状区画の中に列点刺突がなされている。33は口縁に4単位の眼鏡状把手がみられないが、刻みをもつわずかな突起が配される焼町土器である。このほか、79～102も焼町土器の破片である。

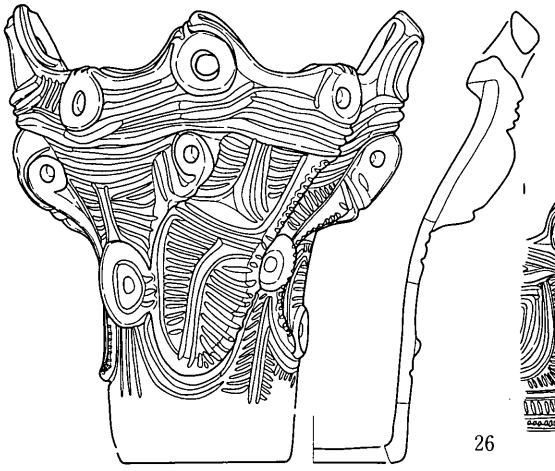
118は無文の浅鉢の破片である。

時　期

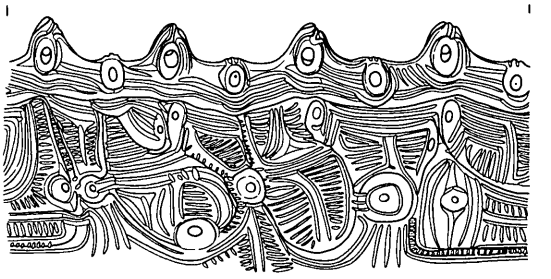
本住居址は、縄文時代中期中葉（川原田遺跡第9期）に位置付けられよう。

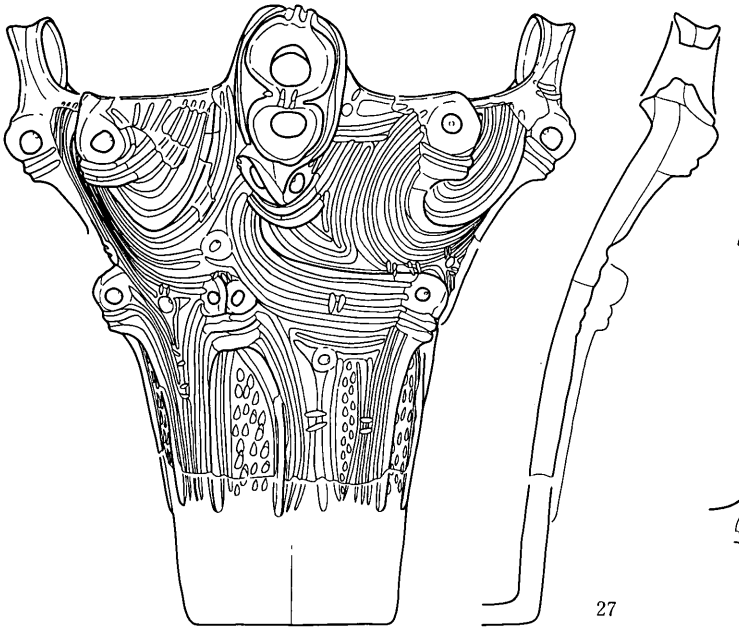


第69図　J－11号住居址出土土器（1：4，展開図＝1：6）

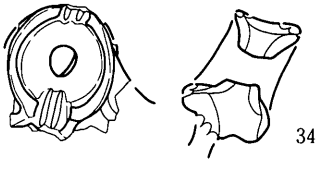


26

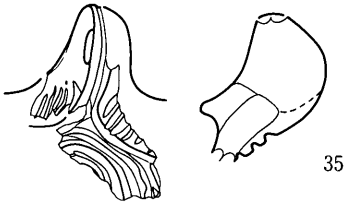




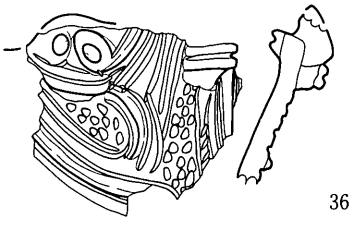
27



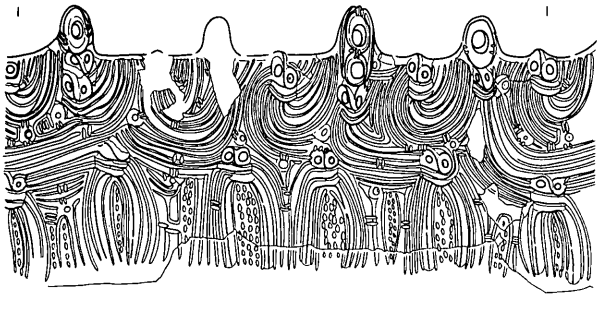
34



35

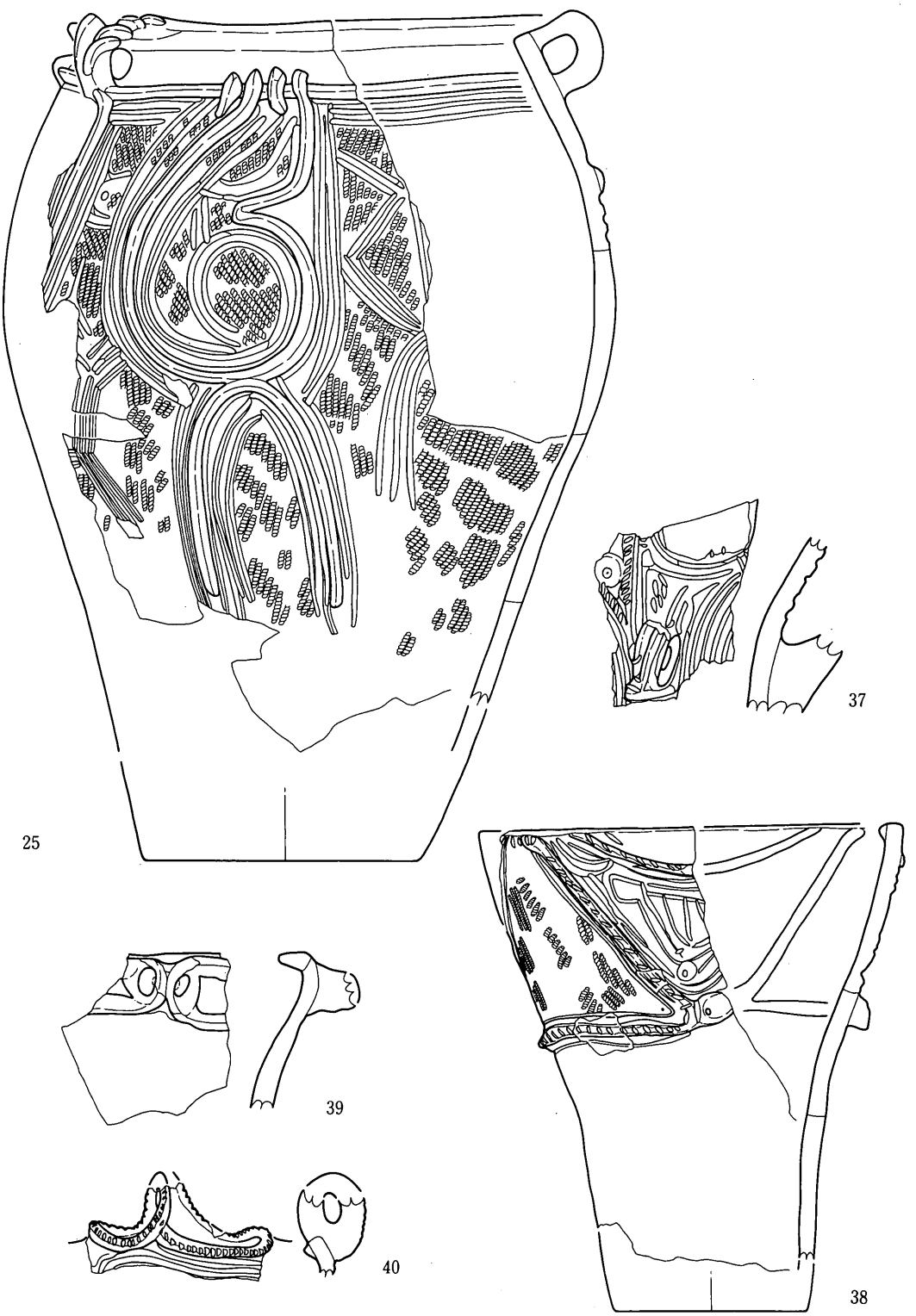


36

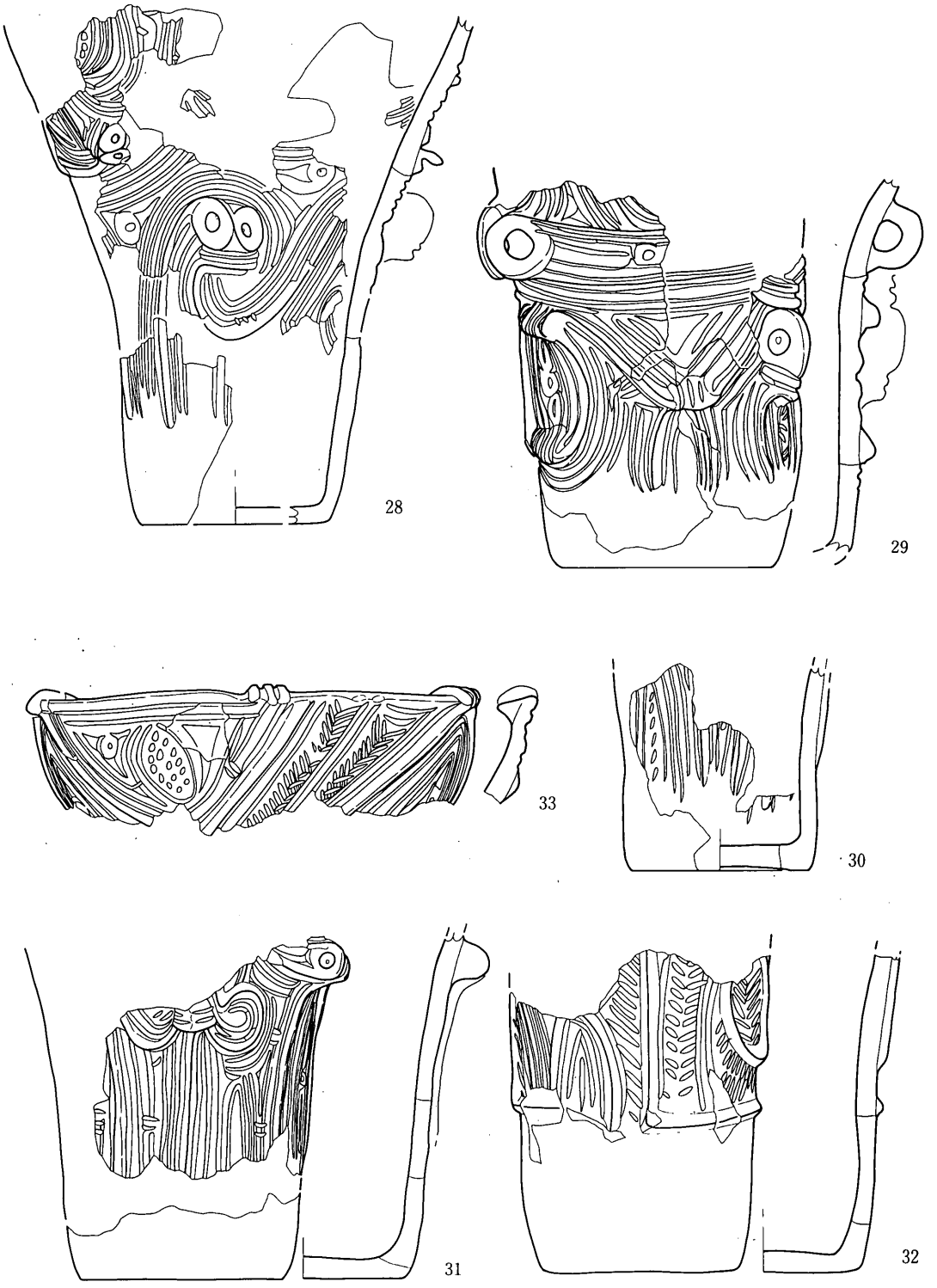


27

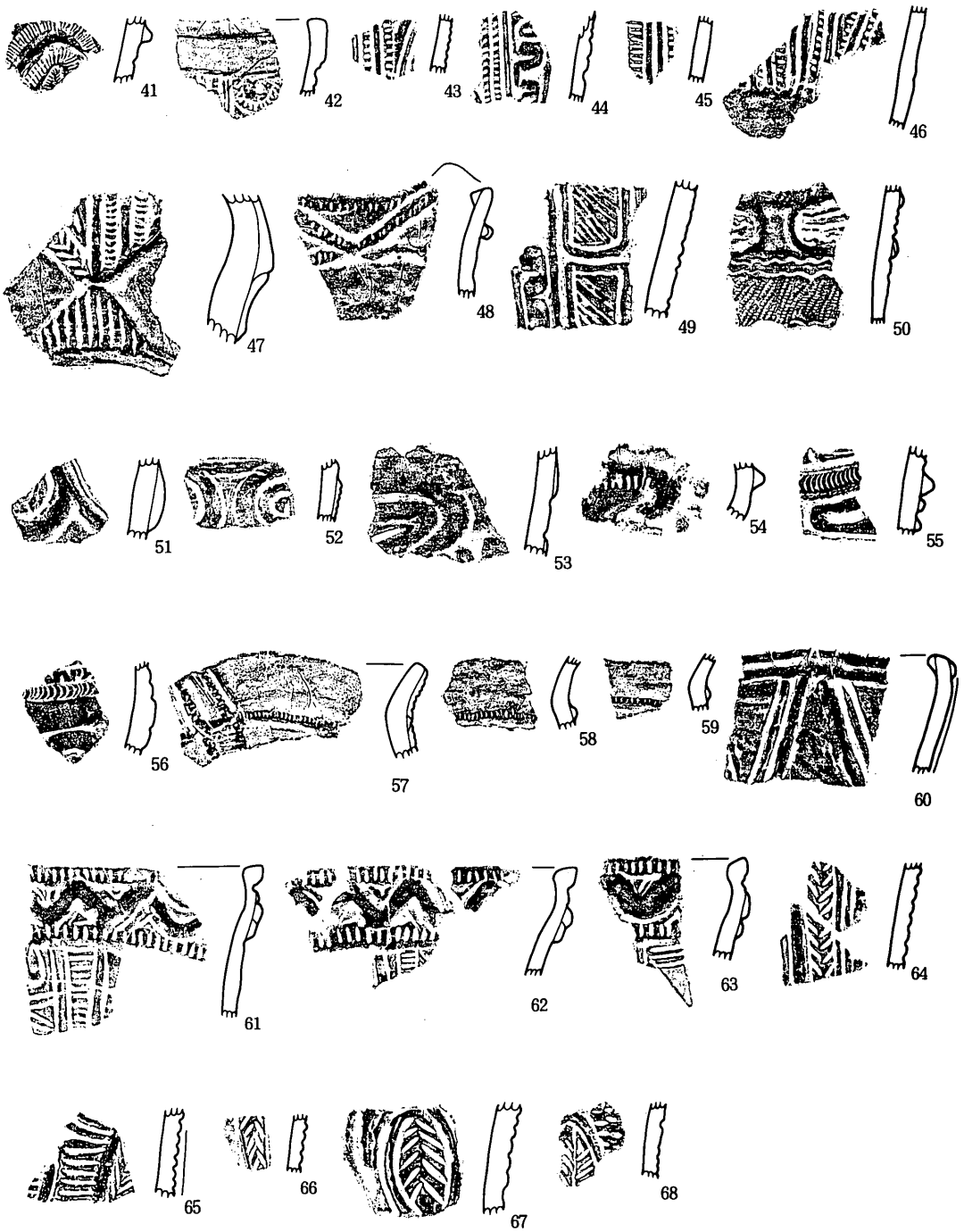
第70図　Ｊ－11号住居址出土土器
（土器＝1:4，展開図
26＝1:6，27＝1:8）



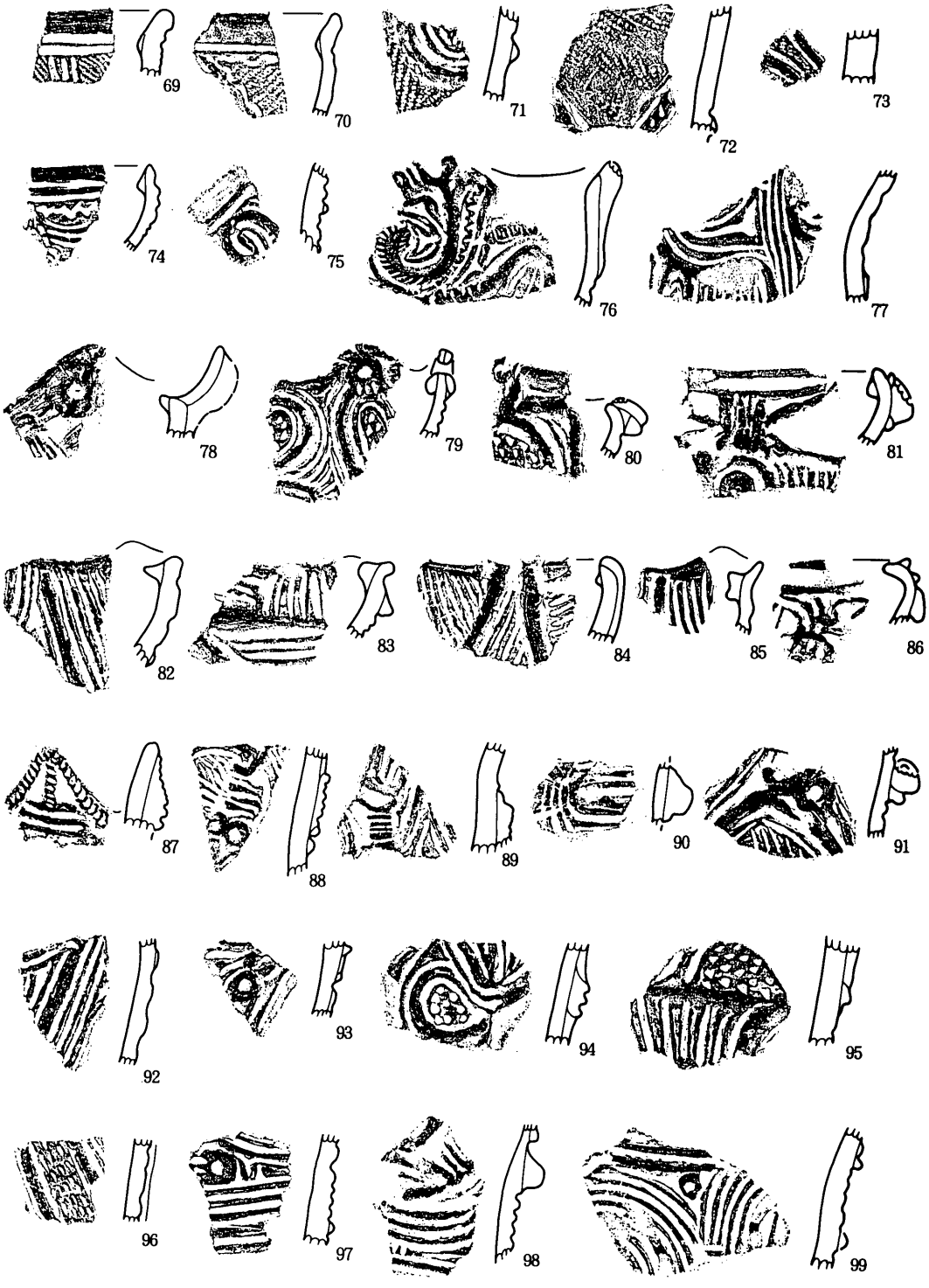
第71図　J－11号住居址出土土器（1：4）



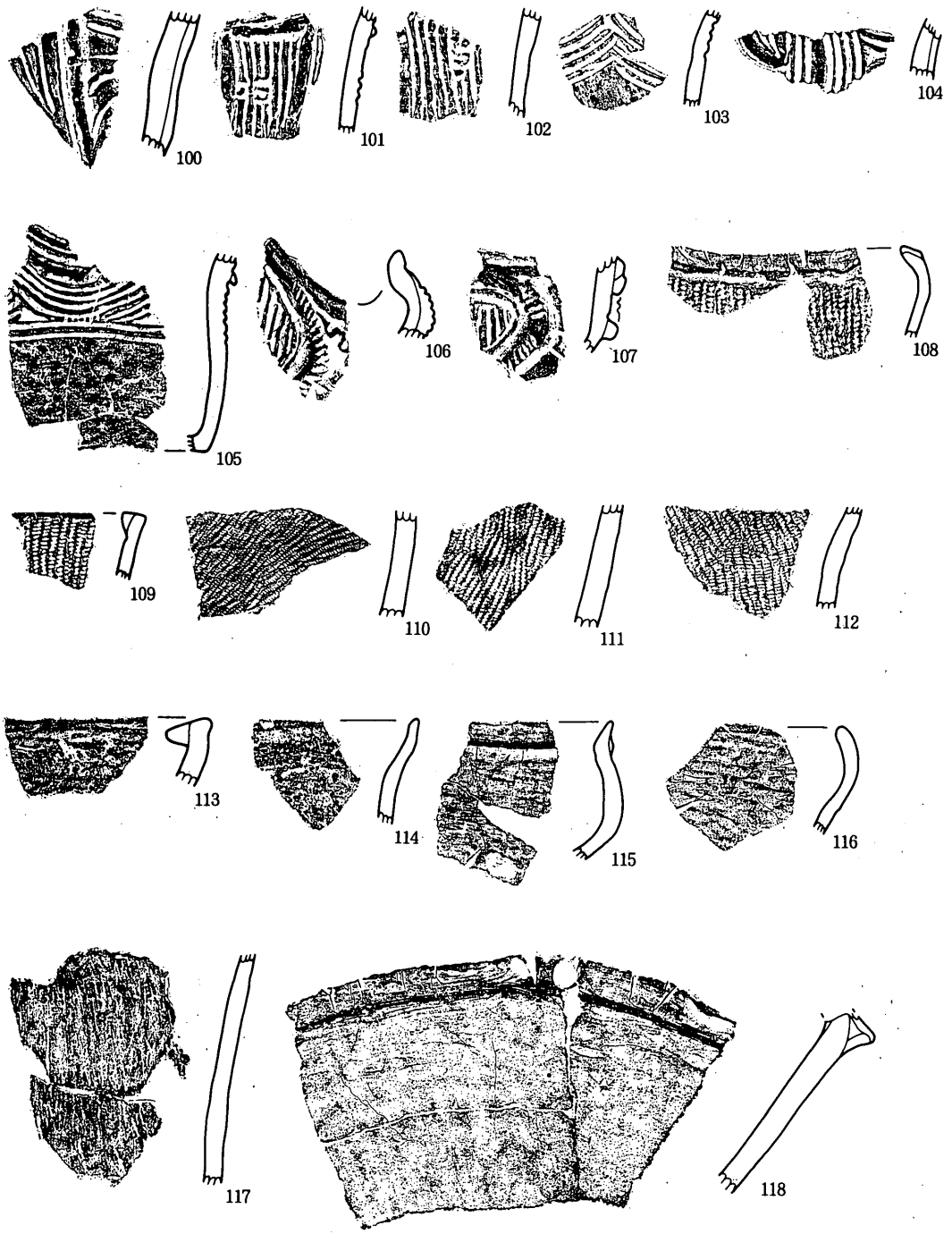
第72図　J－11号住居址出土土器（1：4）



第73図　J－11号住居址出土土器（1：4）



第74図　Ｊ－11号住居址出土土器（１：４）



第75図　Ｊ－11号住居址出土土器（１：４）

第34表　J－11号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
24	深鉢	口縁 ～ 底部	23.6 7.8 12.0	環状把手 山椒魚文、平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 7/6	にぶい橙色 5YR 7/4	通常	110	
25	深鉢	口縁 ～ 胴部	(28.0) － －	地文縄文ＲＬ 曲隆線、沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	1099	
26	深鉢	口縁 ～ 底部	19.5 21.5 9.0	４単位の環状把手 刻みのある曲隆線 コイル状突起、平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1102	
27	深鉢	口縁 ～ 胴部	24.0 － －	４単位の環状突起 曲隆線、コイル状突起 列点刺突	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	1103 1165	
28	深鉢	胴部 ～ 底部	－ － 11.6	環状突起、王抱三叉文 曲隆線、沈線 列点刺突	丁寧な ヨコナデ	黒雲母	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	570 756	
29	深鉢	胴部 ～ 底部	－ － －	環状突起、コイル状突起 曲隆線、沈線	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	295	
30	深鉢	底部	－ － 10.8	垂下する隆線、沈線 列点刺突	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	119 535	
31	深鉢	底部	－ － 13.0	環状突起 曲隆線、沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい黄橙色 10YR 7/3	通常	1106 938	
32	深鉢	胴部 ～ 底部	－ － 12.0	隆線による楕円区画 ハの字状沈線	不明	黒雲母 角閃石	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	1107	
33	深鉢	口縁	26.0 － －	口縁には４単位の刻みのある小突起。隆線による三角区画内に玉抱三叉文、列点刺突	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	1052 997 996	
34	深鉢	突起	－ － －	環状突起	ナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1050	
35	深鉢	突起	－ － －	環状突起	ナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 7/4	通常	622	
36	深鉢	口縁	－ － －	環状突起、コイル状突起 曲隆線、列点刺突	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	1105	
37	深鉢	胴部	－ － －	環状突起 列点刺突	丁寧な ヨコナデ	黒雲母	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	1169	
38	深鉢	口縁 ～ 胴部	(26.4) － －	刻みのある三角の区画内にＲＬ縄文と沈線をそれぞれ施す	ナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	1008 1136	
39	深鉢	口縁	－ － －	２条の隆線が環状突起に結ぶ	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	やや不良	303	
40	深鉢	口縁	－ － －	蛇行する刻みのある隆線	ナデ	透明粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	667 1099	
41	深鉢	胴部	－ － －	隆帯とキャタピラ文	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	1259	
42	深鉢	口縁	－ － －	円文とそれに沿う連続刺突文	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	372	
43	深鉢	胴部	－ － －	平行沈線、連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	125	
44	深鉢	胴部	－ － －	沈線間に連続刺突文 沈線による蛇行状のモチーフ	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	黒褐色 5YR 2/1	通常	125	同一個体
45	深鉢	胴部	－ － －	平行沈線間に連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	265	
46	深鉢	底部 付近	－ － －	縦位の平行沈線 間隔をあけ沈線間に連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	赤褐色 5YR 4/8	赤褐色 5YR 4/8	通常	154 36	
47	深鉢	胴部	－ － －	三角状の添付内を平行沈線と半截竹管の連続刺突が埋める	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	305	
48	深鉢	口縁	－ － －	平行およびＶ字状の刻みのある隆帯	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/8	明赤褐色 5YR 5/8	通常	600	

（単位cm）

第35表　J－11号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
49	深鉢	胴部	— — —	沈線による方形区画内を斜位の平行沈線が埋める	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	良好	814	
50	深鉢	口縁付近	— — —	楕円区画内を楕円沈線が埋める 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/8	通常	200	
51	深鉢	胴部	— — —	隆帯	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/6	暗赤褐色 5YR 5/6	通常	56	
52	深鉢	胴部	— — —	隆帯による楕円区画	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	119	
53	深鉢	胴部	— — —	幅広隆帯による楕円モチーフ	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	570	
54	深鉢	胴部	— — —	楕円の隆帯の脇に連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	410	
55	深鉢	胴部	— — —	隆帯状に半截竹管の連続刺突	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 7/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	250	
56	深鉢	胴部	— — —	半截竹管の連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	101	
57	深鉢	口縁	— — —	刻みをもつ横位と縦位の隆帯	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	353	
58	深鉢	口縁	— — —	刻みをもつ横位隆帯	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/8	明赤褐色 5YR 5/8	通常	464	同一個体
59	深鉢	口縁	— — —	刻みをもつ横位隆帯	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	994	
60	深鉢	口縁	— — —	ハの字状隆帯とそれに沿う沈線	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	714	
61	深鉢	口縁	— — —	刻みをもつ横位隆帯の間に鋸歯状の隆帯	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	151	
62	深鉢	口縁	— — —	刻みをもつ横位隆帯の間に鋸歯状の隆帯	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	624	同一個体
63	深鉢	口縁	— — —	刻みをもつ横位隆帯の間に鋸歯状の隆帯	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	147	
64	深鉢	胴部	— — —	垂下する隆帯にハの字状の沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	317 1016	
65	深鉢	胴部	— — —	垂下隆帯の間に平行およびハの字状沈線	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/8	通常	891	
66	深鉢	胴部	— — —	ハの字状沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	1223	
67	深鉢	胴部	— — —	隆帯・沈線による楕円区画内にハの字状沈線	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	477	
68	深鉢	胴部	— — —	隆帯上に連続刺突	ヨコミガキ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	1204	
69	深鉢	口縁	— — —	平行沈線 縄文ＲＬ	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 4/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	501	
70	深鉢	口縁	— — —	蛇行沈線 縄文ＬＲ	ナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	605	
71	深鉢	胴部	— — —	隆帯 縄文ＲＬ	ナデ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	108	
72	深鉢	胴部	— — —	刻みをもつ隆帯 縄文ＲＬ	ナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	明赤褐色 5YR 5/6	通常	1100	
73	深鉢	胴部	— — —	沈線 縄文ＬＲ	ナデ	白色粒子	黒褐色 5YR 2/1	黒褐色 5YR 2/1	通常	326	

（単位cm）

第36表　J－11号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
74	深鉢	口縁	— — —	沈線、蛇行沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	明赤褐色 5YR 5/8	通常	670	
75	深鉢	胴部	— — —	渦巻き状の隆帯と沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	631	
76	深鉢	口縁	— — —	刻みをもつ曲隆線に沈線と刺突による蛇行文を沿わせる	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/8	明赤褐色 5YR 5/8	通常	611	
77	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯の間を沈線が埋める	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	635	
78	深鉢	口縁	— — —	環状突起	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 4/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	740	
79	深鉢	口縁	— — —	環状突起 隆帯による環状区画内に列点刺突	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/6	明赤褐色 5YR 5/8	通常	477	
80	深鉢	口縁	— — —	隆帯による区画内に列点刺突	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/3	橙色 5YR 6/6	通常	386	
81	深鉢	口縁	— — —	突起から横位の隆帯が派生	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	1225	
82	深鉢	口縁	— — —	隆帯と縦位の平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	1101	
83	深鉢	口縁	— — —	横位隆帯と横・縦位の平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	696	
84	深鉢	口縁	— — —	口唇からハの字状に下りる隆帯、および平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/3	灰褐色 5YR 4/2	通常	845	
85	深鉢	口縁	— — —	平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	333	
86	深鉢	口縁	— — —	小突起から隆帯が派生	ヨコミガキ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/4	明赤褐色 5YR 5/8	通常	一括	
87	深鉢	口縁	— — —	舌状の突起に刻みをもつ隆帯が付属	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	灰褐色 5YR 5/2	通常	1087	
88	深鉢	胴部	— — —	眼鏡状突起	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/6	赤褐色 5YR 4/6	通常	一括	
89	深鉢	胴部	— — —	横位のコイル状突起	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/6	にぶい赤褐色 5YR 4/6	通常	183	
90	深鉢	胴部	— — —	コイル状突起	ナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	183	
91	深鉢	胴部	— — —	眼鏡状突起から曲隆帯が派生	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	一括	
92	深鉢	胴部	— — —	隆帯と曲隆線	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	148	
93	深鉢	胴部	— — —	円文	ナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	628	
94	深鉢	胴部	— — —	隆帯による円形区画内に列点刺突	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	777	
95	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯、沈線 列点刺突	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	712	
96	深鉢	胴部	— — —	隆帯による区画内に列点刺突	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	785	
97	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯と沈線 円文	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 4/4	明赤褐色 5YR 5/8	通常	一括	
98	深鉢	胴部	— — —	小突起から派生する曲隆帯とそれに沿う沈線	ヨコナデ	白色粒子	灰褐色 5YR 4/2	明赤褐色 5YR 5/6	通常	449	

（単位cm）

第37表　Ｊ－11号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
99	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯とそれに沿う沈線円文	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	橙色 5YR 6/8	通常	99	
100	深鉢	胴部	— — —	垂下隆帯と沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/8	通常	127	
101	深鉢	胴部	— — —	縦位沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	通常	1198	同一個体
102	深鉢	胴部	— — —	縦位沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	1240	
103	深鉢	胴部	— — —	ハの字状の沈線	ヨコナデ	白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	952 1107	
104	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯、沈線	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 7.5YR 4/6	通常	682	
105	深鉢	下半部	— — —	弧状の隆帯と沈線 小形	ヨコナデ	白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	623 312	
106	深鉢	口縁	— — —	刻みのある隆帯と斜位の平行沈線	ナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	190	
107	深鉢	口縁	— — —	半截竹管の連続刺突のある隆帯による楕円区画	ナデ	白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 7/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	1088	
108	深鉢	口縁	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	128 269	
109	深鉢	口縁	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	白色粒子	灰黄褐色 10YR 4/2	灰黄褐色 10YR 4/2	通常	924	
110	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	密なヨコミガキ	白色粒子	黒褐色 5YR 3/1	灰褐色 5YR 4/2	良	604	
111	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ナデ	白色粒子	灰褐色 5YR 4/2	明赤褐色 5YR 5/6	通常	1104	
112	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 4/3	褐色 7.5YR 4/3	通常	190	
113	浅鉢	口縁	— — —	折り返し口縁	ヨコナデ	白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/3	灰褐色 7.5YR 4/2	通常	315	
114	深鉢	口縁	— — —	無文、小形	ヨコナデ	黒雲母	褐色 7.5YR 4/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	146	
115	深鉢	口縁	— — —	無文	丁寧なヨコミガキ	白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/3	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	860 718	
116	深鉢	口縁	— — —	無文、粗製、小形	ヨコナデ	白色粒子	黒褐色 7.5YR 3/1	橙色 7.5YR 6/6	通常	145	
117	深鉢	胴部	— — —	無文	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/8	明赤褐色 5YR 5/6	通常	1110	
118	浅鉢	上半部	— — —	無文 内外面赤色塗彩	ヨコミガキ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	272 227 1276	

（単位cm）

(12)　Ｊ－12号住居址

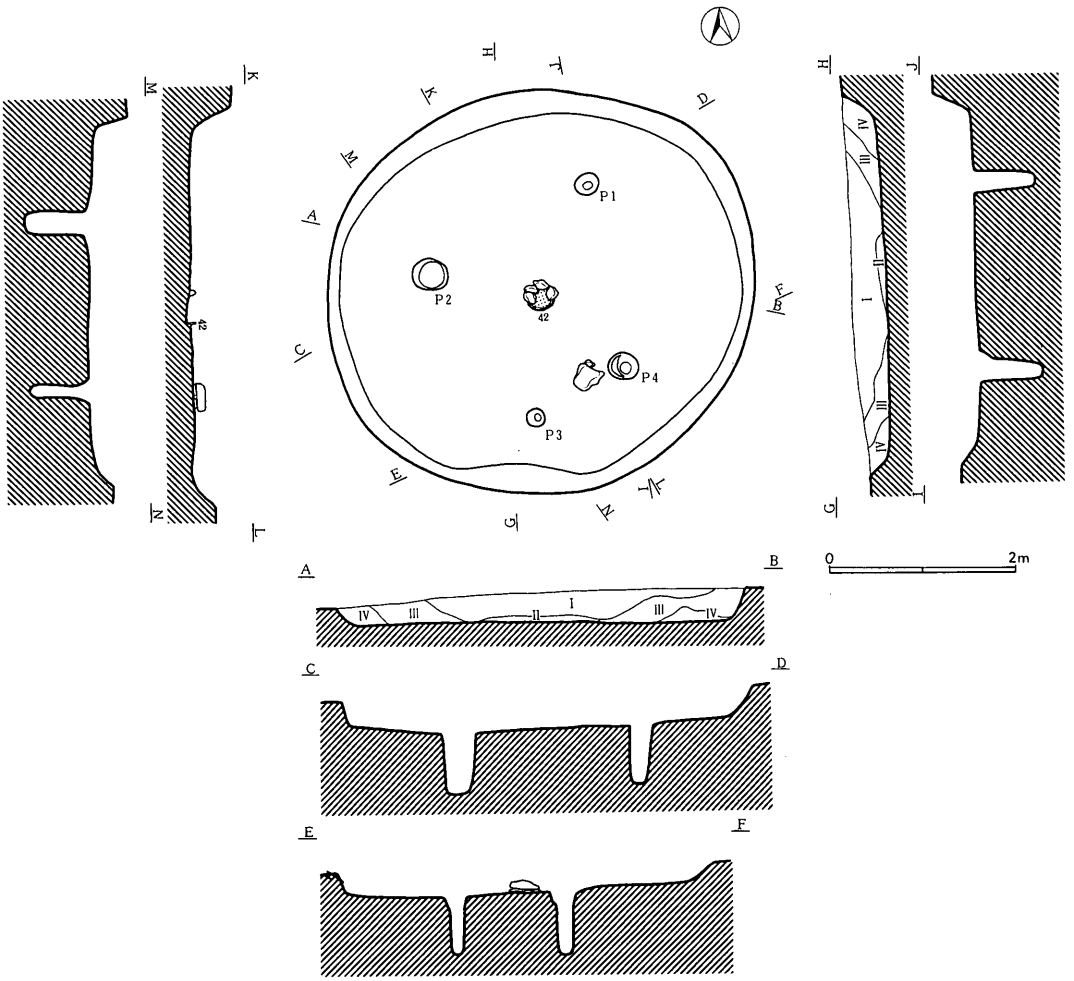
住居址　　第76・77図

Ｊ－11号住居址は、Ｇ－12グリッドにおいて検出された。本址は、Ｊ－26号住居址（前期）を切って存在している。

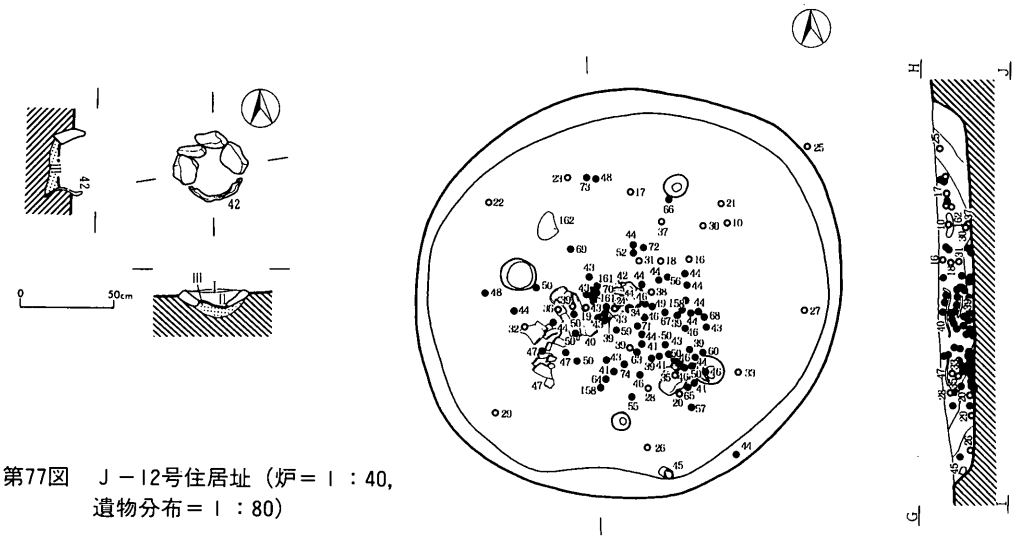
本址は、南北4.3m・東西4.6mの円形を呈し、床面積13.1m²を測る。壁の残存高は、20～35cmを測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

ピットは、P_1～P_4がハの字に配されている。ピットの大きさは、P_1が26×22×62cm、P_2が38×32×64cm、P_3が18×18×60cm、P_4が32×30×68cmを測る。

住居覆土は、4層に分層された。I層は多量のカーボンを含み焼土をあまり含まない黒色土層（10YR2/1）、II層は焼土を含む黒褐色土層（10YR3/2）、III層は多量のローム粒子およびロームの小ブロックを含む人為的埋土とみられる暗褐色土層（10YR3/4）でその上面の硬化が激しかった。IV層は多量のローム粒子およびロームの小ブロックを含む人為的埋土とみられる暗褐色土層（10YR3/4）であった。



第76図　J－12号住居址（1：80）



第77図　J－12号住居址（炉＝Ⅰ：40，
遺物分布＝Ⅰ：80）

上記の住居覆土をみるに、おそらく次の二段階の堆積状況が考えられる。まず、住居廃絶後そのくぼ地をIV・III層で埋め、その面で火が焚かれた。つづいて、II・Ⅰ層が埋められ、その層に大量の土器が廃棄された。

したがって、本住居の遺物は、その細かな時期については三段階にわけて考えなくてはならない。第一段階は住居廃絶までの遺物で、炉縁に用いられている42の深鉢破片と、壁際から出土した45の小形深鉢胴下半部がそれにあたる。第二段階はIV・III層堆積時の遺物で25・26・29などの打製石斧などがそれで、あまり遺物数が多くない。第三段階はII・Ⅰ層堆積時で多量の廃棄遺物がみられる。39～41の焼町土器、43・82・83などの土器もこの段階の遺物である。II・Ⅰ層の遺物の出土状況は『図版編』の図版30・31に示してある。

炉　　第77図

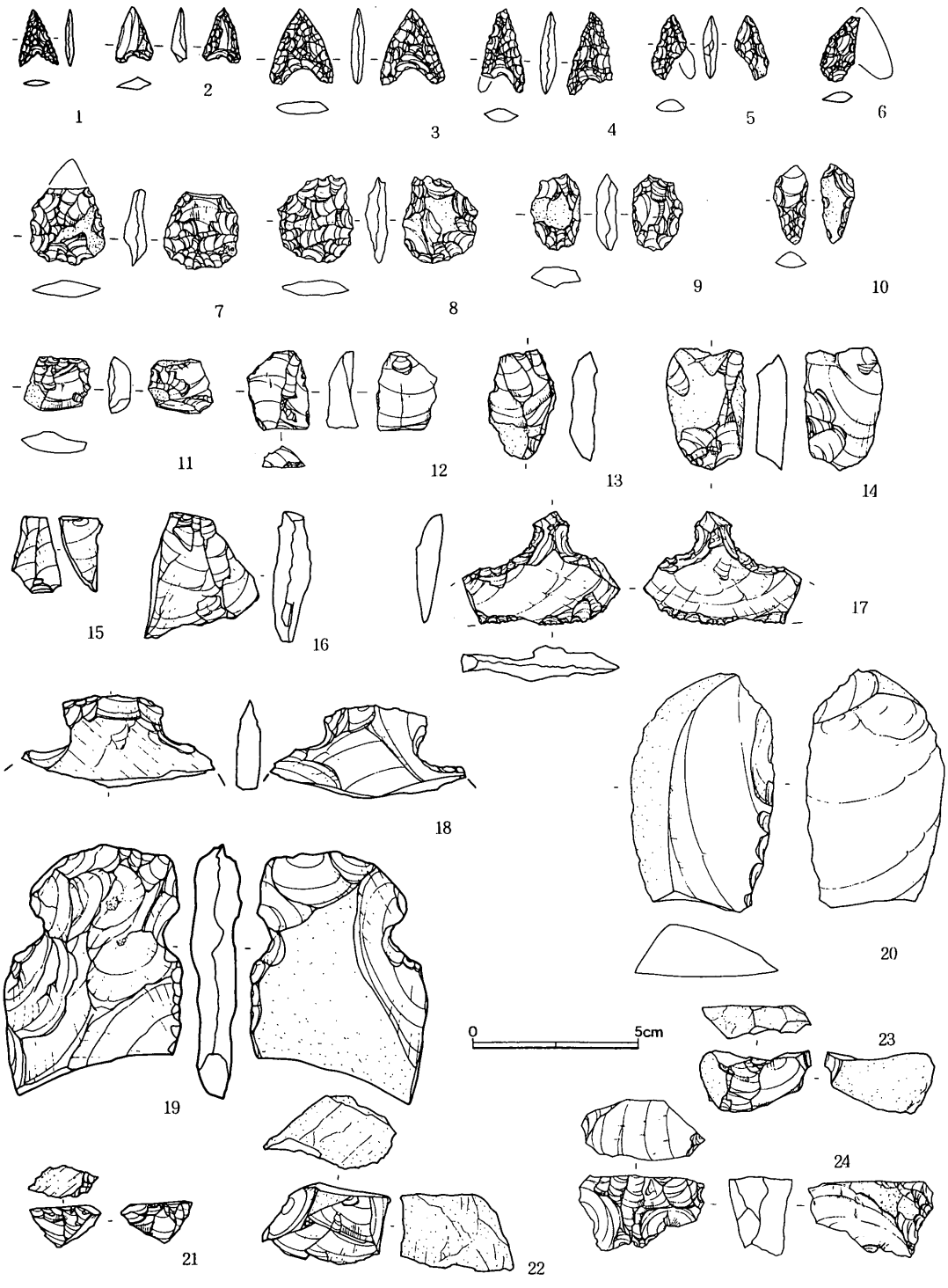
炉は、住居址のほぼ中央に存在している。安山岩礫4個と42の深鉢破片を配した石囲い炉で、40×35cm深さ15cmを測る。

覆土は3層に分層された。Ⅰ層は焼土を多く含みカーボン・骨片を含む赤褐色土層（5YR4/8)、II層はカーボン・焼土粒子を含む暗褐色土層（10YR3/4)、III層はローム粒子・焼土粒子を含む褐色土層（10YR4/6）である。

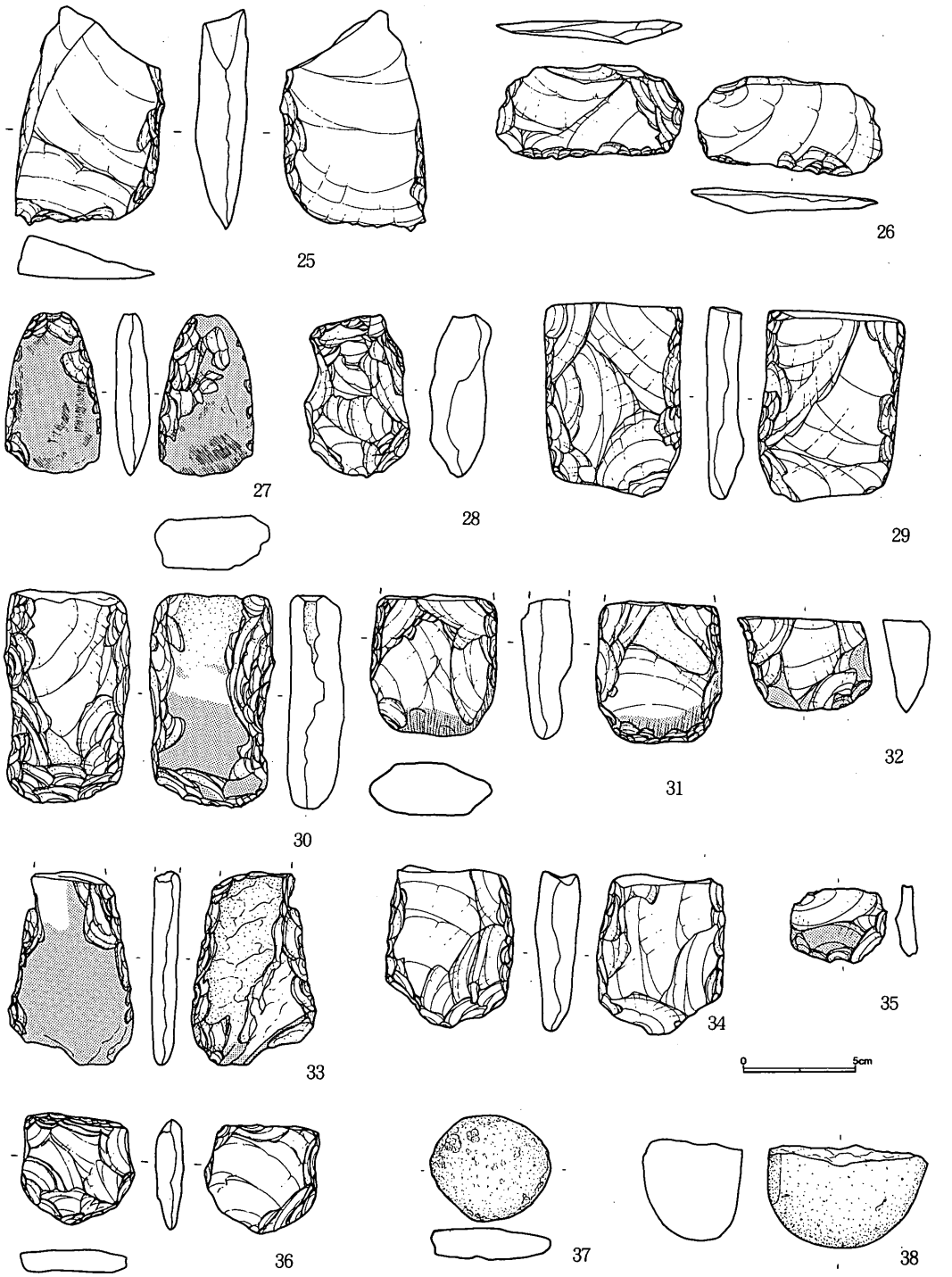
遺　物　　第78～91図・第38～43表

遺物は、石器では、石鏃（1～6）・石鏃未成品（7～9）・石錐（10）・ピエス・エスキーユ（11～16）・石匙（17～19）・スクレイパー（20・25・26）・石核（21～24）・磨製石斧（27）・打製石斧（28～36）・磨石（38）・軽石製円盤（37）・石皿（39）が出土している。

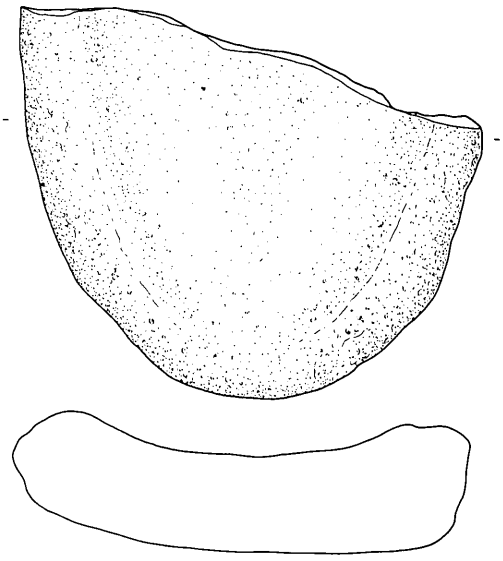
土器は、一定の復元が可能な個体が多くみられ、なかでも焼町土器はほぼ完形に近い状態に復元されたものがいくつかある。



第78図　J－12号住居址出土石器（1：2）



第79図　J－12号住居址出土石器（1：3）



39

第80図　J－12号住居址出土石器（1：4）

第38表　J－12号住居址出土遺物一覧表　＜石器・円盤＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	17	12	2	0.2	
2	石鏃	黒曜石	16	11	5	0.4	
3	石鏃	黒曜石	22	19	4	1.2	
4	石鏃	黒曜石	25	14	5	0.9	欠損
5	石鏃	黒曜石	19	10	4	0.5	欠損
6	石鏃	黒曜石	20	12	3	0.5	欠損
7	石鏃未成品	黒曜石	23	22	7	2.6	
8	石鏃未成品	黒曜石	26	22	7	3.0	
9	石鏃未成品	黒曜石	23	15	6	1.9	ピエス・エスキーユ？
10	石錐	黒曜石	23	10	5	1.0	
11	ピエス・エスキーユ	黒曜石	16	20	7	2.0	
12	ピエス・エスキーユ	黒曜石	23	18	10	3.0	
13	ピエス・エスキーユ	黒曜石	32	20	8	4.5	
14	ピエス・エスキーユ	黒曜石	36	24	10	7.9	
15	ピエス・エスキーユ	チャート	24	15	12	3.9	
16	ピエス・エスキーユ	チャート	38	34	11	14.0	
17	石匙	ガラス質黒色安山岩	35	47	11	7.7	欠損、山本分析No.5八風山産
18	石匙	頁岩I	28	58	7	10.1	欠損
19	石匙	頁岩II	75	54	16	52.3	欠損
20	スクレイパー	安山岩	70	43	19	62.9	欠損
21	石核	黒曜石	12	21	9	1.9	
22	石核	黒曜石	24	34	22	16.1	
23	石核	黒曜石	18	33	10	5.6	
24	石核	黒曜石	22	37	18	11.7	
25	スクレイパー	安山岩	97	66	24	144.0	欠損
26	スクレイパー	安山岩	42	84	11	34.1	
27	磨製石斧	蛇紋岩	71	43	16	64.9	
28	打製石斧	ガラス質黒色安山岩	72	47	29	93.7	欠損
29	打製石斧	安山岩	86	62	19	115.1	欠損
30	打製石斧	安山岩	95	57	25	194.4	欠損
31	打製石斧	安山岩	64	56	24	109.9	欠損
32	打製石斧	頁岩I	41	61	29	55.3	欠損
33	打製石斧	頁岩II	87	56	13	69.0	欠損
34	打製石斧	安山岩	73	57	20	88.5	欠損
35	打製石斧	安山岩	24	43	9	15.3	欠損
36	打製石斧	安山岩	49	51	13	35.1	欠損
37	円盤	軽石	47	54	14	14.6	
38	磨石	安山岩	46	72	45	187.7	欠損
39	石皿	安山岩	205	245	70	3,790.0	欠損
160	円盤	土製	33	31	11	13.0	

（単位mm，g）

ただし、層位の部分で記したが本住居には三段階の廃棄過程が想定でき、その時間的近接性はともかく、出土した土器を一括扱いするには問題が残る。

まず、第一段階では、炉縁に用いられた42の焼町土器の深鉢破片がある。壁際から出土した45の小形深鉢は胴下半部に縄文のみられるものである。

第三段階では、39～41の焼町土器、43・82・83などの土器がある。

39・40はともに焼町土器の大形の深鉢で優品である。両者は器形や口縁の4単位の環状把手こそ共通するが、文様構成には差がみられる。39の列点刺突は40にはみられず、40の胴部上半の4単位の環状突起をつなぐ平行隆線は39にはない。口縁の環状把手の方向・刻みの有無も両者は異なっている。

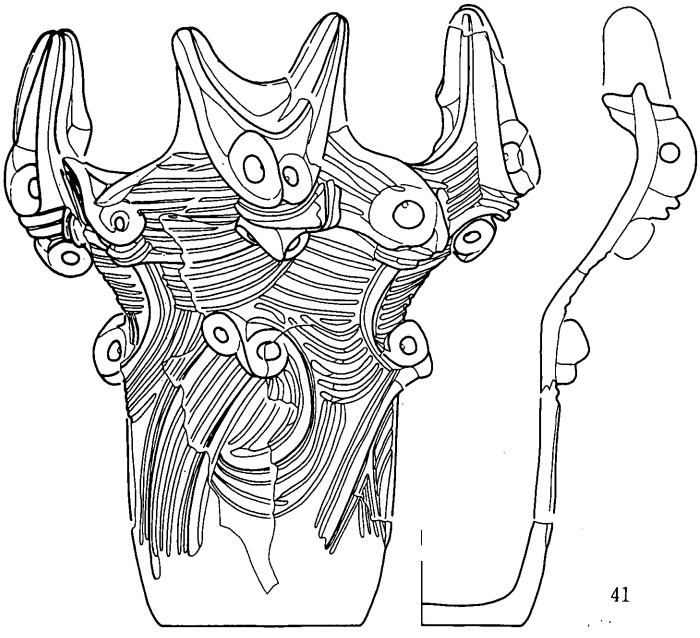
41も39・40と比べると小ぶりの焼町土器であるが口縁に4単位のV字状の把手がみられるのが大きな特徴で、これに眼鏡状突起・曲隆線・沈線がつくが列点刺突はない。このほか51～65も焼町土器の破片である。

43・44・47は勝坂系の深鉢で、43には鋸歯状の鍔が口縁に巡り逆ハの字状の器形を呈する特徴的な土器で、富士見町井戸尻遺跡などに出土例がみられる。

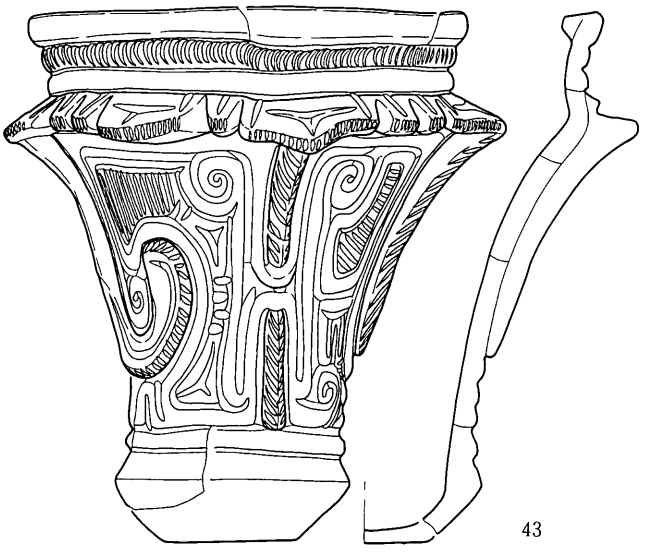
113は、小形の有孔鍔付土器の破片である。

時　期

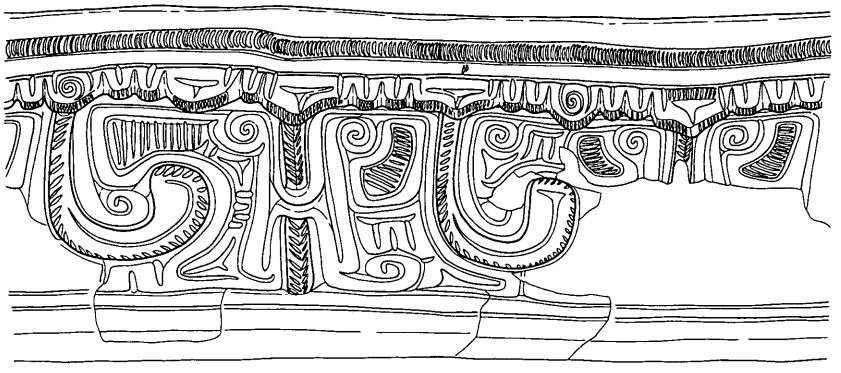
本住居址は、さきに述べたように廃棄の段階がいくつかあるが、炉縁に用いられた42の焼町土器によれば川原田遺跡第10期に位置付けられよう。



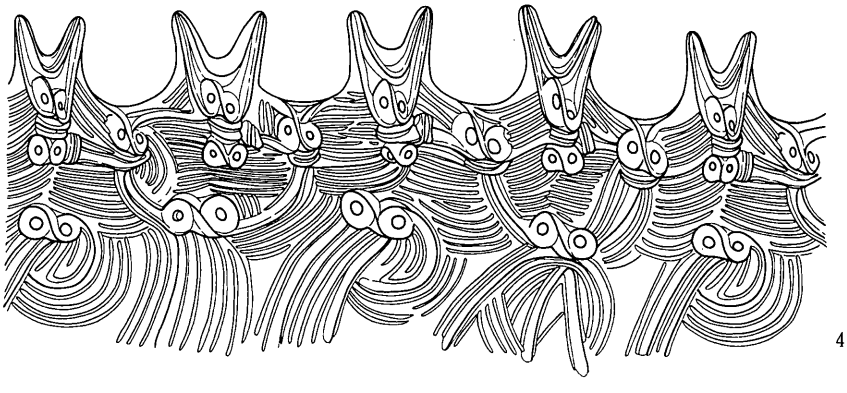
第81図　J－12号住居址出土土器（1：4）



43

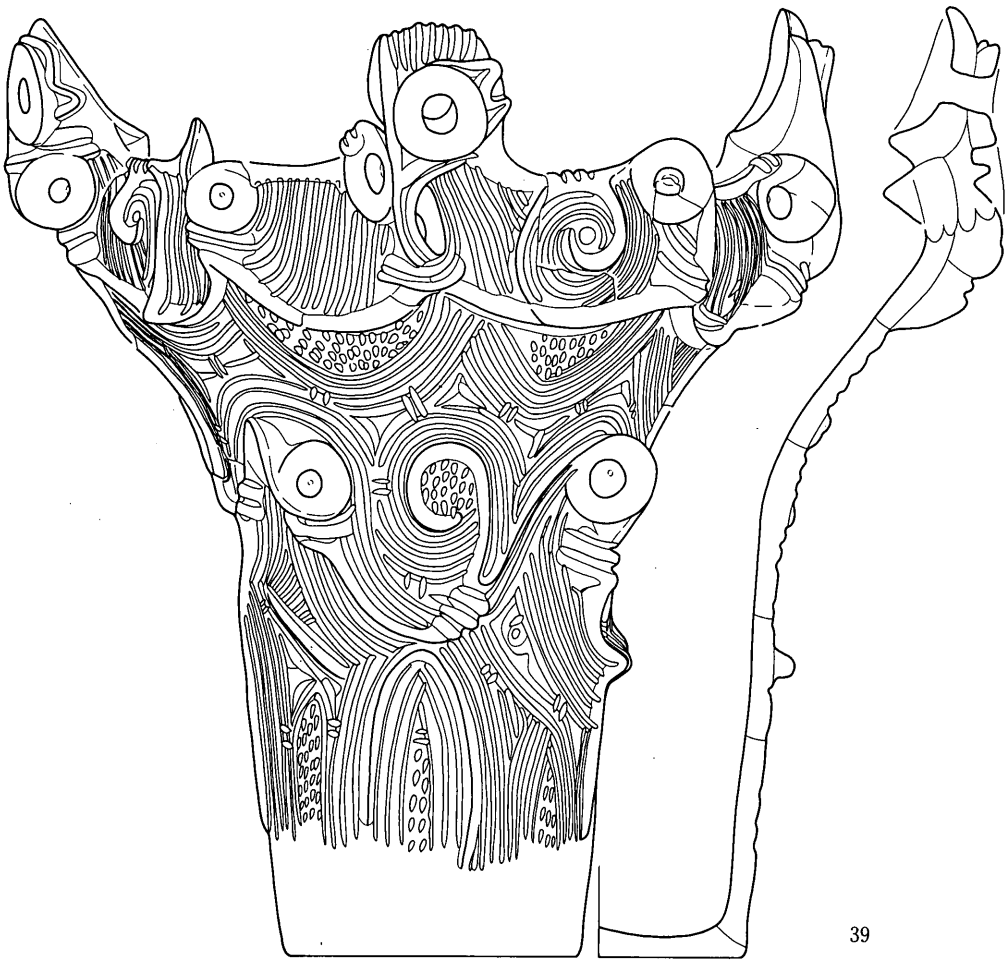


43

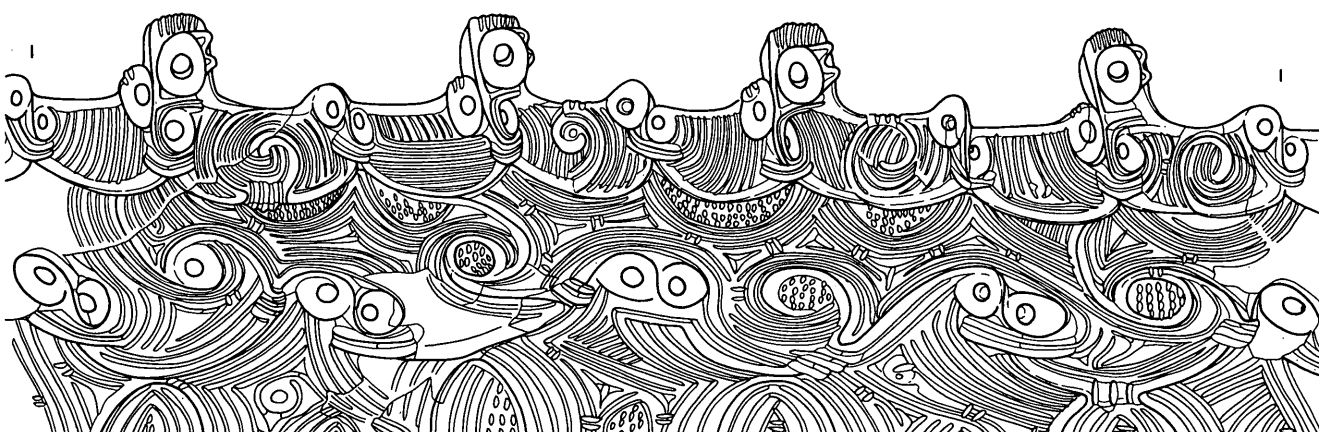


41

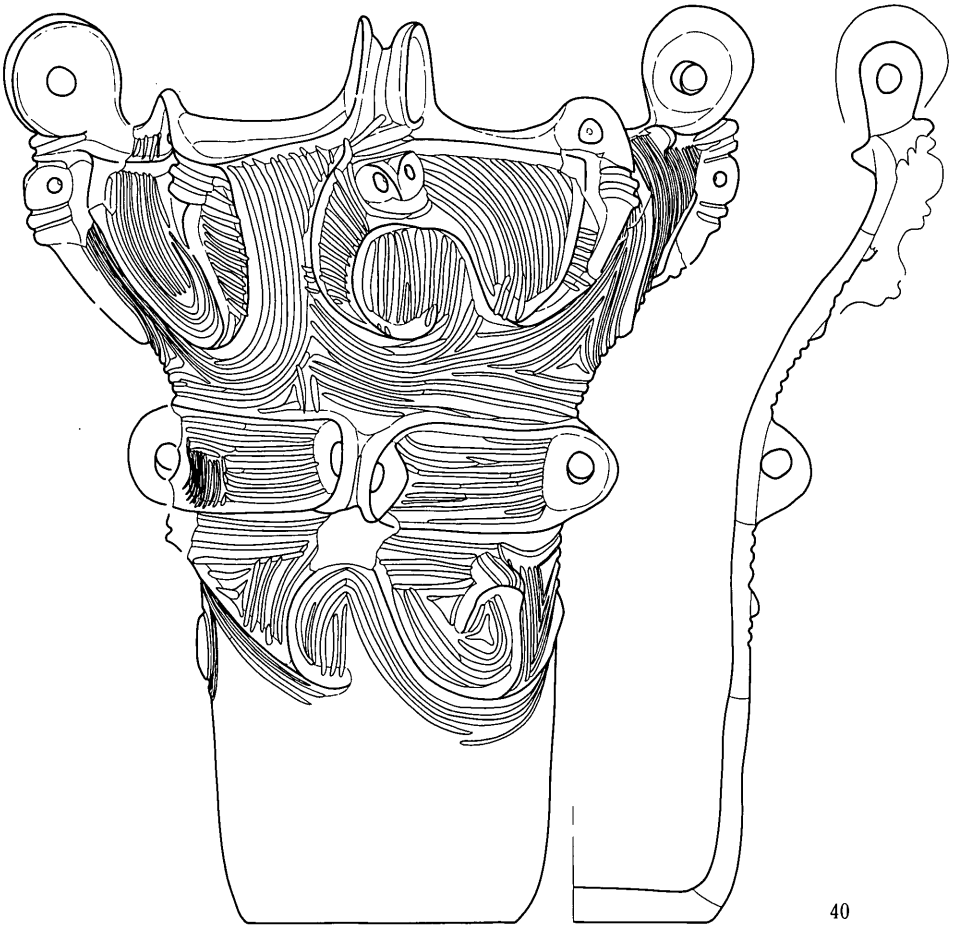
第82図　J－12号住居址出土土器（1：4，展開図＝1：6）

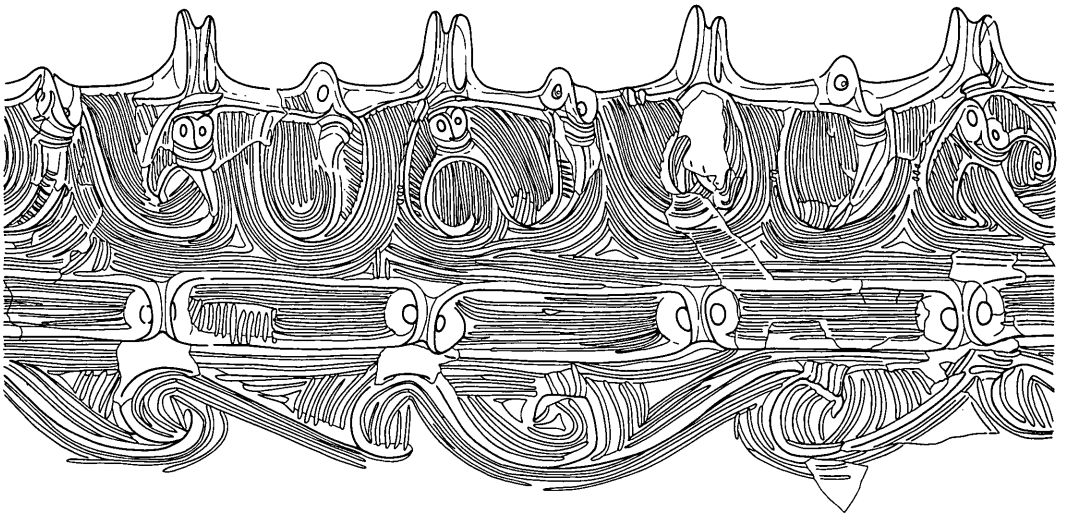


39

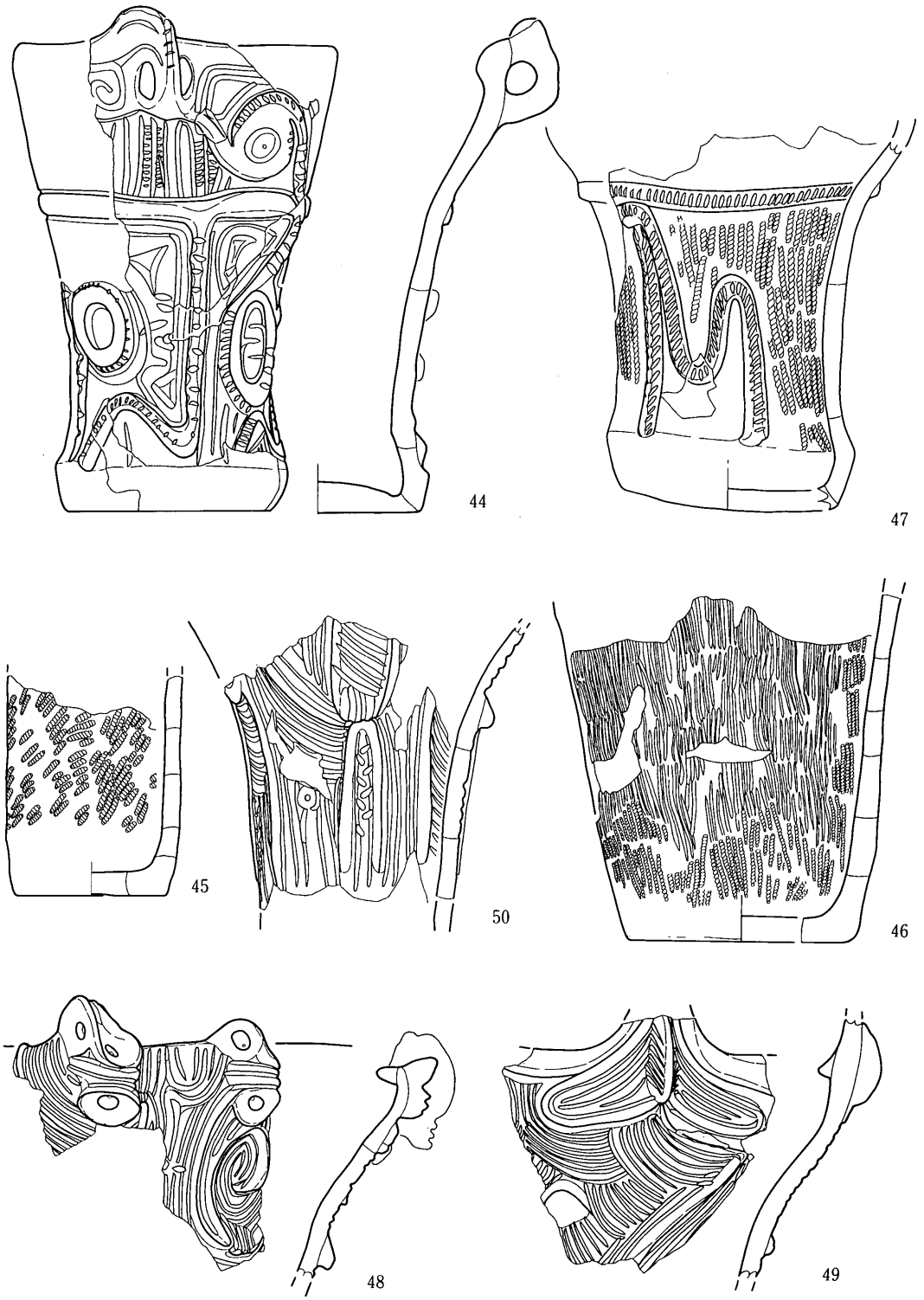


第83図　J－12号住居址出土土器（1：4，展開図＝1：7）

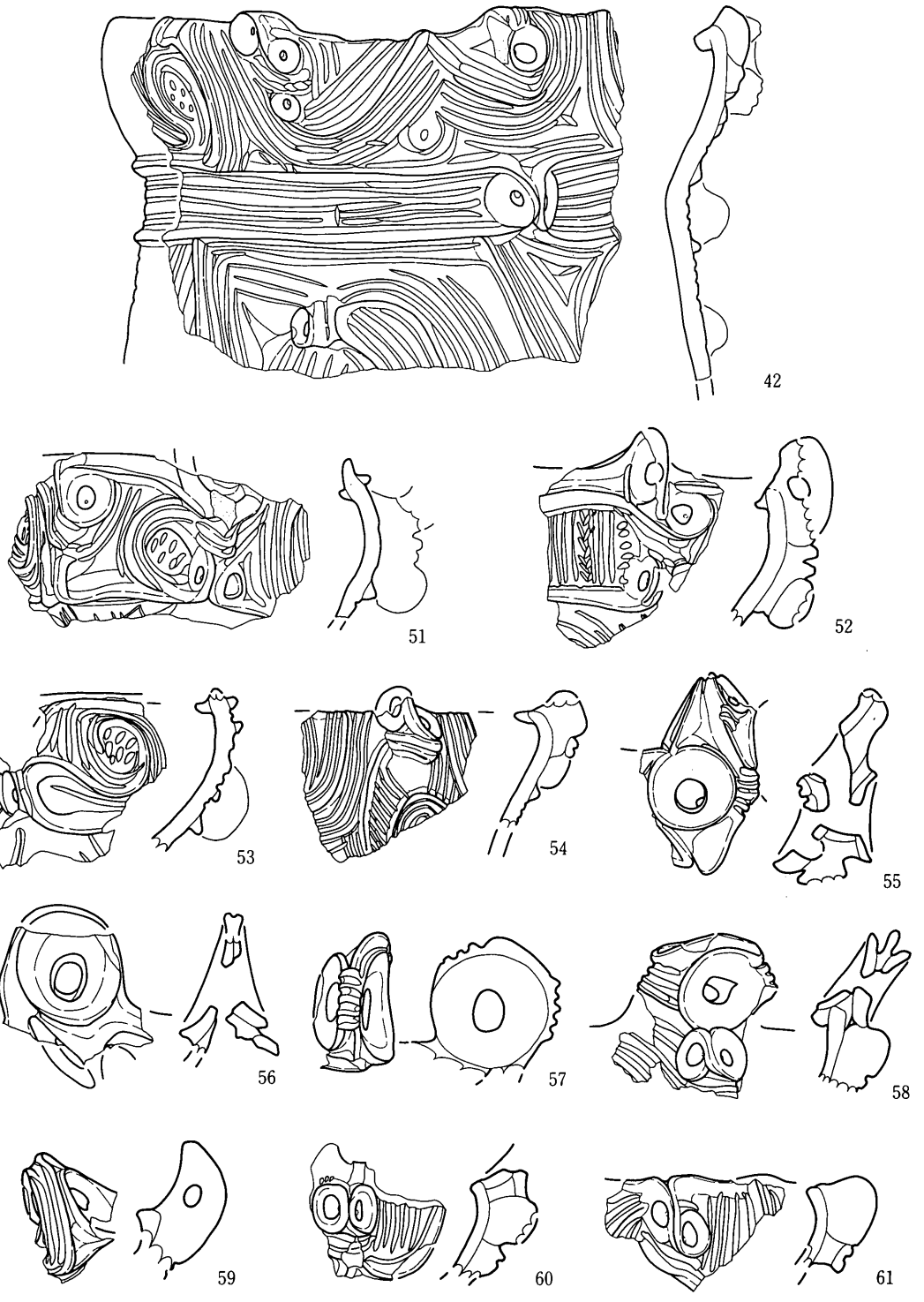




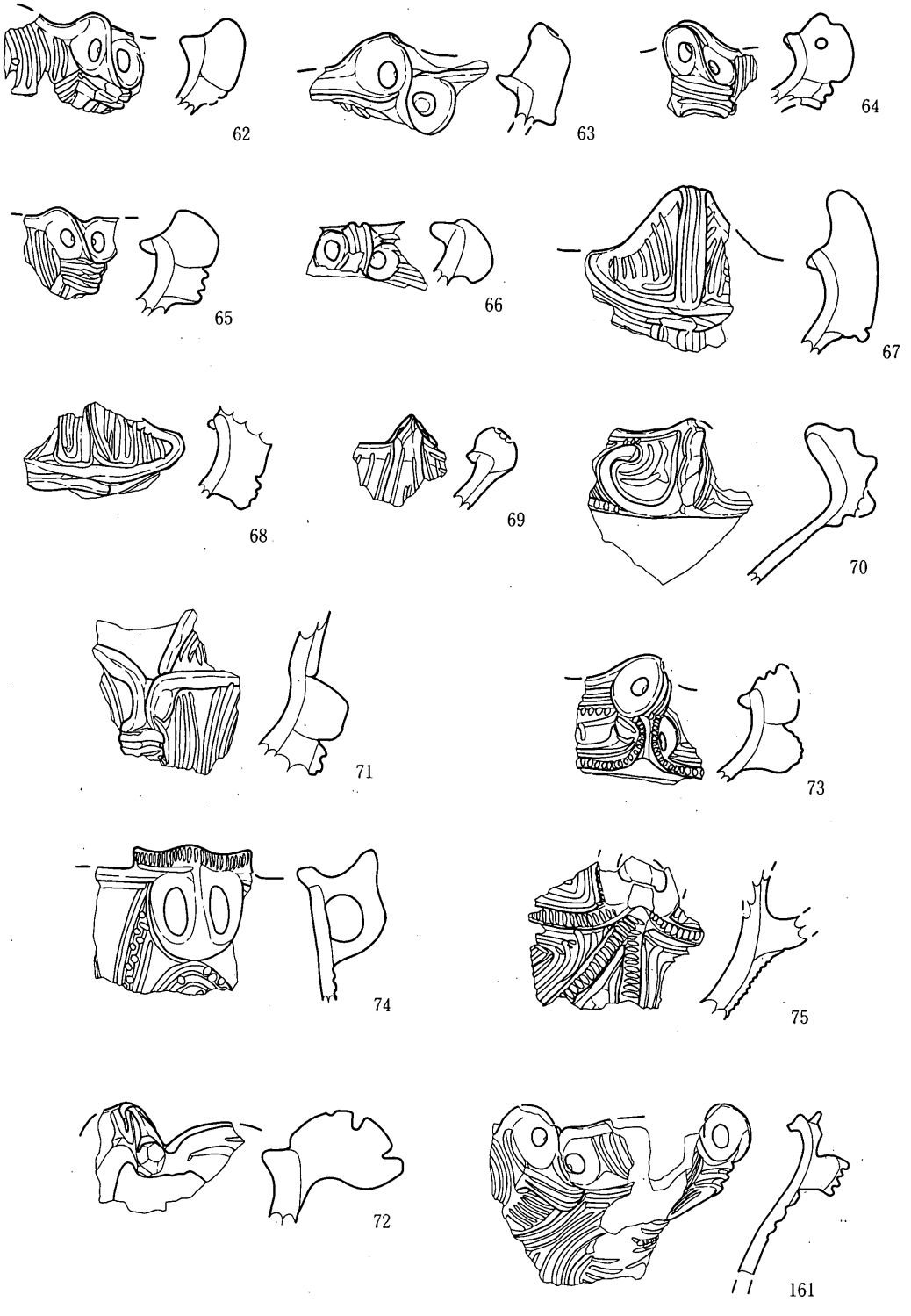
第84図　J－12号住居址出土土器（1：4，展開図＝1：6）



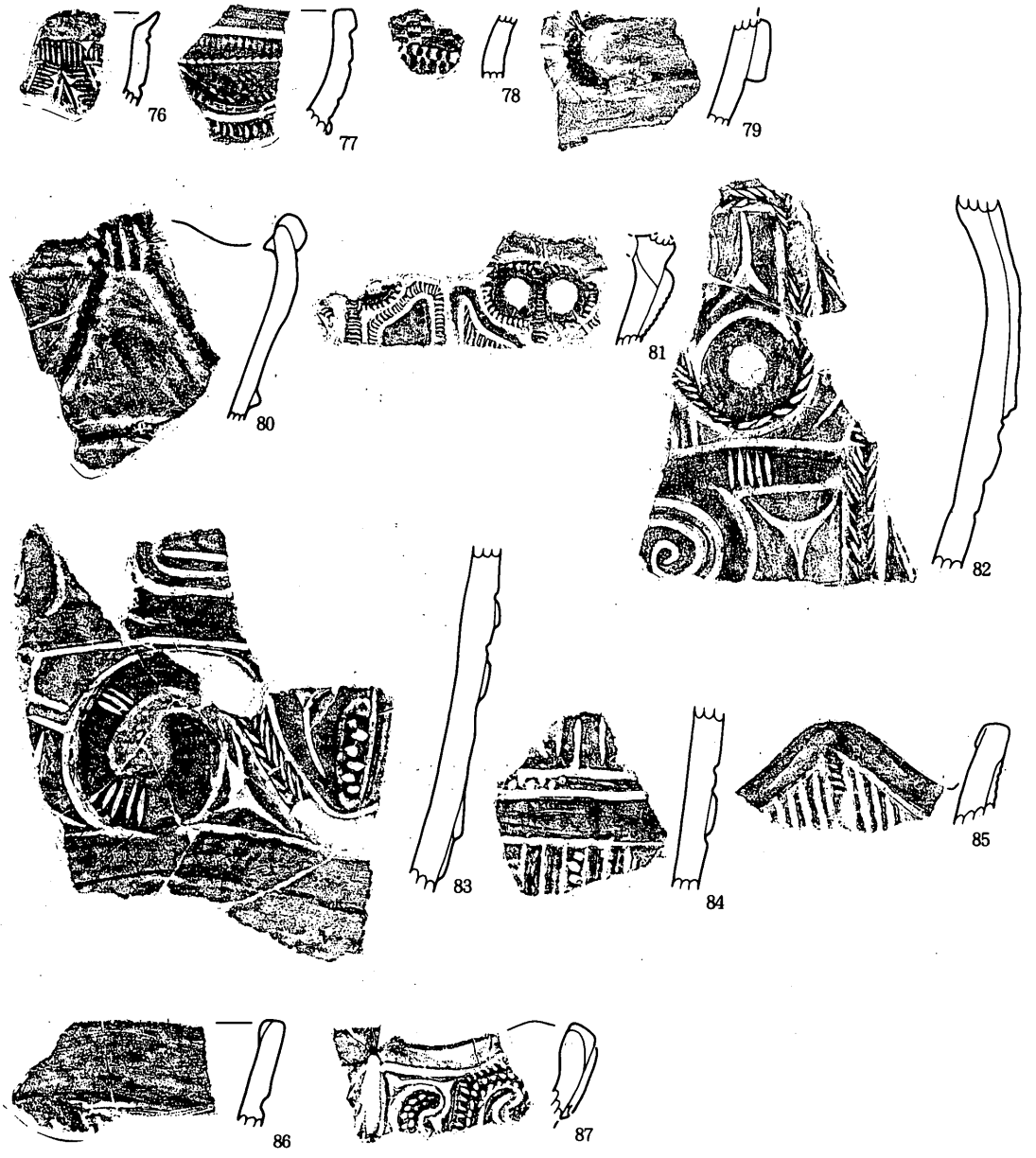
第85図　J－12号住居址出土土器（1：4）



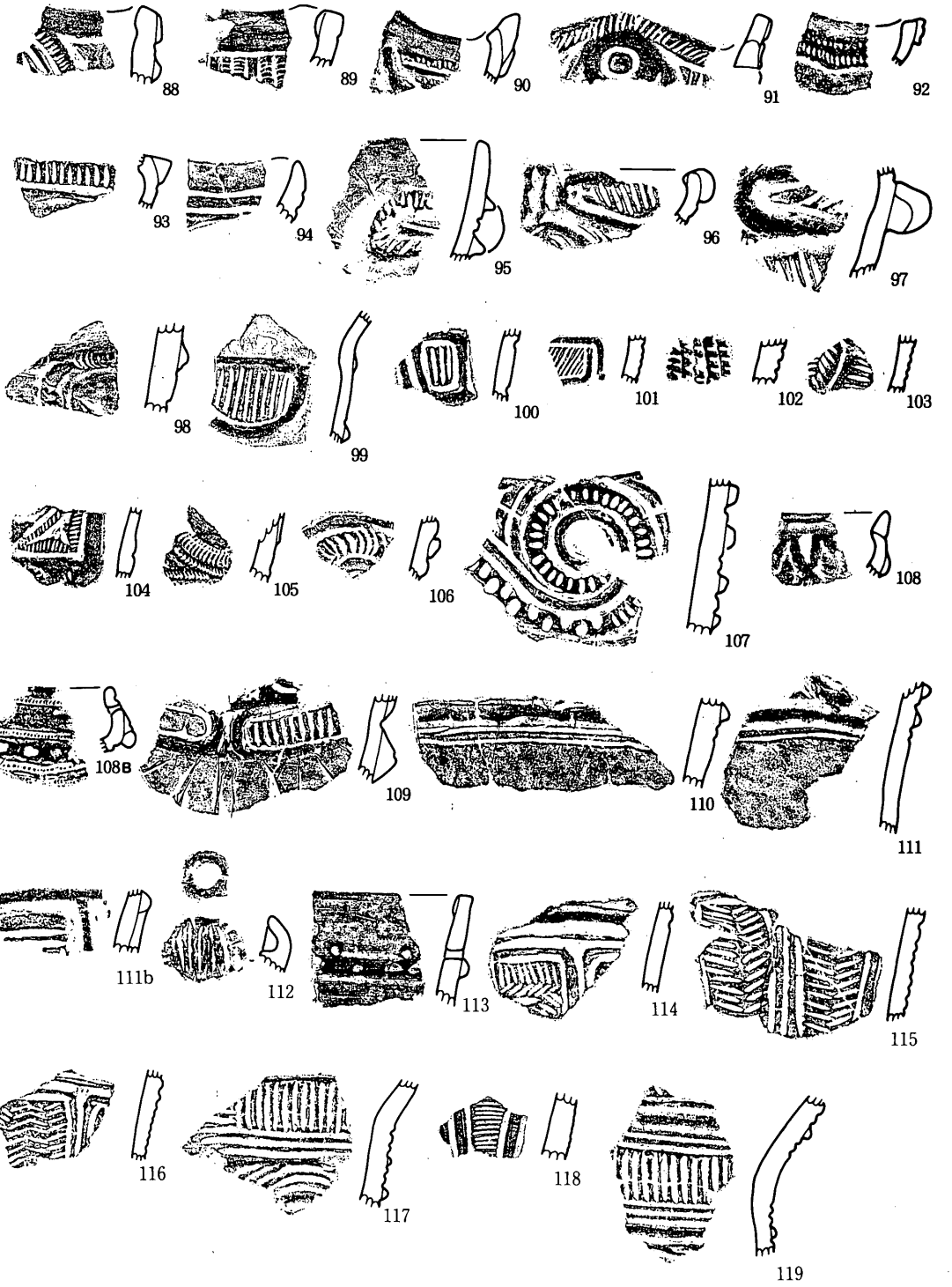
第86図　J－12号住居址出土土器（1：4）



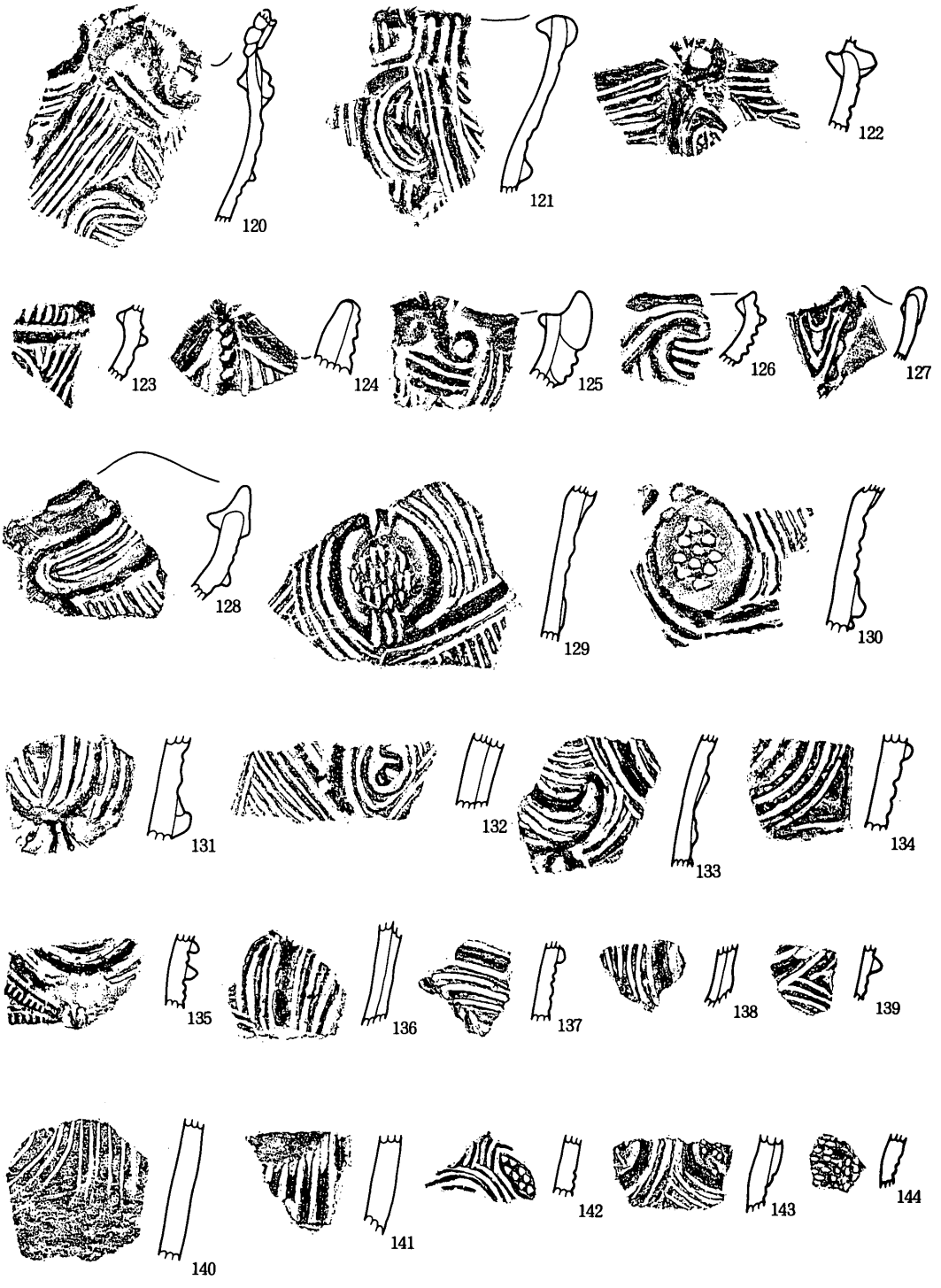
第87図　J－12号住居址出土土器（1：4）



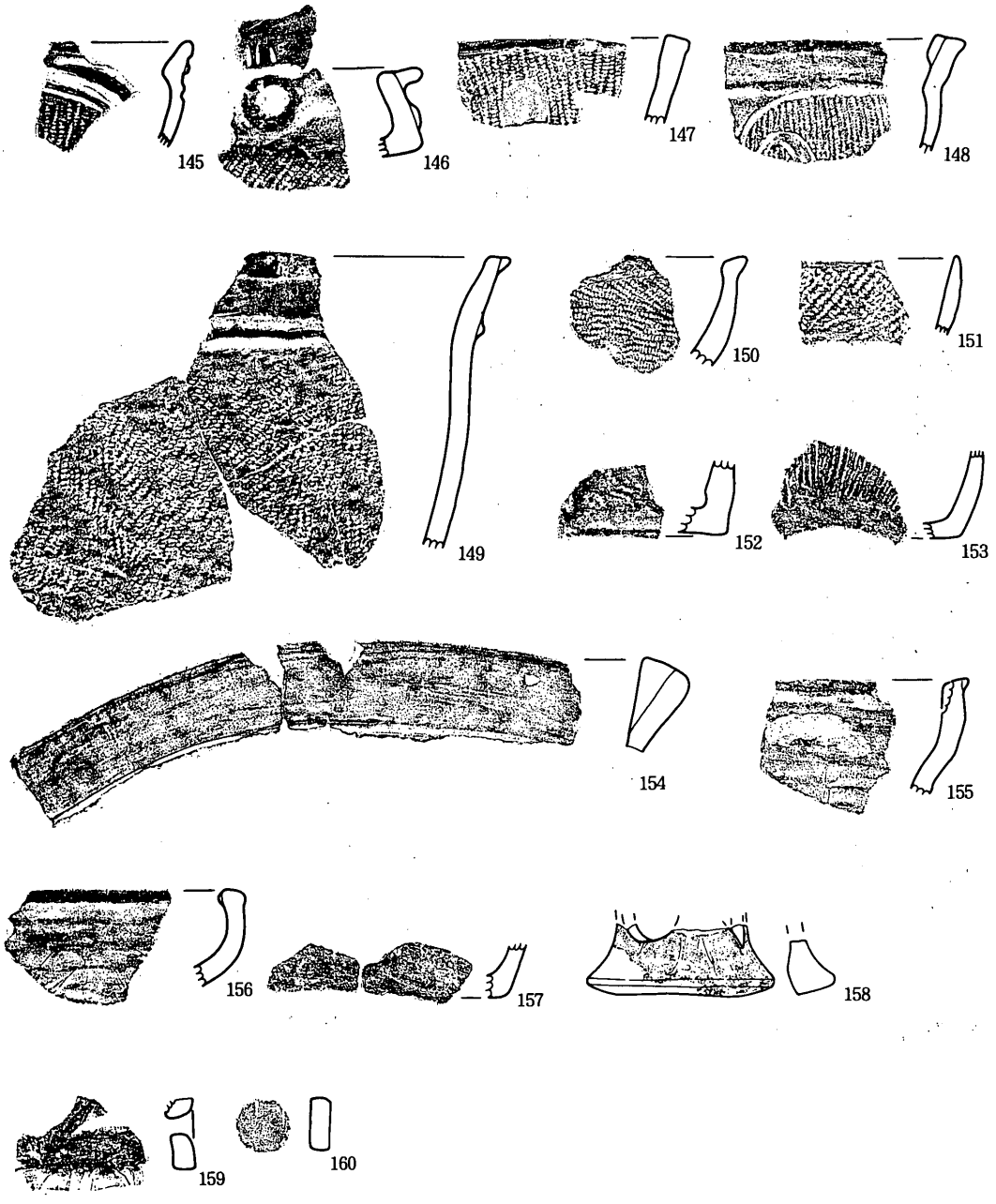
第88図　Ｊ－12号住居址出土土器（１：４）



第89図　J－12号住居址出土土器（1：4）



第90図　J－12号住居址出土土器（1：4）



第91図　J－12号住居址出土土器（1：4）

第39表　J－12号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
39	深鉢	口縁 ～ 底部	35.0 48.4 15.2	4単位の環状突起 曲隆線、列点刺突 頚部は横位隆線で区切られない	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	にぶい橙色 2.5YR 6/4	通常	1907 918	
40	深鉢	口縁 ～ 底部	31.0 48.0 14.0	4単位の環状把手。コイル状突起。 頚部は平行する2条の隆線が4単位の環状突起に接続し、区切られる	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	にぶい橙色 2.5YR 6/4	良好	757	
41	深鉢	口縁 ～ 底部	22.0 31.6 11.0	4単位のV字状把手 環状突起。曲隆線 列点刺突は認められず	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	にぶい橙色 2.5YR 6/4	通常	1726 1736 1661	
42	深鉢	口縁 ～ 胴部	37.2 － －	環状突起、曲隆線 列点刺突、頚部は平行する2条の隆線で区切られる	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	良好	1737	炉の囲いとして使用
43	深鉢	口縁 ～ 胴部	23.6 28.0 （7.2）	口縁には鋸歯状の鍔がつく 胴部は垂下する4本の隆帯で四面に区画される	ヨコミガキ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	にぶい橙色 2.5YR 6/4	通常	1470 1477	
44	深鉢	口縁 ～ 底部	（19.6） 30.4 12.0	環状把手 幅広い隆帯による円形文 刻みのある隆帯	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	通常	796 1630	
45	深鉢	底部	－ － 9.0	縄文LR	ヨコミガキ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1608	
46	深鉢	底部	－ － 13.0	下部には縄文RL 上部は縄文の条をまねたかのような密な沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	にぶい橙色 2.5YR 6/4	通常	901 972	
47	深鉢	口縁 ～ 底部	－ － －	地文に縄文LR 胴部に蛇行する刻みのある隆帯を付す	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	754	
48	深鉢	口縁	－ － －	ねじれた眼鏡状突起 コイル状突起、曲隆線 沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	通常	1144 789	
49	深鉢	口縁	－ － －	隆線による羽根状の区画 平行する曲沈線	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1708	
50	深鉢	胴部	－ － －	曲隆線、沈線、列点刺突 円文、交互の刺突による蛇行文	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	通常	1004	
51	深鉢	口縁	－ － －	環状突起、曲隆線 列点刺突	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	通常	一括	
52	深鉢	口縁	－ － －	環状突起、隆線 ハの字状の列点	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1692	
53	深鉢	口縁	－ － －	環状突起、沈線 渦巻き状の曲隆線内に列点刺突	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	754	
54	深鉢	口縁	－ － －	眼鏡状突起、コイル状突起 曲隆線、沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	上面	
55	深鉢	突起	－ － －	環状突起	ナデ	黒雲母	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	816	
56	深鉢	突起	－ － －	環状突起	ナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	1699	
57	深鉢	突起	－ － －	刻みのある環状突起	ナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	45	
58	深鉢	突起	－ － －	環状突起、眼鏡状突起 コイル状突起	ナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1736	
59	深鉢	突起	－ － －	稜部に沈線のある環状突起	ナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	1544	
60	深鉢	口縁	－ － －	眼鏡状突起、コイル状突起 沈線	ナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/4	やや不良	823	
61	深鉢	口縁	－ － －	ねじれた眼鏡状突起 曲隆線、沈線	ナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	やや不良	784	
62	深鉢	口縁	－ － －	ねじれた眼鏡状突起 コイル状突起、沈線	ナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	1736	
63	深鉢	口縁	－ － －	ねじれた眼鏡状突起	ナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	917	

（単位cm）

第40表　J－12号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
64	深鉢	口縁	― ― ―	ねじれた眼鏡状突起 コイル状突起	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	1556	
65	深鉢	口縁	― ― ―	ねじれた眼鏡状突起 コイル状突起	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	にぶい橙色 2.5YR 6/4	通常	1055	
66	深鉢	口縁	― ― ―	稜部に沈線のあるねじれた眼鏡状突起	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	298	
67	深鉢	口縁	― ― ―	2条の沈線の刻まれた甲高な隆帯、沈線	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/6	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	893	同一個体
68	深鉢	口縁	― ― ―	2条の沈線の刻まれた甲高な隆帯、沈線	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/6	橙色 5YR 6/6	通常	1194	
69	深鉢	口縁	― ― ―	眼鏡状突起	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	170	
70	深鉢	口縁	― ― ―	波状の甲高な隆帯 渦巻き状の隆帯、沈線	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 7.5YR 6/6	良好	759	
71	深鉢	口辺	― ― ―	甲高な隆帯、コイル状突起 沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい黄褐色 10YR 6/4	通常	909	
72	深鉢	突起	― ― ―	刻みのある突起	ナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	781	
73	深鉢	口縁	― ― ―	環状突起 刻みのある甲高の隆帯	ヨコミガキ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	良好	9	
74	深鉢	口縁	― ― ―	頂部に三叉文のある環状突起	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	にぶい赤褐色 5YR 5/3	良好	1484	
75	深鉢	胴部	― ― ―	刻みのある幅広沈線の区画内に沈線	不明	角閃石多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	一括	
76	深鉢	口縁	― ― ―	幅広の連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	にぶい黄橙色 10YR 6/4	にぶい黄橙色 10YR 5/3	通常	980	
77	深鉢	口縁	― ― ―	刻みのある曲隆帯 ペン先状の連続刺突文	ヨコミガキ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい褐色 7.5YR 5/4	良	一括	
78	深鉢	口縁付近	― ― ―	連続刺突文	ナデ	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	1622	
79	深鉢	口縁付近	― ― ―	隆帯	不明	黒雲母	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 7/6	通常	137	
80	深鉢	口縁	― ― ―	コイル状突起からハの字状に隆帯が下りる	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	褐色 7.5YR 4/3	通常	320	
81	深鉢	口縁付近	― ― ―	眼鏡状突起と刻みの入る隆帯	ヨコミガキ 赤彩	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい黄橙色 10YR 4/3	良	238	
82	深鉢	胴部	― ― ―	隆帯上にハの字状の刻み 隆帯による円形の文様 三叉文	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 6/4	良	756	
83	深鉢	胴部	― ― ―	隆帯状にハの字状の刻み 隆帯による渦巻き状の文様	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/8	にぶい黄橙色 10YR 6/4	良	755	同一個体
84	深鉢	胴部	― ― ―	平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	良	742	
85	深鉢	胴部	― ― ―	波状口縁 刻みをもつ凝位隆帯に平行する凝位沈線	ミガキ	白色粒子	橙色 5YR 7/6	にぶい褐色 7.5YR 5/3	良	I層	
86	深鉢	口縁	― ― ―	折り返し口縁	ヨコナデ	黒雲母	灰褐色 7.5YR 4/2	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	370 376	
87	深鉢	口縁	― ― ―	連続刺突のある蛮状の隆帯	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 6/4	橙色 7.5YR 6/6	良	一括	
88	深鉢	口縁	― ― ―	刻みのある隆帯	ヨコミガキ	黒雲母多量	にぶい褐色 7.5YR 6/3	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	1045	

（単位cm）

第41表　J－12号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
89	深鉢	口縁	— — —	半截竹管の連続刺突	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	1647	
90	深鉢	口縁	— — —	連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 2.5YR 6/6	にぶい橙色 5YR 6/4	良	1335	
91	深鉢	口縁	— — —	隆帯による円形の文様	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 5YR 6/3	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	475	
92	深鉢	口縁	— — —	幅広の隆帯上に2条の連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	灰赤色 2.5YR 4/2	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	380	
93	深鉢	口縁	— — —	平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	上面	
94	深鉢？	口縁	— — —	横位沈線 内外面赤色塗彩	ヨコミガキ	白色粒子	黒褐色 5YR 2/1	橙色 5YR 6/6	通常	1348 731	
95	深鉢	口縁	— — —	刻みのある隆帯による区画内に沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	140	
96	深鉢	口縁	— — —	隆帯による楕円区画内に平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい赤褐色 5YR 5/3	通常	1407	同一個体
97	深鉢	口縁	— — —	隆帯による楕円区画内に平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	901	
98	深鉢	胴部	— — —	刻みのある隆帯	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	上面一括	
99	深鉢	口縁	— — —	隆帯による楕円区画内に縦位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	橙色 5YR 6/6	通常	254	
100	深鉢	胴部	— — —	方形区画内に縦位平行沈線	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	226	
101	深鉢	胴部	— — —	方形区画内に斜位平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/3	良	730	
102	深鉢	胴部	— — —	平行沈線上に連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 5YR 3/1	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	271	
103	深鉢	胴部	— — —	ハの字状の沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 6/3	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
104	深鉢	胴部	— — —	連続刺突文による三角区画内に三叉文	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/4	橙色 5YR 6/8	通常	1140	
105	深鉢	胴部	— — —	キャタピラ文	ヨコナデ	白色粒子	黒褐色 5YR 3/1	橙色 5YR 6/6	通常	1013	
106	深鉢	胴部	— — —	刻みのある曲隆帯	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	854	
107	深鉢	胴部	— — —	刻みのある渦巻き状隆帯	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 4/3	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	894	
108	深鉢	口縁	— — —	X字状隆線	ヨコミガキ	黒雲母	橙色 2.5YR 6/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	上面一括	
109	深鉢	口縁	— — —	半截竹管による連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1012	
110	深鉢	口縁付近	— — —	楕円区画内に縦位平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	440	
111	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯と沈線	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	997	同一個体
111 b	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯と沈線	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1695	
112	深鉢	口縁	— — —	平行沈線のある円形突起	ナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	通常	639	

（単位cm）

第42表　J－12号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
113	有孔鍔付	口縁	— — —	横位隆帯上に円孔 内外面赤色塗彩	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 5/6	通常	956	
114	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯 沈線による区画内をハの字状沈線が埋める	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	1110	
115	深鉢	胴部	— — —	沈線による方形区画内をハの字状沈線が埋める	ナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	上面一括	同一個体
116	深鉢	胴部	— — —	沈線による区画内をハの字状沈線が埋める	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	上面一括	
117	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯 平行沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	250	
118	深鉢	胴部	— — —	縦位沈線による区画内を横位沈線が埋める	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	163	
119	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯による区画内を横位・縦位の平行沈線が埋める	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい赤褐色 5YR 5/3	通常	1275 747	
120	深鉢	口縁	— — —	環状突起、曲隆帯 平行沈線	ヨコミガキ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1676	
121	深鉢	口縁	— — —	コイル状突起から曲隆帯が派生 平行沈線	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1736	
122	深鉢	口縁	— — —	環状突起から、曲隆帯が派生し環状の区画を作る	ヨコミガキ	白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1673 1392	
123	深鉢	口縁	— — —	曲隆帯。平行沈線	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	913	
124	深鉢	口縁	— — —	垂下する刻みのある隆帯	ナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	上面	
125	深鉢	口縁	— — —	眼鏡状突起	ナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	992	
126	深鉢	口縁	— — —	曲隆帯と沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1426	
127	深鉢	口縁	— — —	隆帯V字状沈線	ヨコナデ	白色粒子	灰赤色 2.5YR 4/2	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	14	
128	深鉢	口縁	— — —	隆帯による楕円区画内に平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1205	
129	深鉢	胴部	— — —	幅広隆帯による円形区画内に列点刺突	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	856	
130	深鉢	胴部	— — —	幅広隆帯による円形区画内に列点刺突	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1155	
131	深鉢	胴部	— — —	小突起に連結する曲隆帯の楕円区画	ヨコミガキ	黒雲母	褐灰色 5YR 4/1	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	1711	
132	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯と平行沈線	ヨコナデ 赤色塗彩	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/3	通常	1697 1714	
133	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯と沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	442	
134	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯と平行沈線	ヨコミガキ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	1541	
135	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯と沈線	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/8	通常	685	
136	深鉢	胴部	— — —	隆帯と平行沈線	ナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	336	
137	深鉢	胴部	— — —	隆帯と平行沈線	ナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1736	

（単位cm）

第43表　J－12号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
138	深鉢	胴部	— — —	隆帯と平行沈線	ナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	354	
139	深鉢	胴部	— — —	隆帯と平行沈線	ナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	1136	
140	深鉢	胴部	— — —	平行沈線	ナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 4/3	通常	1698	
141	深鉢	胴部	— — —	平行沈線	ヨコミガキ	白色粒子	黒褐色 5YR 3/1	橙色 5YR 6/8	通常	上面一括	
142	深鉢	胴部	— — —	沈線による小楕円区画内に列点刺突	ヨコナデ	黒雲母	橙色 2.5YR 6/8	橙色 2.5YR 6/6	通常	1246	
143	深鉢	胴部	— — —	隆帯による区画内に列点刺突	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	794	
144	深鉢	胴部	— — —	列点刺突	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	559	
145	深鉢	口縁	— — —	隆帯、縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	橙色 5YR 6/8	通常	1089	
146	深鉢	口縁	— — —	縄文LR	ヨコナデ	白色粒子	褐色 7.5YR 4/3	橙色 7.5YR 6/6	通常	上面一括	
147	深鉢	口縁	— — —	平縁 縄文RL	ヨコミガキ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	175 164	
148	深鉢	口縁	— — —	平縁 縄文RL	ヨコミガキ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 4/3	橙色 5YR 6/6	通常	1582	
149	深鉢	口縁	— — —	横位隆帯 縄文RL	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	803	
150	深鉢	口縁	— — —	縄文RL	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/8	通常	169	
151	深鉢	口縁	— — —	縄文RL	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	813	
152	深鉢	底部	— — —	縄文RL	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	褐色 7.5YR 4/3	通常	上面一括	
153	深鉢	底部	— — —	撚糸文L	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	褐色 7.5YR 4/3	通常	上面一括	
154	深鉢	口縁	— — —	無文	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	755	
155	深鉢	口縁	— — —	口縁は外部に折り返す 無文	ヨコナデ	黒雲母	褐色 7.5YR 4/3	橙色 5YR 7/6	通常	上面一括	
156	深鉢	口縁	— — —		ヨコナデ	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	444	
157	深鉢	底部	— — —		ナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	1459	
158	深鉢	台部	— — —	台付深鉢の台部	ナデ	白色粒子	黄橙色 7.5YR 7/8	浅黄橙色 7.5YR 8/4	通常	1214 247 1475	
159	深鉢	台部	— — —	台付深鉢の台部 三角形の透かしが入る	ナデ	黒雲母	橙色 7.5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	615	
161	深鉢	口縁	— — —	眼鏡状突起、コイル状突起 曲隆線、沈線	ヨコミガキ	黒雲母	橙色 7.5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	1704	

（単位cm）

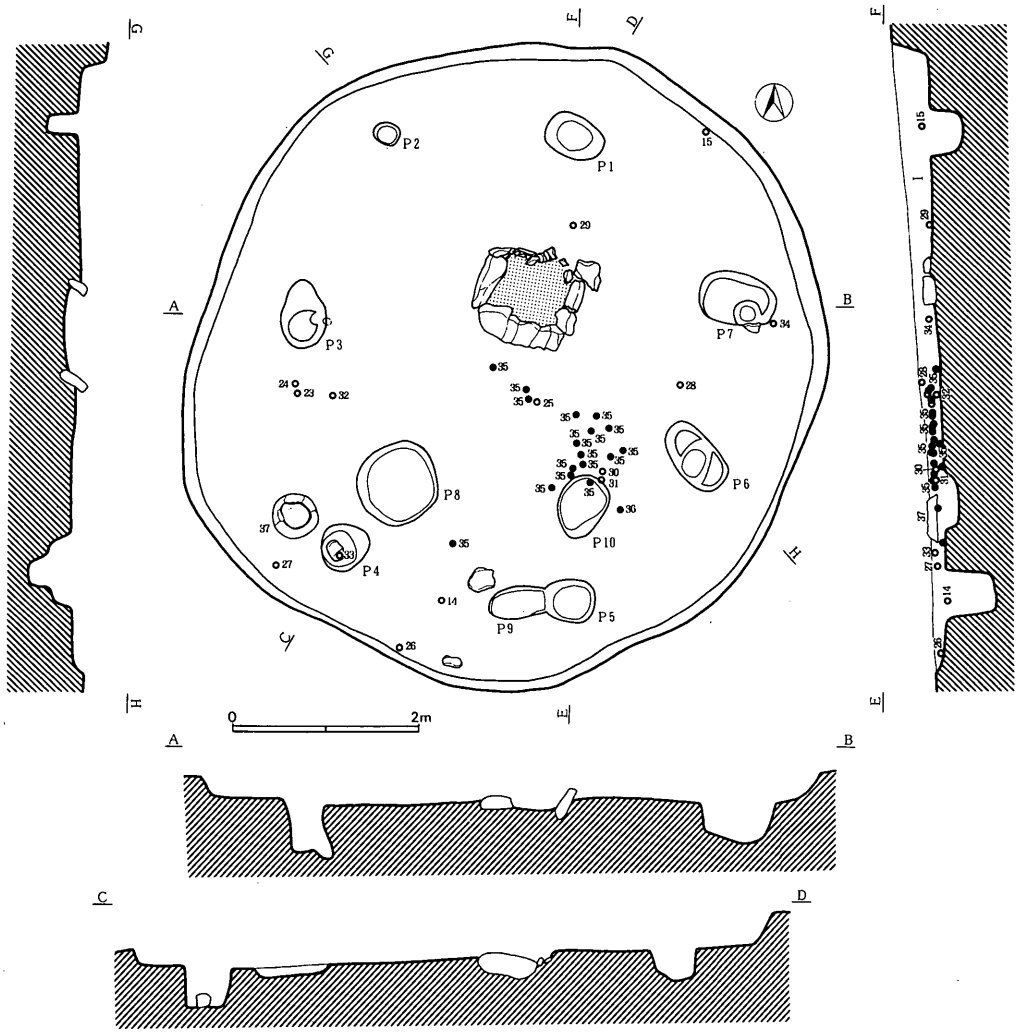
(13)　J－13号住居址

住居址　第92図

J－13号住居址は、J－9グリッドにおいて検出された。

本址は、南北7.0m・東西6.7mの円形を呈し、床面積33.8m²を測る大形住居である。

ピットは、主柱穴と考えられるP₁～P₇が多角形に配されるほか、P₈～P₁₀が認められた。ピットの大きさは、P₁が64×44×34cm、P₂が28×22×32cm、P₃が70×48×56cm、P₄が50×50×44cm、P₅が58×48×50cm、P₆が82×46×44cm、P₇が82×54×40cm、P₈が80×80×10cm、P₉が70×36cm、P₁₀が70×52×14cmを測る。



第92図　J－13号住居址（1：80）

住居覆土は、Ⅰ層のみで、黒褐色土層（10YR2/3）であった。

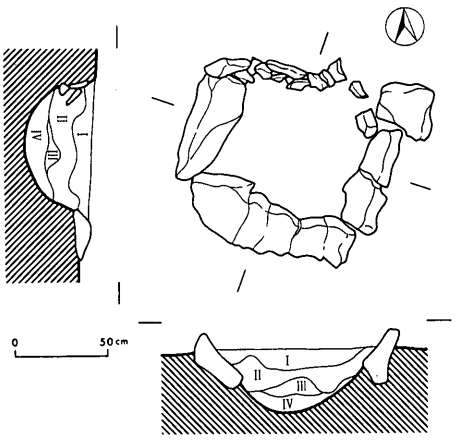
遺物は、37の無文浅鉢がP_4の脇の床直から伏せた状態で出土している。

炉　　第93図

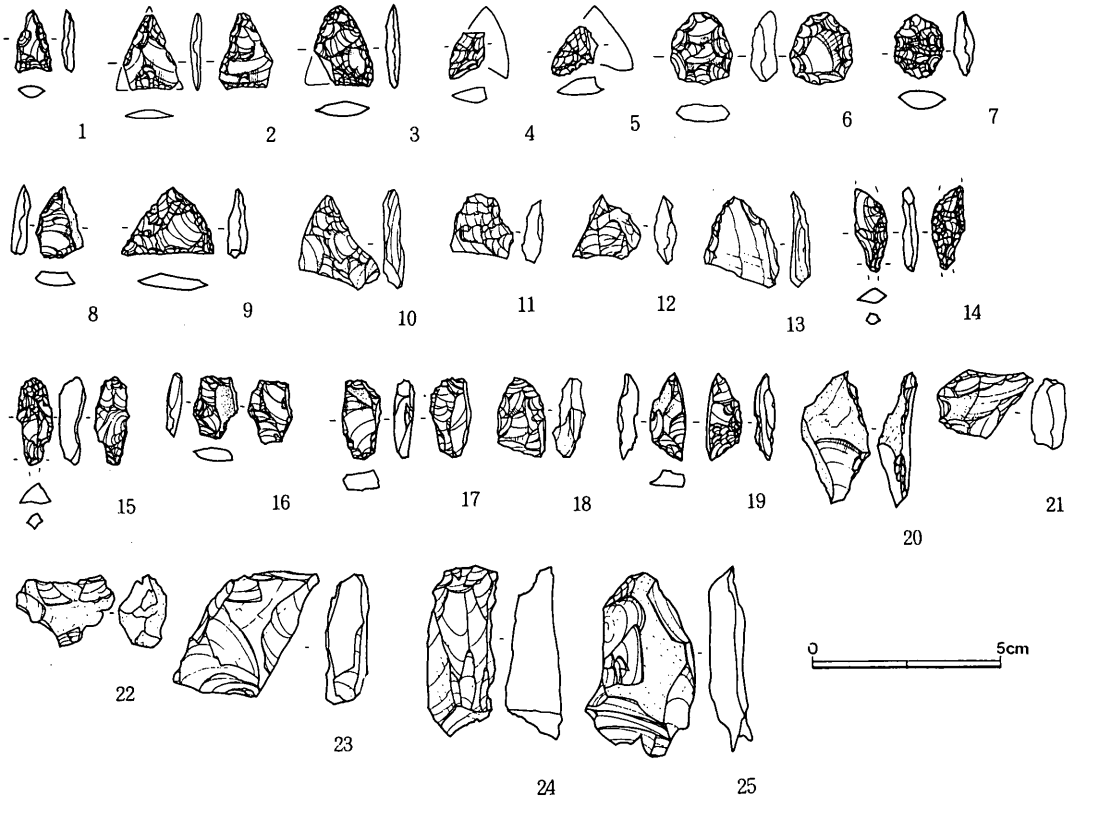
炉は、住居址の中央よりやや南よりに存在する。大形長方形の石囲い炉で、110×100×35cmを測り、安山岩の大形礫が三方を囲む。なかでも北側の礫は長さ90cmの大形礫である。

覆土は4層に分層された。Ⅰ層はカーボン・焼土を含まない黒褐色土層(10YR3/2)、Ⅱ層は焼土を若干含む暗褐色土層(10YR3/4)、Ⅲ層は焼土を多量に含むにぶい赤褐色土層(5YR4/4)、Ⅳ層は焼土層である明赤褐色土層（5YR5/8）である。

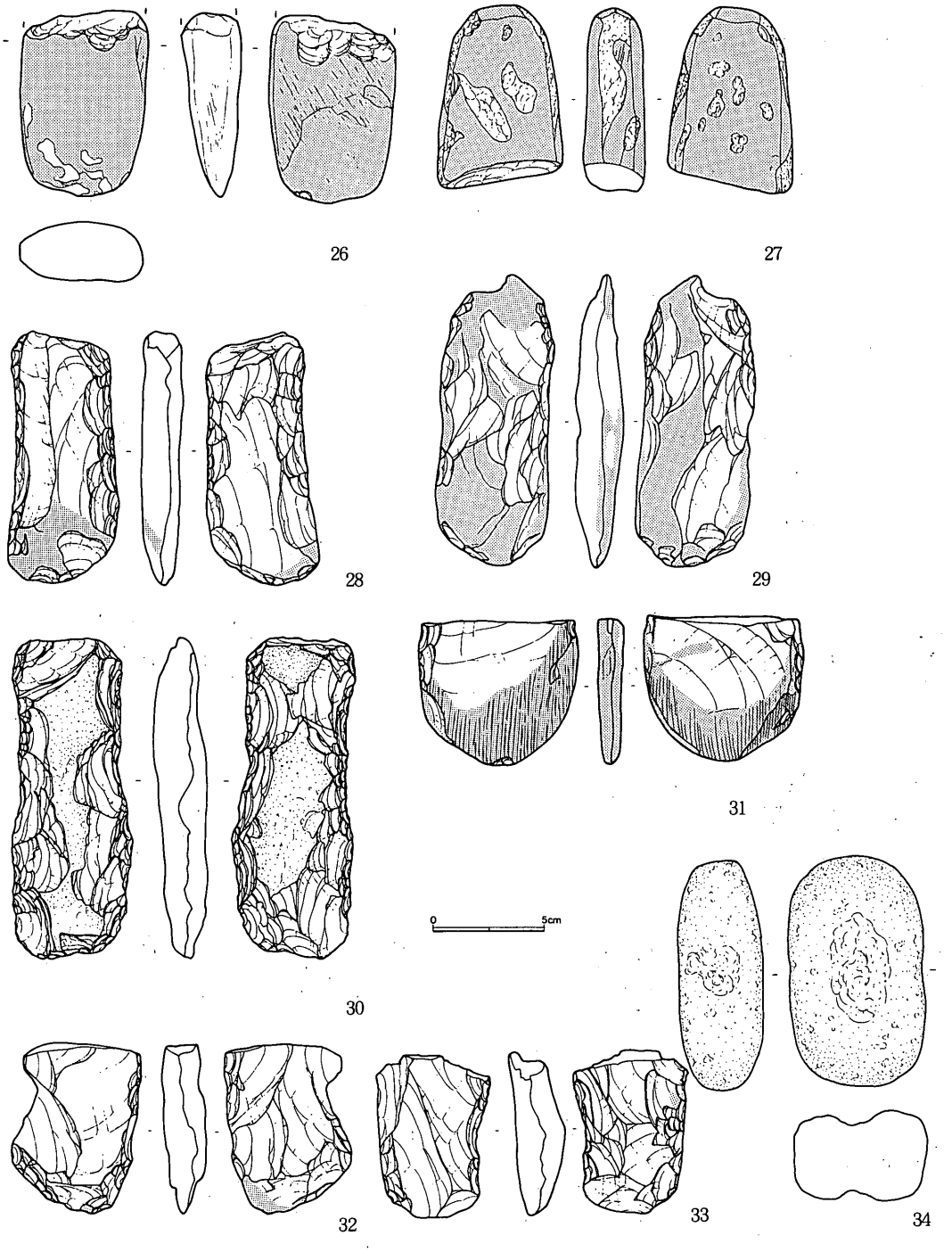
遺　物　　第94～98図・第44～46表



第93図　Ｊ－13号住居址炉（1：40）



第94図　Ｊ－13号住居址出土石器（1：2）

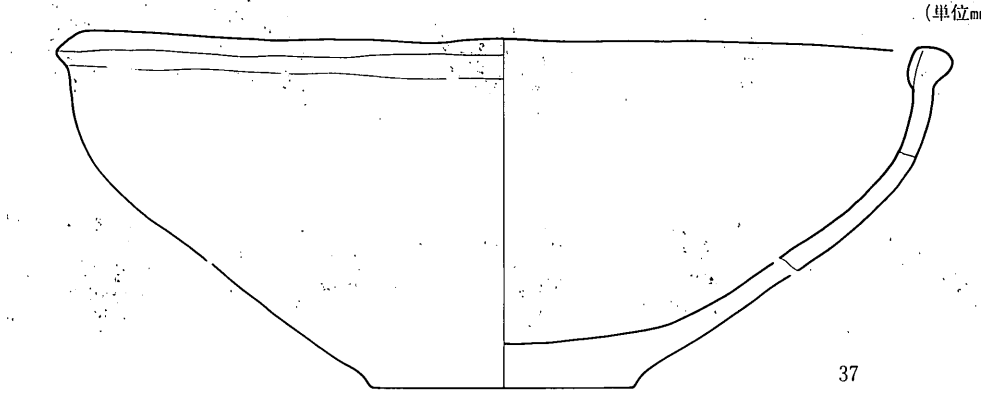


第95図　J－13号住居址出土石器（1：3）

第44表　Ｊ－13号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	16	10	4	0.4	
2	石鏃	黒曜石	22	18	3	0.5	欠損
3	石鏃	黒曜石	21	15	4	0.9	欠損
4	石鏃	黒曜石	12	9	4	0.4	欠損
5	石鏃	黒曜石	13	12	4	0.5	欠損
6	石鏃未成品	黒曜石	19	16	7	1.9	
7	石鏃未成品	黒曜石	17	13	7	0.9	
8	石鏃未成品	黒曜石	18	13	5	0.7	
9	石鏃未成品	黒曜石	18	24	5	1.4	
10	石鏃未成品	黒曜石	25	21	6	2.3	
11	石鏃未成品	黒曜石	17	16	6	1.2	
12	石鏃未成品	黒曜石	17	18	6	1.2	
13	石鏃未成品	ガラス質黒色安山岩	24	19	5	2.2	
14	石錐	黒曜石	22	9	4	0.6	先端欠損
15	石錐	黒曜石	22	10	7	1.1	先端欠損
16	ピエス・エスキーユ	黒曜石	16	12	4	0.6	
17	ピエス・エスキーユ	黒曜石	21	11	6	1.2	
18	ピエス・エスキーユ	黒曜石	21	13	9	2.1	
19	ピエス・エスキーユ	黒曜石	23	10	5	0.9	
20	ピエス・エスキーユ	黒曜石	33	13	11	3.6	
21	ピエス・エスキーユ	黒曜石	18	25	9	3.7	
22	ピエス・エスキーユ	黒曜石	18	25	13	4.4	
23	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	33	39	12	13.5	山本分析No.6・八風山産
24	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	45	20	15	13.9	
25	ピエス・エスキーユ	硬質頁岩	48	29	10	10.6	
26	磨製石斧	蛇紋岩	82	57	27	210.3	基部欠損
27	磨製石斧	蛇紋岩	80	57	28	226.3	矢端欠損
28	打製石斧	凝灰岩	112	50	20	139.5	
29	打製石斧	安山岩	129	53	22	150.4	
30	打製石斧	安山岩	142	54	25	189.5	
31	打製石斧	安山岩	65	72	12	71.9	基部欠損
32	打製石斧	安山岩	77	58	20	85.6	矢端欠損
33	打製石斧	安山岩	73	51	25	84.1	基部欠損
34	磨石	安山岩	103	61	41	360.2	凹あり

（単位mm，g）



第96図　Ｊ－13号住居址出土土器（１：４）

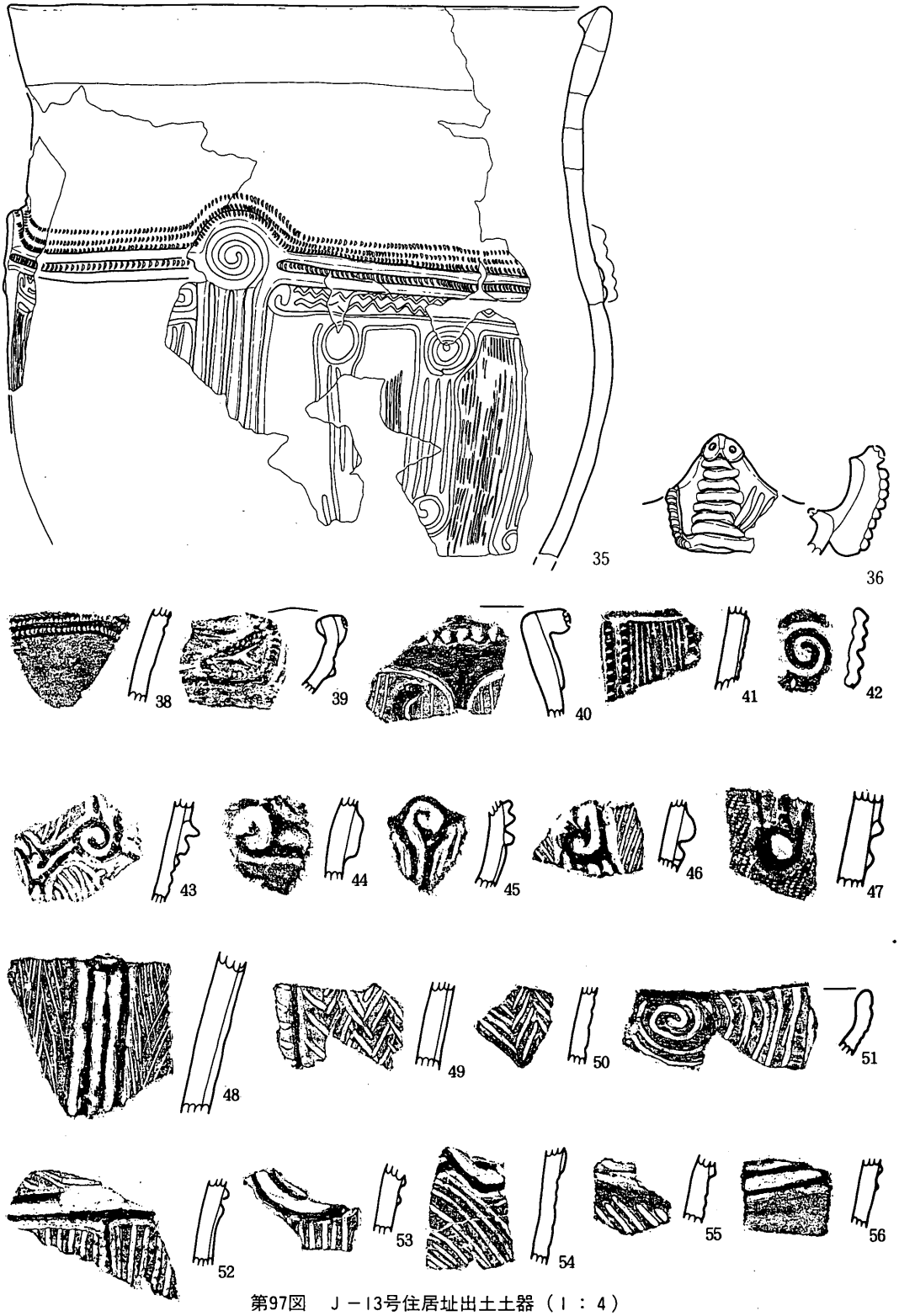
遺物は、あまり多く出土していない。

出土した石器には、石鏃（１～５）・石鏃未成品（６～13）・石錐（14・15）・ピエス・エスキーユ（16～25）・磨製石斧（26・27）・打製石斧（28～33）・磨石（34）がある。

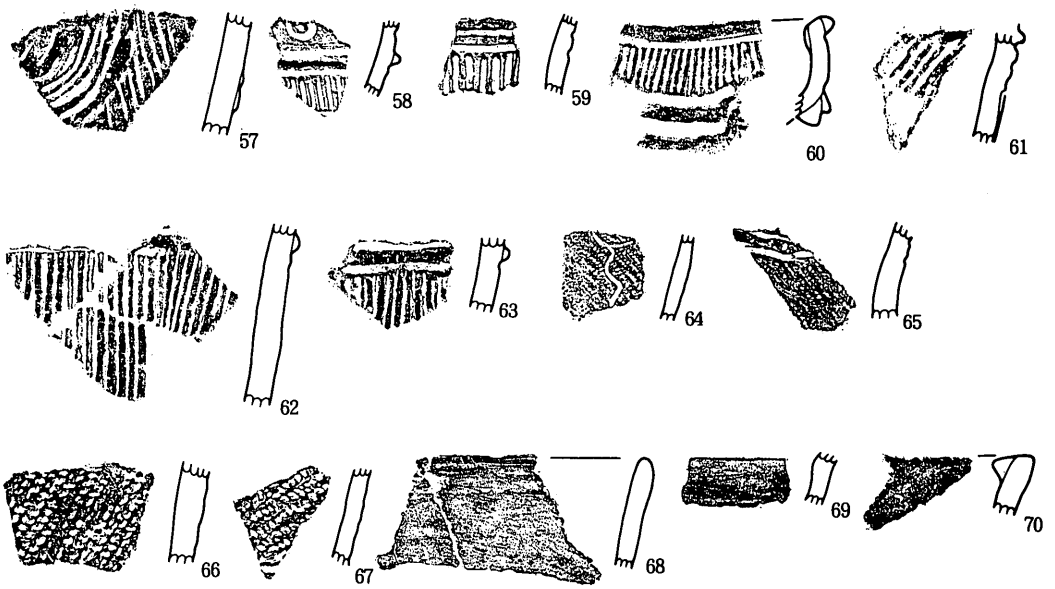
土器は、35の４単位の渦巻き文が胴部上半に配され隆線が結ぶ深鉢が大形破片として検出された。また37の無文の大形浅鉢が床面に伏せられた状態で出土した。この浅鉢の器面には赤彩が残らなかったが、本来赤彩がなされていた可能性もある。

時　期

本住居址は、縄文時代中期後葉（川原田遺跡第13期）に位置付けられよう。



第97図　J－13号住居址出土土器（1：4）



第98図　Ｊ－13号住居址出土土器（１：４）

第45表　Ｊ－13号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
35	深鉢	口縁～胴部	(38.0) － －	渦巻き状の突起 半截竹管の連続刺突を沿わせた隆線、集合細沈線	ヨコミガキ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	不良	138 143	
36	深鉢	口縁	－ － －	先端に眼鏡状突起を付したコイル状突起	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/8	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	良好	252	
37	浅鉢	口縁～底部	45.2 (18.0) (14.0)	無文	ヨコミガキ	角閃石 白色粒子	橙色 5YR 7/6	にぶい橙色 5YR 7/4	良好	950	赤彩はなされていたかどうか不明
38	深鉢	口縁付近	－ － －	平行するペン先状の連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 7/6	通常	一括	
39	深鉢	口縁	－ － －	隆帯 ペン先状の連続刺突文	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/8	通常	221	
40	深鉢	口縁付近	－ － －	楕円形の区画文内に渦巻き状隆帯を配する外面赤色塗彩	ヨコナデ	白色粒子	にぶい黄橙色 10YR 6/3	淡黄色 2.5YR 8/4	通常	300	
41	深鉢	胴部	－ － －	刻みのある垂下隆帯に平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	浅黄橙色 10YR 8/4	淡黄色 2.5YR 8/4	通常	552	
42	深鉢	胴部	－ － －	渦巻き状突起		黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	409	
43	深鉢	胴部	－ － －	渦巻き状突起 平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/8	橙色 7.5YR 7/6	通常	343	
44	深鉢	胴部	－ － －	渦巻き状隆帯	ヨコナデ	黒雲母	橙色 7.5YR 7/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	461	
45	深鉢	胴部	－ － －	渦巻き状隆帯	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/8	通常	481	

（単位cm）

第46表　J－13号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
46	深鉢	胴部	― ― ―	渦巻き状突起 平行沈線	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい黄橙色 10YR 6/4	浅黄色 2.5YR 7/4	通常	691	
47	深鉢	胴部	― ― ―	環状突起から隆帯が派生 縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	269	
48	深鉢	胴部	― ― ―	垂下する３本の隆帯 ハの字状の沈線	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	452	
49	深鉢	胴部	― ― ―	垂下する隆帯 ハの字状の沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	641 686	
50	深鉢	胴部	― ― ―	ハの字状の沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい黄橙色 10YR 7/3	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	602	
51	深鉢	口縁	― ― ―	渦巻き状沈線	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	良	566 464	
52	深鉢	胴部	― ― ―	Ｔ字状に交差する隆帯 平行沈線	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	85 458 706	
53	深鉢	胴部	― ― ―	渦巻き状隆帯 縦位平行沈線	ヨコミガキ	白色粒子	灰褐色 7.5YR 4/2	にぶい黄橙色 10YR 6/3	通常	410	
54	深鉢	胴部	― ― ―	曲隆帯 平行沈線	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 7/6	通常	3 4 415	
55	深鉢	胴部	― ― ―	横位隆帯 斜位平行沈線	ヨコミガキ	白色粒子	褐色 10YR 4/4	にぶい黄橙色 10YR 7/3	通常	305	
56	深鉢	胴部	― ― ―	横位隆帯	ヨコミガキ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	浅黄橙色 10YR 8/4	通常	477	
57	深鉢	胴部	― ― ―	曲隆帯 平行沈線	ヨコミガキ	白色粒子	黄橙色 10YR 8/6	浅黄橙色 10YR 8/4	通常	583	
58	深鉢	胴部	― ― ―	横位隆帯 縦位沈線	ヨコナデ	白色粒子	明褐色 7.5YR 5/6	浅黄色 2.5YR 7/4	通常	538	
59	深鉢	胴部	― ― ―	横位・縦位の平行沈線	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい黄橙色 10YR 7/4	淡黄色 2.5YR 8/4	通常	405	
60	深鉢	口縁	― ― ―	２条の横位隆帯 区画内に縦位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 7.5YR 7/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	574	
61	深鉢	胴部	― ― ―	平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 7.5YR 7/6	通常	491	
62	深鉢	胴部	― ― ―	縦位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	161 102 308	
63	深鉢	胴部	― ― ―	横位隆帯 縦位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 7.5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	160	
64	深鉢	胴部	― ― ―	地文に縄文ＲＬ 蛇行沈線	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	581	
65	深鉢	胴部	― ― ―	地文に縄文	ヨコミガキ	白色粒子	褐色 7.5YR 4/3	橙色 5YR 6/6	通常	262	
66	深鉢	胴部	― ― ―	縄文複節縄文Ｌ｛Ｒ｛Ｌ Ｌ Ｒ｛Ｌ Ｌ	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 7/6	通常	556	同一個体
67	深鉢	胴部	― ― ―	縄文複節縄文Ｌ｛Ｒ｛Ｌ Ｌ Ｒ｛Ｌ Ｌ	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	256	
68	浅鉢	口縁	― ― ―	無文 内外面赤色塗彩	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい黄橙色 10YR 7/4	淡黄色 2.5YR 8/4	良	118 121	
69	浅鉢	口縁	― ― ―	無文 内外面赤色塗彩	ヨコミガキ	白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	にぶい黄橙色 10YR 6/3	良	10	
70	浅鉢	口縁	― ― ―	無文 内外面赤色塗彩	ヨコミガキ	白色粒子	黄橙色 10YR 8/6	淡黄色 2.5YR 8/4	通常	466	

（単位cm）

(14)　Ｊ－14号住居址

住居址　　第99図

Ｊ－14号住居址は、Ｇ－14グリッドにおいて検出された。

本址は、長軸3.7ｍ・短軸3.4ｍの方形を呈し、床面積10.3㎡を測る。壁の残存高は、15～20cmを測る。壁溝は認められない。

ピットは、壁際にP_1が認められたのみで、柱穴と考えられるものは検出されなかった。P_1は90×90×20cmを測る。

住居覆土は２層、P_1覆土も２層に分層された。Ⅰ層はローム粒子を若干含む黒褐色土層（10YR2/3）、Ⅱ層はローム粒子を多く含む暗褐色土層（10YR3/3）、Ⅲ層はローム粒子を若干含む黒褐色土層（10YR2/2）、Ⅳ層はロームをブロック状に含む褐色土層（10YR4/4）であった。

炉

炉は検出されなかった。

遺　物　　第100図・第47表

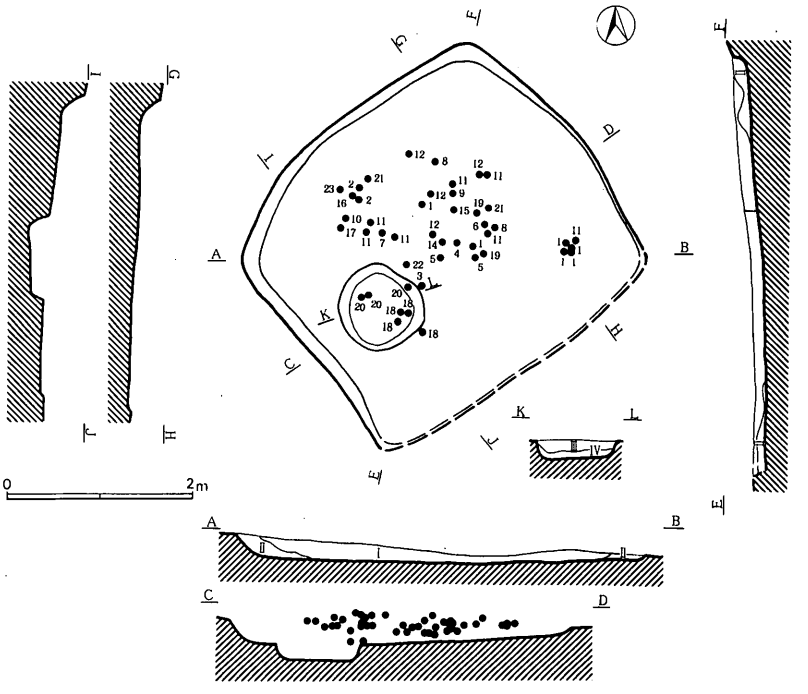
出土した石器は、剥片などで図示しうるものがなかった。

土器は、縄文前期関山Ⅰ式の土器片が数十片検出された。

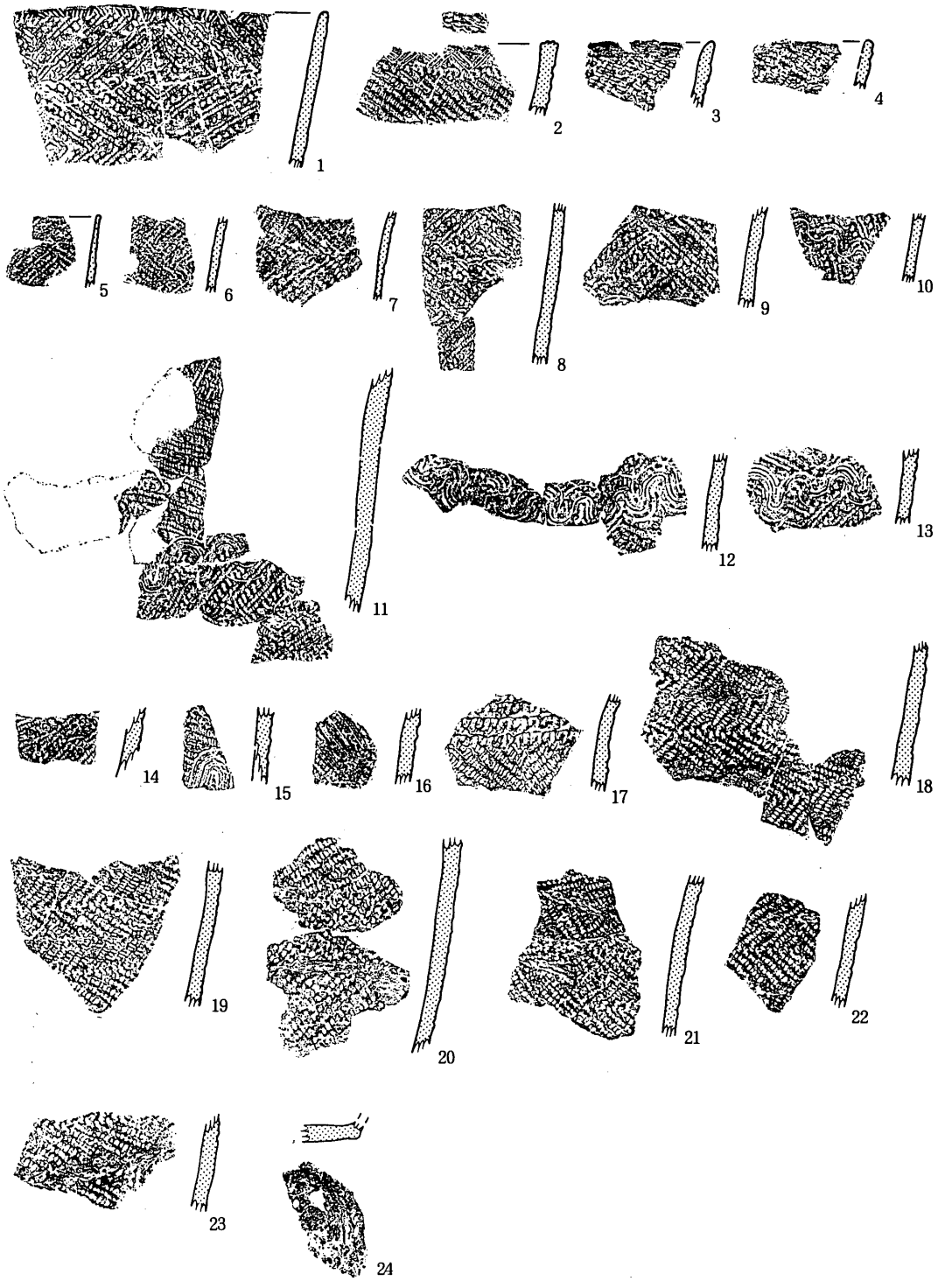
１・８は正反の合による菱形構成が、11～13・15はコンパス文が、17はループ文が、３～７・18～22は、LRとRLの縄文による羽状構成がみられる土器である。24は底部。

時　期

本住居址は、関山Ⅰ式から縄文時代前期中葉（川原田遺跡第４期）に位置付けられよう。



第99図　Ｊ－14号住居址（１：80）



第100図　J－14号住居址出土土器（1：4）

第47表　J－14号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
1	深鉢	口縁	—	口唇部直下に刻み 正反の合による菱形構成	ヨコナデ	繊維含	明黄褐色 10YR 7/6	褐灰色 10YR 4/1	良好	4 52	関山Ⅰ（後半）
2	深鉢	口縁	—	口唇部に爪形文の刺突 口唇部直下に鋸歯状文 0段多条の縄文RL。末端をループ処理	ヨコナデ	繊維含	明褐色 7.5YR 5/6	にぶい黄褐色 10YR 4/3	通常	49 53	関山Ⅰ（後半）
3	深鉢	口縁	—	縄文LRとRLによる羽状構成	ヨコナデ	繊維含	灰褐色 7.5YR 4/2	黒褐色 10YR 3/1	通常	68	関山Ⅰ（後半）
4	深鉢	口縁	—	縄文LRとRLによる羽状構成	不明	繊維含	灰褐色 7.5YR 4/2	灰褐色 7.5YR 4/2	通常	34	関山Ⅰ（後半）
5	深鉢	口縁	—	縄文LRとRLによる羽状構成	ヨコナデ	繊維含	にぶい黄褐色 10YR 4/3	褐灰色 7.5YR 4/1	通常	18 100	関山Ⅰ（後半） 同一個体
6	深鉢	胴部	—	縄文LRとRLによる羽状構成	ナデ	繊維含	にぶい黄褐色 10YR 4/3	褐灰色 7.5YR 4/1	通常	93	
7	深鉢	胴部	—	縄文LRとRLによる羽状構成	ナデ	繊維含	にぶい黄褐色 10YR 5/4	にぶい黄褐色 10YR 4/3	通常	64	関山Ⅰ（後半）
8	深鉢	胴部	—	正反の合による菱形構成	ナデ	繊維含	橙色 7.5YR 6/6	灰黄褐色 10YR 4/2	通常	35	9と同一個体
9	深鉢	胴部	—	正反の合による羽状構成	ヨコナデ	繊維含	橙色 7.5YR 6/6	黒褐色 10YR 3/1	良好	26	関山Ⅰ（後半）
10	深鉢	胴部	—	正反の合 コンパス文	ヨコナデ	繊維含	明黄褐色 10YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	54	関山Ⅰ（後半）
11	深鉢	胴部	—	正反の合による羽状構成 コンパス文	ヨコナデ	繊維含	橙色 7.5YR 6/6	灰黄褐色 10YR 4/2	通常	P14 96	関山Ⅰ（後半） 同一個体
12	深鉢	胴部	—	正反の合による羽状構成 コンパス文	ヨコナデ	繊維含	橙色 7.5YR 6/6	灰黄褐色 10YR 4/2	通常	19 39 37	
13	深鉢	胴部	—	正反の合による羽状構成 コンパス文	ヨコナデ	繊維含	にぶい黄橙色 10YR 6/4	にぶい黄褐色 10YR 5/3	通常		
14	深鉢	胴部	—	正反の合	ヨコナデ	繊維含	にぶい黄橙色 10YR 6/4	にぶい黄褐色 10YR 4/3	通常	17	関山Ⅰ（後半）
15	深鉢	胴部	—	正反の合 コンパス文	ヨコナデ	繊維含	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい黄褐色 10YR 5/3	通常	22	関山Ⅰ（後半）
16	深鉢	胴部	—	縄文RL 4条の平行沈線	ヨコナデ	繊維含	橙色 7.5YR 6/6	にぶい黄褐色 10YR 5/3	通常	51	関山Ⅰ（後半）
17	深鉢	胴部	—	多段ループ文 縄文RLとLRによる羽状構成	ヨコナデ	繊維含	にぶい黄橙色 10YR 6/3	灰褐色 7.5YR 4/2	通常	55	関山Ⅰ（後半）
18	深鉢	胴部	—	縄文LRとRLによる羽状構成	ヨコナデ	繊維含	にぶい褐色 7.5YR 5/4	灰黄褐色 10YR 5/2	通常	72 73 75	関山Ⅰ（後半） 同一個体か？
19	深鉢	胴部	—	縄文LRとRLによる羽状構成	ヨコナデ	繊維含	橙色 7.5YR 6/6	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	94 123	
20	深鉢	胴部	—	縄文LRとRLによる羽状構成	ヨコナデ	繊維含	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	69 79 81	関山Ⅰ（後半）
21	深鉢	胴部	—	縄文LRとRLによる羽状構成	ヨコナデ	繊維含	橙色 7.5YR 6/6	灰黄褐色 10YR 4/2	通常	48 91	関山Ⅰ（後半）
22	深鉢	胴部	—	縄文LRとRLによる羽状構成	ヨコナデ	繊維含	橙色 7.5YR 6/6	灰黄褐色 10YR 5/2	通常	108	関山Ⅰ（後半）
23	深鉢	胴部	—	縄文LRとRLによる羽状構成	ヨコナデ	繊維含	にぶい黄橙色 10YR 6/4	にぶい黄褐色 10YR 5/4	通常	119	関山Ⅰ（後半）
24	深鉢	底部	—	底面に縄文原体の施文？	ナデ	繊維含	橙色 7.5YR 6/6	にぶい黄褐色 10YR 4/3	通常		関山Ⅰ（後半）

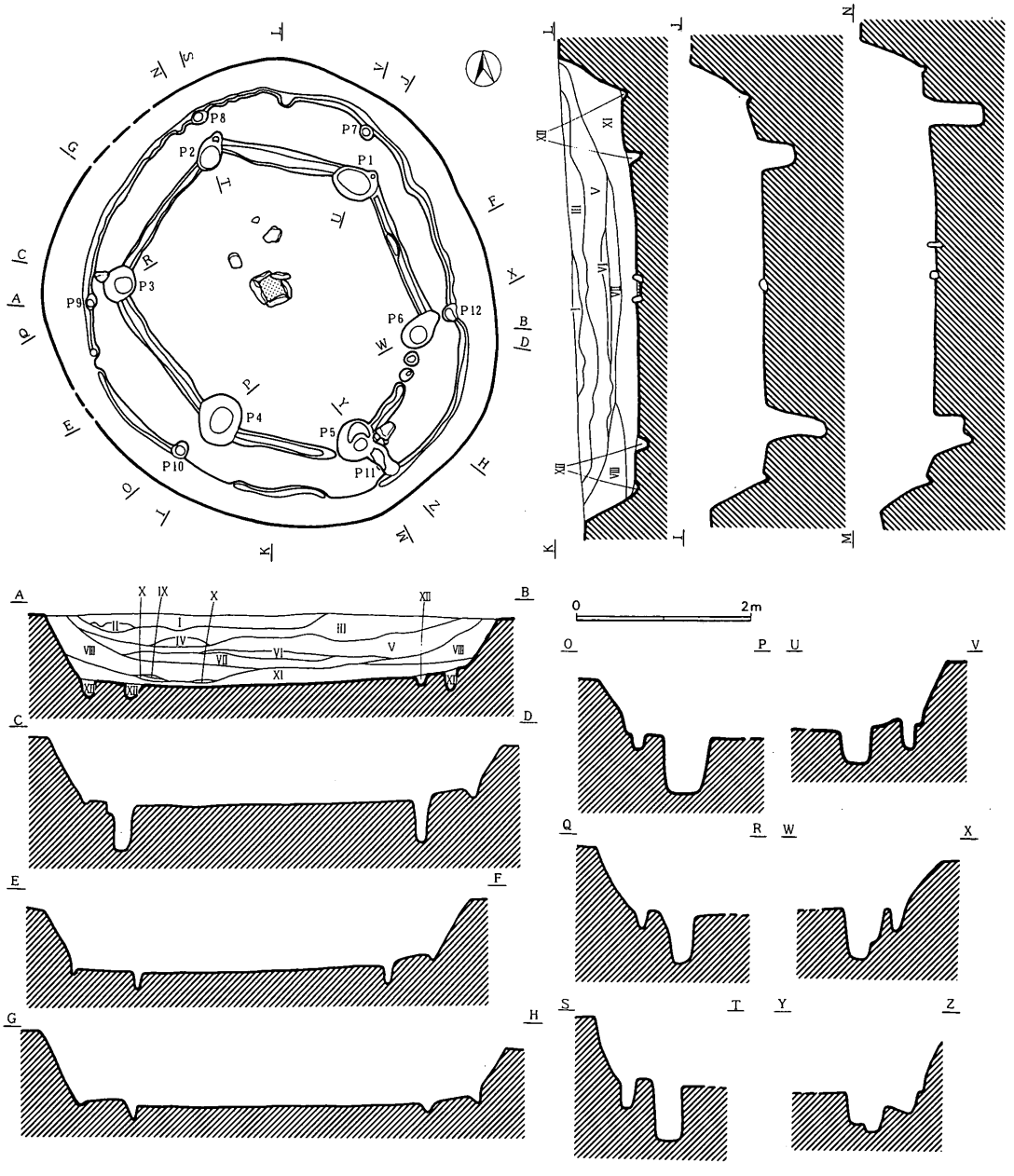
（単位cm）

(15)　J－15号住居址

住居址　　第101・102図

J－15号住居址は、G－13グリッドにおいて検出された遺存状態のよい住居址である。

本址は、南北5.3m・東西5.2mの円形を呈し、床面積14.8m²を測る。壁の残存高は、60～80cm



第101図　J－15号住居址（1：80）

を測る。壁溝は幅10cm前後のものがほぼ全周する。床面は貼り床である。

ピットは、P_1～P_6が六角形に配され、これにいわゆる間仕切り溝が連結する。間仕切り溝と壁までの床面は、間仕切り溝内部の床面よりやや高くなっている。また、主柱穴のP_1～P_6に沿うように壁際にP_7～P_{12}が配されていた。ピットの大きさは、P_1が52×36×38cm、P_2が46×24×64cm、P_3が42×34×52cm、P_4が58×48×68cm、P_5が50×44×44cm、P_6が52×30×56cm、P_7が18×14×30cm、P_8が20×14×4cm、P_9が18×12×20cm、P_{10}が20×16×18cm、P_{11}が48×20×4cm、P_{12}が22×18×24cmを測る。

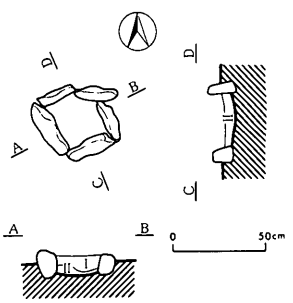
住居覆土は、10層に分層された。Ⅰ層は砂粒を多量に含む暗褐色土層(10YR3/3)、Ⅱ層は暗褐色砂層（10YR3/4)、Ⅲ層は砂粒を多く含む黒褐色土層（10YR3/2)、Ⅳ層は暗褐色砂層（10YR3/4)、Ⅴ層は砂粒をあまり含まない黒褐色土層（10YR2/3)、Ⅵ層は暗褐色砂層（10YR3/4)、Ⅶ層は砂粒をほとんど含まない暗褐色土層(10YR3/3)、Ⅷ層はロームをブロック状に含み埋土と考えられる黒褐色土層（10YR3/2)、Ⅸ層は焼土層である赤褐色土層（5YR4/8)、Ⅹ層はカーボンの層である黒色土層(10YR1.7/1)、Ⅺ層はローム粒子を含み埋土と考えられる黒褐色土層(10YR2/3)、Ⅻ層はロームをブロック状に含む黒褐色土層（10YR3/2）であった。

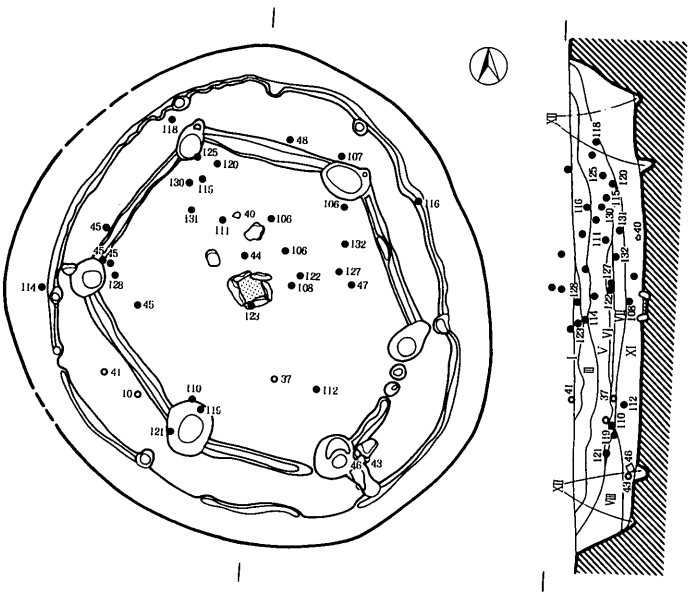
Ⅵ層までの砂の互層はM－1の溝から数回にわたり流れ込んだものと考えられる。また、Ⅷ層上面は、踏み締めあるいは叩き締めによるものか、硬化が激しく、Ⅷ層までのくぼみを利用して何らかの行為が行なわれた可能性がある。Ⅷ層より上の層からは多量の土製円盤（108～133）が出土している。おそらくはその土製円盤を用いた何らかの行為がそのくぼみでなされたものと考えられる。

遺物は、あまりよい遺存状態で出土したものはない。

炉　　第102図

炉は、住居址のほぼ中央に存在している。安山岩礫5個





第102図　J－15号住居址（炉＝1：40，住居＝1：80）

を配した方形の石囲い炉で、40×40cm深さ10cmを測る。

覆土は2層に分層された。I層はカーボン・焼土を若干含む黒褐色土層（10YR2/3）、II層はローム粒子を含みカーボン・焼土を多く含む暗褐色土層（10YR3/4）である。

遺　物　　第103～107図・第48～51表

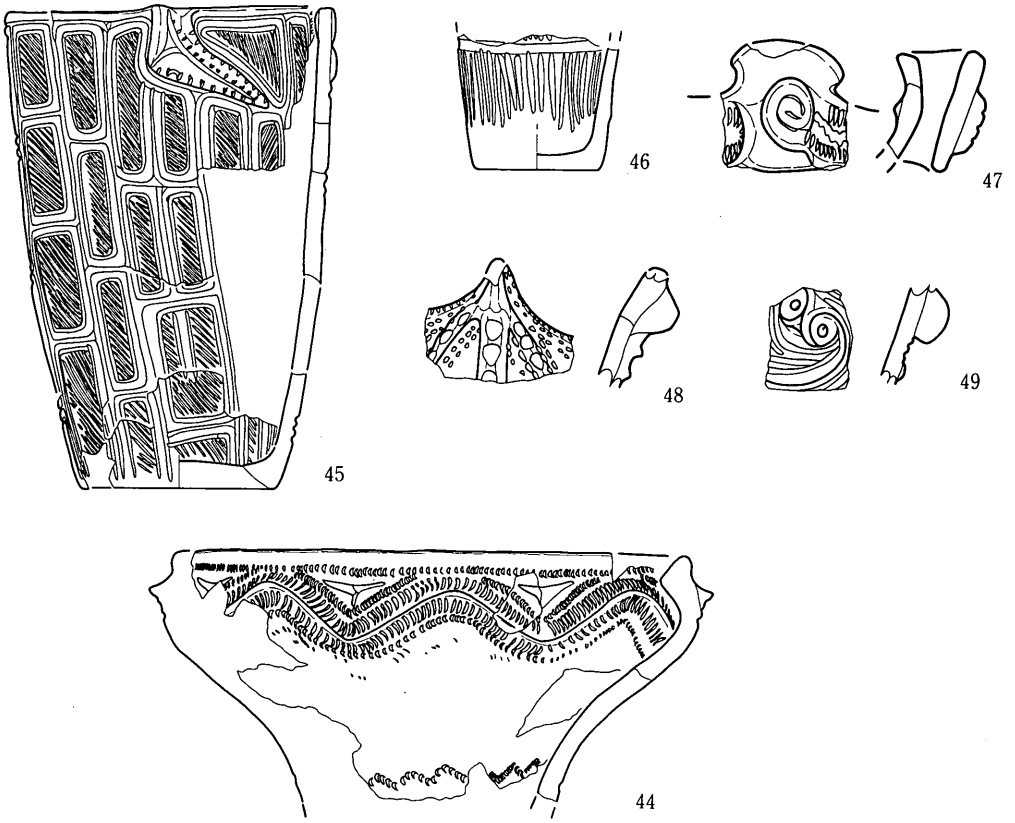
遺物は、石器では、石鏃（1～6）・石鏃未成品（7～9）・ピエス・エスキーユ（7～9）・石匙（30）・スクレイパー（10～12、31～36）・石核（20～26）・石錐（13）・磨製石斧（41・42）・打製石斧（37～40）・原石（27～29）・礫器（43・44）が出土している。

土器は出土量が少なく、良好な遺存状態のものはあまりない。45は筒状の器形を呈し、沈線による方形区画内に斜行する細沈線を充填した土器である。また、44は口縁に蛇行する隆線を施し、有節沈線を沿わせた勝坂式土器である。

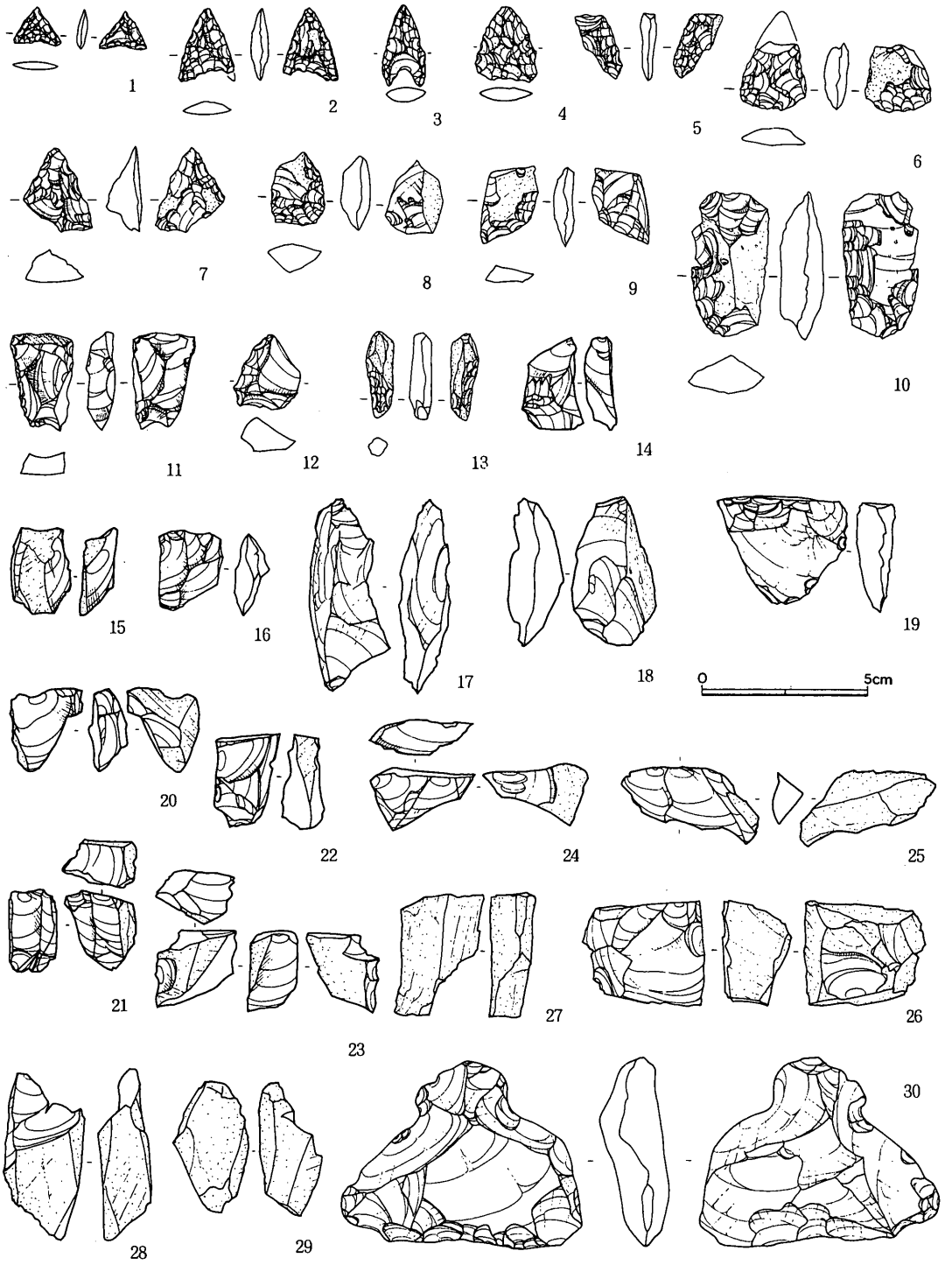
土製円盤（108～133）は26点と数多く認められた。

時　期

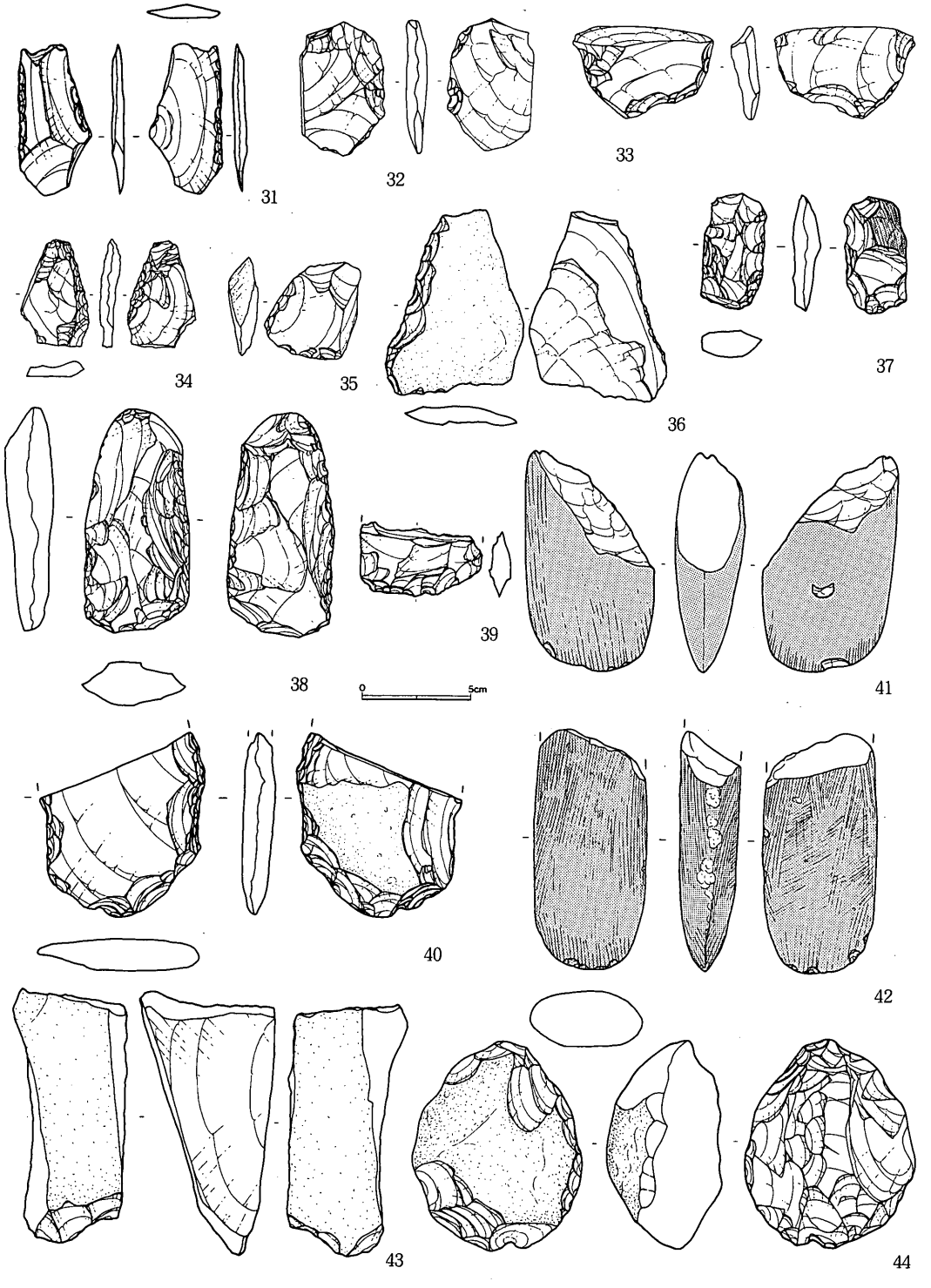
本住居址は、縄文時代中期中葉（川原田遺跡第7期もしくは第8期）に位置付けられよう。



第103図　J－15号住居址出土土器（1：4）



第104図　J－15号住居址出土石器（1：2）

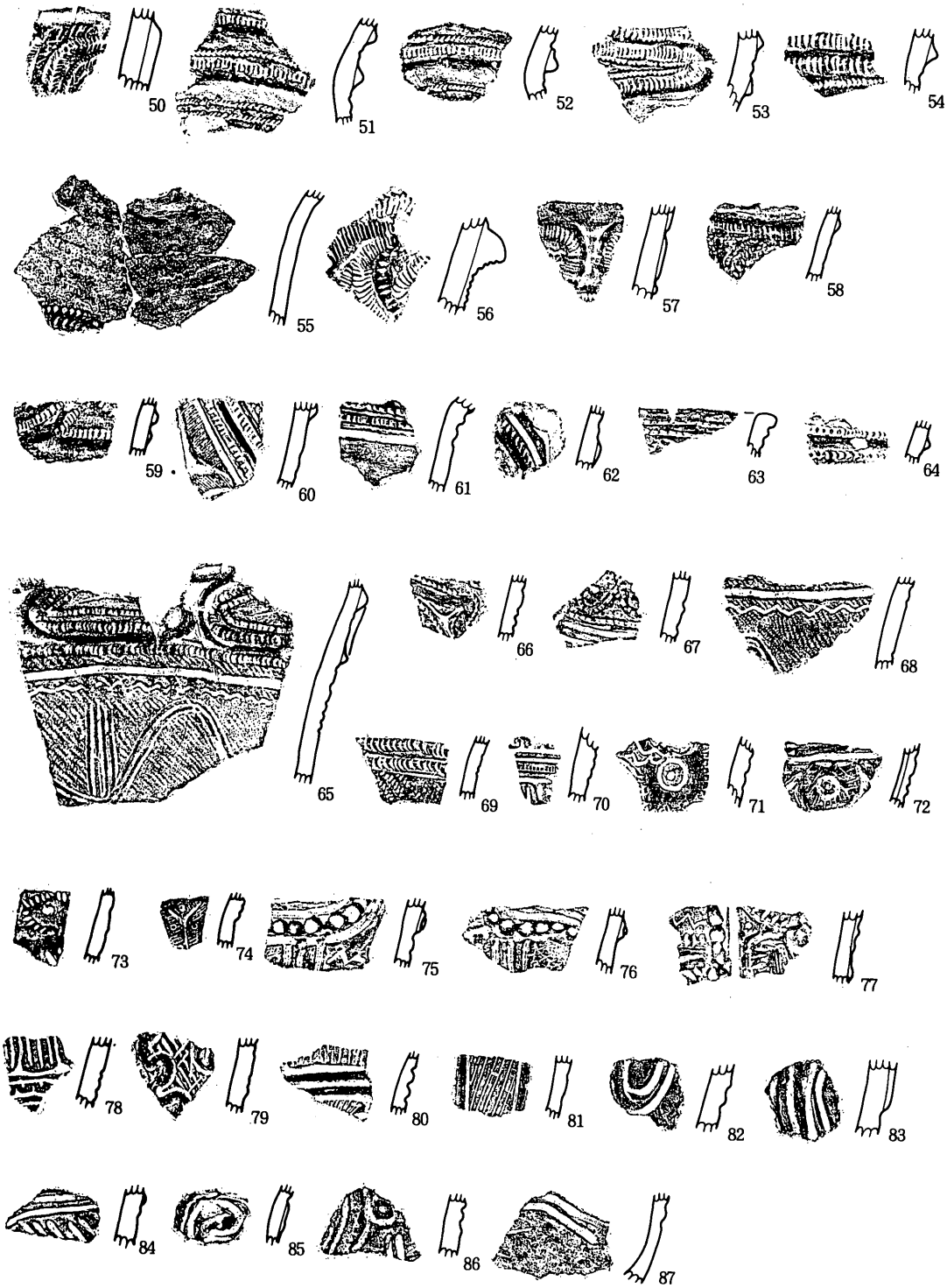


第105図　J－15号住居址出土石器（1：3）

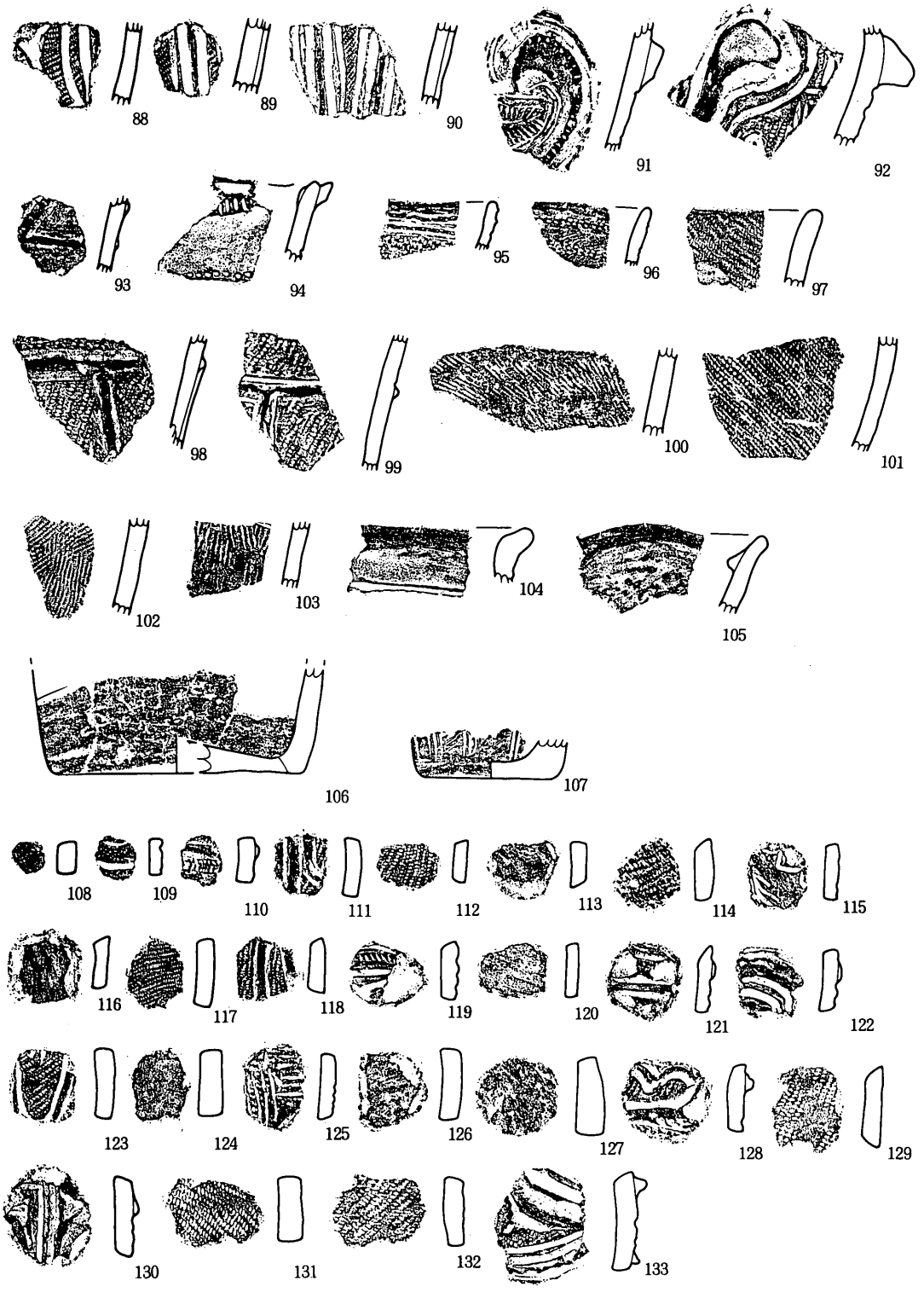
第48表　J－15号住居址出土遺物一覧表　＜石器・土製円盤＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	12	14	3	0.2	
2	石鏃	黒曜石	21	17	5	1.0	
3	石鏃	黒曜石	24	13	5	1.2	
4	石鏃	黒曜石	22	18	5	1.9	
5	石鏃	黒曜石	19	14	5	0.7	欠損
6	石鏃	黒曜石	20	20	7	2.4	欠損
7	石鏃未成品	黒曜石	25	21	11	2.3	
8	石鏃未成品	黒曜石	22	16	9	2.3	
9	石鏃未成品	黒曜石	23	18	6	1.9	
10	スクレイパー	黒曜石	43	23	13	10.9	
11	スクレイパー	黒曜石	29	19	9	4.4	
12	スクレイパー	黒曜石	22	20	13	3.9	
13	石錐	黒曜石	26	8	7	1.3	先端磨滅激しい
14	ピエス・エスキーユ	黒曜石	27	19	10	4.1	
15	ピエス・エスキーユ	黒曜石	26	18	11	5.3	
16	ピエス・エスキーユ	黒曜石	24	19	11	3.7	
17	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	57	24	16	18.1	
18	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	44	25	17	15.1	
19	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	32	39	12	14.0	山本分析№7八風山産
20	石核	黒曜石	25	22	12	4.5	
21	石核	黒曜石	25	21	15	7.6	
22	石核	黒曜石	28	20	13	6.0	
23	石核	黒曜石	23	22	15	8.1	
24	石核	黒曜石	19	31	11	4.2	
25	石核	黒曜石	23	41	12	6.6	
26	石核	黒曜石	31	36	21	11.3	
27	原石	黒曜石	36	27	14	15.6	
28	原石	黒曜石	51	25	15	11.3	
29	原石	黒曜石	40	23	19	56.0	
30	石匙	ホルンフェルス	57	72	21	14.1	
31	スクレイパー	頁岩II	68	34	6	27.5	
32	スクレイパー	ガラス質黒色安山岩	61	39	10	27.6	
33	スクレイパー	頁岩II	42	64	13	10.2	
34	スクレイパー	ガラス質黒色安山岩	49	31	10	27.7	
35	スクレイパー	頁岩I	44	44	14	53.4	
36	スクレイパー	安山岩	83	63	12	20.0	
37	打製石斧	ガラス質黒色安山岩	52	30	13	121.3	小形
38	打製石斧	グリーンタフ	101	48	23	20.3	下仁田産？
39	打製石斧	頁岩I	33	56	14	99.5	欠損
40	打製石斧	安山岩	84	76	15	223.0	欠損
41	磨製石斧	蛇紋岩	100	60	32	265.3	基部欠損
42	磨製石斧	蛇紋岩	109	52	28	424.1	基部欠損
43	礫器	安山岩	117	52	62	370.7	
44	礫器	ホルンフェルス	96	78	53	372.8	
108	円盤	土製	23	23	11	7.5	
109	円盤	土製	29	24	8	5.7	
110	円盤	土製	31	26	25	10.6	
111	円盤	土製	38	34	10	14.8	
112	円盤	土製	40	30	9	13.6	
113	円盤	土製	42	37	10	15.9	
114	円盤	土製	44	39	12	17.3	
115	円盤	土製	44	43	9	18.4	
116	円盤	土製	44	39	9	18.1	
117	円盤	土製	46	37	12	21.1	
118	円盤	土製	43	39	10	18.6	
119	円盤	土製	45	38	10	17.2	
120	円盤	土製	48	36	7	17.9	
121	円盤	土製	45	43	11	20.9	
122	円盤	土製	44	45	13	26.3	
123	円盤	土製	48	41	12	32.5	
124	円盤	土製	49	40	14	35.2	
125	円盤	土製	54	42	10	23.4	
126	円盤	土製	50	44	13	33.6	
127	円盤	土製	51	48	19	48.5	
128	円盤	土製	54	47	15	35.0	
129	円盤	土製	56	48	11	38.6	
130	円盤	土製	61	54	15	47.6	
131	円盤	土製	69	50	15	55.9	
132	円盤	土製	62	47	13	47.0	
133	円盤	土製	65	63	20	67.6	

（単位mm，g）



第106図　J－15号住居址出土土器（1：4）



第107図　J－15号住居址出土土器・土製円盤（1：4）

第49表　J－15号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
44	深鉢	口縁	26.8 — —	キャリパー型 蛇行する隆線に結節沈線を沿わす	ヨコナデ	角閃石多量	赤褐色 2.5YR 4/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	712 VII層 VIII層	
45	深鉢	口縁 ～ 底部	16.8 23.8 10.0	バケツ型 沈線による方形区画内に細沈線を密集させる	丁寧な ヨコナデ	精選され粒子をあまり含まない	灰褐色 7.5YR 5/2	灰褐色 7.5YR 6/2	良好	10 273	
46	深鉢	底部	— — 6.5	平行する縦位沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	714	
47	深鉢	把手	— — —	筒状の把手に渦巻き状突起を付する	ナデ	角閃石多量	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	184	
48	深鉢	口縁	— — —	棒状工具によるオサエを付す隆帯連点	ヨコミガキ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	灰黄褐色 10YR 5/2	通常	529	
49	深鉢	胴部	— — —	ねじれた眼鏡状突起	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/3	通常	I区 III層	
51	深鉢	胴部	— — —	隆帯とその脇に沿うペン先状の連続刺突	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 7/3	通常	不明	
52	深鉢	胴部	— — —	平行するペン先状および半截竹管の連続刺突	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい橙色 5YR 6/4	灰褐色 5YR 5/2	通常	79	
53	深鉢	胴部	— — —	平行するペン先状および半截竹管の連続刺突	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 5/3	通常	I区 V層	
54	深鉢	口辺	— — —	隆帯による楕円区画に沿うキャタピラ文	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	灰赤色 2.5YR 4/2	通常	VII層	
55	深鉢	胴部	— — —	隆帯に沿うキャタピラ文	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	III区 VIII層	
56	深鉢	胴部	— — —	半截竹管の連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/2	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	709	
57	深鉢	胴部	— — —	刻みのある隆帯とキャタピラ文	ヨコナデ	白色粒子	灰褐色 7.5YR 4/2	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	594	
58	深鉢	口縁	— — —	隆帯による楕円区画とキャタピラ文	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 5YR 3/1	橙色 5YR 6/6	通常	III区 VIII層	
59	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯 ペン先状刺突文	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/8	通常	IV区 III層	
60	深鉢	胴部	— — —	隆帯とそれに沿うキャタピラ文	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	VI区 III層	
61	深鉢	胴部	— — —	隆帯と半截竹管による連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	587	
62	深鉢	胴部	— — —	半截竹管による連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	I区 V層	
63	深鉢	胴部	— — —	半截竹管による連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	595	
64	深鉢	胴部	— — —	半截竹管による連続刺突文 内外面赤色塗色	ミガキ	白色粒子	褐色 5YR 4/1	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	488	
65	深鉢	胴部	— — —	半截竹管による連続刺突文	ミガキ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	93	
66	深鉢	胴部	— — —	隆帯による楕円区画 キャタピラ文、沈線 地文縄文RL	ヨコナデ	黒雲母多量	灰褐色 7.5YR 4/2	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	IV区 III層	
67	深鉢	胴部	— — —	三叉文の沈刻 ペン先状連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい赤褐色 5YR 5/3	通常	252	
68	深鉢	胴部	— — —	結節沈線 円形刺突文	ヨコナデ	黒雲母	橙色 7.5YR 7/6	橙色 5YR 6/6	通常	上面	
69	深鉢	胴部	— — —	縄文RL 蛇行沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	灰褐色 7.5YR 4/2	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	201	

（単位cm）

第50表　J－15号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
70	深鉢	胴部	— — —	半截竹管による爪形状の連続刺突	ヨコミガキ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区 VIII層	
71	深鉢	胴部	— — —	沈線	タテミガキ	黒雲母多量	橙色 2.5YR 6/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	563	
72	深鉢	胴部	— — —	円文 蛇行沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 2.5YR 6/6	通常	上面	
73	深鉢	胴部	— — —	円文 ハの字状沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	にぶい橙色 5YR 6/3	通常	上面	
74	深鉢	胴部	— — —	円形刺突 連続刺突文	ヨコミガキ	黒雲母多量	黒褐色 5YR 2/1	橙色 5YR 6/6	通常	IV区 VIII層	
75	深鉢	胴部	— — —	円形刺突、三叉文	ヨコミガキ		にぶい赤褐色 5YR 5/3	黒褐色 5YR 3/1	通常	VII層	
76	深鉢	胴部	— — —	円形の連続押圧のある隆帯	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	通常	上面	
77	深鉢	胴部	— — —	円形の連続押圧のある隆帯 縦位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	通常	上面	
78	深鉢	胴部	— — —	沈線により幾何学的なモチーフを出す	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	通常	555	
79	深鉢	胴部	— — —	沈線	タテミガキ		橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 5YR 7/4	通常	339	
80	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	239	
81	深鉢	胴部	— — —	半截竹管腹面による横位沈線と細かな縦位平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/3	通常	II区 VIII層	
82	深鉢	胴部	— — —	縦位沈線の区画内を斜位沈線が埋める	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	通常	616	
83	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/3	橙色 5YR 6/6	通常	上面	土製円盤？
84	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯と沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	251	土製円盤？
85	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	灰褐色 5YR 4/2	橙色 5YR 6/6	通常	256	
86	深鉢	胴部	— — —	渦巻き状隆帯	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	548	
87	深鉢	胴部	— — —	三叉内に円文	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 4/3	橙色 5YR 6/6	通常	65	
88	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	402	
89	深鉢	胴部	— — —	縄文RL 沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	灰褐色 5YR 4/2	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	299	
90	深鉢	胴部	— — —	垂下する隆線に平行する沈線、縄文	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	III区 III層	
91	深鉢	胴部	— — —	垂下する隆線に平行する沈線、縄文	ヨコナデ	黒雲母多量	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	II区 VIII層	
92	深鉢	胴部	— — —	小さな刻みをもつ渦巻き状隆帯	ヨコナデ	白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	I区 III層	
93	深鉢	胴部	— — —	半月状突起、沈線 縄文RL	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	IV区 VII層	
94	深鉢	胴部	— — —	刻みのある隆帯	ミガキ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	174	

（単位cm）

第51表　J－15号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
95	深鉢	口縁	― ― ―	連続刺突	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	140	
96	深鉢	口縁	― ― ―	細隆帯 縄文	ヨコミガキ	白色粒子	灰褐色 5YR 5/2	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	通常	Ⅳ区 Ⅴ層	
97	深鉢	口縁	― ― ―	2条の連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	382	
98	深鉢	口縁	― ― ―	縄文RL	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	上面	
99	深鉢	胴部	― ― ―	T字状の隆帯 縄文RL	ヨコナデ	黒雲母多量	灰赤褐色 2.5YR 4/2	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ⅱ区	同一個体
100	深鉢	胴部	― ― ―	T字状の隆帯 縄文RL	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	橙色 2.5YR 6/6	通常	Ⅱ区 Ⅷ層	
101	深鉢	胴部	― ― ―	縄文RL	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	216	
102	深鉢	胴部	― ― ―	縄文RL	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 5YR 7/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	Ⅳ区 Ⅷ層	
103	深鉢	胴部	― ― ―	縄文RL	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 5YR 6/4	橙色 2.5YR 6/6	通常	Ⅰ区 Ⅴ層	
104	深鉢	口縁	― ― ―	縄文RL	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ⅱ区	
105	深鉢	口縁	― ― ―	平縁	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	165	
106	小形浅鉢	口縁	― ― 15.2	内外面赤色塗彩 折り返し口縁	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/3	通常	Ⅳ区 Ⅷ層	
107	小形浅鉢	底部	― ― 8.0	底部は木葉痕等なし	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	199	

（単位cm）

(16)　J－16号住居址

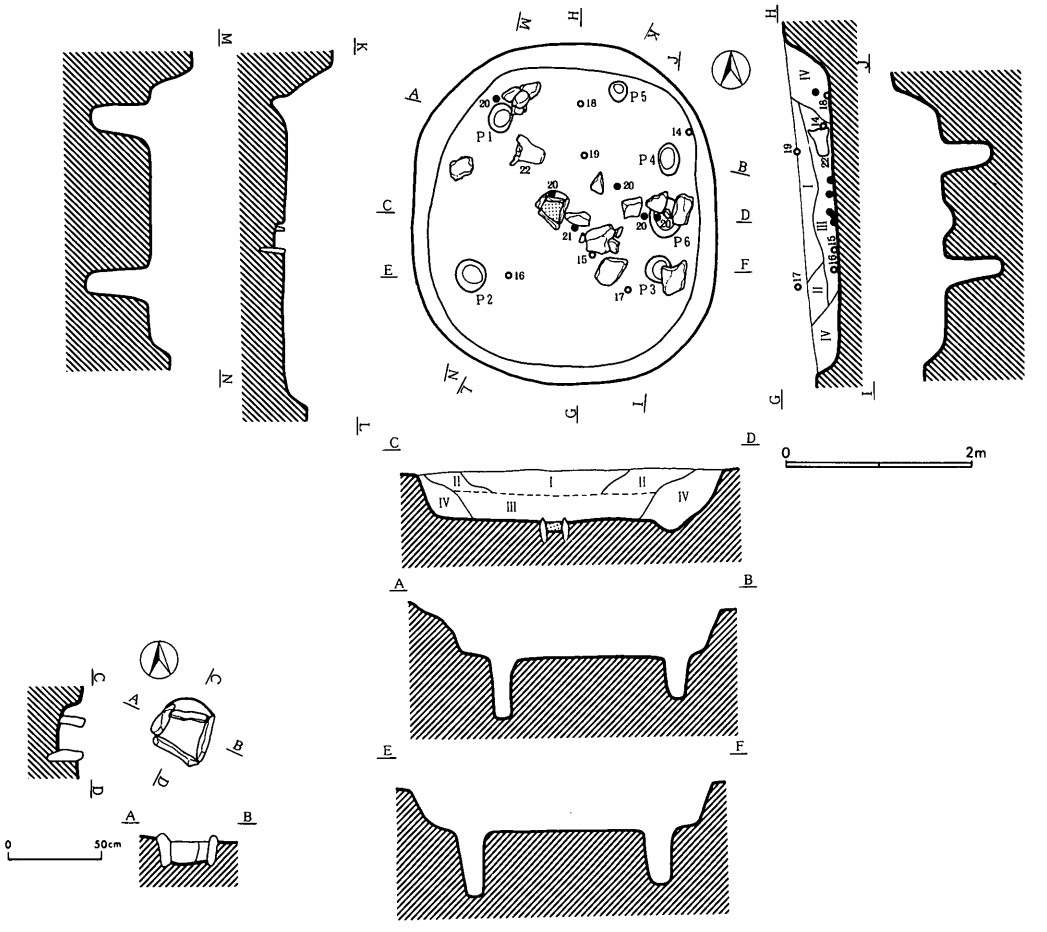
住居址　　第108図

J－16号住居址は、I－14グリッドにおいて検出された。本址は、J－28・J－32号住居址と重複するが、その新旧関係はつかめなかった。

本址は、南北3.6m・東西3.3mの方形に近い円形を呈し、床面積7.8m²を測る。壁の残存高は、30～50cmを測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

ピットは、主柱穴とみられるP_1～P_4が方形に配されているほか、P_5・P_6が認められた。ピットの大きさは、P_1が30×24×60cm、P_2が34×32×66cm、P_3が26×26×60cm、P_4が34×22×50cm、P_5が20×18×14cm、P_6が44×34×10cmを測る。

住居覆土は、4層に分層された。I層はローム粒子をほとんど含まない黒褐色土層（10YR2/3）、II層はロームの小ブロックを含む人為的埋土とみられる黒褐色土層(10YR3/2)、III層は多量



第108図　J－16号住居址（住居＝1：80，炉＝1：40）

のローム粒子を含む人為的埋土とみられる褐色土層(10YR4/4)、IV層はローム粒子を大量に含む人為的埋土とみられる黒褐色土層（10YR3/2）であった。

遺物は、22の勝坂系の深鉢が床面よりやや浮いた状態で転倒して検出された(図版36)。その他は、良好な出土状態の遺物はない。また、III・IV層中からは安山岩礫が投げこまれたような状態で出土している。

炉　　第108図

炉は、住居址のほぼ中央に存在している。扁平な安山岩礫4個を配したゆがんだ方形の石囲い炉で、35×25cm深さ10cmを測る。

覆土は2層に分層された。I層は焼土・カーボンを含まない暗褐色土層（10YR3/3)、II層はローム粒子が多量に混入しカーボン・焼土粒子を含まない褐色土層（10YR4/6）である。

遺　物　　第109図・第52～54表

遺物は、石器では、石鏃（1～5）・石鏃未成品（6～8）・ピエス・エスキーユ（9）・スクレイパー（13）・石核（10～12）・打製石斧（14～17）・磨石（18・19）が出土している。

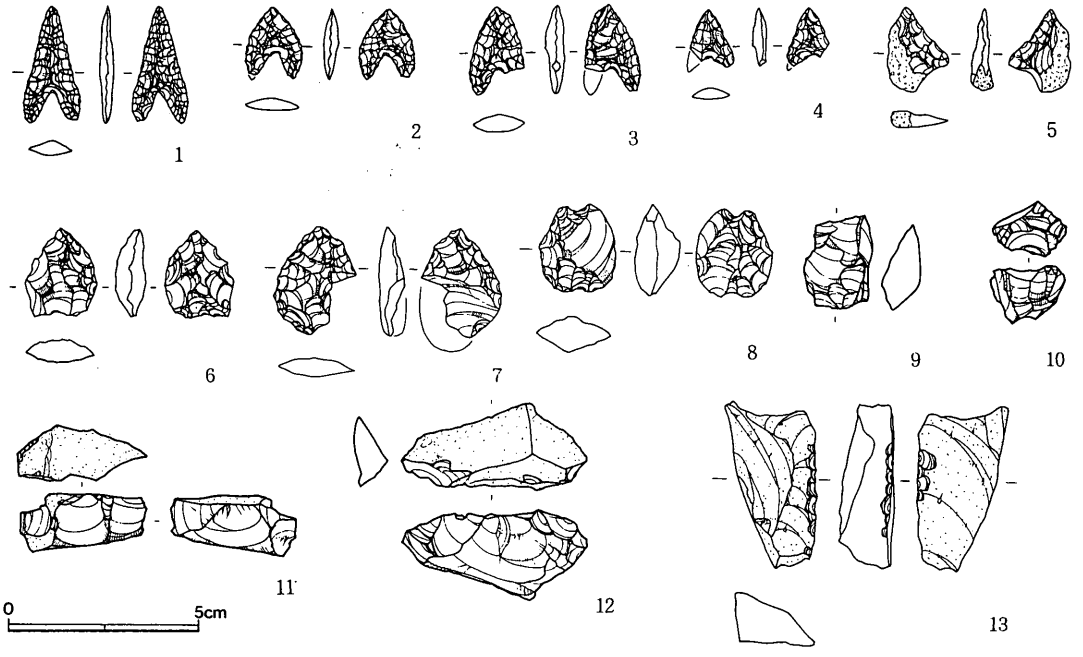
土器は、20・22が一定の復元が可能な個体であるほかは、あまり点数が多くない。

20は、垂下する隆線と横位の隆線・斜行する沈線・有節沈線等で器面が構成される深鉢で、寺内が「後沖式」と呼称する在地系の土器と考えられる（寺内1985）。時期的には22に先行する土器とみられる。

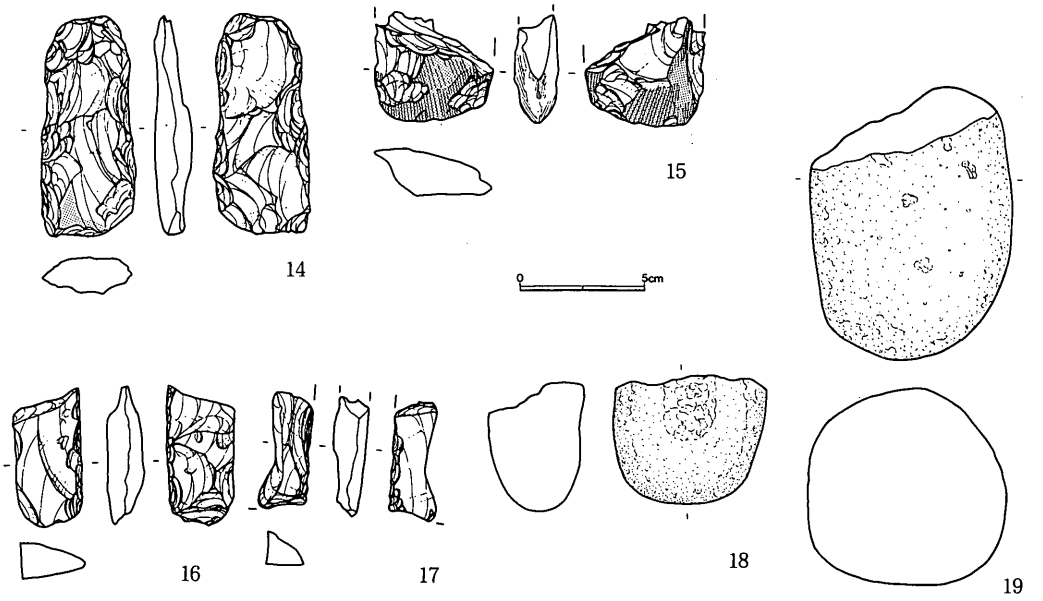
22は勝坂III式のキャリパー形の深鉢で、環状突起とそれをつなぐ隆線、隆線に沿った爪形の連続刺突（有節沈線）がみられる。

時　期

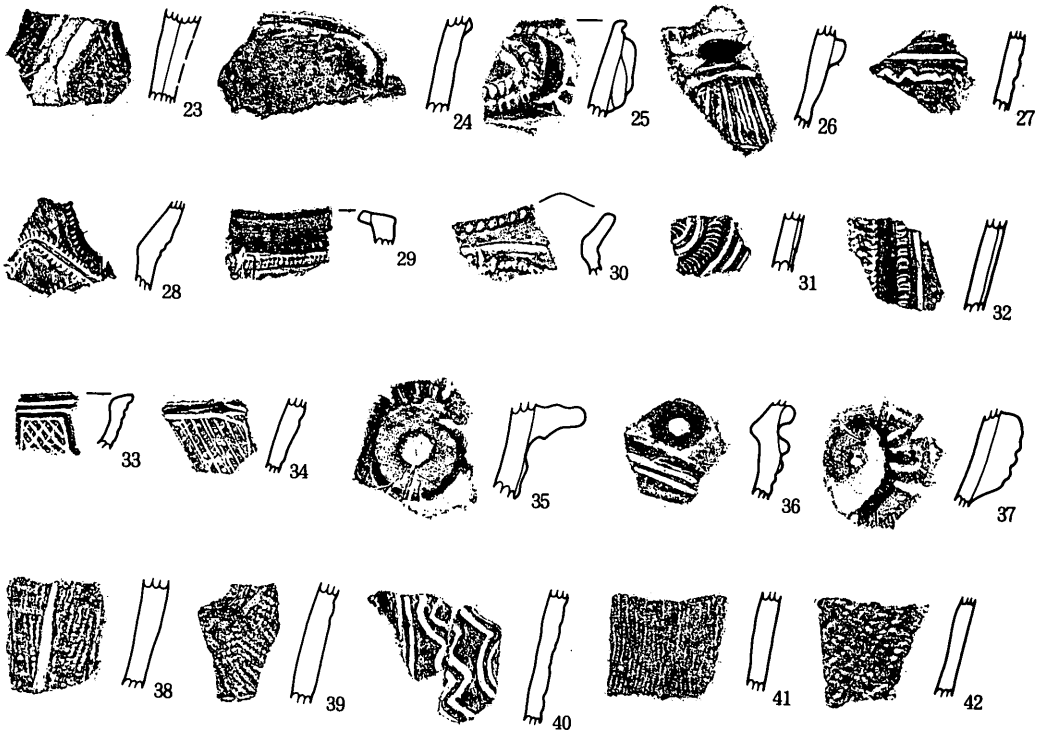
本住居址は、縄文時代中期中葉に位置付けられるが、出土した20のいわゆる「後沖式」と22の勝坂III式の深鉢とに時期差がある。床面より浮いて出土した22をはずして考えると、本住居は川原田遺跡第8期に位置付けられよう。



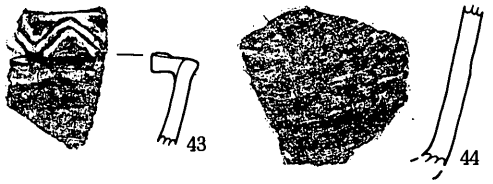
第109図　J－16号住居址出土石器（1：2）

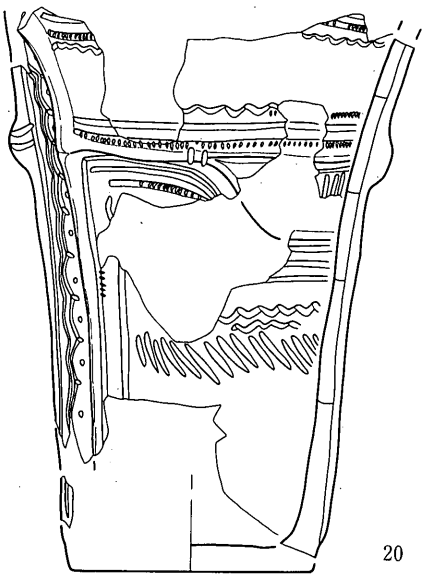


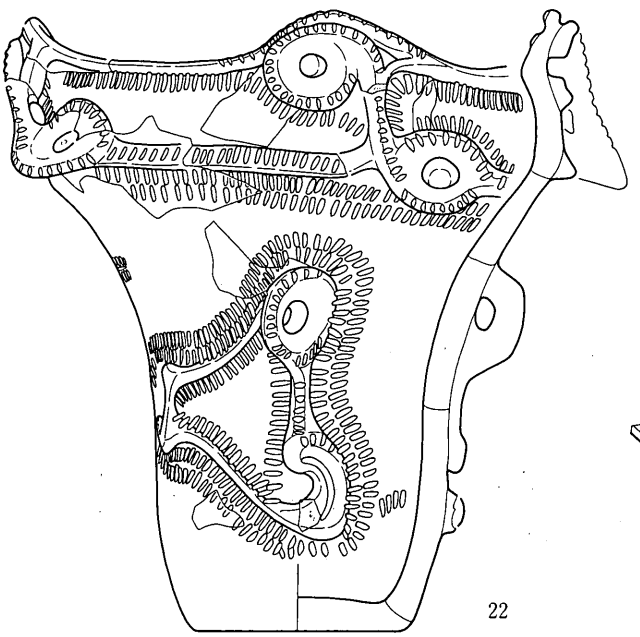
第110図　J－16号住居址出土石器（1：3）

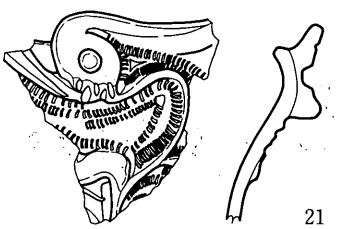


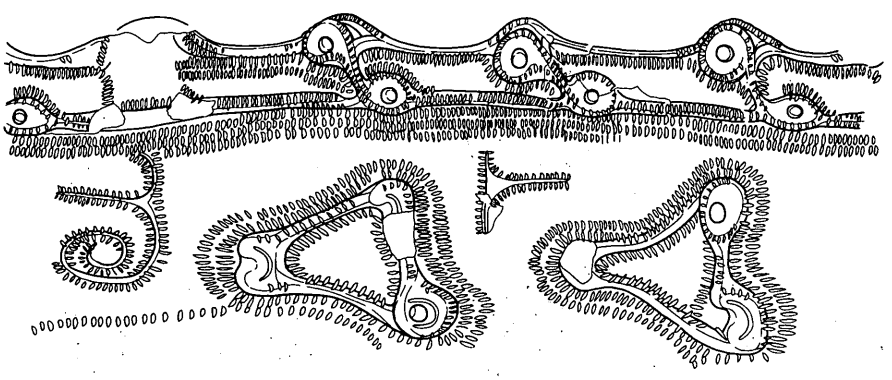
第111図　J－16号住居址出土土器（1：4）











第112図　J－16号住居址出土土器（1：4，展開図＝1：6）

第52表　J－16号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	30	15	4	1.0	
2	石鏃	黒曜石	19	15	4	0.6	
3	石鏃	黒曜石	23	15	5	1.0	
4	石鏃	黒曜石	15	12	4	0.3	
5	石鏃	黒曜石	22	16	6	0.7	焼けて発泡
6	石鏃未成品	黒曜石	23	19	8	2.5	
7	石鏃未成品	黒曜石	28	22	7	2.1	
8	石鏃未成品	黒曜石	23	20	12	3.8	
9	ピエス・エスキーユ	黒曜石	24	18	10	4.2	
10	石核	黒曜石	15	19	13	2.9	
11	石核	黒曜石	15	33	15	5.9	
12	石核	黒曜石	23	48	10	8.1	
13	スクレイパー	黒曜石	44	24	15	16.2	蛍科分析No.38294 浅間大窪沢産
14	打製石斧	頁岩II	87	38	15	53.4	
15	打製石斧	頁岩I	43	47	18	34.7	欠損
16	打製石斧	頁岩I	55	27	15	26.6	断片
17	打製石斧	頁岩I	46	20	13	11.1	断片
18	磨石	安山岩	50	52	37	179.4	欠損
19	磨石	安山岩	108	80	77	832.1	欠損

（単位mm，g）

第53表　J－16号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
20	深鉢	胴部 〜 底部	— — (12.5)	トの字状に伸びる隆線 隆線に沿う連続刺突 平行沈線	ヨコナデ	透明粒子	橙色 2.5YR 6/6	にぶい橙色 2.5YR 6/4	やや不良	333 343	後沖式
21	深鉢	口縁 〜 底部	24.0 32.4 10.0	環状突起に接続する隆線 隆線に沿う連続刺突文 波状口縁	ヨコミガキ	角閃石多量	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/6	やや不良	373	
22	深鉢	口縁	— — —	環状突起、曲隆線 結節沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	P1 346	
23	深鉢	口縁	— — —	隆帯、連続刺突文	ナデ	黒雲母多量	暗褐色 7.5YR 3/4	褐色 7.5YR 4/3	通常	282	
24	深鉢	胴部	— — —	隆帯	ナデ	黒雲母多量	黒褐色 7.5YR 3/1	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	11	
25	深鉢	口辺	— — —	ねじり状隆帯とそれに沿う連続刺突文	ヨコミガキ	黒雲母多量	橙色 7.5YR 7/6	橙色 7.5YR 7/6	通常	51	
26	深鉢	口辺	— — —	隆帯による区画内に平行沈線	ヨコミガキ	黒雲母多量	黒褐色 7.5YR 3/1	明赤褐色 5YR 5/6	通常	345	
27	深鉢	胴部	— — —	鋸歯状沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	灰褐色 7.5YR 4/2	明赤褐色 5YR 5/6	通常	21	
28	深鉢	口縁	— — —	連続刺突文	ミガキ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/8	通常	I区 III層	
29	浅鉢	口縁	— — —	連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/8	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	206	
30	深鉢	口縁	— — —	半截竹管による連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	132	
31	深鉢	胴部	— — —	半截竹管の連続刺突文 沈線	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	通常	IV区 下層	
32	深鉢	胴部	— — —	半截竹管の連続刺突文 沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	96	
33	深鉢	口縁	— — —	格子状の沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい黄橙色 10YR 6/3	淡黄色 2.5YR 8/4	通常	39	
34	深鉢	胴部	— — —	斜位沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 7.5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	89	
35	深鉢	口縁	— — —	環状突起	ナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	橙色 5YR 7/8	通常	333	

（単位cm）

第54表　Ｊ－16号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
36	深鉢	口辺	－ － －	環状突起	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	通常	一括	
37	深鉢	胴部	－ － －	渦巻き状突起	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい黄橙色 10YR 7/4	浅黄橙色 10YR 8/4	通常	332	
38	深鉢	胴部	－ － －	沈線 縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 4/4	橙色 5YR 6/8	通常	361	
39	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	灰褐色 5YR 4/2	橙色 5YR 6/8	通常	128	
40	深鉢	胴部	－ － －	蛇行沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/8	通常	29 79	
41	深鉢	胴部	－ － －	撚糸文？	不明	黒雲母多量	橙色 7.5YR 6/6	橙色 5YR 7/8	通常	169	
42	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/8	通常	72	
43	浅鉢	口縁	－ － －	鋸歯状の隆帯 赤色塗彩	ヨコミガキ	黒雲母	黄橙色 10YR 8/6	浅黄橙色 10YR 8/4	良	30	
44	浅鉢？	胴部	－ － －	無文	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	367	

（単位cm）

(17)　Ｊ－17号住居址

住居址　　第114図

Ｊ－17号住居址は、Ｈ－14グリッドにおいて検出された。その南側部分がわずかにＪ－24号住居址と重複するが、両者の新旧関係はとらえられなかった。

本址は、南北4.4ｍ・東西3.9ｍの長楕円形を呈し、床面積12.7㎡を測る。壁の残存高は、10cm程度を測る。壁溝は認められない。

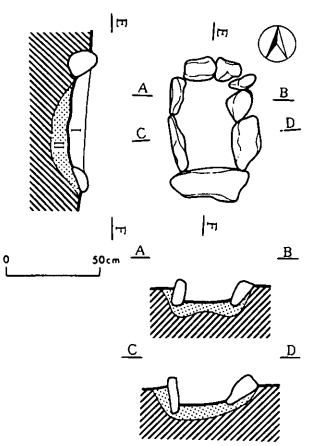
ピットは、壁周囲と住居内から10個が検出された。このうち柱穴と考えられるのはP_1～P_4・P_8・P_9である。ピットの大きさは、P_1が28×26×24cm、P_2が34×28×54cm、P_3が34×28×44cm、P_4が40×40×60cm、P_5が46×44×10cm、P_6が46×36×14cm、P_7が40×36×24cm、P_8が32×28×60cm、P_9が36×30×30cm、P_{10}が20×20×10cmを測る。

住居覆土は、Ⅰ層のみで、ローム粒子を含む暗褐色土層（10YR3/3）であった。

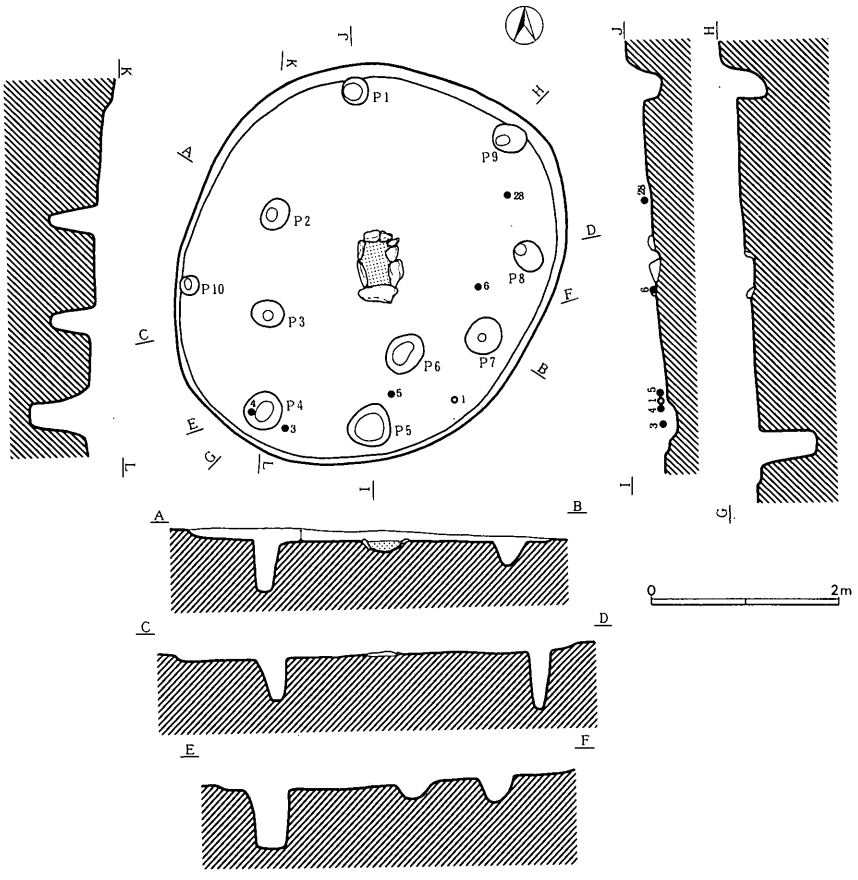
遺物は、良好な出土状態を示すものはない。

炉　　第113図

炉は、住居址の中央に存在する。長方形の石囲い炉で、80×



第113図　Ｊ－17号住居址炉
（１：40）



第114図　J－17号住居址（1：80）

45×10cmを測り、安山岩礫8点が囲む。

覆土は1層、構築土も1層に分層された。I層は焼土を少量含む黒褐色土層(10YR3/2)、II層はロームを大量に含む構築土である褐色土層（10YR4/4）である。

遺　物　　第115図・第55・56表

遺物は、あまり多く出土していない。

出土した石器の主な器種にはピエス・エスキーユ（1・2）があるのみである。

土器は、中期中葉の焼町土器・勝坂式の土器片など数十片が検出されているのみで、十分に復元できる個体は認められなかった。

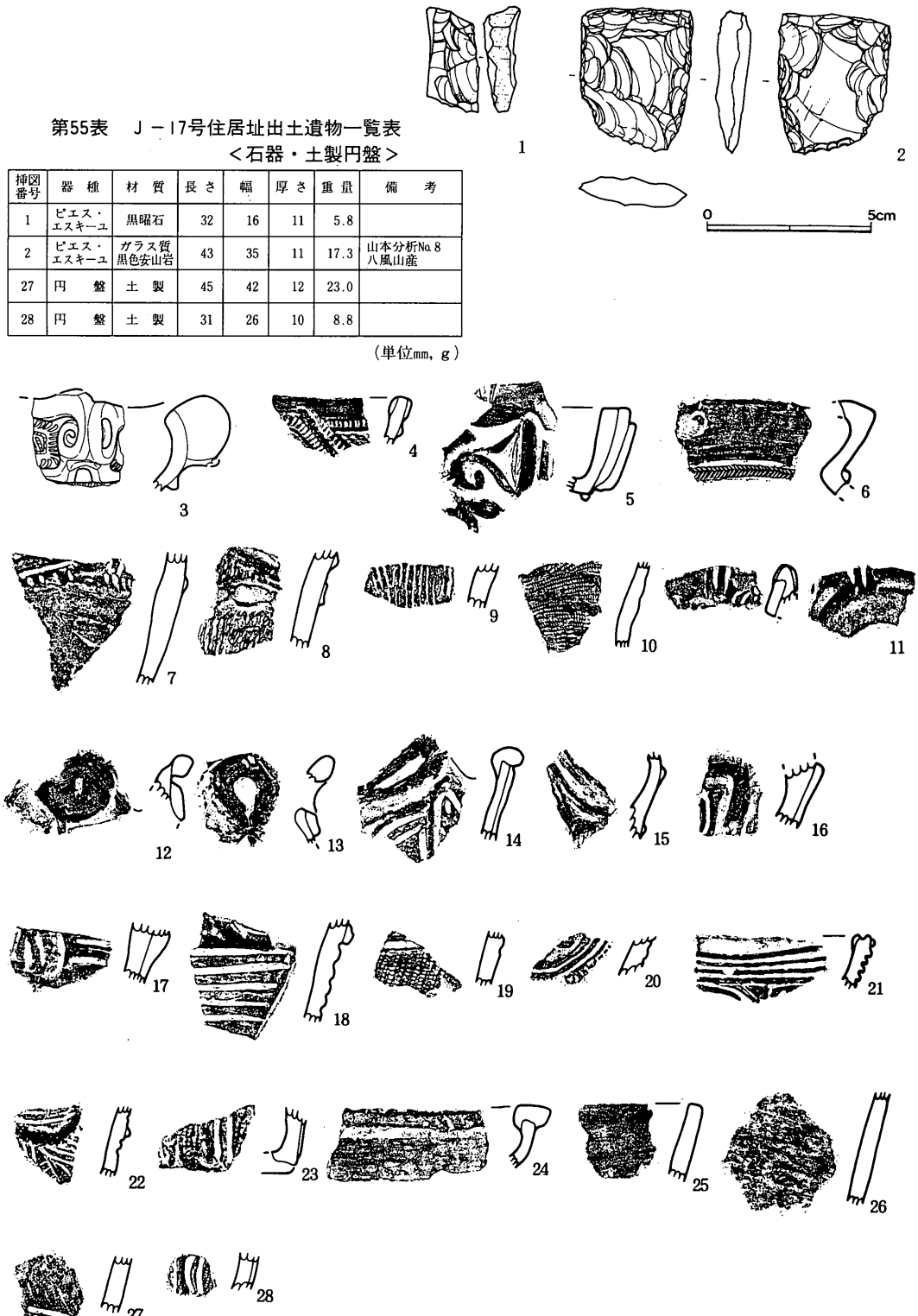
時　期

本住居址からは中期中葉の土器片が出土したのみであるが、長方形の石囲い炉からすれば中期後葉（川原田遺跡第12期もしくは第13期）に位置付けられる可能性も残る。

第55表　Ｊ－17号住居址出土遺物一覧表
＜石器・土製円盤＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	ピエス・エスキーユ	黒曜石	32	16	11	5.8	
2	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	43	35	11	17.3	山本分析No.8 八風山産
27	円盤	土製	45	42	12	23.0	
28	円盤	土製	31	26	10	8.8	

（単位mm，g）



第115図　Ｊ－17号住居址出土遺物（石器＝１：２，土器＝１：４）

第56表　J－17号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
3	深鉢	口縁	― ― ―	渦巻き状隆帯 半截竹管の連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい黄橙色 10YR 6/3	通常	95	
4	深鉢	口縁	― ― ―	半截竹管の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石 黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	赤褐色 5YR 4/6	通常	98	
5	深鉢	口縁	― ― ―	渦巻き状隆帯と三叉区画	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	明赤褐色 5YR 5/6	良	82	
6	深鉢	胴部	― ― ―	隆帯にハの字状の刻み	ヨコミガキ 赤色塗彩	黒雲母	灰褐色 7.5YR 4/2	灰黄褐色 10YR 5/2	良	75	
7	深鉢	胴部	― ― ―	隆帯上に連続押圧	ヨコミガキ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	19	
8	深鉢	胴部	― ― ―	隆帯上に連続押圧 撚糸文？	ヨコミガキ	黒雲母	褐色 7.5YR 4/3	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	P_1	
9	深鉢	胴部	― ― ―	撚糸文R	ヨコナデ	白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	56	
10	深鉢	胴部	― ― ―	縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 3/4	橙色 5YR 6/8	通常	18	
11	深鉢	口縁	― ― ―	大形環状突起	ヨコナデ	角閃石 黒雲母	褐色 7.5YR 4/3	橙色 5YR 6/6	通常	51	
12	深鉢	口縁	― ― ―	渦巻き状突起	ナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	71	
13	深鉢	口縁	― ― ―	環状突起	ナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	103	
14	深鉢	口縁	― ― ―	波状口縁 隆帯	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 4/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	78	
15	深鉢	口縁	― ― ―	隆帯	ヨコナデ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/2	にぶい赤褐色 5YR 4/3	通常	79	
16	深鉢	口縁	― ― ―	隆帯	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	4	
17	深鉢	胴部	― ― ―	隆帯	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	19	
18	深鉢	胴部	― ― ―	隆帯、平行沈線	ヨコナデ	角閃石 黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	23	
19	深鉢	胴部	― ― ―	沈線 縄文LR	ヨコナデ	黒雲母多量	黒褐色 5YR 3/1	橙色 5YR 6/8	通常	254	
20	深鉢	胴部	― ― ―	縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/8	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	85	
21	深鉢	胴部	― ― ―	沈線	ヨコナデ	角閃石	黒褐色 7.5YR 3/1	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	33	
22	深鉢	口縁	― ― ―	沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	46	
23	深鉢	底部	― ― ―	垂下隆帯と沈線 縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	にぶい黄褐色 10YR 5/3	橙色 5YR 6/8	通常	93	
24	浅鉢	口縁	― ― ―	内外面赤色	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	灰黄褐色 10YR 4/2	通常	65	
25	深鉢	口縁	― ― ―		ヨコナデ	白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	17	
26	深鉢	胴部	― ― ―		ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい褐色 7.5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	564	
27	土製円盤	―	4.3 × 4.8	沈線、縄文	ナデ	黒雲母多量	にぶい黄橙色 10YR 6/3	橙色 7.5YR 6/6	通常	126	
28	土製円盤	―	3.2 × 2.8	沈線、縄文、隆帯	ヨコナデ	黒雲母多量	暗赤褐色 5YR 3/3	橙色 5YR 6/8	通常	64	

（単位cm）

(18)　J－18号住居址

住居址　　第116図

J－18号住居址は、H－12グリッドにおいて検出された。本址は同じく縄文前期のJ－39・J－44号住居址を切って存在している。したがってその関係は新しいほうから順にJ－18→J－39→J－44となる。

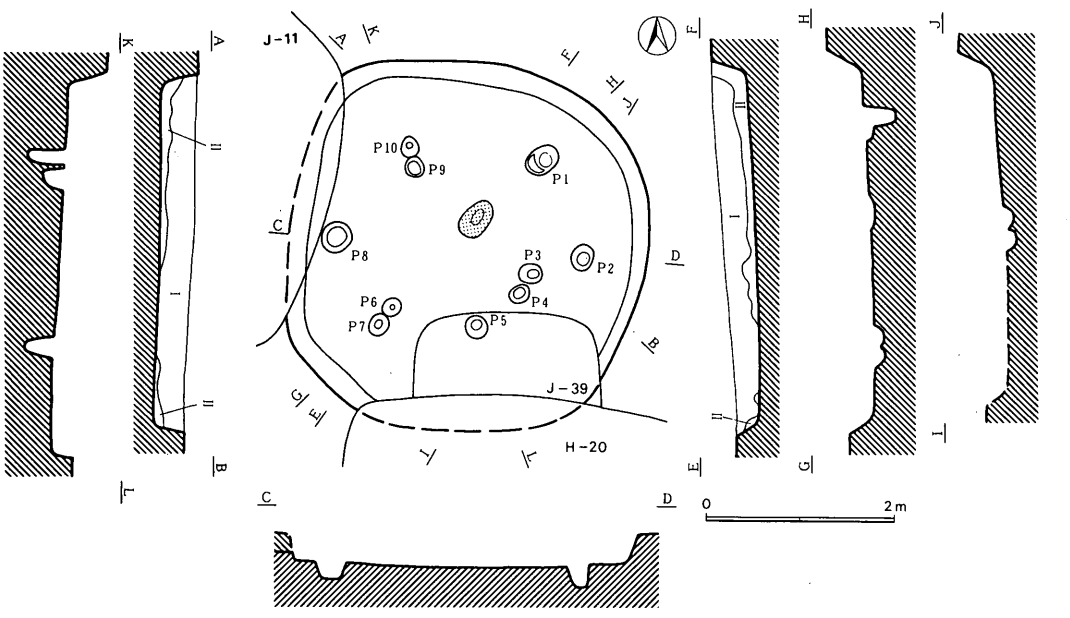
本址は、南北4.0m・東西3.8mの丸みを帯びた方形を呈し、床面積11.6m²を測る。壁の残存高は、25～40cmを測る。壁溝は認められない。

ピットは、炉と壁との間から10個が検出された。ピットの大きさは、P_1が38×26×32cm、P_2が28×22×20cm、P_3が24×20×10cm、P_4が22×18×10cm、P_5が24×22×30cm、P_6が20×18×10cm、P_7が24×20×10cm、P_8が32×30×18cm、P_9が22×20×22cm、P_{10}が20×18×38cmを測る。

住居覆土は2層に分層された。I層はカーボンを多く含みローム粒子を含まない黒色土層（10YR2/1）、II層はローム粒子・カーボンを多く含む暗褐色土層（10YR3/3）であった。

炉　　第116図

炉は住居の中央よりやや壁よりに検出された。楕円形の地床炉で40×25×5cmを測る。覆土は2層に分層された。I層はカーボンを多く含み焼土を含まない暗褐色土層（10YR3/4）、II層は焼土層である明



第116図　J－18号住居址（住居＝1：80，炉＝1：40）

赤褐色土層（5 YR5/8）であった。

遺　物　　第118・119図・第57・58表

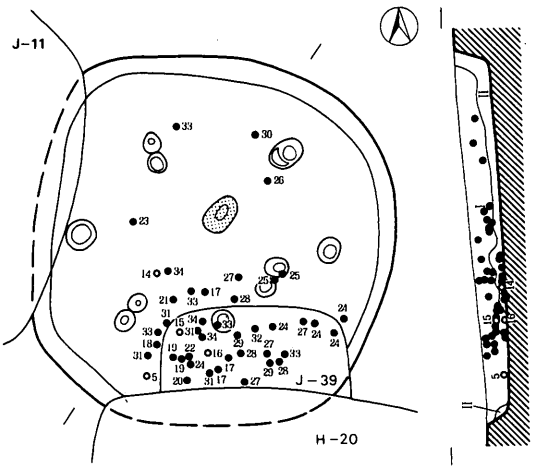
遺物は、石器では、石鏃（1～3）・石鏃未成品（4）・ピエス・エスキーユ（7・8）・石匙（5）・石核（9～16）が出土している。

土器は、縄文前期諸磯a式の土器片が数十片検出された。

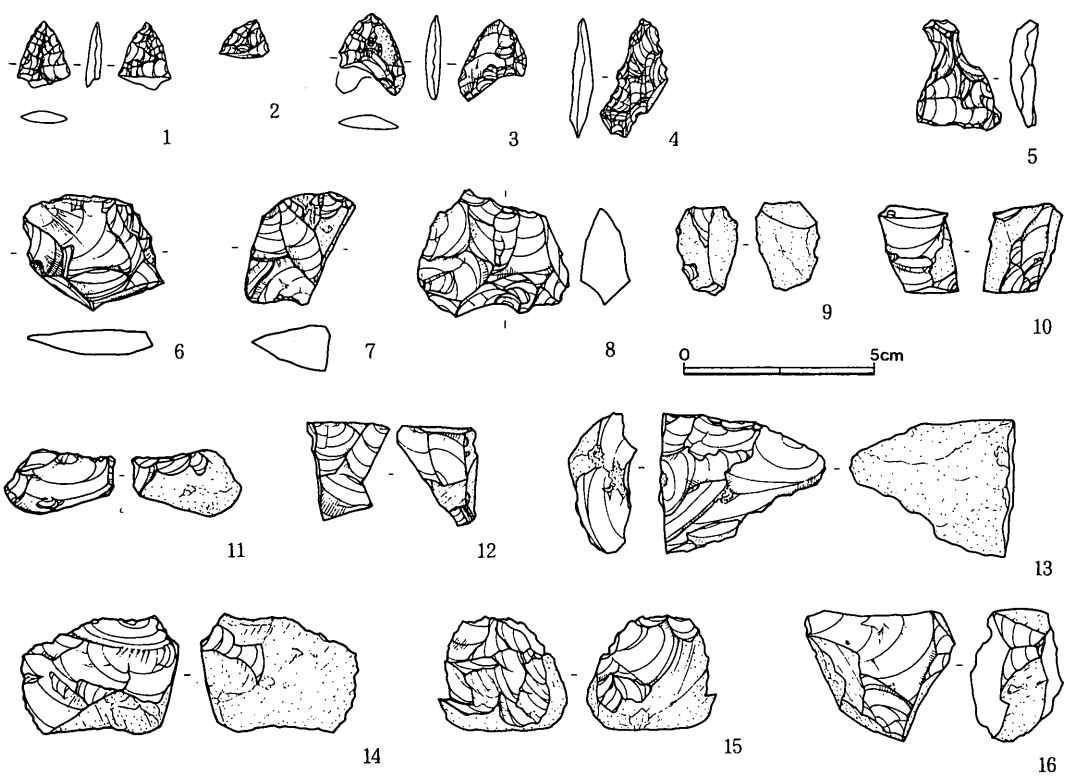
17～22は半截竹管の連続刺突文が口縁部を構成するものである。24は半截竹管による平行沈線・波状沈線が施されている。24・26～33は縄文の施された胴部破片、34は縄文の施された胴下半部である。

時　期

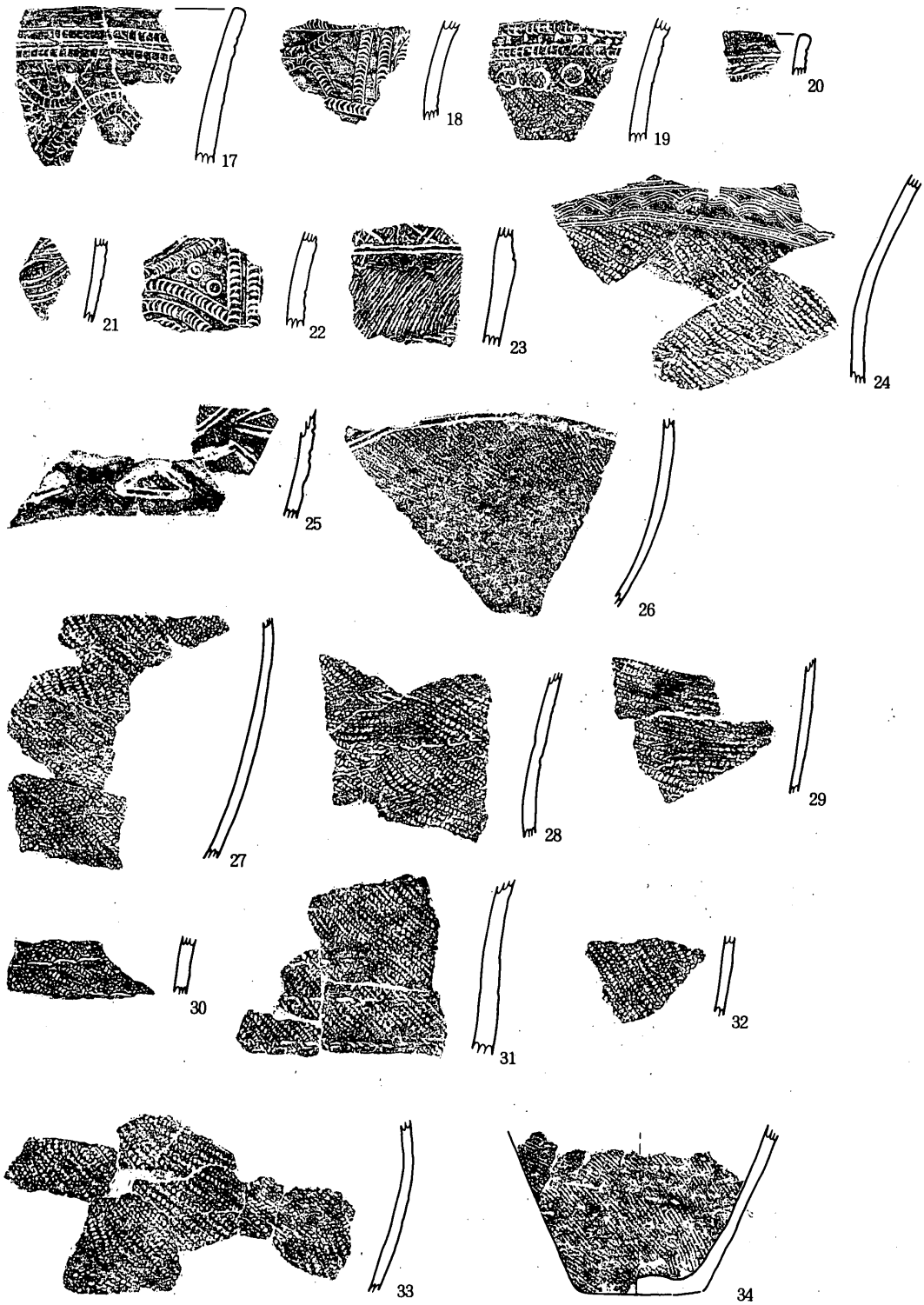
本住居址は、縄文前期後半の諸磯a期（川原田遺跡第5期）に位置付けられよう。



第117図　J－18号住居址遺物分布（1：80）



第118図　J－18号住居址出土石器（1：2）



第119図　J－18号住居址出土土器（1：4）

第57表　J－18号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	17	14	4	0.5	欠損
2	石鏃	黒曜石	10	13	3	0.3	欠損
3	石鏃	黒曜石	21	17	4	0.9	欠損
4	石鏃未成品	黒曜石	31	18	6	1.5	
5	石匙	黒曜石	29	22	7	2.6	
6	剝片	黒曜石	30	37	8	7.4	
7	ピエス・エスキーユ	黒曜石	29	29	12	8.2	
8	ピエス・エスキーユ	黒曜石	33	40	13	13.0	
9	石核	黒曜石	23	16	10	2.9	
10	石核	黒曜石	23	21	10	4.3	
11	石核	黒曜石	17	29	14	4.6	
12	石核	黒曜石	26	22	17	8.1	
13	石核	黒曜石	37	44	18	18.2	
14	石核	黒曜石	31	42	22	25.8	
15	石核	黒曜石	30	34	24	21.8	
16	石核	黒曜石	35	40	25	27.5	

（単位mm，g）

第58表　J－18号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
17	深鉢	口縁	― ― ―	半截竹管による連続刺突文	ヨコミガキ	白色粒子	黒褐色 10YR 3/2	赤褐色 2.5YR 4/6	不良	101	諸磯a（後半）
18	深鉢	胴部	― ― ―	半截竹管による連続刺突文	タテミガキ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	117	諸磯a（後半）
19	深鉢	胴部	― ― ―	半截竹管による連続刺突文 刺突文、円文	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 4/3	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	115 116	諸磯a（後半）
20	深鉢	口縁	― ― ―	半截竹管による連続刺突文 斜めの刻み	ヨコナデ	白色粒子	褐灰色 7.5YR 4/1	褐灰色 7.5YR 4/1	不良		諸磯a（後半）
21	深鉢	胴部	― ― ―	半截竹管による平行沈線	ミガキ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	良好	320	諸磯a（後半）
22	深鉢	胴部	― ― ―	半截竹管による連続刺突文 円文	ヨコミガキ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい黄褐色 10YR 5/3	良好	225	諸磯a（後半）
23	深鉢	胴部	― ― ―	半截竹管による平行沈線 縄文L	タテミガキ	繊維含	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	良好	156	諸磯a（後半）
24	深鉢	胴部	― ― ―	櫛歯状工具による波状文 平行沈線、縄文RL	ヨコミガキ	黒雲母	暗褐色 7.5YR 3/4	明赤褐色 5YR 5/6	良好	171 295	諸磯a（後半）
25	深鉢	胴部	― ― ―	半截竹管による平行沈線で三角形を描く。内部に縄文RL	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	良好	42 43	同一個体 諸磯a
26	深鉢	胴部	― ― ―	半截竹管平行沈線 縄文RL	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	良好	259	
27	深鉢	胴部	― ― ―	縄文RL	ヨコナデ	角閃石	明褐色 7.5YR 5/6	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	31 46 84	諸磯a
28	深鉢	胴部	― ― ―	縄文RL	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	195 98	諸磯a
29	深鉢	胴部	― ― ―	縄文RL	ヨコミガキ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	196 201	諸磯a
30	深鉢	胴部	― ― ―	縄文RL	タテミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/3	明赤褐色 5YR 5/6	良好	5	諸磯a
31	深鉢	胴部	― ― ―	縄文RL	ヨコミガキ	白色粒子	明褐色 7.5YR 5/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	221 118	諸磯a
32	深鉢	胴部	― ― ―	縄文RL	ヨコミガキ	白色粒子	明褐色 7.5YR 5/6	にぶい橙色 5YR 6/4	良好	200	同一個体？ 諸磯a
33	深鉢	胴部	― ― ―	縄文RL	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	明赤褐色 5YR 5/6	良好	83	
34	深鉢	底部	― ― 7.5	縄文RL	ヨコミガキ	粒子を多く含み不良	明赤褐色 5YR 5/6	褐色 7.5YR 4/3	不良	174	諸磯a

（単位cm）

(19)　J－19号住居址

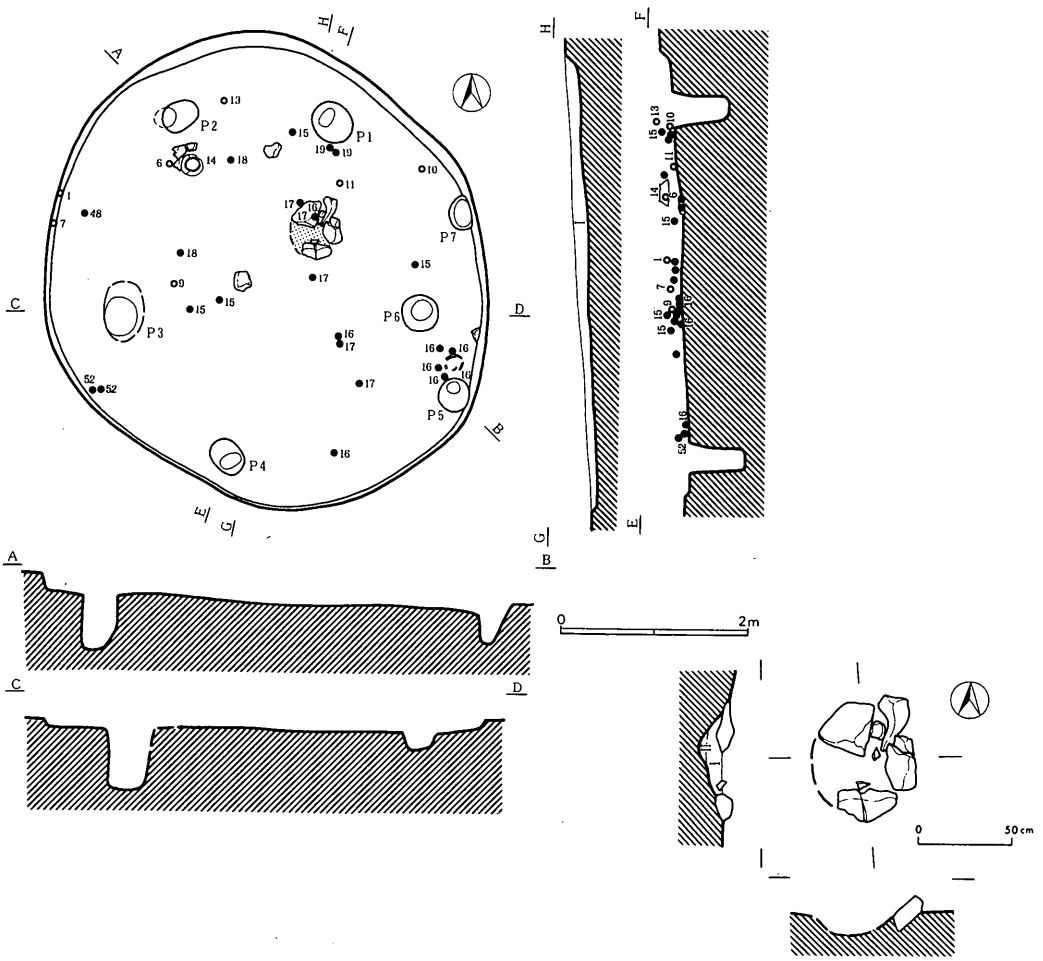
住居址　第120図

J－19号住居址は、I－11グリッドにおいて検出された。本住居址は、J－31住居址およびJ－33住居址を切って存在するものとみられる。

本址は、南北5.1m・東西4.7mの円形を呈し、床面積17.1m²を測る。壁の残存高は、10cm前後を測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

ピットは、P_1～P_7が壁際に配されている。ピットの大きさは、P_1が46×38×58cm、P_2が38×28×60cm、P_3が62×44×64cm、P_4が40×30×58cm、P_5が36×32×30cm、P_6が38×33×18cm、P_7が34×22cmを測る。

住居覆土はI層のみで、ローム粒子を含まない黒褐色土層（10YR2/2）であった。



第120図　J－19号住居址（住居址＝I：80，炉＝I：40）

遺物は、14の深鉢口縁部が床面より浮いた状態で、16が床面上より浮いた状態で出土した。

炉　　第120図

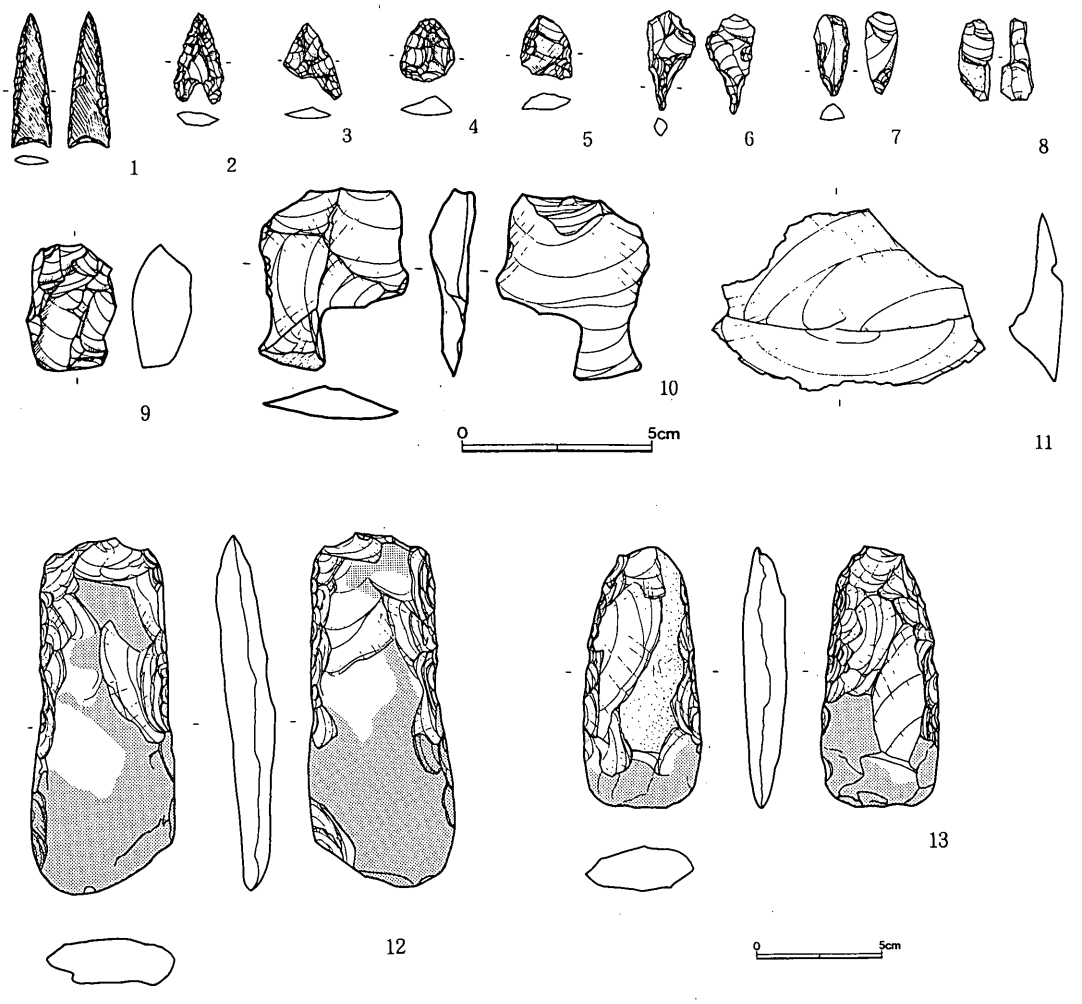
炉は、住居址の中央よりやや南寄りに存在している。安山岩礫を配した石囲い炉であるが、その西側が壊れている。残存部で65×50cm深さ15cmを測る。

覆土は2層に分層された。Ⅰ層はカーボン・焼土を若干含む褐色土層（10YR4/4）、Ⅱ層は焼土層で赤褐色土層（5YR5/8）である。

遺　物　　第121～124図・第59～62表

遺物は、石器では、磨製石鏃（1）・石鏃（2・3）・石鏃未成品（4・5）・ピエス・エスキーユ（8・9）・石錐（6・7）・剥片（10・11）・打製石斧（12・13）が出土している。

土器は、中期後葉の加曽利E系・曽利系の土器が認められている。

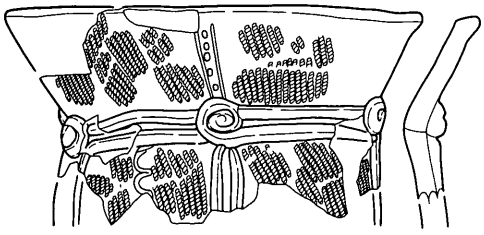


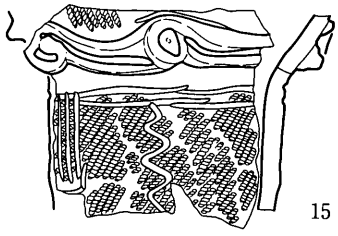
第121図　J－19号住居址出土石器（1～11＝1：2，12・13＝1：3）

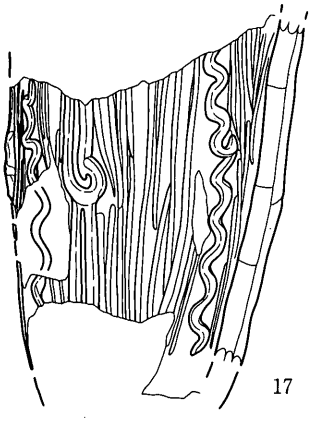
第59表　J－19号住居址出土遺物一覧表　＜石器・土偶＞

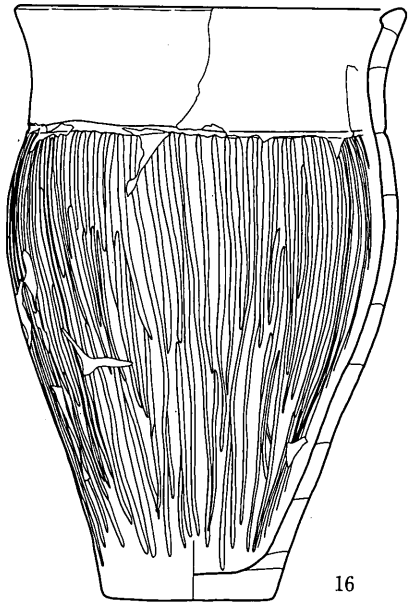
挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	磨製石鏃	砂岩	35	11	2	1.0	縁辺は剥離による
2	石鏃	黒曜石	24	13	3	0.7	
3	石鏃	チャート	20	15	3	0.6	欠損
4	石鏃未成品	黒曜石	16	15	6	1.1	
5	石鏃未成品	黒曜石	16	14	4	0.7	
6	石錐	黒曜石	26	13	8	1.7	
7	石錐	黒曜石	21	9	6	0.9	
8	ピエス・エスキーユ	黒曜石	21	9	8	1.2	
9	ピエス・エスキーユ	黒曜石	33	24	15	13.8	
10	剥片	硬質頁岩	48	40	12	11.3	
11	剥片	ガラス質黒色安山岩	48	72	14	29.4	
12	打製石斧	頁岩II	142	58	22	187.8	
13	打製石斧	頁岩II	105	48	18	101.0	
53	土偶	－	20	23	50	17.4	脚部

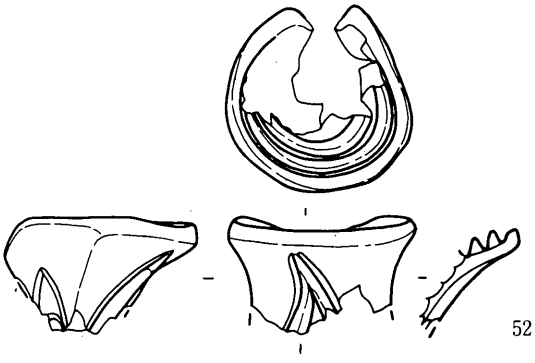
（単位mm，g）

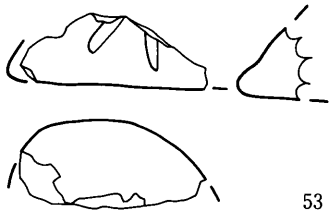

14


15

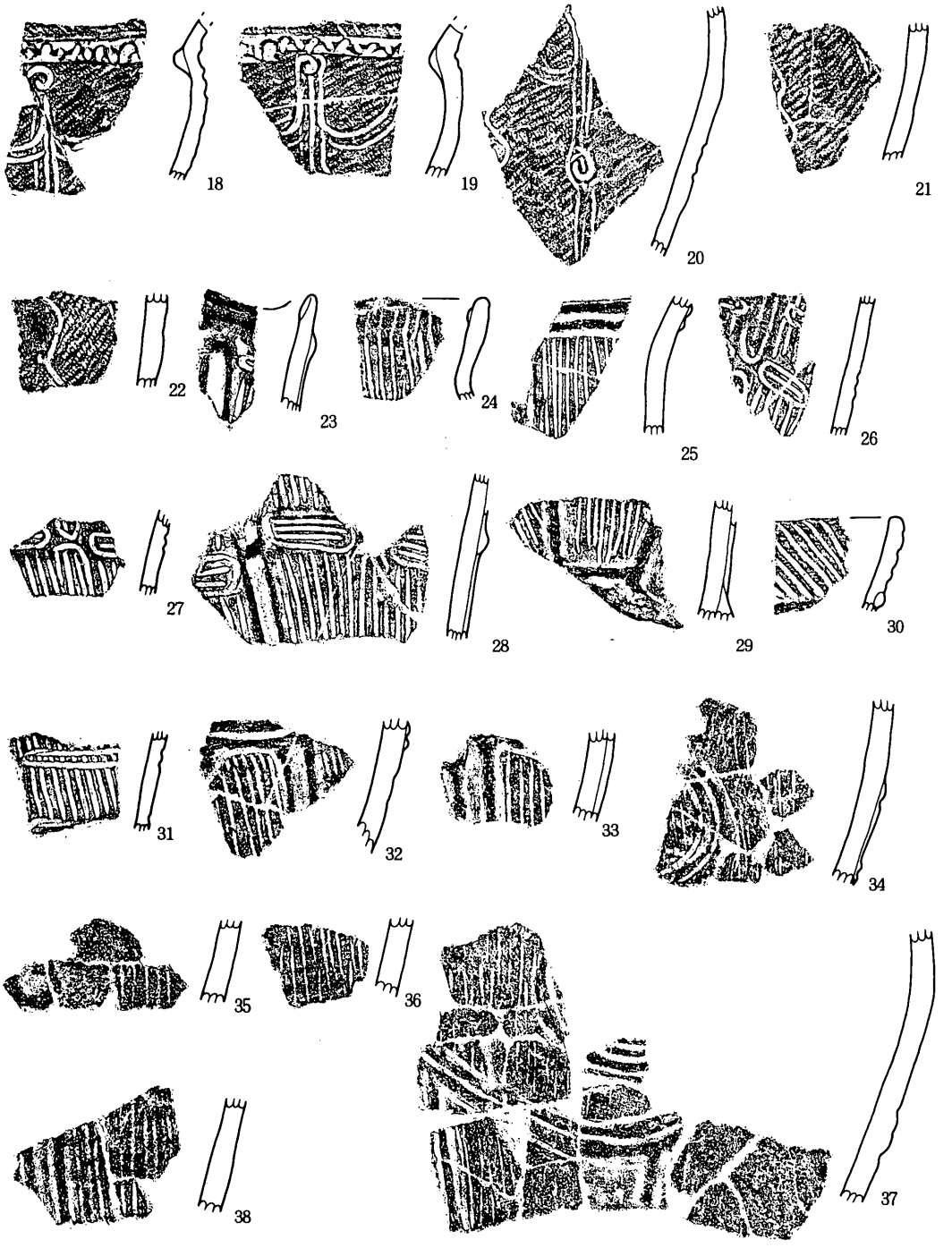

17


16


52


53

第122図　J－19号住居址出土遺物
（14～17＝1：4，52・53土偶＝1：2）

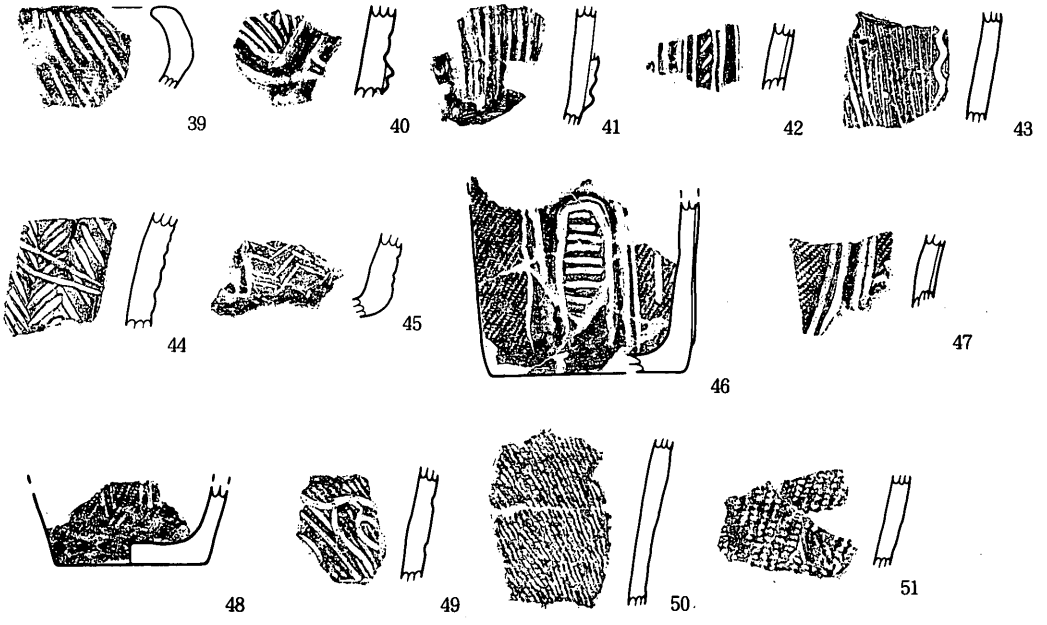


第123図　J－19号住居址出土土器（1：4）

14は、頸部の4単位の突起から2本の隆線が横に結び、同じ基点から垂下する隆線2本が伸びるもので、地文に縄文が施された深鉢である。16は胴部全体に縦位の平行沈線を充填した土器で、頸部はある。18～20は地文に縄文が施された後、蕨状の沈線文が施された土器である。

時　期

本住居址は、縄文時代中期後葉（川原田遺跡第13期）に位置付けられよう。



第124図　J－19号住居址出土土器（1：4）

第60表　J－19号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
14	深鉢	口縁	21.5 － －	地文縄文ＲＬ 頸部には2条の隆帯が渦巻き状突起に結ぶ	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	にぶい橙色 2.5YR 6/4	不良	396	
15	深鉢	口縁 ～ 胴部	－ － －	地文縄文ＬＲ 横Ｓ字状の隆帯	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	158 103	
16	深鉢	口縁 ～ 底部	19.6 31.6 8.0	胴部に縦位の平行沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	299 298 391	
17	深鉢	胴部 ～ 底部	－ － －	垂下する2条の隆線と蛇行隆線 縦位沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	通常	73 399	
18	深鉢	胴部	－ － －	渦巻き状沈線 縄文ＲＬ	ヨコナデ	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	普	220	同一個体
19	深鉢	胴部	－ － －	渦巻き状沈線 縄文ＲＬ	ヨコナデ	白色粒子	にぶい黄橙色 10YR 6/3	黄橙色 10YR 8/6	普	262 270	
20	深鉢	胴部	－ － －	渦巻き状沈線から3本の平行沈線が派生 縄文ＲＬ	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	浅黄橙色 10YR 8/4	普	372 390	

（単位cm）

第61表　J－19号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
21	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ 蛇行沈線	ヨコナデ	白色粒子	橙色 7.5YR 7/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	普	159	
22	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ 蛇行沈線	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	普	257	
23	深鉢	口縁	— — —	突起から垂下する２条の隆帯	ヨコミガキ	黒雲母	褐色 7.5YR 4/3	橙色 7.5YR 6/6	普	55	
24	深鉢	胴部	— — —	縦位平行沈線	ヨコミガキ	角閃石	褐色 7.5YR 4/3	橙色 5YR 6/8	普	一括	同一個体
25	深鉢	胴部	— — —	横位の隆帯 縦位平行沈線	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/8	普	48	
26	深鉢	胴部	— — —	平行沈線 楕円区画沈線	ヨコミガキ	黒雲母 角閃石	にぶい褐色 7.5YR 5/4	橙色 5YR 6/8	普	41 246	同一個体
27	深鉢	胴部	— — —	平行沈線 楕円区画沈線	ヨコミガキ	黒雲母 角閃石	灰褐色 5YR 4/2	橙色 5YR 6/8	普	65	
28	深鉢	胴部	— — —	平行沈線 楕円区画沈線 平行する２条の垂下隆帯	ヨコミガキ	黒雲母 角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/8	普	14 44	
29	深鉢	胴部	— — —	平行沈線、隆帯	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	普	326	
30	深鉢	口縁	— — —	斜位の平行沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	普	一括	
31	深鉢	胴部	— — —	平行沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	普	一括	
32	深鉢	胴部	— — —	隆帯による区画内に平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	淡黄色 2.5Y 8/4	淡黄色 2.5Y 8/4	普	一括	
33	深鉢	胴部	— — —	隆帯による区画内に平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい黄橙色 10YR 6/3	淡黄色 2.5Y 8/4	普	一括	
34	深鉢	胴部	— — —	沈線による円形文	ヨコナデ	黒雲母	浅黄橙色 10YR 8/4	淡黄色 2.5Y 8/4	普	一括	
35	深鉢	胴部	— — —	平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	淡黄色 2.5Y 8/4	淡黄色 2.5Y 8/4	普	一括	同一個体
36	深鉢	胴部	— — —	平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	浅黄橙色 10YR 8/3	淡黄色 2.5Y 8/4	普	一括	
37	深鉢	胴部	— — —	弧状隆帯 縦位平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	浅黄橙色 10YR 8/4	淡黄色 2.5Y 8/4	普		
38	深鉢	胴部	— — —	平行沈線 垂下隆帯	ヨコナデ	白色粒子	黄橙色 10YR 8/6	淡黄色 2.5Y 8/4	普	110	
39	深鉢	口縁	— — —	斜位平行沈線	ヨコナデ	角閃石	明黄褐色 10YR 7/6	黄橙色 10YR 8/6	通常	268	
40	深鉢	胴部	— — —	隆帯、平行沈線	不明	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	289	
41	深鉢	胴部	— — —	刻みのある垂下隆帯と平行沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	褐色 7.5YR 4/3	通常	275	
42	深鉢	胴部	— — —	垂下隆帯と平行沈線 点状刺突	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/8	通常	一括	
43	深鉢	胴部	— — —	縦位の平行沈線と蛇行沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 7/8	通常	150	
44	深鉢	胴部	— — —	ハの字状沈線	ヨコミガキ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	良	230	
45	深鉢	底部	— — —	垂下隆帯 ハの字状の沈線	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/8	黄橙色 7.5YR 7/8	通常	一括	

（単位cm）

第62表　J－19号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
46	深鉢	底部	－ － －	隆帯による逆U字区画内に横位平行沈線 縄文RL	ヨコミガキ	黒雲母 角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	J－19 南	
47	深鉢	胴部	－ － －	垂下隆帯、平行沈線 縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	J－19 南	
48	深鉢	底部	－ － －	縦位平行沈線 縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 7/6	通常	336	
49	深鉢	胴部	－ － －	渦巻き状沈線 縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	褐色 7.5YR 4/3	橙色 5YR 6/6	通常	199	
50	深鉢	胴部	－ － －	縄文L	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/6	通常	267 263	
51	深鉢	胴部	－ － －	縄文LR	ヨコナデ	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	212 218	
52	深鉢	突起	－ － －	ラッパ状の突起 ハの字状の隆帯と沈線	ナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	388	

（単位cm）

(20)　J－20号住居址

住居址　　第126図

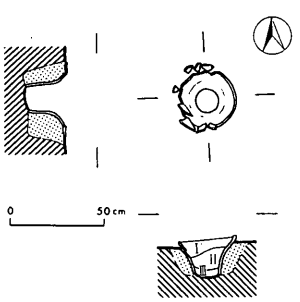
J－20号住居址は、H－13グリッドにおいて検出された。本址は、J－34号住居址と接している。

本址は、長軸3.9m・短軸3.3mの楕円形を呈し、床面積8.8m²を測る。壁の残存高は、50～70cmを測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

ピットは、P_1～P_7が壁際に配されていた。このうちP_6・P_7はフラスコ状に下部の膨れるものであった。ピットの大きさは、P_1が26×18×16cm、P_2が20×16×28cm、P_3が22×16×52cm、P_4が36×30×28cm、P_5が24×16×30cm、P_6が38×36×40cm、P_7が42×34×38cmを測る。

住居覆土は、4層に分層された。I層はローム粒子をほとんど含まない黒色土層（10YR2/1）、II層はロームの小ブロックを含む人為的埋土とみられる褐色土層（10YR4/6）、III層は多量のローム粒子を含む人為的埋土とみられる黒褐色土層（10YR2/3）、IV層はローム粒子をよく含む人為的埋土とみられる黒色土層（10YR2/1）であった。

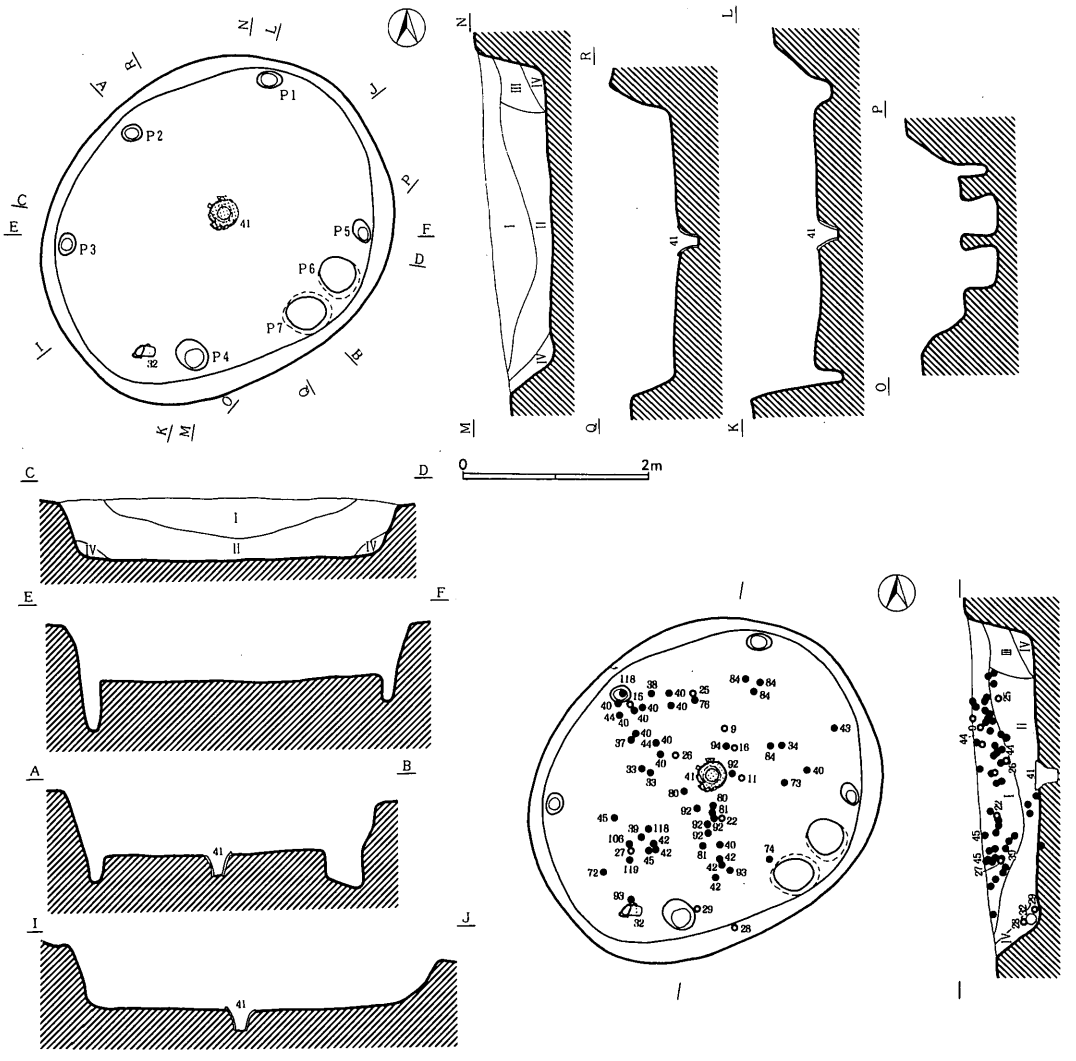
遺物は、32の焼町系の深鉢が床面に転倒した状態で検出された。また、埋甕炉には阿玉台系の底の抜けた深鉢を用いている。その他は、良好な出土状態の遺物はない。



第125図　J－20号住居址炉
（1：40）

炉　　第125図

炉は、住居址のほぼ中央に存在している。阿玉台系の底の抜けた深鉢を用いた埋甕炉で、30×30cm深さ25cmを測る。



第126図　J－20号住居址（1：80）

覆土は3層に分層された。I層は焼土は含まず若干のカーボンを含む暗褐色土層（10YR3/3）、II層は焼土をよく含みローム粒子が混入する赤褐色土層（5YR4/6）である。また、埋甕炉を覆うのはロームの埋土である（黄褐色土層　10YR5/6）。

遺　物　　第127～132図・第63～68表

遺物は、石器では、石鏃（1～6）・石鏃未成品（7）・石錐（8・9）・ピエス・エスキーユ（10～17）・スクレイパー（25～28）・石核（18～24）・打製石斧（29）・石皿（30）・磨石（31）が出土している。

土器は、主に以下のものがみられる。

32・33は、地文に縄文を施し、環状突起を曲隆線とそれに沿う沈線が結ぶ焼町系の深鉢である。41は、口縁部に一部刻みをもつ隆線によって隅丸方形の区画が描かれ、胴部には横位の隆線から蛇行する沈線が垂下する阿玉台III式の底の抜けた深鉢である。40はラッパ状の形態を有する無文の深鉢である。

45は穴の開く4単位の波状口縁の浅鉢で赤彩がみられるものである。44は、有節沈線によって平行線と花弁状の文様を描いた浅鉢でやはり赤彩がある。また、39は勝坂系の深鉢の把手である。42の土器の底部には木葉痕がみられる。

また、123は棒状の土製品である。

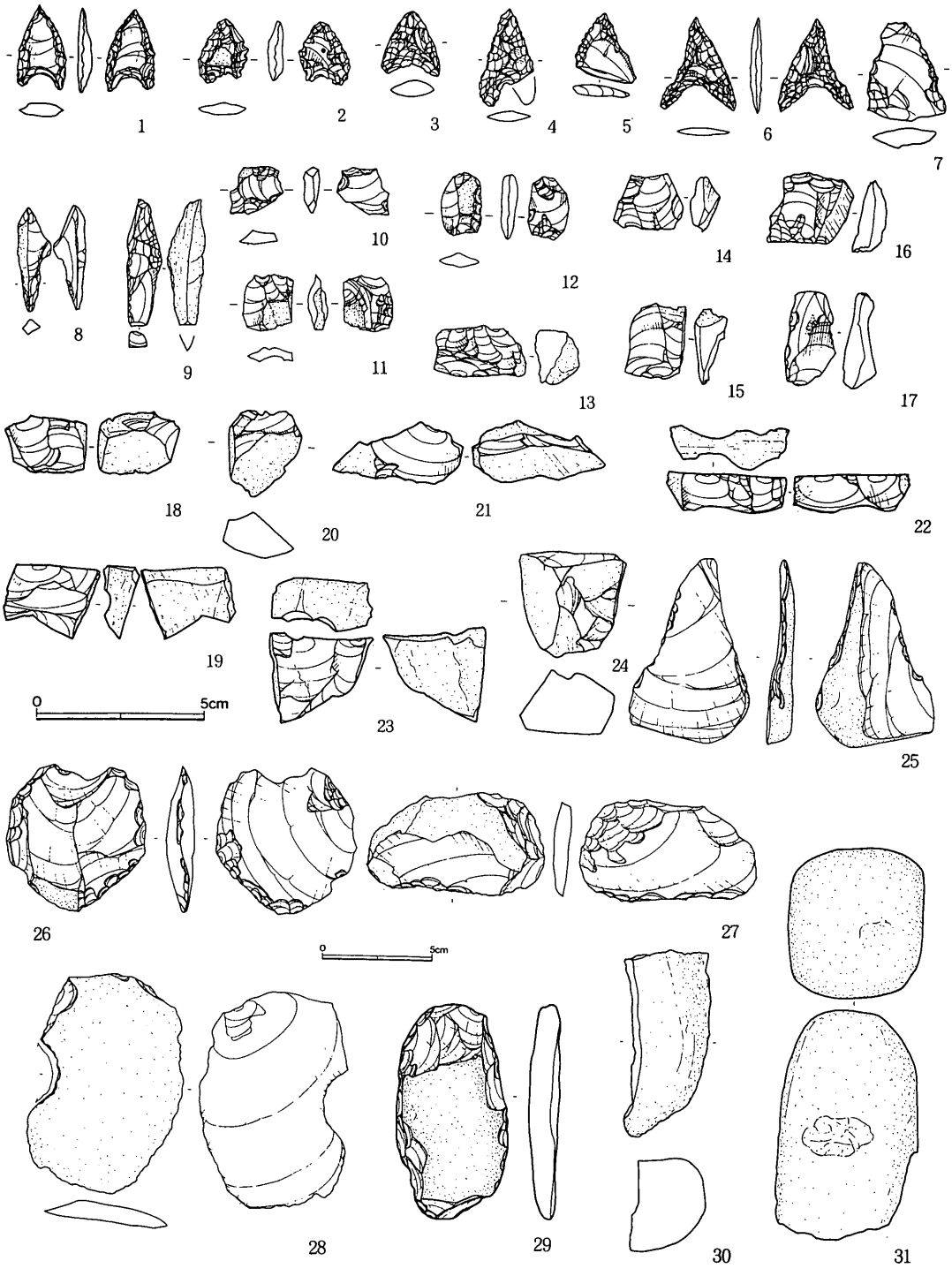
時　期

本住居址は、33の焼町系の深鉢などより、縄文時代中期中葉（川原田遺跡第8期）に位置付けられよう。

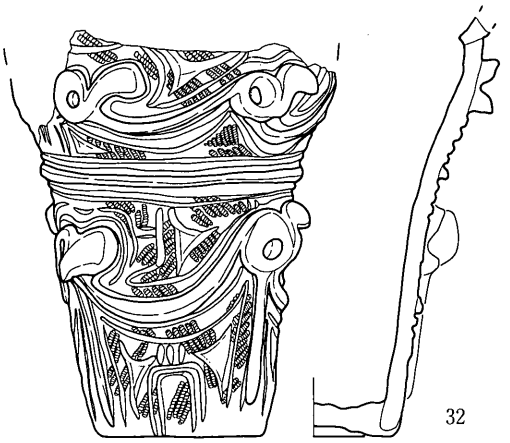
第63表　J－20号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

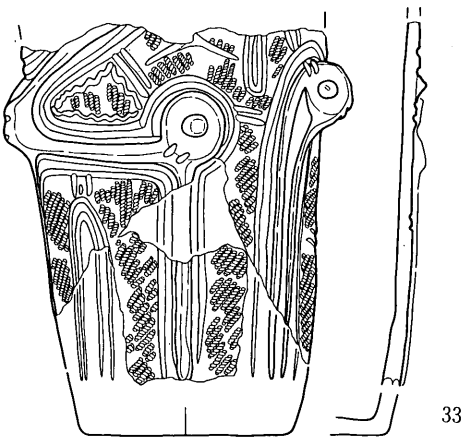
挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	ガラス質黒色安山岩	25	15	4	1.4	
2	石鏃	黒曜石	19	15	5	－	
3	石鏃	黒曜石	19	17	5	1.3	
4	石鏃	黒曜石	29	16	4	1.0	欠損
5	石鏃	黒曜石	21	18	4	0.9	
6	石鏃	黒曜石	28	22	3	0.8	あるいは石匙？
7	石鏃未成品	黒曜石	29	23	8	4.8	
8	石錐	黒曜石	31	10	8	1.7	
9	石錐	黒曜石	37	10	5	3.0	先端欠損
10	ピエス・エスキーユ	黒曜石	14	16	5	1.0	
11	ピエス・エスキーユ	黒曜石	17	15	6	1.0	
12	ピエス・エスキーユ	黒曜石	19	12	5	0.9	
13	ピエス・エスキーユ	黒曜石	15	28	13	6.0	
14	ピエス・エスキーユ	黒曜石	22	18	10	2.5	
15	ピエス・エスキーユ	黒曜石	22	18	10	2.8	
16	ピエス・エスキーユ	黒曜石	21	26	10	4.2	
17	ピエス・エスキーユ	黒曜石	28	16	10	2.7	
18	石核	黒曜石	17	24	9	3.9	
19	石核	黒曜石	22	28	11	5.3	
20	石核	黒曜石	25	22	14	5.7	
21	石核	黒曜石	19	39	12	6.6	
22	石核	黒曜石	12	36	13	4.2	
23	石核	黒曜石	27	31	16	10.8	
24	石核	黒曜石	32	32	18	20.4	
25	スクレイパー	頁岩I	83	55	12	32.3	
26	スクレイパー	頁岩II	66	63	13	41.8	
27	スクレイパー	安山岩	46	80	9	36.3	
28	スクレイパー	安山岩	99	70	10	72.6	
29	打製石斧	頁岩II	97	51	14	76.3	
30	石皿	安山岩	113	53	70	460.0	断片
31	磨石	安山岩	104	64	68	492.0	欠損

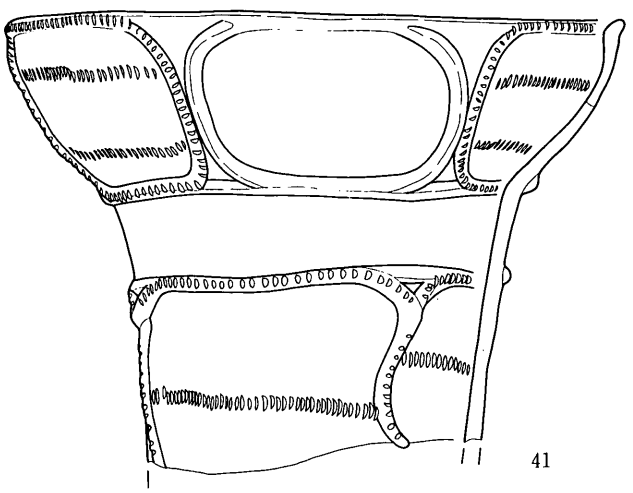
（単位mm, g）

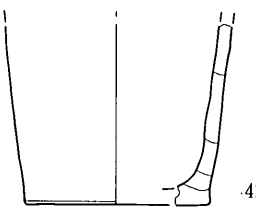


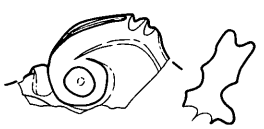
第127図　J－20号住居址出土石器（1～24＝1：2，25～31＝1：3）

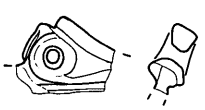


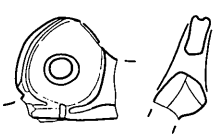


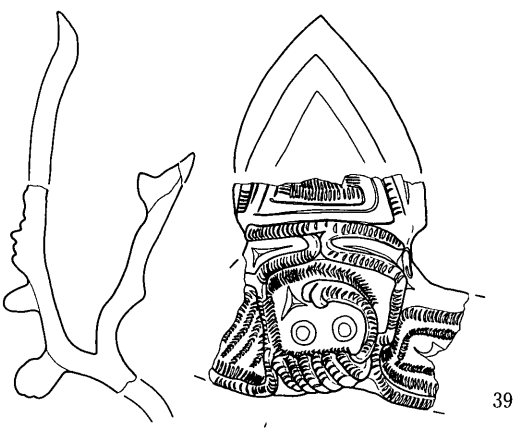




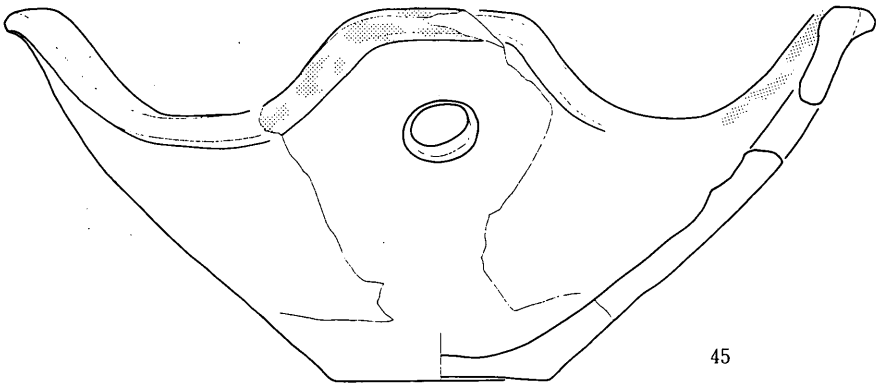


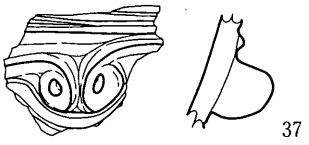


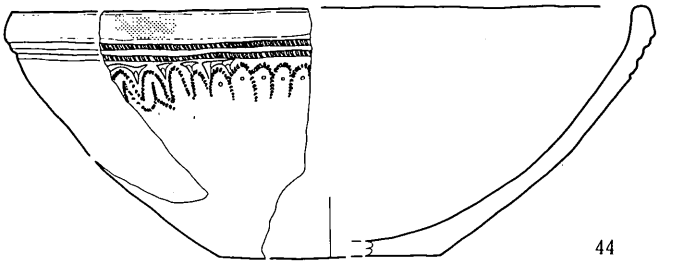


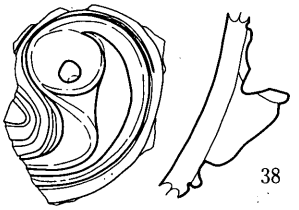


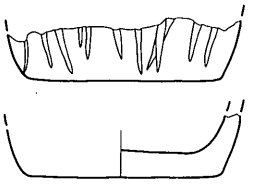
第128図　J－20号住居址出土土器（1：4）

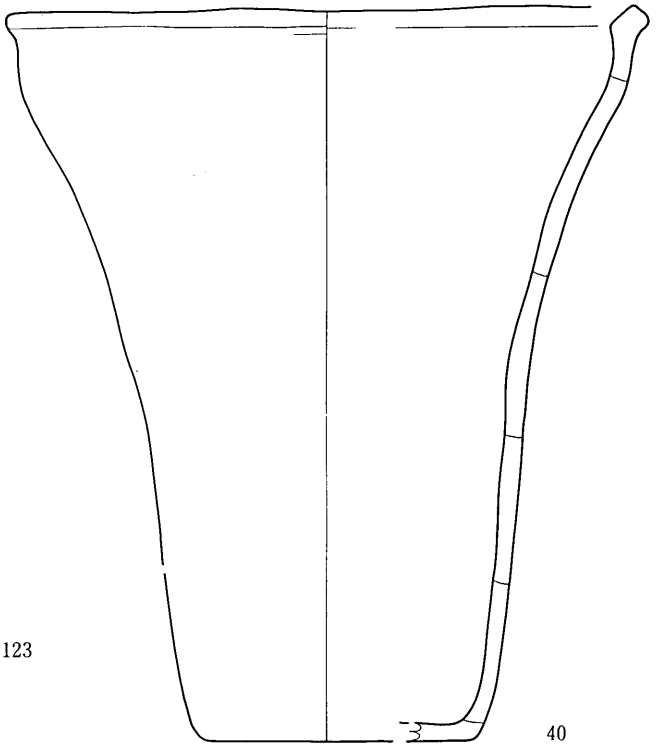


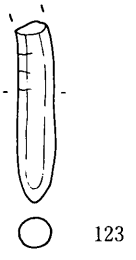




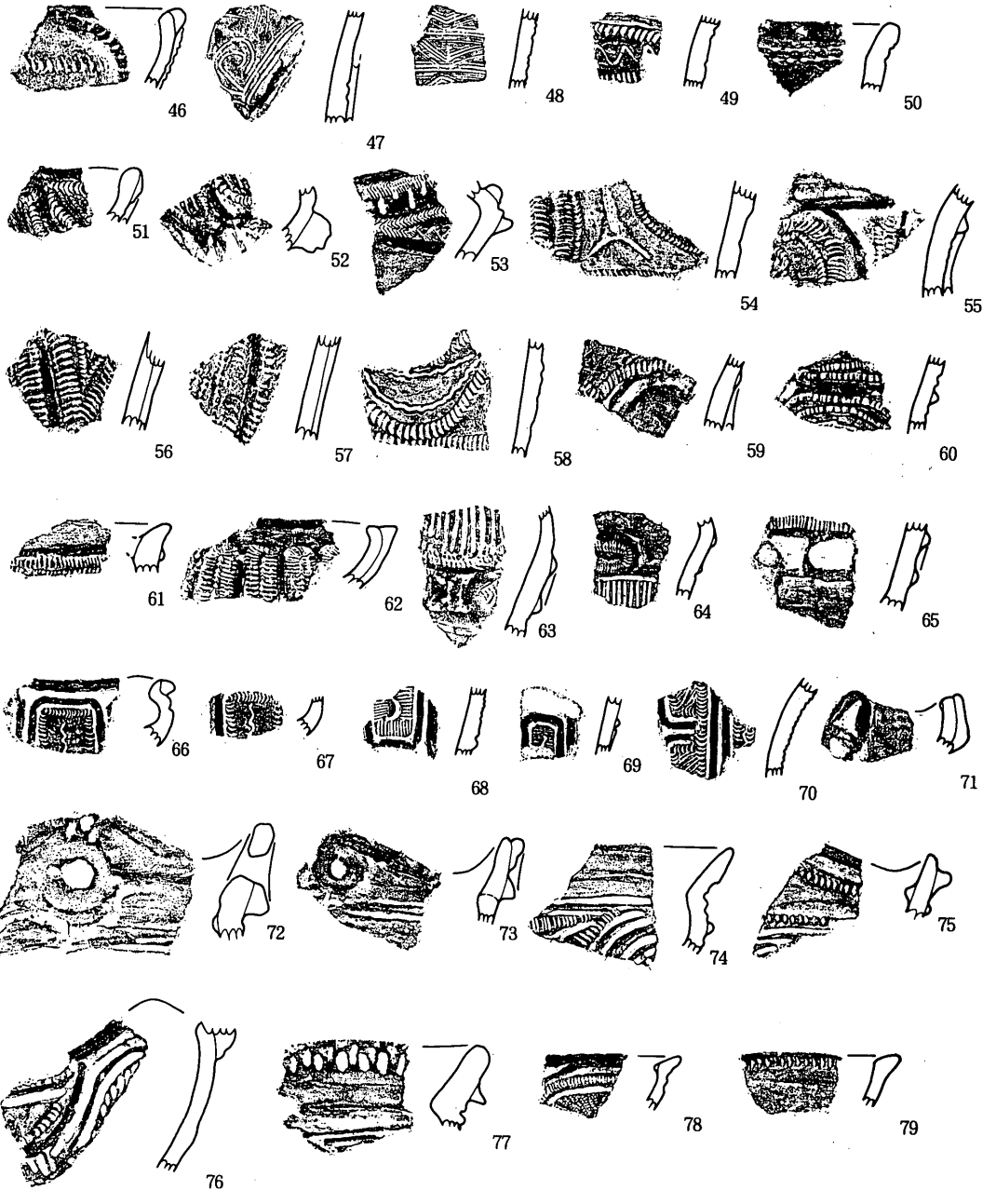




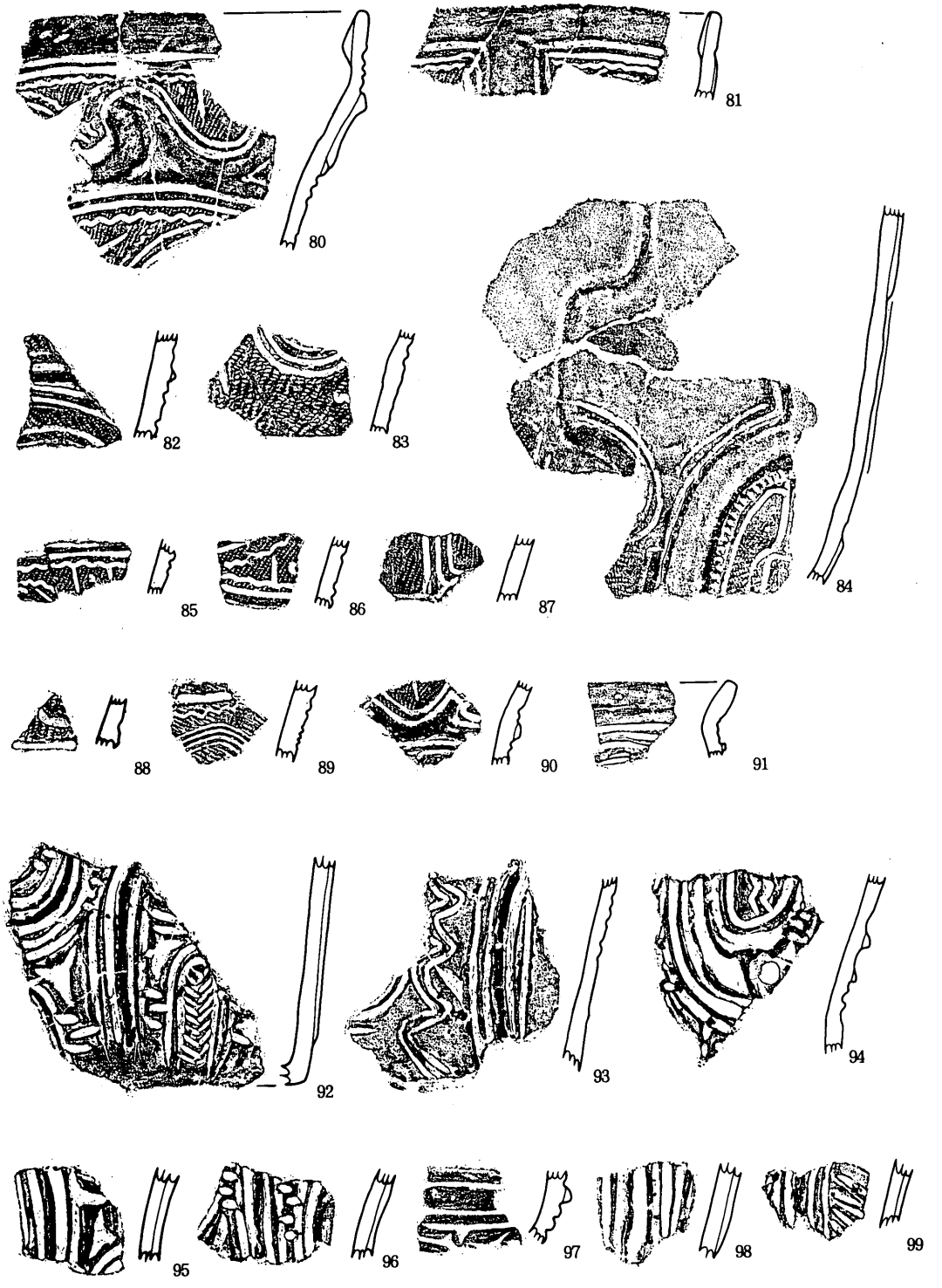




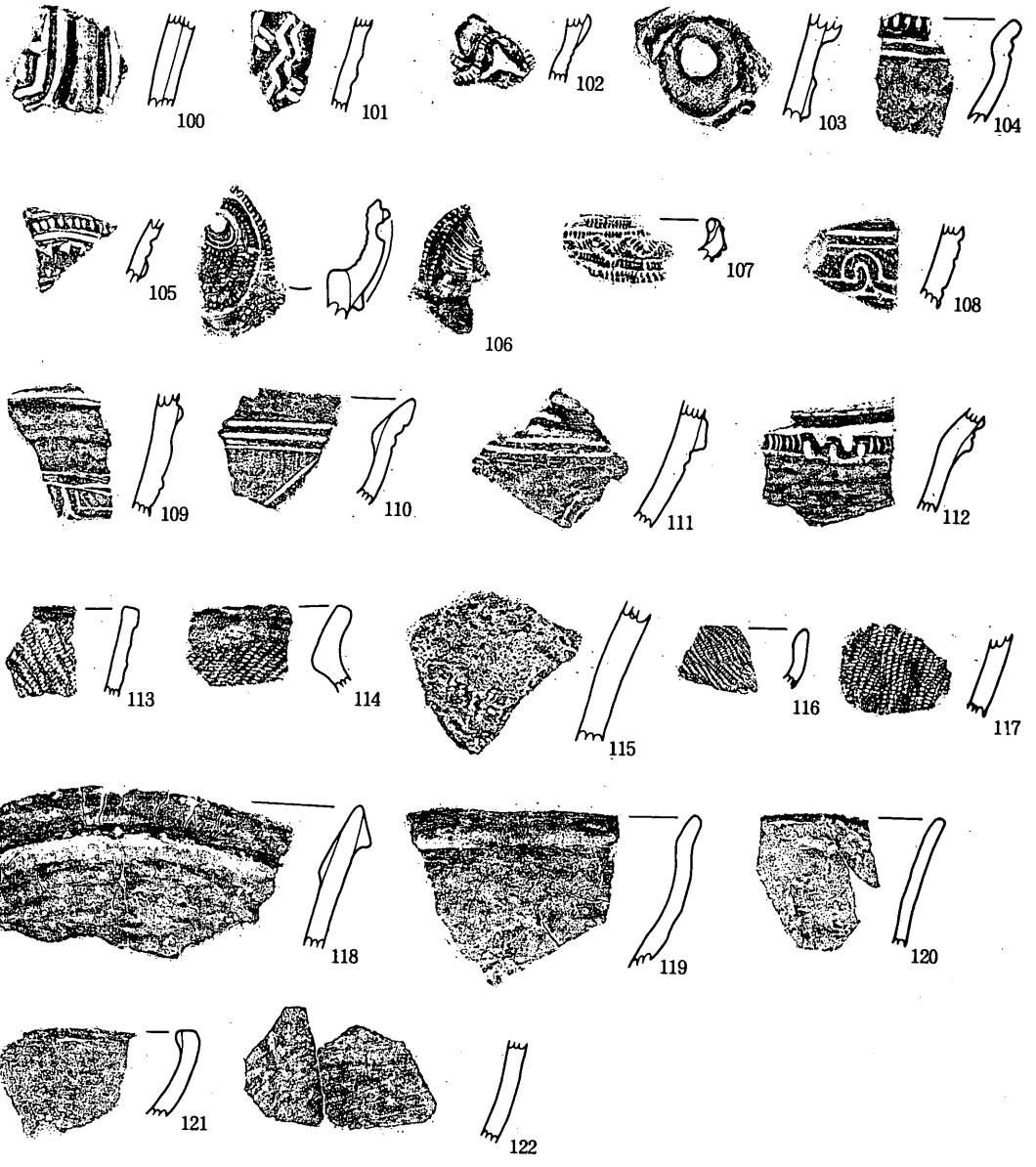
第129図　J－20号住居址出土遺物
（123＝1:3，他＝1:4）



第130図　J－20号住居址出土土器（1：4）



第131図　J－20号住居址出土土器（1：4）



第132図　J－20号住居址出土土器（1：4）

第64表　J－20号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
32	深鉢	口縁～底部	－ － 8.5	地文縄文ＬＲ 環状突起、芽状突起 曲隆線、沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	赤褐色 2.5YR 4/6	やや不良	1049	
33	深鉢	胴部	－ － －	地文縄文ＬＲ 環状突起、曲隆線	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	978	
34	深鉢	突起	－ － －	渦巻き状突起	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	787	

（単位cm）

第65表　J－20号住居址出土遺物一覧表 ＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
35	深鉢	突起	－ － －	環状突起	ナデ	黒雲母	橙色 7.5YR 7/6	橙色 7.5YR 7/6	やや不良	一括	
36	深鉢	突起	－ － －	環状突起	ナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	I区 I層下部	
37	深鉢	突起	－ － －	眼鏡状突起	ヨコナデ	白色粒子多量	橙色 5YR 7/6	にぶい黄橙色 10YR 6/3	やや不良	842	同一個体
38	深鉢	胴部	－ － －	環状突起 曲隆線	ヨコナデ	白色粒子多量	橙色 5YR 7/6	にぶい黄橙色 10YR 6/3	やや不良		
39	深鉢	把手	－ － －	半截竹管の連続刺突を施した隆線。円形刺突	ミガキ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	945	
40	深鉢	口縁～底部	33.2 38.0 14.4	無文 ラッパ状の器形	ヨコナデ	黒雲母多量	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	616 634	内面炭化物附着
41	深鉢	口縁～胴部	32.0 － －	口縁には、刻みのある隆線などで楕円区画付す 半截竹管の連続刺突	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/3	通常	炉胎土器	阿玉台式
42	深鉢	胴部～底部	－ － 9.8	無文	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/4	橙色 2.5YR 6/6	通常	218 388	
43	深鉢	底部	－ － 10.0	縦位沈線 底部に木葉痕	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1021	
44	浅鉢	口縁～底部	(33.2) (13.2) (11.2)	ペン先状工具による結節沈線で、平行線と花びら状の文様を描く	丁寧なミガキ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	良好	617 933	外面口唇に赤彩が残る
45	浅鉢	口縁～底部	(44.0) 18.5 15.6	ハの字状の4単位の口縁に円形の透かしがある	丁寧なヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	125	口縁内外面に赤彩が残る
46	深鉢	口縁	－ － －	隆帯 爪形状の連続刺突文	ヨコミガキ	黒雲母多量	灰褐色 5YR 4/2	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	988	
47	深鉢	胴部	－ － －	渦巻き状沈線 隆帯	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/2	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	884	
48	深鉢	胴部	－ － －	平行沈線による三角形の文様	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	通常	394	
49	深鉢	胴部	－ － －	蛇行沈線 爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	黒褐色 7.5YR 3/1	橙色 7.5YR 6/6	通常	370	
50	深鉢	口縁	－ － －	連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	III区 I層	
51	深鉢	口縁	－ － －	隆帯とそれに沿うペン先状の連続刺突文	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/4	黒色 7.5YR 7/1	良	409	同一個体
52	深鉢	口辺	－ － －	隆帯とそれに沿うペン先状の連続刺突文	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 6/4	黒褐色 7.5YR 3/1	良	I区 I層	
53	深鉢	口辺	－ － －	隆帯 爪形状の連続刺突文	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	1012	
54	深鉢	胴部	－ － －	爪形状の連続刺突文 三叉文	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	通常	炉	
55	深鉢	口縁	－ － －	隆帯 爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	炉	
56	深鉢	胴部	－ － －	隆帯 爪形状の連続刺突文	ヨコミガキ	角閃石	橙色 5YR 6/8	にぶい橙色 5YR 7/4	通常	1043	
57	深鉢	胴部	－ － －	隆帯 爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	黒褐色 5YR 3/1	にぶい赤褐色 5YR 5/3	通常	78	
58	深鉢	胴部	－ － －	爪形状の連続刺突文 細かく蛇行する沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	にぶい赤褐色 5YR 4/4	通常	403	
59	深鉢	胴部	－ － －	隆帯 爪形状の連続刺突文	ヨコミガキ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/4	暗赤褐色 5YR 3/6	通常	1005	

（単位cm）

第66表　J－20号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
60	深鉢	胴部	— — —	隆帯 結節沈線	ヨコミガキ	角閃石	黒褐色 5YR 3/1	黒褐色 5YR 2/1	通常	Ⅰ区 Ⅱ層	
61	深鉢	口縁	— — —	爪形状の連続刺突文	ヨコミガキ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/2	暗赤褐色 5YR 3/4	通常	Ⅱ区 Ⅱ層	
62	深鉢	口縁	— — —	隆帯による方形区画内をキャタピラ文が埋める	ヨコミガキ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	通常	997	
63	深鉢	胴部	— — —	平行沈線、隆帯 爪形状連続刺突文	ヨコミガキ	角閃石	黒褐色 5YR 3/1	黒褐色 5YR 2/1	通常	Ⅲ区 Ⅰ層	
64	深鉢	胴部	— — —	隆帯による楕円区画内にキャタピラ文が沿う	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	黒色 10YR 2/1	通常	Ⅱ区 Ⅰ層	
65	深鉢	胴部	— — —	隆帯による楕円区画 爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 6/3	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	424	
66	深鉢	口縁	— — —	隆帯による楕円区画内に爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	灰褐色 7.5YR 5/2	灰褐色 7.5YR 5/2	通常	993	
67	深鉢	胴部	— — —	隆帯による楕円区画内に爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい黄橙色 10YR 7/2	通常	Ⅰ区 Ⅱ層	
68	深鉢	胴部	— — —	沈線による楕円区画内に連続刺突文、三月状沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	Ⅰ区 Ⅰ層	
69	深鉢	口縁	— — —	沈線による楕円区画内に連続刺突文、三月状沈線	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	灰褐色 5YR 5/2	通常	661	
70	深鉢	胴部	— — —	平行沈線 爪形状の連続刺突文	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/3	明褐灰色 7.5YR 7/2	良好	Ⅱ区 Ⅰ層	
71	深鉢	口縁	— — —	8の字状の突起	ヨコミガキ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	表面	
72	深鉢	口縁	— — —	刻みのある環状突起	ヨコミガキ	黒雲母多量	赤褐色 2.5YR 4/6	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	141	
73	深鉢	口縁	— — —	渦巻き状突起	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 5/4	橙色 7.5YR 6/6	通常	927	
74	深鉢	口縁	— — —	曲隆帯、沈線 爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	45	
75	深鉢	口縁	— — —	刻みのある隆帯 平行沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	灰褐色 5YR 6/2	通常	851	
76	深鉢	口縁	— — —	曲隆帯 爪形状の連続刺突文	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	赤褐色 2.5YR 4/6	良好	179	
77	深鉢	口縁	— — —	口縁は交互に刻みを入れ蛇行行状の効果を出す	ヨコミガキ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	良好	Ⅳ区 Ⅰ層	
78	深鉢	口縁	— — —	爪形状の連続刺突 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	Ⅳ区 Ⅱ層	
79	深鉢	口縁	— — —	口縁に連続した刻みを入れる	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	988	
80	深鉢	口縁	— — —	波状の隆帯、それに沿う2条の沈線、縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	暗赤褐色 5YR 3/4	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	991 1046	
81	深鉢	口縁	— — —	沈線による方形の区画	ヨコナデ	黒雲母多量	暗赤褐色 5YR 3/2	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	992 998	
82	深鉢	胴部	— — —	隆帯、沈線 縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	褐灰色 5YR 4/1	通常	39	
83	深鉢	胴部	— — —	弧を描く沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	通常	216 80	
84	深鉢	胴部	— — —	カギ状に曲がる隆帯 爪形状の刺突、縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	759 865 889	

（単位cm）

第67表　J－20号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
85	深鉢	胴部	— — —	蛇行沈線、円形刺突 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	暗赤褐色 5YR 3/2	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	Ⅲ区 Ⅱ層	
86	深鉢	胴部	— — —	蛇行沈線、円形刺突 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	暗赤褐色 5YR 3/3	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	Ⅲ区 Ⅱ層	
87	深鉢	胴部	— — —	３条の沈線 縄文ＲＬ	不明	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	154	
88	深鉢	胴部	— — —	縄文ＬＲ、沈線	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	灰褐色 5YR 5/2	通常	Ⅲ区 １層 下面	
89	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母 白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/3	黒褐色 5YR 2/1	通常	Ⅲ区 Ⅱ層	
90	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ 隆帯、沈線	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	Ⅱ区 １層	
91	深鉢	口縁	— — —	隆帯、沈線	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 7.5YR 2/2	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	205	
92	深鉢	底部	— — —	曲隆帯、沈線による逆Ｕ字区画内にハの字状沈線 三叉文の沈刻	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	990 526 574	
93	深鉢	胴部	— — —	隆帯、２条の蛇行沈線	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	549 85	
94	深鉢	胴部	— — —	環状突起から隆帯が派生、それに沿う沈線	ヨコミガキ	黒雲母 角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/3	黒褐色 5YR 2/1	良好	35	
95	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯、沈線 三叉文の沈刻	ヨコナデ	角閃石	黒褐色 5YR 3/1	黒褐色 5YR 2/1	通常	Ⅳ区 １区	
96	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯、沈線	ヨコミガキ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	良好	977	
97	深鉢	胴部	— — —	隆帯、沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 7/4	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	232	
98	深鉢	胴部	— — —	隆帯、沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	通常	Ⅳ区 １層	
99	深鉢	胴部	— — —	隆帯、沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	87	
100	深鉢	胴部	— — —	隆帯、沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	619	
101	深鉢	胴部	— — —	蛇行沈線	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	Ⅳ区 １層	
102	深鉢	胴部	— — —	突起、キャタピラ文 三叉文の沈刻	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	赤褐色 2.5YR 4/8	通常	Ⅲ区 Ⅱ層	
103	深鉢	胴部	— — —	環状突起	ヨコミガキ	黒雲母多量	にぶい褐色 7.5YR 5/3	にぶい黄橙色 10YR 6/3	通常	959	
104	深鉢	口縁	— — —	口辺に刻み ２条の横位平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい黄橙色 10YR 6/4	褐色 7.5YR 4/3	通常	一括	
105	深鉢	胴部	— — —	隆帯状に連続刺突文 三角形の刺突文	ヨコミガキ	角閃石	にぶい黄褐色 10YR 5/3	灰黄褐色 10YR 4/2	通常	１区 Ⅱ層	
106	深鉢	口縁	— — —	突起上に細かな連続刺突	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	688	
107	深鉢	口縁	— — —	細い隆帯の両脇に爪形状の連続刺突を施す	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	１区 １層	
108	深鉢	胴部	— — —	沈線による渦巻き状のモチーフ	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい黄橙色 10YR 7/4	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅳ区 １層	
109	深鉢	胴部	— — —	隆帯、沈線	ヨコナデ	白色粒子	灰色 7.5YR 6/1	灰黄褐色 10YR 6/2	軟弱	986	

（単位cm）

第68表　J－20号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
110	深鉢	口縁	－ － －	横位・斜位沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい黄橙色 10YR 7/3	にぶい黄橙色 10YR 7/2	軟弱	500	
111	深鉢	胴部	－ － －	隆線および沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 7/4	にぶい黄橙色 10YR 7/3	軟弱	1036	
112	深鉢	胴部	－ － －	爪形状の刻みと押圧によって蛇行状の効果をもたせた横位隆帯	ヨコミガキ	白色粒子	黒褐色 10YR 3/1	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	表面	
113	深鉢	口縁	－ － －	縄文ＲＬ	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/3	褐灰色 5YR 4/1	良好	404	
114	深鉢	口縁	－ － －	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい褐色 7.5YR 5/3	にぶい赤褐色 5YR 5/3	通常	Ⅲ区 Ⅰ層	
115	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/8	通常	表面	
116	深鉢	口縁	－ － －	小形、縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 5/3	黒褐色 7.5YR 3/1	通常	111	
117	土製円盤	－	6.0 × 5.0	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/6	灰黄褐色 10YR 5/2	通常	935	
118	浅鉢	口縁	－ － －	折り返し口縁 内外面赤色塗彩	ヨコミガキ	角閃石	暗赤褐色 2.5YR 3/3	灰褐色 5YR 4/2	良好	201 995	
119	鉢	口縁	－ － －	無文	ヨコミガキ	黒雲母多量	黒褐色 10YR 2/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	567	
120	鉢	口縁	－ － －	無文	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	通常	771 943	
121	鉢	口縁	－ － －	無文	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい黄橙色 10YR 6/3	にぶい黄橙色 10YR 6/3	通常	981	
122	浅鉢	胴部	－ － －	無文	ヨコミガキ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/8	良好	615 638	

（単位cm）

(21)　J－21号住居址

住居址　　第133図

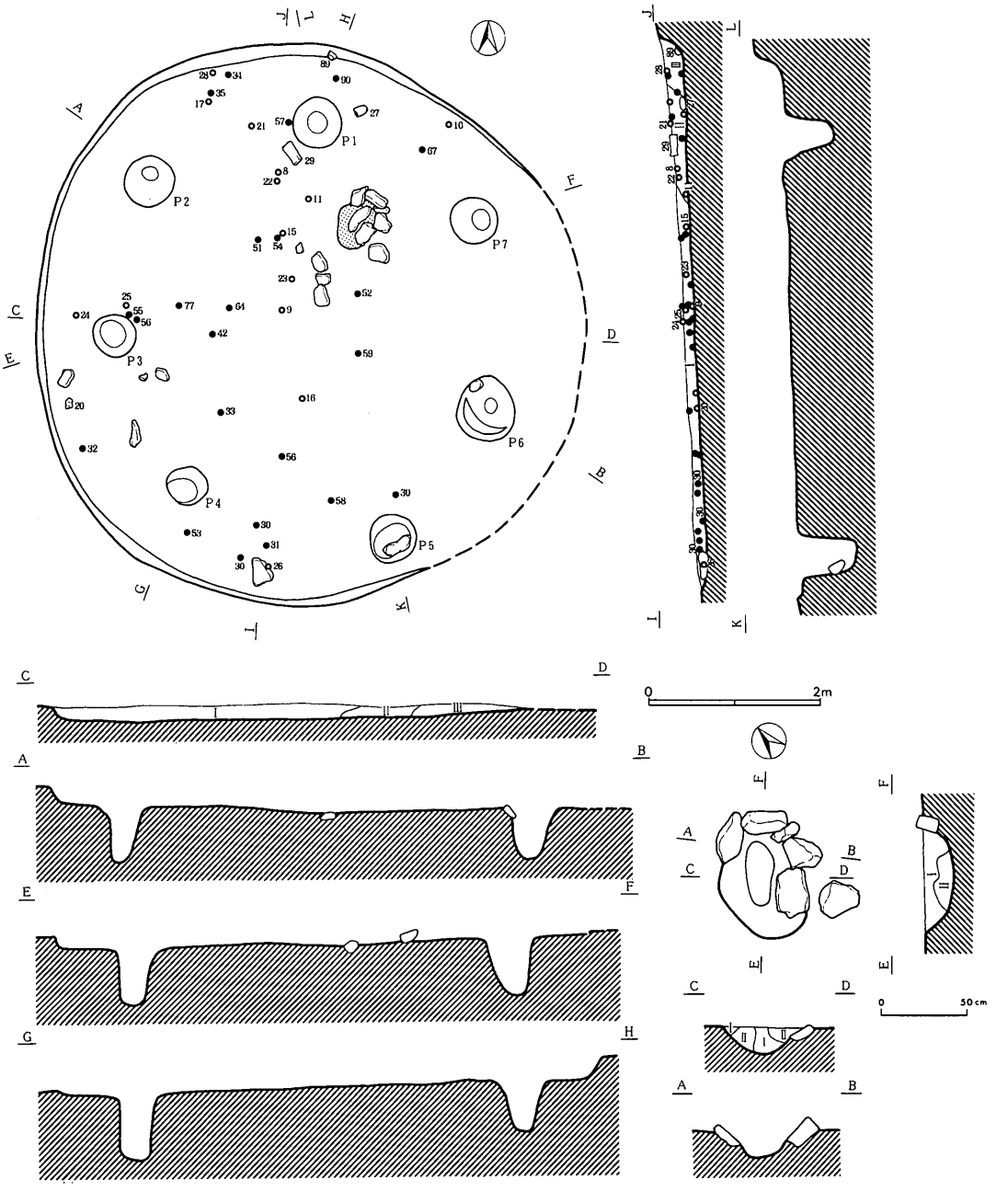
J－21号住居址は、J－11グリッドにおいて検出され、J－33号住居址と重複する。

本址は、南北6.5m・東西6.5mの円形大形住居で、床面積31.3m²を測る。壁の残存高は、15cm程度である。壁溝は認められない。その東側部分は削平を受けている。

ピットは、壁に沿って7個が検出され、柱穴と考えられる。ピットの大きさは、P_1が58×56×56cm、P_2が58×58×60cm、P_3が50×48×64cm、P_4が48×44×70cm、P_5が56×52×62cm、P_6が74×68×56cm、P_7が56×54×64cmを測る。

住居覆土は3層に分層された。Ⅰ層はローム粒子をよく含む暗褐色土層(10YR3/4)、Ⅱ層はローム粒子をブロック状に含む褐色土層（10YR4/6)、Ⅲ層は多量のローム粒子を含む黄褐色土層（10YR5/6）であった。

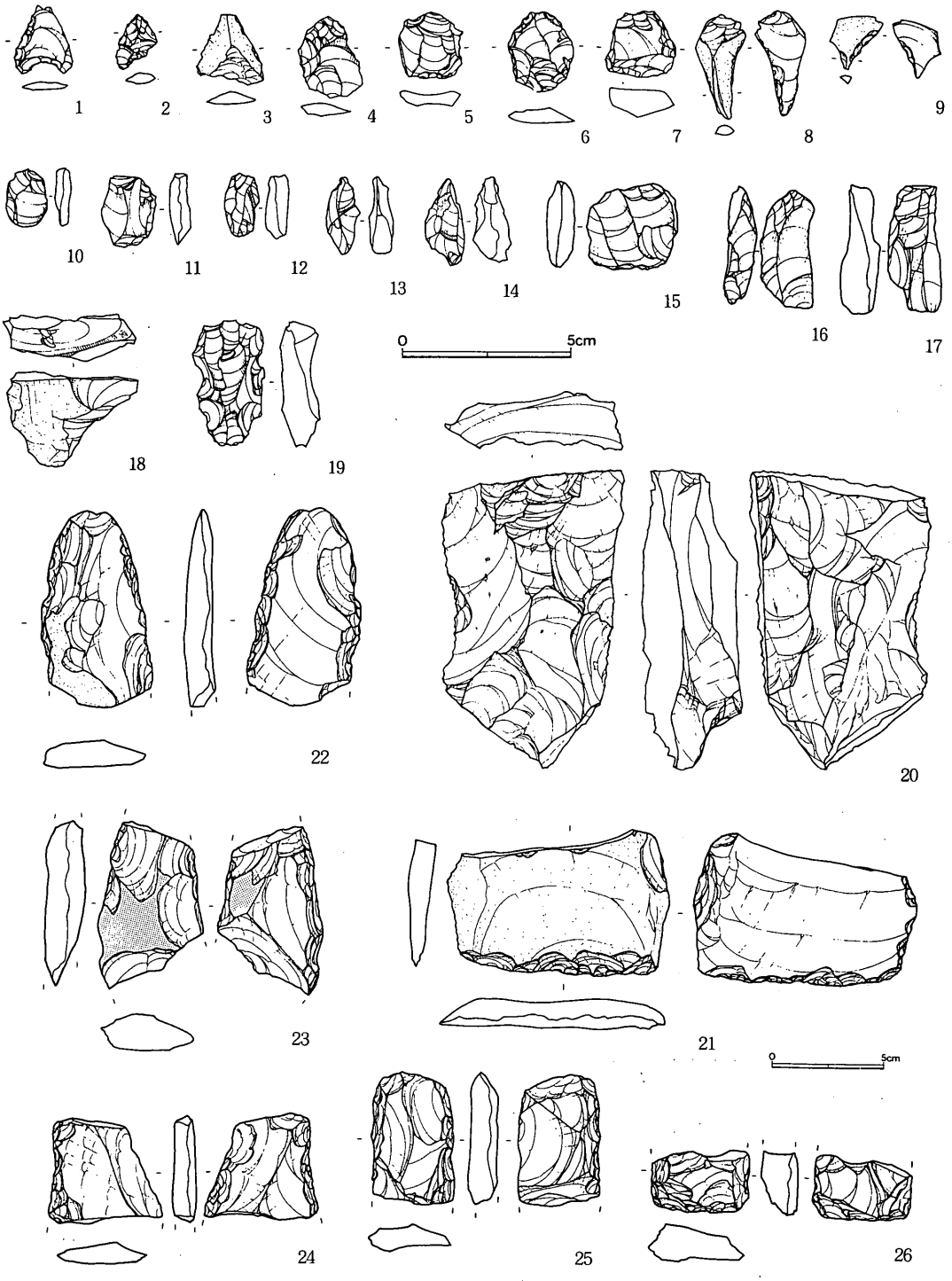
遺物は、先端の欠けた29の石棒がP_1の脇、床面よりやや浮いた状態で検出された。



第133図　J－21号住居址（住居＝Ⅰ：80，炉＝Ⅰ：40）

炉　　第133図

炉は、住居址の東南よりに存在する。一部を破壊されるが、安山岩礫による石囲い炉で、残存部は80×50×15cmを測る。また本炉の南西に礫数点がみられるが、これは本炉址の前段階の炉の残骸とみられ、焼土等もその下から検出された。



第134図　J－21号住居址出土石器（1～19＝1：2，20～26＝1：3）

覆土は2層に分層された。I層は焼土・カーボンをまったく含まない褐色土層（10YR4/4）、II層はロームのブロック状堆積で焼土・カーボンをまったく含まない黄褐色土層（10YR5/6）である。

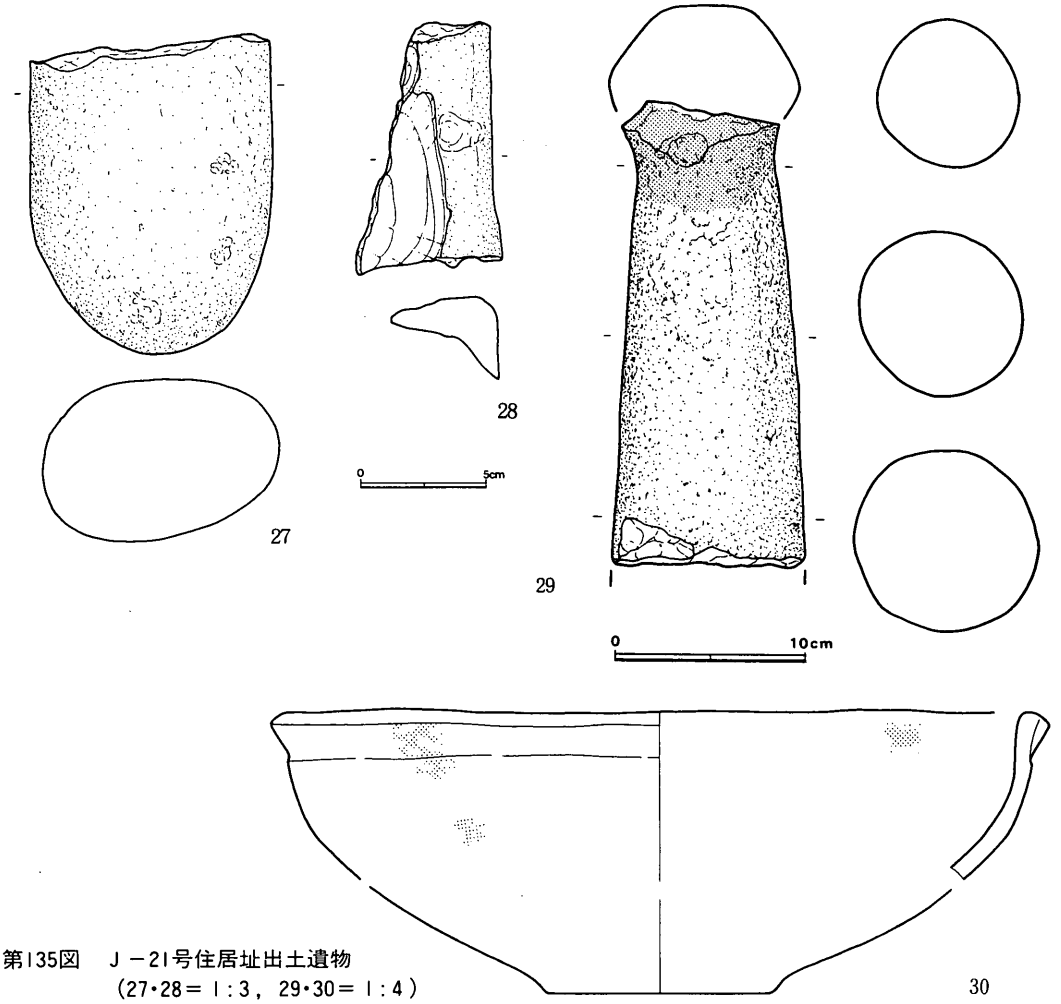
遺　物　　第134～137図・第69～72表

遺物は、石器では、石鏃（1・2）・石鏃未成品（3～5）・石錐（8・9）・ピエス・エスキーユ（10～17）・スクレイパー（6・7）・石核（18～20）・打製石斧（22～26）・磨石（27・28）が出土している。その他、先端が欠け、焼けこげのある安山岩の石棒29が出土している。

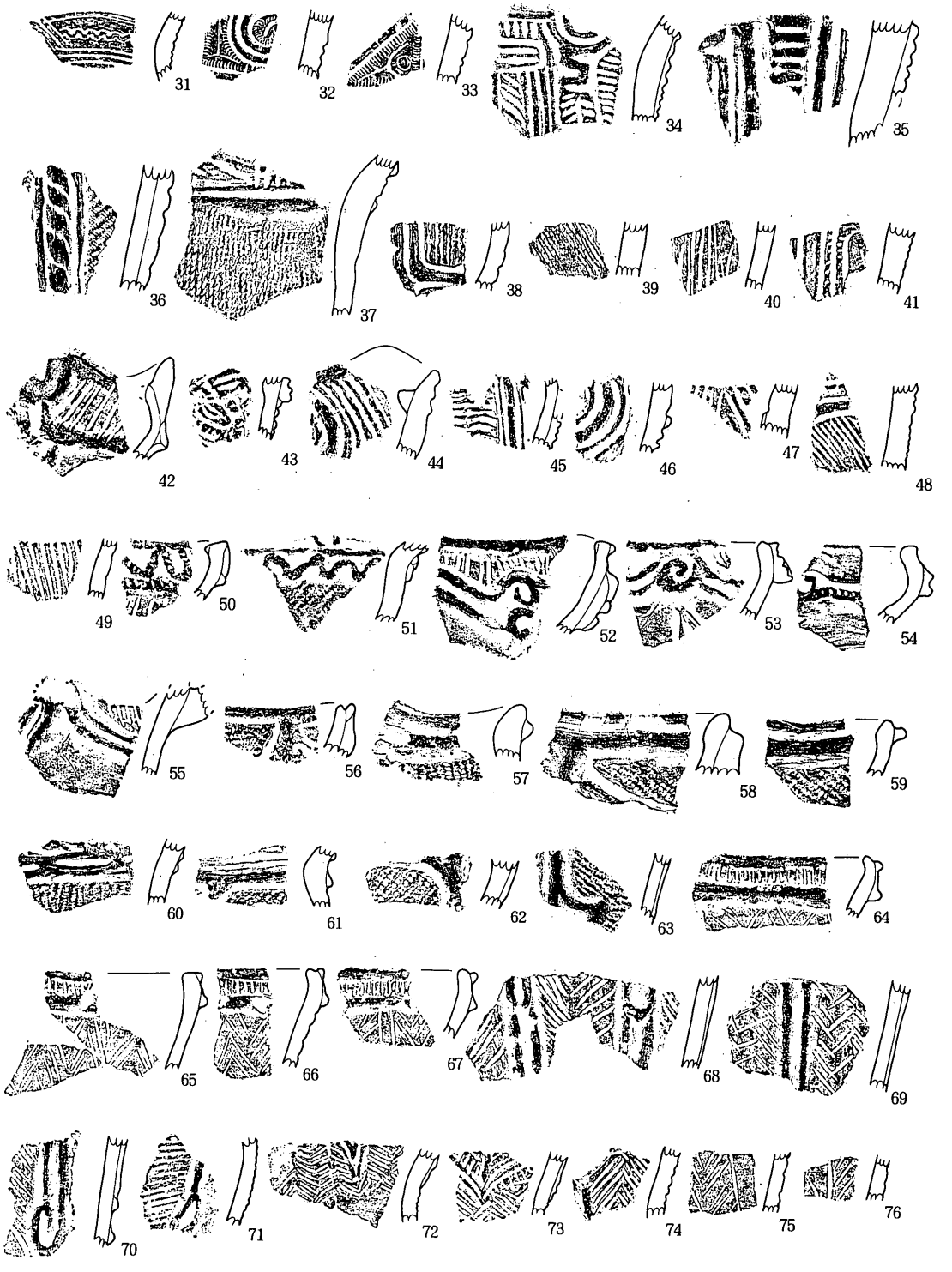
土器は加曽利E系・曽利系の破片が出土している。21は無文の浅鉢で、比較的残りのよいものである。

時　期

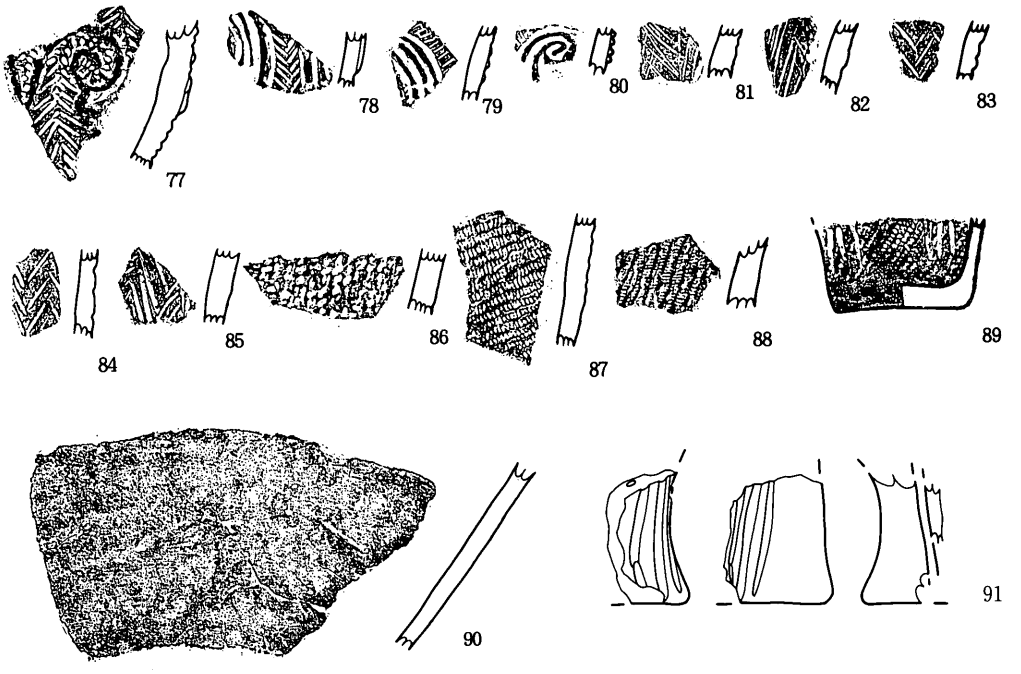
本住居址は、縄文時代中期後葉（川原田遺跡第13期）に位置付けられよう。



第135図　J－21号住居址出土遺物
（27・28＝1：3，29・30＝1：4）



第136図　J－21号住居址出土土器（1：4）



第137図　J－21号住居址出土遺物（1：40，91＝1：2）

第69表　J－21号住居址出土遺物一覧表　＜石器・土偶＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考	挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	チャート	20	17	3	1.0		16	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	34	16	10	4.9	
2	石鏃	黒曜石	16	12	4	0.4	欠損	17	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	37	16	12	6.4	
3	石鏃未成品	黒曜石	20	20	4	1.2		18	石核	黒曜石	27	39	14	10.5	
4	石鏃未成品	黒曜石	24	19	5	2.0		19	石核	黒曜石	37	21	11	6.8	
5	石鏃未成品	黒曜石	19	19	5	1.7		20	石核	ガラス質黒色安山岩	134	80	47	453.7	
6	スクレイパー	黒曜石	23	19	6	2.2		21	スクレイパー	安山岩	67	100	13	103.9	
7	スクレイパー	黒曜石	19	21	9	3.6		22	打製石斧	凝灰岩	88	55	19	57.3	欠損
8	石錐	黒曜石	30	15	7	1.8		23	打製石斧	頁岩Ⅰ	75	48	18	59.8	欠損
9	石錐	黒曜石	15	16	2	0.3		24	打製石斧	安山岩	47	51	11	29.4	欠損
10	ピエス・エスキーユ	黒曜石	17	12	5	0.8		25	打製石斧	頁岩Ⅰ	59	38	14	30.1	欠損
11	ピエス・エスキーユ	黒曜石	21	16	7	1.9		26	打製石斧	頁岩Ⅰ	28	45	17	21.7	欠損
12	ピエス・エスキーユ	黒曜石	18	10	7	1.1		27	磨石	安山岩	128	97	66	1,277.0	欠損
13	ピエス・エスキーユ	黒曜石	23	10	7	0.9		28	磨石	安山岩	101	59	43	185.0	欠損
14	ピエス・エスキーユ	黒曜石	25	12	11	2.3		29	石棒	安山岩	150	51	90	3,470.0	欠損
15	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	25	27	9	6.4	山本分析No.9八風山産	91	土偶	－	35	24	28	16.9	脚部

（単位mm，g）

第70表　J－21号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
30	浅鉢	口縁	(40.0) — —	無文	丁寧な ヨコミガキ	角閃石	橙色 7.5YR 7/6	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	162	内外面に赤彩がわずか残る
31	深鉢	胴部	— — —	蛇行沈線 平行沈線	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	通常	538	
32	深鉢	胴部	— — —	渦巻き状の沈線 爪形状の連続刺突文	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	281	
33	深鉢	胴部	— — —	円形刺突	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	赤褐色 5YR 4/8	通常	193	
34	深鉢	胴部	— — —	縦位・斜位・横位の沈線	ヨコナデ	角閃石	灰褐色 7.5YR 4/2	浅黄橙色 10YR 8/4	軟質	400	
35	深鉢	胴部	— — —	コイル状の縦位隆帯	ヨコミガキ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	398	
36	深鉢	胴部	— — —	ねじり状隆帯 縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	7	
37	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯、沈線 撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	通常	213	
38	深鉢	胴部	— — —	沈線 撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	509	
39	深鉢	胴部	— — —	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	16	
40	深鉢	胴部	— — —	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/4	橙色 5YR 6/6	通常	35	
41	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコミガキ	角閃石	橙色 5YR 6/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	一括	
42	深鉢	口縁	— — —	円形突起 斜位沈線	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	334	
43	深鉢	口縁	— — —	刻みのある球状の突起	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 4/3	橙色 5YR 6/6	通常	289	
44	深鉢	口縁	— — —	曲隆帯 曲隆線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 7/3	通常	48	
45	深鉢	口辺	— — —	横位に刻みのある隆帯	ヨコナデ	角閃石 黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/6	橙色 5YR 6/6	通常	506	
46	深鉢	口辺	— — —	曲隆帯 曲隆線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	384	
47	深鉢	胴部	— — —	隆帯、沈線	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	172	
48	深鉢	胴部	— — —	斜位沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	388	
49	深鉢	胴部	— — —	縦位沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	410	
50	深鉢	口縁	— — —	刻みのある蛇行・横位隆帯	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	P_3	
51	深鉢	口縁	— — —	横位・蛇行隆帯 縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	29	
52	深鉢	口縁	— — —	８の字状の突起から２状の隆帯が派生	ヨコミガキ	角閃石	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/6	良好	130	
53	深鉢	口縁	— — —	渦巻き状の突起から２状の隆帯が派生	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	187	
54	深鉢	口縁	— — —	結節し、刻みをもつ隆帯	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	良好	503	

（単位cm）

第71表　J－21号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
55	深鉢	口辺	— — —	突起から2条の隆帯が派生	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/6	良好	468	
56	深鉢	口縁	— — —	隆帯、縄文RL	ヨコナデ	角閃石	暗赤褐色 2.5YR 3/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	174	
57	深鉢	口縁	— — —	隆帯、縄文LR	ヨコナデ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/6	にぶい赤褐色 5YR 4/4	通常	513	
58	深鉢	口縁	— — —	隆帯による細長区画の中に縄文RLを施す	ヨコミガキ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/2	赤褐色 5YR 4/8	通常	168	
59	深鉢	口縁	— — —	横位隆帯 縄文RL	ヨコミガキ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/2	橙色 5YR 6/6	通常	240	
60	深鉢	口辺	— — —	縄文LR	ヨコナデ	角閃石	褐色 7.5YR 4/3	橙色 5YR 6/6	通常	508	
61	深鉢	口辺	— — —	隆帯、縄文LR 内外面赤色塗彩	ヨコミガキ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 6/3	黒褐色 10YR 3/1	通常	533	同一個体
62	深鉢	口辺	— — —	隆帯による楕円区画内に縄文LR	ヨコミガキ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	黒褐色 10YR 3/1	通常	529	
63	深鉢	胴部	— — —	縄文LR、隆帯	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	良好	446	
64	深鉢	口縁	— — —	横位隆帯、上部に縦の平行する刻み、下位にハの字状沈線	ヨコミガキ	黒雲母 角閃石	黒褐色 5YR 3/1	にぶい赤褐色 5YR 5/4	良好	25	
65	深鉢	口縁	— — —	横位隆帯、上位に縦の平行する刻み、下位にハの字状沈線	ヨコミガキ	黒雲母 角閃石	暗赤褐色 5YR 3/2	にぶい赤褐色 5YR 5/4	良好	423 84 492	同一個体
66	深鉢	口縁	— — —	横位隆帯、上位に縦の平行する刻み、下位にハの字状沈線	ヨコミガキ	黒雲母 角閃石	黒褐色 5YR 2/2	にぶい赤褐色 5YR 4/3	良好	472	
67	深鉢	口縁	— — —	横位隆帯、上位に縦の平行する刻み、下位にハの字状沈線	ヨコミガキ	黒雲母 角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	良好	434	
68	深鉢	胴部	— — —	結合する2条の縦位隆帯 ハの字状沈線	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	455 242	
69	深鉢	胴部	— — —	2条の縦位隆帯 ハの字状沈線	タテミガキ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	418	同一個体
70	深鉢	胴部	— — —	2条の縦位隆帯 ハの字状沈線	タテミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	475	
71	深鉢	胴部	— — —	斜位沈線 2条の隆帯	ヨヨミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	149	
72	深鉢	胴部	— — —	ハの字状の沈線	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	橙色 5YR 6/6	通常	165 537	
73	深鉢	胴部	— — —	ハの字状の沈線	ヨコミガキ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	536	
74	深鉢	胴部	— — —	ハの字状の沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	515	
75	深鉢	胴部	— — —	ハの字状の沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	569	
76	深鉢	胴部	— — —	ハの字状の沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	通常	524	
77	深鉢	胴部	— — —	渦巻き状隆帯、刺突 ハの字状沈線	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	13	
78	深鉢	胴部	— — —	渦巻き状隆帯 ハの字状沈線	ヨコミガキ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	251	
79	深鉢	胴部	— — —	渦巻き状隆帯 沈線	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/3	橙色 5YR 6/6	通常	447	

（単位cm）

第72表　J－21号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
80	深鉢	胴部	－ － －	渦巻き状隆帯	ヨコミガキ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	347	
81	深鉢	胴部	－ － －	ハの字状沈線	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	414	
82	深鉢	胴部	－ － －	ハの字状沈線	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	111	
83	深鉢	胴部	－ － －	ハの字状沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	570	
84	深鉢	胴部	－ － －	ハの字状沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	炉	
85	深鉢	胴部	－ － －	ハの字状沈線	ヨコミガキ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	80	
86	深鉢	胴部	－ － －	縄文R｛L（R R R R）	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	458	
87	深鉢	胴部	－ － －	縄文LR	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	318	
88	深鉢	胴部	－ － －	縄文LR	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	246	
89	深鉢	底部	－ － 617	3条の沈線 縄文RL	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	良好	518	
90	浅鉢	胴部	－ － －	無文 内面赤色塗彩	ヨコミガキ	角閃石	橙色 7.5YR 6/6	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	517	

（単位cm）

(22)　J－22号住居址

住居址　　第138図

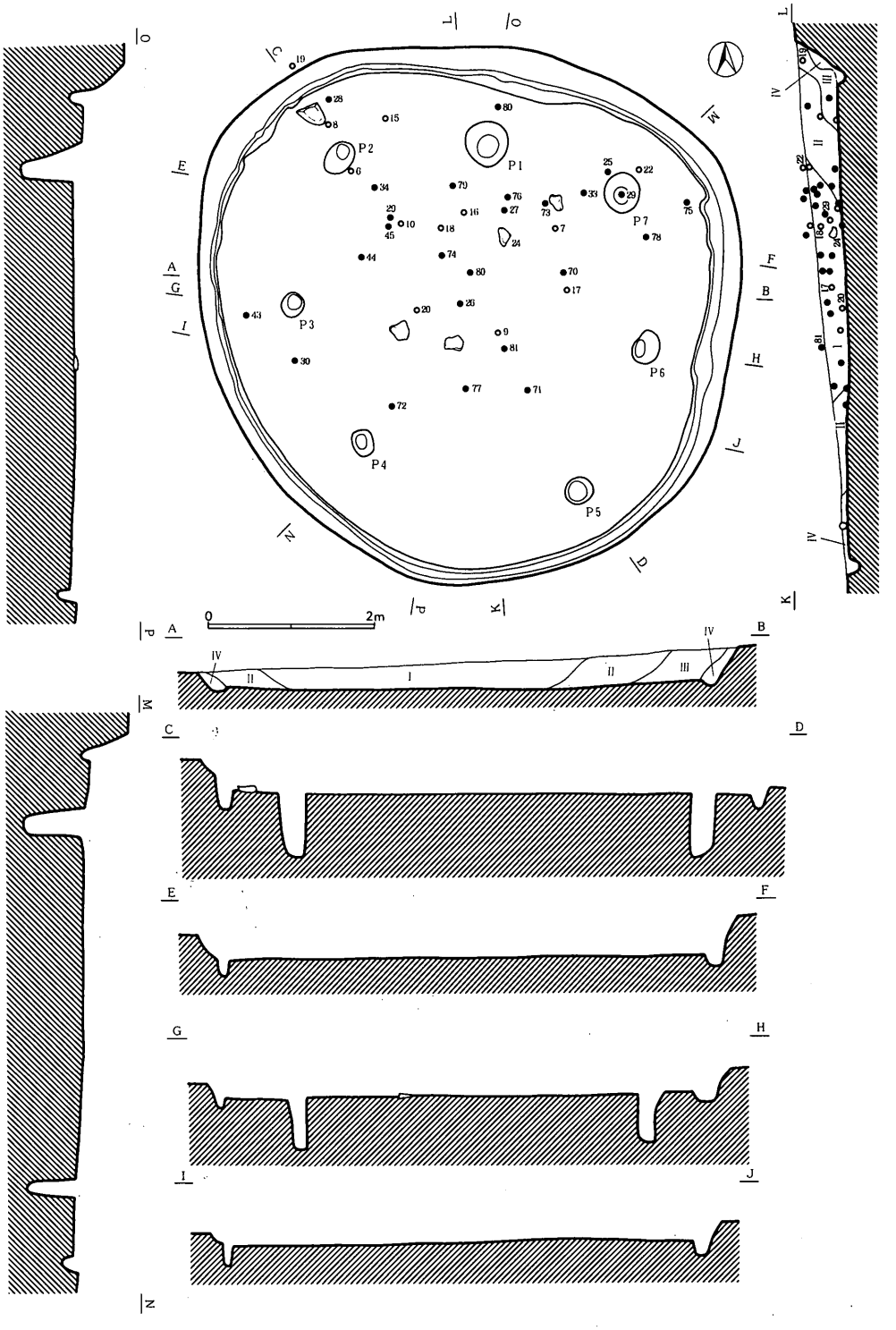
J－22号住居址は、I－14グリッドにおいて検出された。本址の床面の下からはJ－38号住居址が検出された。両者は、そのプランが同心円状に一致することから、J－38→J－22という建替えを想定できるが、異なる住居のプラン上の重複の可能性も否定できないため、一応別の呼称をとった。

本址は、南北6.5m・東西6.4mの円形の大形住居で、床面積27.3m²を測る。壁の残存高は、20～40cmを測る。壁溝は幅15～30cmの振幅をもつ。ピットは、壁を取り巻くように7個の柱穴が検出された。ピットの大きさは、P_1が52×50×60cm、P_2が42×30×74cm、P_3が30×26×60cm、P_4が30×24×58cm、P_5が34×30×74cm、P_6が40×30×58cm、P_7が46×40×70cmを測る。

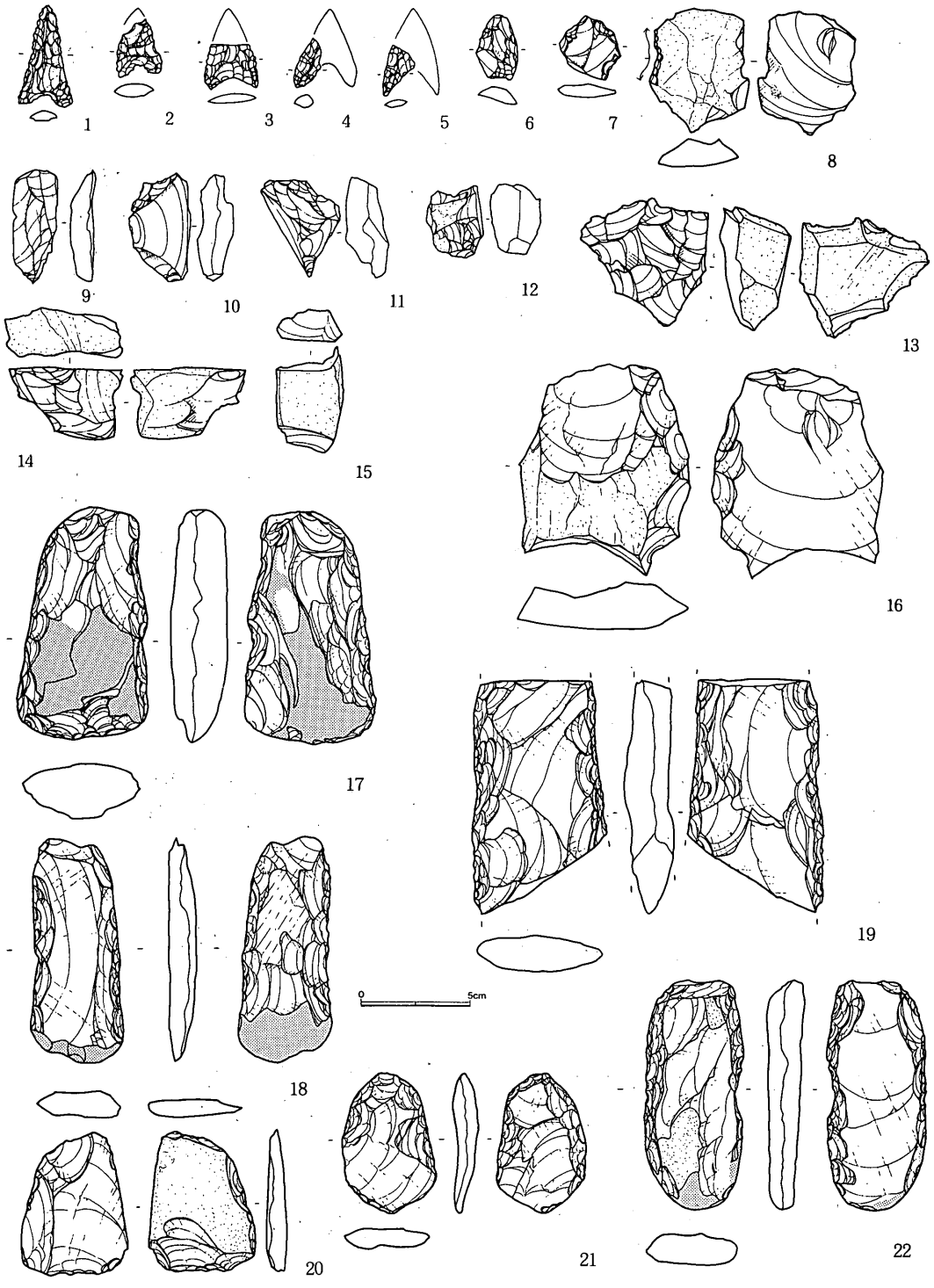
住居覆土は4層に分層された。I層は若干のカーボンを含む黒褐色土層（10YR2/3）、II層は若干のローム粒子を含む黒褐色土層（10YR3/2）、III層は若干のローム粒子を含む黒褐色土層（10YR3/1）、IV層はローム粒子を大量に含む人為的埋土とみられる褐色土層（10YR4/4）であった。

炉

炉は検出されなかった。



第138図　J－22号住居址（1：80）



第139図　J－22号住居址（1～16＝1：2，17～22＝1：3）

遺　物　　第139～142図・第73～77表

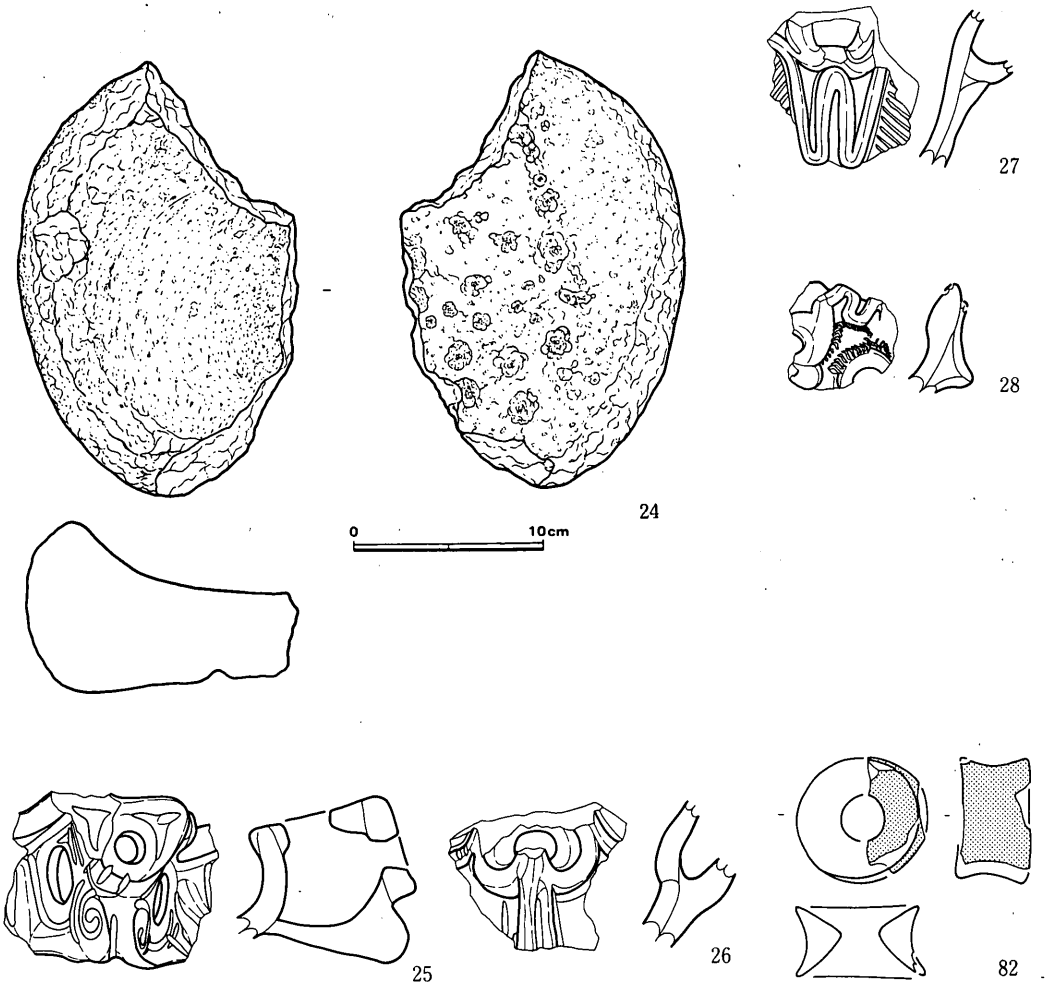
遺物は、石器では、石鏃（1～5）・石鏃未成品（6・7）・スクレイパー（9・16）・ピエス・エスキーユ（9～12）・石核（13～15）・打製石斧（17～22）が出土している。

土器は、あまり多く出土していないが、縄文中期後葉加曽利E系の土器片がみられる。

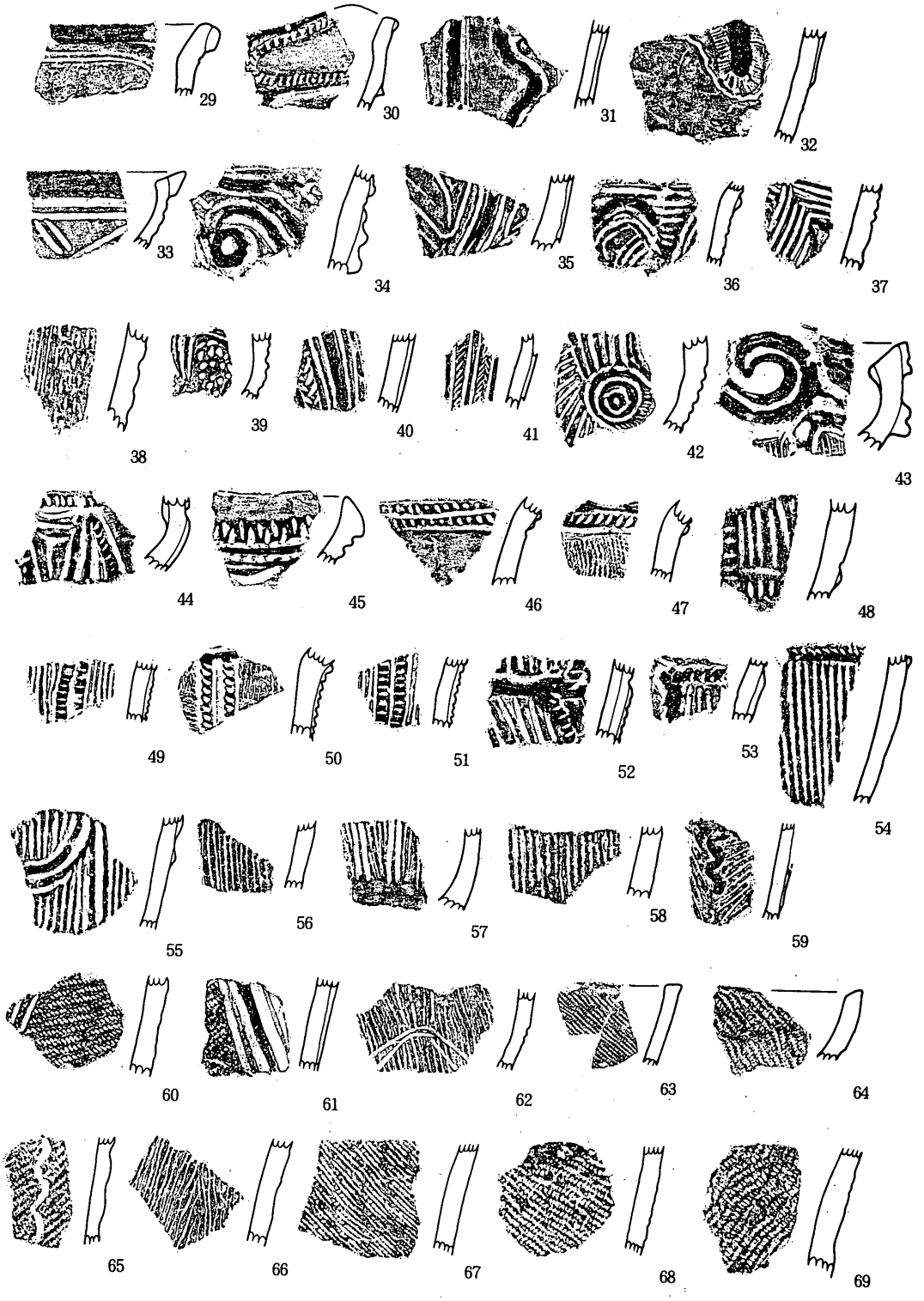
81は土製円盤、82は赤彩のなされた耳飾りである。

時　期

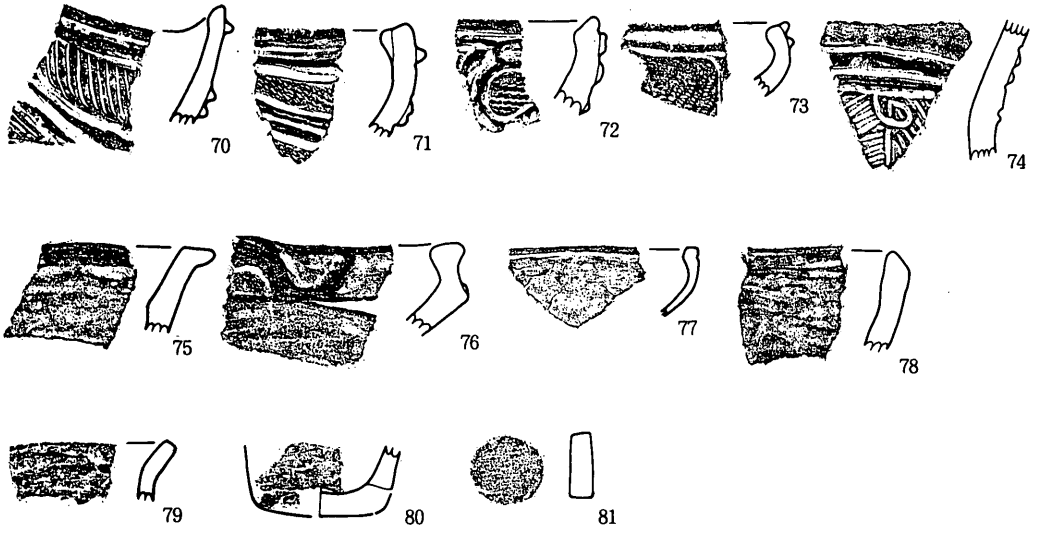
本住居址は、縄文時代中期後葉（川原田遺跡第12期もしくは第13期）に位置付けられよう。



第140図　J－22号住居址出土遺物（1：4，82のみ1：2）



第141図　J－22号住居址出土土器（1：4）



第142図　J－22号住居址出土土器（1：4）

第73表　J－22号住居址出土遺物一覧表　＜石器・土製品＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考	挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	ガラス質黒色安山岩	29	16	4	1.4	山本分析No.10八風山産	13	石核	黒曜石	36	39	18	23.0	
2	石鏃	黒曜石	16	14	4	0.7	欠損	14	石核	黒曜石	21	35	14	9.5	
3	石鏃	黒曜石	13	16	3	0.7	欠損	15	石核	黒曜石	32	21	11	7.5	
4	石鏃	黒曜石	14	7	4	0.4	欠損	16	スクレイパー	ガラス質黒色安山岩	60	51	13	53.3	
5	石鏃	黒曜石	13	14	3	0.2	欠損	17	打製石斧	安山岩	105	59	25	194.8	
6	石鏃未成品	黒曜石	19	13	5	1.1		18	打製石斧	安山岩	102	41	11	63.6	
7	石鏃未成品	黒曜石	19	17	5	1.6		19	打製石斧	頁岩Ⅰ	103	61	19	150.8	欠損
8	スクレイパー	黒曜石	36	30	9	9.4		20	打製石斧	頁岩Ⅰ	63	48	8	29.4	欠損
9	ピエス・エスキーユ	黒曜石	33	13	7	3.2		21	打製石斧	ガラス質黒色安山岩	63	41	12	27.0	欠損
10	ピエス・エスキーユ	黒曜石	32	18	9	5.0		22	打製石斧	緑色片岩	105	44	16	113.2	
11	ピエス・エスキーユ	黒曜石	31	19	12	5.3		81	円盤	土製	41	47	13	28.3	
12	ピエス・エスキーユ	黒曜石	20	14	15	5.0		82	耳飾り	土製	(35)	(37)	18	14.7	赤色塗彩

（単位mm，g）

第74表　J－22号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
25	深鉢	把手	― ― ―	立方体の把手に4つの透かし窓があく	ヨコミガキ	角閃石	橙色 7.5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	良好	767	
26	深鉢	突起	― ― ―	眼鏡状突起	ヨコナデ	角閃石	橙色 7.5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	893	
27	深鉢	突起	― ― ―	W字状に隆線を添付する	ヨコナデ	黒雲母	橙色 7.5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	90	
28	深鉢	口縁	― ― ―	蛇行する隆帯	ヨコナデ	角閃石	褐色 7.5YR 4/4	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	757	

（単位cm）

第75表　J－22号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
29	深鉢	口縁	— — —	口唇に隆帯を沿わせる	ヨコミガキ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	274	
30	深鉢	口縁	— — —	隆帯による楕円区画内に沿う連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 7/3	通常	822	
31	深鉢	胴部	— — —	垂下隆帯と蛇行隆帯	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	641	
32	深鉢	胴部	— — —	楕円キャタピラ文	ヨコナデ	角閃石	橙色 7.5YR 7/6	橙色 7.5YR 7/6	通常	512	
33	深鉢	口縁	— — —	沈線、折り返し口縁	ヨコナデ	黒雲母多量	暗赤褐色 2.5YR 3/2	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	144	
34	深鉢	胴部	— — —	環状突起から曲隆帯が派生	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/6	通常	494	
35	深鉢	胴部	— — —	隆帯、沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	192	
36	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯、平行沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	510	
37	深鉢	胴部	— — —	ハの字状沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	良好	94	
38	深鉢	胴部	— — —	平行して並ぶ列点	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	376	
39	深鉢	胴部	— — —	沈線による区画内に列点刺突	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	203	
40	深鉢	胴部	— — —	隆帯、ハの字状の沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	壁溝内	
41	深鉢	胴部	— — —	沈線間に斜位およびハの字状の短沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	166	
42	深鉢	胴部	— — —	沈線による円形モチーフ周囲に平行沈線	ヨコミガキ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	731	
43	深鉢	口縁	— — —	中央に沈線の入る隆帯による渦巻き状のモチーフ	ヨコミガキ	角閃石	橙色 2.5YR 6/8	橙色 2.5YR 6/8	通常	824	
44	深鉢	胴部	— — —	刻みをもつ隆帯 三叉文の沈刻	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	530	
45	深鉢	口縁	— — —	隆帯上交互の押圧による蛇行状の効果	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	通常	967	
46	深鉢	胴部	— — —	刻みをもつ2条の横位隆帯	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	123	
47	深鉢	口辺	— — —	刻みをもつ横位隆帯 撚糸文L	ヨコミガキ	黒雲母	暗赤灰色 2.5YR 3/1	明赤褐色 5YR 5/6	通常	946	
48	深鉢	胴部	— — —	刻みをもつ2条の垂下隆帯と縦位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	976	
49	深鉢	胴部	— — —	刻みをもつ2条の垂下隆帯 撚糸文R	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	576	
50	深鉢	胴部	— — —	刻みをもつ2条の垂下隆帯と縦位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	109	
51	深鉢	胴部	— — —	刻みをもつ隆帯と平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	367	
52	深鉢	胴部	— — —	刻みをもつ隆帯と平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/6	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	通常	880	
53	深鉢	胴部	— — —	T字状に交差する隆帯 縦位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	930	

（単位cm）

第76表　J－22号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
54	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯 擬位平行沈線	不明	角閃石	浅黄橙色 10YR 8/4	浅黄橙色 10YR 8/4	軟質	329	
55	深鉢	胴部	— — —	2条の隆帯 平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	461	
56	深鉢	胴部	— — —	擬位沈線	不明	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	313	
57	深鉢	底部	— — —	擬位沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	86	
58	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L	ヨコナデ	角閃石 黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	928	
59	深鉢	胴部	— — —	蛇行隆帯 斜位沈線	ヨコミガキ	角閃石 黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	235	
60	深鉢	胴部	— — —	擬位沈線 縄文LR	ナデ	角閃石 黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	843	
61	深鉢	胴部	— — —	擬位隆帯 縄文LR	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	831	
62	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L 沈線	ヨコミガキ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/3	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	663	
63	深鉢	口縁	— — —	平縁 縄文RL	ヨコミガキ	角閃石	褐色 7.5YR 4/3	にぶい褐色 7.5YR 4/3	良好	635 969	
64	深鉢	口縁	— — —	平縁 縄文RL	ヨコナデ	角閃石	灰黄褐色 10YR 4/2	にぶい黄褐色 10YR 5/4	通常	33	
65	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	タテナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/8	通常	874	
66	深鉢	胴部	— — —	撚糸文R	不明	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	629	
67	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	78	
68	深鉢	胴部	— — —	縄文RL	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	橙色 5YR 6/8	通常	870	
69	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	不明	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	709	
70	深鉢	口縁	— — —	隆帯による楕円区画内に斜位沈線	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい赤褐色 5YR 5/3	通常	112	
71	深鉢	口縁	— — —	隆帯による区画内に撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	にぶい黄橙色 10YR 6/4	橙色 5YR 7/6	通常	789	
72	深鉢	口縁	— — —	隆帯による円形区画内に撚糸文R	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	946	
73	深鉢	口縁	— — —	縄文LR	ヨコナデ	角閃石	橙色 7.5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	736	
74	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯 渦巻き状および斜位沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/3	橙色 5YR 6/6	通常	64	
75	浅鉢	口縁	— — —	赤彩の有無は不明	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	灰黄褐色 10YR 5/2	通常	718	
76	浅鉢	口縁	— — —	蛇行隆帯 赤彩の有無は不明	ヨコミガキ	角閃石	にぶい黄橙色 10YR 7/3	にぶい黄橙色 10YR 6/3	通常	92	
77	浅鉢	口縁	— — —	小形 赤彩の有無は不明	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい橙色 5YR 6/4	良好	214	
78	深鉢	口縁	— — —		ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	132	

（単位cm）

第77表　J－22号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
79	浅鉢	口縁	－ － －	赤彩の有無は不明	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	340	
80	深鉢	底部	－ － －		ヨコナデ	黒雲母	橙色 2.5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 7/3	通常	884	
81	土製円盤	－	3.7 × 4.0	端正な円形	不明	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	205	

（単位cm）

(23)　J－23号住居址

住居址　　第143図

J－23号住居址は、I－13グリッドにおいて検出された。本住居址は、J－34号住居址を切って存在する。あるいは本址を住居址とするには問題が残るかもしれない。

本址は、南北3.2m・東西2.5mの円形を呈し、床面積5.7m²を測る。壁の残存高は、20cm前後を測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

ピットは検出されなかった。

住居覆土は2層で、I層はローム粒子を含む黒褐色土層(10YR3/2)、II層はロームを大量に含む褐色土層（10YR4/4）であった。

遺物は、良好な出土状態のものはない。

炉

炉は、検出されなかった。

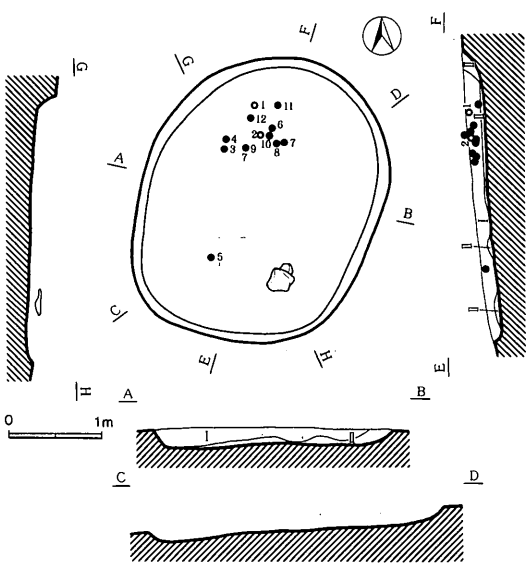
遺　物　　第144図・第78・79表

遺物は、石器では、石核（1）と打製石斧（2）が出土している。

土器は、中期中葉の小破片がわずかに認められるにすぎない。

時　期

本住居址は、少量の遺物のため位置付けが難しいが、縄文時代中期中葉と考えられようか。



第143図　J－23号住居址（1：80）

第78表　J－23号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

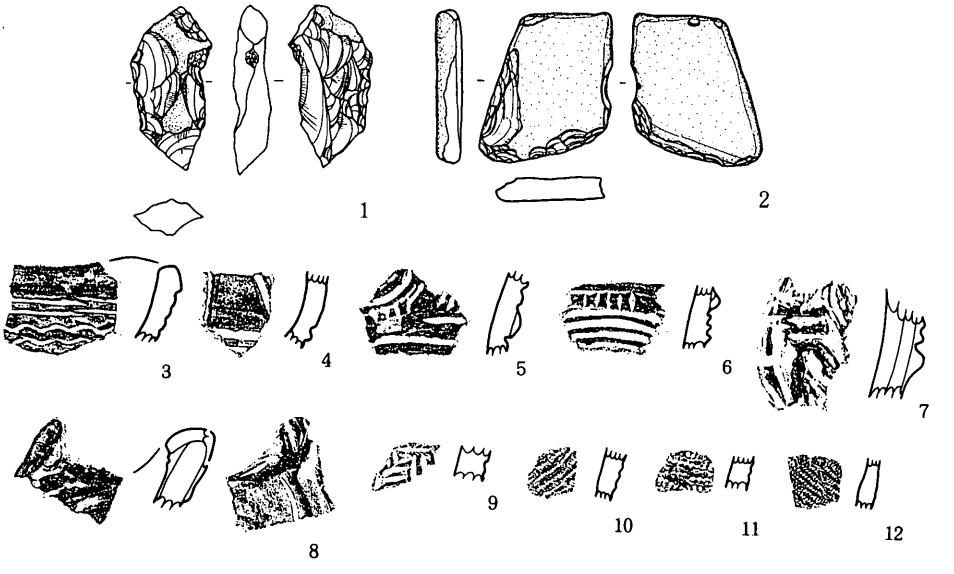
挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考	挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石核	黒曜石	41	22	9	7.4		2	打製石斧	安山岩	59	52	9	48.2	未成品

（単位mm，g）

第79表　J－23号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
3	深鉢	口縁	— — —	波状沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	49	
4	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	50	
5	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 5/6	赤褐色 2.5YR 5/6	通常	5	
6	深鉢	胴部	— — —	刻みの入る隆帯 沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	37	
7	深鉢	胴部	— — —	コイル状突起から隆帯が派生	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	27 48	
8	深鉢	口縁	— — —	突起部	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	29	
9	深鉢	胴部	— — —	ハの字状の沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	橙色 5YR 6/6	通常	48	
10	深鉢	胴部	— — —	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい赤褐色 5YR 4/3	普	30	
11	深鉢	胴部	— — —	撚糸文Ｒ	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	普	34	
12	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	普	43	

（単位cm）



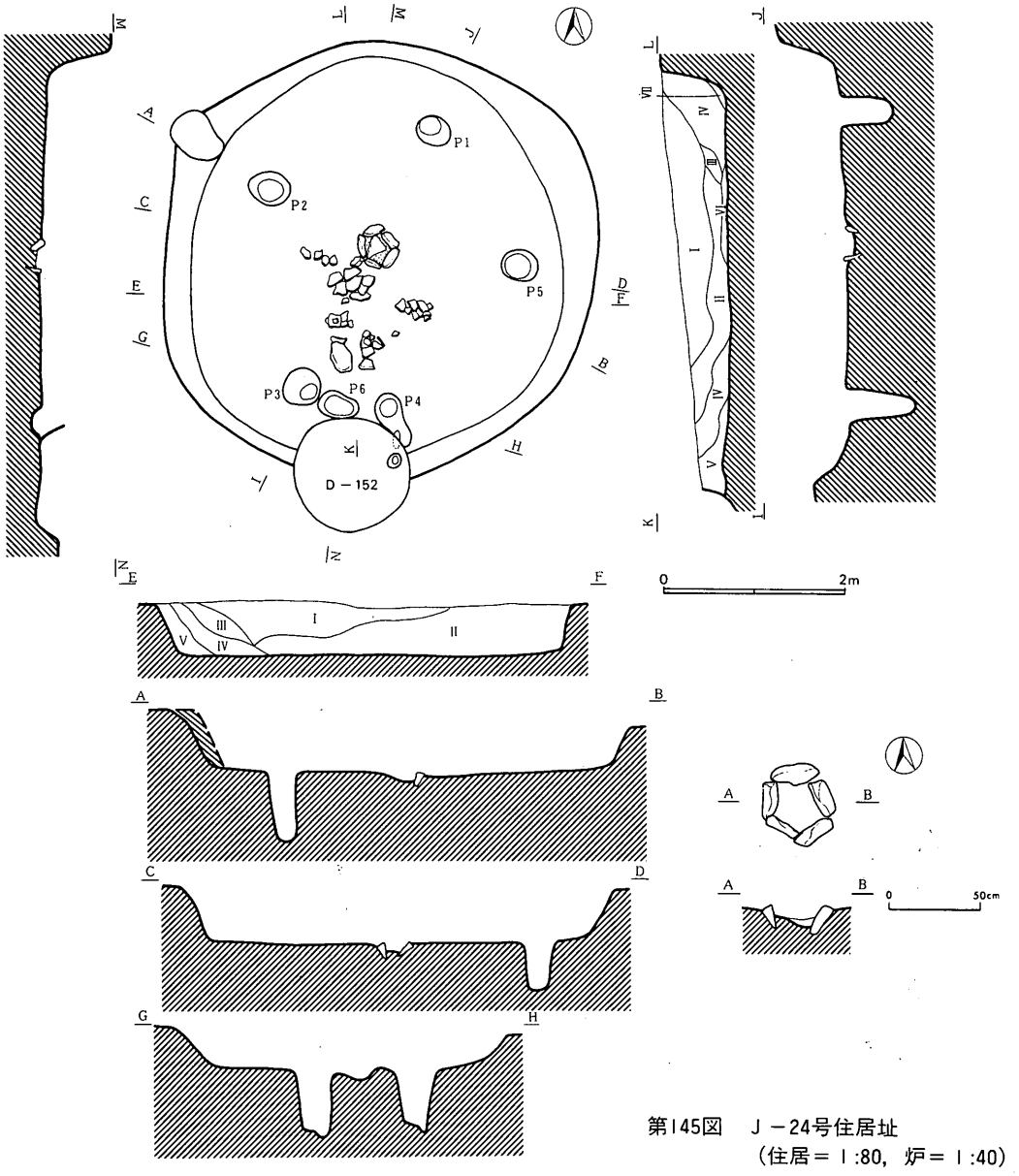
第144図　J－23号住居址出土遺物（1＝1:2，2＝1:3，3～12＝1:4）

(24)　Ｊ－24号住居址

住居址　　第145図

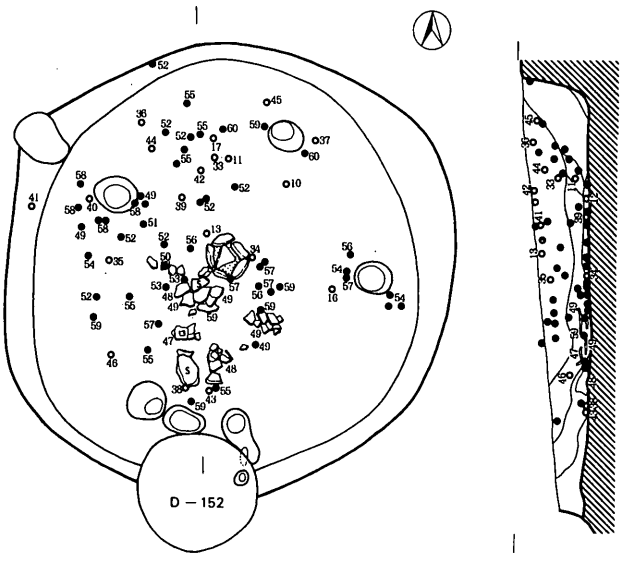
Ｊ－24号住居址は、Ｈ－14グリッドにおいて検出された。本址は、Ｊ－17号住居址・Ｄ－152号土坑に切られて存在している。

本址は、長軸4.9ｍ・短軸4.8ｍの円形を呈し、床面積14.2㎡を測る。壁の残存高は、50～60cmを測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。



第145図　Ｊ－24号住居址
（住居＝１:80，炉＝１:40）

ピットは、P_1～P_6が壁際に五角形状に配されていた。ピットの大きさは、P_1が38×30×56cm、P_2が46×38×72cm、P_3が42×42×70cm、P_4が62×30×64cm、P_5が40×34×50cm、P_6が44×30×70cmを測る。



第146図　J－24号住居址遺物分布（1：80）

住居覆土は、7層に分層された。Ⅰ層はローム粒子をほとんど含まない黒褐色土層(10YR2/2)、Ⅱ層はロームの小ブロックを含む人為的埋土とみられる黒褐色土層（10YR3/2)、Ⅲ層は多量の焼土を含む黄褐色土層（10YR5/6)、Ⅳ層はローム粒子・ロームブロックを含む人為的埋土とみられる暗褐色土層(10YR3/4)、Ⅴ層はロームの小ブロックを含む人為的埋土とみられる黒褐色土層（10YR2/2)、Ⅵ層はローム粒子を含まない黒色土層（10YR2/1)、Ⅶ層はローム粒子を含まない黒色土層（10YR1.7/1）であった。

遺物は、47・48・49の焼町系の深鉢破片が住居中央の床面上から検出された。

炉　　第145図

炉は、住居址のほぼ中央に存在している。円形の石囲い炉で、45×40cm深さ10cmを測る。炉の中央には、あたかも蓋をしたかのように安山岩の扁平な礫が伏せてあった。

覆土は1層のみである。Ⅰ層は焼土は含まず若干のカーボンを含む暗褐色土層（10YR3/3）であった。

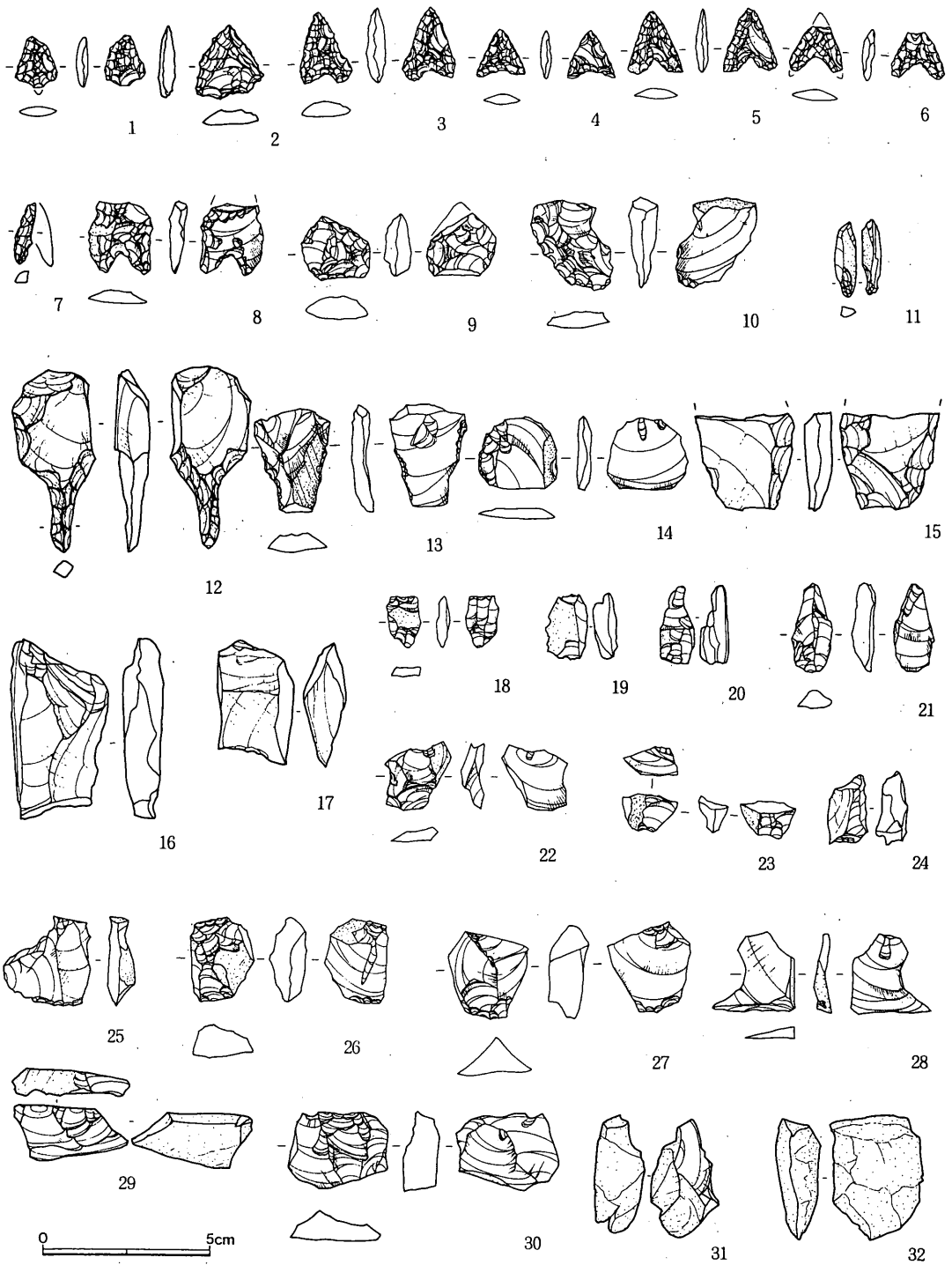
遺　物　　第147～155図・第80～86表

遺物は、石器では、有茎石鏃（1）・石鏃（2～7）・石鏃未成品（8～10）・石錐（11・12）・ピエス・エスキーユ（16～27）・スクレイパー（13～15、39～41）・石核（29～31）・磨製石斧（33）・打製石斧（34～38）・原石（32）・磨石（43～46）・軽石円盤（42）が出土している。

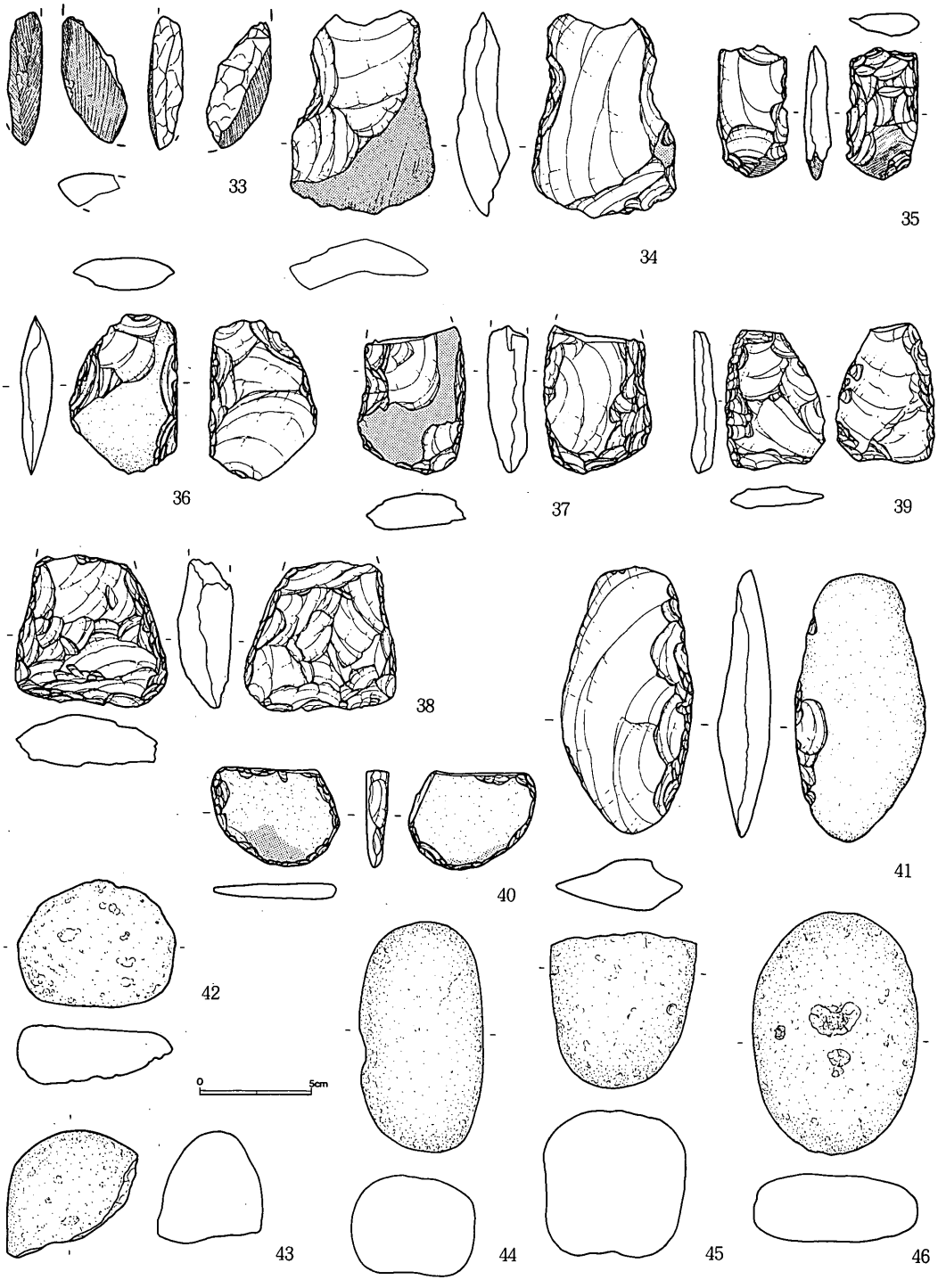
土器は、縄文の地文に曲隆線・沈線・眼鏡状突起などを施す、新巻類型あるいはプレ焼町などといわれる深鉢がみられる（47・48・49)。119～169も同系統の土器破片と考えられる。

52は、口縁部文様帯に、隆線による三角形の区画の内部に玉抱三叉文を配し、胴部には直線あるいは渦巻き状の懸垂文のみられる土器である。

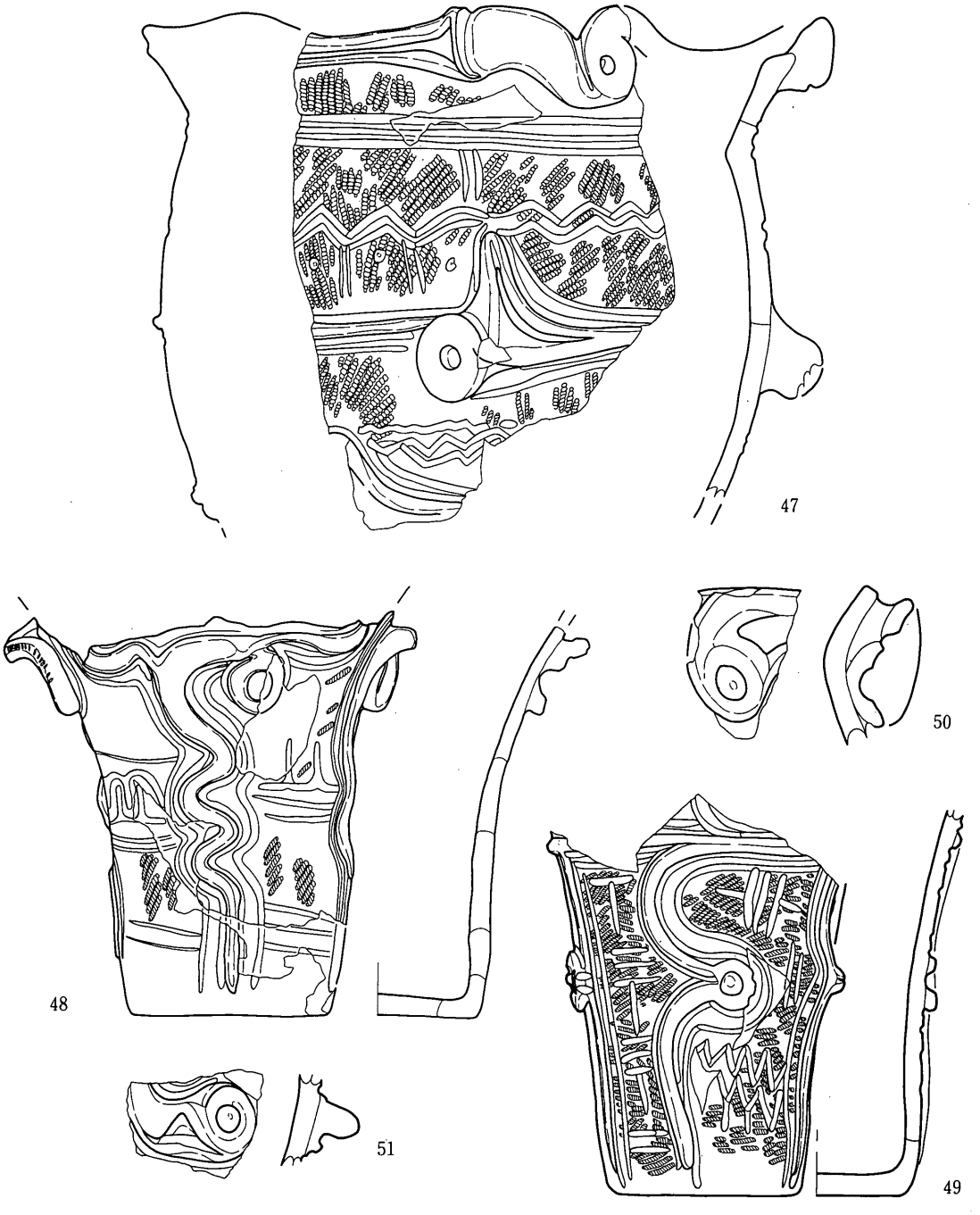
54・55・61～66は阿玉台系の深鉢の破片、77～88は勝坂系の土器である。58はコップ状の小形



第147図　J－24号住居址出土石器（1：2）



第148図　J－24号住居址出土石器（1：3）

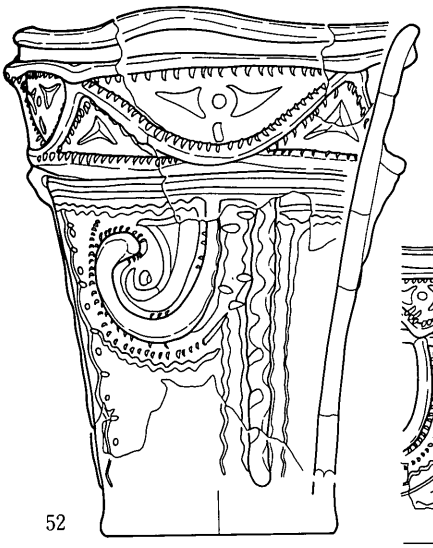


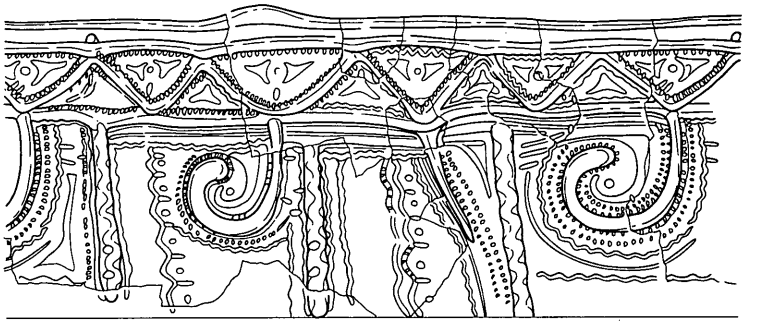
第149図　J－24号住居址出土遺物（1：4）

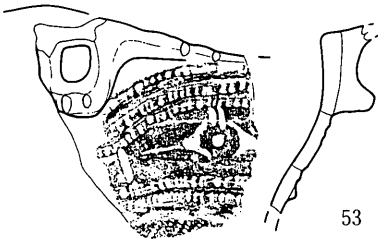
土器、59は無文の浅鉢である。

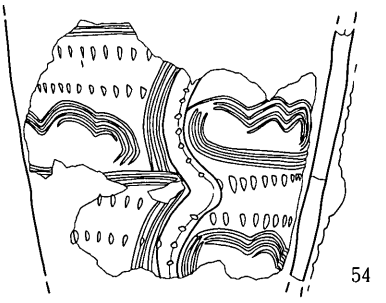
時　期

本住居址は、川原田遺跡第7期に位置付けられよう。

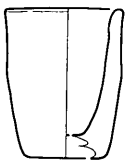




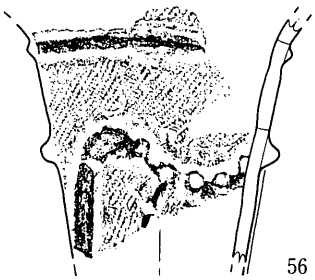




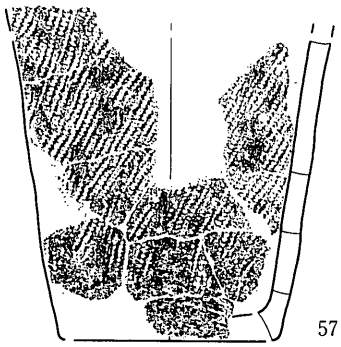
第150図　J－24号住居址出土遺物（1：4，展開図1：6）



58

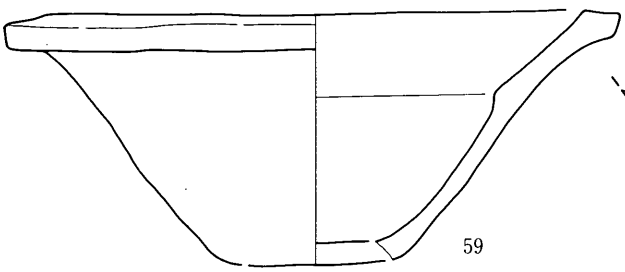


56

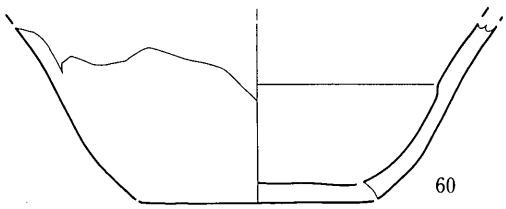


57

第151図　J－24号住居址出土遺物（1：4）



59



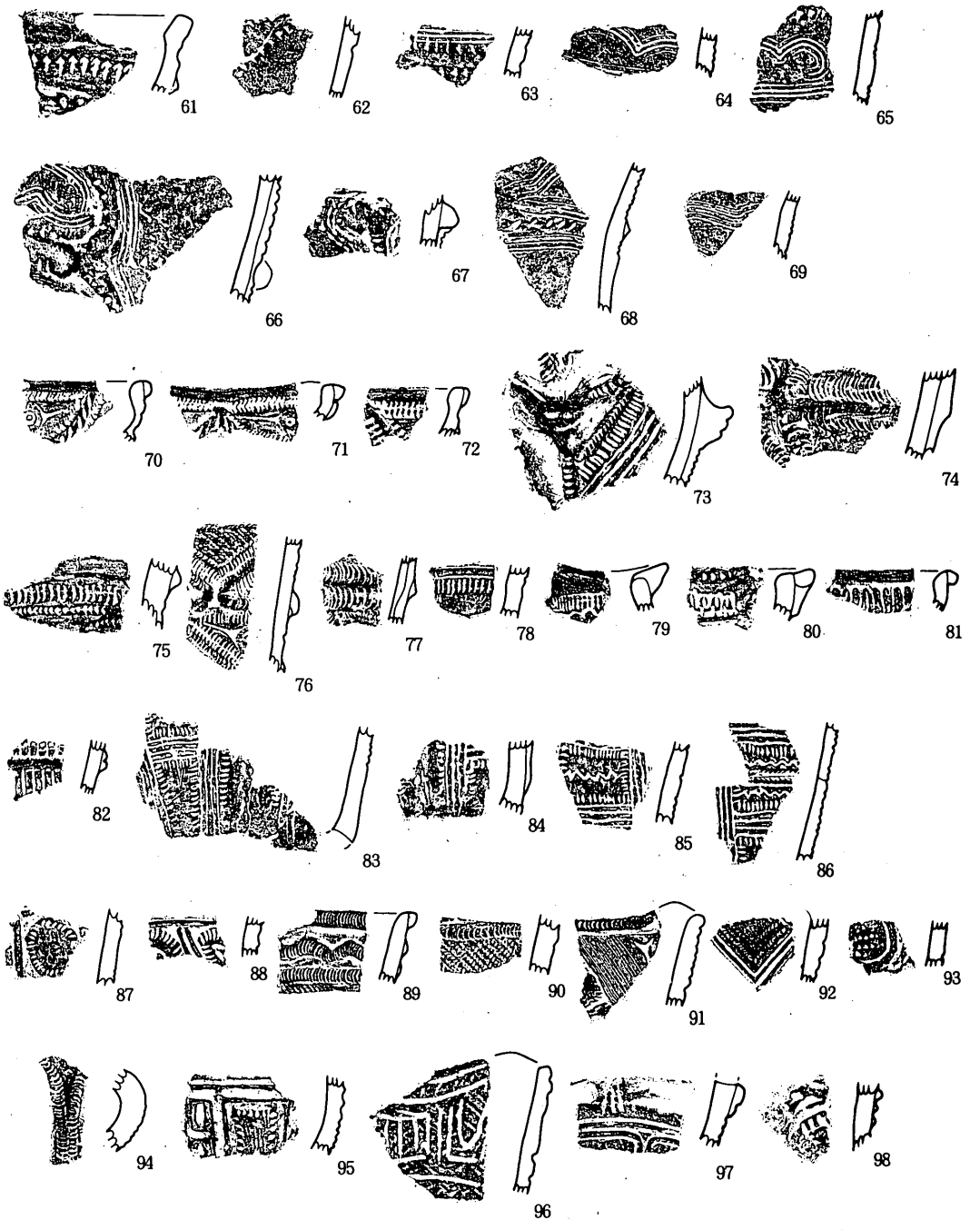
60

第80表　J－24号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

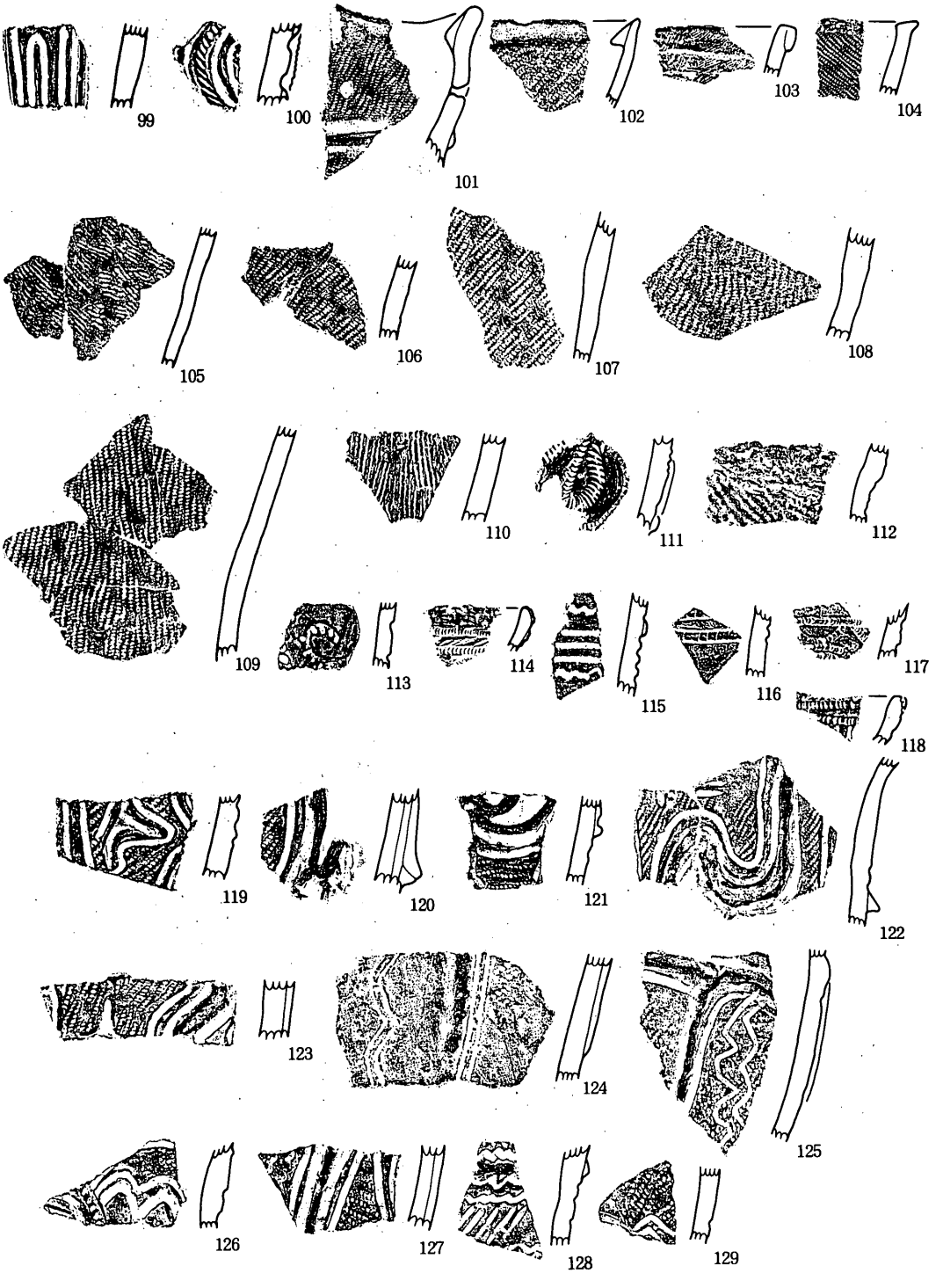
挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	有茎石鏃	黒曜石	15	12	3	0.5	欠損
2	石鏃	ガラス質黒色安山岩	21	20	4	1.8	
3	石鏃	黒曜石	21	15	5	1.2	
4	石鏃	黒曜石	13	14	3	0.3	
5	石鏃	黒曜石	18	16	3	0.7	
6	石鏃	黒曜石	13	15	3	0.5	欠損
7	石鏃	黒曜石	18	3	5	0.2	欠損
8	石鏃未成品	黒曜石	20	18	5	1.5	欠損
9	石鏃未成品	黒曜石	21	19	8	2.4	欠損
10	石鏃未成品	黒曜石	29	23	8	3.7	
11	石錐	黒曜石	22	5	6	0.7	
12	石錐	ガラス質黒色安山岩	53	23	10	9.7	
13	スクレイパー	黒曜石	35	22	5	3.5	
14	スクレイパー	黒曜石	21	23	4	2.2	
15	スクレイパー	ガラス質黒色安山岩	29	30	8	7.1	欠損
16	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	53	29	13	23.8	
17	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	36	23	12	10.6	山本分析No.11八風山産
18	ピエス・エスキーユ	黒曜石	14	9	3	0.4	
19	ピエス・エスキーユ	黒曜石	19	13	7	1.3	
20	ピエス・エスキーユ	黒曜石	23	12	11	2.0	
21	ピエス・エスキーユ	黒曜石	25	12	6	1.3	
22	ピエス・エスキーユ	黒曜石	25	18	6	1.6	
23	ピエス・エスキーユ	黒曜石	12	16	7	0.9	

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
24	ピエス・エスキーユ	黒曜石	21	13	10	2.0	
25	ピエス・エスキーユ	黒曜石	27	27	9	4.9	
26	ピエス・エスキーユ	黒曜石	24	19	11	4.4	
27	ピエス・エスキーユ	黒曜石	24	23	11	4.7	
28	剥片	黒曜石	23	24	4	1.5	
29	石核	黒曜石	17	34	9	5.3	
30	石核	黒曜石	25	30	10	5.8	
31	石核	黒曜石	35	18	21	8.4	
32	原石	黒曜石	36	27	11	12.5	
33	磨製石斧	蛇紋岩	55	25	15	26.8	
34	打製石斧	グリーンタフ	91	64	15	105.3	
35	打製石斧	頁岩I	58	32	11	22.6	
36	打製石斧	頁岩I	71	48	14	49.6	
37	打製石斧	安山岩	65	47	17	65.7	
38	打製石斧	頁岩I	65	67	23	116.6	
39	スクレイパー	ガラス質黒色安山岩	61	44	9	30.1	
40	スクレイパー	安山岩	42	58	10	32.1	
41	スクレイパー	頁岩I	119	58	22	151.8	
42	円盤	軽石	56	70	27	44.0	
43	磨石	安山岩	48	69	45	221.4	
44	磨石	安山岩	102	55	42	389.0	
45	磨石	安山岩	68	63	61	378.0	
46	磨石	安山岩	109	74	28	338.7	

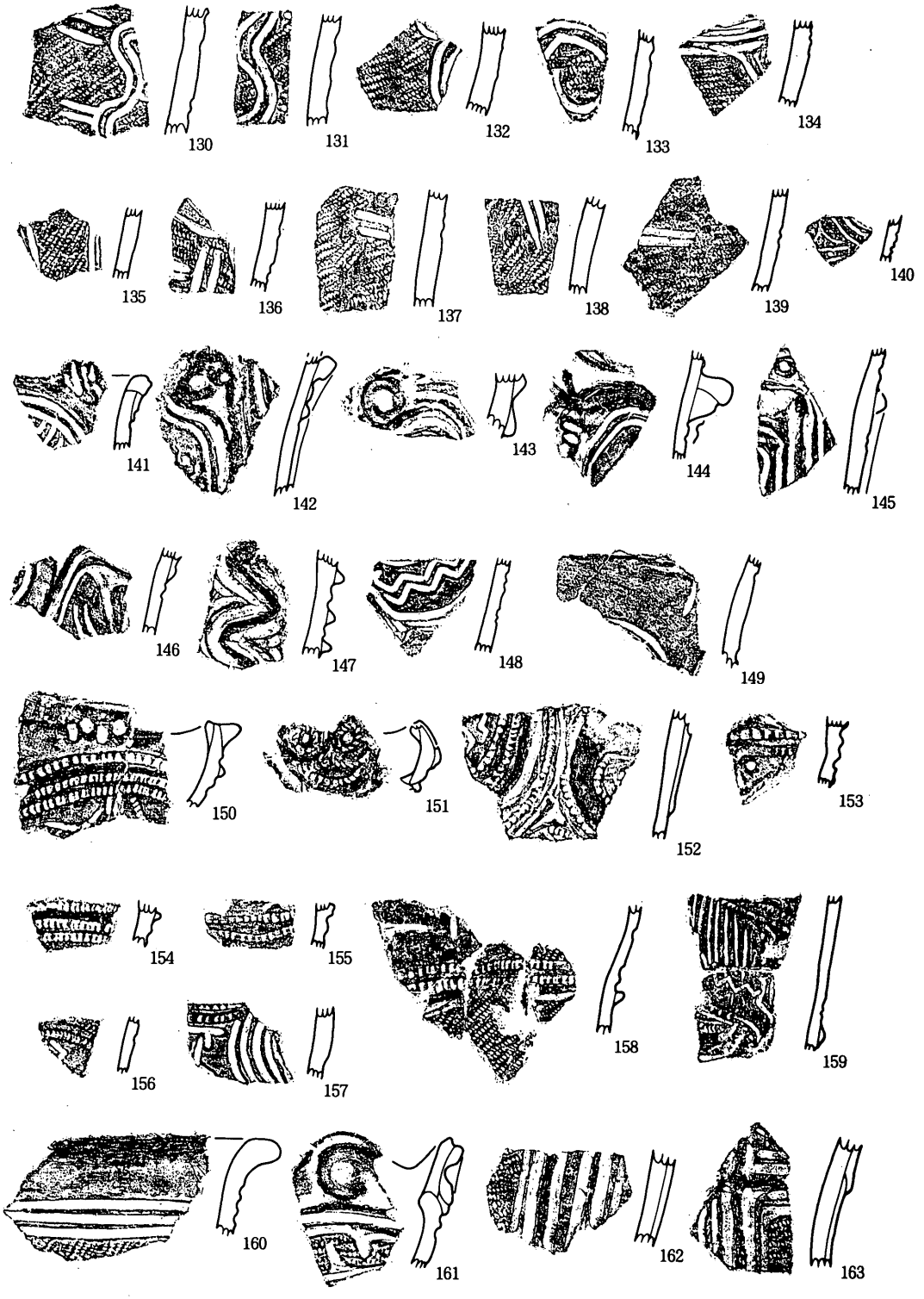
（単位mm，g）



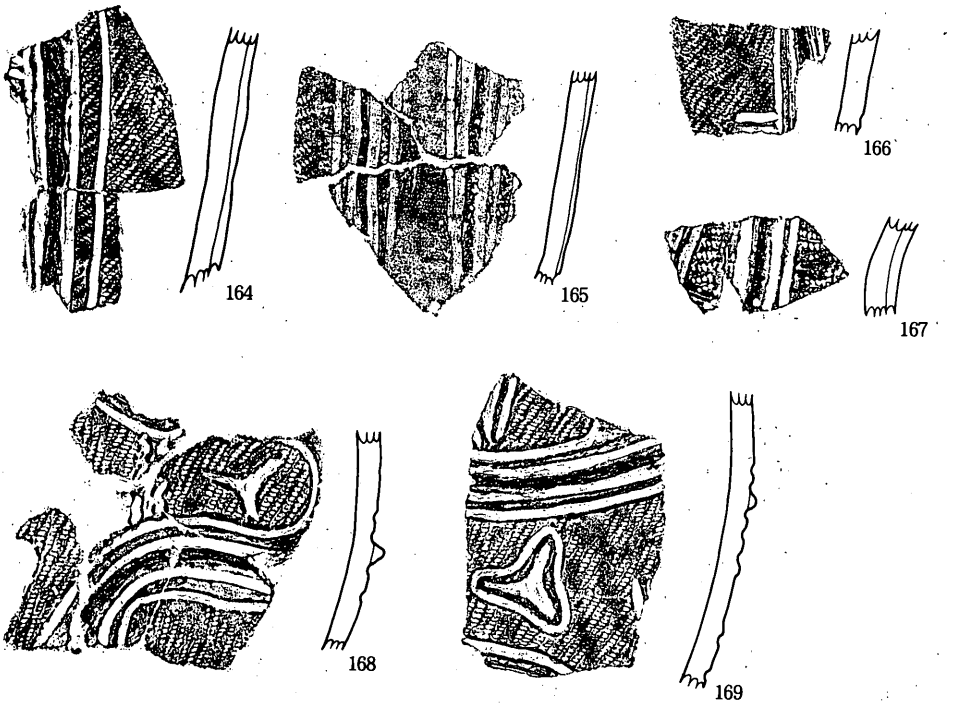
第152図　J－24号住居址出土遺物（1：4）



第153図　J－24号住居址出土遺物（1：4）



第154図　J－24号住居址出土遺物（1：4）



第155図　J－24号住居址出土遺物（1：4）

第81表　J－24号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
47	深鉢	口縁 ↓ 胴部	(40.4) － －	地文縄文ＬＲ 環状突起。隆線 2条の沈線を波状に施す	ヨコミガキ	角閃石	赤褐色 5YR 4/6	橙色 5YR 6/6	通常	1574	
48	深鉢	胴部	－ － 11.5	地文縄文ＬＲ 環状突起から蛇行して垂下する隆帯4単位。沈線	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/8	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	通常	1573	
49	深鉢	胴部	－ － 10.5	地文縄文ＬＲ 環状突起に結び垂下する隆線	ヨコナデ		明赤褐色 5YR 4/8	にぶい赤褐色 5YR 6/4	通常	808 1293	
50	深鉢	口縁	－ － －	環状突起	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/6	橙色 5YR 6/6	通常	1578	
51	深鉢	突起	－ － －	環状突起	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/6	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	52	
52	深鉢	口縁 ↓ 胴部	21.0 － －	口縁には隆線による三角区画が連なり、中を三叉文、玉抱三叉文が埋める	ヨコミガキ	白色粒子 多量	明赤褐色 2.5YR 5/8	橙色 2.5YR 6/6	通常	739 830	
53	深鉢	口縁	－ － －	隆線。有節沈線 玉抱三叉文	ヨコミガキ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	やや不良	1136 1478	
54	深鉢	胴部	－ － －	蛇行して垂下する隆帯 3本の平行沈線文 列点状の刺突文	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 7/4	橙色 5YR 6/6	通常	834 779	
55	深鉢	胴部	－ － －	4本の沈線により円を描く隆帯	ヨコナデ	黒雲母多量 白色粒子 多量	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 5YR 6/8	やや不良	1034 1207	
56	深鉢	胴部	－ － －	地文縄文ＬＲ 連続するオサエを施した隆線	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	明赤褐色 5YR 5/6	やや不良	1510 1517	
57	深鉢	胴部 ↓ 底分	－ － (11.2)	縄文ＬＲ	ナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 5YR 6/6	通常	1059 1559	

（単位cm）

第82表　J－24号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
58	コップ状土器	口縁～底部	6.0 8.0 3.8	小形コップ状 無文	ナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 5YR 6/6	通常	322 492	
59	浅鉢	口縁～底部	32.0 11.0 9.2	無文	ヨコミガキ	黒雲母少量	灰褐色 5YR 5/2	にぶい橙色 5YR 6/4	やや不良	645 1525	赤彩等の痕跡はみられず
60	鉢	底部	－ － －	内部に段を有する	ヨコミガキ	黒雲母少量	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	919	
61	深鉢	口縁	－ － －	連続刺突文	ヨコミガキ	黒雲母多量	にぶい橙色 7.5YR 6/4	灰黄褐色 10YR 6/2	通常	704	
62	深鉢	胴部	－ － －	連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/3	橙色 5YR 6/6	通常	47 1163	
63	深鉢	胴部	－ － －	連続刺突文 横位沈線	タテナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	781	
64	深鉢	胴部	－ － －	連続弧状沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい黄橙色 10YR 6/3	通常	775	
65	深鉢	胴部	－ － －	連続弧状沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 2.5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	1389	
66	深鉢	胴部	－ － －	突起から曲隆帯が派生、それに沿う平行沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	782 774	
67	深鉢	胴部	－ － －	突起とそれに沿う連続刺突	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	灰黄褐色 10YR 6/2	通常	778	
68	深鉢	胴部	－ － －	刻みのある隆帯 平行沈線	ヨコミガキ	黒雲母多量	黒色 7.5YR 1.7/1	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	1425	
69	深鉢	胴部	－ － －	4条の平行波状沈線	ヨコミガキ	黒雲母多量	黒色 5YR 1.7/1	黒褐色 5YR 3/1	通常	136	
70	深鉢	口縁	－ － －	隆帯区画に沿いペン先状刺突文、円文、三叉文	ヨコミガキ	角閃石	灰褐色 5YR 4/2	灰黄褐色 10YR 5/2	通常	75	
71	深鉢	口縁	－ － －	隆帯区画に沿いペン先状刺突文、円文、三叉文	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/3	通常	1411	
72	深鉢	口縁	－ － －	隆帯に沿う連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/3	褐灰色 5YR 4/1	通常	679	
73	深鉢	胴部	－ － －	コイル状の突起から刻みのある曲隆線が派生 沈線、連続刺突文	ヨコナデ	片岩？	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	387	片岩を含む？
74	深鉢	胴部	－ － －	隆帯に沿う爪形状の連続刺突文	ヨコミガキ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	表面	
75	深鉢	胴部	－ － －	隆帯に沿う爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	灰褐色 5YR 4/2	明赤褐色 5YR 5/6	通常	262	
76	深鉢	胴部	－ － －	隆帯、爪形状の連続刺突文 ペン先状の連続刺突文 三叉文	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/3	灰黄褐色 10YR 5/2	通常	81	
77	深鉢	胴部	－ － －	隆帯 爪形状・ペン先状連続刺突文	不明	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	50	
78	深鉢	胴部	－ － －	沈線 連続刺突文	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	282	
79	深鉢	口縁	－ － －	連続刺突文	ヨコミガキ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 6/3	灰褐色 7.7YR 5/2	通常	472	
80	深鉢	口縁	－ － －	口唇状の刻み	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	暗赤褐色 2.5YR 3/4	通常	1265	
81	深鉢	口縁	－ － －	沈線による逆U字状文の連続	ヨコナデ	角閃石	灰褐色 5YR 4/2	灰褐色 5YR 4/2	通常	1058	
82	深鉢	胴部	－ － －	擬位沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	灰褐色 5YR 4/2	通常	1219	

（単位cm）

第83表　J－24号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
83	深鉢	胴部	― ― ―	垂下隆帯 縦位・横位の平行沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/8	通常	261 689 607	
84	深鉢	底部	― ― ―	垂下隆帯 縦位・横位の平行沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	橙色 5YR 6/8	通常	16	
85	深鉢	胴部	― ― ―	平行沈線による区画内に鋸歯状沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/8	通常	1285	
86	深鉢	胴部	― ― ―	平行沈線による区画内に鋸歯状沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	17	
87	深鉢	胴部	― ― ―	爪形状の連続刺突文により円を描く	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/8	通常	1189	
88	深鉢	胴部	― ― ―	沈線、爪形状の連続刺突文	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	1038	
89	深鉢	口縁	― ― ―	横位・蛇行隆帯上に爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	褐灰色 7.5YR 4/1	通常	922	
90	深鉢	胴部	― ― ―	爪形状の連続刺突文 縄文ＲＬ	タテナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1413	
91	深鉢	口縁	― ― ―	口唇の隆帯上に爪形状の連続刺突 三叉文、斜位沈線	ヨコミガキ	角閃石	灰褐色 5YR 4/2	橙色 5YR 6/6	良好	601	
92	深鉢	胴部	― ― ―	沈線およびペン先状の連続刺突による方形	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	通常	479	
93	深鉢	胴部	― ― ―	沈線による区画内に爪形状の列点刺突	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい赤褐色 5YR 4/4	通常	1019	
94	深鉢	突起	― ― ―	突起上に爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	不明	
95	深鉢	胴部	― ― ―	沈線による区画内に爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1513	
96	深鉢	口縁	― ― ―	地文は無節の縄文ｒ 沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	1576	
97	深鉢	胴部	― ― ―	隆帯 沈線による区画内に縄文	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	592	
98	深鉢	胴部	― ― ―	連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	赤褐色 5YR 4/8	通常	601	
99	深鉢	胴部	― ― ―	沈線	ヨコミガキ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/2	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	78	
100	深鉢	胴部	― ― ―	曲隆帯上に刻み 沈線	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	307	
101	深鉢	口縁	― ― ―	縄文ＬＲ 横位隆帯	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/3	黒褐色 5YR 3/1	通常	1178	補修孔
102	深鉢	口縁	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/6	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	通常	923	
103	深鉢	口縁	― ― ―	折り返し口縁 無節の縄文ℓ	ヨコミガキ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 7/3	灰褐色 7.5YR 5/2	通常	1271	
104	深鉢	口縁	― ― ―	縄文ＲＬ	ヨコミガキ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/6	褐灰色 5YR 4/1	通常	表面	
105	深鉢	胴部	― ― ―	無節の縄文ℓ	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1251 1214	
106	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	暗赤褐色 5YR 3/2	暗赤褐色 5YR 3/6	通常	炉内	
107	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/4	暗赤褐色 5YR 3/6	通常	1500	

（単位cm）

第84表　J－24号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
108	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい橙色 7.5YR 7/3	通常	30	
109	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	暗赤褐色 5YR 3/6	通常	1559 1495 1494	
110	深鉢	胴部	— — —	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 7/3	通常	71	
111	深鉢	胴部	— — —	隆帯とそれに沿うキャタピラ文	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	1235	
112	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	軟質	101	
113	深鉢	胴部	— — —	沈線による渦巻き上に円形の連続刺突	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	にぶい赤褐色 2.5YR 4/2	通常	1371	
114	深鉢	口縁	— — —	細い隆帯と隆帯上に連続刺突文	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	暗赤灰色 2.5YR 3/1	通常	1095	
115	深鉢	胴部	— — —	横位沈線	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	1555	
116	深鉢	胴部	— — —	結節沈線	ヨコナデ	角閃石	褐色 7.5YR 4/3	暗赤褐色 5YR 3/6	通常	Ⅲ区	
117	深鉢	胴部	— — —	爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	にぶい黄褐色 10YR 7/2	黒褐色 10YR 3/1	通常	1571	
118	深鉢	口縁	— — —	爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	698	
119	深鉢	胴部	— — —	沈線、三叉文の沈刻 縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石 黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	208	
120	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯とそれに沿う２条の沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 5YR 2/1	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	780	
121	深鉢	胴部	— — —	渦巻き状隆帯 縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	黒褐色 5YR 3/1	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	1198	
122	深鉢	胴部	— — —	蛇行する隆帯とそれに沿う２条の沈線、縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1053	
123	深鉢	胴部	— — —	蛇行する隆帯とそれに沿う２条の沈線、三叉文の沈刻 縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4.6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	1194	
124	深鉢	胴部	— — —	垂下隆帯、鋸歯状および縦位の沈線、縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 7/4	にぶい橙色 7.5YR 7/3	通常	22	
125	深鉢	胴部	— — —	隆帯、蛇行沈線 縄文ＬＲ	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	1502	
126	深鉢	胴部	— — —	波状の沈線 縄文	ヨコミガキ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	4	
127	深鉢	胴部	— — —	隆帯、沈線、縄文	ヨコナデ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/2	にぶい赤褐色 5YR 4/3	通常	1300	
128	深鉢	胴部	— — —	隆帯 蛇行沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	暗赤褐色 5YR 3/4	通常	848	
129	深鉢	胴部	— — —	蛇行沈線 縄文ＬＲ	ヨコミガキ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1123	
130	深鉢	胴部	— — —	蛇行沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	黒褐色 5YR 3/1	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	1325	
131	深鉢	胴部	— — —	蛇行沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	暗赤褐色 5YR 3/3	暗赤褐色 5YR 3/2	通常	1536	
132	深鉢	胴部	— — —	蛇行沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/3	灰褐色 5YR 5/2	通常	1371	

（単位cm）

第85表　J－24号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
133	深鉢	胴部	— — —	渦巻き状の沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	1321	
134	深鉢	胴部	— — —	沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/2	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	728	
135	深鉢	胴部	— — —	沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	にぶい赤褐色 5YR 4/4	通常	1332	
136	深鉢	胴部	— — —	沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 5YR 2/1	にぶい赤褐色 5YR 5/3	通常	14	
137	深鉢	胴部	— — —	沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/2	黒褐色 5YR 3/1	通常	1531	
138	深鉢	胴部	— — —	沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	黒褐色 5YR 3/1	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	573	
139	深鉢	胴部	— — —	沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 5YR 3/1	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	1013	
140	深鉢	胴部	— — —	小形 沈線、縄文	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	暗赤褐色 5YR 3/6	通常	1140	
141	深鉢	口縁	— — —	口脣の突起に刻み 平行沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1510	
142	深鉢	胴部	— — —	環状突起から曲隆帯が派生、それに沿う沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	1512	
143	深鉢	胴部	— — —	渦巻き状の突起から曲隆帯が派生	ヨコナデ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/4	明赤褐色 5YR 5/8	通常	1052	
144	深鉢	胴部	— — —	刻みのある環状突起から曲隆帯が派生	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	1576	
145	深鉢	胴部	— — —	隆帯、沈線 円文	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1048	
146	深鉢	胴部	— — —	隆帯、沈線	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 5YR 4/8	暗赤褐色 5RY 3/6	通常	1533	
147	深鉢	胴部	— — —	蛇行する隆帯 それに沿う２条の沈線	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	977	
148	深鉢	胴部	— — —	蛇行する２条の沈線	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/4	明赤褐色 5YR 5/8	通常	949	
149	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5R 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	839 1352	
150	深鉢	口縁	— — —	曲隆帯とそれに沿う有節沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	1183	
151	深鉢	口縁	— — —	隆帯による円形区画内に爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母多量	黒褐色 5YR 3/1	明赤褐色 5YR 5/8	通常	844	
152	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯とそれに沿う有節沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/3	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1490	
153	深鉢	胴部	— — —	有節沈線 円文	ヨコミガキ	黒雲母多量	暗赤褐色 5YR 3/2	暗赤褐色 5YR 3/6	通常	1481	
154	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯とそれに沿う有節沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	暗赤褐色 5YR 3/3	赤褐色 5YR 4/8	通常	1351	
155	深鉢	胴部	— — —	有節沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	暗赤褐色 5YR 3/4	暗赤褐色 5YR 3/6	通常	1516	
156	深鉢	胴部	— — —	有節沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	通常	1575	
157	深鉢	胴部	— — —	沈線および有節沈線	ヨコナデ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	1569	

（単位cm）

第86表　J－24号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
158	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯、2条の結節沈線 縄文LR	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 4/4	明赤褐色 5YR 3/6	通常	1465 1351 1473	
159	深鉢	胴部	— — —	ハの字状・蛇行沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	1490 1576	
160	深鉢	口縁	— — —	3条の横位沈線 縄文LR	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/4	良好	603	
161	深鉢	口縁	— — —	渦巻き状隆線 沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	1247	
162	深鉢	胴部	— — —	2条の垂下隆帯 縄文LR	ヨコナデ	角閃石	黒褐色 5YR 3/1	にぶい赤褐色 5YR 4/3	通常	1391	
163	深鉢	胴部	— — —	十字に交差する隆帯、それに沿う沈線、縄文LR	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	1427	
164	深鉢	胴部	— — —	隆帯とそれに沿う2条の沈線 縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/2	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	663 1210	
165	深鉢	胴部	— — —	隆帯とそれに沿う2条の沈線 縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	通常	1081 1314	
166	深鉢	胴部	— — —	垂下する隆帯とそれに沿う沈線 縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/3	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	61	
167	深鉢	胴部	— — —	垂下する隆帯とそれに沿う沈線 縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	663 948	
168	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯とそれに沿う沈線 三叉文沈刻、縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 5YR 3/1	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	1437 1212 1576	
169	深鉢	胴部	— — —	曲隆帯とそれに沿う沈線 三叉文沈刻、縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい赤褐色 5YR 4/3	良好	1446	

（単位cm）

(25)　J－25号住居址

住居址　　第156図

J－25号住居址は、H－12グリッドにおいて検出され、J－11号住居址と重複する。両遺構間の直接的な新旧関係はとらえられなかったが、遺物から判断すると本址がJ－11に先行するものとみられる。

本址は、削平のためそのプランがつかめず、石の配された炉と、5個のピットが確認されたのみであった。ピットの大きさは、P_1が76×66×50cm、P_2が120×114×70cm、P_3が86×60×54cm、P_4が88×80×54cm、P_5が86×80×70cmを測る。

遺物は、5・6・8の深鉢が炉の周囲の床面上から、4の打製石斧がP_3内より、7の深鉢がP_3脇から検出された。

炉　　第156図

炉は、石材(安山岩)が3点しか残らないが、基本的には石囲い炉とみられ、残存部は90×70×10cmを測る。

炉の覆土は2層に分層された。I層は焼土を若干含む黒褐色土層(5YR3/1)、II層は焼土層で明赤褐色土層（5YR5/6）である。

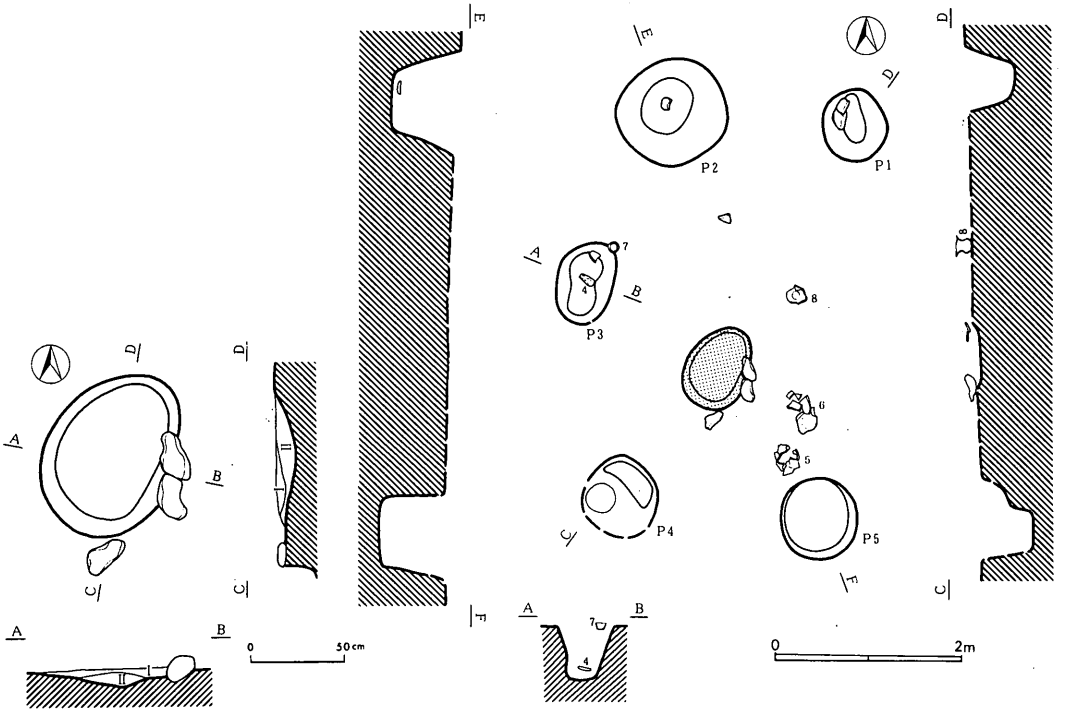
遺　物　　第157～160図・第87～89表

遺物は、石器では、剝片（1）・ピエス・エスキーユ（2）・石核（3）・打製石斧（4）が出土している。

土器は、5が、地文に縄文を施し、口縁部を横位隆線で分帯し、胴部には曲隆線が環状突起を経由して懸垂するもので、新巻類型あるいはプレ焼町などといわれる深鉢である。6は地文に縄文を施し、頸部を横位隆線で区画し、その上下を沈線によって方形に画するもので、口縁には突起がつく。8は二対の把手のつく勝坂式土器で、口縁部には楕円区画文、胴部には連続する三角区画文がみられる。

時　期

本住居址は、縄文時代中期中葉（川原田遺跡第7期もしくは第8期）に位置付けられよう。

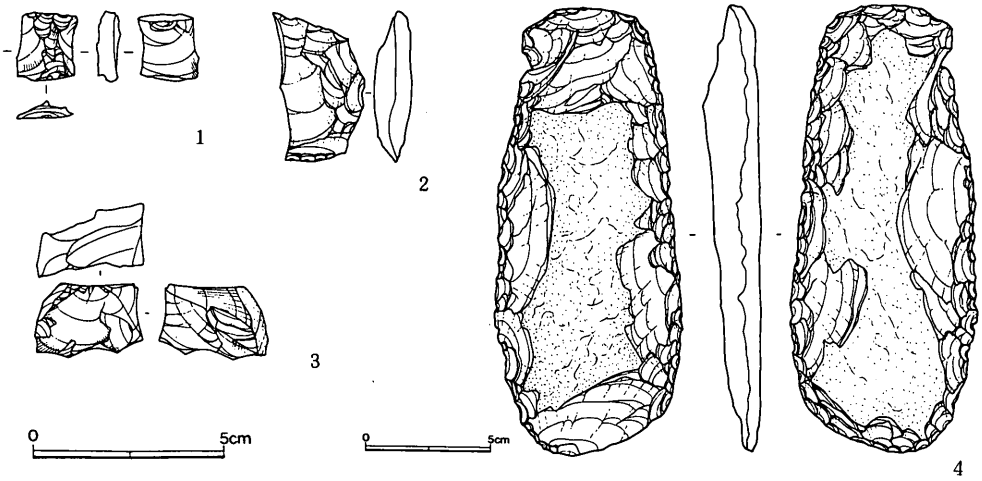


第156図　J－25号住居址（住居址＝1：80，炉＝1：40）

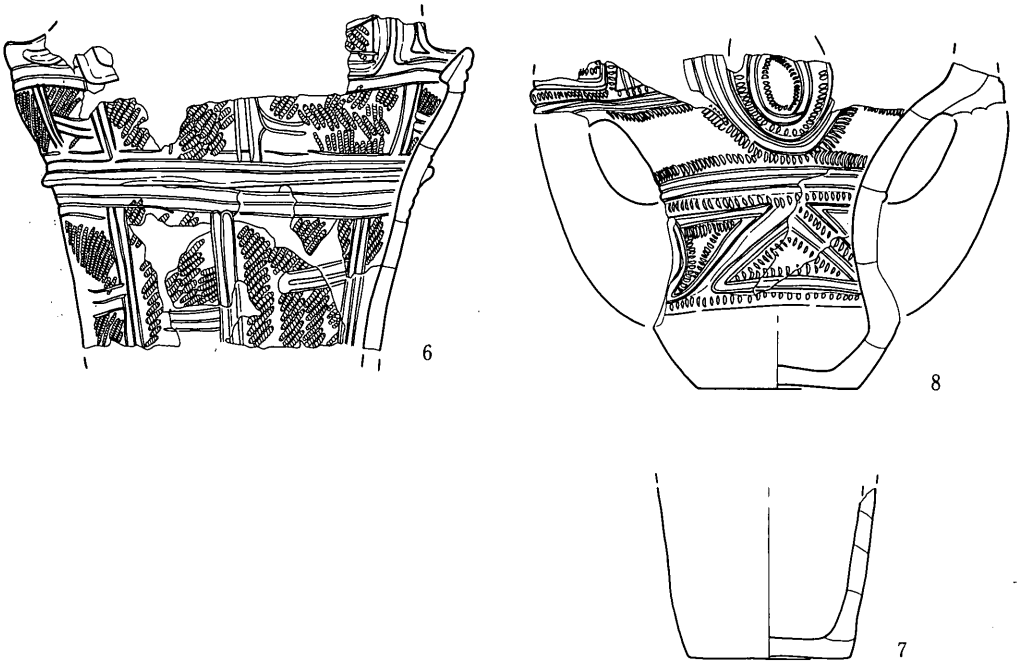
第87表　Ｊ－25号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考	挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	剥片	黒曜石	18	15	6	1.4		3	石核	黒曜石	21	31	16	9.0	
2	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	39	22	10	8.3	山本分析No.12 八風山産	4	打製石斧	安山岩	155	74	21	314.0	

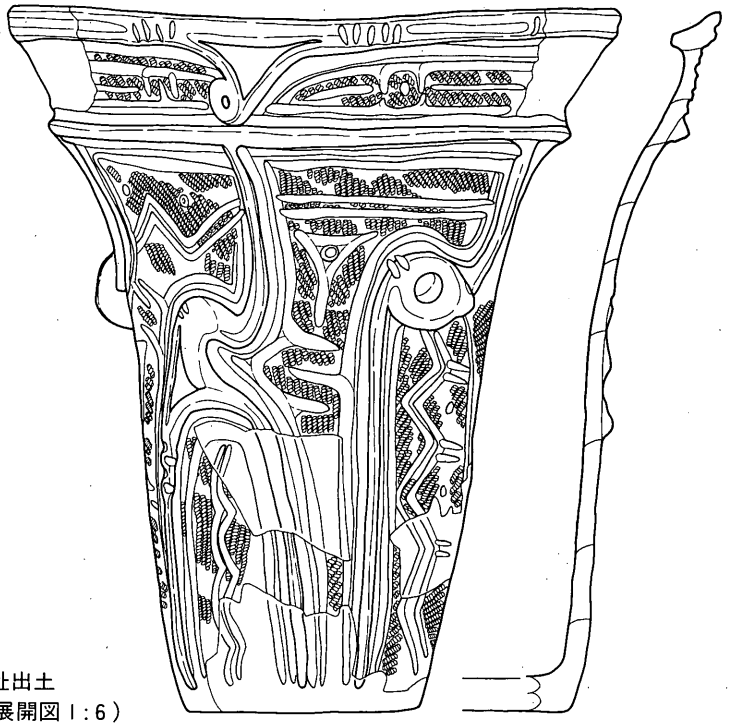
（単位mm，g）



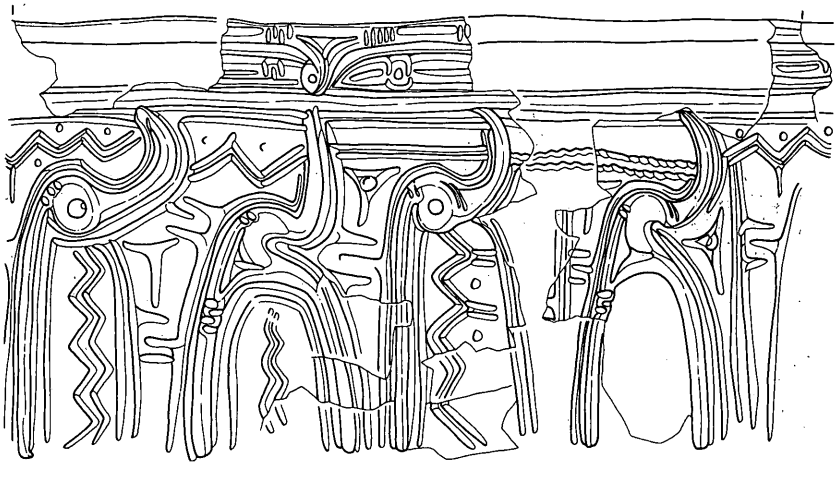
第157図　Ｊ－25号住居址出土石器（1～3＝1：2，4＝1：3）



第158図　Ｊ－25号住居址出土土器（1：4）



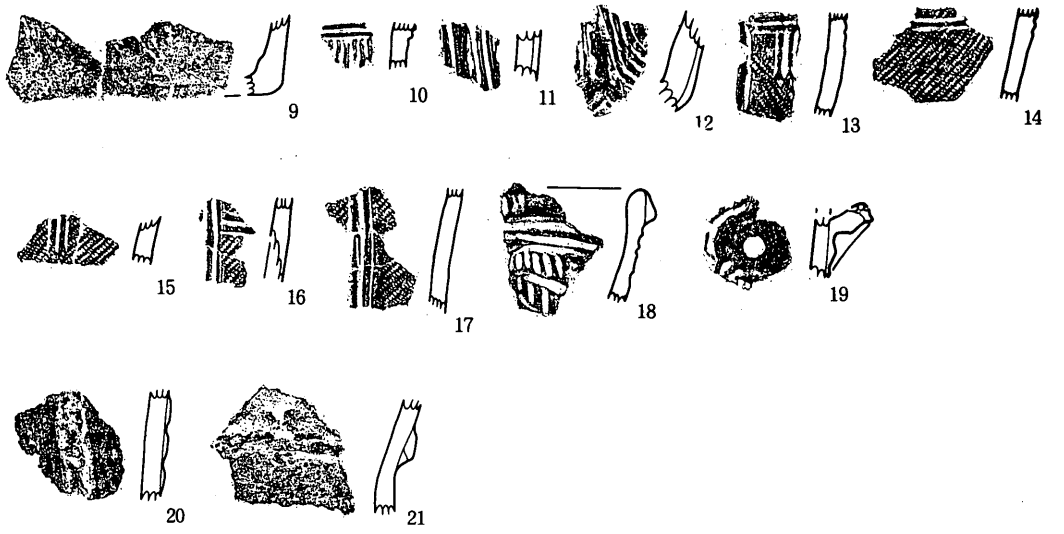
第159図　Ｊ－25号住居址出土
土器（1:4，展開図1:6）



第88表　Ｊ－25号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
6	深鉢	口縁 ～ 胴部	23.5 － －	地文縄文ＲＬ・ＬＲ 4単位の把手 沈線により方形を描く	ヨコミガキ	白色粒子をよく含む	暗赤褐色 2.5YR 3/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	2	
7	深鉢	底部	－ － 8.5		ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 7/4	橙色 5YR 6/6	通常	4	内面に炭化物附着
8	深鉢	胴部 ～ 底部	－ － 7.0	隆線により円形区画・三角形区画を描き、有節沈線を沿わせる	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 7/4	橙色 5YR 6/6	やや不良	3	

（単位cm）



第160図　J－25号住居址出土土器（1：4）

第89表　J－25号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
9	深鉢	口縁～底部	31.6 36.8 (12.0)	地文縄文ＲＬ 環状突起に結び垂下する曲隆線 玉抱三叉文		角閃石 黒雲母	にぶい橙色 5YR 7/4	橙色 5YR 6/6	通常	1	
9	深鉢	底部	－ － －		ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 7/3	橙色 5YR 6/8	通常	一括	
10	深鉢	胴部	－ － －	沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	明赤褐色 5YR 5/6	通常	3	
11	深鉢	胴部	－ － －	隆帯、沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	赤褐色 5YR 4/8	通常	一括	
12	深鉢	胴部	－ － －	隆線、沈線	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	3	
13	深鉢	胴部	－ － －	沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	明赤褐色 5YR 5/8	軟質	一括	
14	深鉢	胴部	－ － －	沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	灰褐色 5YR 4/2	橙色 5YR 6/8	軟質	一括	
15	深鉢	胴部	－ － －	沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	明赤褐色 5YR 5/8	軟質	一括	同一個体
16	深鉢	胴部	－ － －	沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	明赤褐色 5YR 5/8	軟質	一括	
17	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	明赤褐色 5YR 5/8	軟質	一括	
18	深鉢	口縁	－ － －	沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/8	通常	一括	
19	深鉢	突起	－ － －	円形突起	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	赤褐色 5YR 4/3	通常	一括	
20	深鉢	胴部	－ － －	縦位隆帯	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	軟質	一括	同一個体
21	深鉢	胴部	－ － －	横位隆帯	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/4	暗赤褐色 5YR 3/4	軟質	一括	

（単位cm）

(26) J－26号住居址

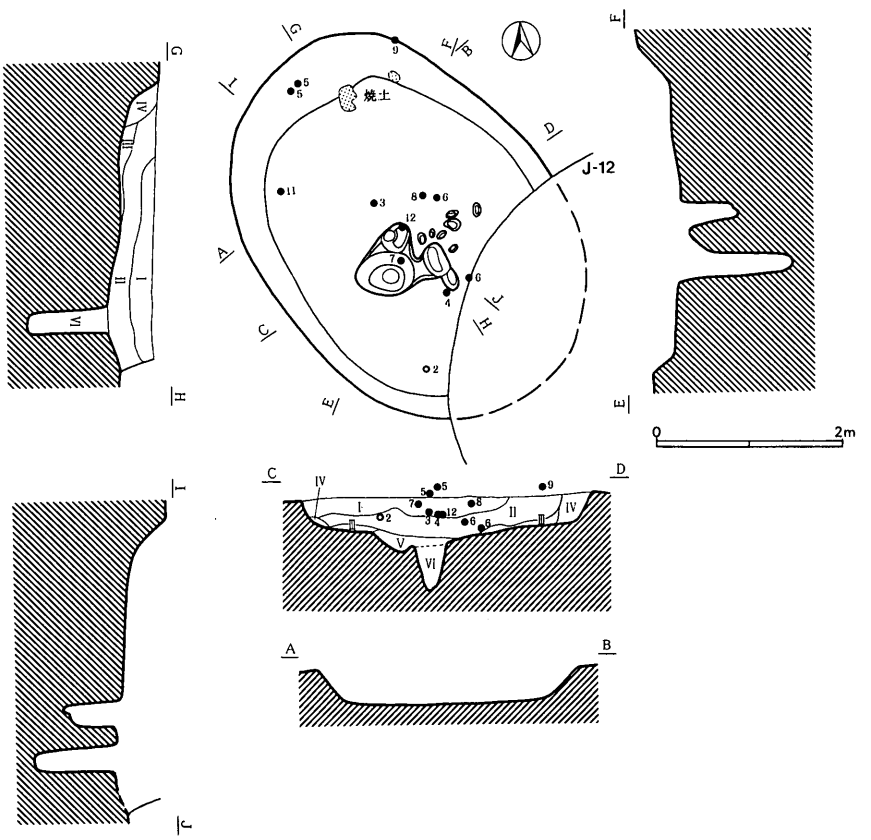
住居址　第161図

J－26号住居址は、G－12グリッドにおいて検出された。本址は縄文中期のJ－12号住居址に切られて存在している。

本址は、長軸推定4.4m・短軸3.1mの楕円形住居で、床面積は推定で7.6㎡を測る。壁の残存高は、20～30cmを測る。壁溝は認められない。

ピットは、住居の中央に3個(柱穴？)があり、それに付随して小ピットがいくつか検出された。ピットの大きさは、P_1が62×44×46cm、P_2が30×26×60cm、P_3が34×24×86cmを測る。住居の構造は、中央の柱に壁材もしくは側柱が斜めに立てかけられるようなあり方が想定される。

住居覆土は4層に分層された。I層はローム粒子を含まない黒褐色土層(10YR2/2)、II層は若干のローム粒子・カーボンをよく含む暗褐色土層（10YR3/3)、III層はカーボン・焼土をよく含む黒褐色土層（10YR3/2)、IV層はローム粒子を大量に含むにぶい黄褐色土層（10YR4/3）であっ



第161図　J－26号住居址（1：80）

た。また、ピット中の覆土は2層で、V層はカーボンを含む暗褐色土層(10YR3/3)、VI層はローム粒子を含む暗褐色土層（10YR3/4）であった。

炉

住居の壁際には、焼土ブロックが認められたが、炉は検出されなかった。

遺　物　　第162・163図・第90～92表

遺物は、石器では、石鏃（1）・打製石斧（2）が出土している。

土器は、あまり多く出土していないが、縄文前期初頭のいわゆる「中道式」に比定される土器が検出された。4は羽状構成をとる縄文、9・10はLとRの2本揃の撚糸文で格子目状の構成をみせるものである。

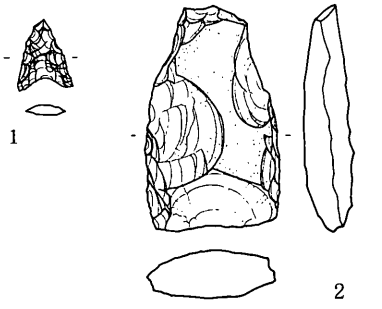
時　期

本住居址は、縄文時代前期初頭（川原田遺跡第3期）に位置付けられよう。

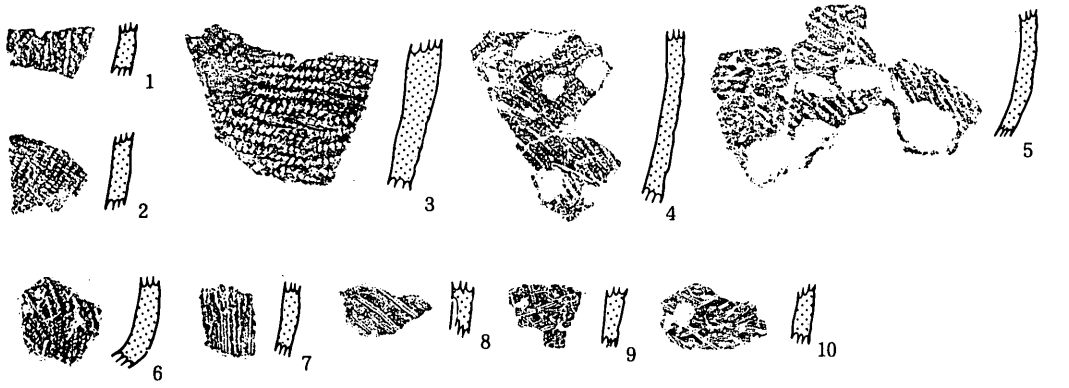
第90表　J－26号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	18	14	3	0.5	
2	打製石斧	頁岩I	89	53	18	107.8	

（単位mm, g）



第162図　J－26号住居址出土石器（1＝1：2，2＝1：3）



第163図　J－26号住居址出土土器（1：4）

第91表　J－26号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
1	深鉢	胴部	― ― ―	縄文LR 縦の沈線2条	ヨコナデ	繊維含	にぶい橙色 7.5YR 6/4	黒褐色 7.5YR 3/1	通常	41	中道式
2	深鉢	胴部	― ― ―	縄文LR	ヨコナデ	繊維含	橙色 5YR 6/8	橙色 7.5YR 7/6	通常	15	中道式

（単位cm）

第92表　Ｊ－26号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
3	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	繊維含	橙色 7.5YR 6/6	黒褐色 7.5YR 3/1	通常	49 50	中道式
4	深鉢	胴部	— — —	縄文ＬＲとＲＬによる羽状構成	不明	繊維含	橙色 7.5YR 6/6	赤褐色 5YR 4/6	不良	6 14	中道式
5	深鉢	底部付近	— — —	縄文ＬＲとＲＬによる羽状構成	不明	繊維含	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	不良	11 西列	中道式
6	深鉢	底部	— — —	縄文ＲＬ	不明	繊維含	橙色 7.5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	不良	7	中道式
7	深鉢	胴部	— — —	撚糸文	不明	繊維含	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	58	中道式
8	深鉢	胴部	— — —	ＬとＲの２本揃の撚糸文	不明	繊維含	明赤褐色 2.5YR 5/6	灰黄褐色 10YR 4/2	不良	5	中道式
9	深鉢	胴部	— — —	ＬとＲの２本揃の撚糸文 格子目構成	不明	繊維含	橙色 7.5YR 6/6	灰黄褐色 10YR 4/2	不良	44	中道式
10	深鉢	胴部	— — —	ＬとＲの２本揃の撚糸文 格子目構成	不明	繊維含	にぶい褐色 7.5YR 5/3	灰褐色 7.5YR 4/2	11	9	中道式

（単位cm）

(27)　Ｊ－27号住居址

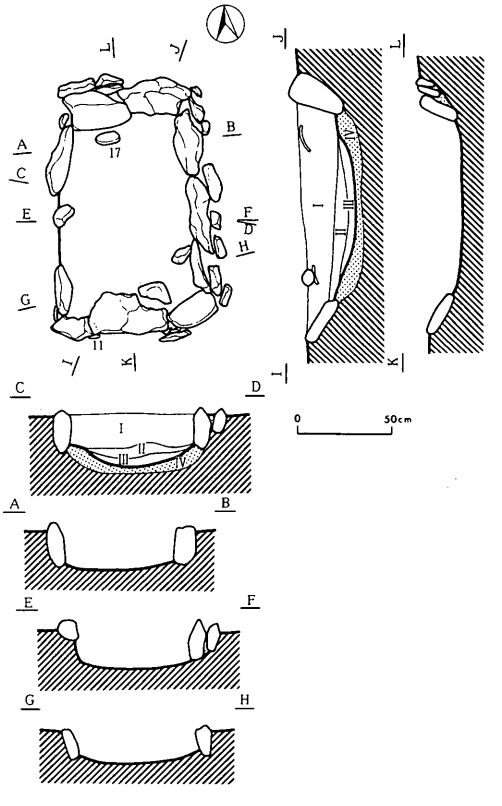
住居址　　第165図

Ｊ－27号住居址は、Ｆ－12グリッドにおいて検出された。

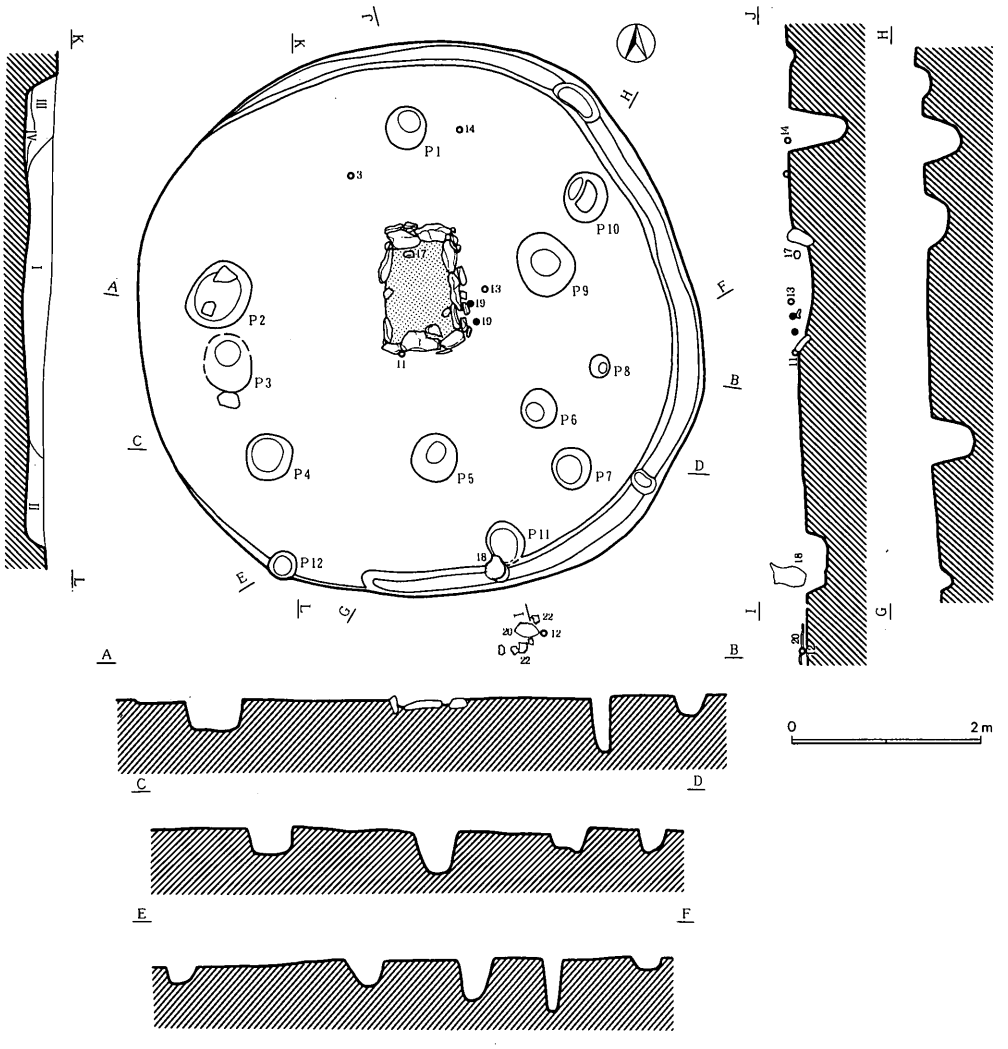
本址は、南北5.9ｍ・東西5.9ｍの円形を呈し、床面積24.8㎡を測る。上面は削平されているため壁は残らない。壁溝は、存在の確認できなかった西側を除いて検出された。その幅は20～30cmほどである。床面は貼り床である。

ピットは、P_1～P_{12}が検出された。ピットの大きさは、P_1が44×44×60cm、P_2が74×60×32cm、P_3が62×50cm、P_4が50×50×26cm、P_5が50×50×44cm、P_6が40×38×42cm、P_7が44×42×24cm、P_8が24×20×56cm、P_9が68×60×22cm、P_{10}が52×46×40cm、P_{11}が48×30×20cm、P_{12}が30×30×16cmを測る。

遺物は、18の加曽利Ｅ２の深鉢が壁際にお



第164図　Ｊ－27号住居址炉（１：40）



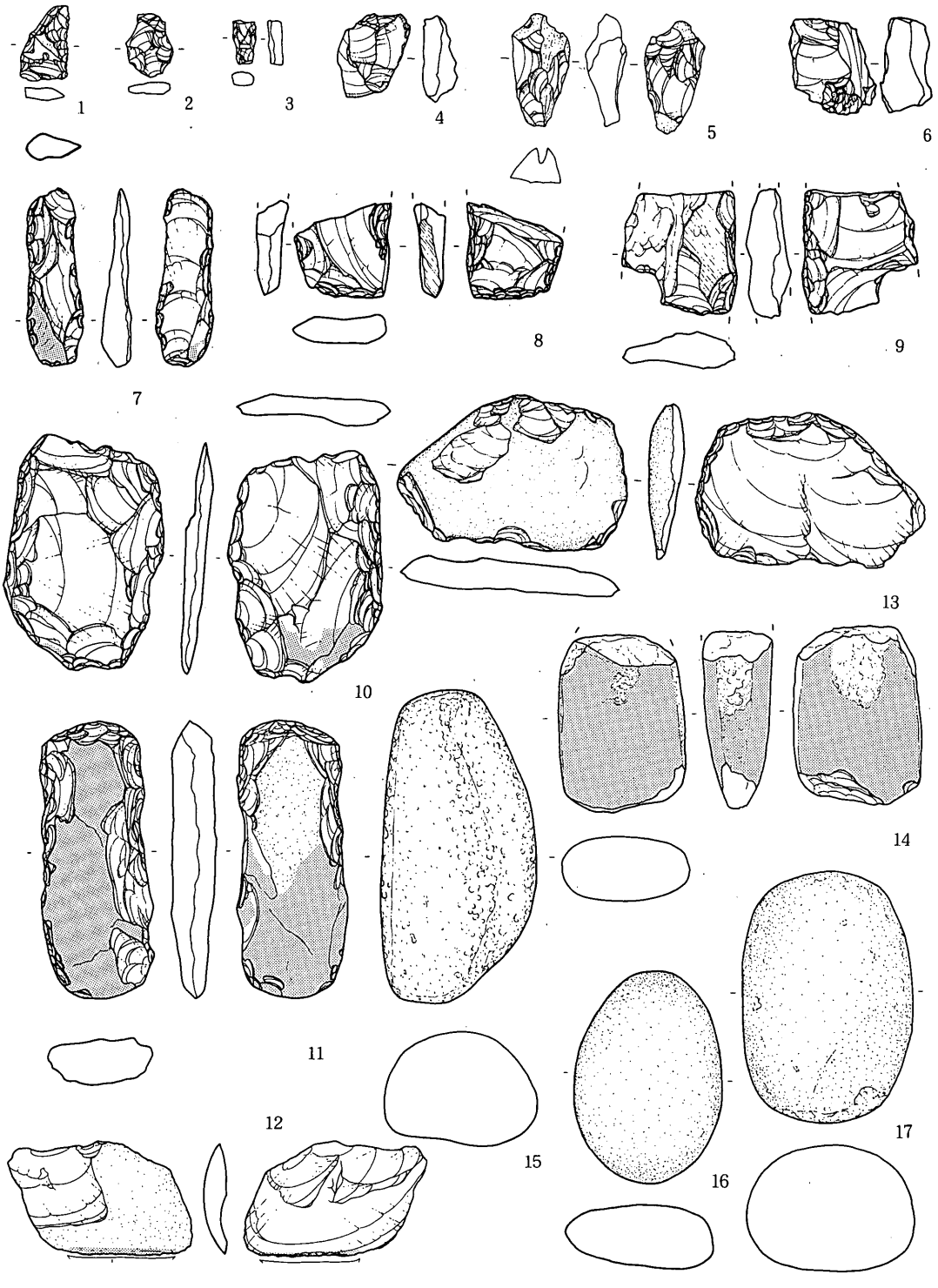
第165図　J－27号住居址（1：80）

いて立っている状態で出土した。また、20・22の土器は住居外壁際の出土である。19の深鉢破片は炉の縁より出土している。

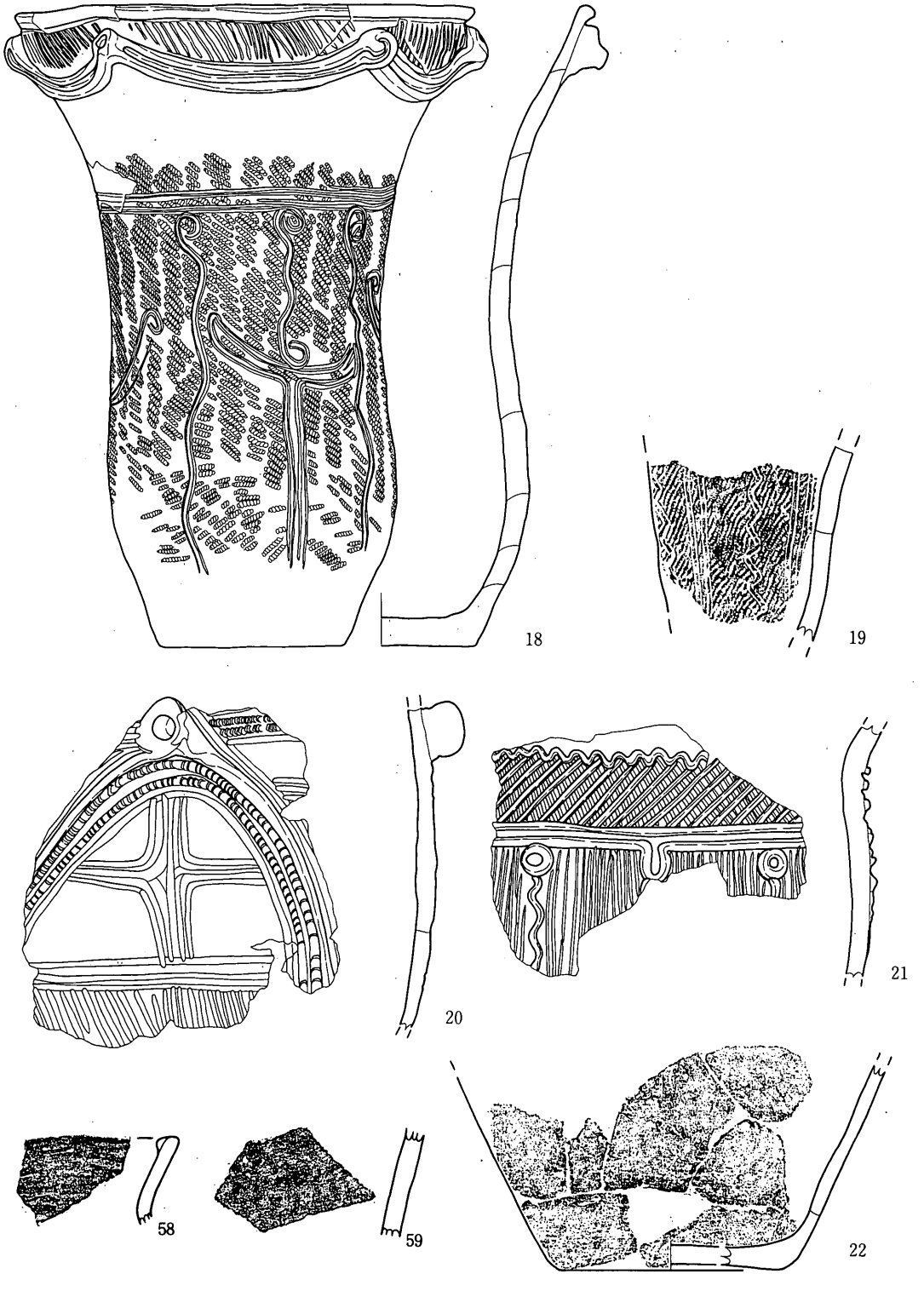
炉　　第164図

炉は、住居址のほぼ中央に存在している。扁平な安山岩礫を用いた方形の石囲い炉で、130×80cm深さ20cmを測る大形のものである。

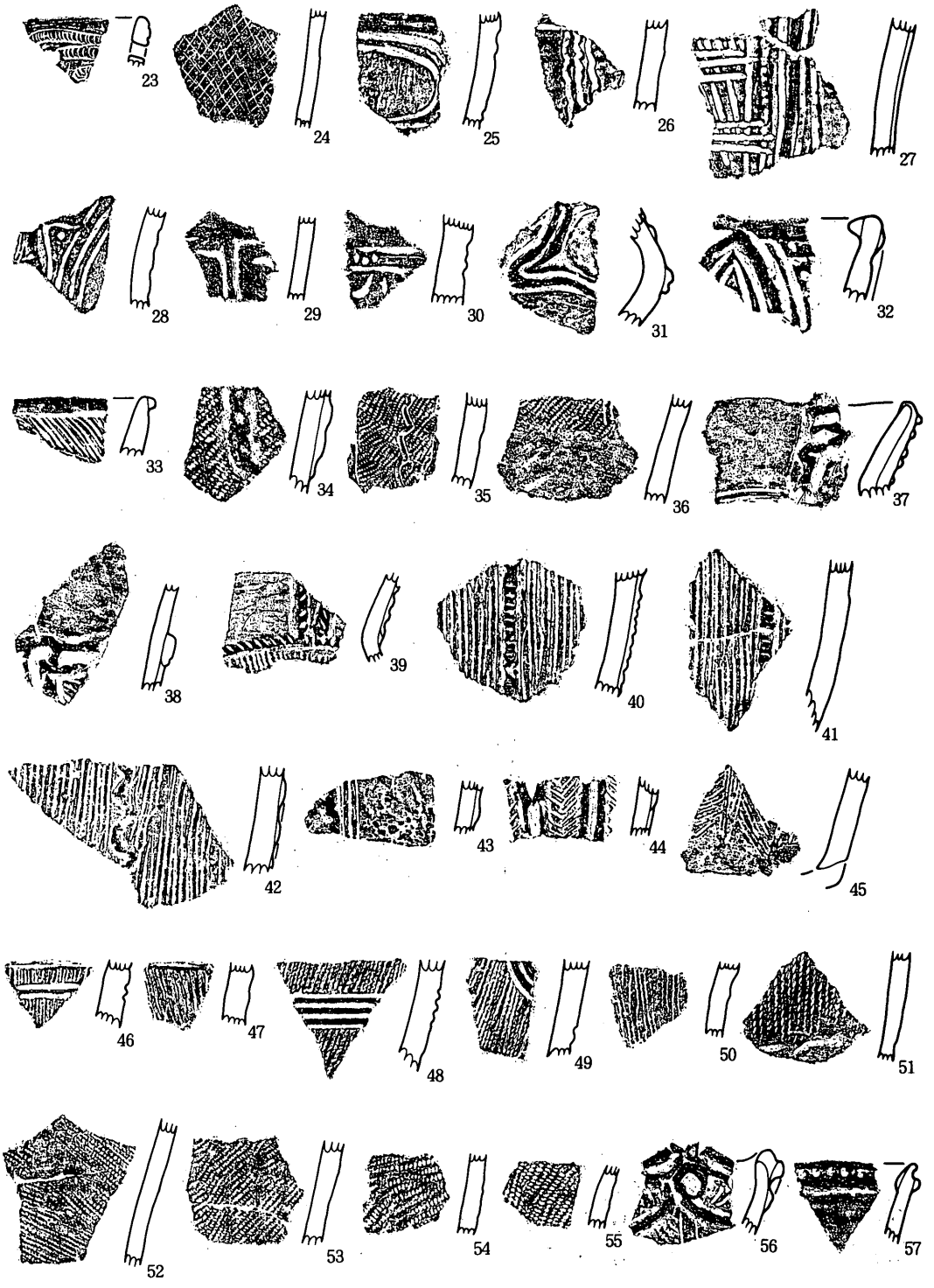
覆土は4層に分層された。I層は焼土は含まず若干のカーボンを含む暗褐色土層（10YR3/3)、II層はカーボンを多く含む灰層で明黄褐色土層(10YR6/6)、III層は焼土層で明赤褐色土層(5YR5/8)、IV層は焼土・カーボンを含まない構築土である褐色土層（10YR4/6）であった。



第166図　J－27号住居址出土石器（1～6＝1：2，7～17＝1：3）



第167図　J－27号住居址出土土器（1：4）



第168図　J－27号住居址出土土器（1：4）

遺　物　　第166～168図・第93～96表

遺物は、石器では、石鏃（1）・石鏃未成品（2）・石錐（3）・ピエス・エスキーユ（4・5）・スクレイパー（7・12・13）・石核（6）・磨製石斧（14）・打製石斧（8～11）・磨石（15～17）が出土している。

土器は、良好なものでは、18の、口縁部に2条の隆線による連弧文を施し、その内部に斜行する平行沈線を充填し、胴部に縄文の地文と蕨状の沈線などを施す加曽利E2式の深鉢がみられる。21は頸部にソーメン状の隆線を斜格子状に貼り付けたものである。48～51は撚糸文のある胴部破片である。

時　期

本住居址は、18の土器によれば縄文時代中期後葉（川原田遺跡第13期）に位置付けられよう。

第93表　J－27号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考	挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	24	14	4	1.2	欠損	10	打製石斧	頁岩I	106	72	11	91.2	欠損
2	石鏃未成品	黒曜石	19	14	4	1.1		11	打製石斧	安山岩	128	52	20	184.8	
3	石錐	黒曜石	13	17	5	0.5	欠損	12	スクレイパー	凝灰岩	54	85	12	45.5	刃部に横方向の磨耗痕あり
4	ピエス・エスキーユ	黒曜石	24	21	11	4.5		13	スクレイパー	頁岩I	67	106	17	135.2	
5	ピエス・エスキーユ	黒曜石	33	18	13	5.5		14	磨製石斧	蛇紋岩	80	58	31	272.3	三波川系石材?
6	石核	黒曜石	31	24	16	10.8		15	磨石	安山岩	97	68	29	260.0	
7	スクレイパー	頁岩I	81	27	12	22.2	打製石斧断片を再利用	16	磨石	安山岩	115	78	58	826.6	
8	打製石斧	凝灰岩	43	43	11	28.5	欠損	17	磨石	安山岩	143	73	54	896.0	
9	打製石斧	凝灰岩	57	52	16	53.7	欠損								

（単位mm，g）

第94表　J－27号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
18	深鉢	ほぼ完形	28.0 39.2 11.0	2条の隆線を弧状に連結させ内部に斜行する平行沈線 地文縄文RL	ヨコミガキ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 5YR 6/3	良好	1	
19	深鉢	胴部	－ － －	地文LR 垂下し、蛇行する沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 5YR 6/3	通常	79	
20	深鉢	胴部	－ － －	環状突起、隆線に有節沈線を沿わせる 沈線により十字を描く	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 7.5YR 6/6	通常	外2	
21	深鉢	胴部	－ － －	半隆起線に交差させ、細い粘土紐を貼り付け格子状とする。蛇行する粘土紐	ナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	明赤褐色 5YR 5/8	通常	炉内	
22	深鉢	底部	－ － (14.0)		ヨコミガキ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 5YR 6/3	通常	外2	
23	深鉢	口縁	－ － －	爪形状の連続刺突文円孔	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	101	
24	深鉢	胴部	－ － －	交差する撚糸文R	不明	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	上面	
25	深鉢	胴部	－ － －	沈線による楕円区画	ミガキ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.YR 5/6	通常	2	

（単位cm）

第95表　J－27号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
26	深鉢	胴部	— — —	3条の蛇行沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	付近	
27	深鉢	胴部	— — —	縦位・横位の沈線 縦位結節沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	2	
28	深鉢	胴部	— — —	沈線、円形刺突	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	37	
29	深鉢	胴部	— — —	沈線	タテミガキ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/8	通常	上	
30	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい橙色 7.5YR 5/4	通常	P_{10}	
31	鉢	胴部	— — —	隆帯、沈線による三叉文 内外面赤彩	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 6/3	通常	P_{10}	
32	深鉢	口縁	— — —	隆帯 沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	106	
33	深鉢	口縁	— — —	斜位沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい橙色 7.5YR 5/3	通常	一括	
34	深鉢	胴部	— — —	地文縄文LR 等間隔に押圧のなされた隆帯	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	P_{10}	
35	深鉢	胴部	— — —	地文縄文LR 鋸歯状沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	炉内	
36	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	125	
37	深鉢	口縁	— — —	2条の粘土紐を縦位に貼り付けた上に、蛇行隆帯を貼り付ける	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	明赤褐色 2.5YR 4/3	通常	上部	
38	深鉢	口辺	— — —	2条の隆帯の交差部分が渦巻き状となる	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	1	
39	深鉢	口辺	— — —	刻みのある縦・横隆帯撚糸文	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	26	
40	深鉢	胴部	— — —	刻みのある縦位隆帯 平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	19	
41	深鉢	胴部	— — —	刻みのある縦位隆帯 平行沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	炉	
42	深鉢	胴部	— — —	蛇行する隆帯 縦位平行沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	炉	
43	深鉢	胴部	— — —	縦位隆帯 平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 7/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	外1	
44	深鉢	胴部	— — —	結節する2条の縦位隆帯 逆ハの字状の沈線	ヨコミガキ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	炉	
45	深鉢	底部付近	— — —	縦位・斜位平行沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	炉	
46	深鉢	胴部	— — —	撚糸文R 平行沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい黄橙色 10YR 6/4	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	8	
47	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	7	
48	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L 横位平行沈線	不明	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
49	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L 弧状沈線	不明	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	壁溝内	
50	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	21	

（単位cm）

第96表　Ｊ－27号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
51	深鉢	底部木付	－－－	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/8	通常	P_{10}	
52	深鉢	胴部	－－－	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい黄橙色 10YR 7/4	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	P_{10}	
53	深鉢	胴部	－－－	縄文ＲＬ	ヨコミガキ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	炉内	
54	深鉢	胴部	－－－	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	通常	上部	
55	深鉢	胴部	－－－	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	暗赤褐色 5YR 3/6	通常	上部	
56	深鉢	口縁	－－－	渦巻き状突起から隆帯が派生し、楕円区画をなす	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	炉内	
57	深鉢	口縁	－－－	横位隆帯上に円形の連続刺突	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	1	
58	深鉢	口縁	－－－	内面に折り返す口縁	ヨコミガキ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	炉	
59	浅鉢	胴部	－－－	内外面赤色塗彩	ヨコミガキ	角閃石	にぶい黄橙色 10YR 7/3	にぶい黄橙色 10YR 7/3	通常	炉	

（単位cm）

(28)　Ｊ－28号住居址

住居址　　第169図

Ｊ－24号住居址は、Ｉ－13グリッドにおいて検出された。本址は、Ｊ－16号住居址に切られて存在している。また、Ｊ－41号住居址と重複するがその新旧関係は明らかでない。

本址は、南北推定4.1ｍ・東西4.5ｍの楕円形を呈し、床面積11.7㎡を測る。壁の残存高は、15～20cmを測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

ピットは認められなかった。

住居覆土は、１層のみで、Ｉ層はローム粒子を若干含む暗褐色土層（10YR3/3）であった。

遺物は、４の深鉢が直立より若干傾いた正常位で検出された。

炉

炉は、確認されなかった。

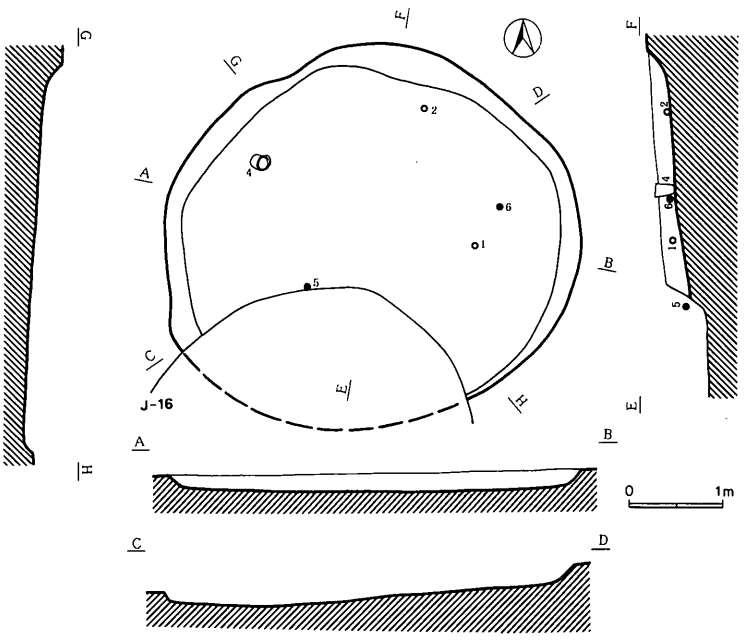
遺　物　　第170図・第97・98表

遺物は、石器では、石鏃未成品（１）・スクレイパー（２）・磨石が認められたのみである。

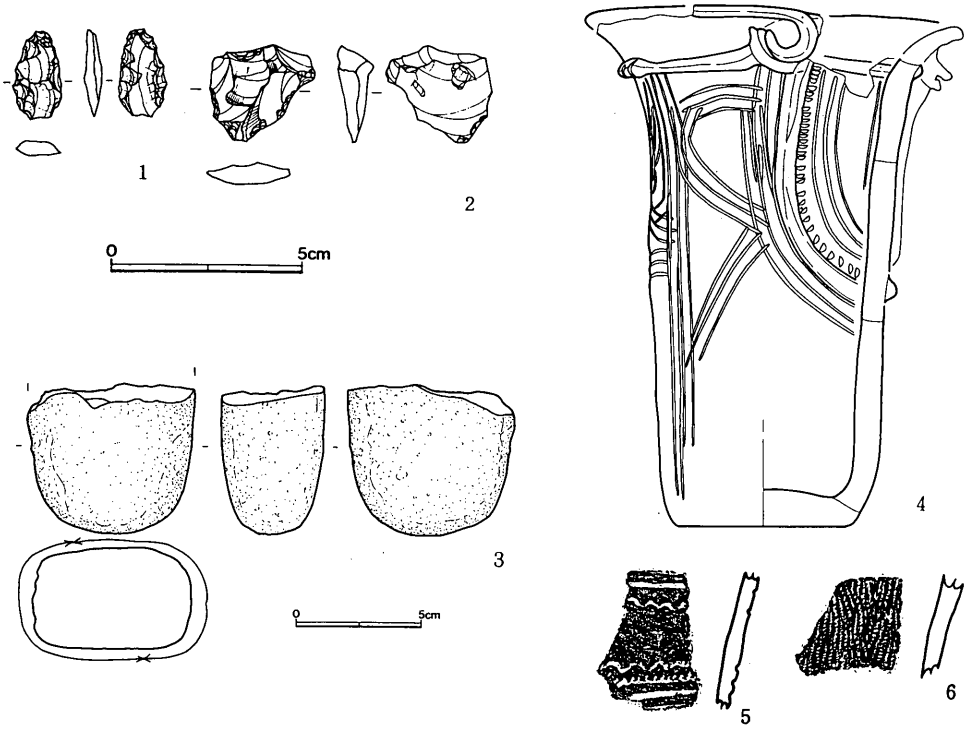
土器は、懸垂文および沈線でシンプルに器面が構成されたラッパ状の深鉢４がみられるのみで、あとは若干の破片が検出されたのみである。

時　期

本住居址は、縄文時代中期中葉（川原田遺跡第８期）に位置付けられよう。



第169図　J－28号住居址（1：80）



第170図　J－28号住居址出土遺物（1～2＝1:2，3＝1:3，4～6＝1:4）

第97表　Ｊ－28号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考	挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃未成品	ガラス質黒色安山岩	22	12	4	1.0		3	磨石	安山岩	62	69	42	237.2	欠損
2	スクレイパー	黒曜石	25	27	9	3.8									

（単位mm，g）

第98表　Ｊ－28号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
4	深鉢	口縁～底部	(18.0) 28.0 8.0	口縁の横位隆線から隆線が垂下	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常		
5	深鉢	胴部	－ － －	蛇行沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	橙色 5YR 6/6	通常	27	
6	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	通常	14	

（単位cm）

(29)　Ｊ－29号住居址

住居址　　第171図

Ｊ－29号住居址は、Ｄ－10グリッドにおいて検出された。

本址は、南北5.9ｍ・東西5.2ｍの円形を呈し、床面積21.7㎡を測る。壁高は10～20cmほどである。壁溝は、南北が切れるがそれ以外の部分からは検出された。その幅は10～20cmほどである。床面は貼り床である。壁際には多くの安山岩礫が散布していた。住居廃絶後に投棄されたものであろうか。

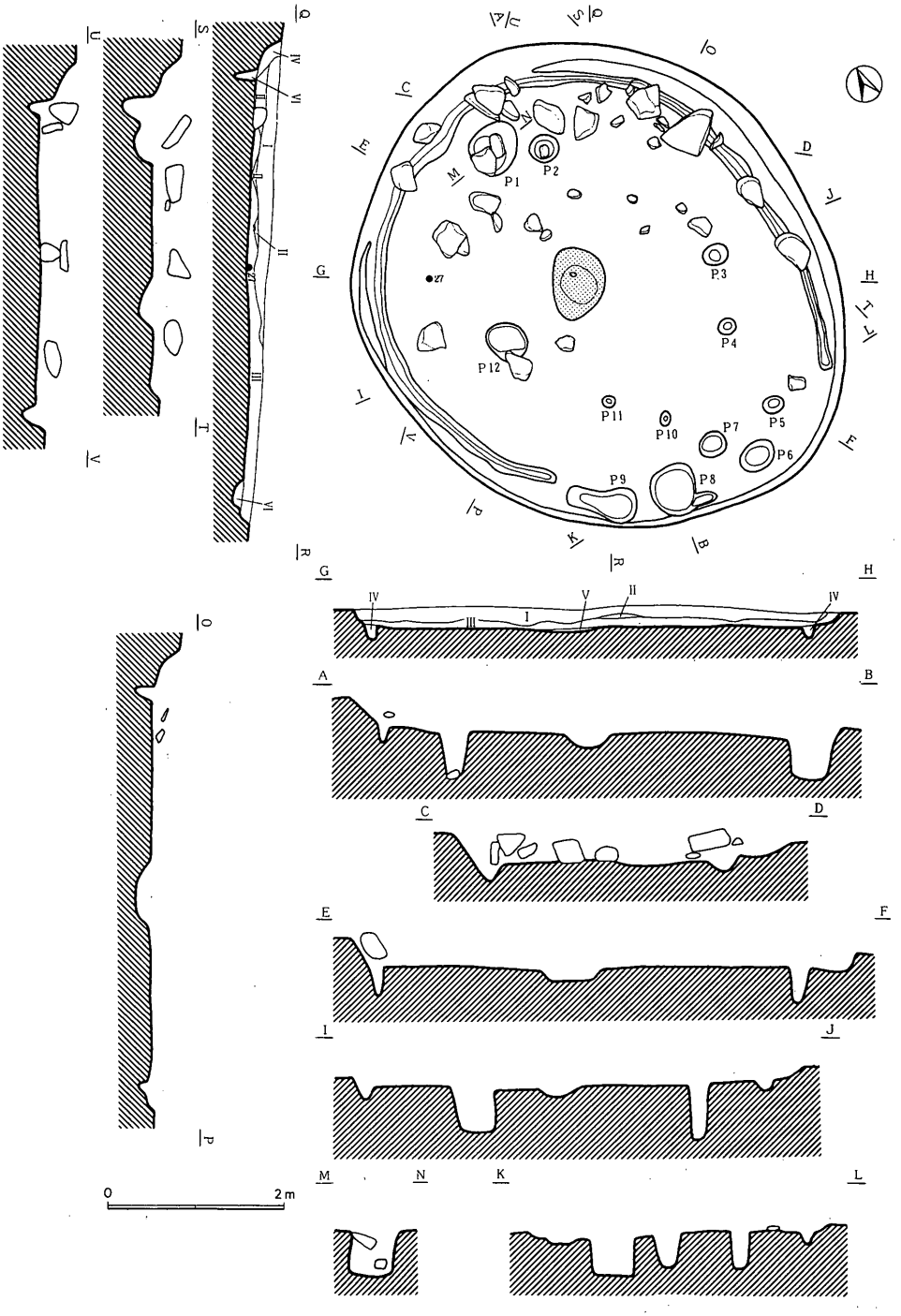
ピットは、P_1～P_{12}が壁を取り巻いて検出された。ピットの大きさは、P_1が60×52cm、P_2が34×30×50cm、P_3が30×22×60cm、P_4が20×16cm、P_5が24×18×40cm、P_6が42×30cm、P_7が30×26×36cm、P_8が58×50×40cm、P_9が80×40×10cm、P_{10}が16×10cm、P_{11}が14×12cm、P_{12}が50×42×50cmを測る。

住居覆土は６層に分層された。Ⅰ層はローム粒子をあまり含まない黒褐色土層(10YR2/3)、Ⅱ層はカーボンを多量に含む黒色土層(10YR2/1)、Ⅲ層はローム粒子を多く含む埋土とみられる黒褐色土層（10YR2/2)、Ⅳ層はローム粒子をブロック状に含む暗褐色土層（10YR3/3)、Ⅴ層は焼土層である赤褐色土層（５YR4/6)、Ⅵ層はローム粒子を若干含む暗褐色土層（10YR3/3）であった。

遺物は、良好な出土状態を示すものはない。

炉　　第172図

炉は、住居址のほぼ中央に存在している。楕円形の掘り込みをもつ地床炉で、80×60cm深さ20cmを測る。

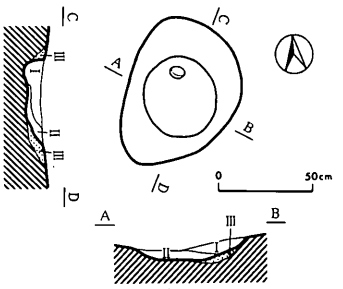


第171図　J－29号住居址（1：80）

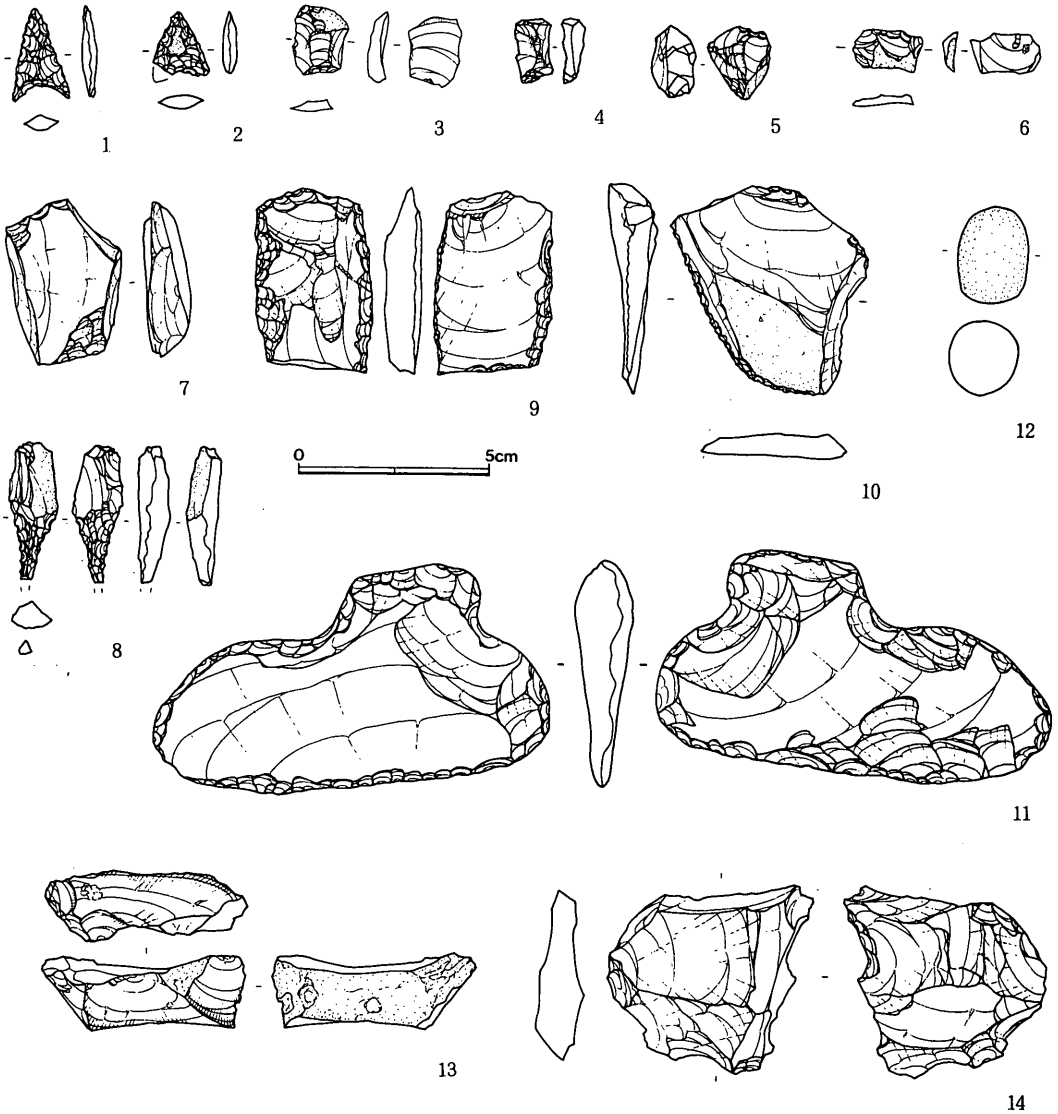
覆土は3層に分層された。I層は焼土・カーボンを若干含む黒褐色土層(10YR2/2)、II層はカーボンを含まず焼土粒子を大量に含む暗褐色土層（10YR3/3)、III層は焼土･カーボンを含まない褐色土層（10YR4/4）であった。

遺　物　　第173～177図・第99～103表

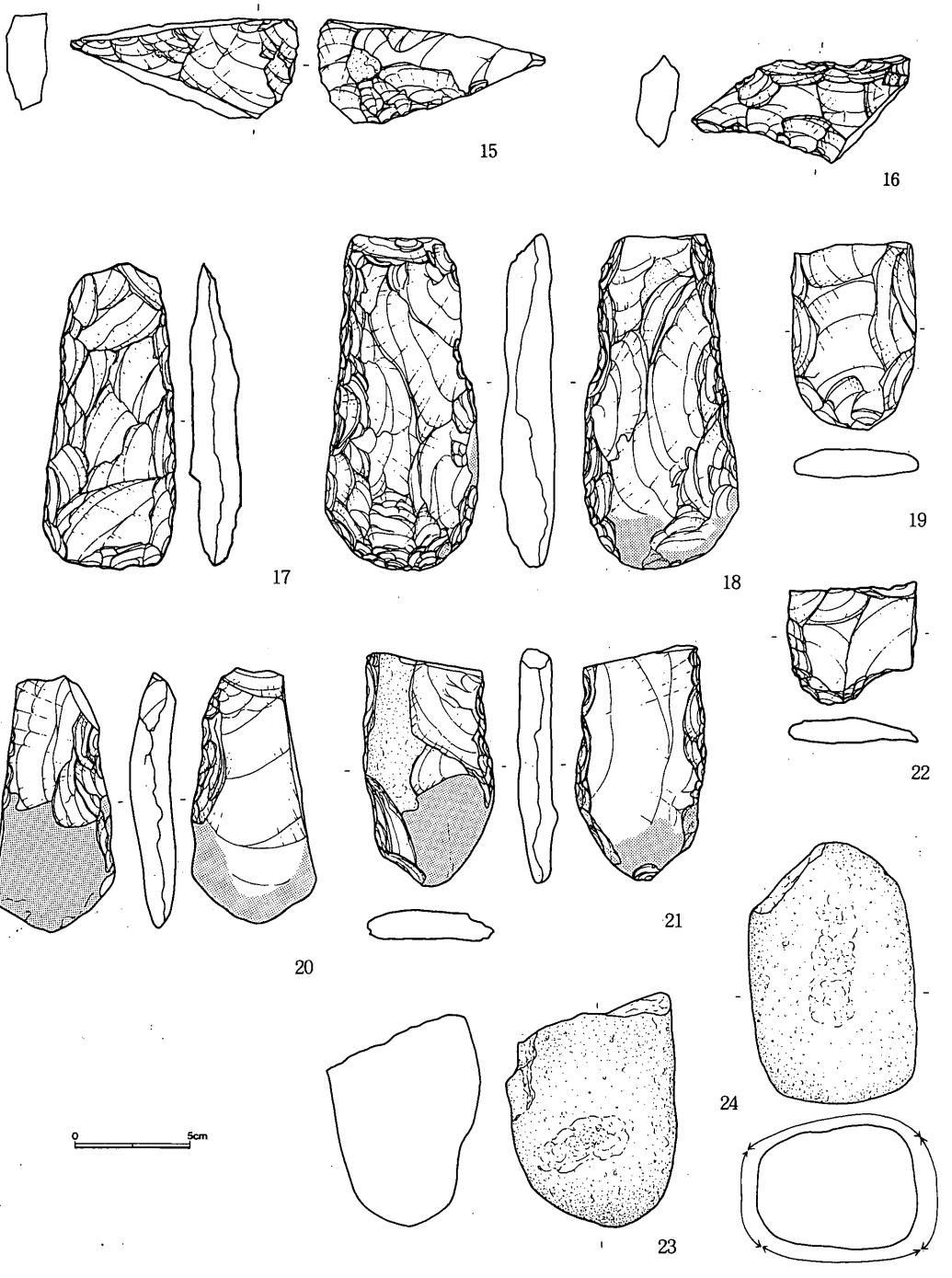
遺物は、石器では、石鏃(1・2)・石鏃未成品(3)・石錐(8)・ピエス・エスキーユ(4～7)・スクレイパー(9・10)・



第172図　J－29号住居址炉（1：40)



第173図　J－29号住居址出土石器（1：2）



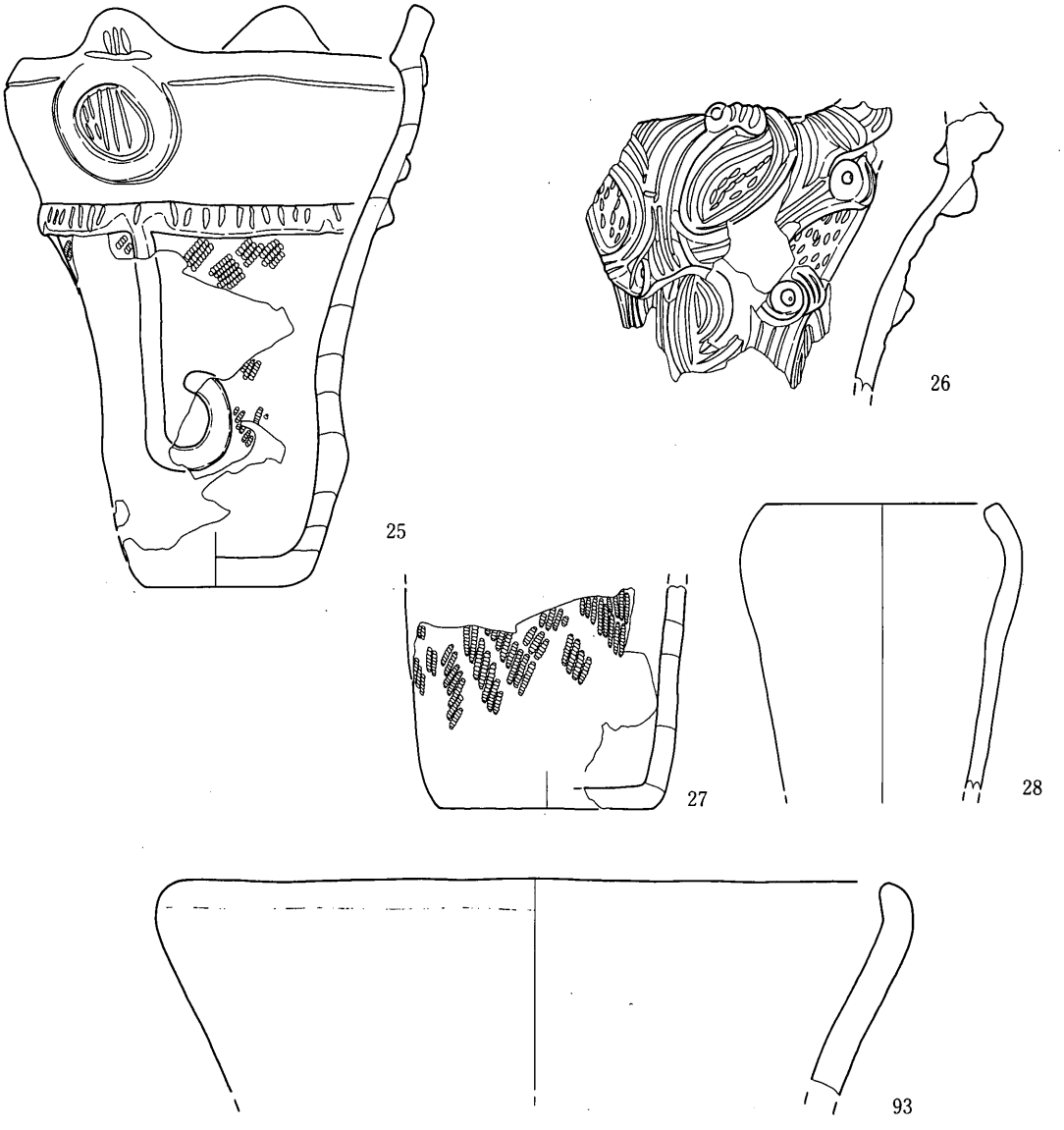
第174図　J－29号住居址出土石器（15・16＝1：2，17～24＝1：3）

石匙（11）・石核（13～16）・打製石斧（17～22）・磨石（23・24）が出土している。

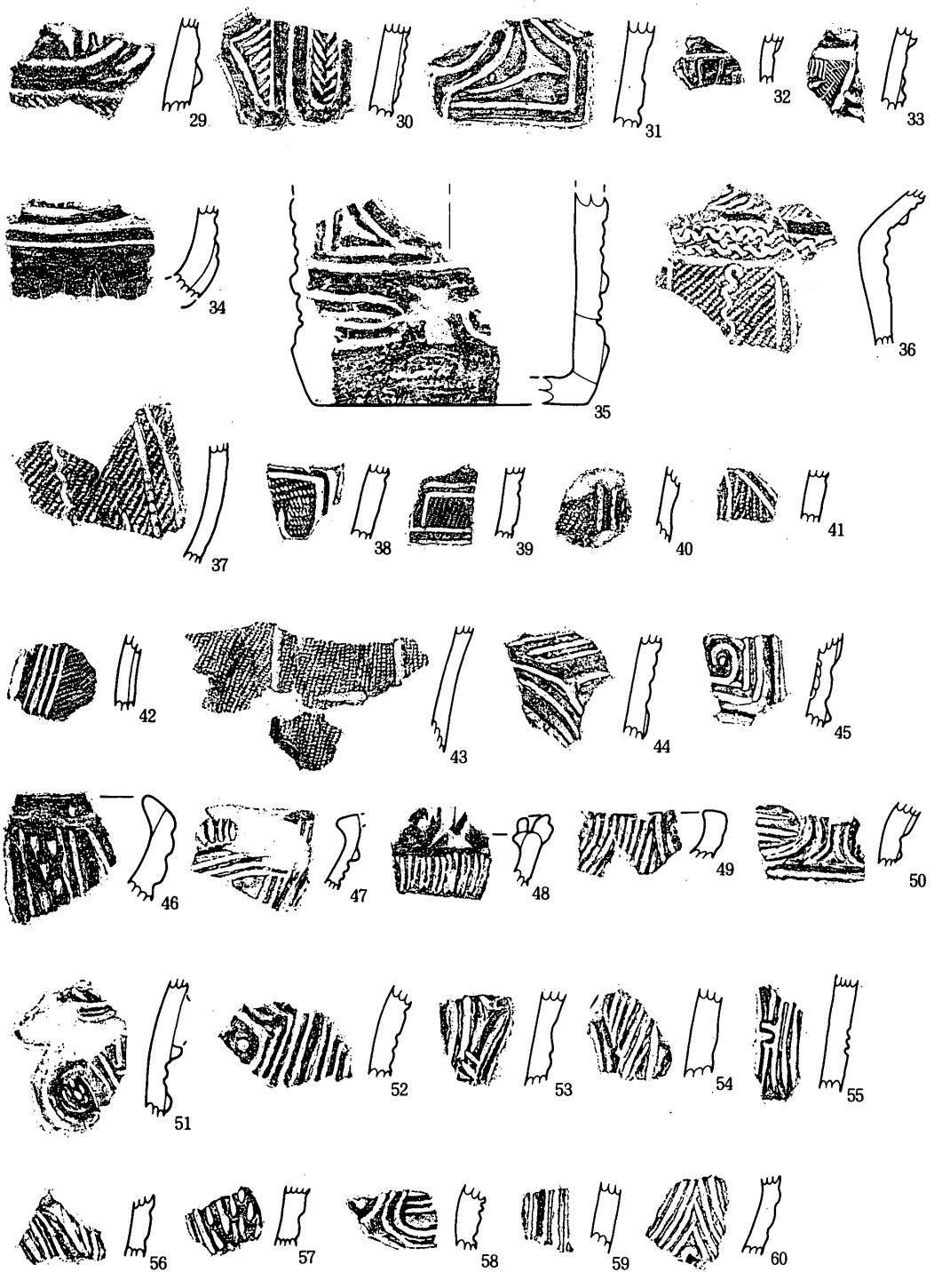
土器は、良好なものでは25の、口唇部に2単位の突起がつき、頸部を刻みのある横位隆帯が区画し、その内部には平行沈線の充填された円形区画文が、また胴部に縄文とJ字状の懸垂文が施される深鉢がみられる。また、焼町土器などの破片もみられた（26・50～58）。

時　期

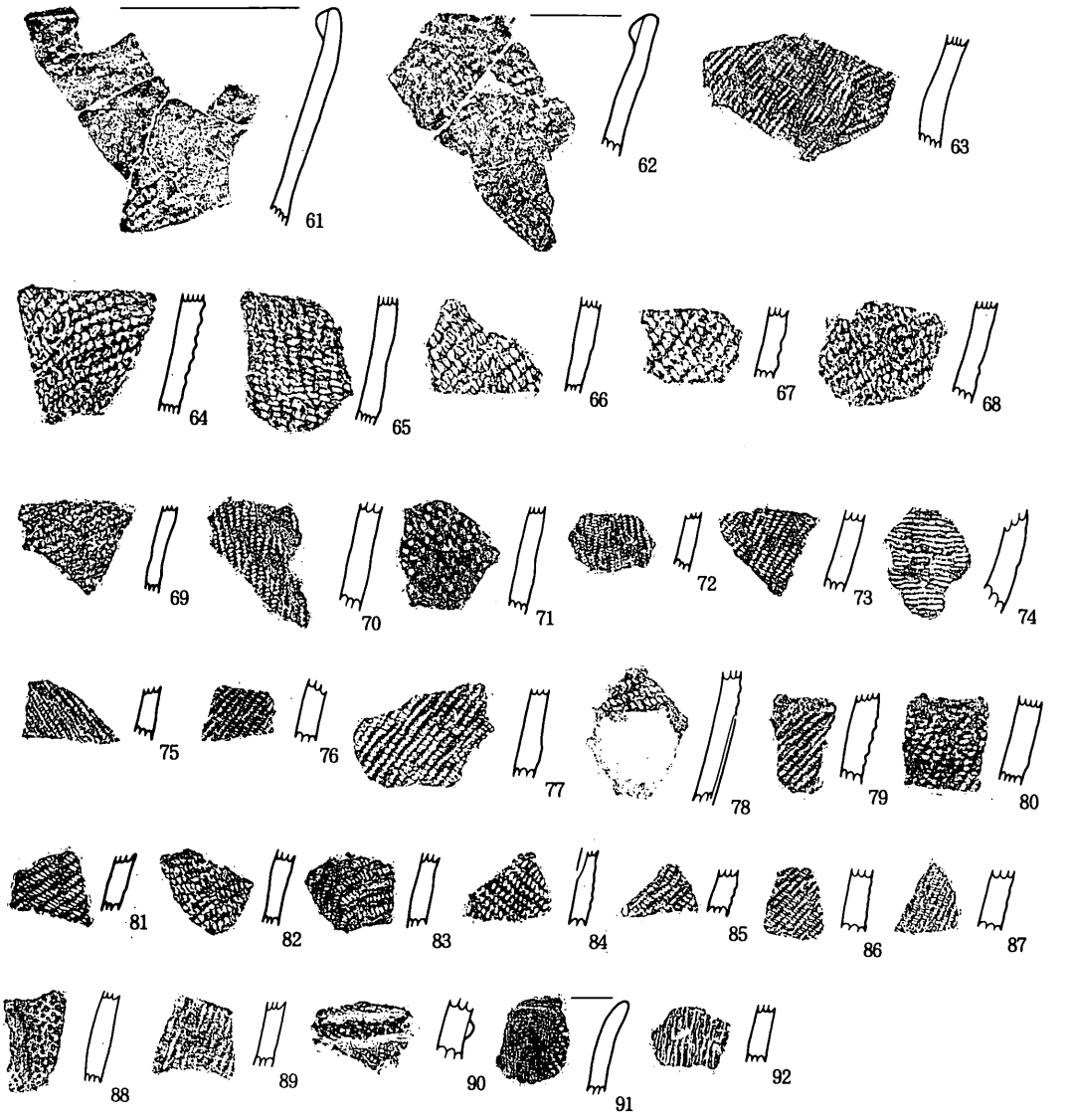
本住居址は、縄文時代中期中葉（川原田遺跡第9期）に位置付けられよう。



第175図　J－29号住居址出土土器（1：4）



第176図　J－29号住居址出土土器（1：4）



第177図　J－29号住居址出土土器（1：4）

第99表　J－29号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	チャート	24	15	4	0.8	
2	石鏃	黒曜石	16	14	3	0.6	欠損
3	石鏃未成品	黒曜石	18	14	3	1.0	
4	ピエス・エスキーユ	黒曜石	16	9	6	0.7	
5	ピエス・エスキーユ	黒曜石	18	16	11	2.7	
6	ピエス・エスキーユ	黒曜石	10	19	4	0.6	
7	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	42	28	11	18.0	山分分析No.13 八風山産
8	石錐	黒曜石	36	12	8	2.8	欠端欠損
9	スクレイパー	チャート	49	30	11	16.9	
10	スクレイパー	ガラス質黒色安山岩	55	45	7	22.3	
11	石匙	凝灰岩	54	102	15	61.8	
12	小形磨石	安山岩	26	20	19	12.8	

（単位mm，g）

第100表　J－29号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考	挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
13	石核	黒曜石	53	17	18	13.2		19	打製石斧	安山岩	80	53	14	82.6	基部欠損
14	石核	ガラス質黒色安山岩	49	50	13	32.7		20	打製石斧	安山岩	108	52	16	117.6	
15	石核	ガラス質黒色安山岩	28	65	13	24.7		21	打製石斧	安山岩	99	54	13	103.0	欠損
16	石核	ガラス質黒色安山岩	28	64	12	19.9		22	打製石斧	安山岩	50	56	11	37.8	欠損
17	打製石斧	安山岩	135	58	26	237.6		23	磨石	安山岩	100	75	63	663.4	
18	打製石斧	頁岩II	140	65	22	269.1		24	磨石	安山岩	112	70	51	641.3	

（単位mm，g）

第101表　J－29号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
25	深鉢	口縁～底部	20.2 31.0 8.0	口縁2単位の突起 隆帯による円形区画の中に縦位平行沈線、しの字状隆帯	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	住居外 南	
26	深鉢	口縁	－ － －	環状突起、コイル状突起 曲隆線、列点刺突	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 2.5YR 6/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	I区 II区	
27	深鉢	底部	－ － 11.6	縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	橙色 2.5YR 6/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	2	
28	無頸壺	口縁～胴部	(12.8) － －	無文	ヨコナデ	黒雲母	橙色 2.5YR 6/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	住居外 南	
29	深鉢	胴部	－ － －	太隆線、沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	上部付近	
30	深鉢	胴部	－ － －	三角区画内に平行沈線 太隆線上に逆ハの字状沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/3	橙色 5YR 6/6	通常	上部付近	
31	深鉢	胴部	－ － －	三叉文の沈刻 沈線	タテナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	上部付近	
32	深鉢	口辺	－ － －	三又状沈線	ヨコミガキ	黒雲母	暗赤灰色 2.5YR 3/1	灰黄褐色 10YR 6/2	通常	上部付近	
33	深鉢	胴部	－ － －	隆線 連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 7/4	にぶい橙色 5YR 7/4	通常	上部付近	
34	深鉢	底部	－ － －	横位沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 6/3	灰褐色 7.5YR 5/2	通常	II区 1層	
35	深鉢	底部	－ － －	隆帯による区画内に三叉文 楕円沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	上部付近	
36	深鉢	胴部	－ － －	横位隆線、蛇行沈線 縄文LR	ヨコナデ	角閃石	灰褐色 5YR 5/2	にぶい橙色 10YR 6/4	通常	上部付近	
37	深鉢	胴部	－ － －	縄文RL 平行沈線、蛇行沈線	ミガキ	角閃石	にぶい黄橙色 10YR 6/4	にぶい黄橙色 10YR 6/3	通常	上部付近	
38	深鉢	胴部	－ － －	沈線による区画内に縄文RL	ヨコミガキ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 5/4	橙色 5YR 6/8	通常	一括	
39	深鉢	胴部	－ － －	縄文RL 沈線による方形区画	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
40	土製円盤	－	5.2 × 4.0	平行沈線 縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	灰褐色 5YR 4/2	明赤褐色 5YR 5/6	通常	上部付近	
41	深鉢	胴部	－ － －	沈線による区画内に縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	明赤褐色 5YR 5/8	通常	上部付近	
42	深鉢	胴部	－ － －	垂下隆線、縦位隆帯 縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	明赤褐色 5YR 5/8	通常	上部付近	
43	深鉢	胴部	－ － －	縄文RL 沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	上部付近	

（単位cm）

第102表　J－29号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
44	深鉢	胴部	— — —	沈線、隆帯	ヨコナデ	黒雲母	灰褐色 5YR 4/2	橙色 7.5YR 6/6	通常	III区 III層	
45	深鉢	胴部	— — —	隆線、沈線による渦巻き文、円形刺突	不明	黒雲母	灰褐色 5YR 4/2	明赤褐色 5YR 5/6	通常	一括	
46	深鉢	口縁	— — —	垂下隆線、縦位沈線による区画内に列点刺突	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 5YR 3/1	灰褐色 5YR 4/2	通常	上部付近	
47	深鉢	口縁	— — —	隆線 密な平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	上部付近	
48	深鉢	口縁	— — —	環状突起 密な縦位平行沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
49	深鉢	口縁	— — —	密な平行沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 6/3	灰褐色 7.5YR 5/2	通常	上部付近	
50	深鉢	胴部	— — —	隆線による楕円区画 内外に平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	上部付近	
51	深鉢	胴部	— — —	隆線による環状区画 内に列点刺突	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	II区 I層	
52	深鉢	胴部	— — —	垂下隆線、縦位平行沈線、円文	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	橙色 2.5YR 6/6	通常	II区 I層	
53	深鉢	胴部	— — —	隆線、沈線	ヨコナデ	黒雲母	灰褐色 5YR 5/2	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	II区 I層	
54	深鉢	胴部	— — —	隆線、斜位平行沈線	ヨコミガキ	黒雲母多量	黒褐色 5YR 3/1	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	II区	
55	深鉢	胴部	— — —	縦位平行沈線 カギ状沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/4	橙色 5YR 6/4	通常	上部付近	
56	深鉢	胴部	— — —	縦位平行沈線	不明	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	上部付近	
57	深鉢	胴部	— — —	沈線、列点刺突	ヨコナデ	黒雲母	灰赤色 2.5YR 4/2	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	上部付近	
58	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	II区 I層	
59	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	上部付近	
60	深鉢	胴部	— — —	綾杉状沈線	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 6/3	灰褐色 7.5YR 5/2	通常	上部付近	
61	深鉢	口縁	— — —	縄文RL	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	上部付近	同一個体
62	深鉢	口縁	— — —	縄文RL	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	上部付近	
63	深鉢	胴部	— — —	縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	褐色 7.5YR 4/3	橙色 5YR 7/8	通常	上部付近	
64	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	黄橙色 10YR 8/6	浅黄橙色 10YR 8/4	通常	一括	
65	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	黄橙色 10YR 8/6	橙色 7.5YR 7/6	通常	上部付近	
66	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 6/4	橙色 7.5YR 7/6	通常	上部付近	同一個体
67	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	橙色 7.5YR 7/6	橙色 7.5YR 7/6	通常	上部付近	
68	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	にぶい黄橙色 10YR 7/4	橙色 5YR 7/6	通常	上部付近	

（単位cm）

第103表　J－29号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
69	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	不明	角閃石	にぶい黄褐色 10YR 5/3	にぶい黄橙色 10YR 6/3	通常	上部付近	
70	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/8	にぶい黄橙色 10YR 6/3	通常	上部付近	
71	深鉢	胴部	― ― ―	縄文？ あるいは浅い列点押圧か？	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
72	土製円盤	―	4.6×3.4	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 7.5YR 3/1	橙色 7.5YR 6/6	通常	上部付近	
73	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	明褐色 7.5YR 5/6	にぶい黄褐色 10YR 5/4	通常	II区 I層	
74	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/8	通常	上部付近	
75	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	にぶい黄橙色 10YR 7/3	灰黄褐色 10YR 5/2	通常	II区 I層	
76	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/8	褐色 7.5YR 4/4	通常	II区 I層	
77	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/8	橙色 5YR 6/8	通常	上部付近	
78	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	上部付近	
79	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	明黄褐色 10YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	上部付近	
80	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい黄橙色 10YR 6/4	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	上部付近	
81	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 7/8	通常	上部付近	
82	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	上部付近	
83	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	上部付近	
84	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＲＬ	不明	黒雲母	橙色 2.5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	上部付近	
85	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	にぶい黄褐色 10YR 4/3	にぶい黄褐色 10YR 5/4	通常	上部付近	
86	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	II区 III層	
87	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	黒褐色 5YR 3/1	にぶい赤褐色 5YR 4/3	通常	II区 I層	
88	深鉢	胴部	― ― ―	縄文？ 不鮮明	不明	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	橙色 5YR 6/8	通常	上部付近	
89	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/8	橙色 7.5YR 6/6	通常	II区 III層	
90	深鉢	胴部	― ― ―	横位隆線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
91	深鉢	口縁	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 7/8	通常	II区 I層	
92	深鉢	胴部	― ― ―	撚糸文Ｌ	タテナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	上部付近	
93	深鉢	口縁	(38.8) ― ―	口縁は無文	ナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	上部付近	

（単位cm）

(30)　Ｊ－30号住居址

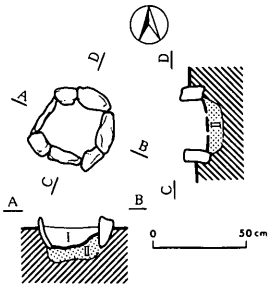
住居址　　第178図

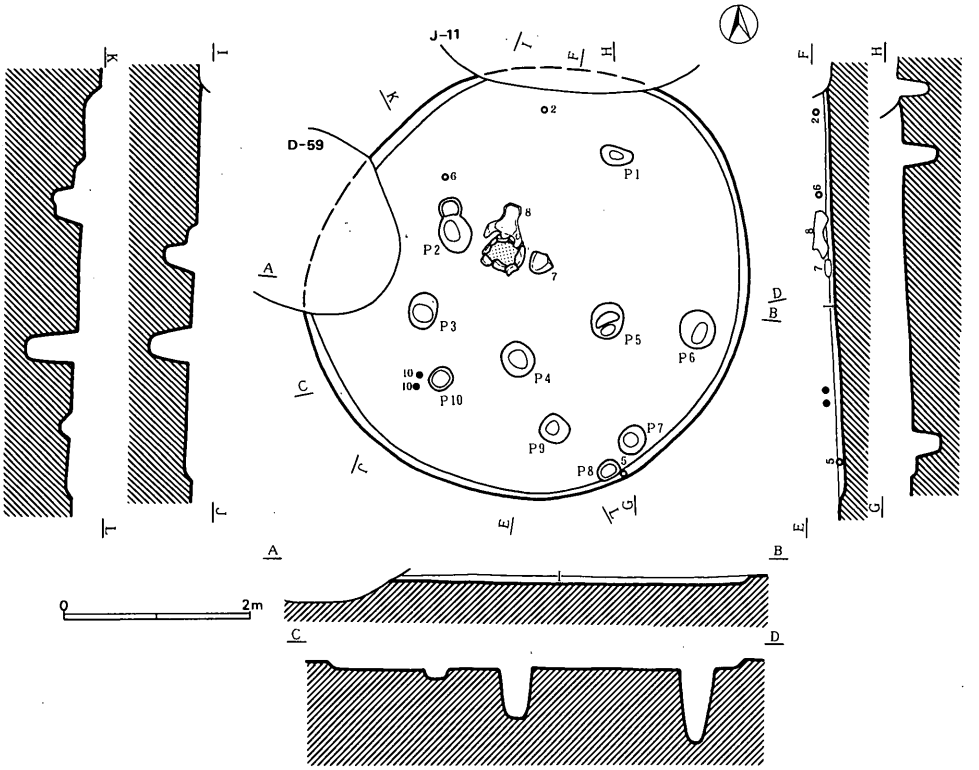
Ｊ－30号住居址は、Ｈ－12グリッドにおいて検出された。本址は縄文中期のＪ－11号住居址に切られて存在している。またＤ－59号土坑と重複するが新旧関係はとらえられなかった。

本址は、南北4.6ｍ・東西4.8ｍの円形住居で、床面積は推定で15.4㎡を測る。壁の残存高は、10cm前後を測る。壁溝は認められない。

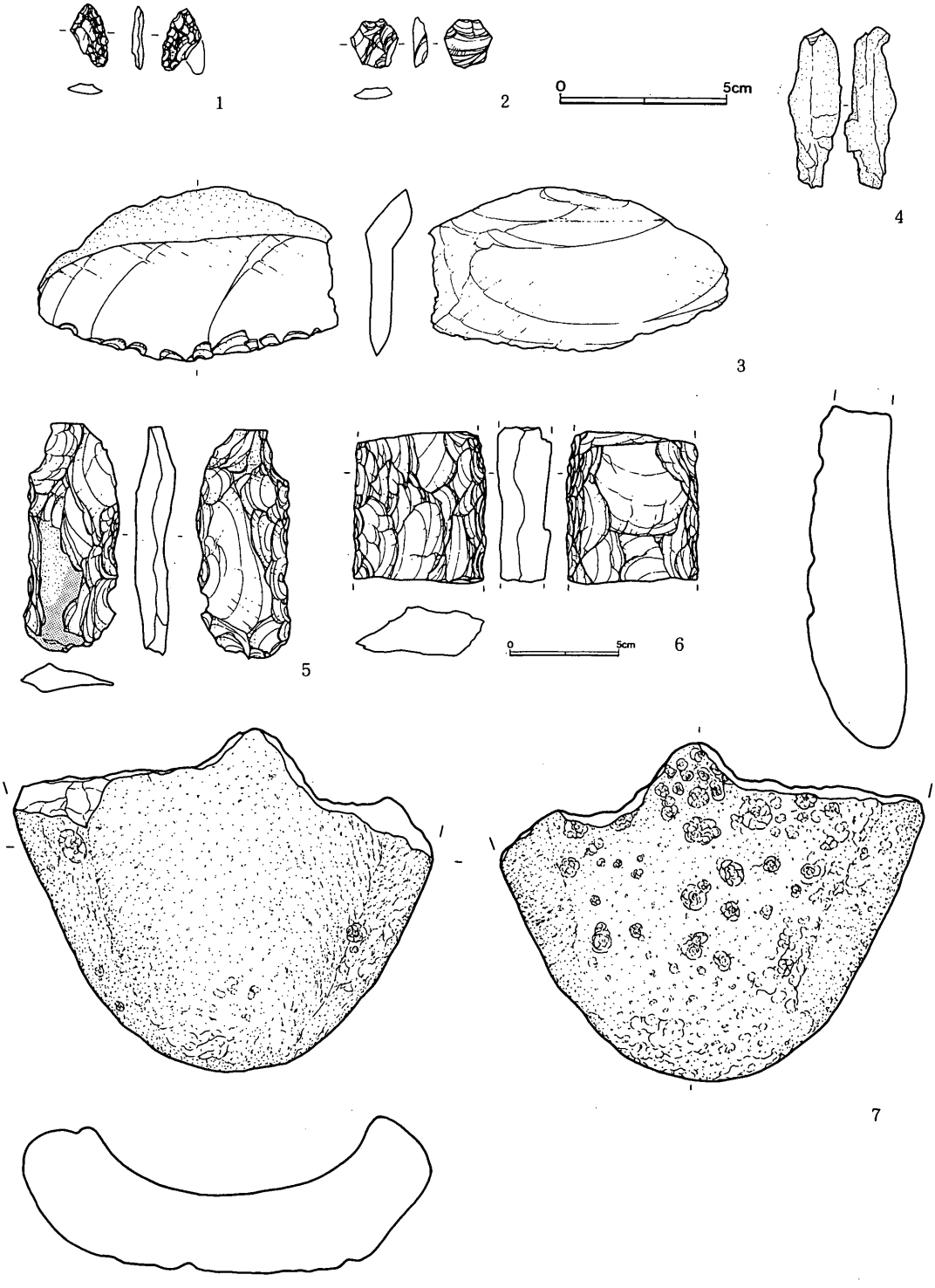
ピットは、10個が検出された。対をなし主柱穴と考えられるのはP_1・P_3・P_6・P_9の４個である。ピットの大きさは、P_1が34×20×36cm、P_2が40×34×30cm、P_3が36×30×42cm、P_4が36×36×54cm、P_5が36×34cm、P_6が42×36×76cm、P_7が32×26×26cm、P_8が24×18cm、P_9が32×30×10cm、P_{10}が26×22×10cmを測る。

住居覆土は１層のみで、Ⅰ層はローム粒子をよく含む黒褐色土層（10YR3/2）であった。





第178図　Ｊ－30号住居址（住居＝Ⅰ：80，炉＝Ⅰ：40）



第179図　J－30号住居址出土石器（1～4＝1:2，5・6＝1:3，7＝1:4）

遺物は、７の石皿と８の深鉢が炉の脇の床面直上より出土している。

炉　　第178図

炉は、住居址のほぼ中央に存在している。扁平な安山岩礫を用いた方形の石囲い炉で、40×45cm深さ10cmを測る。

層位は２層に分層された。Ⅰ層は焼土･カーボンを含む褐色土層（10YR4/6)、Ⅱ層はロームによる火床の構築土で黄褐色土層（10YR5/8）である。

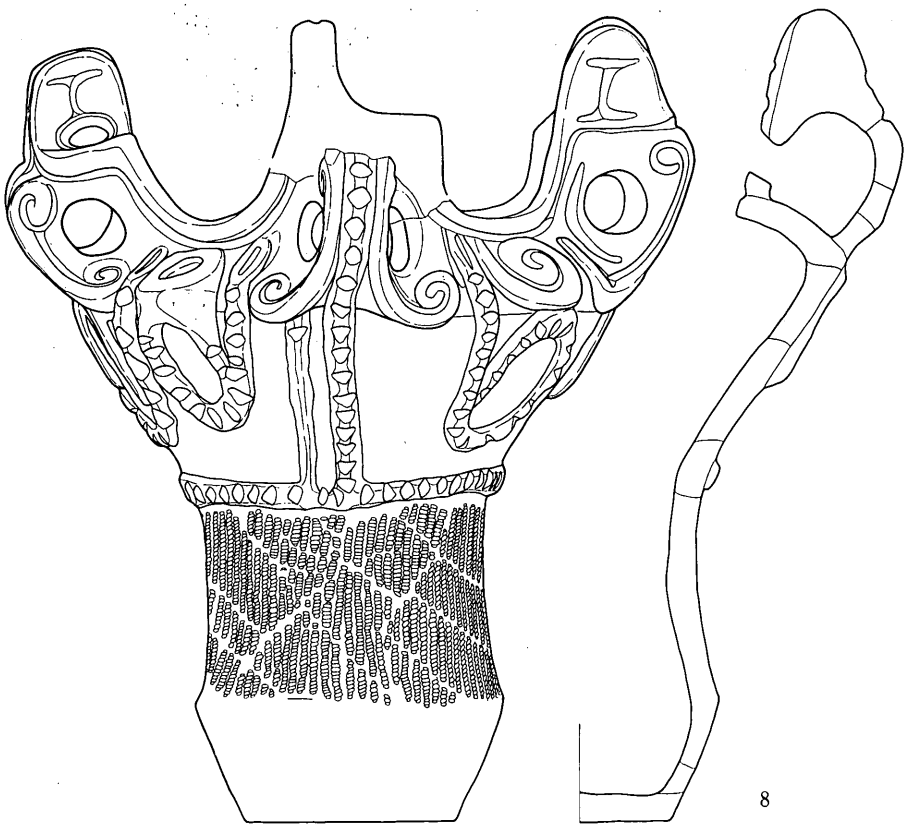
遺　物　　第179～181図・第104～106表

遺物は、石器では、石鏃（１）･ピエス･エスキーユ（２）･スクレイパー（３）･黒曜石原石（４）･打製石斧（５・６）･石皿（７）が出土している。

土器は、良好なものでは８の、沈線の刻まれた４単位の大形把手が、口縁部に棒状工具による連続した押圧を施した隆帯がつき、胴部に縄文の施されたキャリパー形の深鉢である。

時　期

本住居址は、縄文時代中期中葉（川原田遺跡第11期）に位置付けられよう。

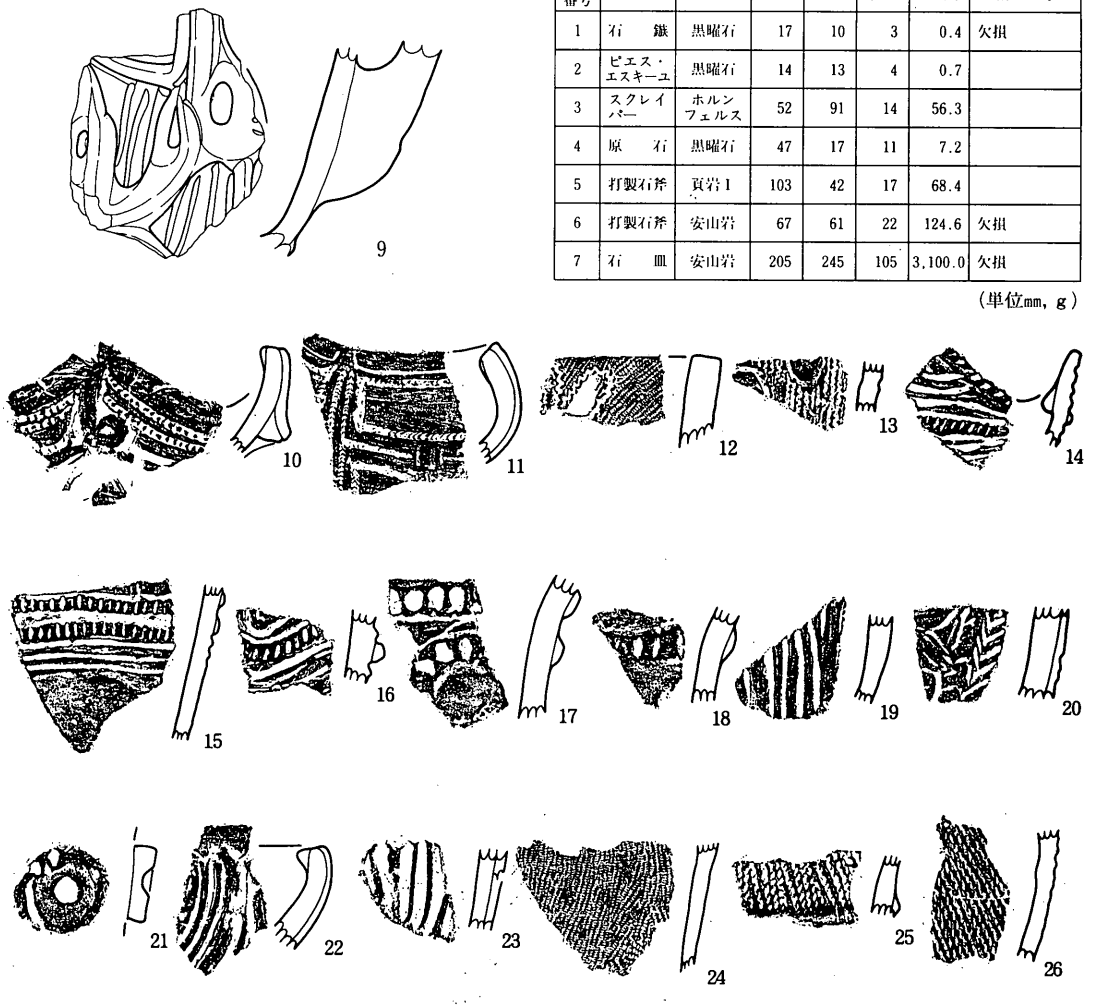


第180図　Ｊ－30号住居址出土土器（１：４）

第104表　J－30号住居址出土遺物一覧表　<石器>

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	17	10	3	0.4	欠損
2	ピエス・エスキーユ	黒曜石	14	13	4	0.7	
3	スクレイパー	ホルンフェルス	52	91	14	56.3	
4	原石	黒曜石	47	17	11	7.2	
5	打製石斧	頁岩Ⅰ	103	42	17	68.4	
6	打製石斧	安山岩	67	61	22	124.6	欠損
7	石皿	安山岩	205	245	105	3,100.0	欠損

（単位mm，g）



第181図　J－30号住居址出土土器（1：4）

第105表　J－30号住居址出土遺物一覧表　<縄文土器>

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
8	深鉢	口縁～底部	(20.5) 42.0 11.0	キャリパー形、円形の透かしのある立体把手4単位がつくオサエの連続する隆帯、縄文RL	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 5YR 6/8	良好	1	
9	深鉢	口辺	— — —	環状突起、甲高の隆帯	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 5YR 6/8	良好	1	
10	深鉢	口縁	— — —	隆線が環状突起部で結合 結節沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	96	
11	鉢	口縁	— — —	十字に交差する隆帯上にペン先状刺突文	ヨコミガキ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 7/4	灰黄褐色 10YR 6/2	通常	1付近	
12	深鉢	口縁	— — —	鋸歯状沈線による楕円文 縄文LR	ヨコミガキ	角閃石	にぶい褐色 7.5yr 6/3	灰褐色 7.5yr 5/2	良好	1付近	

（単位cm）

第106表　J－30号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
13	深鉢	胴部	― ― ―	撚糸文L 沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	1付近	
14	深鉢	口縁	― ― ―	刻みのある口脊 刻みのある斜位隆帯に平行する沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1付近	
15	深鉢	胴部	― ― ―	刻みのある横位隆帯 横位平行沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	46	
16	深鉢	胴部	― ― ―	刻みのある隆帯 平行沈線	ヨコナデ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	1付近	
17	深鉢	胴部	― ― ―	連続押圧のある隆帯	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	1付近	
18	深鉢	胴部	― ― ―	連続押圧のある横位隆帯	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1付近	
19	深鉢	胴部	― ― ―	縦位沈線	ヨコナデ	黒雲母	灰褐色 5YR 4/2	にぶい黄橙色 10YR 7/3	通常	1付近	
20	深鉢	胴部	― ― ―	隆線 逆ハの字状沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	黒褐色 5YR 2/1	通常	59	
21	深鉢	突起	― ― ―	若干の刻みのある環状突起	不明	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	107	
22	深鉢	口縁	― ― ―	曲隆帯、沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 6/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	1付近	
23	深鉢	胴部	― ― ―	縦位沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	13	
24	深鉢	胴部	― ― ―	縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1付近	
25	深鉢	胴部 下半	― ― ―	撚糸文R	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1付近	
26	深鉢	胴部	― ― ―	撚糸文	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/6	暗赤褐色 5YR 3/3	通常	一括	

（単位cm）

(31)　J－31号住居址

住居址　　第182図

J－31号住居址は、I－11グリッドにおいて検出された。本址は縄文中期のJ－19号住居址・たD－100号土坑に切られて存在している。

本址は、長軸4.5m・短軸4.1mの円形を呈し、床面積12.5m²を測る。壁高は10～30cmほどである。壁溝は認められない。床面は貼り床である。また、その西北の壁は棚状に一段高くなっていた。

ピットは、P_1～P_5が検出された。ピットの大きさは、P_1が28×26×40cm、P_2が26×20×50cm、P_3が20×20×30cm、P_4が28×22×60cm、P_5が30×26×24cmを測る。

遺物は、9の石皿がP_4脇の床面直上より出土した。それ以外に良好な出土状況のものは認められない。

炉　　第182図

炉は、住居址のほぼ中央に存在している。扁平な安山岩礫を用いた方形の石囲い炉で、40×30cm深さ20cmを測る大形のものである。

覆土は2層に分層された。I層は焼土は含まずカーボンを大量に含む黒褐色土層（10YR3/1)、II層は焼土粒子を若干含む黄褐色土層（10YR5/6）であった。

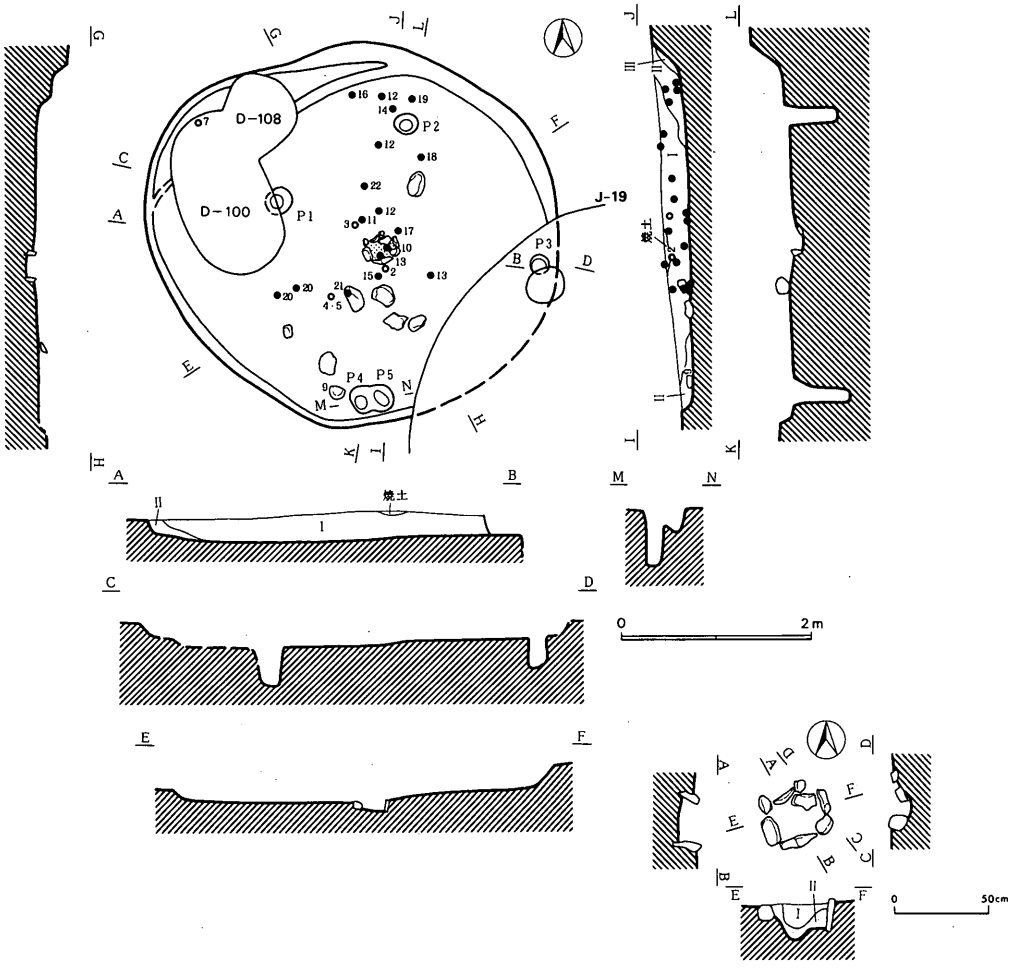
遺　物　　第183・184図・第107・108表

遺物は、石器では、石鏃（1）・石錐（2）・ピエス・エスキーユ（3～5）・石核（6～8）・石皿（9）が出土している。

土器は、焼町土器の小破片13～17ほか小片が認められるにすぎない。

時　期

本住居址は、縄文時代中期中葉に位置付けられよう。

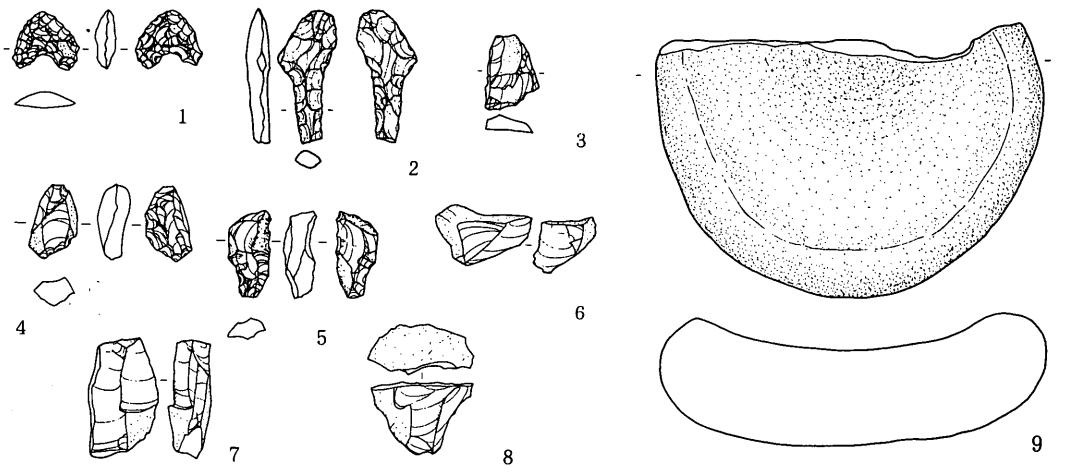


第182図　J－31号住居址（住居＝Ⅰ：80，炉＝Ⅰ：40）

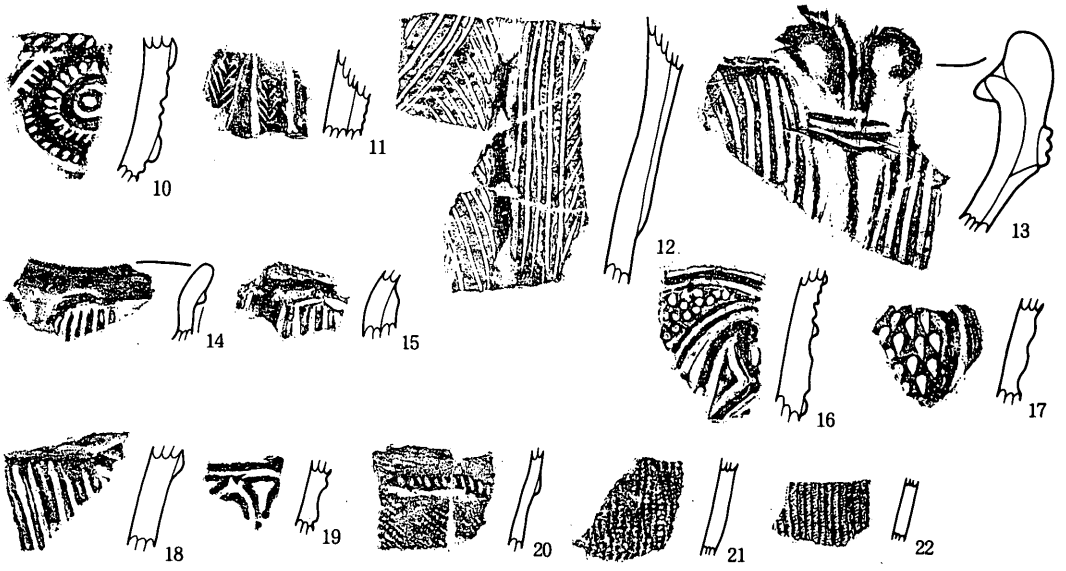
第107表　J－31号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考	挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	14	17	5	0.9		6	石核	黒曜石	18	25	15	4.0	
2	石錐	チャート	34	15	6	2.4	先端欠損	7	石核	黒曜石	30	19	11	7.1	
3	ピエス・エスキーユ	黒曜石	20	14	6	1.4		8	石核	黒曜石	20	27	14	5.6	
4	ピエス・エスキーユ	黒曜石	19	13	8	1.8		9	石皿	安山岩	150	20	60	2,430.0	欠損
5	ピエス・エスキーユ	黒曜石	23	11	9	1.8									

（単位mm，g）



第183図　J－31号住居址出土石器（1～8＝1：2，9＝1：6）



第184図　J－31号住居址出土土器（1：4）

第108表　J－31号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
10	深鉢	胴部	― ― ―	両側に刻みのある隆帯による円形モチーフ	不明	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	202	
11	深鉢	胴部	― ― ―	隆帯上にハの字状の沈刻	ヨコナデ	角閃石	黒褐色 5YR 2/1	橙色 5YR 6/6	通常	231	
12	深鉢	胴部	― ― ―	垂下隆線 横位・斜位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	235 175 182	
13	深鉢	口縁	― ― ―	環状突起から隆線が派生 平行沈線	ヨコミガキ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	76 206	
14	深鉢	口縁	― ― ―	隆線による楕円区画内に縦位平行沈線	ヨコミガキ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	187	
15	深鉢	口辺	― ― ―	十字に交差する隆線 平行沈線、縄文	ヨコナデ	黒雲母多量	灰赤色 2.5YR 4/2	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	210	
16	深鉢	胴部	― ― ―	曲隆線、沈線 列点刺突	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	暗赤褐色 5YR 3/4	暗赤褐色 5YR 3/4	通常	30	
17	深鉢	胴部	― ― ―	隆線による楕円区画内に列点刺突	ヨコミガキ	黒雲母多量	暗赤褐色 5YR 3/3	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	191	
18	深鉢	胴部	― ― ―	横位隆線 縦位沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 4/6	通常	41	
19	深鉢	胴部	― ― ―	隆線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	黒褐色 5YR 2/1	通常	47	
20	深鉢	胴部	― ― ―	刻みのある横位隆帯 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	156 151	
21	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	102	
22	深鉢	胴部	― ― ―	撚糸文Ｌ	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	14	

（単位cm）

(32)　J－32号住居址

住居址　　第185図

J－32号住居址は、I－14グリッドにおいて検出された。本址は、J－16号住居址・J－41号住居址・D－121号土坑と重複するがその新旧関係は明らかでない。

本址は、南北推定3.6m・東西推定2.9mの楕円形を呈し、推定床面積6.8m²を測る。壁の残存高は、10cmを測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

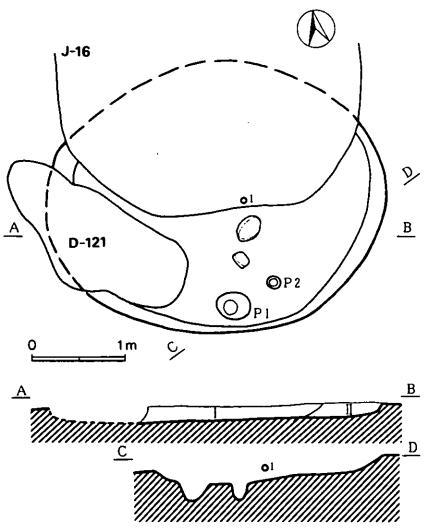
ピットは、P_1・P_2の2個が検出された。ピットの大きさは、P_1が36×28×18cm、P_2が14×10×16cmを測る。

住居覆土は、2層で、I層はローム粒子を多く含む黒褐色土層(10YR2/2)、II層はローム粒子を大量に含む褐色土層（10YR4/4）であった。

遺物は、良好な出土状態を示すものはない。

炉

炉は、確認されなかった。

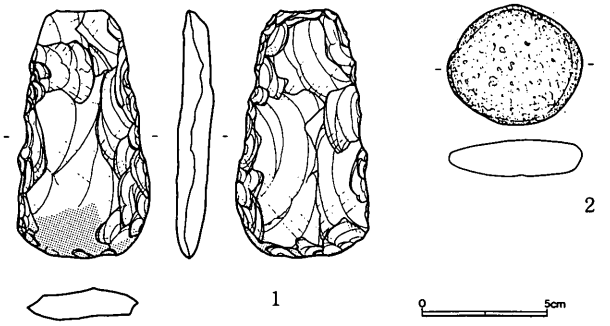


第185図　J－32号住居址（1：80）

第109表　J－32号住居址出土遺物一覧表　<石器>

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	打製石斧	安山岩	98	53	12	78.9	
2	円盤	軽石	54	48	15	－	

（単位mm，g）



第186図　J－32号住居址出土石器（1：3）

遺　物　　第186図・第109表

遺物は、石器では、打製石斧（1）・軽石製円盤（2）が認められたのみである。

土器は、小破片のみで図示しうるようなものはなかった。

時　期

本住居址は、縄文時代中期に位置付けられようが、詳しい時期は明らかでない。

(33)　J－33号住居址

住居址　　第187図

J－33号住居址は、I－11グリッドにおいて検出された。本址は、J－19号住居址・J－21号住居址に切られて存在する。

本址は、南北4.9m・東西4.3mの円形を呈し、床面積15.0m²を測る。壁高は10cmほどである。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

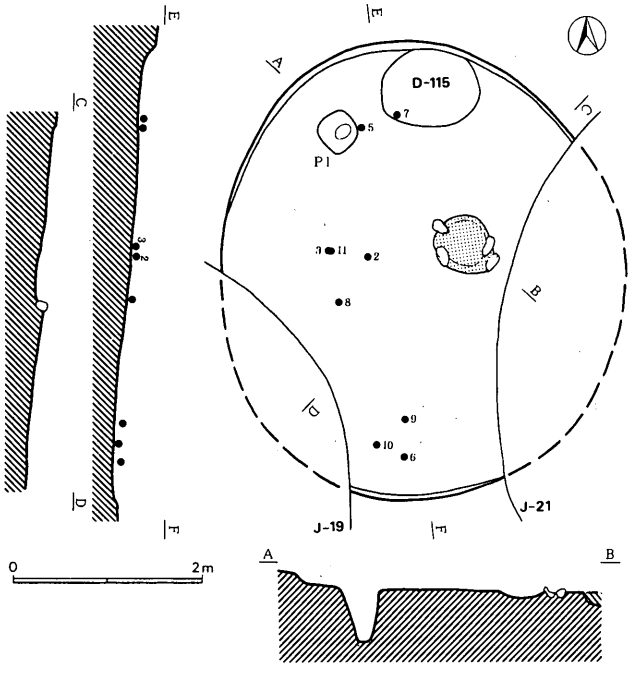
ピットは、P_1が検出されたのみである。ピットの大きさは、46×42×56cmを測る。

遺物は、良好な出土状態を示すものはない。

炉　　第187図

炉は、住居址の中央よりやや壁よりに存在している。楕円形の掘り込みをもち4個の礫がみられるもので、70×60cm深さ10cmを測る。本来は石囲い炉であったことも考えられる。

覆土は2層に分層された。I層は焼土・カーボンを若干含む暗褐色土層（10YR3/3）、II層はカ

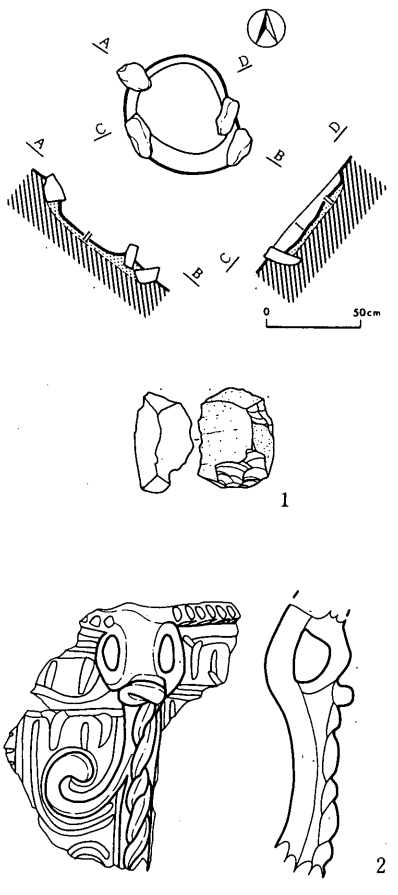


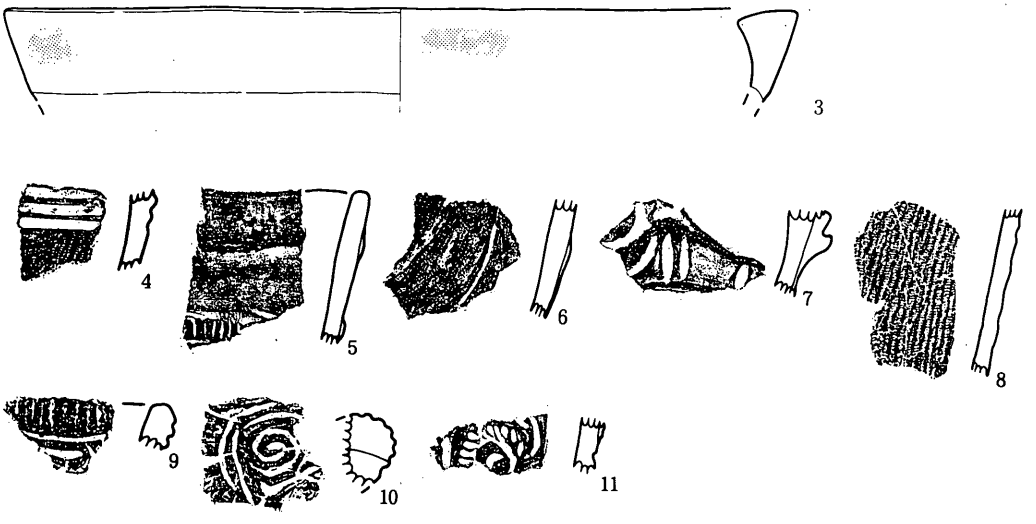
第187図　J－33号住居址（住居＝1：80，炉＝1：40）

第110表　J－33号住居址出土遺物一覧表　<石器>

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	ピエス・エスキーユ	黒曜石	26	22	14	7.0	

（単位mm，g）





第188図　J－33号住居址出土遺物（石器＝1：2，土器＝1：4）

第111表　J－33号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
2	深鉢	胴部	－ － －	環状突起、ねじり状隆帯	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 5YR 4/6	橙色 5YR 6/6	通常	61	
3	浅鉢	口縁	(42.4) － －	無文	丁寧な ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 4/4	明赤褐色 5YR 5/8	通常	15	内外面赤彩
4	深鉢	胴部	－ － －	沈線 縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/8	通常	炉	
5	深鉢	口縁	－ － －	隆帯上に刻み	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	71	
6	深鉢	胴部	－ － －	幅広の隆帯	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	黒色 5YR 1.7/1	通常	16	
7	深鉢	胴部	－ － －	沈線	ヨコミガキ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/3	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	79	
8	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	52	
9	深鉢	口縁	－ － －	口唇に刻み	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/3	橙色 5YR 6/6	通常	14	
10	深鉢	突起	－ － －	突起部に渦巻き状の沈線	不明	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	100	
11	深鉢	胴部	－ － －	刻みのある渦巻き状隆帯	ヨコナデ	角閃石	灰褐色 5YR 4/2	明赤褐色 5YR 5/6	通常	61	

（単位cm）

ーボン・焼土を含まない黄褐色土層（10YR5/6）であった。

遺　物　　第188図・第110・111表

遺物は、石器では、黒曜石のピエス・エスキーユ（1）が出土しているのみである。

土器は、中期中葉から後葉の破片がわずかに認められたのみである。

時　期

本住居址は、縄文時代中期に位置付けられようが、詳しい時期は明らかでない。

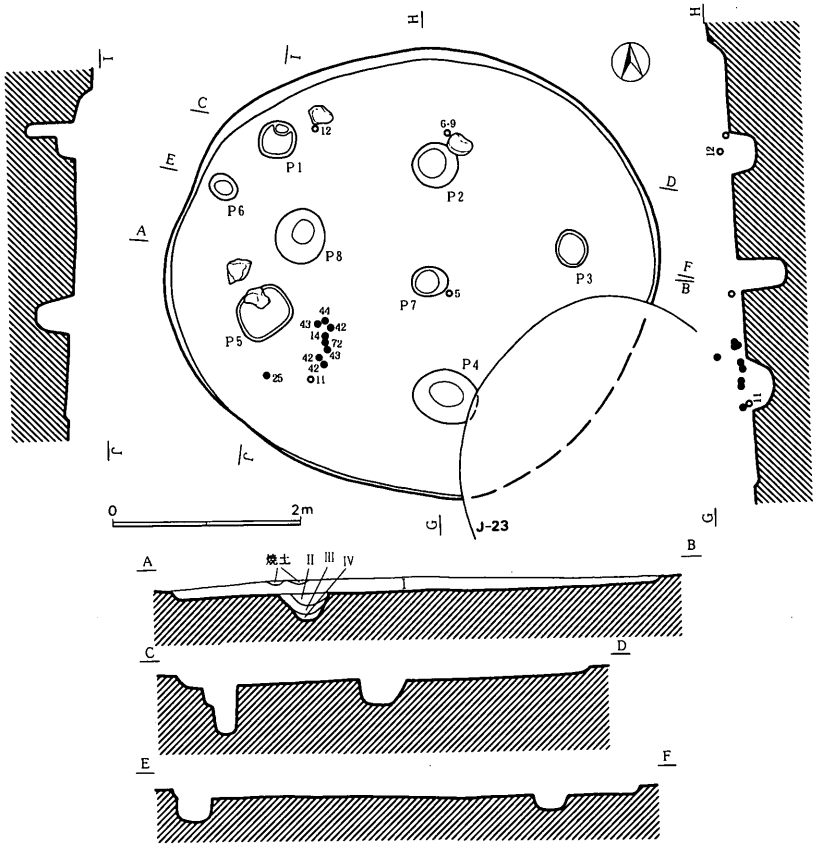
(34)　J－34号住居址

住居址　　第189図

J－34号住居址は、I－13グリッドにおいて検出された。本址はJ－23号住居址に切られて存在している。

本址は、南北4.7m・東西5.3mの円形住居で、床面積は推定で15.4m²を測る。壁の残存高は、10cm前後を測る。壁溝は認められない。

ピットは、8個が検出された。ピットの大きさは、P_1が40×40×50cm、P_2が48×48×24cm、P_3が40×32×14cm、P_4が70×54×22cm、P_5が62×58×36cm、P_6が30×24×24cm、P_7が38×30×48cm、P_8が58×52×28cmを測る。



第189図　J－34号住居址（1：80）

住居覆土は1層のみで、I層はローム粒子をよく含む暗褐色土層（10YR4/3）であった。

遺物は、良好な出土状態のものはない。

炉

明確に炉とできるものはないが、中央部のP_7、あるいは焼土を含むP_8がその可能性がある。P_8は、58×52cm深さ28cmを測り、層位は3層に分層された。II層は焼土を若干含む褐色土層(10YR4/6)、III層は焼土を含まない暗褐色土層（10YR3/3)、IV層は焼土を含まない暗褐色土層（10YR5/8）である。

遺　物　　第190～192図・第112～116表

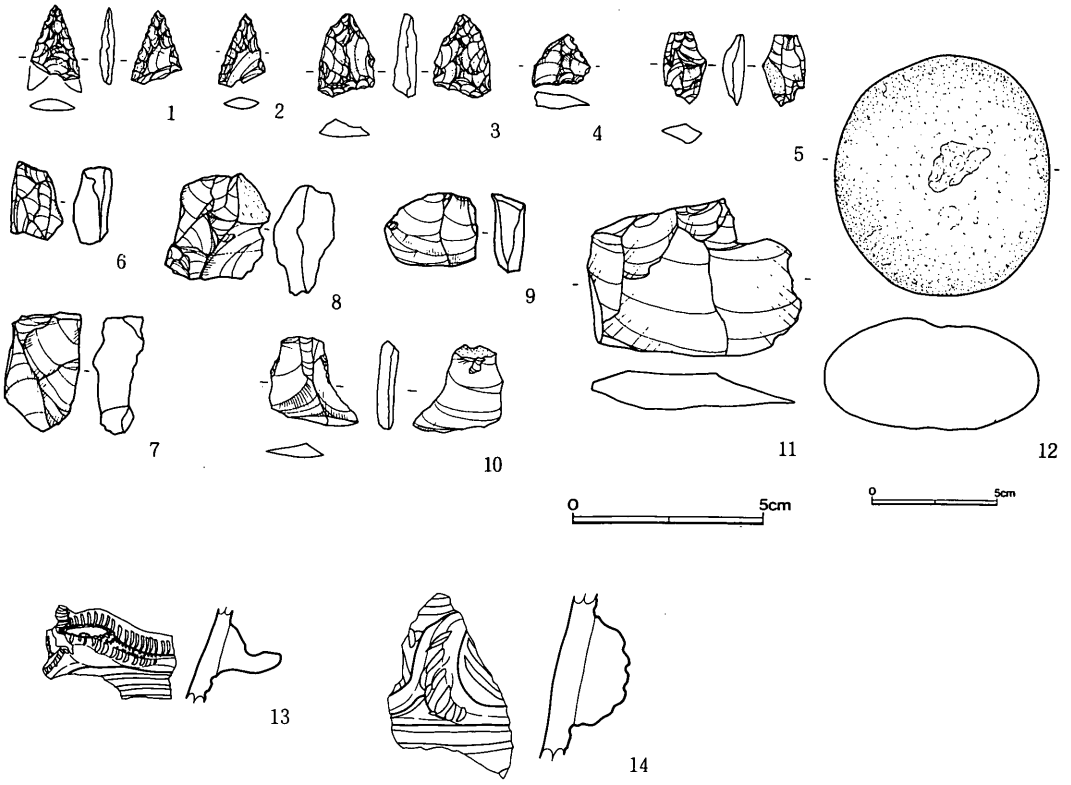
遺物は、石器では、石鏃（1～4）・ピエス・エスキーユ（5～8）・スクレイパー（3）・石核（9）・加工痕のある剥片（10）・剥片（11）・磨石（12）が出土している。

土器は、勝坂系のほか阿玉台系（15～20）・新巻類型もしくはプレ焼町とされる土器（51～56）の破片がみられる。

第112表　J－34号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	ガラス質黒色安山岩	18	12	3	－	欠損
2	石鏃	ガラス質黒色安山岩	19	13	3	0.6	欠損
3	石鏃	チャート	22	15	5	1.5	
4	石鏃	黒曜石	13	16	4	0.7	欠損
5	ピエス・エスキーユ	黒曜石	18	10	6	0.7	
6	ピエス・エスキーユ	黒曜石	20	13	9	2.6	
7	ピエス・エスキーユ	黒曜石	31	20	11	7.1	
8	ピエス・エスキーユ	黒曜石	29	24	14	8.8	
9	石核	黒曜石	21	25	10	4.1	
10	加工痕のある剥片	黒曜石	22	24	5	1.7	
11	剥片	硬質頁岩	41	55	10	19.1	
12	磨石	安山岩	95	85	42	439.5	

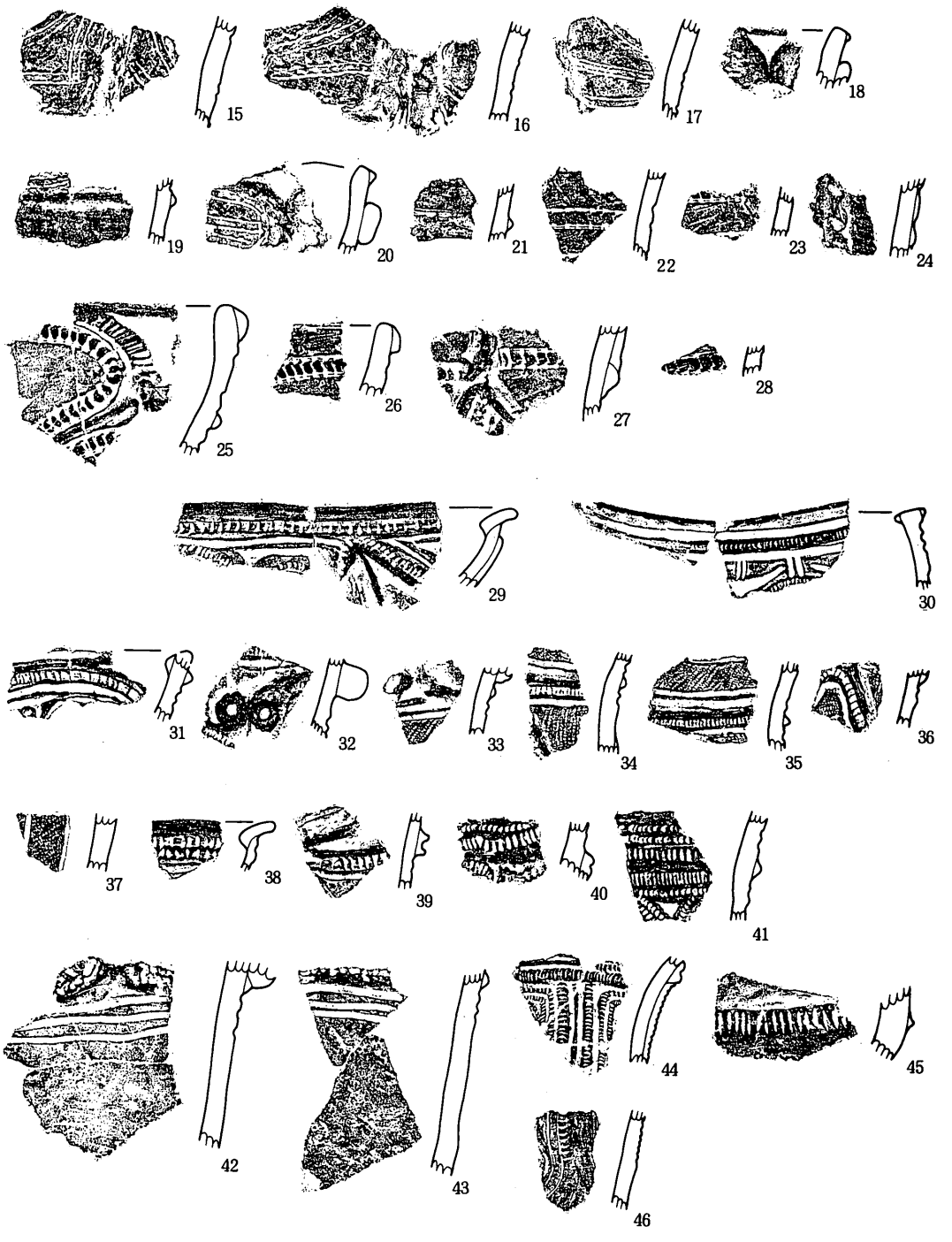
（単位mm, g）



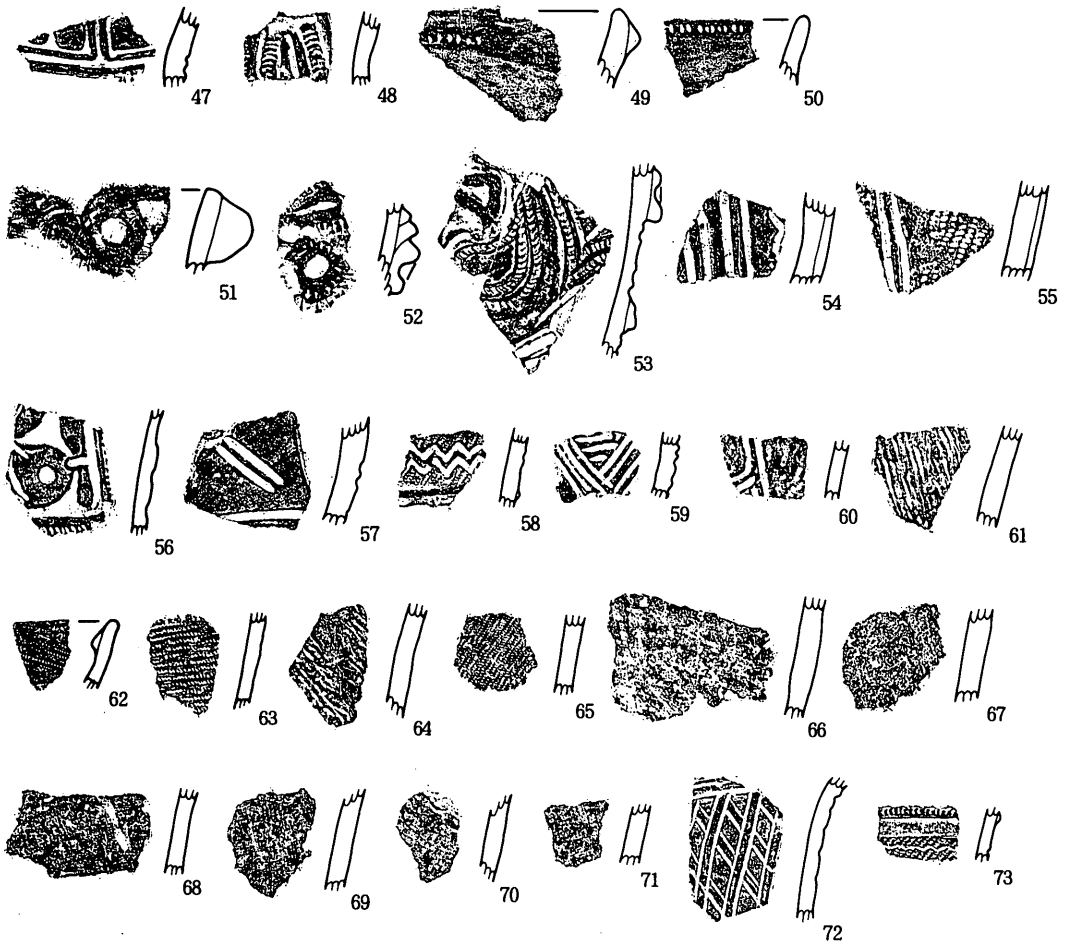
第190図　J－34号住居址出土遺物（1～11＝1:2，12＝1:3，13・14＝1:4）

時　期

本住居址は、縄文時代中期中葉（川原田遺跡第7期）に位置付けられよう。



第191図　J－34号住居址出土土器（1：4）



第192図　J－34号住居址出土遺物（1：4）

第113表　J－34号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
13	深鉢	突起	— — —	環状突起、隆帯上に爪形の刻みを連続して施す	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	ピット	
14	深鉢	突起	— — —	沈線を施した突起	ナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常		
15	深鉢	口縁	— — —	高い隆帯 結節沈線	ヨコミガキ	黒雲母 白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/2	明赤褐色 5YR 5/6	軟弱	一括	
16	深鉢	口縁	— — —	高い隆帯 結節沈線	ヨコミガキ	黒雲母 白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/3	暗赤褐色 5YR 3/6	軟弱	一括	
17	深鉢	口縁	— — —	高い隆帯 結節沈線	ヨコミガキ	黒雲母 白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/2	赤褐色 2.5YR 4/6	軟弱	一括	
18	深鉢	口縁	— — —	隆帯による楕円形区画	ヨコミガキ	黒雲母 白色粒子	暗赤褐色 5YR 3/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	軟弱	一括	
19	深鉢	胴部	— — —	横位隆線 結節沈線	ヨコミガキ	黒雲母 白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	軟弱	64	

（単位cm）

第114表　J－34号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
20	深鉢	口縁	― ― ―	隆線による楕円区画内に結節沈線	ヨコミガキ	黒雲母 白色粒子	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	赤褐色 2.5YR 4/6	軟弱	一括	
21	深鉢	胴部	― ― ―	横位隆線 結節沈線	ヨコミガキ	黒雲母 白色粒子	暗赤褐色 2.5YR 3/2	暗赤褐色 2.5YR 3/3	軟弱	64	
22	深鉢	胴部	― ― ―	横位結節沈線	ヨコミガキ	黒雲母 白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい褐色 7.5YR 5/3	軟弱	48	
23	深鉢	胴部	― ― ―	横位結節沈線	ヨコミガキ	黒雲母 白色粒子	橙色 5YR 6/6	明赤褐色 5YR 5/6	軟弱	42	
24	深鉢	胴部	― ― ―	連続押圧のある垂下隆線	ヨコナデ	黒雲母 白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	軟弱	3	
25	深鉢	口縁	― ― ―	刻みのある隆帯、それに沿う幅広の結節沈線	ヨコミガキ	黒雲母 白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 6/3	軟弱	42	
26	深鉢	口縁	― ― ―	折り返し口縁、それに沿う幅広の結節沈線	ヨコミガキ	黒雲母 白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	軟弱	42	
27	深鉢	胴部	― ― ―	集合する隆線 結節沈線	ヨコミガキ	黒雲母 白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	軟弱	42	
28	深鉢	胴部	― ― ―	幅広の結節沈線	ヨコナデ	黒雲母 白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 5/3	にぶい褐色 7.5YR 5/3	軟弱	42	
29	深鉢	口縁	― ― ―	爪形状の連続刺突文 曲隆線、沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
30	深鉢	口縁	― ― ―	沈線、結節沈線	ヨコミガキ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/2	明赤褐色 5YR 5/8	通常	P_2	
31	深鉢	口縁	― ― ―	曲隆線、結節沈線	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/4	橙色 5YR 6/6	通常	III区	
32	深鉢	胴部	― ― ―	眼鏡状突起から曲隆線が派生。縄文LR、爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/8	通常	III区	
33	深鉢	胴部	― ― ―	曲隆線、横位沈線 縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区	
34	深鉢	胴部	― ― ―	横位隆線、沈線 結節沈線、縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	一括	同一個体
35	深鉢	胴部	― ― ―	横位隆線、沈線 結節沈線、縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	一括	
36	深鉢	胴部	― ― ―	隆線、沈線 結節沈線、縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 3/6	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
37	深鉢	胴部	― ― ―	縦位沈線 縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	灰褐色 5YR 4/2	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	III区	
38	深鉢	口縁	― ― ―	2条の横位爪形状連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	灰褐色 2.5YR 4/2	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	一括	
39	深鉢	胴部	― ― ―	曲隆線 爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	一括	
40	深鉢	胴部	― ― ―	隆線 キャタピラ文	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 6/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	47	
41	深鉢	胴部	― ― ―	キャタピラ文 三叉文の沈刻	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	66	
42	深鉢	胴部	― ― ―	隆線、横位沈線 隆線に沿う連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/4	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	50 51	同一個体
43	深鉢	胴部	― ― ―	横位隆線 横位沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/4	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	53 33	
44	深鉢	胴部	― ― ―	隆線上に爪形状の連続刺突	ヨコミガキ	白色粒子	浅黄橙色 10YR 8/3	にぶい黄橙色 10YR 7/2	通常	34	

（単位cm）

第115表　J－34号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
45	深鉢	胴部	— — —	隆線脇に爪形状の連続刺突	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	27 30	
46	深鉢	胴部	— — —	曲沈線 爪形状の連続刺突	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	P_8	
47	深鉢	胴部	— — —	横位隆線 沈線	ヨコミガキ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	褐灰色 5YR 4/1	通常	III区	
48	深鉢	胴部	— — —	隆線上に爪形状の連続刺突	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	III区	
49	深鉢	口縁	— — —	隆線上に爪形状の刻み	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	62	
50	深鉢	口縁	— — —	口唇に連続する刻み	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 6/3	橙色 2.5YR 6/6	通常	III区	
51	深鉢	口縁	— — —	環状突起から曲隆線が派生	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/8	通常	P_3	
52	深鉢	胴部	— — —	環状突起。ふちに刻み	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	一括	
53	深鉢	胴部	— — —	突起、曲隆線とそれに沿う結節沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	暗赤灰色 2.5YR 3/1	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	P_2	
54	深鉢	胴部	— — —	垂下する隆線 縦位沈線	不明	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	31	
55	深鉢	胴部	— — —	垂下隆線、沈線 縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	52	
56	深鉢	胴部	— — —	環状文 三叉文の沈刻	ヨコナデ	黒雲母	褐灰色 5YR 4/1	橙色 5YR 6/6	通常	47	
57	深鉢	胴部	— — —	平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	28	
58	深鉢	胴部	— — —	地文縄文LR 2条の鋸歯状沈線	タテミガキ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	70	
59	深鉢	胴部	— — —	平行沈線による三角状の文様	不明	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい橙色 5YR 6/3	通常	I区	
60	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	II区	
61	深鉢	胴部	— — —	撚糸文R	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 5YR 3/1	橙色 5YR 6/6	軟弱	88	
62	深鉢	口縁	— — —	縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/3	明赤褐色 5YR 5/8	通常	65	
63	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	47	
64	深鉢	胴部	— — —	撚糸文R	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 5YR 3/1	橙色 5YR 6/6	通常	68	
65	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	47	
66	深鉢	胴部	— — —	無文部	ヨコミガキ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/8	通常	一括	
67	深鉢	胴部	— — —	無文部	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/8	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	一括	
68	深鉢	胴部	— — —	無文部	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	一括	
69	深鉢	胴部	— — —	無文部	ヨコミガキ	黒雲母 白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	軟弱	70	

（単位cm）

第116表　Ｊ－34号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
70	深鉢	胴部	— — —	無文部	不明	黒雲母 白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	軟弱	70	
71	深鉢	胴部	— — —	無文部	ヨコミガキ	黒雲母 白色粒子	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	明赤褐色 2.5YR 5/6	軟弱	III区	
72	深鉢	胴部	— — —	沈線による格子の文様	ヨコミガキ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 7/3	にぶい橙色 7.5YR 7/3	良好	54	
73	深鉢	胴部	— — —	隆線上に爪形の連続刺突 縄文ＬＲ、蛇行沈線	ヨコミガキ	角閃石	橙色 7.5YR 7/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	47	

（単位cm）

(35)　Ｊ－35号住居址

住居址　　第193図

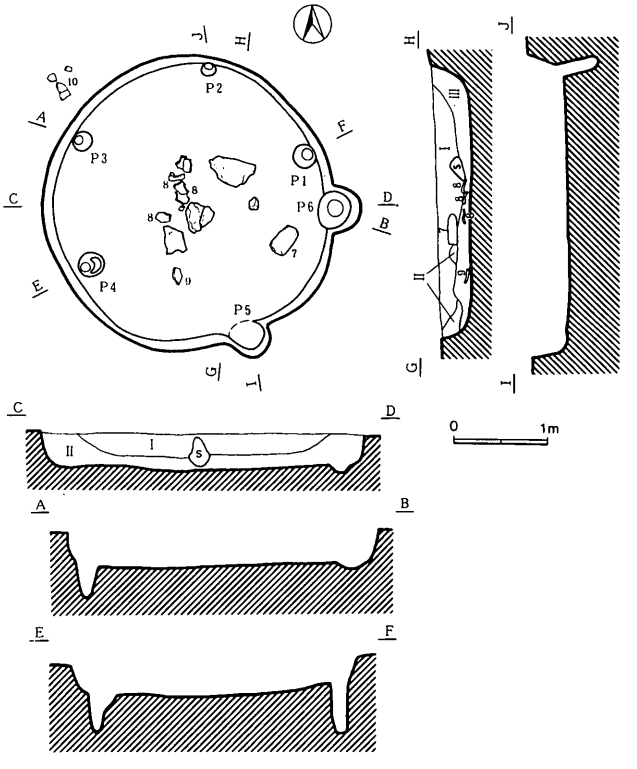
Ｊ－35号住居址は、Ｆ－11グリッドにおいて検出された。

本址は、南北3.2ｍ・東西3.1ｍの円形を呈し、床面積6.7㎡を測る。壁高は30cmほどである。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

ピットは、壁際にP_1～P_6が検出された。ピットの大きさは、P_1が24×24×50cm、P_2が16×12×40cm、P_3が20×18×32cm、P_4が28×24×38cm、P_5が34×30×10cmを測る。

住居覆土は、３層で、Ｉ層はローム粒子を含まない黒褐色土層（10YR2/3）、II層はローム粒子を含まない黒色土層(10YR2/1)、III層はローム粒子を大量に含む人為的埋土である暗褐色土層（10YR2/3）であった。また、III層上面には焼土が認められ、III層を埋めた後火が焚かれた可能性がある。

遺物は、７の石皿や８の深鉢がIII層上面より出土した。III層は人為的な埋土であり、III層を埋めた後石皿や深鉢が廃棄されたものと考えられる。



第193図　Ｊ－35号住居址（１：80）

炉

炉は、検出されなかった。

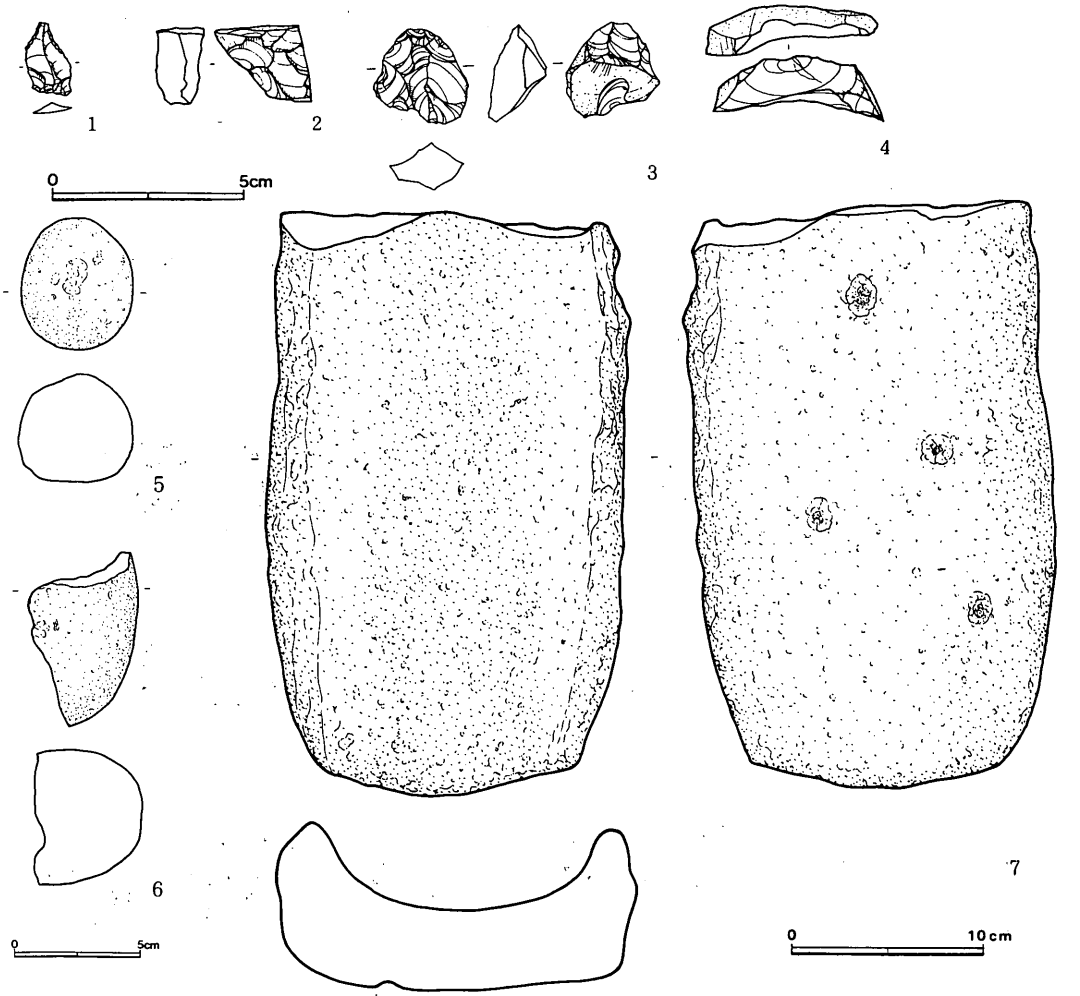
遺　物　　第194・195図・第117～119表

遺物は、石器では、石鏃未成品（1）・ピエス・エスキーユ（2～4）・磨石（5・6）・石皿（7）が出土している。

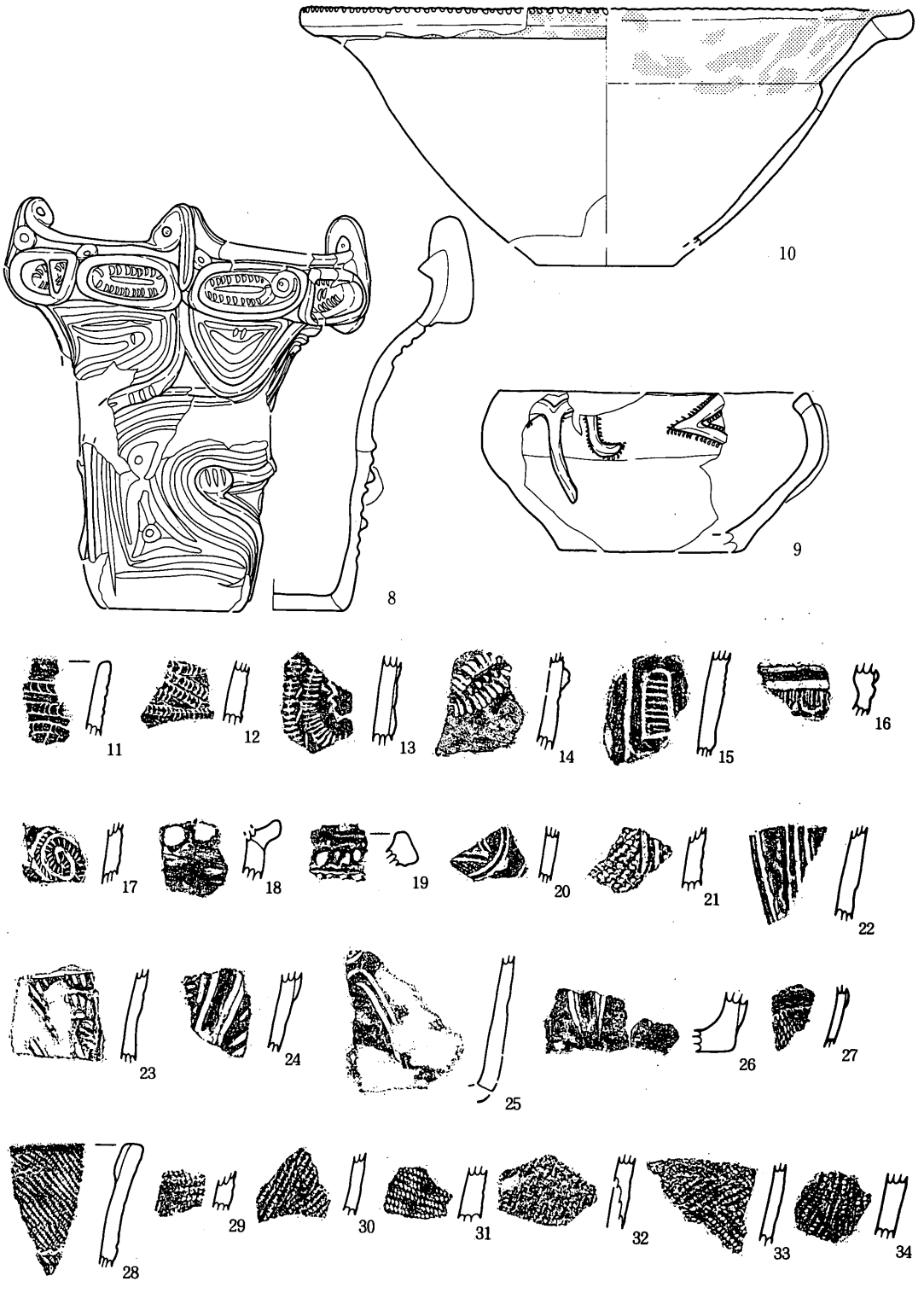
土器は、8の口唇に4単位の環状突起を配し、口縁を楕円の隆線区画で連結し、胴部に曲隆線とそれに沿う沈線を配した土器が出土している。また、浅鉢は、小形で隆線を配した9、口唇にキザミをもち赤彩のなされた10の2点が出土している。

時　期

本住居址は、縄文時代中期中葉（川原田遺跡第9期）に位置付けられよう。



第194図　J－35号住居址出土石器（1～4＝1:2，5・6＝1:3，7＝1:4）



第195図　J－35号住居址出土土器（1：4）

第117表　J－35号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考	挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃未成品	黒曜石	20	11	2	0.5		5	磨石	安山岩	54	46	40	92.6	
2	ピエス・エスキーユ	黒曜石	20	23	11	5.7		6	磨石	安山岩	66	45	52	178.8	欠損
3	ピエス・エスキーユ	黒曜石	26	24	13	4.9		7	石皿	安山岩	305	195	90	6,500.0	欠損
4	ピエス・エスキーユ	黒曜石	16	45	10	6.5									

（単位mm，g）

第118表　J－35号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
8	深鉢	口縁～底部	18.7 24.6 8.5	口縁に8単位の楕円区画を設け、内部に有節状線を沿わせる玉抱三叉文多用、曲隆線	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	7 5	
9	浅鉢	口縁～底部	(21.0) 9.2 (11.2)	ゆがんだT字状、三角状の隆帯に有節沈線を沿わせる	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	2	
10	浅鉢	口縁	(38.4) － －	口唇に細い棒状工具を押し付け、刻み状とする	丁寧なヨコミガキ	白色風化粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	不良	外1	内外面赤彩
11	深鉢	口縁	－ － －	爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 7/4	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	III区 III層	
12	深鉢	胴部	－ － －	爪形状の連続刺突文	ヨコミガキ	白色粒子	暗赤褐色 2.5YR 3/2	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	I区 III層	
13	深鉢	胴部	－ － －	キャタピラ文 鋸歯状沈線	不明	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	I区 III層	
14	深鉢	胴部	－ － －	刻みのある隆線 爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	III区 I層	
15	深鉢	胴部	－ － －	沈線による楕円区画内に平行沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 5YR 7/4	通常	IV区 III層	
16	深鉢	口辺	－ － －	沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 5/3	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	II区 I層	
17	深鉢	胴部	－ － －	沈線による渦巻き状の文様に爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子 角閃石	灰褐色 7.5YR 4/2	灰褐色 7.5YR 4/1	通常	III区 I層	
18	深鉢	口辺	－ － －	押圧のある横位隆帯	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	I区 I層	
19	深鉢	口縁	－ － －	連続押圧のある横位隆帯	ヨコナデ	黒雲母	褐灰色 5YR 4/1	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	III区 I層	
20	深鉢	胴部	－ － －	沈線 縄文RL	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	II区 IV層	
21	深鉢	胴部	－ － －	沈線 縄文LR	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	橙色 2.5YR 6/6	通常	II区 I層	
22	深鉢	胴部	－ － －	縦位沈線	不明	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区 III層	
23	深鉢	胴部	－ － －	不揃いな平行沈線	ヨコミガキ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	III区 III層	
24	深鉢	胴部	－ － －	縦位隆線 縦位沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	II区 I層	
25	深鉢	胴下半	－ － －	2条の平行沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	III区 I層	
26	深鉢	底部	－ － －	垂下隆線 縦位沈線	不明	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	II区 III層	
27	深鉢	口縁	－ － －	縄文RL	ヨコナデ	白色粒子 黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	III区 III層	

（単位cm）

第119表　Ｊ－35号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
28	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
29	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	灰赤色 2.5YR 4/2	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ⅲ区 Ⅰ層	
30	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 7/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	Ⅲ区 Ⅰ層	
31	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ⅲ区 Ⅰ層	
32	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅲ区 Ⅲ層	
33	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	灰黄褐色 10YR 6/2	褐灰色 10YR 6/1	通常	Ⅲ区 Ⅲ層	
34	土製円盤	―	5.0 × 4.8	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	灰赤色 2.5YR 4/2	明赤褐色 5YR 5/6	通常	Ⅲ区 Ⅲ層	

（単位cm）

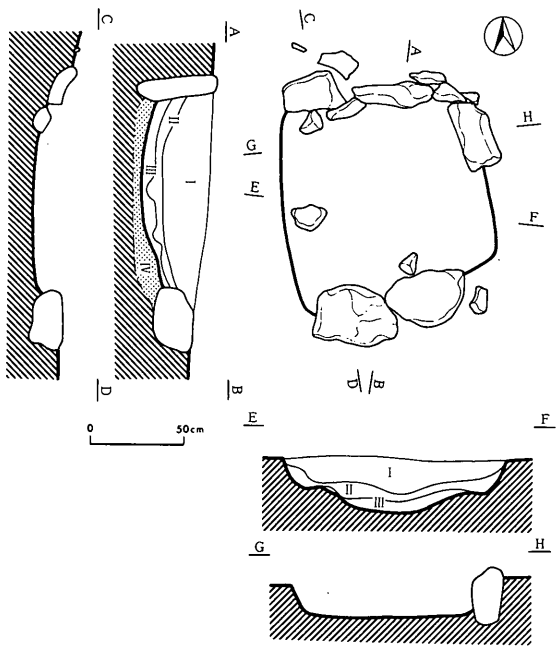
(36)　Ｊ－36号住居址

住居址　　第197図

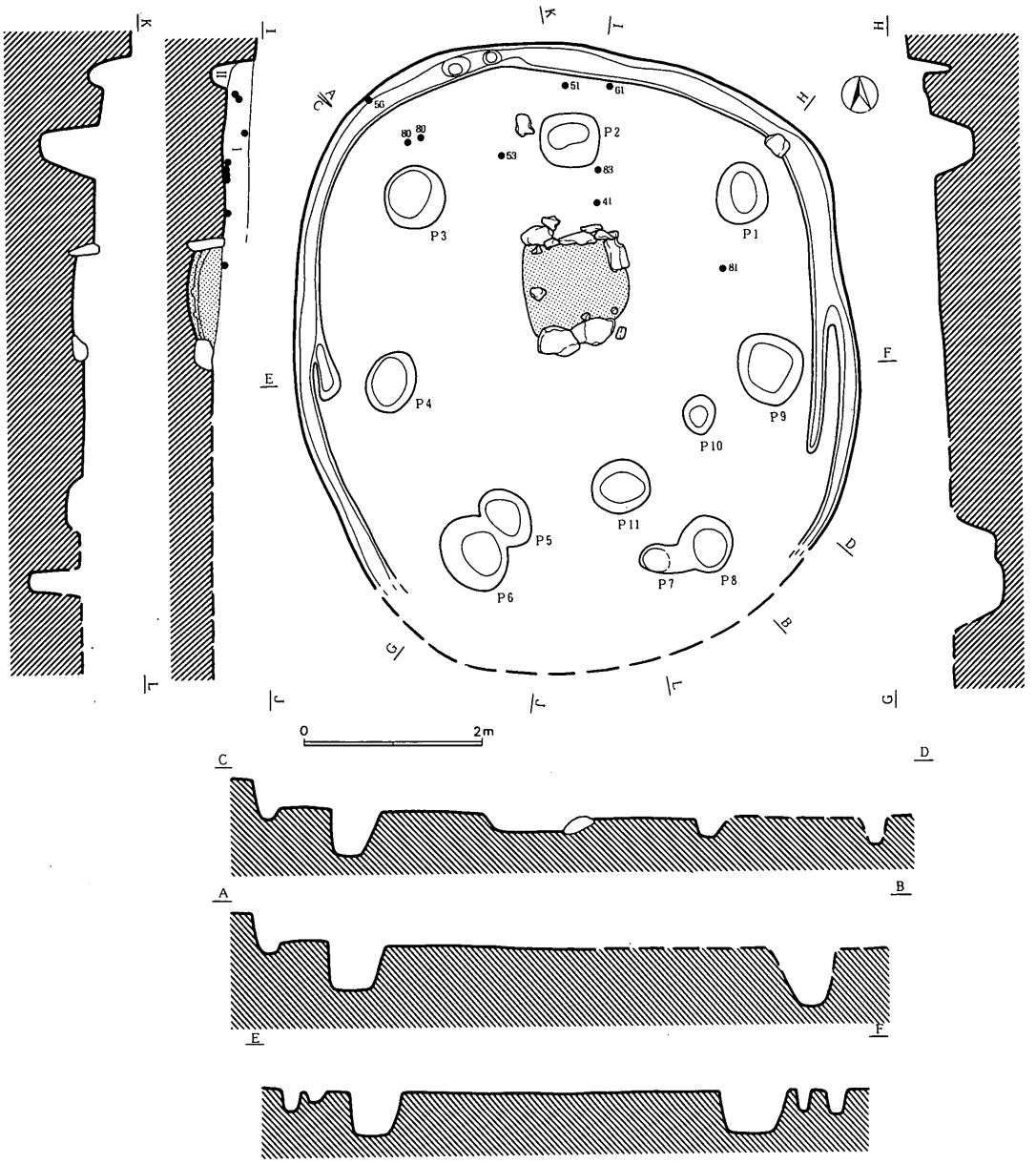
Ｊ－36号住居址は、Ｆ－14グリッドにおいて検出された。

本址は、その南側を削平されているが、南北推定7.0ｍ・東西推定6.3ｍの円形を呈し、推定床面積31.1㎡を測る。壁の残存高は、20cmを測る。壁溝は幅10～30cmのものが不明な削平部分を除き全周する。床面は貼り床である。枝分かれする壁溝および柱穴Ｐ6・Ｐ7・Ｐ8のあり方から、本住居址は南側へ最高で１ｍ程度の拡張がなされたものと考えられる。

ピットは、11個が検出された。このうちＰ5・Ｐ10・Ｐ11は住居拡張前の柱穴、Ｐ6・Ｐ7・Ｐ8は住居拡張後の新たな柱穴と考えられる。ピットの大きさは、Ｐ1が68×56×46cm、Ｐ2が66×60×64cm、Ｐ3が70×68×48cm、Ｐ4が70×54×48cm、Ｐ5が70×50×50cm、Ｐ6が86×70×58cm、Ｐ7が66×30×54cm、Ｐ8



第196図　Ｊ－36号住居址炉（１：40）



第197図　J－36号住居址（1：80）

が62×60×60cm、P_9が82×74×46cm、P_{10}が42×36×20cm、P_{11}が64×58×18cmを測る。

住居覆土は、2層で、I層はローム粒子を多く含む褐色土層(10YR4/6)、II層はローム粒子を大量に含む暗褐色土層（10YR3/4）であった。

遺物は、良好な出土状態を示すものはない。

炉　第196図

炉は、住居址の中央よりやや壁よりに存在している。10個程度の安山岩礫がみられる方形の石

囲い炉で、130×120cm深さ30cmを測る。

覆土は3層に分層された。I層は焼土・カーボンを若干含む暗褐色土層（10YR3/3）、II層はカーボンを若干含み焼土を多く含む暗赤褐色土層（5YR3/4）、III層は明赤褐色焼土層（5YR5/8）であった。

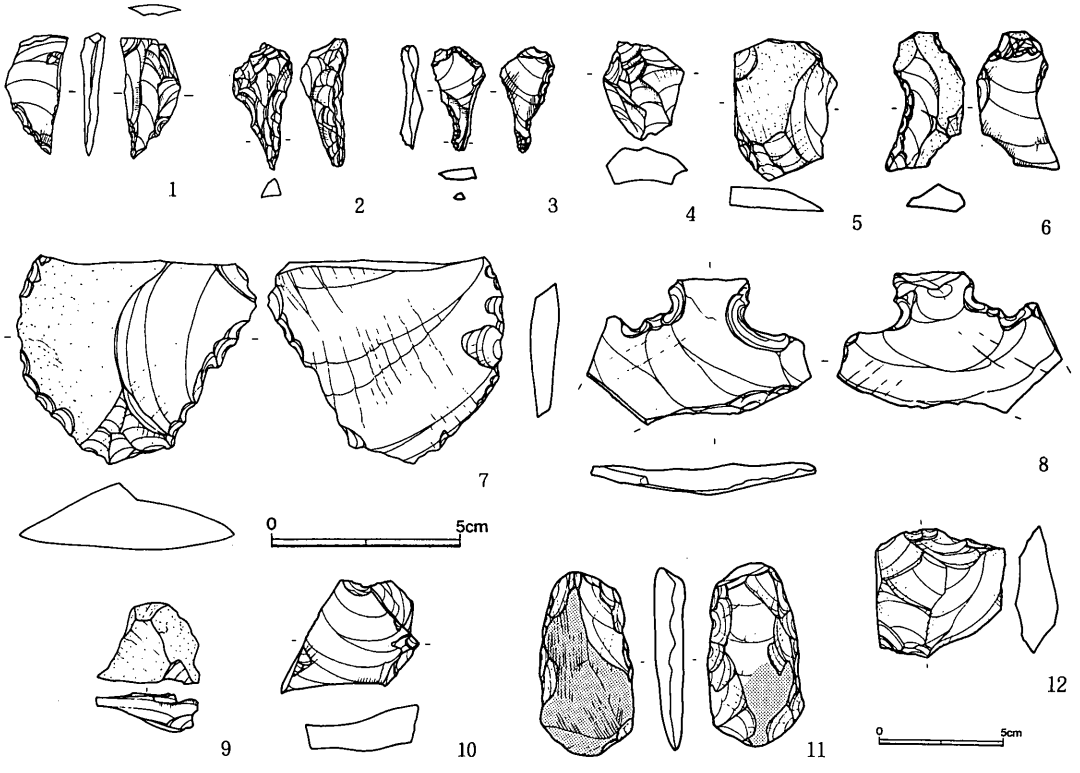
遺　物　第198～200図・第120～124表

遺物は、石器では、石錐（1～3）・ピエス・エスキーユ（4・5）・スクレイパー（6・7）・石匙（8）・剝片（9・10）・打製石斧（11・12）が出土している。

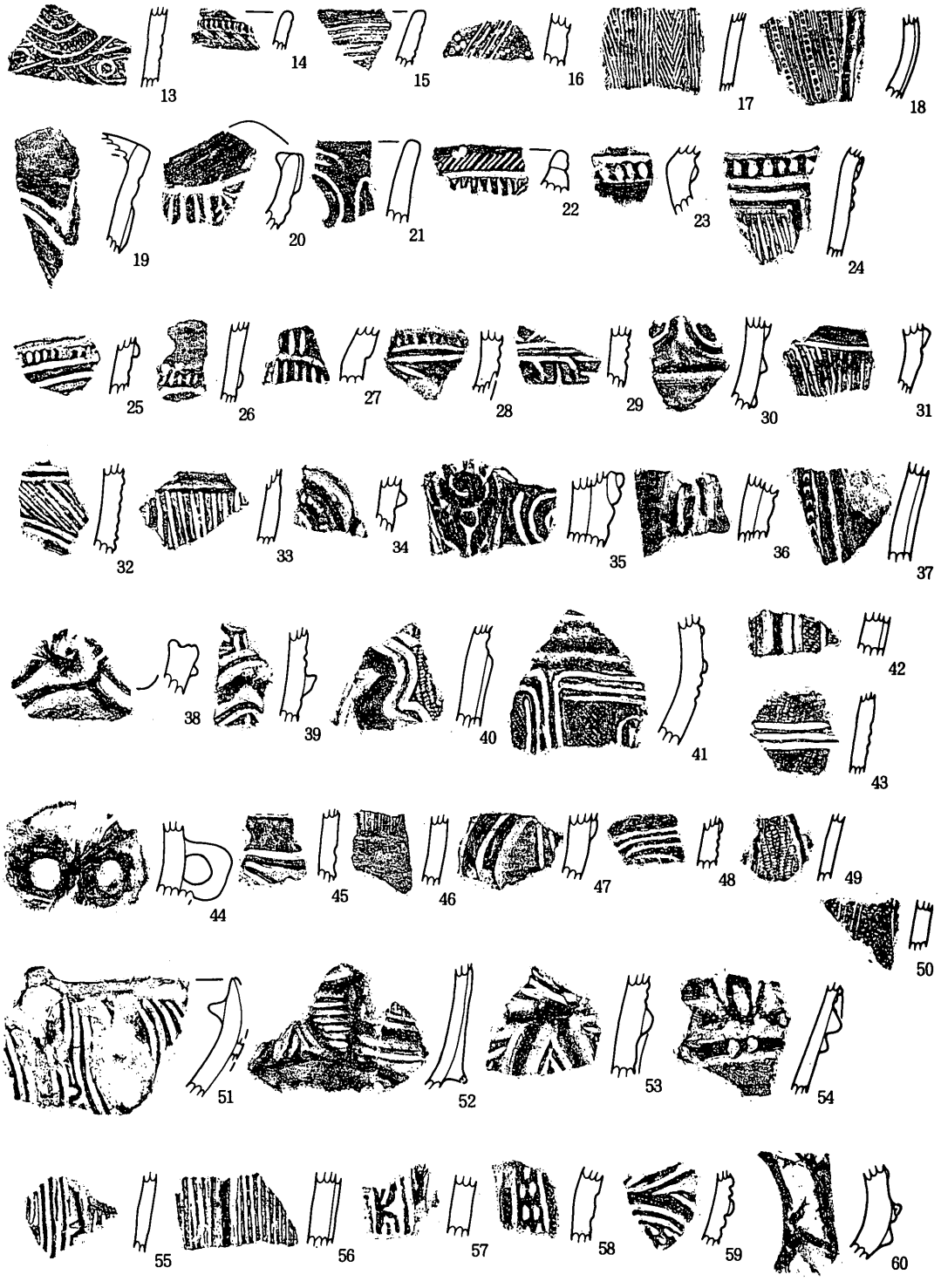
土器は、小破片のみであるが、縄文時代中期中葉・後葉（加曽利E2式）のものがみられ、後者が本住居に伴うものと考えられる。

時　期

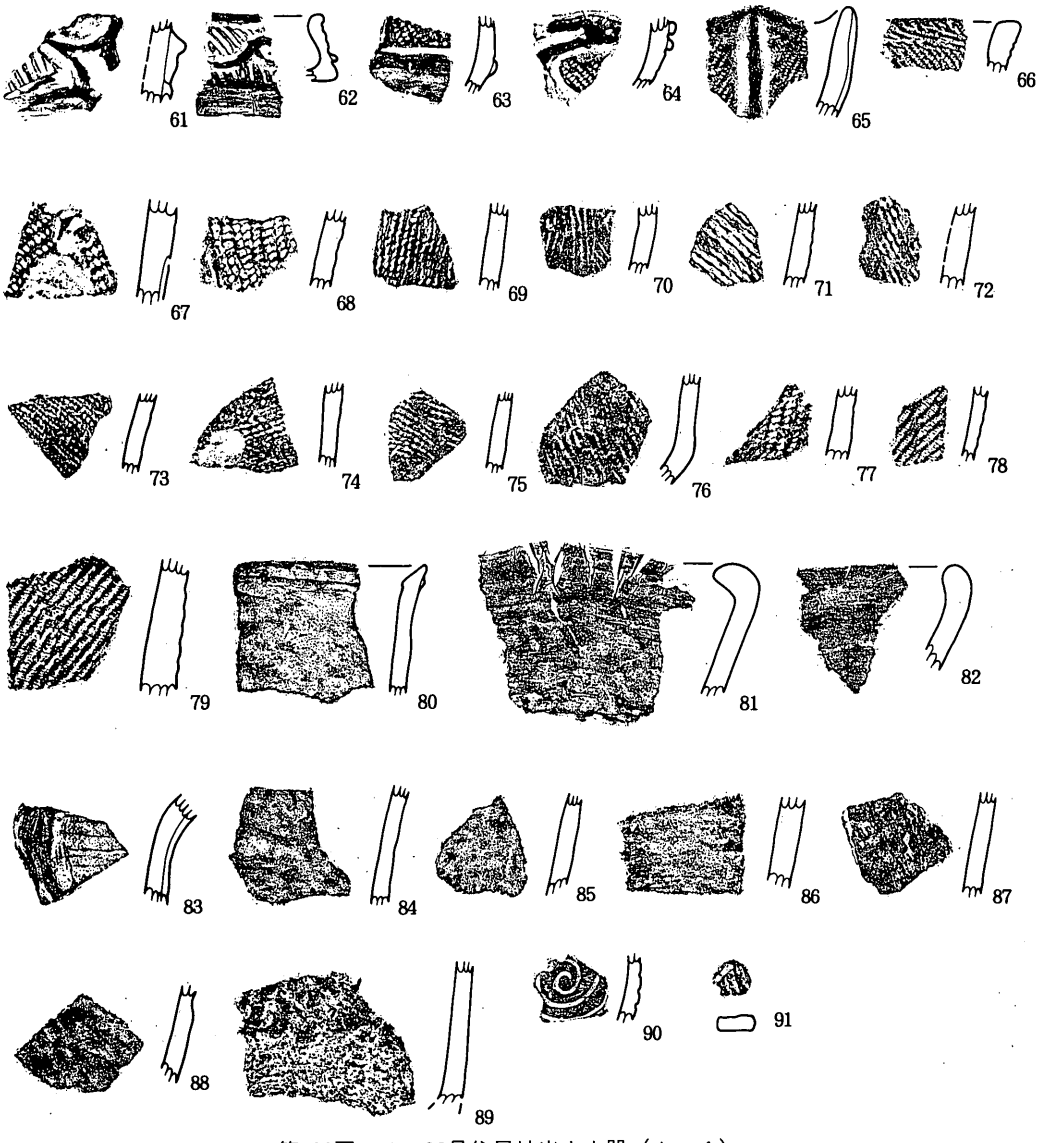
本住居址は、縄文中期後葉（川原田遺跡第12期もしくは第13期）に位置付けられよう。



第198図　J－36号住居址出土土器（1～10＝1：2，11・12＝1：3）



第199図　J－36号住居址出土土器（1：4）



第200図　J－36号住居址出土土器（1：4）

第120表　J－36号住居址出土遺物一覧表　＜石器・円盤＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石錐	黒曜石	31	14	5	2.0	
2	石錐	黒曜石	33	16	14	4.2	
3	石錐	黒曜石	27	13	4	0.9	
4	ピエス・エスキーユ	黒曜石	25	21	9	4.1	
5	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	37	27	6	6.5	山本分析No14 八風山産
6	スクレイパー	黒曜石	36	17	19	4.8	
7	スクレイパー	ホルンフェルス	52	63	18	56.7	
8	石匙	ホルンフェルス	37	59	7	15.2	
9	剥片	黒曜石	23	27	19	3.9	
10	剥片	硬質頁岩	29	37	13	7.9	
11	打製石斧	ホルンフェルス	73	38	12	39.7	
12	打製石斧	安山岩	52	52	17	46.0	
91	円盤	土製	21	21	8	4.6	

（単位mm，g）

第121表　J－36号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
13	深鉢	胴部	— — —	平行沈線 円文	ヨコナデ	角閃石	にぶい黄橙色 10YR 7/3	黒褐色 10YR 3/1	通常	I区	
14	深鉢	口縁	— — —	爪形状の連続刺突文	不明	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 4/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区	
15	深鉢	口縁	— — —	条痕的な沈線	ヨコミガキ	白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	にぶい赤褐色 5YR 5/3	通常	I区	
16	深鉢	胴部	— — —	縦位平行沈線 縄文	ヨコナデ	角閃石	灰赤褐色 2.5YR 4/2	橙色 2.5YR 6/6	通常	I区	
17	深鉢	胴部	— — —	密な縦位平行沈線と逆への字状沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 7/4	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	I区	
18	深鉢	胴部	— — —	縦位隆線と結節沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	一括	
19	深鉢	口辺	— — —	太い沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	I区	
20	深鉢	口縁	— — —	沈線 口縁外部折り返し	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	一括	
21	深鉢	口縁	— — —	沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	I区	
22	深鉢	口縁	— — —	斜位・縦位沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 7/4	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	II区	
23	深鉢	口辺	— — —	隆線上に唇状の刻み	ヨコミガキ	角閃石	橙色 7.5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	II区	
24	深鉢	胴部	— — —	隆線の貼り付け 縦位沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	P_1	
25	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯に唇状の刻み 横位沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	I区	
26	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯に唇状の刻み	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区	
27	深鉢	胴部	— — —	縦位沈線 円形刺突文	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/3	橙色 5YR 6/6	通常	II区	
28	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
29	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	II区	
30	鉢	胴部	— — —	横位隆線 内外面赤色塗彩	ヨコミガキ	角閃石	灰褐色 7.5YR 4/2	灰褐色 7.5YR 4/2	通常	I区	
31	深鉢	胴部	— — —	横位隆線 縦位沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区	
32	深鉢	胴部	— — —	曲沈線 斜位平行沈線	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	II区	
33	深鉢	口辺	— — —	縦位平行沈線	ヨコミガキ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 5/3	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	I区	
34	深鉢	胴部	— — —	曲隆線とそれに沿う爪形状の連続刺突	不明	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	II区	
35	深鉢	胴部	— — —	渦巻き状突起からねじり状隆線が派生	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 7/3	通常	I区	
36	深鉢	胴部	— — —	2条の縦位沈線が入る垂下隆帯	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 6/3	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	II区	
37	深鉢	胴部	— — —	垂下隆線 逆U字状の連続刺突	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい黄橙色 10YR 7/3	通常	P_3	

（単位cm）

第122表　J－36号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
38	深鉢	口縁	― ― ―	口唇頂上部の渦巻き状の突起から2条の隆線が派生 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	P_3	
39	深鉢	胴部	― ― ―	隆帯、沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	黒褐色 5YR 3/1	橙色 5YR 6/8	通常	II区	
40	深鉢	胴部	― ― ―	蛇行する隆帯とそれに沿う沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	黒褐色 5YR 3/1	橙色 5YR 6/8	通常	I区	
41	深鉢	胴部	― ― ―	隆線、沈線による方形区画内に縄文Ｒ 内外面赤彩	ヨコミガキ	角閃石	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	通常	8	
42	深鉢	胴部	― ― ―	垂下隆線とそれに沿う沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 6/3	橙色 5YR 6/8	通常	II区	
43	土製円盤	―	6.2 × 5.6	不整形	ヨコナデ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/2	にぶい赤褐色 5YR 4/4	通常	P_4	
44	土製円盤	胴部	― ― ―	眼鏡状把手	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	I区	
45	深鉢	胴部	― ― ―	沈線	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	橙色 2.5YR 6/8	通常	II区	
46	深鉢	胴部	― ― ―	縦位平行沈線	ミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/8	通常	I区	
47	深鉢	胴部	― ― ―	中央に沈線の入る幅広隆帯	ヨコミガキ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 5/3	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	I区	
48	深鉢	胴部	― ― ―	隆線と沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 7.5YR 7/6	橙色 7.5YR 7/6	軟弱	I区	
49	深鉢	胴部	― ― ―	沈線間を縄文ＬＲが埋める	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	II区	
50	深鉢	胴部	― ― ―	縦位沈線の間を縄文ＬＲが埋める	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	通常	I区	
51	深鉢	口縁	― ― ―	曲隆線と沈線 列点刺突	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	5	
52	台付深鉢	底部	― ― ―	隆線による方形・三角区画内を平行沈線が埋める	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	I区	
53	深鉢	胴部	― ― ―	太い隆線による区画内に沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	4	
54	深鉢	胴部	― ― ―	2条の横位隆線に環状隆線が付属	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	黒褐色 7.5YR 3/1	通常	P_3	
55	深鉢	胴部	― ― ―	縦位の沈線および隆線	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 6/3	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	II区	
56	深鉢	胴部	― ― ―	縦位の沈線および隆線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	1	
57	深鉢	胴部	― ― ―	縦位沈線	ヨコミガキ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	II区	
58	深鉢	胴部	― ― ―	縦位隆線・沈線の間に列点刺突	不明	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	II区	
59	深鉢	胴部	― ― ―	曲隆線と沈線 列点刺突	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 5YR 3/1	橙色 5YR 6/6	通常	II区	
60	深鉢	把手	― ― ―	橋状把手、両脇を高め、中央にジグザグの隆線が走る	ヨコナデ	黒雲母	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	I区	
61	深鉢	口辺	― ― ―	甲高の隆線による区画内に縦位沈線を充填	不明	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	6	
62	浅鉢	口縁	― ― ―	渦巻き状隆線 斜位平行沈線	ヨコミガキ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 7/4	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	II区	

（単位cm）

第123表　J－36号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
63	深鉢	胴部	— — —	横位隆線 縄文ＲＬ	ヨコミガキ	角閃石	橙色 7.5YR 7/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	II区	
64	深鉢	胴部	— — —	隆線による楕円区画内に縄文ＲＬを埋める	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	通常	II区	
65	深鉢	口縁	— — —	垂下隆線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	I区	
66	深鉢	口縁	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	II区	
67	深鉢	胴部	— — —	垂下隆線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	II区	
68	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 7/3	通常	II区	
69	深鉢	胴部	— — —	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	I区	
70	深鉢	胴部	— — —	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	I区	
71	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	I区	
72	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	不明	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	P_{10}	
73	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 7/3	褐灰色 10YR 4/1	通常	II区	
74	深鉢	胴部	— — —	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	II区	
75	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	II区	
76	深鉢	底部付近	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石多量	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	12	
77	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	不明	角閃石	灰褐色 5YR 4/2	にぶい橙色 7.5YR 6/4	軟弱	II区	
78	深鉢	胴部	— — —	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区	
79	深鉢	胴部	— — —	縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/8	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	II区	
80	深鉢	口縁	— — —	口辺に微隆起文	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	2	
81	深鉢	口縁	— — —	口縁は内湾	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	11	
82	深鉢	口縁	— — —	口縁は内湾	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 7/3	通常	I区	
83	深鉢	口縁	— — —	幅広隆帯	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	7	
84	深鉢	口縁	— — —	無文粗製	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	P_3	
85	深鉢	胴部	— — —	無文	ヨコナデ	黒雲母	暗赤灰色 2.5YR 3/1	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	通常	I区	
86	浅鉢	胴部	— — —	無文	ヨコミガキ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 7/4	にぶい黄橙色 10YR 7/3	通常	I区	
87	深鉢	胴部	— — —	無文	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 5YR 5/4	赤褐色 2.5YR 4/6	軟弱	10	

（単位cm）

第124表　J－36号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
88	深鉢	胴部	― ― ―	無文	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/4	暗赤褐色 5YR 3/4	通常	II区	
89	深鉢	底部付近	― ― ―	無文	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	軟弱	3	
90	深鉢	胴部	― ― ―	渦巻き状沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 7/6	にぶい橙色 5YR 7/4	通常	II区	

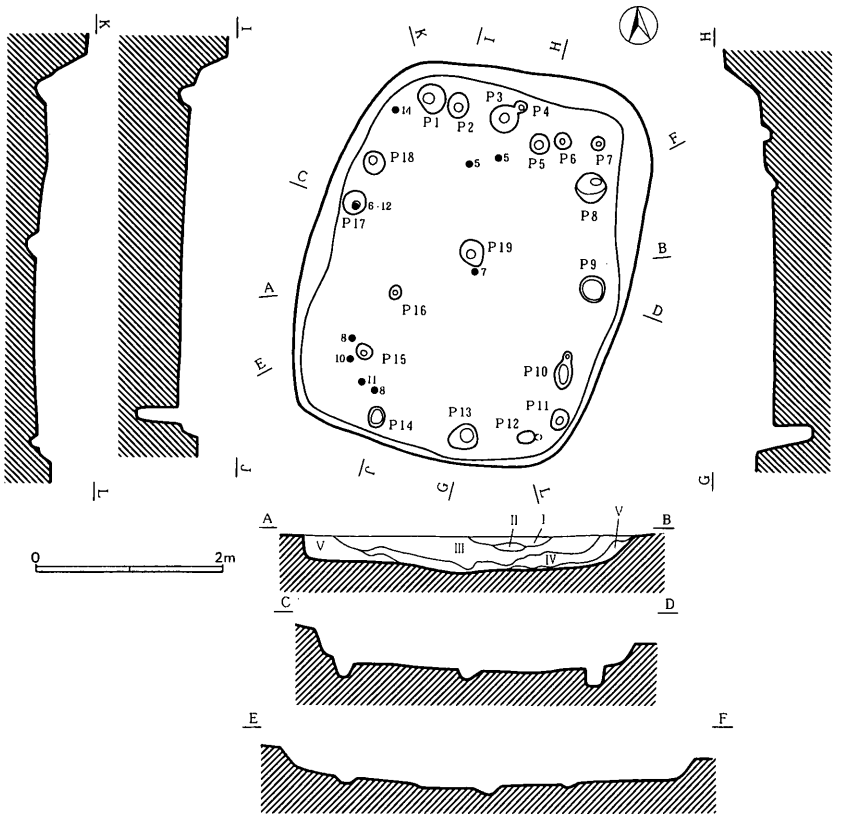
（単位cm）

(37)　J－37号住居址

住居址　　第201図

J－37号住居址は、F－14グリッドにおいて検出された。

本址は、南北4.2m・東西3.4mの方形を呈し、床面積11.1m²を測る。壁高は20cmほどである。壁溝は認められない。床面は貼り床である。



第201図　J－37号住居址（1：80）

ピットは、18個が検出された。その大部分は壁際に巡るものである。ただし、P_{19}のみは住居中央部に存在する。ピットの大きさは、P_1が30×28×10cm、P_2が26×22×10cm、P_3が30×28cm、P_4が12×12cm、P_5が20×20×10cm、P_6が16×16cm、P_7が14×14cm、P_8が32×32cm、P_9が28×16cm、P_{10}が40×18cm、P_{11}が22×16cm、P_{12}が18×12×8cm、P_{13}が30×26×40cm、P_{14}が24×16×54cm、P_{15}が18×14cm、P_{16}が14×12×6cm、P_{17}が26×24×14cm、P_{18}が24×22×4cm、P_{19}が30×24×10cmを測る。

遺物は、良好な出土状態を示すものはない。

炉

炉と考えられるものは確認されなかった。ただし、住居中央部にあるP_{19}は位置的にはよい位置にあるが、焼土を含まないものである。

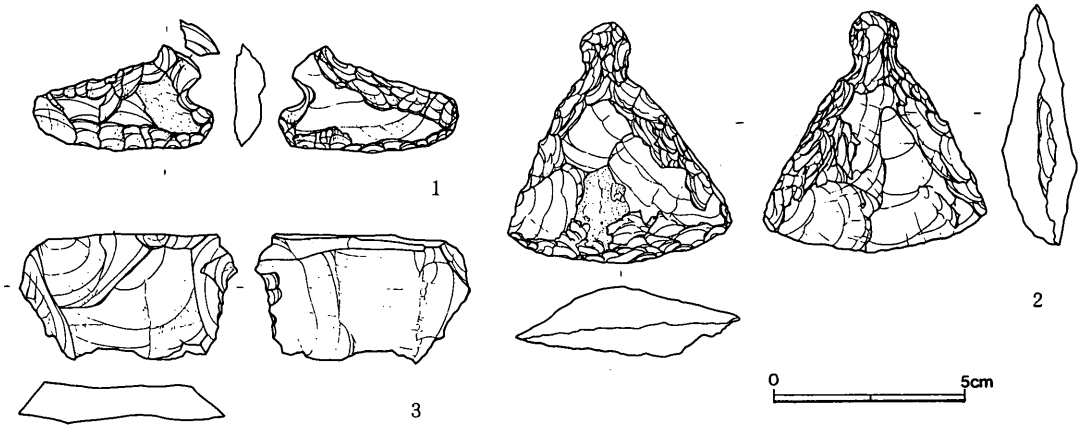
遺　物　　第202・203図・第125～127表

遺物は、石器では、石匙（1・2）と微小剥離痕のある剥片がある。

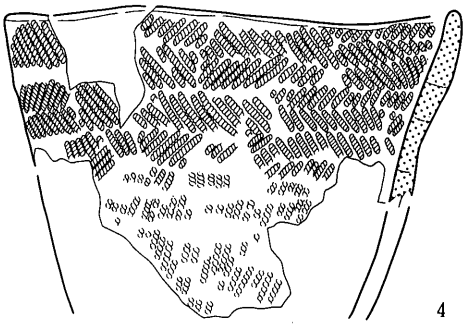
土器は、前期初頭とみられる羽状縄文を施した深鉢の破片（4～13）が認められる。また、14にも縄文がみられるが、胎土が明らかに在地の土器とは異なり、北白川下層式とみられる土器である。

時　期

本住居址は、縄文時代前期初頭（川原田遺跡第3期）に位置付けられよう。



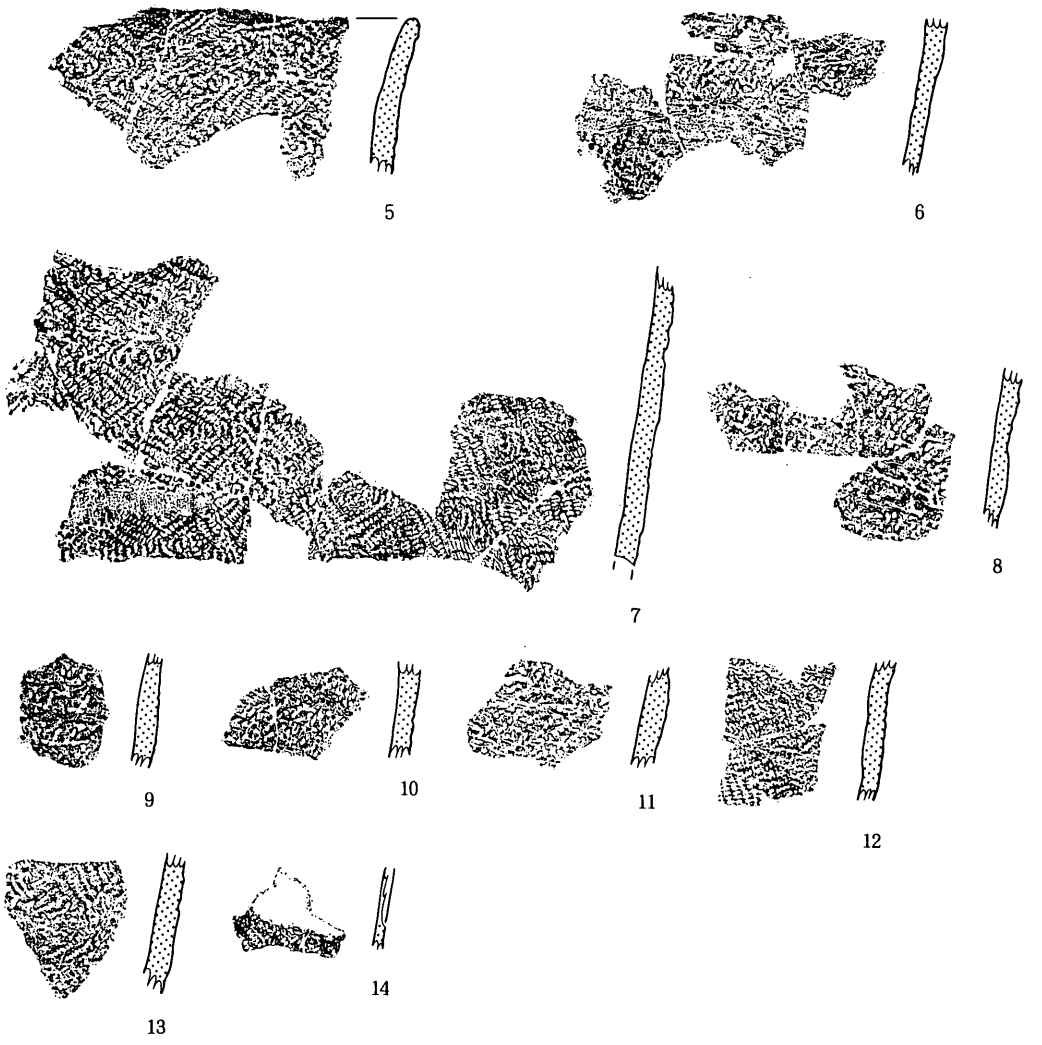
第202図　J－37号住居址出土遺物
（1～3＝1：2，4＝1：4）



第125表　J－37号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石匙	チャート	27	47	10	10.9	
2	石匙	ガラス質黒色安山岩	63	59	17	44.8	
3	微小剥離痕のある剥片	チャート	34	57	12	24.3	

（単位mm，g）



第203図　J－37号住居址出土土器（1：4）

第126表　J－37号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
4	深鉢	口縁	23.5 — —	縄文LRとRLによる羽状構成 結束	ヨコナデ	繊維含 風化岩片	橙色 5YR 6/6	褐灰色 5YR 4/1	通常	5 6	
5	深鉢	口縁	— — —	縄文LRとRLによる羽状構成 結束	ヨコナデ	繊維含 風化岩片	橙色 5YR 6/6	褐灰色 5YR 4/1	通常	2 3	同一個体
6	深鉢	胴部	— — —	縄文LRとRLによる羽状構成 結束 菱形構成	ヨコナデ	繊維含 風化岩片	橙色 5YR 6/6	褐灰色 5YR 4/1	通常	5	
7	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	不明	繊維含 風化岩片	橙色 5YR 6/6	褐灰色 5YR 4/1	通常	7	同一個体
8	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	不明	繊維含 風化岩片	橙色 5YR 6/6	褐灰色 5YR 4/1	通常	8 14	

（単位cm）

第127表　Ｊ－37号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
9	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＬＲ	ヨコナデ	繊維含 風化岩片	橙色 5YR 6/6	褐灰色 5YR 4/1	通常	1区	
10	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＬＲ	ヨコナデ	繊維含 風化岩片	橙色 5YR 6/6	褐灰色 5YR 4/1	通常	11	
11	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＬＲ	タテナデ	繊維含 風化岩片	橙色 5YR 6/6	褐灰色 5YR 4/1	通常	15	
12	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＬＲとＲＬによる羽状構成	ヨコナデ	繊維含 風化岩片	にぶい赤褐色 5YR 5/3	褐灰色 5YR 4/1	通常	5	
13	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＬＲとＲＬによる羽状構成	ヨコナデ	繊維含 風化岩片	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
14	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＲＬ、薄手	ヨコナデ	白色粒子	灰黄色 2.5Y 7/2	暗灰黄色 2.5Y 4/2	良好	4	北白川下層式

（単位cm）

(38)　Ｊ－38号住居址

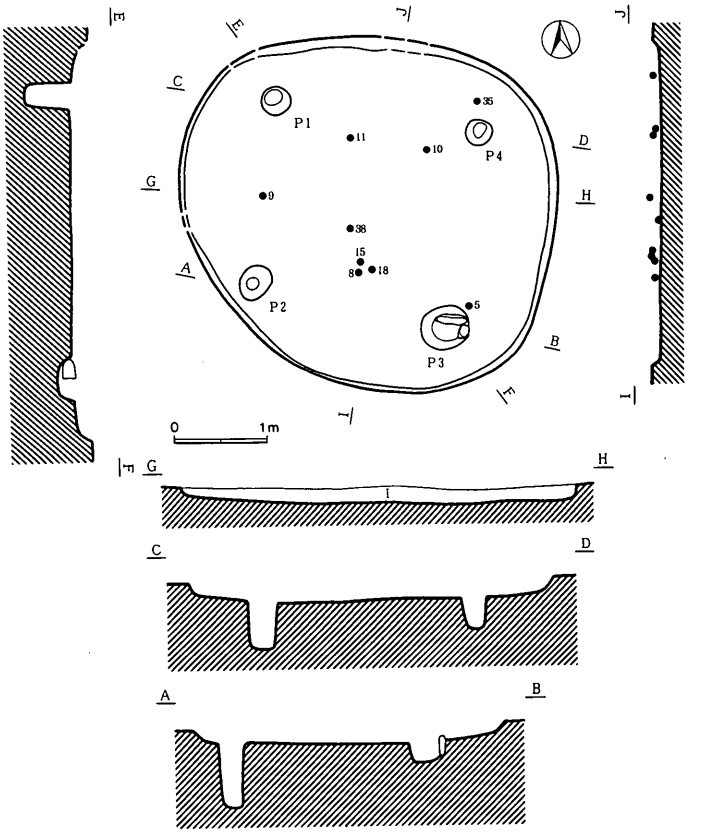
住居址　　第204図

Ｊ－38号住居址は、Ｉ－14グリッドにおいて検出された。本址はＪ－22号住居址の内側に同心円状にあり、Ｊ－22号住居址の拡張前の可能性が大きいと考えられるが、とりあえず別呼称をとった。

本址は、南北3.8ｍ・東西4.0ｍの円形住居で、床面積は推定で11.8㎡を測る。壁の残存高は、10cm前後を測る。壁溝は認められない。

ピットは、４個が検出された。ピットの大きさは、Ｐ₁が30×30×50cm、Ｐ₂が40×30×68cm、Ｐ₃が52×46×20cm、Ｐ₄が28×28×30cmを測る。

住居覆土は１層のみで、Ｉ層はローム粒子を多量に含む人為



第204図　Ｊ－38号住居址（Ｉ：80）

的埋土で暗褐色土層（10YR3/4）であった。

遺物は、良好な出土状態のものはない。

炉

炉は検出されなかった。

遺　物　　第205・206図・第128～131表

遺物は、石器では、ピエス・エスキーユ（1）・石皿（2）が出土している。

土器は、縄文時代中期後葉の加曽利E 2式の破片（33など）がみられ、住居に伴うものと考えられる。

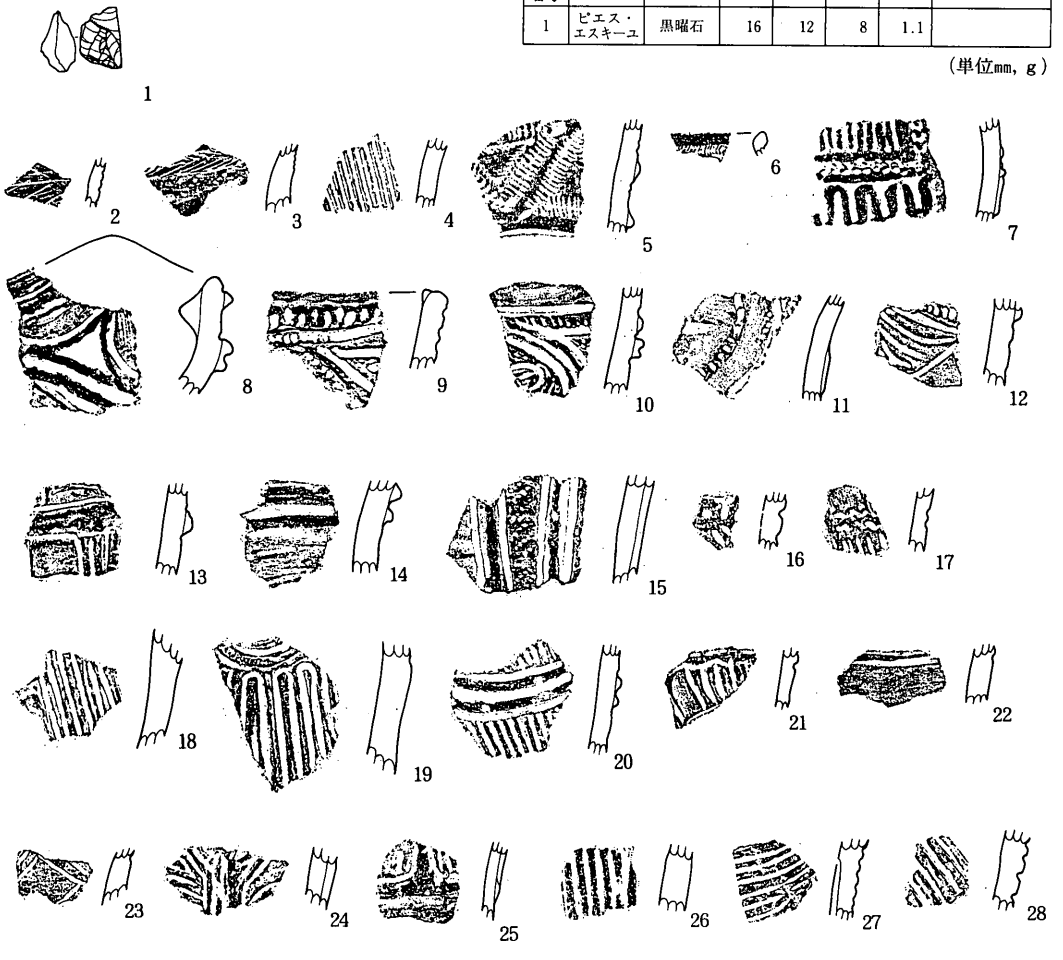
時　期

本住居址は、縄文時代中期後葉（川原田遺跡第12期～第13期）に位置付けられよう。

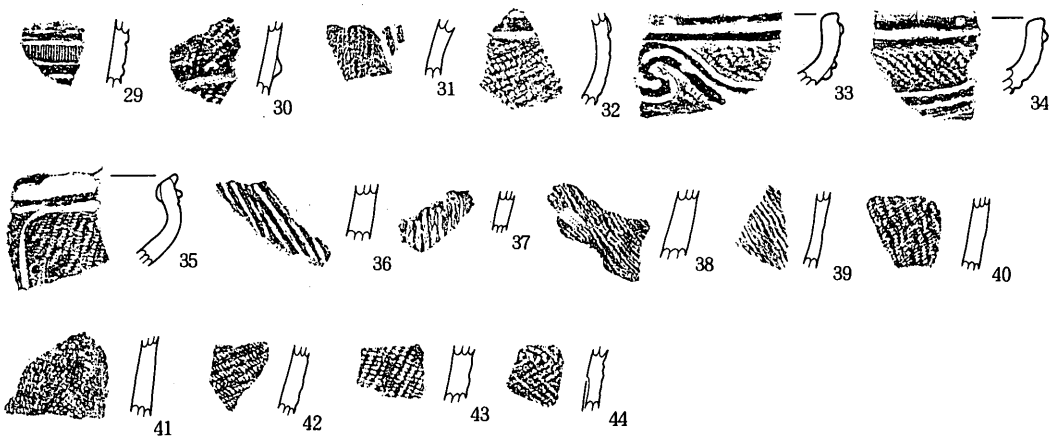
第128表　J－38号住居址出土遺物一覧表　<石器>

挿図番号	器　種	材　質	長さ	幅	厚さ	重量	備　考
1	ピエス・エスキーユ	黒曜石	16	12	8	1.1	

（単位mm, g）



第205図　J－38号住居址出土遺物（1＝1：2，2～＝1：4）



第206図　J－38号住居址出土土器（1：4）

第129表　J－38号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
2	深鉢	胴部	— — —	横位・斜位沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 6/3	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	III区	早期？
3	深鉢	胴部	— — —	横位ハの字状沈線 縄文LR	ヨコナデ	角閃石	浅黄橙色 10YR 8/3	黒褐色 10YR 3/1	通常	IV区	
4	深鉢	胴部	— — —	縦位沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	I区	
5	深鉢	胴部	— — —	キャタピラ文 ペン先状刺突文	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	16	
6	深鉢	口縁	— — —	ペン先状刺突文	ヨコナデ	角閃石	黒褐色 5YR 3/1	灰褐色 5YR 5/2	通常	II区	
7	深鉢	胴部	— — —	横位蛇行隆線 刺突文、縦位沈線	ヨコナデ	角閃石	浅黄橙色 10YR 8/4	浅黄橙色 10YR 8/3	通常	一括	
8	深鉢	口縁	— — —	隆線による三叉区画	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	19	
9	深鉢	口縁	— — —	口唇は交互の押圧で蛇行状の効果を出す結節沈線	ヨコナデ	角閃石	黒褐色 5YR 3/1	明赤褐色 5YR 5/6	通常	28	
10	深鉢	胴部	— — —	刻みのある横位隆帯 曲隆線、沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	14	
11	深鉢	胴部	— — —	結節沈線	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/4	赤褐色 5YR 4/6	通常	4	
12	深鉢	胴部	— — —	刻みのある横位隆帯 弧状沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	通常	5	
13	深鉢	胴部	— — —	横位隆線 縦位沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	8	
14	深鉢	胴部	— — —	横位隆線	ヨコナデ	角閃石	褐色 7.5YR 4/3	橙色 7.5YR 6/6	通常	一括	
15	深鉢	胴部	— — —	垂下隆線に沈線が沿い、その間を縄文RLが埋める	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	32	
16	深鉢	胴部	— — —	地文縄文 刺突文	不明	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	赤褐色 5YR 4/8	通常	II区	
17	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/6	明赤褐色 5YR 5/8	通常	一括	

（単位cm）

第130表　J－38号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
18	深鉢	胴部	— — —	縦位平行沈線	ヨコナデ	角閃石	黒色 7.5YR 2/1	黒褐色 7.5YR 3/1	通常	18	
19	深鉢	胴部	— — —	逆U字状沈線	ヨコナデ	角閃石	灰褐色 7.5YR 4/2	明褐色 7.5YR 5/8	通常	II区	
20	深鉢	胴部	— — —	2条の隆線 縦位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	明赤褐色 5YR 5/6	通常	III区	
21	深鉢	胴部	— — —	斜位平行沈線	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 5YR 4/8	明赤褐色 5YR 5/8	通常	II区	
22	深鉢	胴部	— — —	横位沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 7.5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	II区	
23	深鉢	胴部	— — —	平行沈線	ヨコナデ	角閃石	褐色 7.5YR 4/3	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	II区	
24	深鉢	胴部	— — —	隆線 沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	II区	
25	深鉢	胴部	— — —	隆帯 沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 5YR 6/8	通常	II区	
26	深鉢	胴部	— — —	平行沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 7/4	にぶい橙色 5YR 7/3	通常	III区	
27	深鉢	胴部	— — —	平行沈線	不明	黒雲母	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	通常	36	
28	深鉢	胴部	— — —	縦位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/8	通常	III区	
29	深鉢	胴部	— — —	横位沈線間を連続平行刺突文が埋める	ヨコナデ	白色粒子	浅黄橙色 7.5YR 8/4	浅黄橙色 7.5YR 8/4	通常	III区	
30	深鉢	胴部	— — —	横位隆線 縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	一括	
31	深鉢	胴部	— — —	縦位隆帯 撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	II区	
32	深鉢	胴部	— — —	縦位隆線 縄文RL	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/3	橙色 5YR 6/8	通常	一括	
33	深鉢	口縁	— — —	隆線によるS字状文 縄文RL	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	通常	III区	
34	深鉢	口縁	— — —	隆線と沈線による楕円区画内に縄文RLを埋める	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
35	深鉢	口縁	— — —	隆線 沈線による方形区画内を縄文	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 7/4	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	15	
36	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	IV区	
37	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L	ヨコミガキ	黒雲母	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	III区	
38	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	22	
39	深鉢	胴部	— — —	撚糸文R	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 5YR 7/4	通常	I区	
40	深鉢	胴部	— — —	縄文RL	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
41	深鉢	胴部	— — —	縄文	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	10	
42	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	IV区	

（単位cm）

第131表　Ｊ－38号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
43	深鉢	胴部	— — —	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	一括	
44	深鉢	胴部	— — —	羽状縄文	不明	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅲ区	

（単位cm）

(39)　Ｊ－39号住居址

住居址　　第207図

Ｊ－35号住居址は、Ｈ－12グリッドにおいて検出された。本址はＪ－44号住居址の内側に同心円状に重なり、Ｊ－44号住居址の拡張前の可能性が考えられるが、とりあえず別呼称をとった。また、Ｊ－18号住居址に切られて存在する。

本址は、南北2.5ｍ・東西2.1ｍの隅丸方形を呈し、床面積3.5㎡を測る。壁の残存高は20cmほどである。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

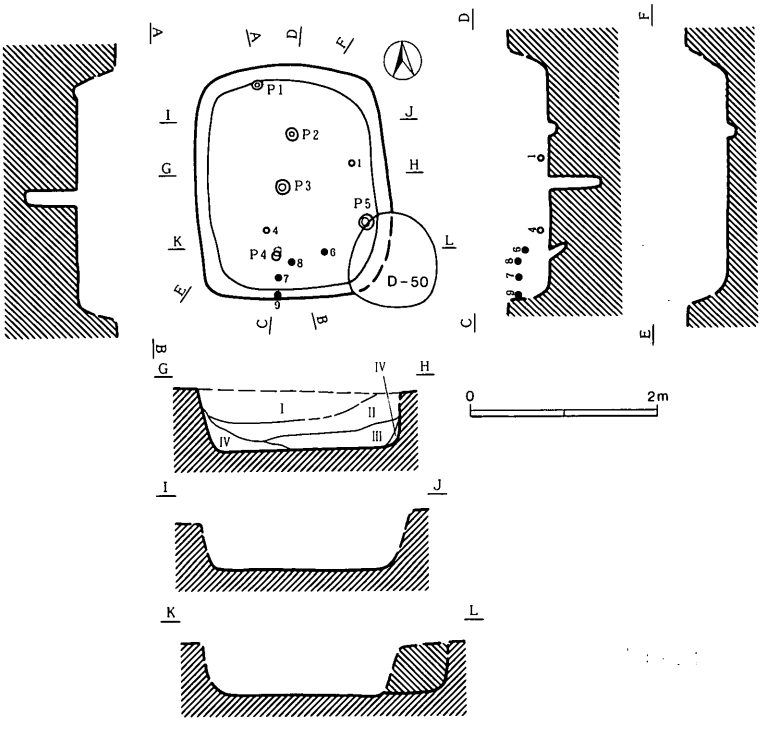
ピットは、5個検出され住居の主軸に沿ってP_1～P_4が並ぶ。ピットの大きさは、P_1が10×8×4cm、P_2が12×10×8cm、P_3が14×14×54cm、P_4が8×8×16cm、P_5が16×16cmを測る。

住居覆土は、4層で、Ⅰ層はローム粒子を含まない黒褐色土層（10YR2/2）、Ⅱ層はローム粒子を含む暗褐色土層（10YR3/2）、Ⅲ層はローム粒子をよく含む暗褐色土層（10YR3/3）、Ⅳ層はローム粒子を多量に含む褐色土層（10YR4/4）であった。

遺物は、良好な出土状態のものはみられない。

炉

炉は、検出されなかった。

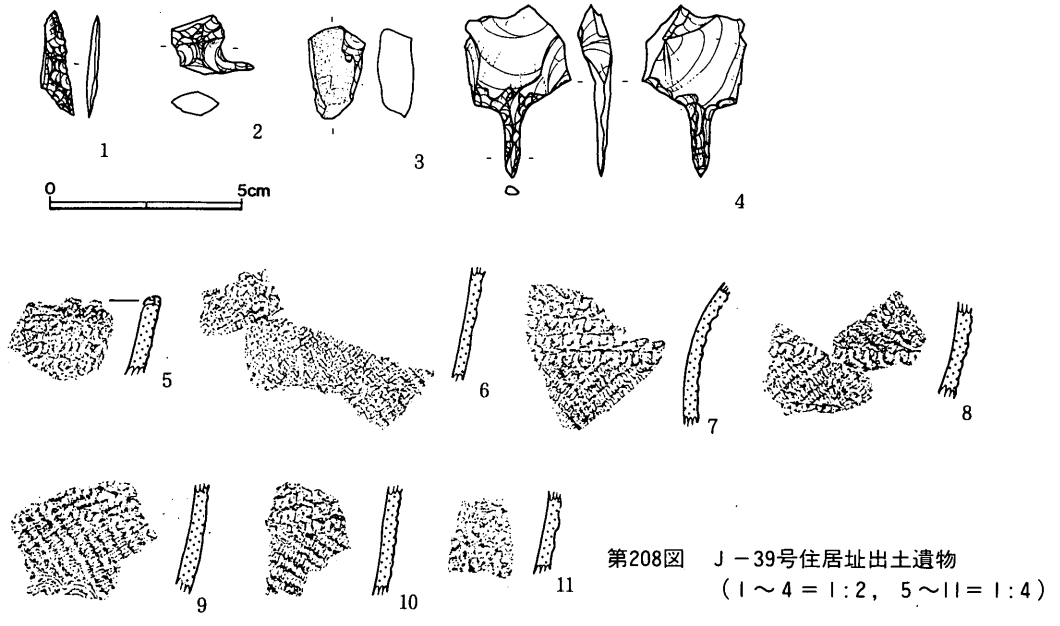


第207図　Ｊ－39号住居址（１：80）

第132表　Ｊ－39号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
5	深鉢	口縁	－ － －	口唇部に２個の突起 縄文	ヨコミガキ	繊維含	にぶい黄橙色 10YR 6/4	黒褐色 10YR 3/1	良好	Ⅲ区 Ⅱ層	関山Ⅰ（後半）
6	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＬＲ	ヨコミガキ	繊維含	にぶい褐色 7.5YR 5/3	褐灰色 10YR 4/1	良好	3 6	関山Ⅰ（後半）
7	深鉢	胴部	－ － －	０段多条の縄文ＬＲとＲＬによる羽状構成 多段ループ文	ヨコナデ	繊維含	にぶい褐色 7.5YR 5/3	褐灰色 10YR 4/1	良好	4	関山Ⅰ（後半）
8	深鉢	胴部	－ － －	０段多条の縄文ＬＲとＲＬによる羽状構成 ループ文	ヨコナデ	繊維含	にぶい褐色 7.5YR 5/3	褐灰色 7.5YR 4/1	良好	5 6	関山Ⅰ（後半）
9	深鉢	胴部	－ － －	多段ループ文 ０段多条による縄文ＲＬ コンパス文	ヨコナデ	繊維含	橙色 5YR 6/6	褐灰色 10YR 4/1	良好	3	関山Ⅰ（後半）
10	深鉢	胴部	－ － －	多段ループ文 ０段多条による縄文ＲＬ	ヨコナデ	繊維含	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	良好	Ⅳ区 Ⅳ層	関山Ⅰ（後半）
11	深鉢	胴部	－ － －	多段ループ文 縄文ＬＲ	ヨコナデ	繊維含	橙色 7.5YR 6/6	褐灰色 10YR 4/1	良好	Ⅳ区 Ⅱ層	関山Ⅰ（後半）

（単位cm）



第208図　Ｊ－39号住居址出土遺物
（１～４＝１：２，５～11＝１：４）

遺　物　　第208図・第132・133表

遺物は、石器では、石鏃（１）・石匙（２）・ピエス・エスキーユ（３）・石錐（４）が出土している。

土器は、関山Ⅰ式がみられる。多段ループ文（７～11）・コンパス文（５）などを施す土器破片が若干出土している。

時　期

本住居址は、関山Ⅰ式期にあたる縄文前期中葉（川原田遺跡第４期）に位置付けられよう。

第133表　Ｊ－39号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考	挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	24	8	3	0.4	欠損	3	ピエス・エスキーユ	黒曜石	25	16	10	4.1	
2	石匙	黒曜石	15	19	6	1.4	つまみ部	4	石錐	鉄石英	44	26	8	4.7	

（単位mm，g）

(40)　Ｊ－40号住居址

住居址　　第210図

Ｊ－40号住居址は、Ｅ－12グリッドにおいて検出された。

本址は、その床面が確認されたのみで、推定６ｍほどの径を有するものとみられるが、詳細はわからない。

遺物は、良好な出土状態を示すものはない。

炉

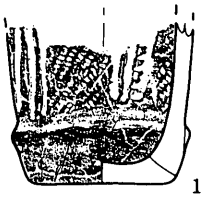
炉は、確認できなかった。

遺　物　　第209図・第134表

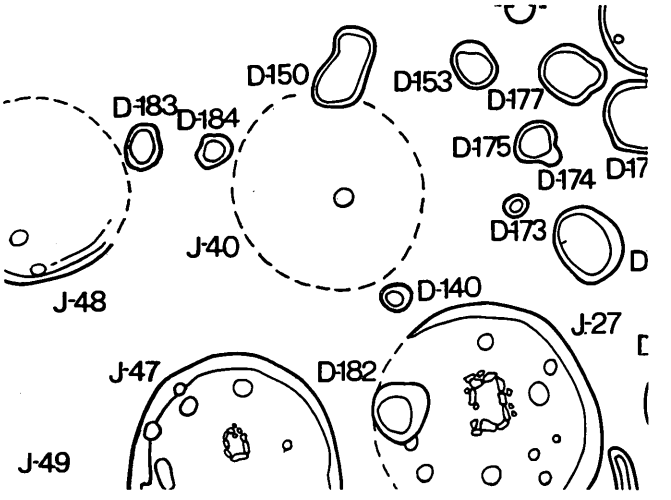
土器は、１の地文に縄文を施し、３条の垂下する沈線のみられる加曽利Ｅ２式の深鉢胴下半部を図示しえたのみである。

時　期

本住居址は、縄文中期後葉（川原田遺跡第12期もしくは第13期）に位置付けられよう。



第209図　Ｊ－40号住居址出土土器（１：４）



第210図　Ｊ－40号住居址位置図

第134表　Ｊ－40号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
1	深鉢	底部	－ － 7.6	地文に縄文ＬＲ ３条の縦位沈線	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1	

（単位cm）

(41)　Ｊ－41号住居址

住居址　　第211図

Ｊ－41号住居址は、Ｉ－14グリッドにおいて検出された。本住居址は、Ｊ－16・28・32・50号住居址、およびＤ－188号土坑と重複するが新旧関係はとらえられなかった。

本址は、長軸推定4.2ｍ・短軸3.4ｍの不整楕円形を呈し、推定床面積23.4㎡を測る。壁高は20cmほどである。壁溝は認められない。床面は貼り床である。ただし、住居の要件を満たしている部分が少なく、あるいは住居でない可能性も残る。

ピットは、5個が検出された。ピットの大きさは、P_1が34×28×42cm、P_2が42×30×60cm、P_3が60×46×16cm、P_4が44×40×20cm、P_5が40×32×14cmを測る。

遺物の出土はみられなかった。

炉

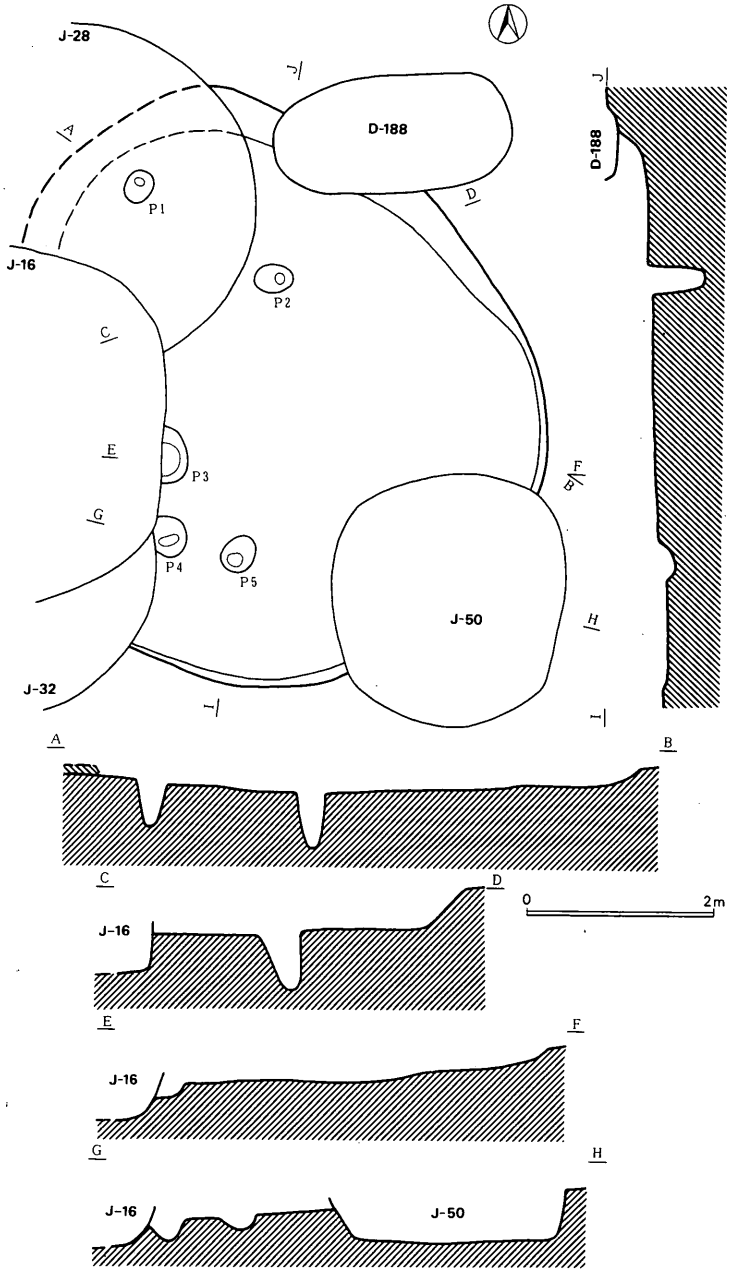
炉は認められなかった。

遺　物

遺物の出土はみられなかった。

時　期

本址は、おそらく縄文中期の遺構かと考えられる。



第211図　Ｊ－41号住居址（１：80）

(42)　Ｊ－42号住居址

住居址　　第212図

Ｊ－42号住居址は、Ｆ－12グリッドにおいて検出された。本址はＤ－48号土坑と重複するが新旧関係はとらえられなかった。

本址は、南北3.6ｍ・東西3.5ｍの円形住居で、床面積は9.7㎡を測る。壁の残存高は、20cm前後を測る。壁溝は認められない。ピットも、検出されなかった。あるいは住居でない可能性も考えられる。

住居覆土は１層のみで、Ｉ層はローム粒子を多量に含む暗褐色土層（10YR3/4）であった。

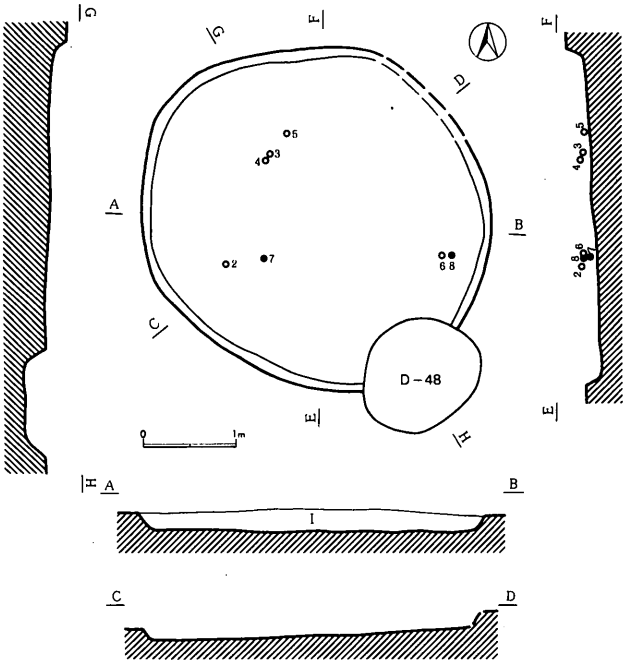
遺物は、良好な出土状態のものはない。

炉

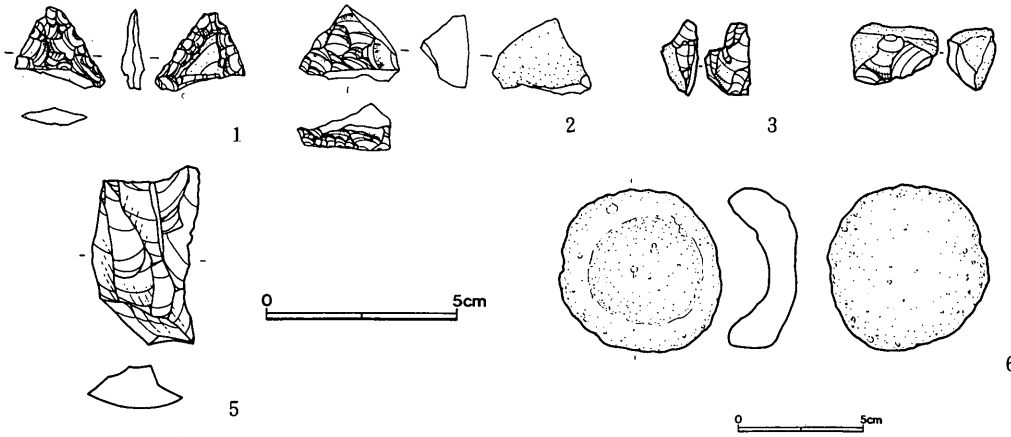
炉は検出されなかった。

遺　物　　第213・214図・第135・136表

遺物は、石器では、石鏃（１）・スクレイパー（２）・ピエス・エスキーユ（３）・石核（４）・剥片（５）・軽石製小皿（６）が出土している。



第212図　Ｊ－42号住居址（１：80）



第213図　Ｊ－42号住居址出土石器（１～５＝１：２，６＝１：３）

第135表　Ｊ－42号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考	挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	19	23	6	1.4		4	石核	黒曜石	16	23	13	4.0	
2	スクレイパー	黒曜石	20	25	12	4.2		5	剝片	硬質頁岩	47	26	11	11.2	
3	ピエス・エスキーユ	黒曜石	19	12	9	1.8		6	小皿	軽石	64	69	26	31.8	

（単位mm, g）

第136表　Ｊ－42号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

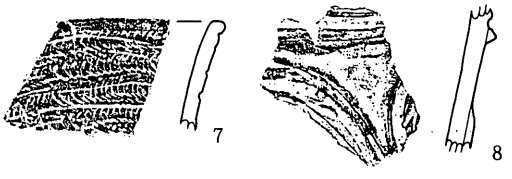
挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
7	深鉢	口縁	― ― ―	爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/3	橙色 5YR 6/6	通常	16	
8	深鉢	胴部	― ― ―	隆線	ヨコナデ	黒雲母多量	黒褐色 5YR 2/1	橙色 5YR 6/6	通常	26	

（単位cm）

土器は、半截竹管の連続刺突を施した縄文前期諸磯ａ式の土器片（９）、縄文中期の破片（８）がみられる。

時　期

本址は、遺物から時期判断は難しいが、プランからみて縄文中期のものと考えられよう。



第214図　Ｊ－42号住居址出土土器（１：４）

(43)　Ｊ－43号住居址

住居址　　第215図

Ｊ－43号住居址は、Ｊ－13グリッドにおいて検出された。

本址は、床面およびピットが検出されたのみで正確な構造が把握できないが、大きさは推定で南北5.4ｍ・東西5.5ｍ、推定床面積22.7㎡を測り、円形を呈するものと考えられる。

ピットは、14個が検出され、ほぼ円形に並ぶ。ピットの大きさは、P_1が46×30×30cm、P_2が34×32×16cm、P_3が70×56×62cm、P_4が36×32×56cm、P_5が38×34×36cm、P_6が36×36×40cm、P_7が24×20×32cm、P_8が28×24×50cm、P_9が38×30×12cm、P_{10}が26×24×30cm、P_{11}が40×34×16cm、P_{12}が32×26×32cm、P_{13}が90×68×50cm、P_{14}が32×24×22cmを測る。

遺物は、良好な出土状態のものはみられない。

炉

炉は、検出されなかった。

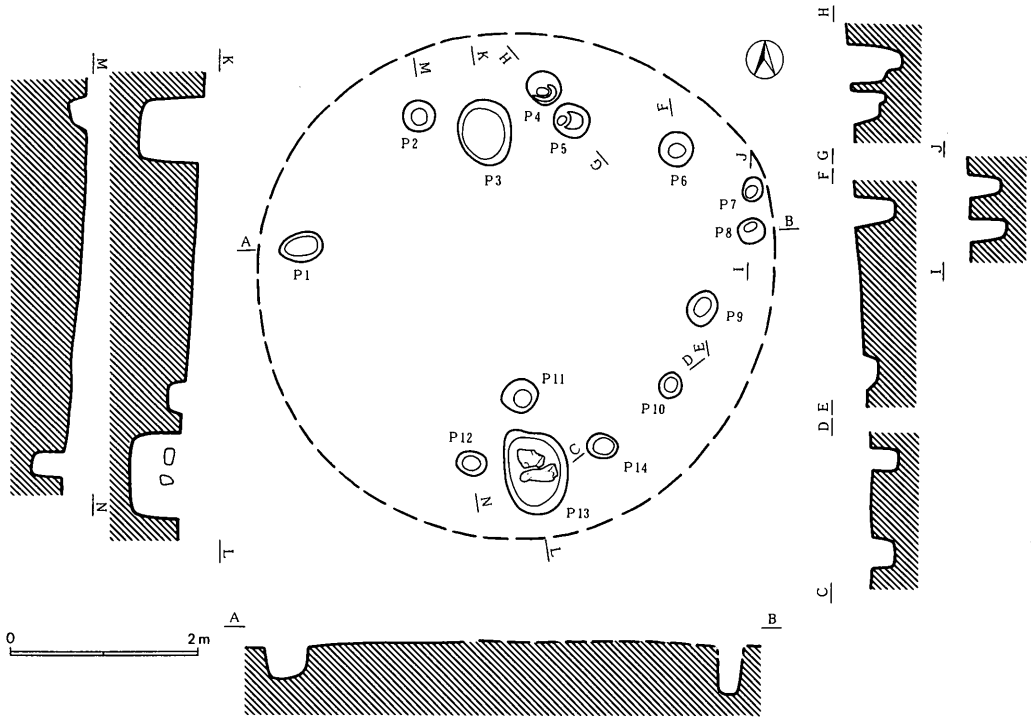
遺　物　　第216・217図・第137・138表

遺物は、石器では、石錐（1）・ピエス・エスキーユ（2）・打製石斧（3・4）が出土している。

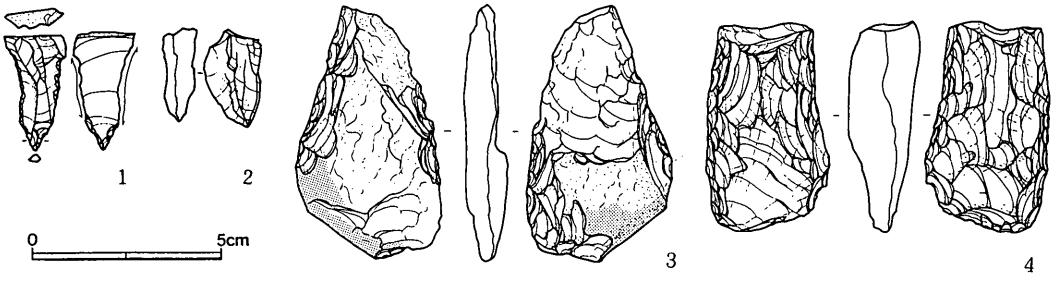
土器は、縄文中期の土器破片が若干出土しているにすぎない（第217図5～10）。

時　期

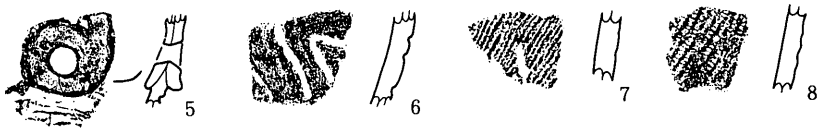
本住居址は、細かな時期はわからないが、縄文中期の所産と考えられよう。

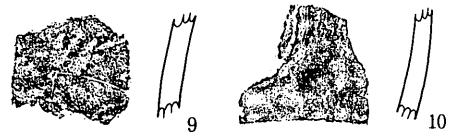


第215図　J－43号住居址（1：80）



第216図　J－43号住居址出土石器（1・2＝1：2，3・4＝3：4）





第217図　J－43号住居址出土土器（1：4）

第137表　J－43号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石錐	黒曜石	100	57	16	1.7	
2	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	80	49	27	3.0	
3	打製石斧	安山岩	31	17	4	78.5	基部欠損
4	打製石斧	ホルンフェルス	25	15	8	123.8	基部欠損

（単位mm，g）

第138表　J－43号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
5	深鉢	口縁	— — —	環状突起	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	P_1	
6	深鉢	胴部	— — —	沈線	不明	角閃石	橙色 5YR 6/8	橙色 7.5YR 7/6	通常	P_2	
7	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 7.5YR 7/6	通常	P_{10}	
8	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	P_1	
9	深鉢	胴部	— — —	無文	ヨコナデ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/6	暗赤褐色 5YR 3/6	通常	P_{10}	
10	浅鉢	胴部	— — —	外面赤彩 内面不明	ヨコミガキ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	P_8	

（単位cm）

(44)　J－44号住居址

住居址　　第218図

J－44号住居址は、H－12グリッドにおいて検出された。J－39号住居址と同心円状に重複し、その拡張後が本住居址である可能性があるがとりあえず別呼称をとった。また、本住居址はJ－18号住居址に切られて存在している。

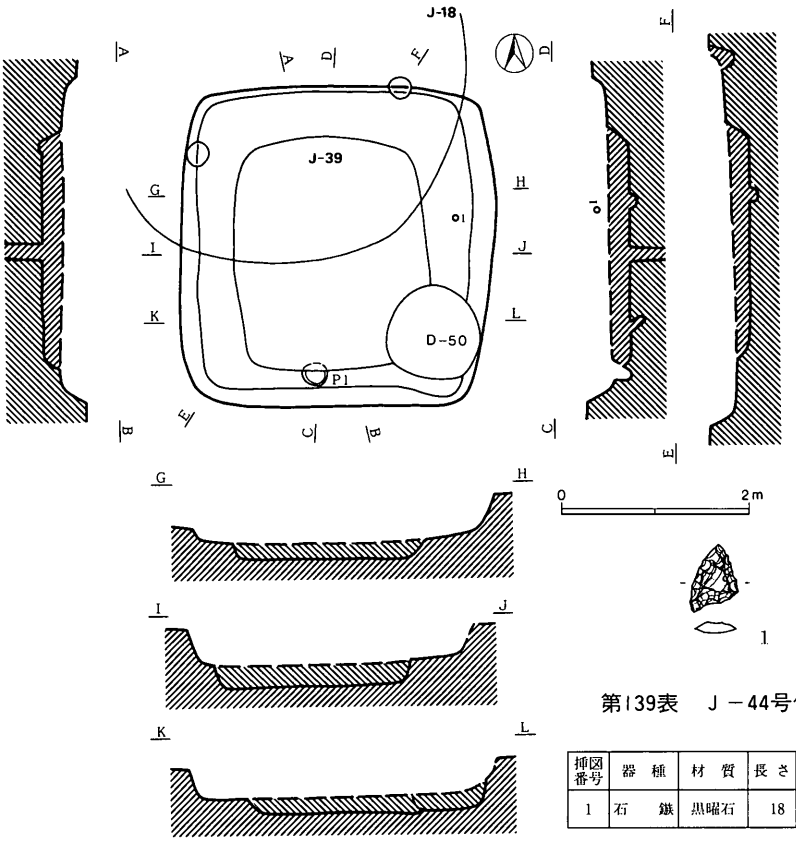
本址は、南北3.4m・東西3.4mの隅丸方形を呈し、床面積8.9m²を測る。壁高は10～30cmほどである。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

ピットは、P_1が1個認められたのみで、26×24×20cmを測る。

遺物は、良好な出土状態を示すものはない。

炉

炉は、確認できなかった。



遺　物　　第218図・第139表

遺物は、石鏃(1)が出土しているのみである。

時　期

J－39号住居址の拡張後が本住居址である可能性を考えた場合、本住居址はJ－39号と同時期の縄文前期関山Ⅰ期(川原田遺跡第4期)に位置付けられよう。

第139表　J－44号住居址出土遺物一覧表

＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	18	11	3	0.5	

(単位mm, g)

第218図　J－44号住居址(1：80)・出土石器(1：2)

(45)　J－45号住居址

住居址　　第219図

J－45号住居址は、E－11グリッドにおいて検出された。D－170号土坑と重複するがその新旧関係は明らかでない。

本址は、南北4.6m・東西5.0mの円形を呈し、床面積16.6m²を測る。壁の残存高は、20cm前後を測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

ピットは、9個が検出され、多くは壁際に不規則に配置されている。ピットの大きさは、P_1が40×30×40cm、P_2が30×30×10cm、P_3が30×28×20cm、P_4が36×34×12cm、P_5が40×34×10cm、P_6が58×40×20cm、P_7が30×30×16cm、P_8が28×24cm、P_9が90×82×34cmを測る。

住居覆土は、Ⅰ層のみで、パミスを多く含みローム粒子を若干含む黒褐色土層(10YR2/3)であった。

炉　第219図

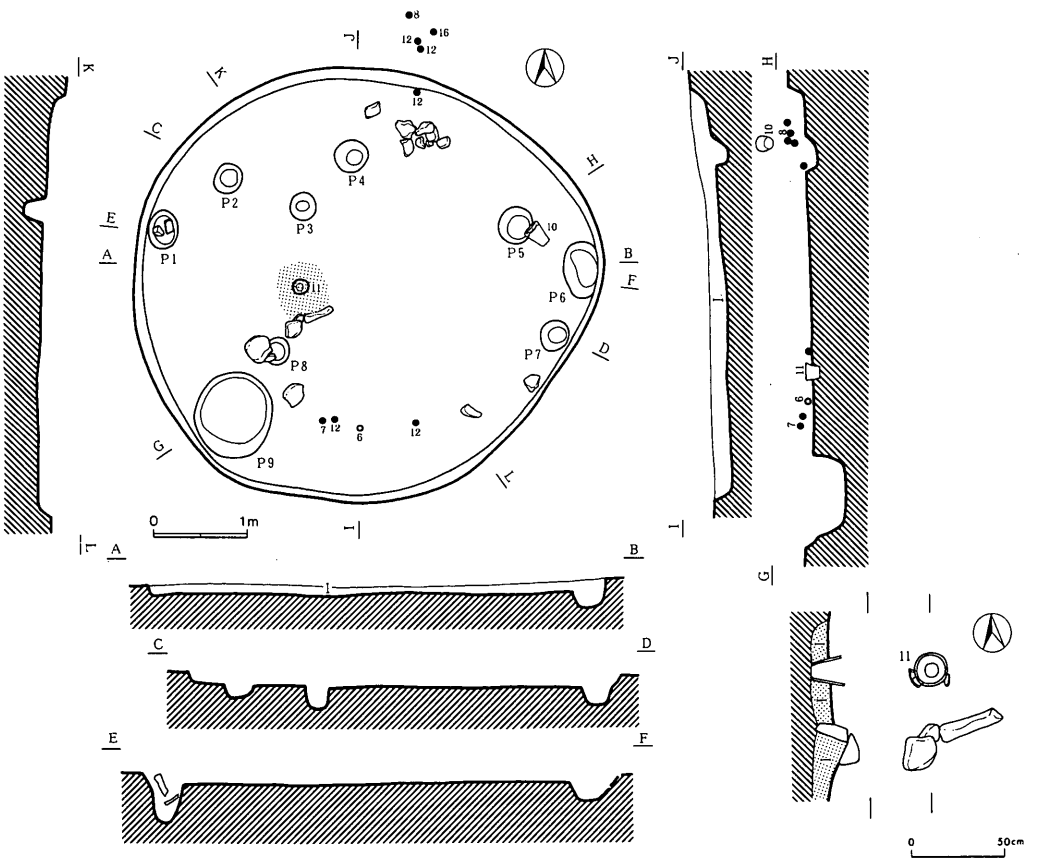
炉は、住居址の中央よりやや寄った位置に存在する。炉縁石３個がみられ、中央に11の小形深鉢が据えてあった。本来は石囲いを伴う炉とも考えられる。掘り込み部は径60～80cmの円形を呈し、深さ10cmを測る。

覆土はＩ層で、焼土をわずかに含みカーボンを含まない黒褐色土層（10YR3/2）である。

遺　物　第220・221図・第140～142表

遺物は、出土した石器には、石鏃未成品（１・２）・ピエス・エスキーユ（３・４）・石錐？（５）・凹石（６）がある。

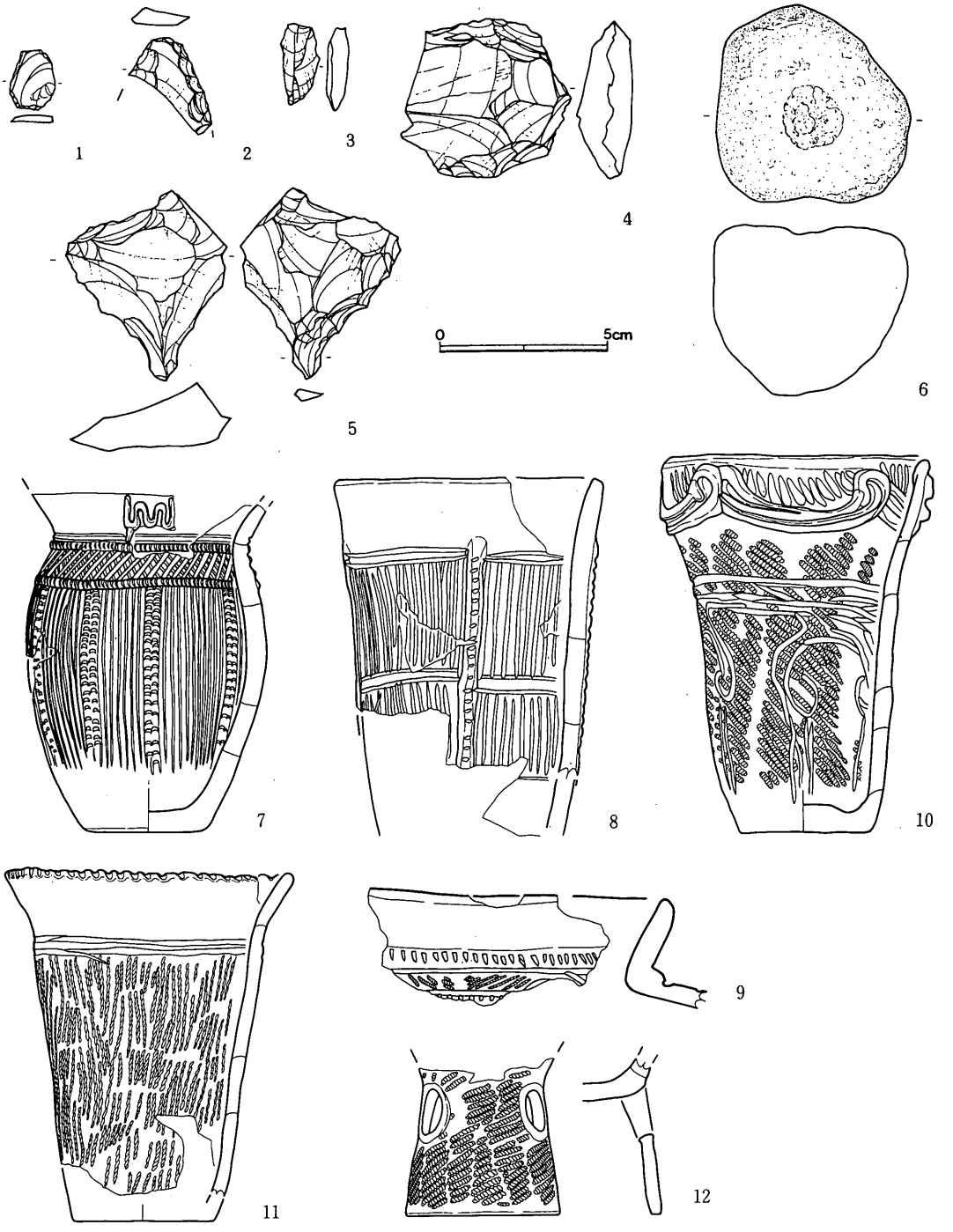
土器は、縄文中期後半のもので、ソーメン状の粘土紐を斜格子および縦位に密に貼り付けた曽利Ⅱ式の深鉢（７）、刻みのある隆帯と横位沈線による方形区画の内に縦位の沈線を平行して施した深鉢（８）、加曽利Ｅ２段階の口縁部に連続する弧状の隆線を貼り付け胴部に縄文を施した深鉢（11）、縄文を施した台付甕の台部（12）、胴部に撚糸文を施し刻みのある口縁の深鉢（11）がある。



第219図　Ｊ－45号住居址（住居＝Ｉ：80，炉＝Ｉ：40）

時　期

本住居址は、川原田遺跡第12期に位置付けられよう。

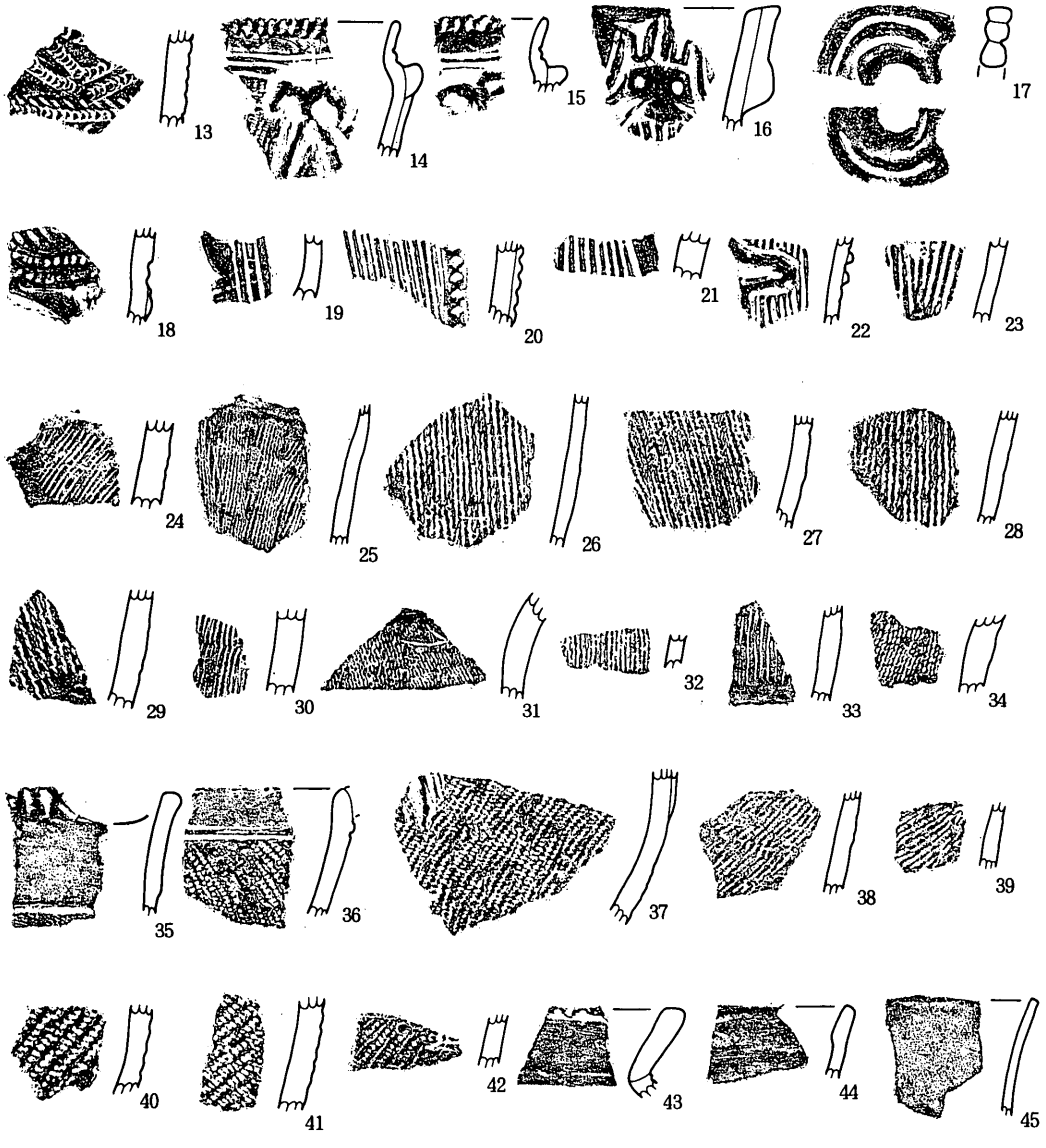


第220図　J－45号住居址出土遺物（1～5＝1:2，6＝1:3，7～＝1:4）

第140表　Ｊ－45号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃未成品	黒曜石	18	14	4	1.0	
2	石鏃未成品	ガラス質黒色安山岩	26	29	6	3.1	山本分析No.15 八風山産
3	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	24	2	6	1.9	
4	ピエス・エスキーユ	チャート	47	52	16	40.6	
5	石錐？	ガラス質黒色安山岩	56	48	23	42.4	
6	凹石	安山岩	92	88	74	717.2	

（単位mm，g）



第221図　Ｊ－45号住居址出土土器（１：４）

第141表　J－45号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
7	深鉢	口縁～底部	— —	半隆起線、ソーメン状粘土紐による格子。縦位の半隆起線と縦位の爪形状文の連続刺突	ヨコナデ	白色粒子を多く含む	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 7/3	通常	Ⅳ区 Ⅲ区	
8	深鉢	口縁～胴部	(15.3) —	縦位の隆線で4単位に区画し、内部を平行沈線で埋める	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/8	橙色 2.5YR 6/6	通常	Ⅰ区	
9	深鉢	口縁	— —	頸部に連続した刻みを施す 縄文ＬＲ	ヨコミガキ	角閃石	橙色 5YR 7/6	褐灰色 5YR 6/1	良好		
10	深鉢	口縁～底部	15.7 22.5 7.5	口縁には連続する横Ｓ字状隆帯 地文は縄文ＲＬ	ヨコミガキ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	通常	1	
11	深鉢	口縁～胴部	16.4 —	口唇は棒状工具によるオサエによって鋸歯状となる 胴部撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 5YR 4/8	橙色 5YR 6/6	通常	炉	炉胎土器 底部は抜けている
12	台付鉢	台部	— — 9.0	4か所に円形の透かし 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	3、4 24	
13	深鉢	胴部	— —	爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	にぶい黄橙色 10YR 7/3	にぶい橙色 7.5YR 7/3	通常	一括	
14	深鉢	口縁	— —	口唇に連続した刻み 茅状突起、縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 5YR 6/6	通常	19	
15	深鉢	口縁	— —	口唇に連続した刻み 茅状突起	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	黒褐色 5YR 2/1	通常	Ⅲ区	
16	深鉢	口縁	— —	瘤状の突起の両側に穿孔 沈線	ヨコミガキ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	良好	1	
17	深鉢	突起	— —	沈線の入る耳状の突起	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅱ区	
18	深鉢	胴部	— —	結節沈線 隆線	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/2	明赤褐色 5YR 5/8	通常	Ⅰ区	
19	深鉢	胴部	— —	沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	通常	一括	
20	深鉢	胴部	— —	刻みの入る垂下隆線 縦位沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	Ⅰ区	
21	深鉢	胴部	— —	縦位沈線	ヨコナデ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/4	にぶい赤褐色 5YR 4/4	通常	Ⅱ区	
22	深鉢	胴部	— —	蛇行隆線 縦位沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい橙色 7.5YR 7/3	通常	14	
23	深鉢	胴部	— —	縦位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅳ区	
24	深鉢	胴部	— —	斜位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	Ⅰ区	
25	深鉢	胴部	— —	撚糸文Ｒ	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	17	
26	深鉢	胴部	— —	撚糸文Ｌ	タテミガキ	角閃石	橙色 5YR 7/6	橙色 5YR 7/6	通常	9	
27	深鉢	胴部	— —	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	16	
28	深鉢	胴部	— —	撚糸文Ｌ	タテミガキ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 7/4	橙色 7.5YR 7/6	通常	8	
29	深鉢	胴部	— —	撚糸文Ｒ	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	橙色 5YR 6/8	通常	Ⅲ区	
30	深鉢	胴部	— —	撚糸文Ｒ	ヨコナデ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/2	明赤褐色 5YR 5/8	通常	Ⅰ区	
31	深鉢	胴部	— —	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/8	通常	12	

（単位cm）

第142表　J－45号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
32	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/8	通常	II区	
33	深鉢	底部付近	— — —	撚糸文R	ヨコミガキ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/3	暗赤褐色 5YR 3/3	通常	II区	
34	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/8	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	III区	
35	深鉢	口縁	— — —	波状頂部に刻み、胴部縄文	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	明赤褐色 5YR 5/8	通常	P_1	
36	深鉢	口縁	— — —	縄文RL	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 5YR 6/8	通常	19	
37	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	III区	
38	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 5/3	明赤褐色 5YR 5/6	通常	5	
39	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	一括	
40	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	I区	
41	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	24	
42	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	明赤褐色 5YR 5/8	通常	10	
43	深鉢	口縁	— — —		ヨコミガキ	角閃石	橙色 5YR 6/8	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	I区	
44	深鉢	口縁	— — —		ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 7.5YR 6/6	灰褐色 7.5YR 5/2	通常	P_1	
45	深鉢	口縁	— — —		ヨコナデ	黒雲母	灰褐色 7.5YR 4/2	にぶい黄褐色 10YR 4/3	通常	一括	

（単位cm）

(46)　J－46号住居址

住居址　　第222図

J－46号住居址は、H－11グリッドにおいて検出された。平安時代のH－16号住居址にその東半分を切られて存在している。

本址は、南北4.0m・東西推定で4.0mの円形を呈し、推定床面積12.4m²を測る。壁の残存高は、20～30cmを測る。壁溝は認められない。

ピットは、壁際にP_1～P_5が不規則な配置で認められた。ピットの大きさは、P_1が36×32×46cm、P_2が38×32×32cm、P_3が24×20×10cm、P_4が24×22cm、P_5が70×50×20cmを測る。

遺物は、炉に近い位置から3の深鉢が出土している。

炉　　第222図

炉は、平安の住居H－16にその半分を破壊されるが、長さ60×幅推定で40×深さ10cmを測る、

長方形の石囲い炉である。

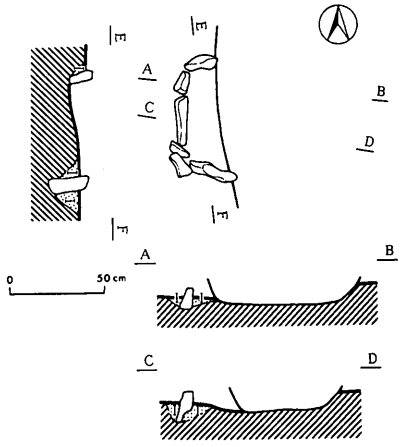
遺　物　　第223・224図・第143～145表

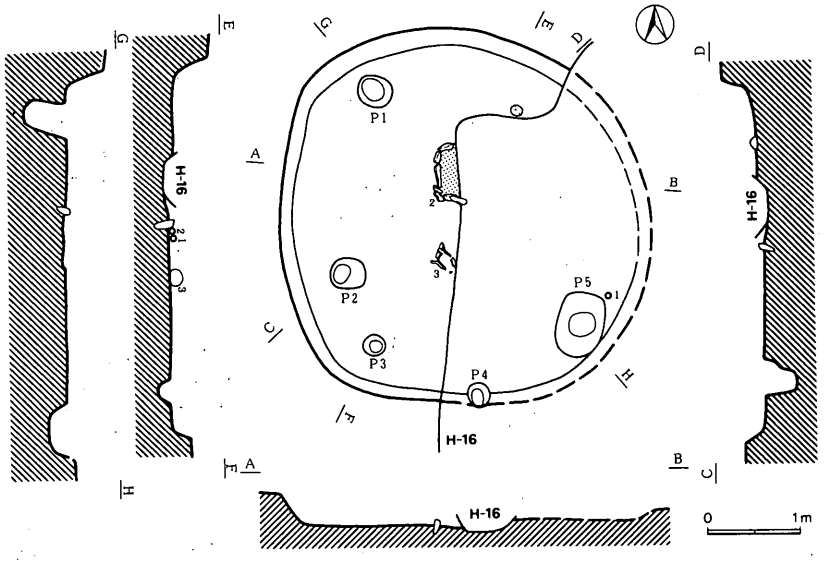
出土した石器には、石匙(1)・打製石斧(2)がある。

土器は、3の刻みのある口縁をもち、胴部に縄文を施し、曲隆線と若芽状の突起をつけた深鉢が出土している。その他は小破片である。

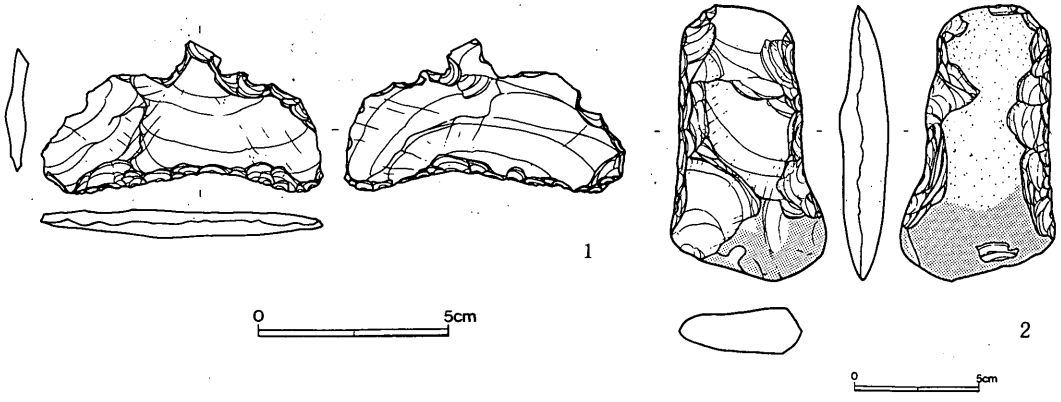
時　期

本住居址は、縄文中期中葉（川原田遺跡第11期）に位置付けられよう。

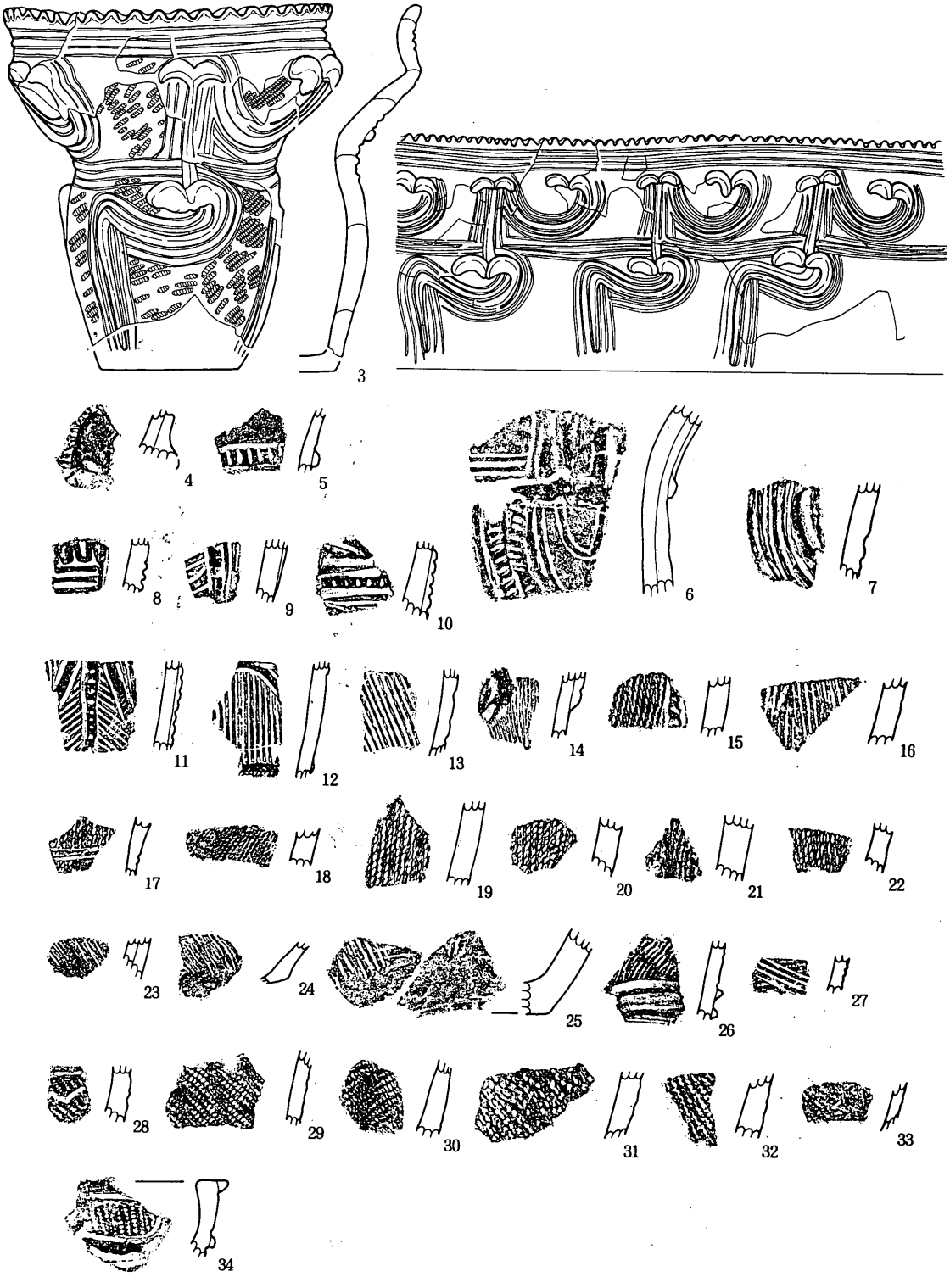




第222図　J－46号住居址（住居＝1：80，炉＝1：40）



第223図　J－46号住居址出土石器（1＝1：2，2＝1：3）



第224図　J－46号住居址出土土器（1：4，展開図＝1：6）

第143表　J－46号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考	挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石匙	ガラス質黒色安山岩	39	73	6	14.9		2	打製石斧	安山岩	109	62	18	144.3	

（単位mm, g）

第144表　J－46号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
3	深鉢	口縁～胴部	20.5 － －	棒状工具のオサエによる鋸歯状口縁 曲隆線の先端に芽状突起 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	赤褐色 2.5YR 4/6	橙色 2.5YR 5/6	通常	上部	
4	深鉢	突起	－ － －	突起部	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 5YR 3/1	明赤褐色 5YR 5/8	通常	一括	
5	深鉢	口辺	－ － －	刻みのある横位隆線	ヨコナデ	黒雲母	灰黄橙色 10YR 4/2	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	II区	
6	深鉢	胴部	－ － －	刻みのある隆帯、隆線 沈線	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	灰褐色 7.5YR 4/2	橙色 5YR 6/6	通常	I区	
7	深鉢	胴部	－ － －	曲隆線 沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	II区	
8	深鉢	胴部	－ － －	沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	I区	
9	深鉢	胴部	－ － －	沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	灰褐色 5YR 5/2	通常	I区	
10	深鉢	胴部	－ － －	刻みのある垂下隆線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	6	
11	深鉢	胴部	－ － －	隆線による三角区画内に斜位沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 7/4	にぶい橙色 5YR 7/4	良好	9	
12	深鉢	胴部	－ － －	隆線による区画内に縦位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 7/4	にぶい橙色 5YR 7/4	良好	10	
13	深鉢	胴部	－ － －	平行沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	II区	
14	深鉢	胴部	－ － －	縦位平行沈線	タテナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	II区	
15	深鉢	胴部	－ － －	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 7/3	通常	上部	
16	深鉢	胴部	－ － －	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	4	
17	深鉢	胴部	－ － －	撚糸文Ｌ 横位沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区	
18	深鉢	胴部	－ － －	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 7/4	橙色 5YR 6/8	通常	10	
19	深鉢	胴部	－ － －	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 7/6	通常	II区	
20	深鉢	胴部	－ － －	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	黒褐色 5YR 2/1	橙色 5YR 6/6	通常	II区	
21	深鉢	胴部	－ － －	撚糸文Ｒ	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	15	
22	深鉢	胴部	－ － －	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 5/3	橙色 5YR 6/6	通常	I区	
23	深鉢	胴部	－ － －	撚糸文Ｒ	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 7/4	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	II区	
24	深鉢	底部	－ － －	撚糸文Ｒ	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	II区	

（単位cm）

第145表　J－46号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
25	深鉢	底部	— — —	撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	上部	
26	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	10	
27	深鉢	胴部	— — —	平行沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 7/3	通常	II区	
28	深鉢	胴部	— — —	縄文RL 蛇行沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	軟弱	上部	
29	深鉢	胴部	— — —	縄文RL	ヨコナデ	黒雲母多量	黒褐色 5YR 2/1	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	I区	
30	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコミガキ	角閃石	黒褐色 5YR 2/1	赤褐色 5YR 4/8	通常	II区	
31	深鉢	胴部	— — —	縄文	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 7/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	8	
32	深鉢	胴部	— — —	撚糸文R	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	通常	II区	
33	深鉢	胴部	— — —	撚糸文R	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	I区	
34	深鉢	胴部	— — —	隆線による楕円区画内に縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 10YR 3/1	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	II区	

（単位cm）

(47)　J－47号住居址

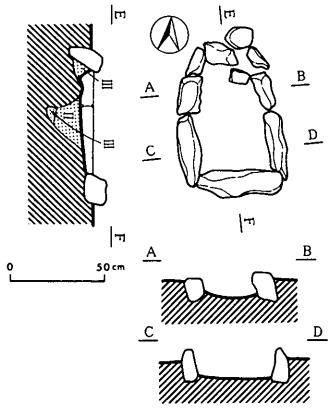
住居址　　第226図

J－47号住居址は、E－12グリッドにおいて検出された。その南側の一部をM－1号溝状遺構に切られている。

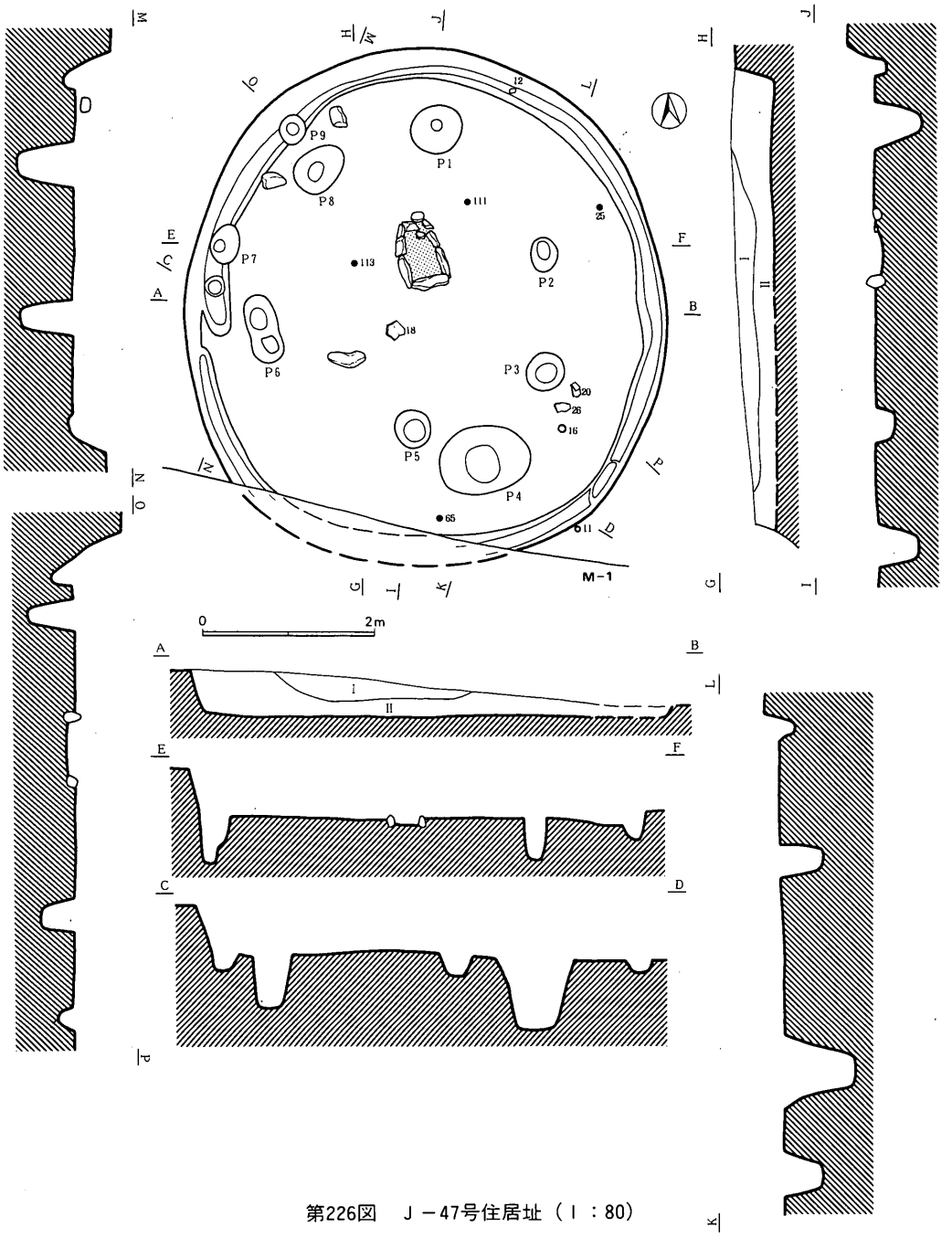
本址は、南北推定6.0m・東西5.6mの円形を呈し、床面積21.1m²を測る。壁の残存高は、10～50cmを測る。壁溝は西側で一部切れるが幅10～30cmのものが住居を巡る。床面は貼り床である。

ピットは、壁からやや距離を置いてP_1～P_6・P_8が円形に配され、壁溝からはP_7・P_9が検出された。ピットの大きさは、P_1が60×54×50cm、P_2が40×30×48cm、P_3が44×44×40cm、P_4が108×78×80cm、P_5が46×40×22cm、P_6が80×36×60cm、P_7が44×32×52cm、P_8が64×46×52cm、P_9が32×30×20cmを測る。

住居覆土は、2層に分層された。I層は5～50mmの軽石を多く含む暗褐色土層（10YR3/3）、II層は50mm～拳大の大形軽石を多量に含む黒褐色土層（10YR2/2）であった。



第225図　J－47号住居址炉
（1：40）

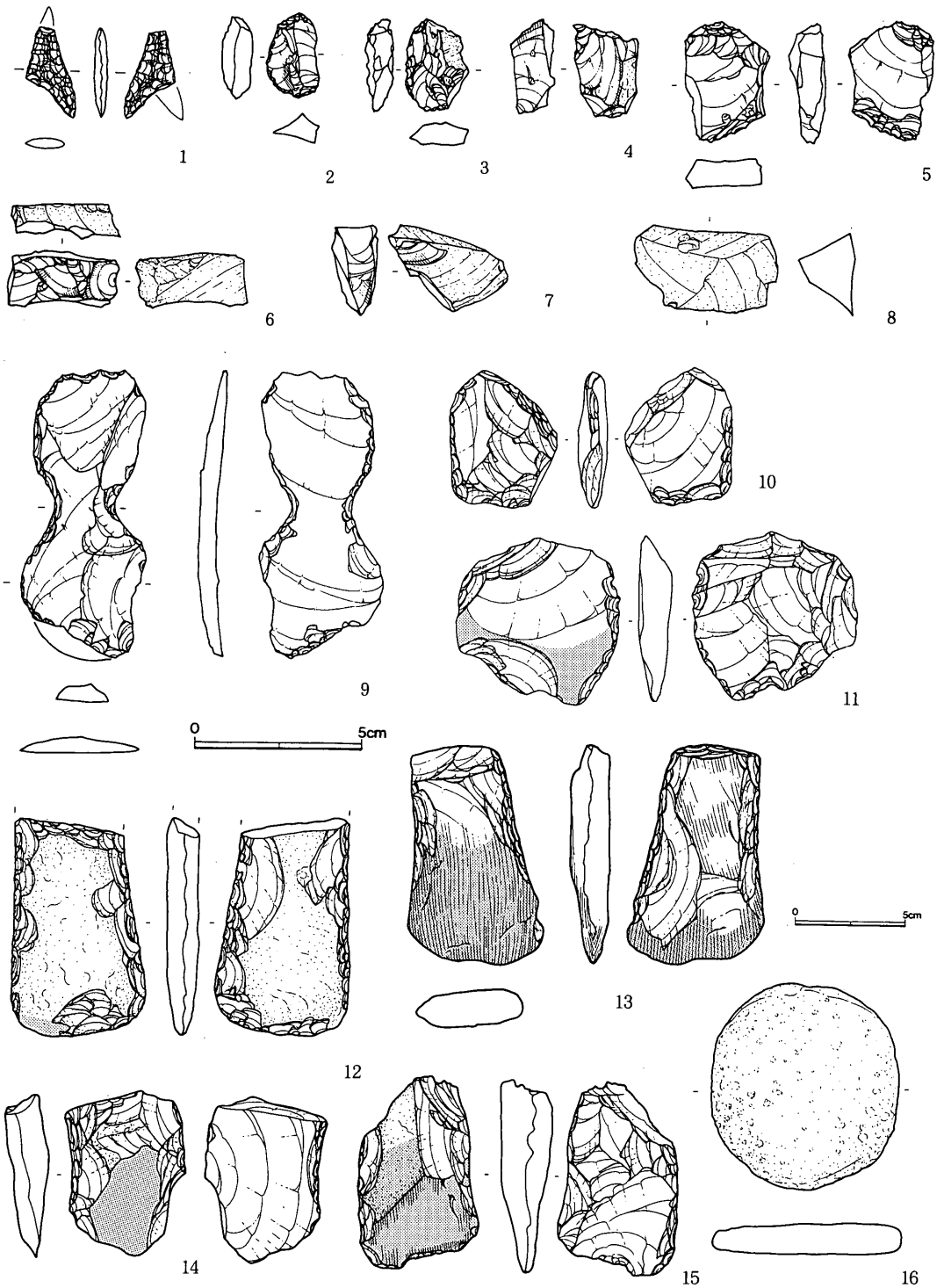


第226図　J－47号住居址（1：80）

遺物は、遺存状態の良好なものはない。

炉　　第225図

炉は、住居址のほぼ中央に存在している。扁平な安山岩礫を配した石囲い炉で、方形の片側がややすぼまる形状を呈し、80×50cm深さ10cmを測る。



第227図　J－47号住居址出土石器（1～9＝1：2，10～16＝1：3）

覆土は3層に分層された。I層はカーボンを含み焼土を含まない黒褐色土層(10YR2/3)、II層はカーボン・焼土を含まない構築土である暗褐色土層（10YR3/3)、III層はカーボン・焼土を含まない構築土である暗褐色土層（10YR3/4）である。

遺　物　　第227～233図・第146～151表

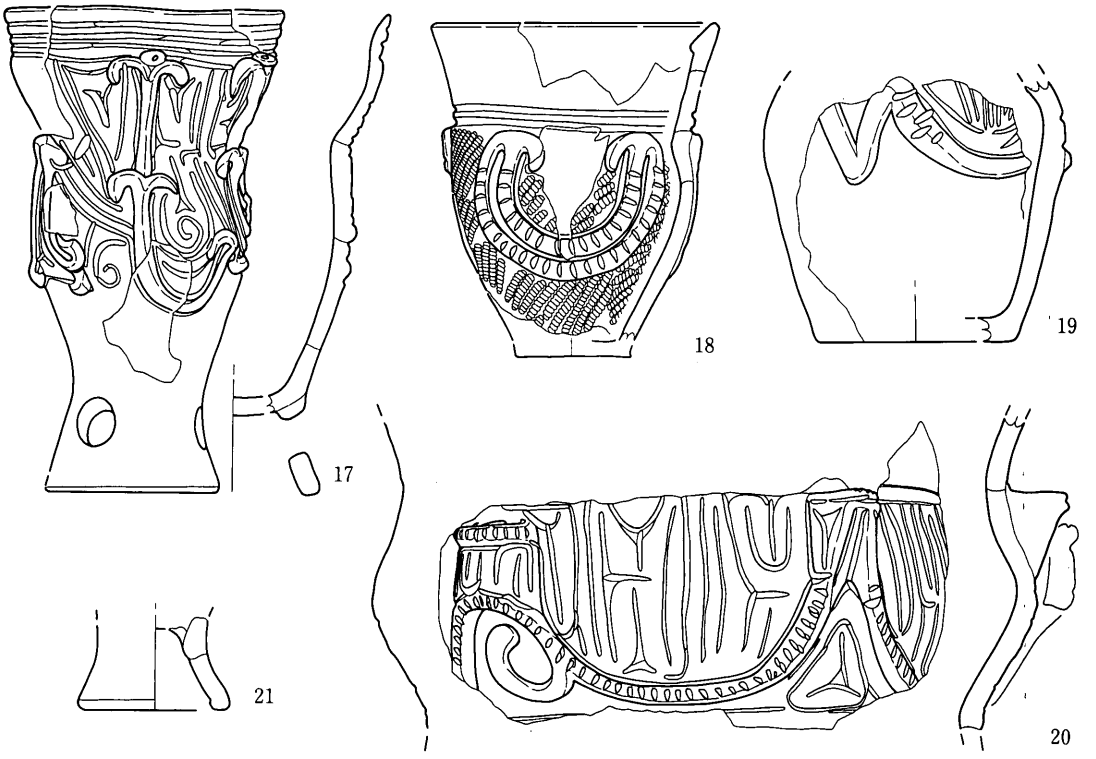
遺物は、石器では、石鏃（1）・ピエス・エスキーユ（2～5）・石核（6）・黒曜石原石（7・8）・スクレイパー（9～11）・打製石斧（12～15）・軽石製の円盤（16）が出土している。

土器は、蔓草状の隆線と沈線を器面に施し台部に円形の穿孔のある小形台付深鉢(17)、地文の縄文の上にU字状の隆線2条を貼り付けた小形深鉢（18)、撚糸文を施した中期後葉の深鉢破片（50～63)、焼町土器の破片（84～100）が出土しており、中期中葉と後葉の土器が混在している。ただし、住居の大きさ、石囲い炉の方形の形態からみて、本住居に伴うのは中期後葉の土器と考えられる。

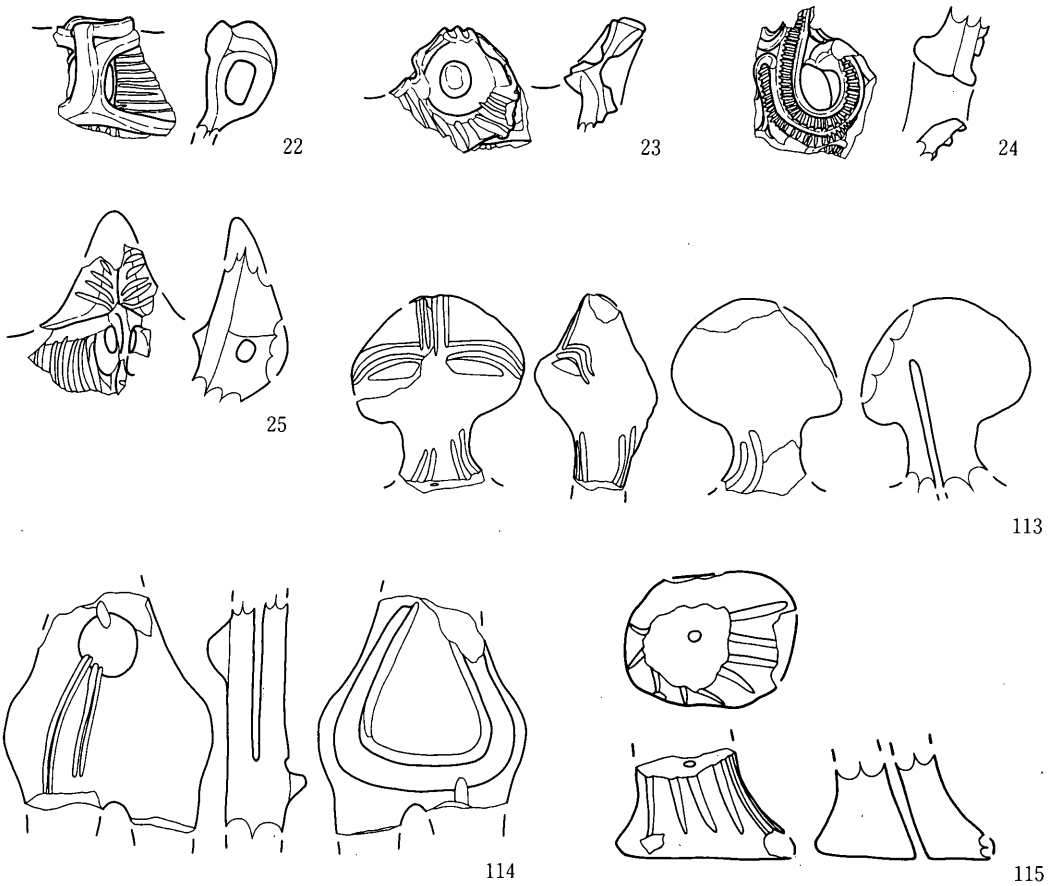
このほか土偶3点も出土している。113は目と眉の表現のある頭部、114はヘソ部の表現のある扁平な胴部、115は片足部分である。

時　期

本住居址は、縄文時代中期後葉（川原田遺跡第11期）に位置付けられよう。



第228図　J－47号住居址出土土器（1：4）



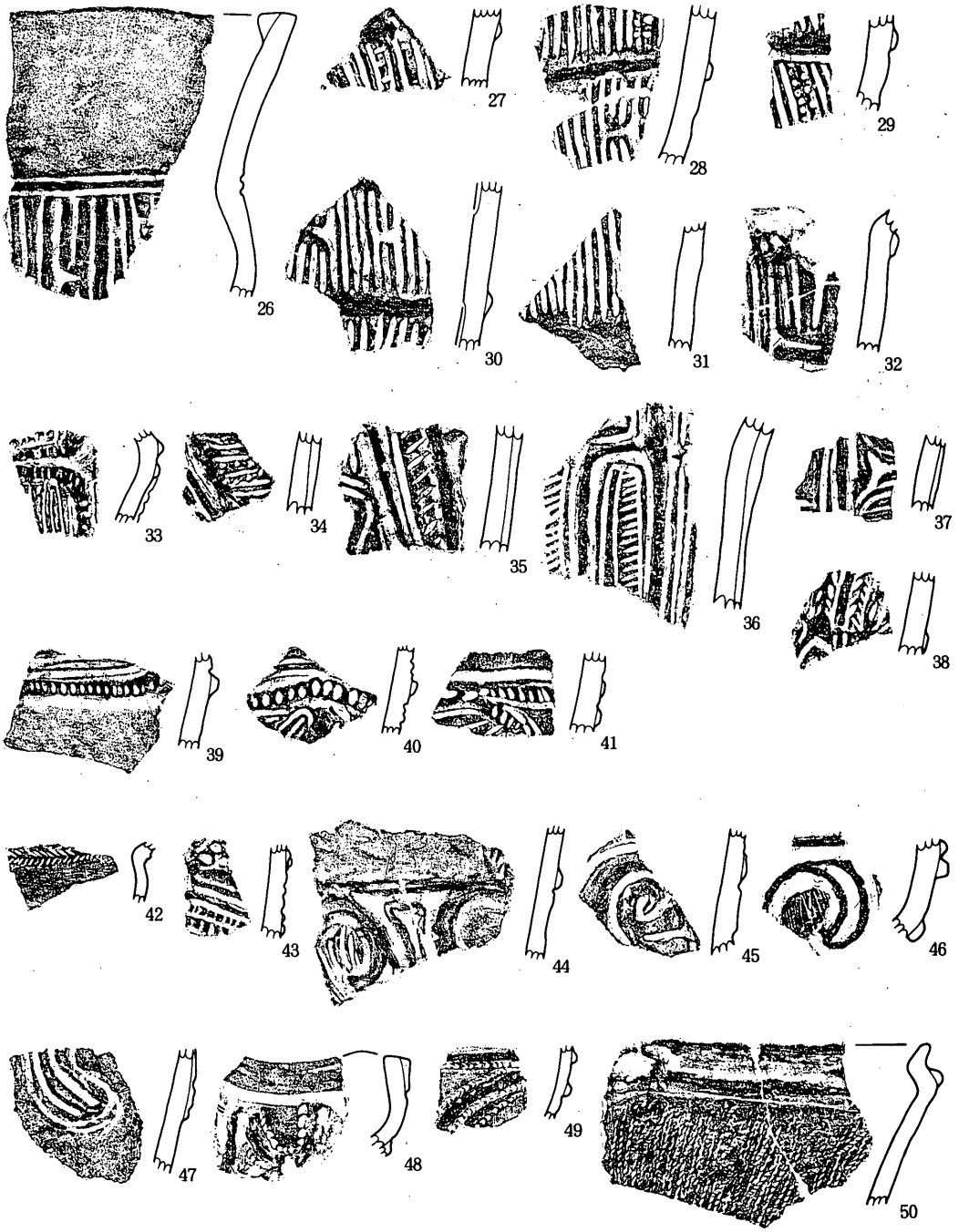
第229図　J－47号住居址出土遺物（22～25＝1：4，113～115土偶＝1：2）

第146表　J－47号住居址出土遺物一覧表　＜石器・土製品＞

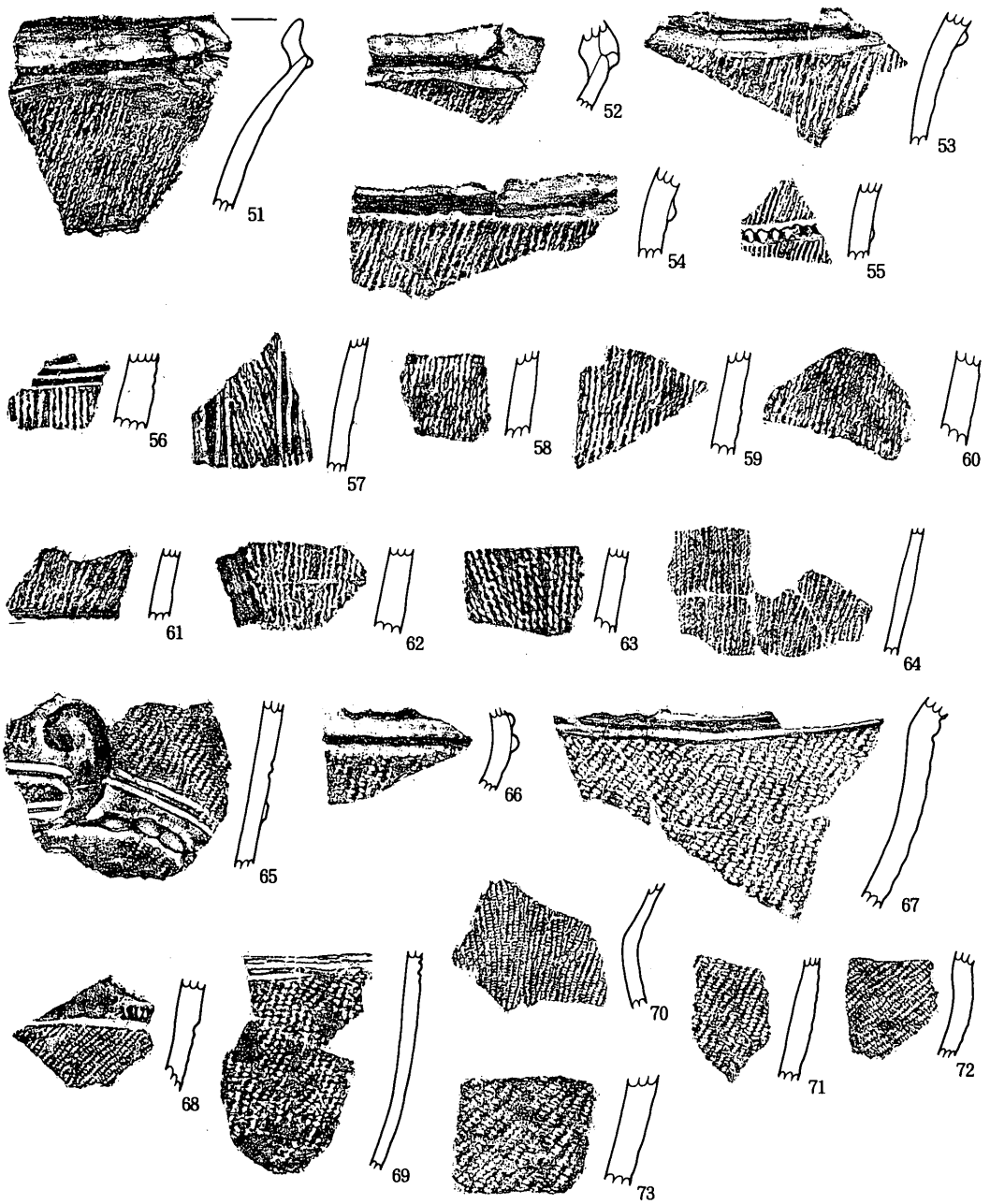
挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	26	12	4	0.8	欠損
2	ピエス・エスキーユ	黒曜石	25	16	8	2.7	
3	ピエス・エスキーユ	黒曜石	27	19	8	3.6	
4	ピエス・エスキーユ	黒曜石	28	19	13	6.7	
5	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	35	25	9	9.6	山本分析No.16 八風山産
6	石核	黒曜石	14	32	10	6.3	
7	原石	黒曜石	23	39	14	8.0	
8	原石	黒曜石	23	43	19	12.9	
9	分銅型スクレイパー	緑色片岩	85	37	6	19.0	三波川系
10	スクレイパー	ホルンフェルス	63	52	13	47.9	打製石斧の再加工

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
11	スクレイパー	頁岩II	75	73	13	47.9	打製石斧の再加工
12	打製石斧	安山岩	99	60	14	68.1	基部欠損
13	打製石斧	安山岩	100	61	17	108.0	基部欠損
14	打製石斧	安山岩	74	51	14	134.4	基部欠損
15	打製石斧	安山岩	86	53	23	63.2	基部欠損
16	円盤	軽石	93	86	16	101.6	
113	土偶	－	51	45	33	36.3	頭部
114	土偶	－	65	55	21	66.7	腰部
115	土偶	－	29	35	47	38.0	足部

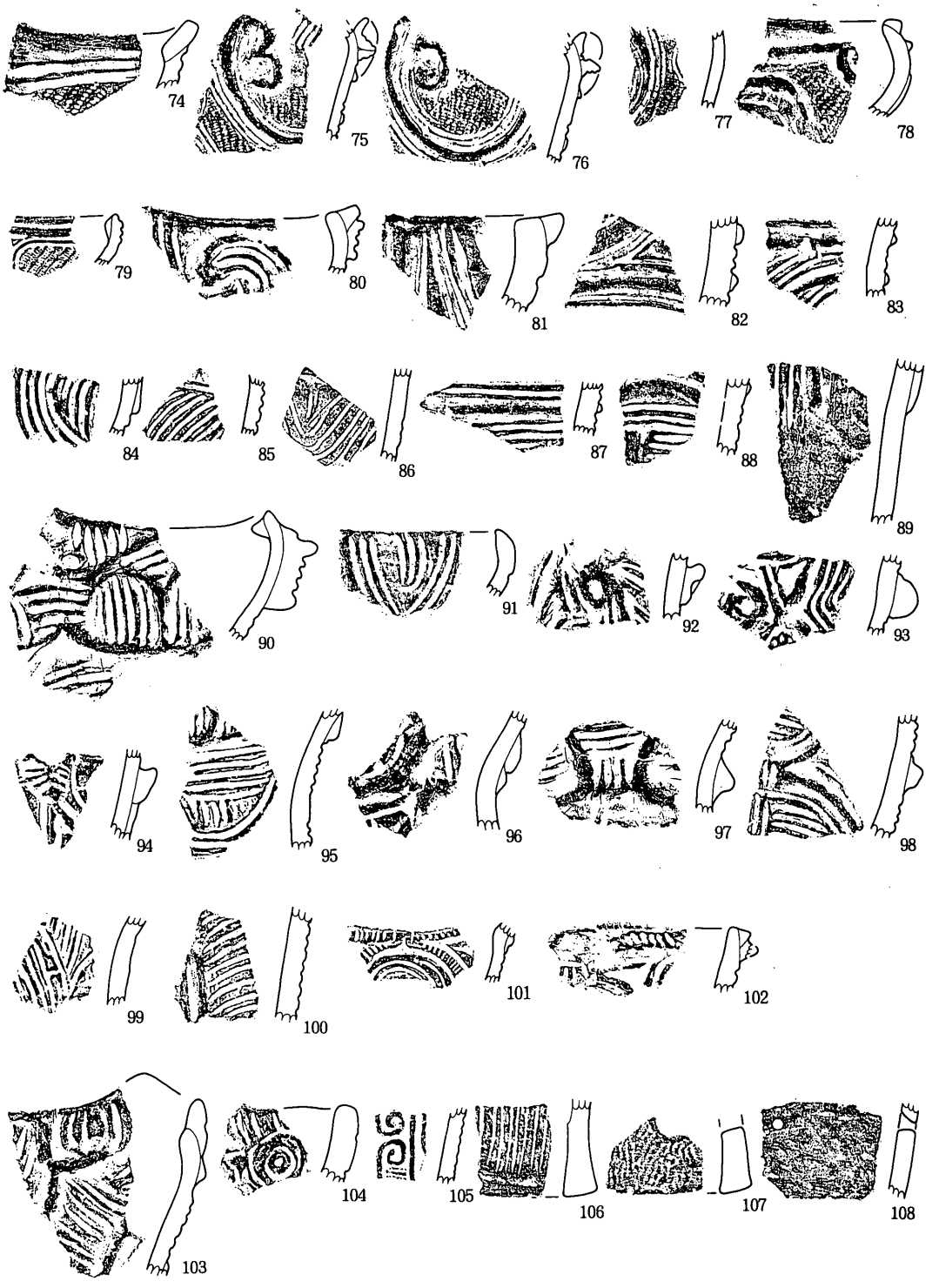
（単位mm，g）



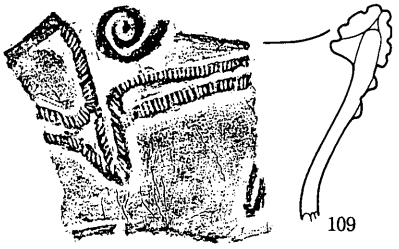
第230図　Ｊ－47号住居址出土土器（１：４）

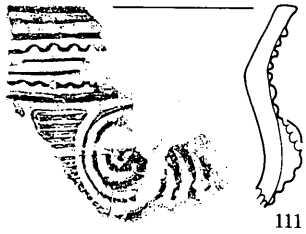


第231図　J－47号住居址出土遺物（1：4）



第232図　J－47号住居址出土土器（1：4）





第233図　J－47号住居址出土土器（1：4）

第147表　J－47号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
17	台付深鉢	口縁～底部	15.0 25.4 9.5	曲隆線の先端に芽状の突起がつく。それに沿う沈線台部に3個の円形透かし	ヨコナデ	白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	I区 II区 IV区	
18	小形深鉢	口縁～胴部	14.5 — —	地文縄文LR 刻みのある隆帯2条によるU字状文を3か所に配す	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	6	
19	小形深鉢	胴部	— — 10.8	交互に刻みのある隆帯	ナデ	透明粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	III区	
20	深鉢	胴部	— — —	筒状突起に刻みのある隆帯が結ぶ。沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	14 IV区II層	
21	台付深鉢	台部	— — 7.5	透かしなどなく、無文	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 2.5YR 6/3	橙色 2.5YR 6/6	通常	IV区I層	
22	深鉢	口縁	— — —	環状突起 平行沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	IV区	
23	深鉢	突起	— — —	環状突起	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	IV区	
24	深鉢	突起	— — —	有節沈線のなされた鶏頭冠	ナデ	白色粘土を用い、他と異なる	にぶい黄橙色 10YR 7/3	灰黄褐色 10YR 6/2	良好	一括	北越地域からの搬入品とみられる
25	深鉢	口縁	— — —	環状突起 甲高の隆帯	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	9	
26	深鉢	口縁	— — —	横位・縦位沈線	ヨコミガキ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	12	
27	深鉢	胴部	— — —	縦位沈線間に横位短沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	にぶい橙色 5YR 7/4	通常	I区 II層 上部	
28	深鉢	胴部	— — —	横位隆線 縦位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	暗赤褐色 5YR 3/3	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	I区 I層	
29	深鉢	胴部	— — —	横位隆線 縦位平行沈線 連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/2	橙色 5YR 6/8	通常	I区 I層	
30	深鉢	胴部	— — —	横位隆線 縦位平行沈線	ヨコナデ	角閃石 黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	IV区 I層	
31	深鉢	胴部	— — —	縦位平行沈線	ヨコナデ	角閃石 黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 5YR 6/8	通常	I区 I層	
32	深鉢	胴部	— — —	刻みの入る横位隆帯 縦位平行沈線	ヨコナデ	角閃石 黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	通常	I区 I層	
33	深鉢	胴部	— — —	刻みの入る隆帯 縦位平行沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	III区	

（単位cm）

第148表　J－47号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
34	深鉢	胴部	— — —	垂下隆線、斜位平行沈線 連続円形刺突	ヨコナデ	角閃石	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	II区 壁溝	
35	深鉢	胴部	— — —	垂下隆線、斜位平行沈線 蛇行沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
36	深鉢	胴部	— — —	隆線による方形区画内に沿い沈線が巡り、中央を平行沈線が刻む	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	通常	IV区 III層 下部	
37	深鉢	胴部	— — —	隆線 沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	I区	
38	深鉢	胴部	— — —	平行沈線と沈線による刻み	ヨコナデ	黒雲母	灰褐色 7.5YR 4/2	橙色 5YR 6/6	通常	II区 II層	
39	深鉢	胴部	— — —	刻みのある横位隆線とそれに平行する沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 7/3	通常	II区 II層 上部	
40	深鉢	胴部	— — —	刻みのある横位隆線とそれに平行する沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/8	にぶい黄橙色 5YR 7/3	通常	I区 I層	
41	深鉢	胴部	— — —	刻みのある横位隆線とそれに平行する沈線	ヨコナデ	角閃石	黒褐色 5YR 3/1	橙色 5YR 6/6	通常	II区 II層 下部	
42	鉢	頸部	— — —	横位にハの字状の沈線を巡らす	ヨコミガキ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	I区	
43	深鉢	胴部	— — —	爪形状の連続刺突文 平行沈線	ヨコナデ	角閃石	褐灰色 5YR 4/1	灰褐色 5YR 5/2	通常	IV区 II層	
44	深鉢	胴部	— — —	隆帯による環状のモチーフ内に沈線を施す	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	III区	
45	深鉢	胴部	— — —	隆帯による環状のモチーフ内に沈線を施す	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	黒褐色 5YR 3/1	橙色 5YR 6/6	通常	I区 III層 上部	
46	深鉢	胴部	— — —	隆線による渦巻き状モチーフ内に撚糸文R	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	I区 II層 上部	
47	深鉢	胴部	— — —	舌状の幅広隆帯に沈線が施される 内外面赤色塗彩	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	I区 I層	
48	深鉢	口縁	— — —	隆線による波状モチーフに沿って連続刺突	ヨコナデ	黒雲母	灰褐色 5YR 4/2	褐灰色 5YR 4/1	通常	IV区 II層	
49	深鉢	胴部	— — —	隆帯に沿ってペン先状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	橙色 7.5YR 7/6	褐灰色 10YR 5/1	良好	II区 I層	
50	深鉢	口縁	— — —	横位隆線 撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 6/3	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	II区 I層	
51	深鉢	口辺	— — —	横位隆線 撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	灰褐色 5YR 4/2	にぶい赤褐色 5YR 5/3	通常	II区 I層	同一個体
52	深鉢	頸部	— — —	横位隆線 撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	II区 I層	
53	深鉢	頸部	— — —	横位隆線 撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	II区 I層	同一個体 接合
54	深鉢	頸部	— — —	横位隆線 撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	II区 I層	
55	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯に刻み 撚糸文L	ヨコミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	灰褐色 7.5YR 5/2	通常	II区 I層	
56	深鉢	胴部	— — —	横位沈線 撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	III区	
57	深鉢	胴部	— — —	垂下隆帯、擬位沈線 撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	IV区	
58	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/3	通常	II区 南	

（単位cm）

第149表　J－47号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
59	深鉢	胴部	—	撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区 I層	
60	深鉢	胴部	—	撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	III区	
61	深鉢	胴部	—	撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	I区 I層	
62	深鉢	胴部	—	撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	II区 I層	
63	深鉢	胴部	—	撚糸文R	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/3	にぶい橙色 5YR 6/3	通常	III区 II層	
64	深鉢	胴部	—	撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/4	明赤褐色 5YR 5/8	通常	III区 下底	
65	深鉢	胴部	—	縄文LR 渦巻き状隆帯 クサリ状隆帯	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	10 III区 II層	
66	深鉢	胴部	—	2条の横位隆線 縄文RL	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	IV区 II層	
67	深鉢	胴部	—	横位隆線 縄文LR	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	14	
68	深鉢	胴部	—	横位隆線 縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 5YR 2/1	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	I区	
69	深鉢	胴部	—	横位隆線 縄文LR	ミガキ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	IV区 北	
70	深鉢	胴部	—	縄文LR	ヨコミガキ	角閃石	橙色 2.5YR 6/8	にぶい橙色 5YR 7/4	通常	IV区 II層	
71	深鉢	胴部	—	縄文LR	ヨコミガキ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 5/3	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	I区 I層	
72	深鉢	胴部	—	縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	II区 II層 下部	
73	深鉢	胴部	—	縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	III区 II層	
74	深鉢	口縁	—	横位平行沈線 縄文LR	ヨコナデ	角閃石	黒褐色 5YR 3/1	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	I区	
75	深鉢	口縁	—	芽状突起から曲隆線が派生 縄文RL、沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 5YR 5/6	通常	III区 II層	
76	深鉢	胴部	—	芽状突起から曲隆線が派生 縄文LR、沈線	ヨコナデ	黒雲母	灰褐色 5YR 4/2	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	I区 II層 上部	
77	深鉢	胴部	—	曲隆線、沈線 縄文LR	ヨコナデ	角閃石	灰褐色 5YR 4/2	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	III区 II層	
78	深鉢	口縁	—	隆線 縄文LR	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	IV区 II層	
79	深鉢	口縁	—	横位隆線 沈線による区画内を縄文LRが埋める	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	にぶい赤褐色 2.5YR 5/3	良好	IV区 II層	
80	深鉢	口縁	—	沈線の入る渦巻き状の幅広隆帯	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	14	
81	深鉢	口縁	—	縦位隆線および沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	III区 II層	
82	深鉢	胴部	—	曲隆線 沈線	ヨコナデ	角閃石	灰褐色 5YR 4/2	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	I区	
83	深鉢	胴部	—	曲隆線 沈線	ヨコナデ	角閃石	灰褐色 5YR 4/2	明赤褐色 5YR 5/6	通常	I区	

（単位cm）

第150表　J－47号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
84	深鉢	胴部	— — —	曲隆線、沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ⅳ区	
85	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	黒雲母	暗赤灰色 2.5YR 3/1	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ⅰ区 Ⅱ層	
86	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	橙色 2.5YR 6/6	通常	Ⅱ区 Ⅰ層	
87	深鉢	胴部	— — —	沈線、隆線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 5/3	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	Ⅰ区	
88	深鉢	胴部	— — —	沈線、隆線	不明	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/2	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	Ⅳ区 Ⅰ層	
89	深鉢	胴部	— — —	垂下隆線 垂下沈線	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 2.5YR 6/6	通常	一括	
90	深鉢	口縁	— — —	コイル状突起 隆線による区画内を平行沈線が埋める	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ⅰ区 Ⅱ層	
91	深鉢	口縁	— — —	曲隆線、沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	Ⅱ区 Ⅱ層 上部	
92	深鉢	胴部	— — —	環状突起 曲隆線、沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	Ⅲ区 Ⅱ層	
93	深鉢	胴部	— — —	環状突起 曲隆線、沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい黄橙色 10YR 7/3	通常	Ⅳ区	
94	深鉢	胴部	— — —	刻みのある三角状の突起 曲隆線、沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	Ⅱ区 南	
95	深鉢	胴部	— — —	曲隆線、沈線	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ⅳ区	
96	深鉢	胴部	— — —	曲隆線、沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅰ区 Ⅱ層 上部	
97	深鉢	胴部	— — —	H状の突起 平行沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ⅱ区 Ⅰ層	
98	深鉢	胴部	— — —	曲隆線、沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	Ⅲ区 Ⅱ層	
99	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ⅳ区	
100	深鉢	胴部	— — —	垂下隆線 横位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	Ⅰ区 Ⅱ層 上部	
101	深鉢	胴部	— — —	刻みのある隆帯 沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/3	にぶい橙色 5YR 6/3	通常	Ⅳ区 Ⅱ層	
102	深鉢	口縁	— — —	刻みのある隆帯 隆線、沈線	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ⅱ区 南	
103	深鉢	口縁	— — —	曲隆線 平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅰ区 Ⅱ層 下底	
104	深鉢	口縁	— — —	沈線による円形文	ヨコナデ	角閃石	黒褐色 7.5YR 3/1	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	Ⅰ区 Ⅱ層 上部	
105	深鉢	口縁	— — —	沈線による渦巻き状文	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅳ区 ピット	
106	深鉢	台部	— — —	縦位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 6/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ⅲ区 Ⅱ層 下底	
107	深鉢	台部	— — —	孔を有する 縄文LR	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 7/4	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅰ区 Ⅱ層	
108	浅鉢	胴部	— — —	外面赤色塗彩 内面赤彩有無不明	ヨコミガキ	黒雲母	明赤褐色 5YR 3/6	赤褐色 5YR 4/6			補修孔

（単位cm）

第151表　Ｊ－47号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
109	深鉢	口縁	― ― ―	渦巻き状突起 密に刻みの入る隆帯	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	II区 1層	同一個体
110	深鉢	口辺	― ― ―	密に刻みの入る隆帯	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	II区 II層	
111	深鉢	口縁	― ― ―	渦巻き状突起 沈線 内外面赤色塗彩	ヨコミガキ	角閃石	にぶい黄橙色 10YR 6/3	にぶい黄橙色 10YR 6/3	通常	5	
112	深鉢	口縁	― ― ―	波状の口唇 爪形状の連続刺突による沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 5/4	褐色 7.5YR 4/4	通常	III区 II層	

（単位cm）

(48)　Ｊ－48号住居址

住居址　　第234図

Ｊ－48号住居址は、Ｄ－12グリッドにおいて検出された。本址は、その大部分が削平されており、詳細はわからない。

本址は、円形とみられるプランの一部とピット、壁溝の一部が認められたのみである。床面は貼り床である。ピットは、P_1が56×50×42cm、P_2が26×20×48cmを測る。壁溝の幅は20cm前後である。

炉

炉は検出できなかった。

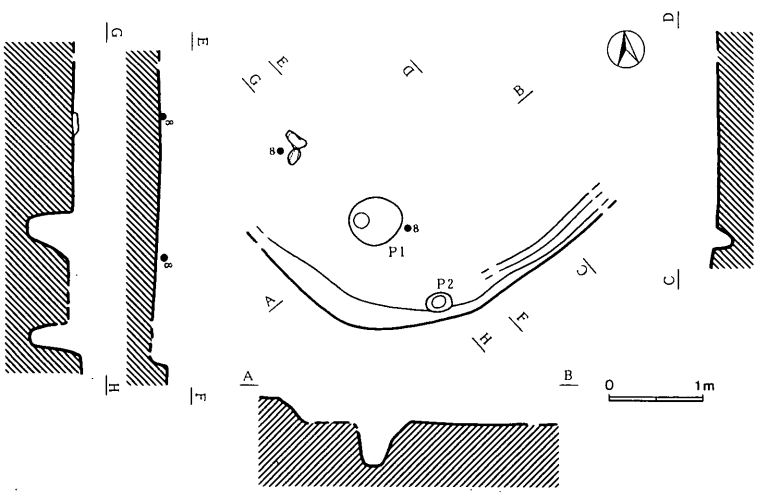
遺　物　　第234・235図・第152・153表

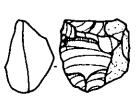
遺物は、石器ではピエス・エスキーユ（１）が出土したのみである。

土器は、撚糸文を施した加曽利Ｅ２段階の深鉢破片（８）がみられる。

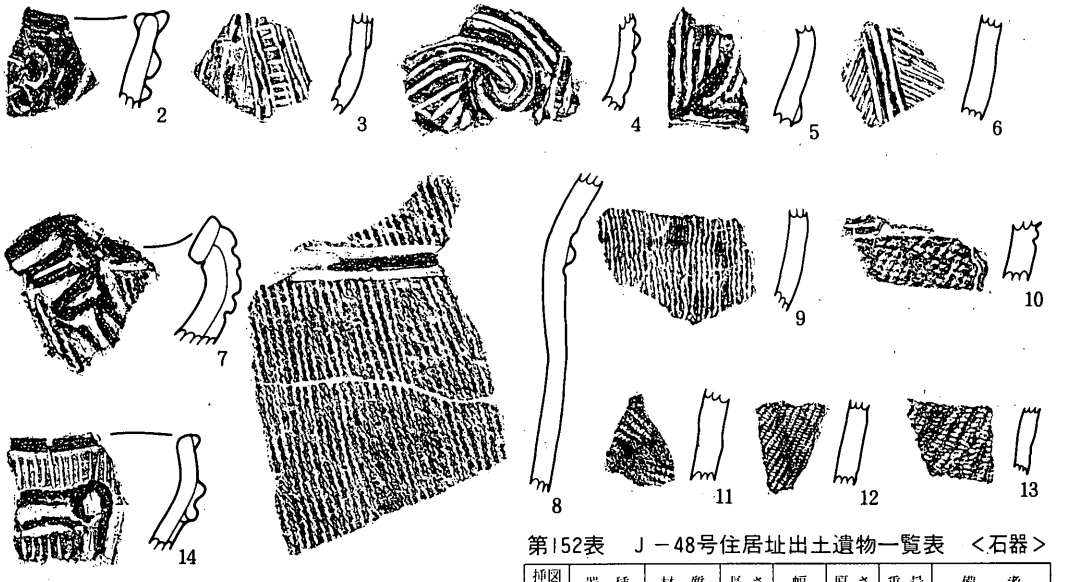
時　期

本住居址は、加曽利Ｅ２段階の深鉢破片によれば縄文中期後葉に位置付けられよう。





第234図　Ｊ－48号住居址（１：80）・出土石器（１：２）



第235図　J－48号住居址出土土器（1：4）

第152表　J－48号住居址出土遺物一覧表　<石器>

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	ピエス・エスキーユ	黒曜石	19	18	15	3.6	

（単位mm, g）

第153表　J－48号住居址出土遺物一覧表　<縄文土器>

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
2	深鉢	口縁	— — —	小突起 隆線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	一括	
3	深鉢	胴部	— — —	細隆線 横位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
4	深鉢	胴部	— — —	曲隆線 沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	一括	
5	深鉢	胴部	— — —	曲隆線 沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	一括	
6	深鉢	胴部	— — —	縦位沈線 斜位平行沈線	タテミガキ	黒雲母	にぶい赤褐色 7.5YR 5/3	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
7	深鉢	口縁	— — —	地文撚糸文R 隆帯による蛇行文	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/3	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
8	深鉢	頸部	— — —	地文撚糸文R 頸部、横位隆帯	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	1 2	
9	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 6/4	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	一括	
10	深鉢	胴部	— — —	横位沈線、縄文LR 縦位垂下沈線	タテミガキ	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 7/4	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
11	深鉢	胴部	— — —	縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	灰褐色 5YR 4/2	橙色 5YR 6/8	通常	一括	
12	深鉢	胴部	— — —	縄文RL	ヨコナデ	角閃石	灰褐色 5YR 4/2	橙色 5YR 6/8	通常	一括	
13	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい褐色 5YR 5/4	通常	一括	
14	深鉢	口縁	— — —	2条の横位隆線 碇状隆線、縦位平行沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい橙色 7.5YR 7/3	通常	一括	

（単位cm）

(49)　Ｊ－49号住居址

住居址　　第236図

Ｊ－49号住居址は、Ｄ－12グリッドにおいて検出された。その南側はＭ－１号溝状遺構に切られ、西側は斜面により崩落している。

本址は、推定径3.6ｍほどの円形を呈する。壁の残存高は、20cm前後を測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。ピットは検出されなかった。

炉　　第236図

炉は、住居址の中央よりやや寄った位置に存在する。一辺が抜け落ちるが６個の安山岩礫からなる石囲い炉である。大きさは60×40cm深さ10cmを測る。

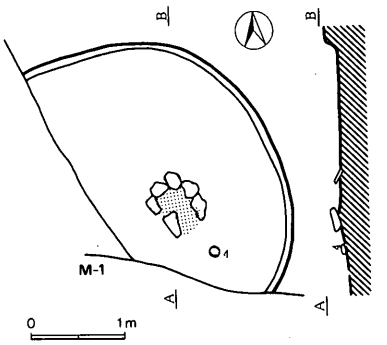
遺　物　　第237・238図・第154・155表

遺物は、出土した石器には、ピエス・エスキーユ（１）・スクレイパー（２・３）・片面に貫通しない孔のある軽石製の円盤（４）がある。

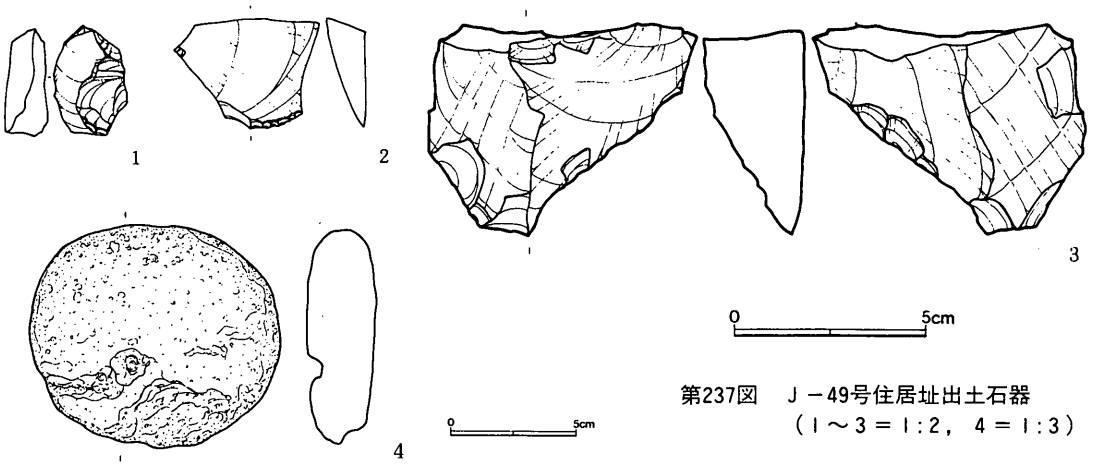
土器は、焼町土器の小破片（９）などがわずかに出土したのみである。

時　期

本住居址は、縄文中期後葉（川原田遺跡第12期もしくは第13期）に位置付けられよう。



第236図　Ｊ－49号住居址（１：80）



第237図　Ｊ－49号住居址出土石器
（１～３＝１:２，４＝１:３）

第154表　Ｊ－49号住居址出土遺物一覧表　＜石器・円盤＞

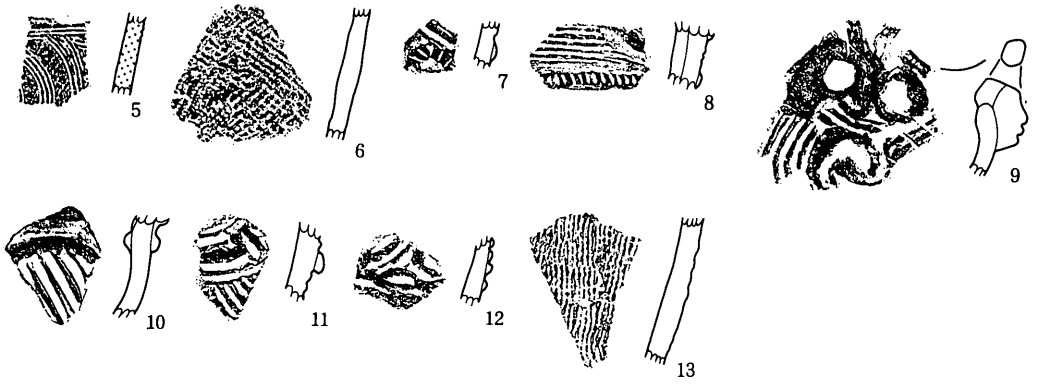
挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	ピエス・エスキーユ	黒曜石	30	20	12	5.6	
2	スクレイパー	頁岩Ⅰ	31	38	10	9.6	
3	スクレイパー	ガラス質黒色安山岩	56	71	29	89.8	
4	円盤	軽石	90	99	27	130.6	

（単位mm，g）

第155表　Ｊ－49号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
5	深鉢	胴部	— — —	平行細沈線による弧状のモチーフ	ヨコナデ	角閃石 繊維	浅黄橙色 10YR 8/4	黒褐色 10YR 3/1	通常	Ⅳ区	前期
6	深鉢	胴部	— — —	羽状縄文	不明	赤色粒子	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 7/8	通常	Ⅰ区	前期
7	深鉢	胴部	— — —	刻みをもつ隆帯が環状を呈す	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/8	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	Ⅰ区	
8	深鉢	胴部	— — —	撚糸文R 刻みのある横位隆帯	ヨコミガキ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅰ区	
9	深鉢	口縁	— — —	眼鏡状突起 曲隆線	ヨコナデ	黒雲母	暗赤褐色 5YR 3/2	にぶい黄橙色 10YR 6/3	通常	2	
10	深鉢	口辺	— — —	隆線による円形区画内に縦位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 10YR 3/2	褐色 7.5YR 4/4	通常	Ⅰ区	
11	深鉢	胴部	— — —	曲隆線 平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 7/6	通常	Ⅰ区	
12	深鉢	胴部	— — —	曲隆線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 6/4	橙色 7.5YR 7/6	通常	Ⅰ区	
13	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L	ヨコナデ	黒雲母	明黄褐色 10YR 7/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	Ⅰ区	

（単位cm）



第238図　Ｊ－49号住居址出土土器（１：４）

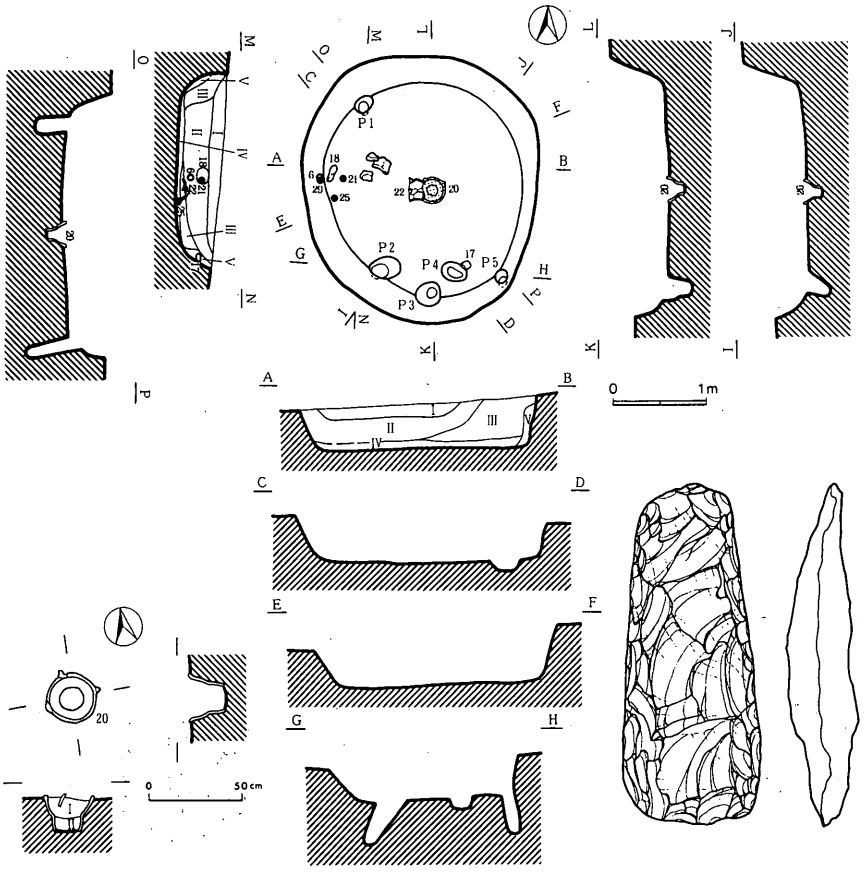
(50)　Ｊ－50号住居址

住居址　　第239図

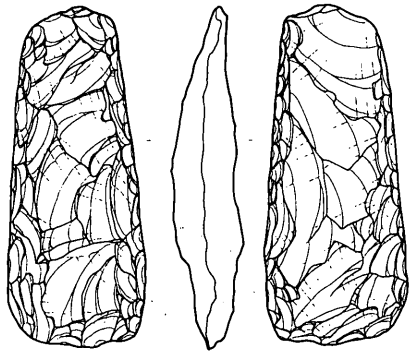
Ｊ－50号住居址は、Ｉ－14グリッドにおいて検出された。Ｊ－41号住居址と重複するがその新旧関係はとらえられなかった。

本址は、南北2.8ｍ・東西2.5ｍの円形を呈し、推定床面積3.7㎡を測る。壁の残存高は、30～50cmを測る。壁溝は認められない。

ピットは、壁際にP_1～P_5が不規則な配置で認められた。このうちP_2は斜めにピットが開いている。その大きさは、P_1が20×14×30cm、P_2が32×22×50cm、P_3が26×26×24cm、P_4が26×20×



第239図　J－50号住居址(住居＝Ⅰ：80，炉＝Ⅰ：40)



19

第240図　J－50号住居址出土石器
(Ⅰ：3)

10cm、P_5が12×12×40cmを測る。

住居覆土は、5層に分層された。Ⅰ層はローム粒子を若干含む暗褐色土層(10YR3/3)、Ⅱ層はローム粒子をあまり含まない黒褐色土層(10YR2/2)、Ⅲ層はローム粒子を均一に多く含む埋土的な褐色土層（10YR4/4)、Ⅳ層はロームをブロック状に含む埋土的な暗褐色土層（10YR3/3)、Ⅴ層はロームのブロック状堆積である暗褐色土層（10YR3/3）であった。

遺物は、炉の脇から22の深鉢が出土している。

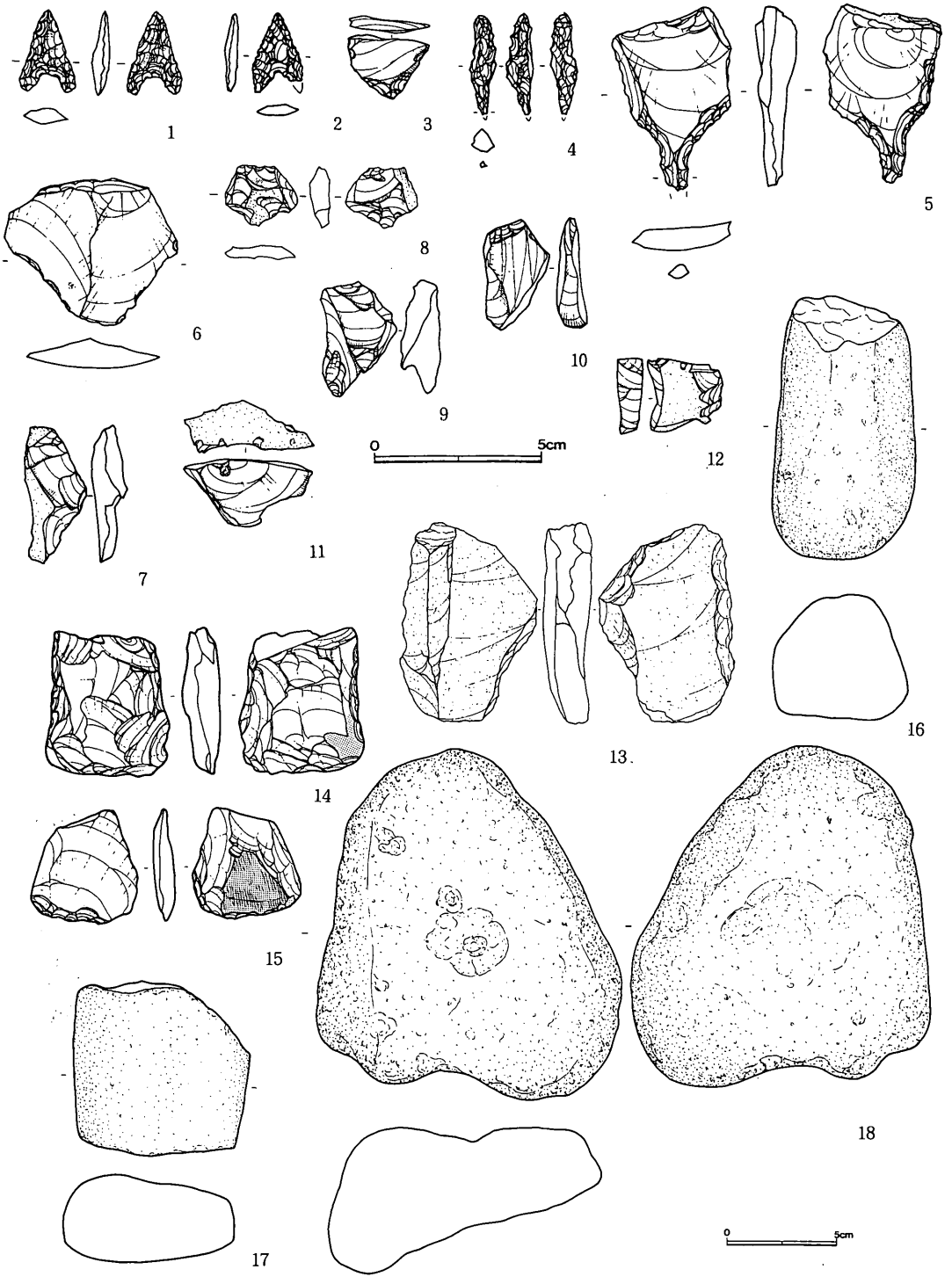
炉　　第239図

炉は、20の阿玉台式の深鉢を用いた埋甕炉で、径25cm深さ20cmを測る。

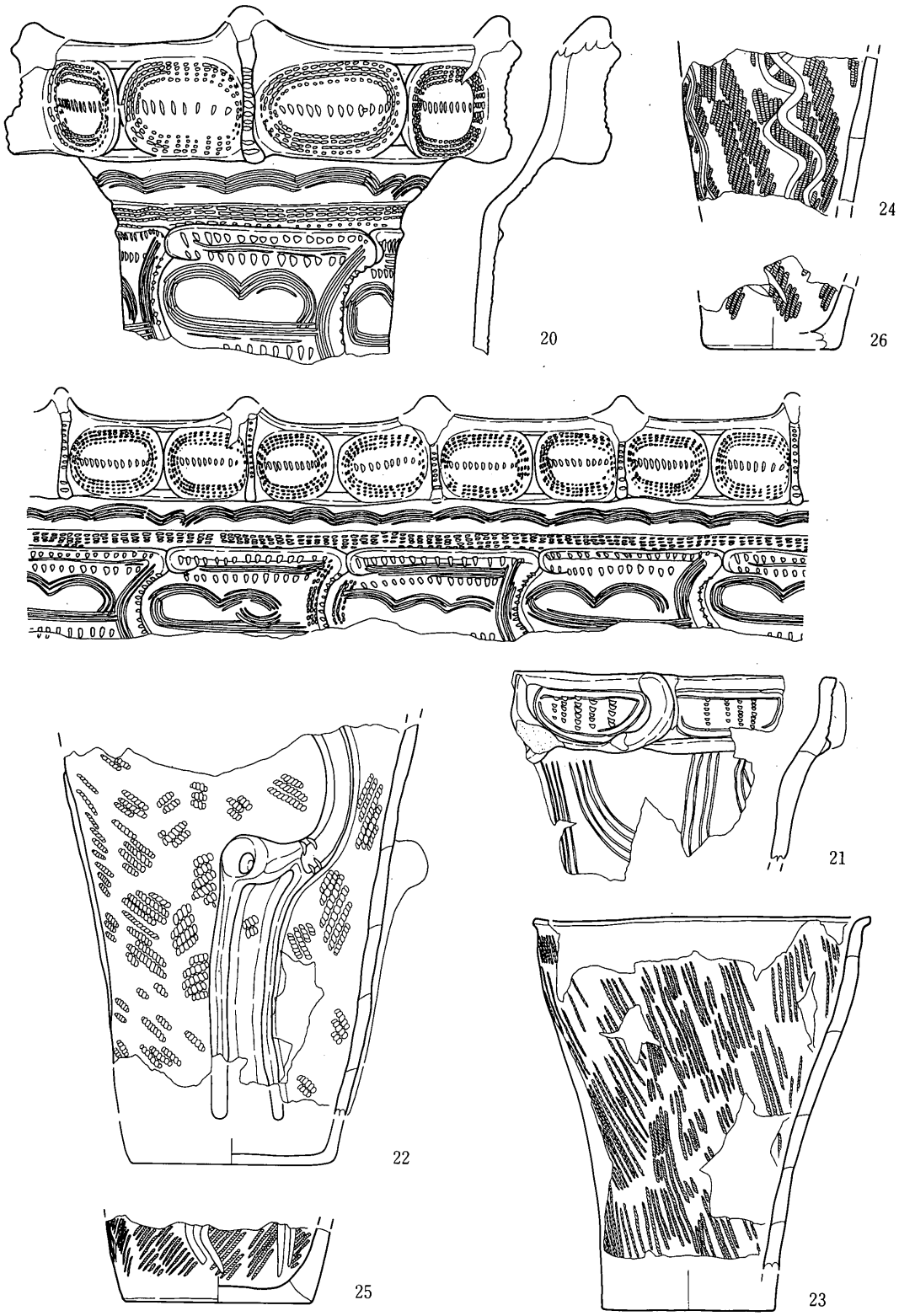
覆土は、2層に分層された。Ⅰ層は焼土・カーボンをわずかに含み骨片のみられる黒褐色土層(10YR2/3)、Ⅱ層は焼土・カーボンを含まない暗褐色土層（10YR3/3）であった。

遺　物　　第240～245図・第156～160表

出土した石器には、石器では、石鏃（1・2)・石鏃未成品（3)・石錐（4・5)・微小剥離痕



第241図　J－50号住居址出土石器（1～2＝1：2，13～18＝1：3）



第242図　J－50号住居址出土土器（1：4，展開図＝1：6）

のある剥片（6）・加工痕のある剥片（7）・ピエス・エスキーユ（8～10）・石核（11）・黒曜石原石（12・13）・打製石斧（14・15）・磨石（16・17）・凹石（18）が出土している。

土器は、阿玉台II式では炉に用いられた20の深鉢と21の深鉢破片、地文に縄文を施し垂下する曲隆線と環状の突起をつけた22の深鉢、撚糸文を器面全体に施した23の深鉢、その他勝坂系の土器破片（38～46）などが出土している。

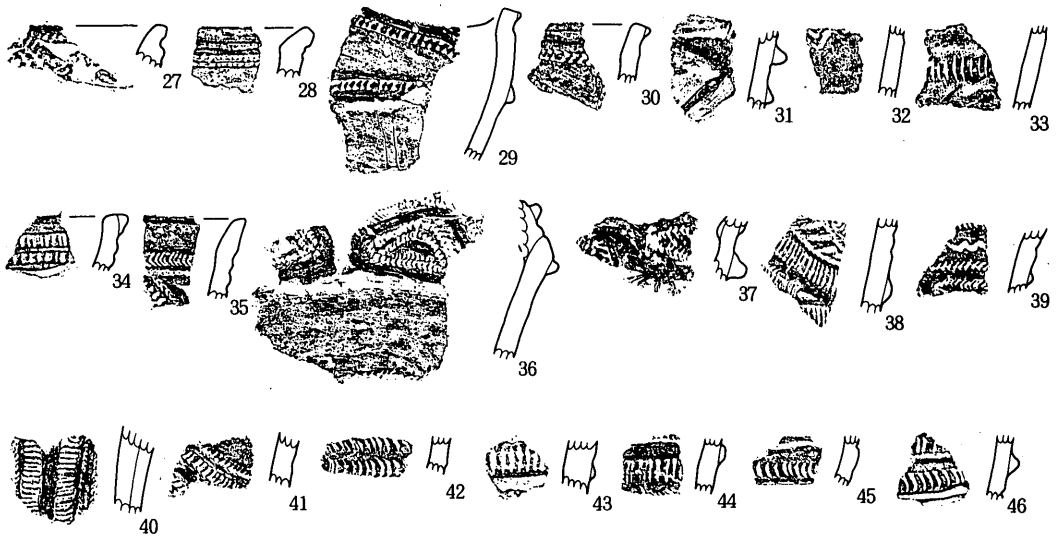
時　期

本住居址は、縄文中期中葉（川原田遺跡第7期）に位置付けられよう。

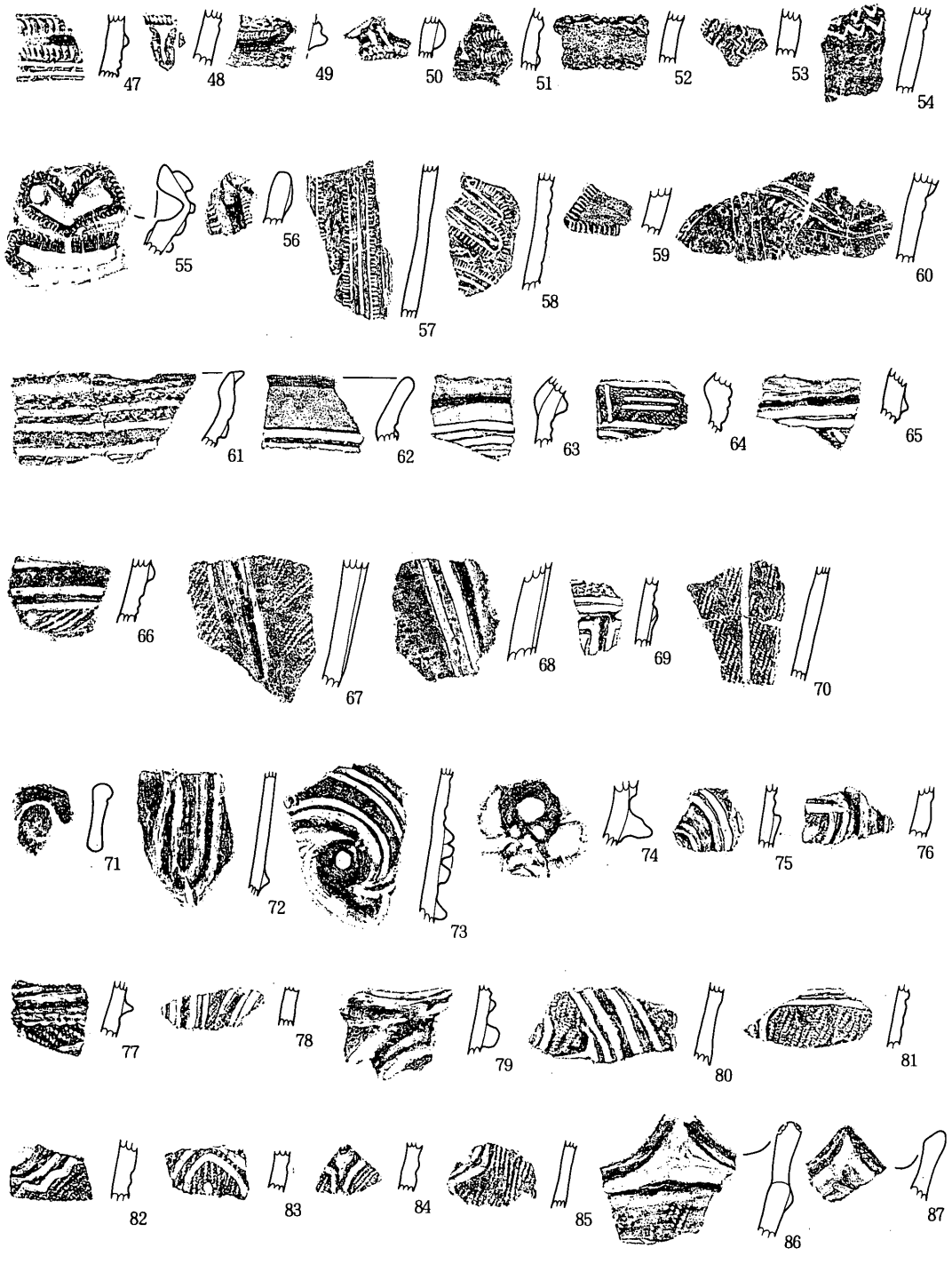
第156表　J－50号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考	挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	チャート	24	17	5	1.3		11	石核	黒曜石	20	39	12	6.7	
2	石鏃	黒曜石	23	15	3	0.8		12	原石	黒曜石	22	22	8	4.2	
3	石鏃未成品	黒曜石	19	24	4	1.4		13	原石	黒曜石	90	61	20	129.9	蛍科分析No.38295 浅間大窯沢産
4	石錐	黒曜石	29	7	8	1.2	欠端欠損	14	打製石斧	頁岩I	65	56	16	73.7	基部欠損
5	石錐	ガラス質黒色安山岩	53	35	8	14.9	欠端欠損	15	打製石斧	安山岩	51	50	9	22.7	基部欠損
6	微小剥離痕のある剥片	ガラス質黒色安山岩	43	52	11	21.3		16	磨石	安山岩	118	63	60	691.8	欠損
7	加工痕のある剥片	黒曜石	40	19	9	5.4		17	磨石	安山岩	80	81	38	456.6	欠損
8	ピエス・エスキーユ	黒曜石	18	21	5	1.7		18	凹石	安山岩	151	137	64	1,383.6	
9	ピエス・エスキーユ	黒曜石	34	21	12	6.5		19	打製石斧	頁岩I	135	54	30	－	
10	ピエス・エスキーユ	黒曜石	33	19	8	4.6									

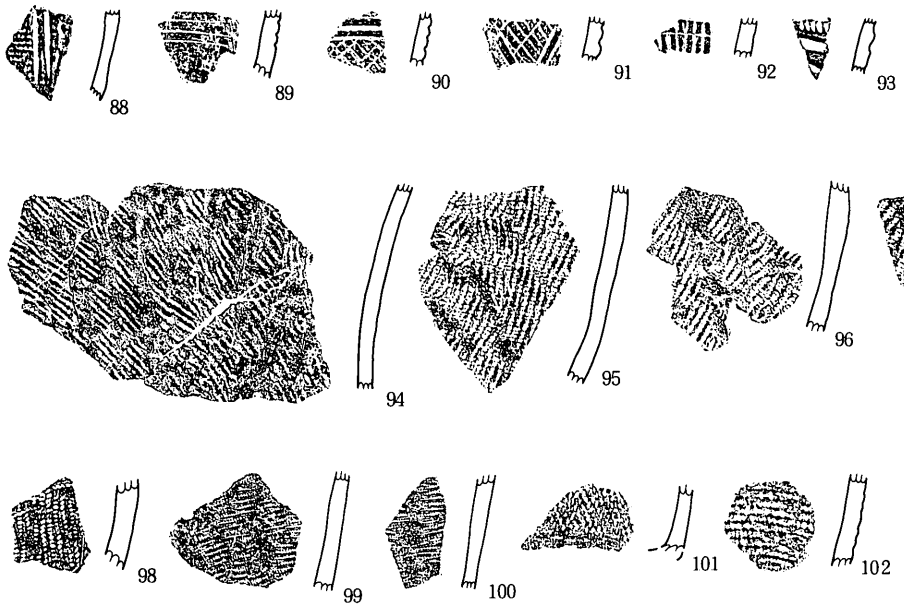
（単位mm，g）



第243図　J－50号住居址出土土器（1：4）



第244図　Ｊ－50号住居址出土土器（１：４）



第245図　J－50号住居址出土土器（1：4）

第157表　J－50号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
20	深鉢	口縁～胴部	25.8 － －	4単位の突起 口縁に楕円区画を8個配す撚糸状工具による4列の列点、沈線	ヨコミガキ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	良好	炉	炉胎土器
21	深鉢	口縁	－ － －	口縁は隆線による楕円区画内を爪形状の連続刺突が埋める 4本の平行沈線	ヨコナデ	角閃石多量	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	4	
22	深鉢	胴部	－ － －	地文縄文LR。曲がりながら垂下し、環状突起に結び、二者に分岐して下りる曲隆線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	6	
23	深鉢	口縁～胴部	(21.6) － －	わずかに外に折れる平口縁 撚糸文L	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	I区	
24	深鉢	胴部	－ － －	縄文RL 平行・蛇行する幅広沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	III区	26と同一個体
25	深鉢	底部	－ － 11.8	縄文RL 平行・蛇行する幅広沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	I区	
26	深鉢	底部	－ － 8.5	縄文RL 平行・蛇行する幅広沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	III区 IV層	24と同一個体
27	深鉢	口縁	－ － －	地文縄文RL 三角形の沈刻	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	III区 I層	
28	深鉢	口縁	－ － －	2条の横位結節沈線	ヨコミガキ	黒雲母多量	褐色 7.5YR 4/3	褐色 7.5YR 4/3	通常	II区	
29	深鉢	口縁	－ － －	隆線に沿って、爪形状の連続刺突	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	2	
30	深鉢	口縁	－ － －	口唇に沿って、爪形状の連続刺突	ヨコナデ	黒雲母多量	暗褐色 7.5YR 3/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	II区 III層	
31	深鉢	口辺	－ － －	隆線による横位流線形区画	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 7.5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	通常	IV区 I層	
32	深鉢	胴部	－ － －	2条の蛇行隆線	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 6/3	通常	I区 II層	

（単位cm）

第158表　J－50号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
33	深鉢	胴部	— — —	爪形状の横位連続刺突	不明	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅳ区 Ⅱ層	
34	深鉢	口縁	— — —	2条の横位結節沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい黄橙色 10YR 7/4	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅰ区 Ⅱ層	
35	深鉢	口縁	— — —	爪形状の連続刺突 ペン先状の連続刺突	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	Ⅱ区	
36	深鉢	口辺	— — —	隆線による三角状の区画内に爪形状の連続刺突	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	Ⅲ区 Ⅰ層	
37	深鉢	口辺	— — —	隆線による区画内にペン先状の連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/8	にぶい褐色 7.5YR 5/6	通常	Ⅰ区	
38	深鉢	胴部	— — —	キャタピラ文 ペン先状の連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/8	通常	Ⅱ区	
39	深鉢	胴部	— — —	隆線、蛇行沈線 ペン先状の連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅲ区 Ⅲ層	
40	深鉢	胴部	— — —	縦位隆線、キャタピラ文 ペン先状刺突文	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/8	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	Ⅳ区 Ⅲ層	
41	深鉢	胴部	— — —	ペン先状の連続刺突	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅰ区	
42	深鉢	胴部	— — —	爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/8	橙色 5YR 6/8	通常	Ⅱ区	
43	深鉢	胴部	— — —	爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/8	明褐色 7.5YR 5/6	通常	Ⅲ区	
44	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯 連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	ヨコナデ	
45	深鉢	胴部	— — —	爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/8	通常	Ⅰ区 Ⅲ層	
46	深鉢	胴部	— — —	隆線 キャタピラ文	ヨコナデ	角閃石	明褐色 7.5YR 5/8	橙色 5YR 6/8	通常	Ⅱ区 Ⅰ層	
47	深鉢	胴部	— — —	横位隆線、沈線 キャタピラ文	ヨコナデ	角閃石	褐色 7.5YR 4/3	橙色 5YR 6/8	通常	Ⅰ区 Ⅲ区	
48	深鉢	胴部	— — —	三叉文の沈刻	ヨコナデ	角閃石 黒雲母	橙色 7.5YR 6/6	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	Ⅱ区	
49	深鉢	胴部	— — —	隆線 爪形状の連続刺突文	不明	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/8	通常	Ⅱ区 Ⅱ層	
50	深鉢	胴部	— — —	隆線 爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/8	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	Ⅱ区 Ⅰ層	
51	深鉢	胴部	— — —	隆線による環状区画内にペン先状刺突文	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/8	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	Ⅰ区	
52	深鉢	胴部	— —	連続刺突による蛇行する文様	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/8	通常	Ⅱ区 Ⅰ層	
53	深鉢	胴部	— — —	鋸歯状沈線 ペン先状の連続刺突	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 5YR 4/6	褐色 7.5YR 4/3	通常	Ⅲ区 Ⅱ層	
54	深鉢	胴部	— — —	鋸歯状沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 7.5YR 6/8	橙色 5YR 6/8	通常	Ⅰ区	
55	深鉢	口縁	— — —	刻みのある隆帯によるハート状の区画	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい褐色 7.5YR 5/4	良好	Ⅳ区 Ⅲ層	
56	深鉢	口縁	— — —	ペン先状の連続刺突	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	Ⅱ区 Ⅱ層	
57	深鉢	胴部	— — —	3条の垂下沈線に沿って連続刺突	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 7/8	通常	Ⅱ区 Ⅲ層	

（単位cm）

第159表　J－50号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
58	深鉢	胴部	— — —	沈線による楕円区画に沿って、爪形状の連続刺突	タテナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/8	通常	II区	
59	深鉢	胴部	— — —	爪形状の連続刺突	ヨコナデ	角閃石	褐色 7.5YR 4/3	橙色 7.5YR 6/8	通常	I区 IV層	
60	深鉢	胴部	— — —	平行沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/8	橙色 5YR 6/8	通常	II区 III層	
61	深鉢	口縁	— — —	地文縄文ＬＲ 横位隆帯、横位沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/6	通常	IV区 III層	
62	深鉢	口縁	— — —	横位隆線 横位沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい黄褐色 10YR 5/3	黒褐色 10YR 3/2	通常	I活	
63	深鉢	胴部	— — —	口縁、隆帯	ヨコナデ	角閃石	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	II区 III層	
64	深鉢	口辺	— — —	地文縄文ＬＲ 横位・縦位沈線	ヨコナデ	角閃石 黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	橙色 5YR 6/8	通常	I区 II層	
65	深鉢	胴部	— — —	曲隆線 沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	I区	
66	深鉢	胴部	— — —	隆線 斜位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	黄橙色 7.5YR 8/8	にぶい黄褐色 10YR 5/3	通常	IV区 II層	
67	深鉢	胴部	— — —	縦位隆線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 6/6	通常	6	
68	深鉢	胴部	— — —	縦位隆線 縦位沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 7/8	通常	I区	
69	深鉢	胴部	— — —	隆線 沈線、縄文	ヨコミガキ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	III区 I層	
70	深鉢	胴部	— — —	縄文ＬＲ 縦位沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	II区	
71	深鉢	口縁	— — —	環状突起	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	II区	
72	深鉢	胴部	— — —	隆線によるＶ字状モチーフ	ヨコミガキ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	III区 I層	
73	深鉢	胴部	— — —	環状突起 曲隆線、沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	I区	
74	深鉢	胴部	— — —	環状突起	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	II区 I層	
75	深鉢	胴部	— — —	曲隆線 沈線	ヨコナデ	黒雲母	暗赤灰色 2.5YR 3/1	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	II区	
76	深鉢	胴部	— — —	縄文、隆線 沈線	ヨコミガキ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/8	通常	IV区 I層	
77	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ、隆線 蛇行沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	I区 II層	
78	深鉢	胴部	— — —	縄文ＬＲ、隆線 沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区 I層	
79	深鉢	胴部	— — —	曲隆線 沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	通常	IV区	
80	深鉢	胴部	— — —	曲隆線、沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	II区	
81	深鉢	胴部	— — —	沈線による楕円区画内に縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 2.5YR 6/6	通常	I区	
82	深鉢	胴部	— — —	縄文ＬＲ 蛇行沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	III区	

（単位cm）

第160表　Ｊ－50号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

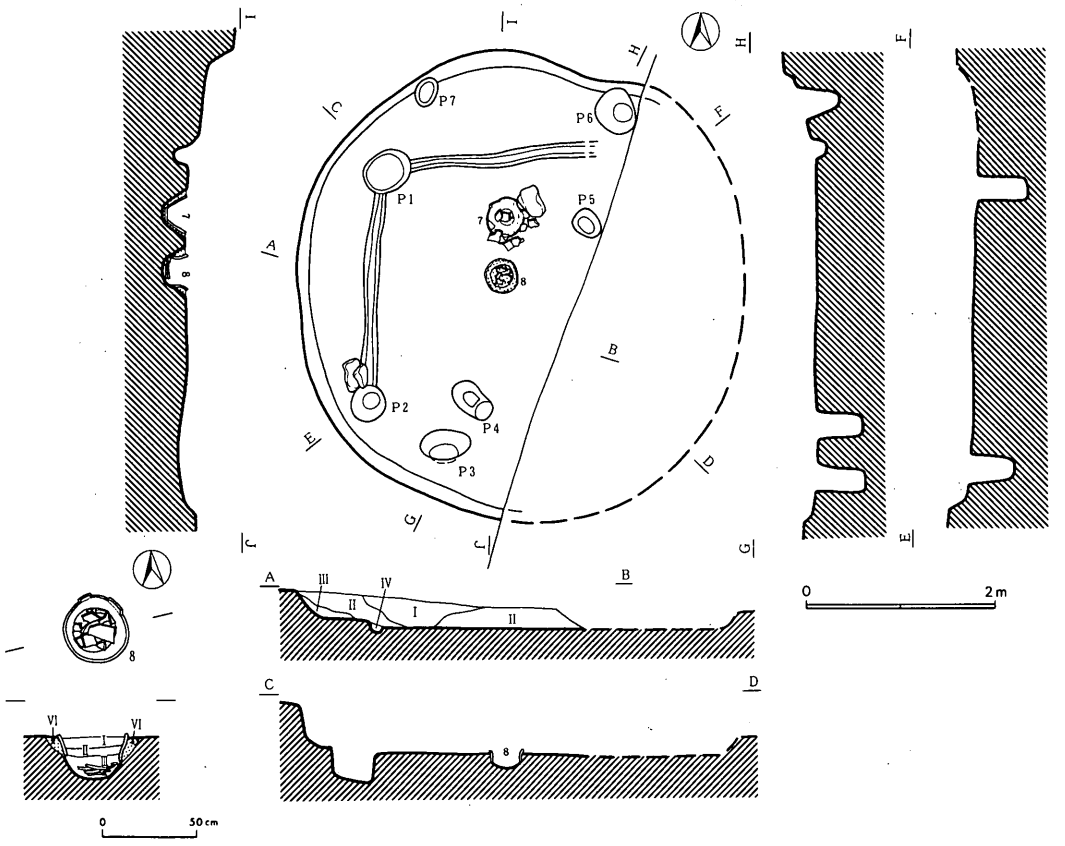
挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
83	深鉢	胴部	－ － －	鋸歯状沈線 縄文ＬＲ、円形刺突	ヨコナデ	黒雲母	褐灰色 5YR 4/1	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	Ⅳ区	
84	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＬＲ 沈線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	Ⅰ区	
85	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＲＬ 蛇行沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/8	通常	Ⅰ区 Ⅲ層	
86	深鉢	口縁	－ － －	波状口縁 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅲ区 Ⅱ層	同一個体
87	深鉢	口縁	－ － －	波状口縁	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/4	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅲ区 Ⅱ層	
88	深鉢	胴部	－ － －	沈線 縄文	不明	黒雲母	にぶい橙色 7.5YR 7/4	橙色 5YR 7/6	軟弱	Ⅰ区 Ⅳ層	
89	深鉢	胴部	－ － －	平行沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/8	橙色 5YR 7/6	通常	Ⅱ区 Ⅲ層	
90	深鉢	胴部	－ － －	平行沈線 格子状沈線	不明	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 5/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	Ⅱ区 Ⅰ層	
91	深鉢	胴部	－ － －	平行沈線 格子状沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ⅳ区 Ⅱ層	
92	深鉢	胴部	－ － －	格子状沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 7/4	にぶい橙色 5YR 7/4	通常	Ⅱ区 Ⅱ層	
93	深鉢	胴部	－ － －	沈線 爪形状の連続刺突	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 5YR 2/1	橙色 5YR 6/4	通常	Ⅱ区	
94	深鉢	胴部	－ － －	無節の縄文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	Ⅰ区 Ⅱ区	
95	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ⅱ区	
96	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	黒褐色 5YR 3/1	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅱ区	
97	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	一括	
98	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	黒褐色 5YR 3/1	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	Ⅱ区 Ⅱ層	
99	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/8	通常	Ⅳ区 Ⅲ層	
100	深鉢	胴部	－ － －	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	一括	
101	深鉢	底部付近	－ － －	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	Ⅱ区 Ⅱ層	
102	土製円盤	－	5.0 × 5.0	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	Ⅰ区 Ⅱ層	

（単位cm）

(51)　Ｊ－51号住居址

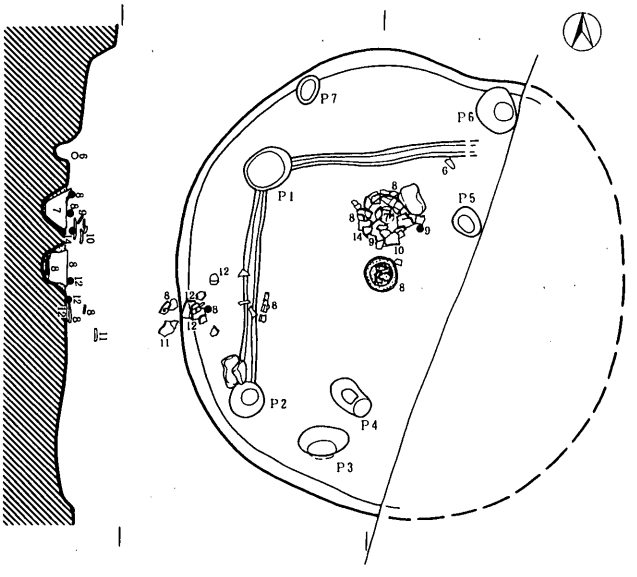
住居址　　第246図

Ｊ－51号住居址は、Ｋ－９グリッドにおいて検出された。その東側の一部は斜面により崩落している。



本址は、南北5.0m・東西推定で4.9mの円形を呈し、推定床面積16.6m²を測る。壁の残存高は、10～30cmを測る。壁溝は認められない。床面は貼り床である。

ピットは、P_1・P_2に対応して本来4本の主柱穴があったものと考えられるが、東側の崩落によりその対応する柱穴は確認できなかった。P_1とP_2の間は幅20cm深さ10cmの溝が結び、またP_1から東側に同様に溝が向かう。ピットの大きさは、P_1が

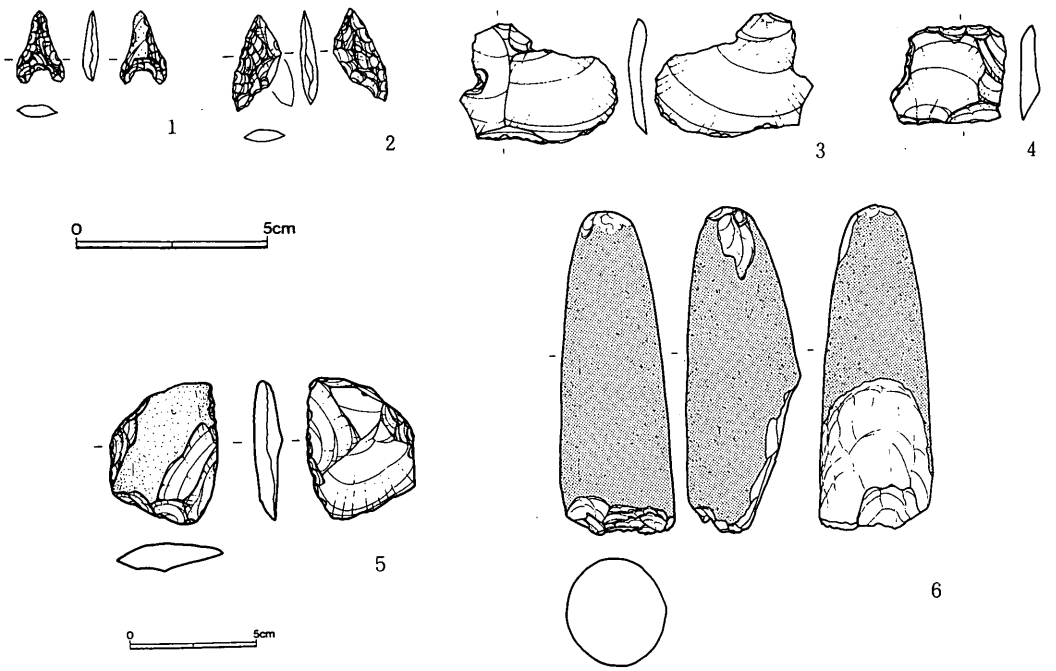


第246図　J－51号住居址（住居＝1：80，炉＝1：40）

第161表　J－51号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	石鏃	黒曜石	18	12	4	0.5	
2	石鏃	チャート	20	18	4	0.9	欠損
3	石匙	硬質頁岩	31	41	5	5.3	
4	ピエス・エスキーユ	ガラス質黒色安山岩	25	30	6	4.2	
5	打製石斧	頁岩Ⅰ	56	43	10	25.8	欠損
6	磨製石斧	蛇紋岩	127	44	44	358.8	先端欠損

（単位mm，g）



第247図　J－51号住居址出土石器（1～4＝1：2，5・6＝1：3）

52×40×30cm、P_2が38×38×46cm、P_3が52×30×50cm、P_4が50×30×46cm、P_5が32×26×50cm、P_6が48×40×36cm、P_7が32×22cmを測る。

住居覆土は、4層に分層された。Ⅰ層はローム粒子を含まない黒褐色土層(10YR2/2)、Ⅱ層はロームをブロック状に含みかつローム粒子を均一に多く含む埋土的な暗褐色土層(10YR3/3)、Ⅲ層はローム粒子を大量に含む埋土的な暗褐色土層(10YR3/3)、Ⅳ層はローム粒子を多く含む褐色土層（10YR4/4）であった。

遺物は、7の大形の深鉢が下半部を埋設した状態で検出された。また、8の大形深鉢の上半部は炉胎土器として埋設されていた。11の阿玉台式の破片・12の深鉢底部は西側の壁際より出土している。

炉　第246図

炉は、住居址のほぼ中央に存在している。8の大形深鉢の上半部を炉胎土器として埋設した埋

甕炉で、その底にも土器片が敷いてある。径30cm深さ25cmを測る。

覆土は4層に分層された。I層は焼土粒子を若干含む黒色土層(10YR2/1)、II層は焼土を多量に含む暗赤褐色土層（5YR3/3)、III層はカーボン・焼土を若干含みローム粒子をよく含む炉床の構築土である暗褐色土層(10YR3/3)、IV層は焼土を若干含みローム粒子を含む構築土である黒褐色土層（10YR2/2）である。

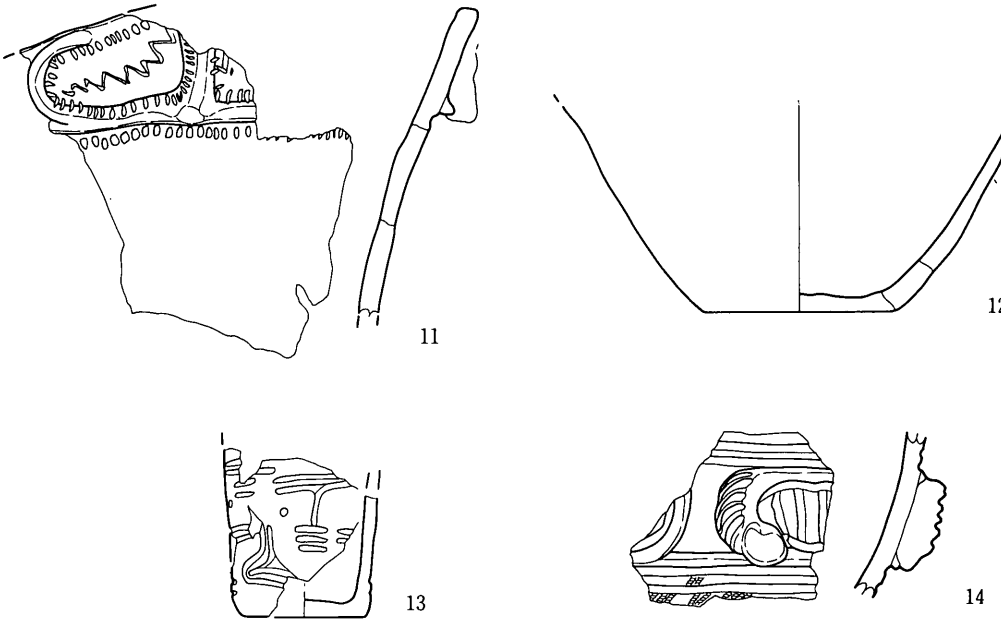
遺　物　　第247～252図・第161～164表

遺物は、石器では、石鏃（1・2)・石匙（3)・ピエス・エスキーユ（4)・打製石斧（5)・磨製石斧（6）が出土している。

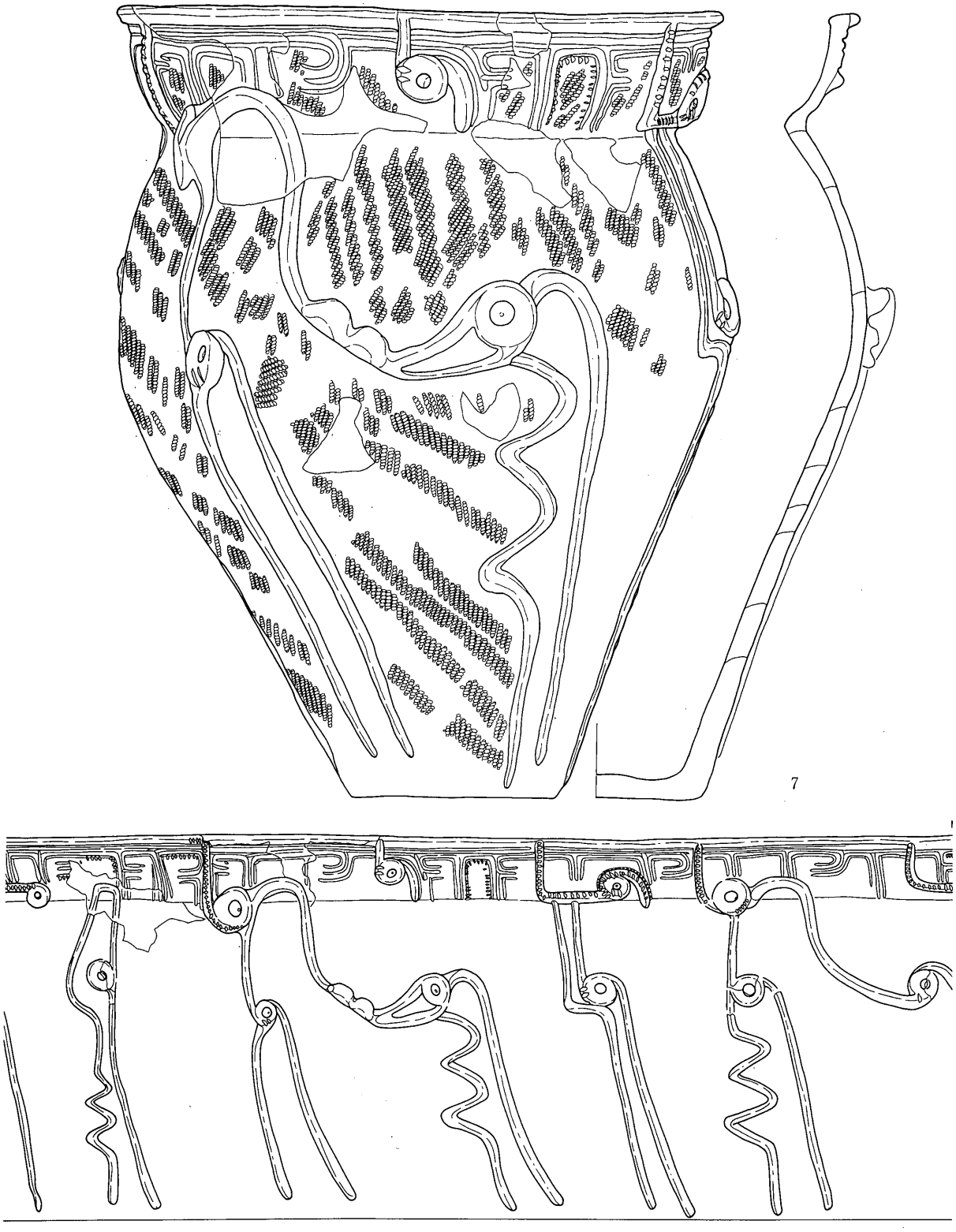
土器は、残りのよいものが数点みられた。7・8・9・10はプレ焼町あるいは新巻類型とされる土器である。7の大形深鉢は、素口縁で頸部に文様帯の区分がなく、地文に縄文を施し環状突起を経由して垂下する曲隆線をつけたもので、赤褐色の胎土を呈するこの遺跡の多くの土器と異なり、白色の胎土が特徴的である。8・9・10も地文に縄文を施すが、口縁部に環状突起がつき頸部が隆線もしくは沈線で区切られ、胴部に沈線が施される点で7と異なる。9では沈線により多角形の文様が描かれ、中央に点が打たれている。11は阿玉台III式土器である。

時　期

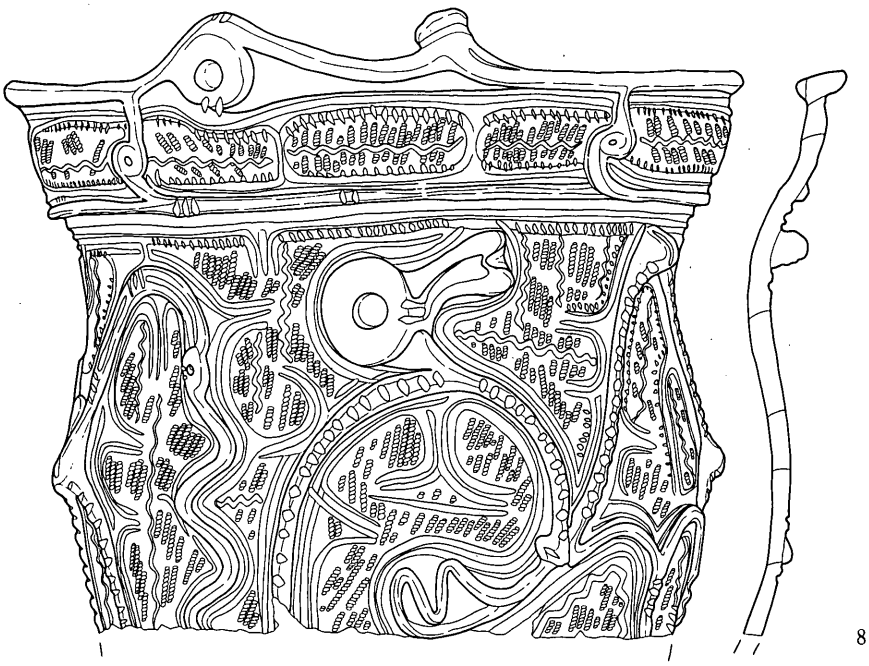
本住居址は、縄文中期中葉（川原田遺跡第7期もしくは第8期）に位置付けられよう。

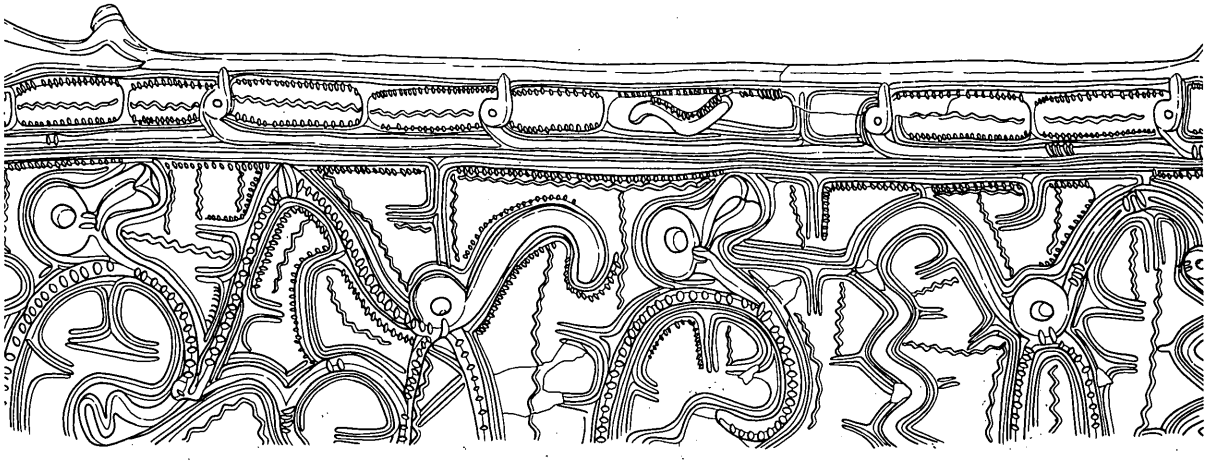


第248図　J－51号住居址出土土器（1：4）

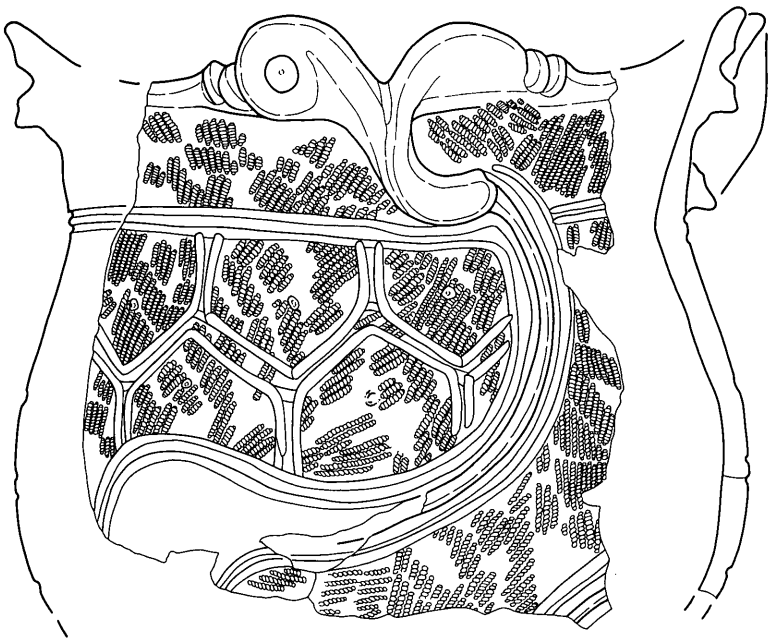


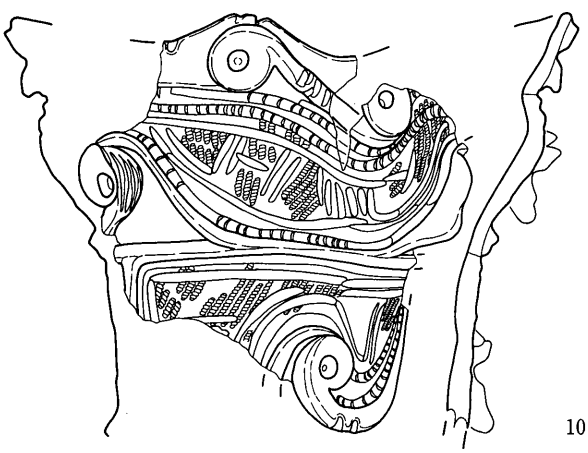
第249図　J－51号住居址出土土器（1：4，展開図＝1：8）

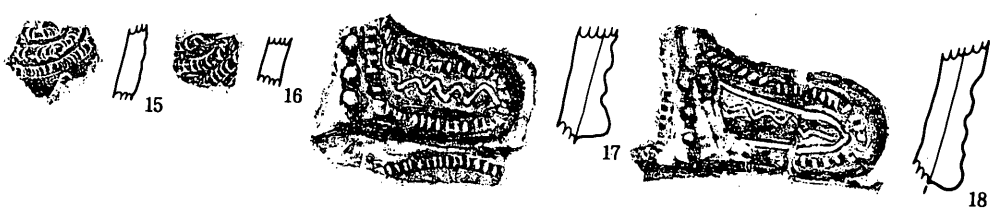




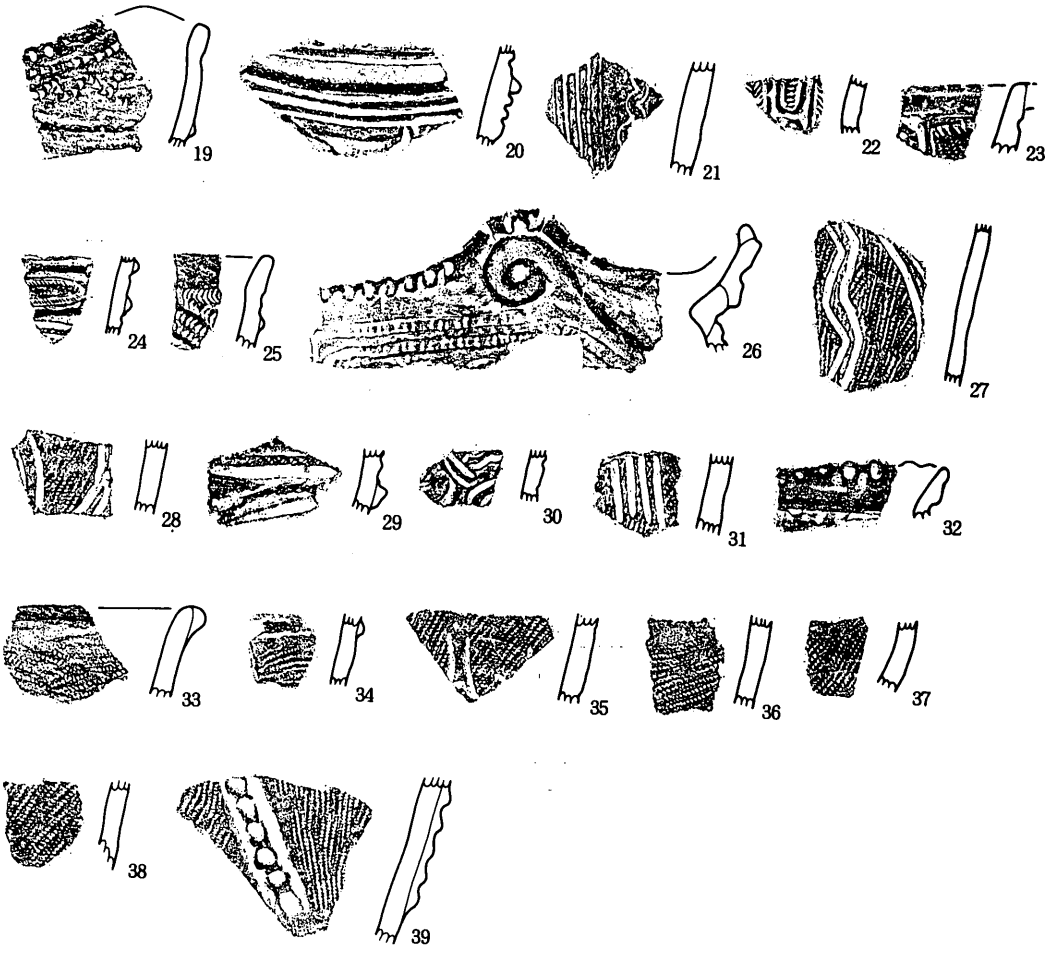
第250図　J－51号住居址出土土器（1：4，展開図＝1：6）







第251図　J－51号住居址出土土器（1：4）



第252図　Ｊ－51号住居址出土土器（１：４）

第162表　Ｊ－51号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
7	深鉢	口縁 ～ 底部	41.2 52.8 13.6	地文縄文ＲＬ。平口縁曲隆線は、口縁から頚部の環状突起に下り、胴部環状突起から二又に分岐	ヨコミガキ	白色粒子を多く含み全体に白っぽい	にぶい黄橙色 10YR 7/4	明黄褐色 10YR 7/6	通常	48	胎土から非在地糸土器か
8	深鉢	口縁 ～ 胴部	40.0 － －	地文縄文ＲＬ。口縁部４単位？環状突起に結ぶ隆帯、刻みのある曲隆帯	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	炉	炉胎土器
9	深鉢	口縁 ～ 胴部	－ － －	波状口縁の環状突起から太い曲隆線が垂下する。縄文ＲＬ・ＬＲ、沈線による五角形の区画	ヨコナデ	黒雲母多量	暗赤褐色 2.5YR 3/6	赤褐色 2.5YR 4/8	通常	8 32	
10	深鉢	口縁 ～ 胴部	－ － －	地文縄文ＬＲ、波状口縁 環状突起に結ぶ一部に刻みのある曲隆線、それに沿う有節沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	暗赤褐色 2.5YR 3/6	赤褐色 2.5YR 4/8	通常	25 26	
11	深鉢	口縁	－ － －	口縁を甲高の隆帯が楕円に区画し、連続する爪形の刺突がそれに沿う	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/8	橙色 2.5YR 6/6	通常	3	
12	深鉢	底部	－ － 10.5	底部は無文	ヨコナデ	大粒の風化粒子を含む	赤褐色 2.5YR 4/8	明赤褐色 2.5YR 5/8	不良	23	
13	深鉢	底部	－ － 6.8	２、３本が平行して、Ｔ字・蛇行する文様を描く沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	Ⅲ区	

（単位cm）

第163表　J－51号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
14	深鉢	胴部	— — —	一部がコイル状となる隆帯による楕円区画	ヨコミガキ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	31	
15	深鉢	胴部	— — —	爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 7/4	灰黄褐色 10YR 6/2	通常	II区	
16	深鉢	胴部	— — —	爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	にぶい黄橙色 10YR 7/2	褐灰色 7.5YR 4/1	通常	II区	
17	深鉢	口縁	— — —	隆帯による楕円区画に沿う連続刺突文、蛇行沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	4	
18	深鉢	口縁	— — —	隆帯による楕円区画に沿う連続刺突文、蛇行沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 5YR 5/6	通常	7	
19	深鉢	口縁	— — —	隆線、結節沈線 爪形状の連続刺突による蛇行文	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	III区	
20	深鉢	胴部	— — —	横位隆帯 横位沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい褐色 7.5YR 6/3	橙色 5YR 7/6	通常	24	
21	深鉢	胴部	— — —	結節沈線、沈線 蛇行沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/3	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	56	
22	深鉢	胴部	— — —	沈線による区画内を平行沈線、逆ハの字状沈線が埋める	ヨコナデ	黒雲母多量	灰褐色 5YR 4/2	明赤褐色 5YR 5/8	通常	II区	
23	深鉢	口縁	— — —	爪形状の連続刺突	ヨコナデ	黒雲母多量	暗赤褐色 5YR 3/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区	
24	深鉢	口辺	— — —	隆線による楕円区画内に沿って結節沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区	
25	深鉢	口縁	— — —	隆線に沿って爪形状の連続刺突文	ヨコミガキ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	II区	
26	深鉢	口縁	— — —	渦巻き状突起 蛇行隆線 結節沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	1	
27	深鉢	胴部	— — —	地文縄文ＲＬ 鋸歯状沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	19	
28	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	灰褐色 5YR 4/2	橙色 5YR 6/6	通常	III区	
29	深鉢	胴部	— — —	地文縄文 沈線 隆線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区	
30	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	黒雲母 角閃石	灰赤色 2.5YR 4/2	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	III区	
31	深鉢	胴部	— — —	地文縄文 平行沈線	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 5YR 4/6	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
32	深鉢	口縁	— — —	蛇行隆線 結節沈線	ヨコナデ	角閃石	灰褐色 5YR 4/2	明赤褐色 5YR 5/6	通常	20	
33	深鉢	口縁	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区	
34	深鉢	口辺	— — —	横位隆帯 縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区	
35	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ 縦位沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	II区	
36	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	橙色 2.5YR 6/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区	
37	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 6/3	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	II区	
38	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 5/3	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	II区	

（単位cm）

第164表　Ｊ－51号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
39	深鉢	胴部	― ― ―	縄文ＲＬ 刻みによるクサリ状の隆帯	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	2	

（単位cm）

(52)　Ｊ－52号住居址

住居址　　第253図

Ｊ－52号住居址は、Ｄ－12グリッドにおいて検出された。その西側半分は斜面により崩落している。

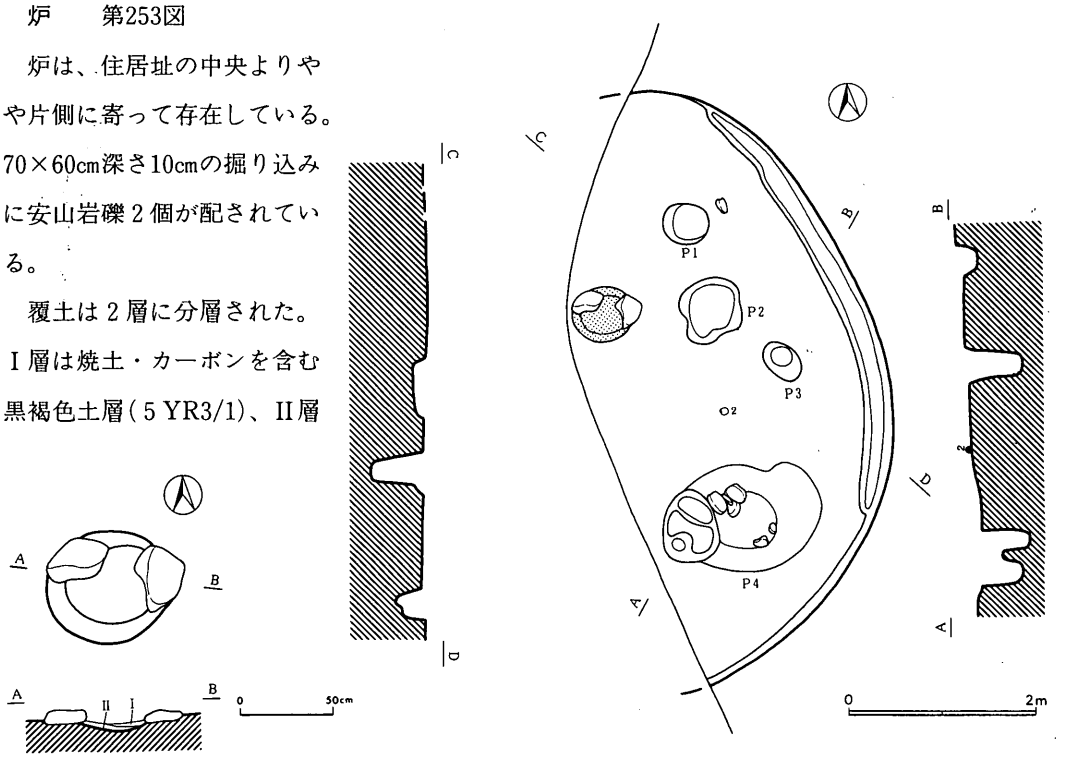
本址は、円形とみられるプランの半分とピット、壁溝の一部と炉が認められたのみである。南北の長さは推定で6.3ｍほどを測る。床面は貼り床である。壁溝の幅は30cm前後である。

ピットは、４個が認められた。ただしＰ$_4$の内部はいくつかの穴に分割される。その大きさは、Ｐ$_1$が48×44cm、Ｐ$_2$が74×56×12cm、Ｐ$_3$が46×32×54cm、Ｐ$_4$が174×116×50cmを測る。遺物は良好な出土状態のものはない。

炉　　第253図

炉は、住居址の中央よりやや片側に寄って存在している。70×60cm深さ10cmの掘り込みに安山岩礫２個が配されている。

覆土は２層に分層された。Ⅰ層は焼土・カーボンを含む黒褐色土層（５YR3/1）、Ⅱ層



第253図　Ｊ－52号住居址（住居＝１：80，炉＝１：40）

は赤褐色焼土層（5YR4/6）である。

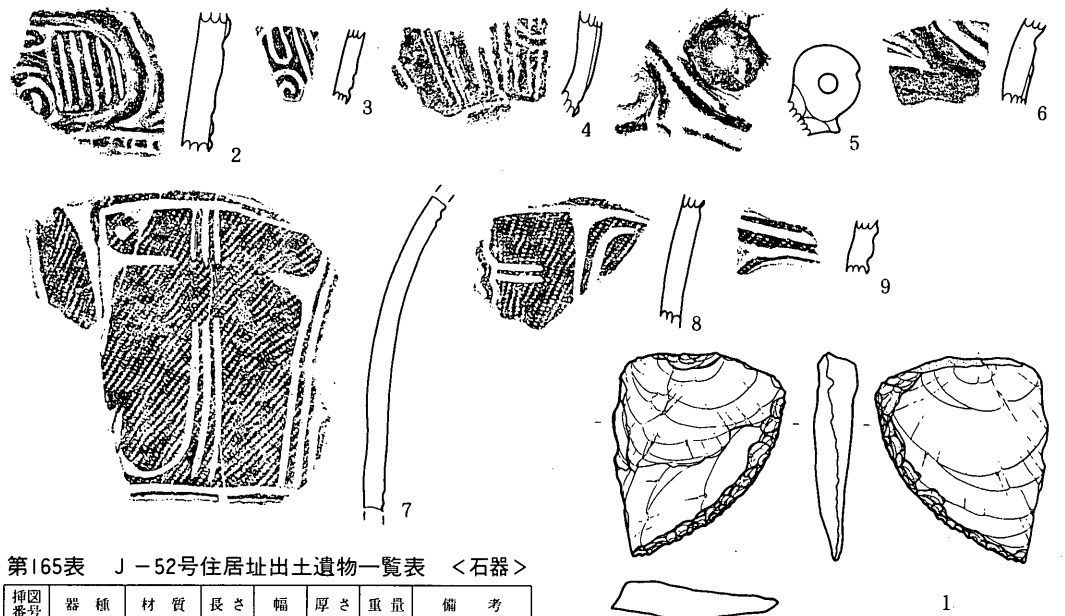
遺　物　　第254図・第165・166表

遺物は、石器では八風山のガラス質黒色安山岩を用いた（後編山本の分析による）スクレイパー（1）が出土したのみである。

土器は、地文に縄文を施し沈線で区画される7の深鉢破片など少数がみられるのみである。

時　期

本住居址は、縄文中期中葉に位置付けられよう。



第254図　J－52号住居址出土遺物
（1＝1:3，2～＝1:4）

第165表　J－52号住居址出土遺物一覧表　＜石器＞

挿図番号	器種	材質	長さ	幅	厚さ	重量	備考
1	スクレイパー	ガラス質黒色安山岩	78	69	12	79.5	

（単位mm，g）

第166表　J－52号住居址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
2	深鉢	胴部	— — —	隆線による楕円区画内に平行沈線	ヨコミガキ	角閃石	灰褐色 5YR 4/2	橙色 5YR 6/6	通常	1	
3	深鉢	胴部	— — —	U字・渦巻き・平行沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 2.5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	通常	一括	
4	深鉢	胴部	— — —	垂下隆線、縦位平行沈線	不明	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	一括	
5	深鉢	口縁	— — —	環状突起	ナデ	角閃石	にぶい橙色 2.5YR 6/4	にぶい赤褐色 5YR 5/3	通常	一括	
6	深鉢	胴部	— — —	幅広隆帯、沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい黄橙色 10YR 7/3	通常	一括	
7	深鉢	胴部	— — —	縦位・横位沈線 円形刺突文、縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	橙色 2.5YR 6/6	通常	P_1	同一個体
8	深鉢	胴部	— — —	沈線 縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	P_1	
9	深鉢	胴部	— — —	沈線 縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	P_1	

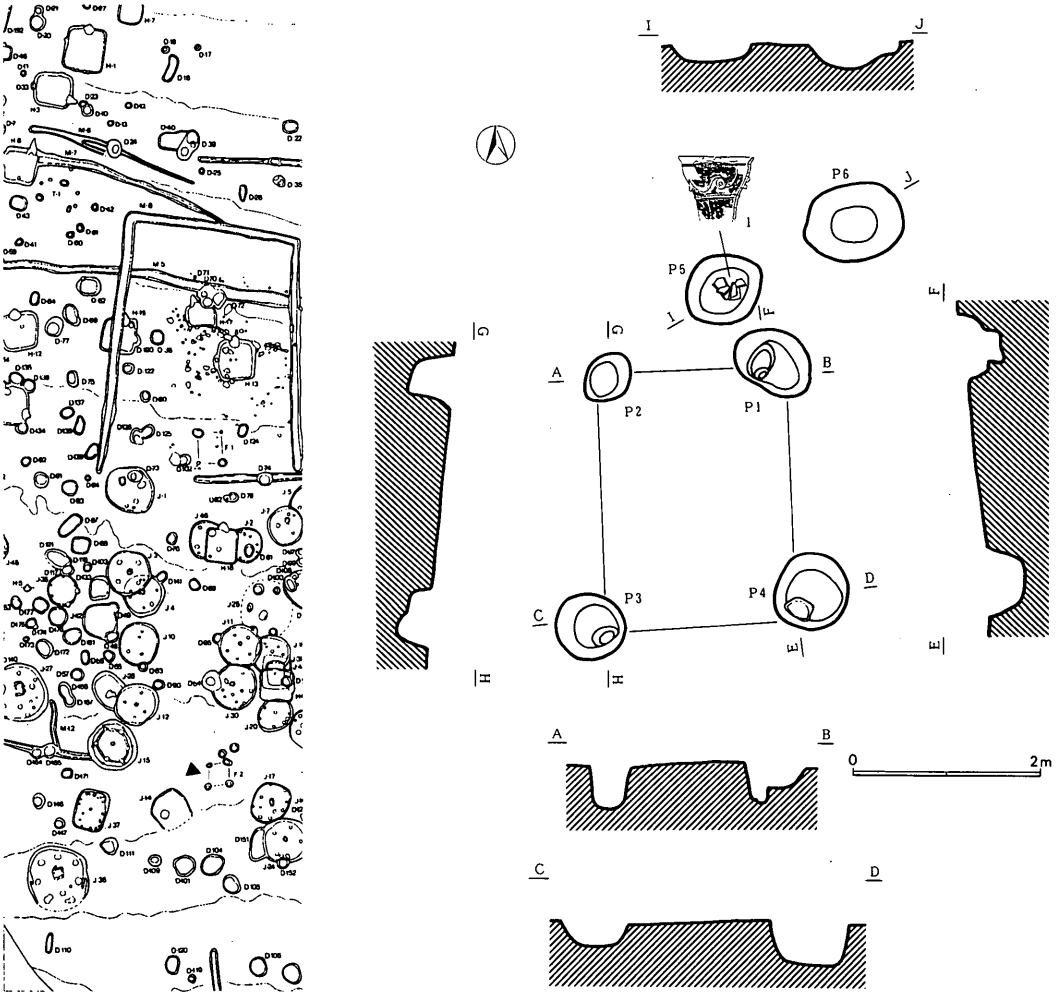
（単位cm）

2　掘立柱建物址

（1）　F－2号掘立柱建物址

第255・256・331図・第167表

川原田遺跡では2基の掘立柱建物址が検出された。うちF－1号掘立柱建物址は平安時代のものと考えられ、縄文時代とみられるものは本F－2号掘立柱建物址1基のみである。本址はH－13グリッドに位置する。

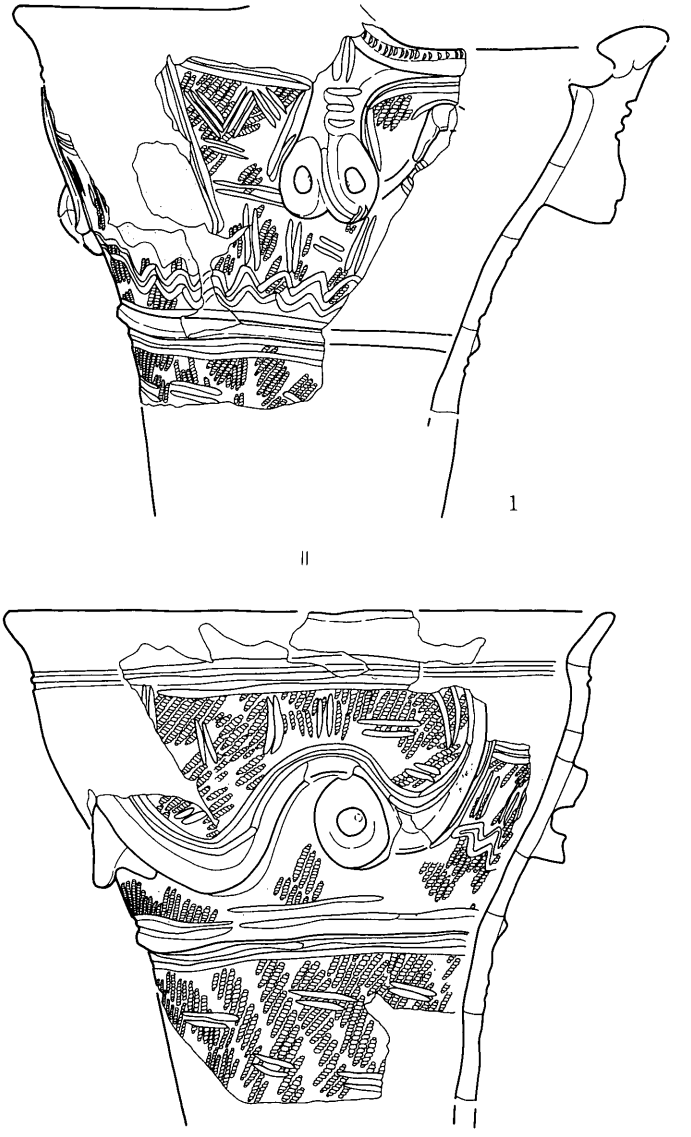


第255図　F－2号掘立柱建物址（1：80）

Ｆ－２号掘立柱建物址は、１間×１間、大きさ2.7×2.0ｍ、面積5.4㎡を測る。主柱穴はP_1～P_4、これにP_5・P_6が付随する。ピットの大きさは、P_1が90×60cm深さ45cm・P_2が60×45×50cm・P_3が75×70×25cm・P_4が80×80×40cm・P_5が90×80×15cm・P_6が105×80×30cmを測る。P_5からは、１の深鉢の破片が出土している。１の深鉢は、地文に縄文を施し、口唇部を平行沈線で頸部を横位の隆線で区画した土器で、口縁部には環状突起に連結して曲隆線がみられるほか、２本の平行沈線による波状文などがみられる。この土器は、従来プレ焼町もしくは新巻類型と呼称される土器である。また本柱穴からは、第331図49の黒曜石原石が出土している。

本遺構の性格についてであるが、１基しか存在していない点・住居の分布しない広場的空間に位置する点からして公共的な建物であった可能性がある。

時期については、出土した土器から、縄文時代中期中葉（川原田遺跡第７期もしくは第８期）の所産とみることができよう。



第256図　Ｆ－２号掘立柱建物址出土土器（１：４）

第167表　Ｆ－２号掘立柱建物址出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
1	深鉢	口縁 〜 底部	(33.0) — —	地文縄文ＬＲ 曲隆線、環状突起	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/8	橙色 2.5YR 6/6	通常	P_5 1	

（単位cm）

3 土　坑

(1) 土　坑

第257～300図・第168～194表

川原田遺跡において土坑は195基が検出された。その遺構は第257～274図・第169～177表、遺物は第275～300図・第178～194表に示した。

時期別の内訳は、縄文前期2基・縄文中期18基・縄文中期？（中期の可能性が高いもの）57基・平安22基・中世19基・時期不明（縄文・平安・中世のいずれかの可能性が考えられるもの）77基となっている。平安の土坑は平安の住居周辺にみられ、グリッド4～10列にかけて分布する。中世のものもグリッド4～10列にかけて分布するが、これは土坑というより隅丸方形の竪穴状遺構といいうるものである。

縄文時代のものとみられる土坑は、縄文の住居が濃密に分布するグリッドの10～14列にかけて主に分布している。土坑の性格は不明なものがほとんどであるが、いくつかその機能が推定できるものがあるのでふれておく。

第168表　土坑の所産期

縄文前期（2基）	D-165　D-172
縄文中期（18基）	D－51　D－52　D－65　D－66　D－73　D－77　D－84　D－91　D－96　D-102　D-115　D-117　D-140 D-142　D-147　D-185　D-186　D-187
縄文中期？（57基）	D－48　D－49　D－50　D－53　D－54　D－55　D－56　D－57　D－83　D－83　D－90　D－95　D－97 D－98　D－99　D-100　D-101　D-103　D-104　D-105　D-108　D-109　D-111　D-116　D-123　D-133 D-141　D-143　D-144　D-145　D-146　D-149　D-150　D-152　D-153　D-164　D-166　D-167　D-168 D-169　D-170　D-171　D-173　D-174　D-175　D-176　D-177　D-178　D-179　D-180　D-181　D-182 D-183　D-184　D-188　D-189　D-191
平　安（22基）	D－1　D－2　D－3　D－7　D－10　D－14　D－15　D－16　D－20　D－25　D－26　D－33　D－38 D－40　D－43　D－46　D－58　D－62　D－63　D－70　D－71　D－72
中　世（19基）	D－4　D－5　D－17　D－19　D－21　D-131　D-154　D-155　D-156　D-157　D-158　D-159　D-160 D-161　D-162　D-163　D-192　D-193　D-194
不　明（77基）	D－6　D－8　D－9　D－11　D－12　D－13　D－18　D－22　D－23　D－24　D－27　D－28　D－29 D－30　D－31　D－32　D－34　D－35　D－36　D－37　D－39　D－41　D－42　D－44　D－45　D－47 D－59　D－60　D－61　D－64　D－67　D－68　D－69　D－74　D－75　D－76　D－78　D－79　D－80 D－81　D－82　D－85　D－86　D－87　D－88　D－92　D－93　D－94　D-106　D-107　D-110　D-112 D-113　D-114　D-118　D-119　D-120　D-121　D-122　D-124　D-125　D-126　D-127　D-128　D-129 D-130　D-132　D-134　D-135　D-136　D-137　D-138　D-139　D-148　D-151　D-190　D-195

陥し穴　D－100　土坑底面には2つの小ピットがある。陥し穴とみられるものは、これ1基のみしか認められなかった。

ゴミ穴　D－84　袋状の土坑で、内部からは多量の焼土・縄文中期土器片とともに、多量のトチノキの果皮の炭化した破片が検出された。ただしそれは果皮のみで、可食部の実は含まれていなかった（後編、自然科学分析報告参照のこと）。したがって、この土坑は貯蔵穴というより、土器片とともにトチノミの残滓が廃棄され、燃やされた廃棄のための穴と考えられる。

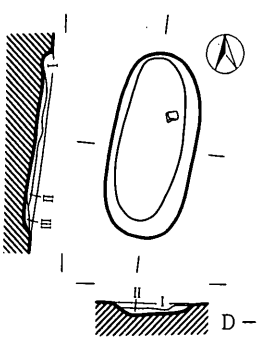
ちなみにその炭化物の^{14}C年代は、4660±110yBPと5020±170yBPの年代が得られており、縄文中期という出土土器とほぼ矛盾しない。

貯蔵穴　D－115　袋状の土坑で、底面には完形の小形土器322がみられた。種子などは検出されなかったが、貯蔵穴の可能性がある土坑である。

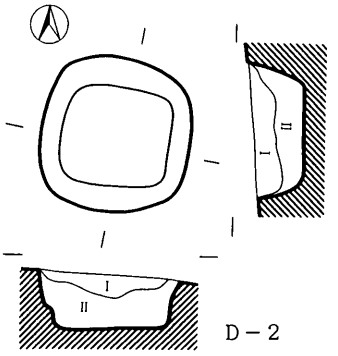
炉　穴　D－65　石囲い炉のみられるもので、2基が認められた。

D－142

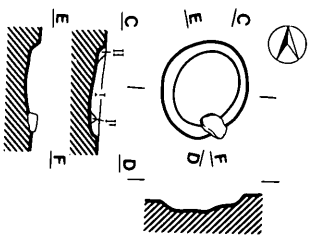
なお、縄文時代の土坑において、良好な土器資料がみられるものにD－52・D－73・D－77・D－84・D－91・D－96・D－102・D－115・D－117・D－165・D－186がある。



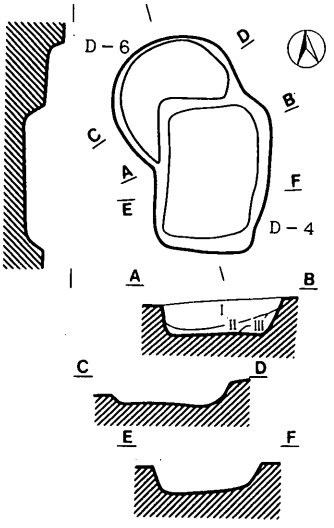
D－1

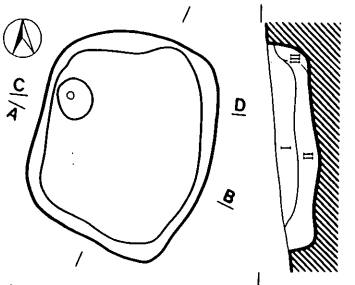


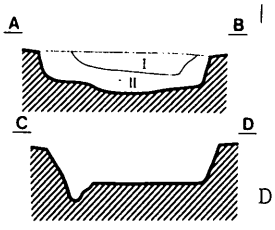
D－2



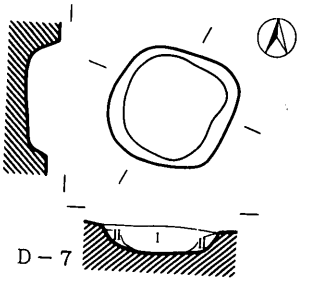
D－3



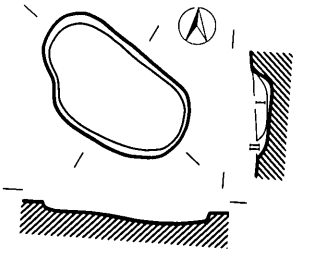




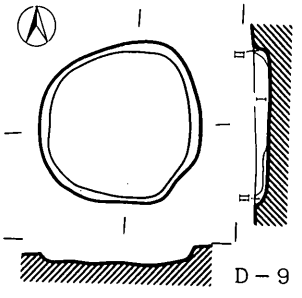
D－5



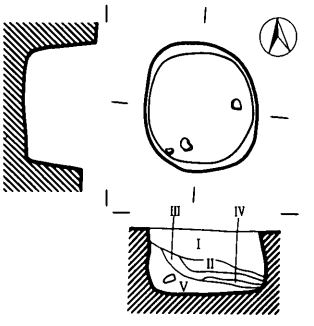
D－7



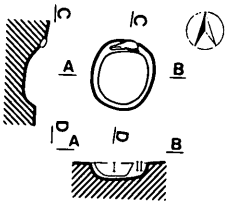
D－8



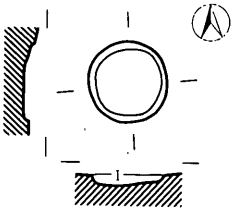
D－9



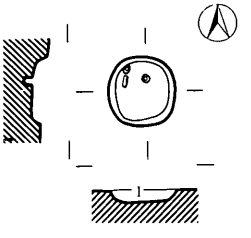
D－10



D－11

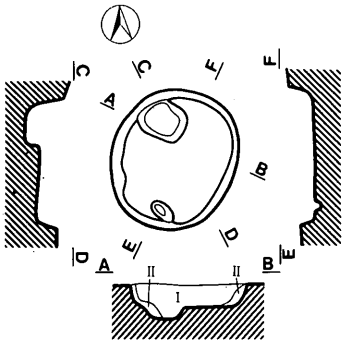


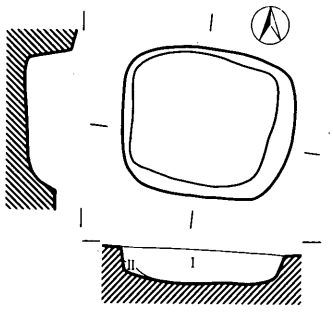
D－12

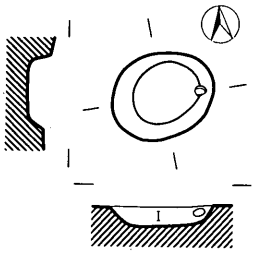


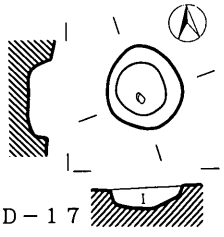
D－13

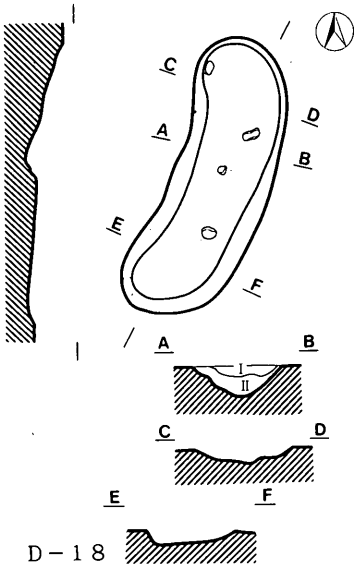
第257図　土　　坑（1：80）

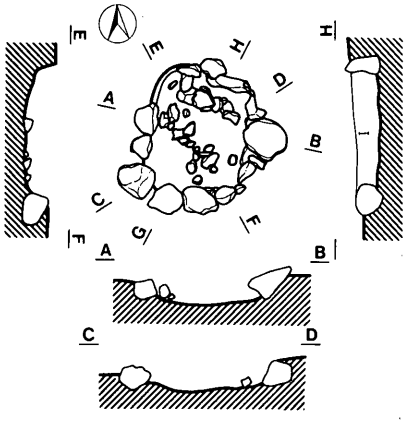


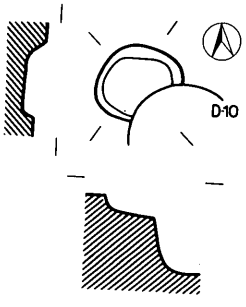


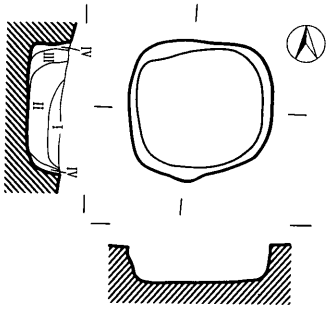


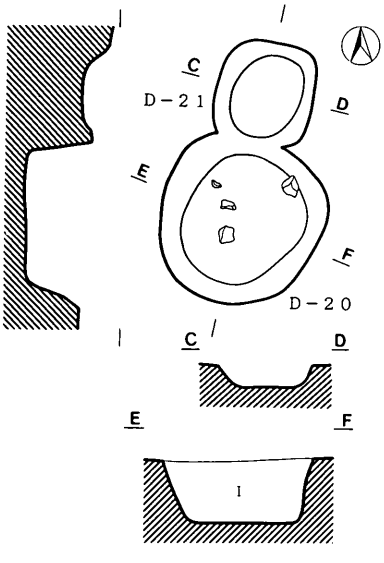


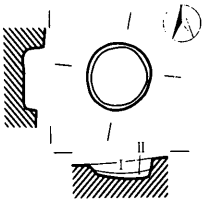




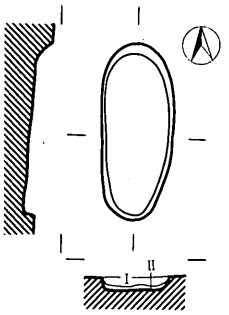




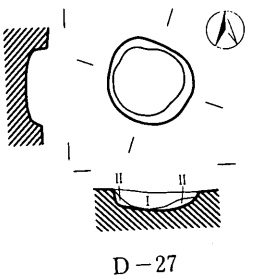




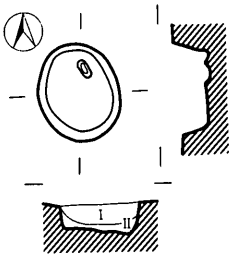
第258図　土　　坑（１：80）



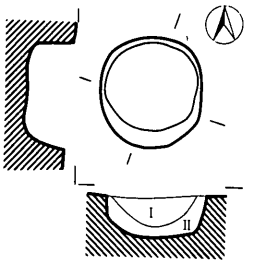
D－26



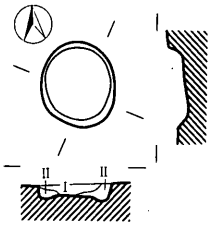
D－27



D－28

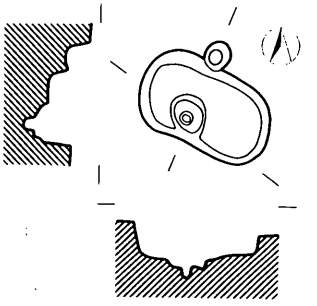


D－29

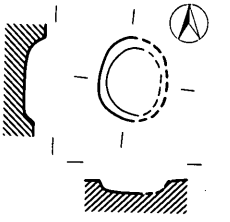


D－30

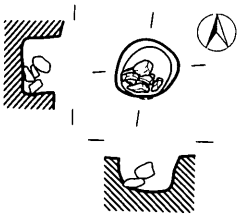
D－31



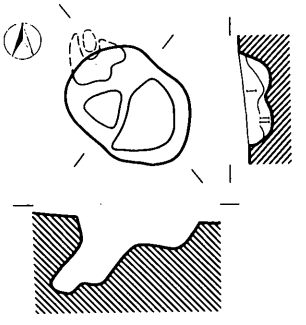
D－32



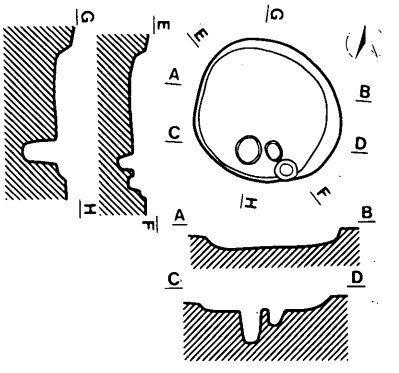
D－33



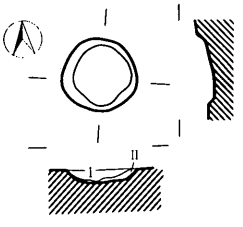
D－34



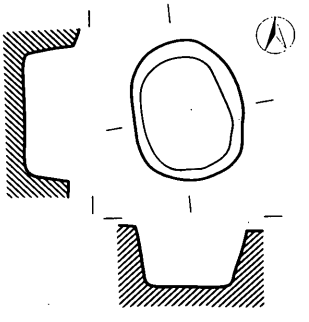
D－35



D－36

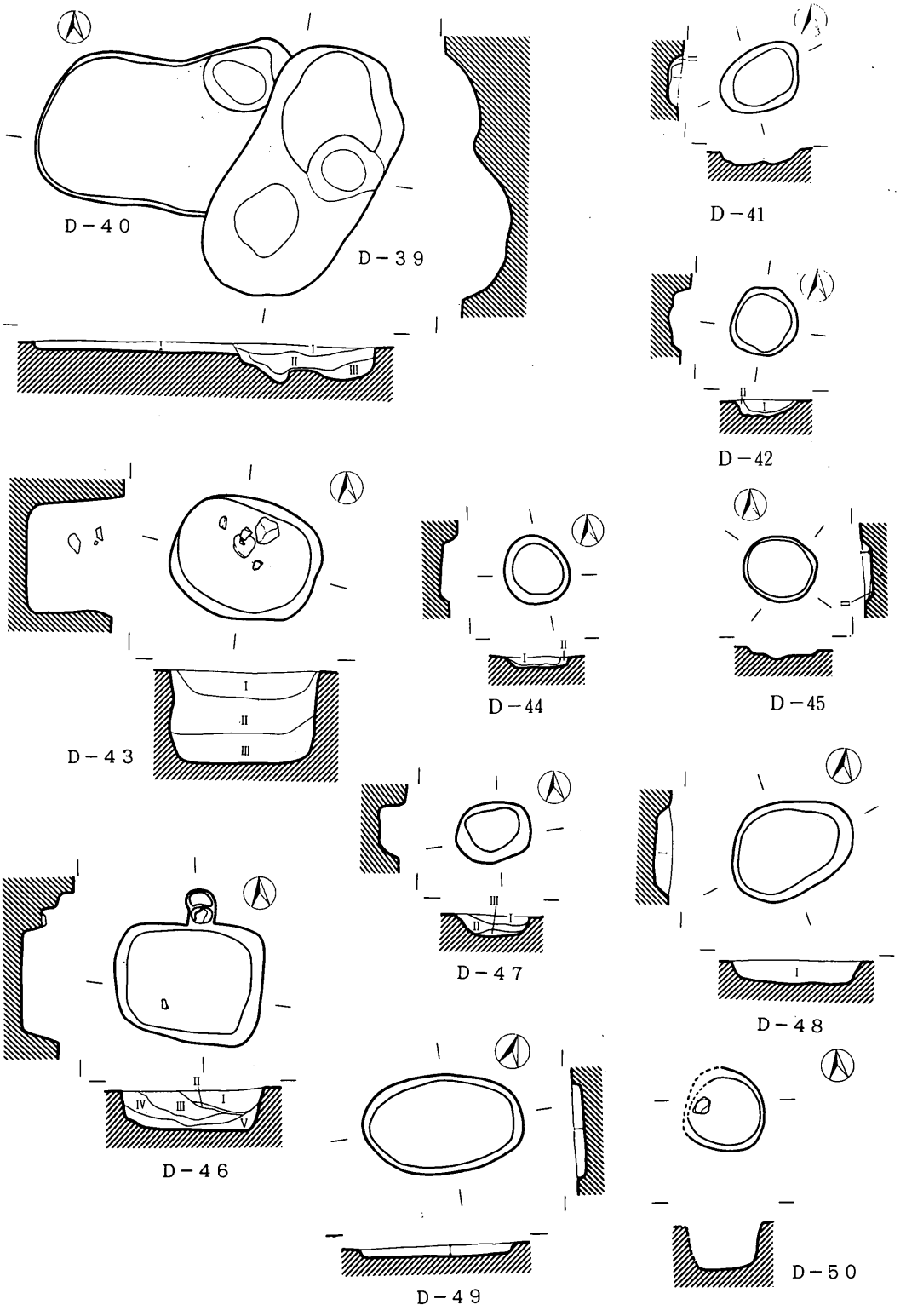


D－37

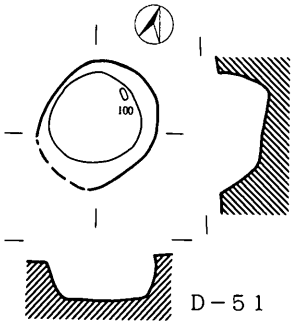


D－38

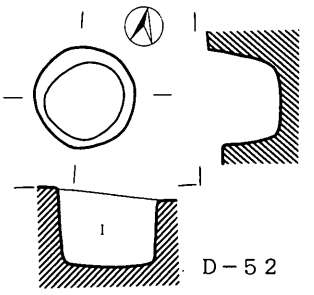
第259図　土　　坑（1：80）



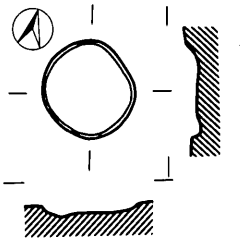
第260図　土　　坑（1：80）



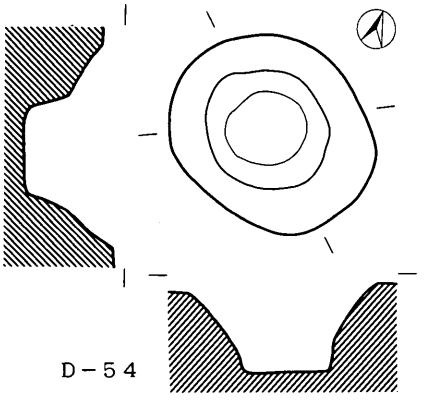
D－51



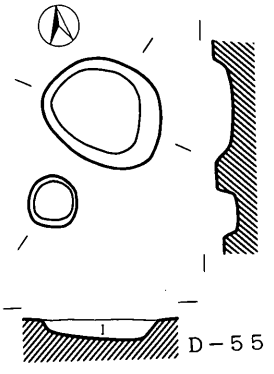
D－52



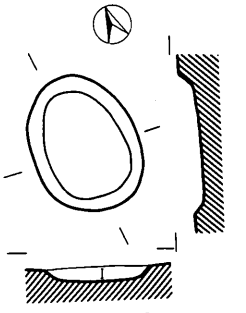
D－53



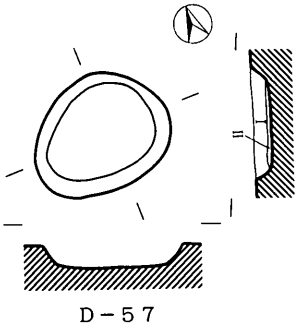
D－54



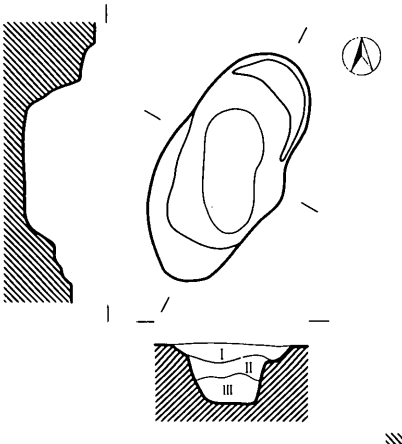
D－55



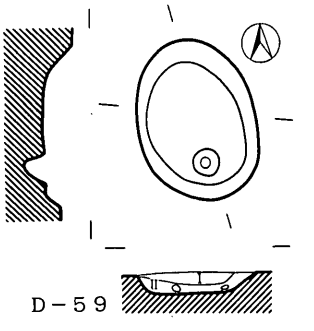
D－56



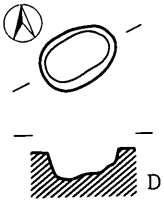
D－57



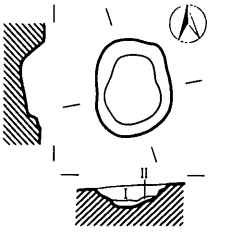
D－58



D－59

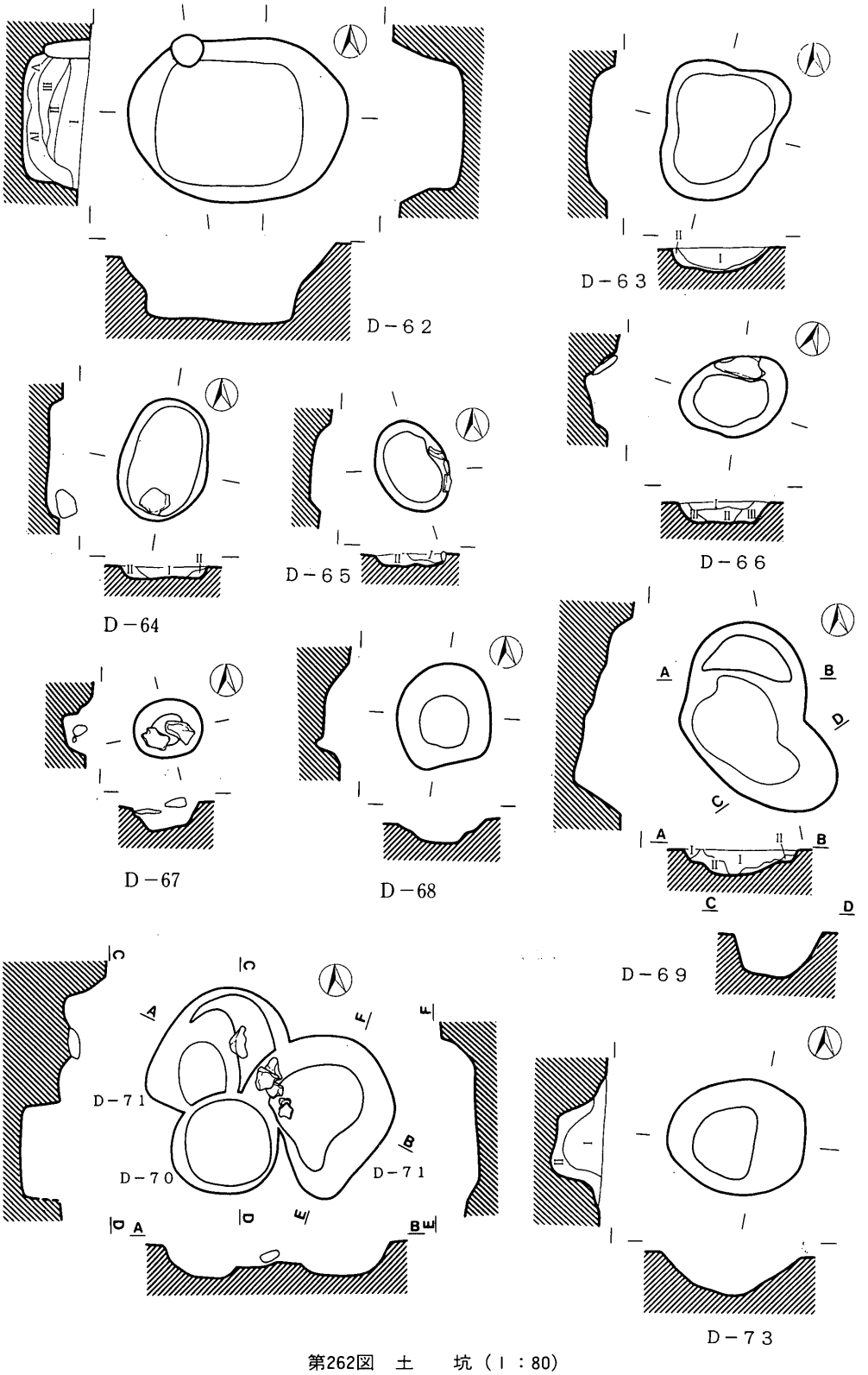


D－60

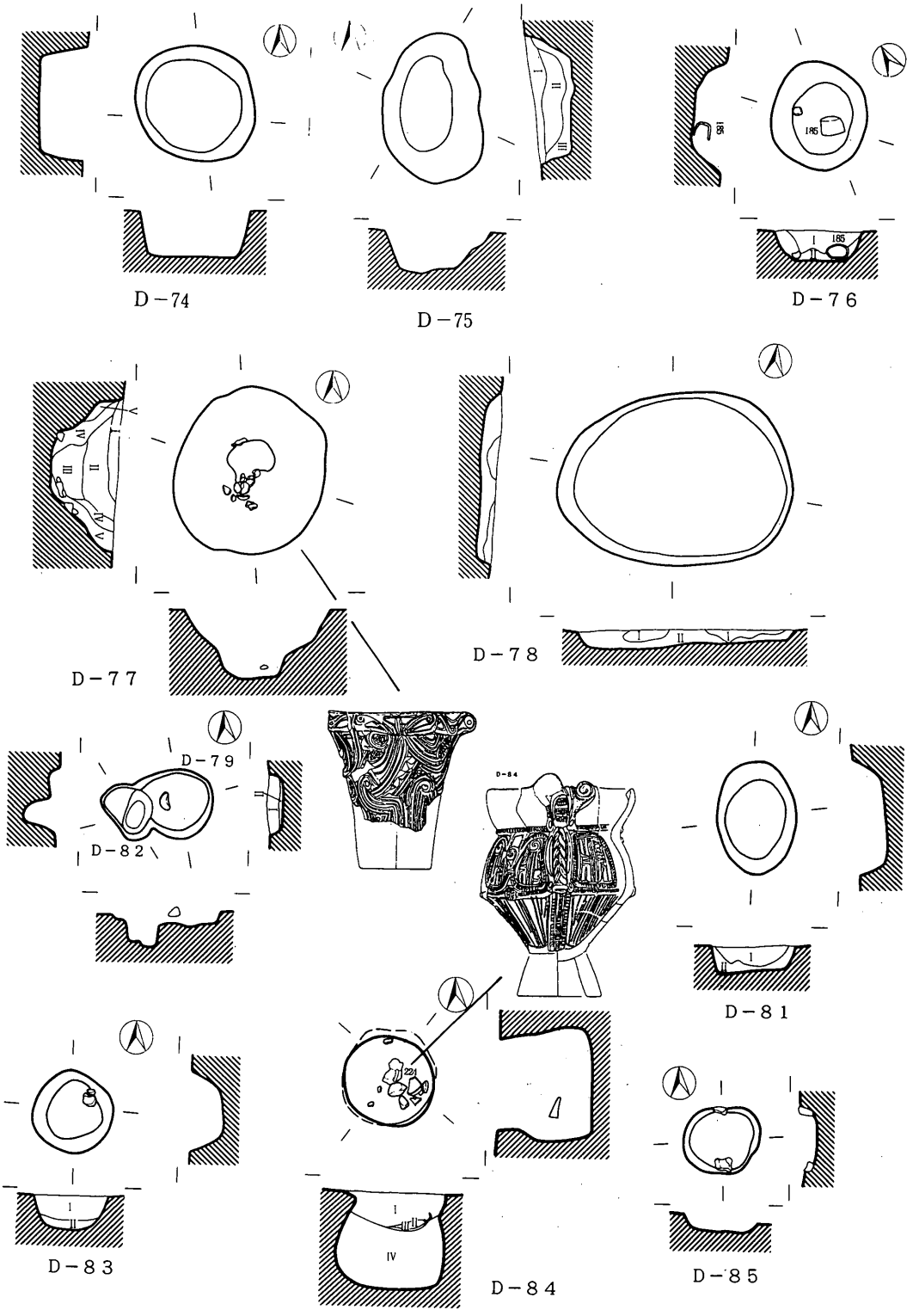


D－61

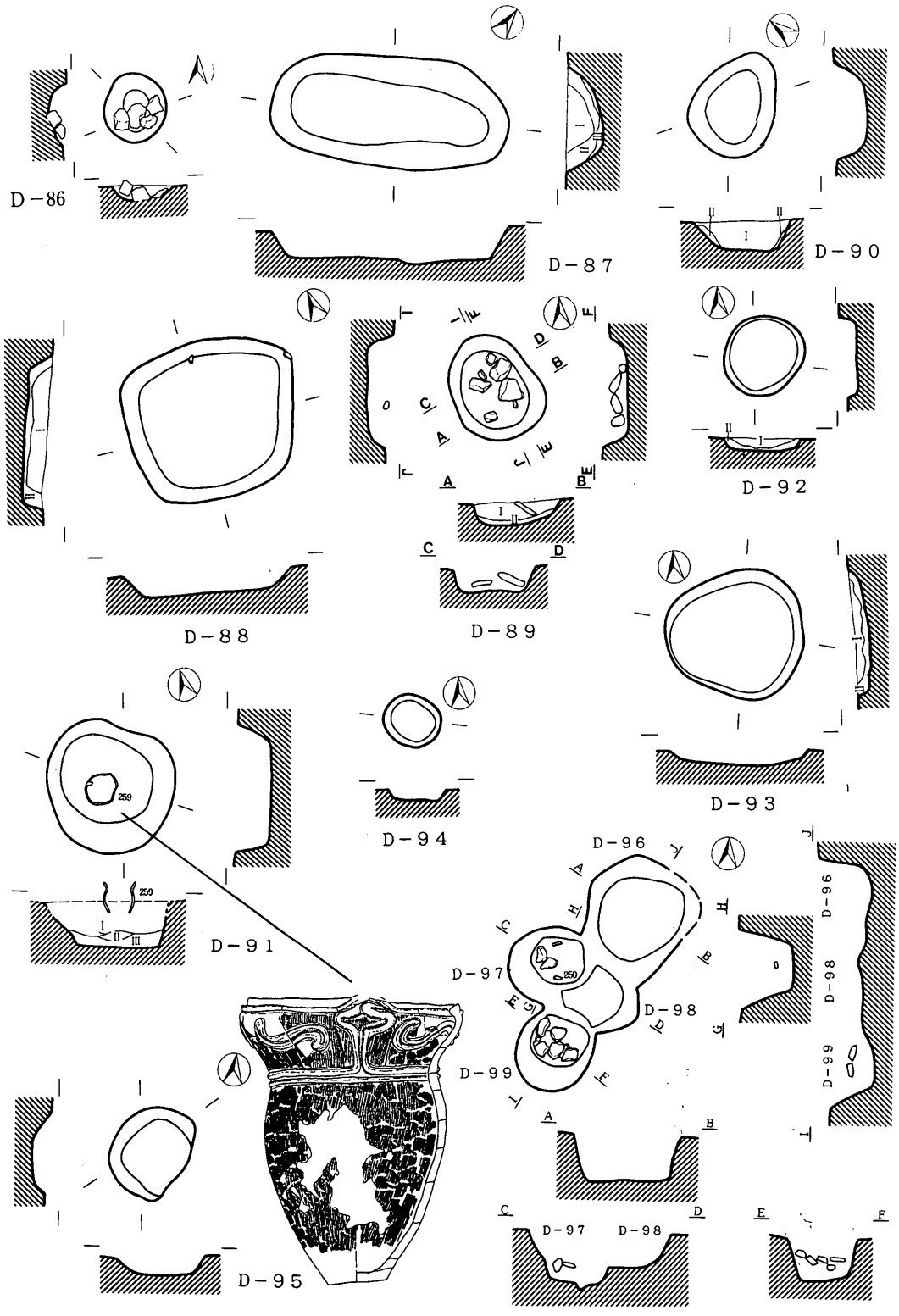
第261図　土　　坑（1：80）



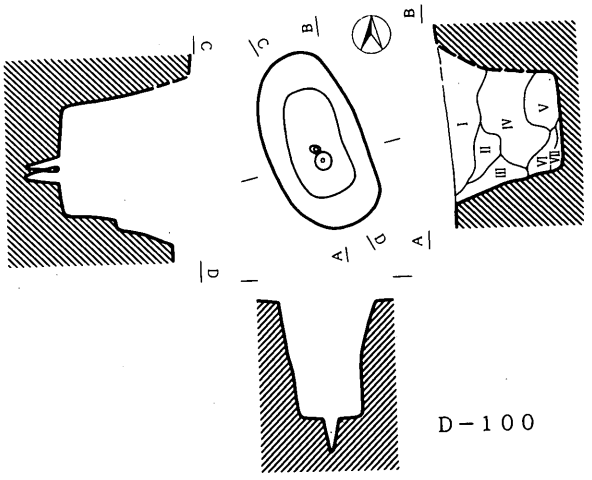
第262図　土　　坑（1：80）

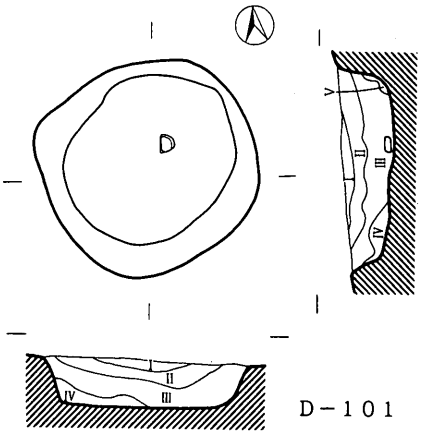


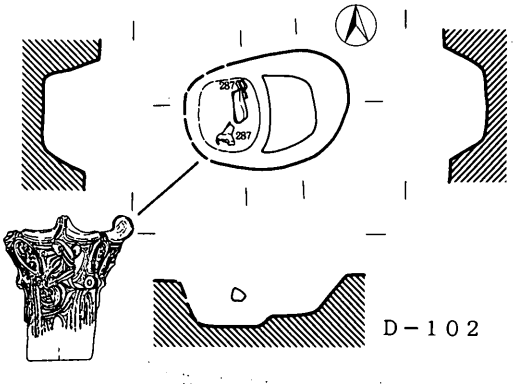
第263図　土　　坑（1：80）

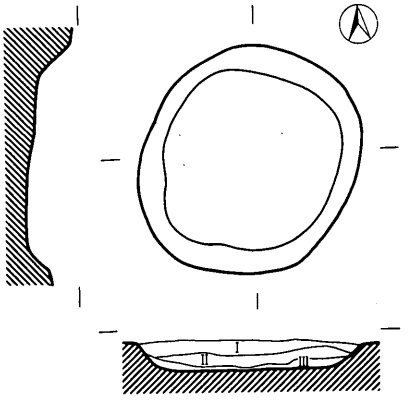

D－86
D－87
D－90
D－88
D－89
D－92
D－94
D－93
D－91
D－96
D－97
D－98
D－99
D－95
D-96
D-98
D-99
D-97
D-98

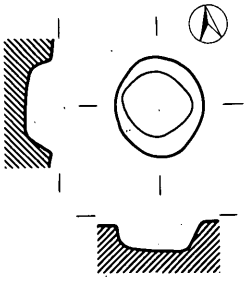
第264図　土　　坑（1：80）

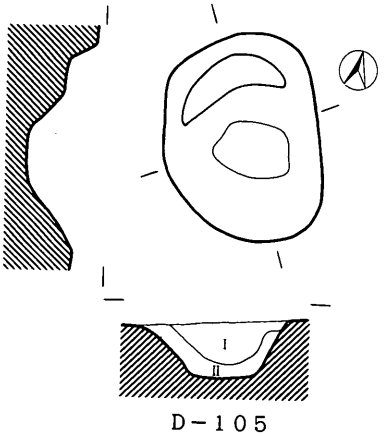


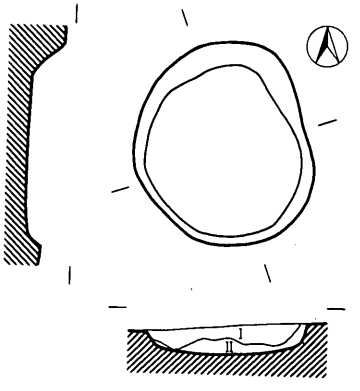




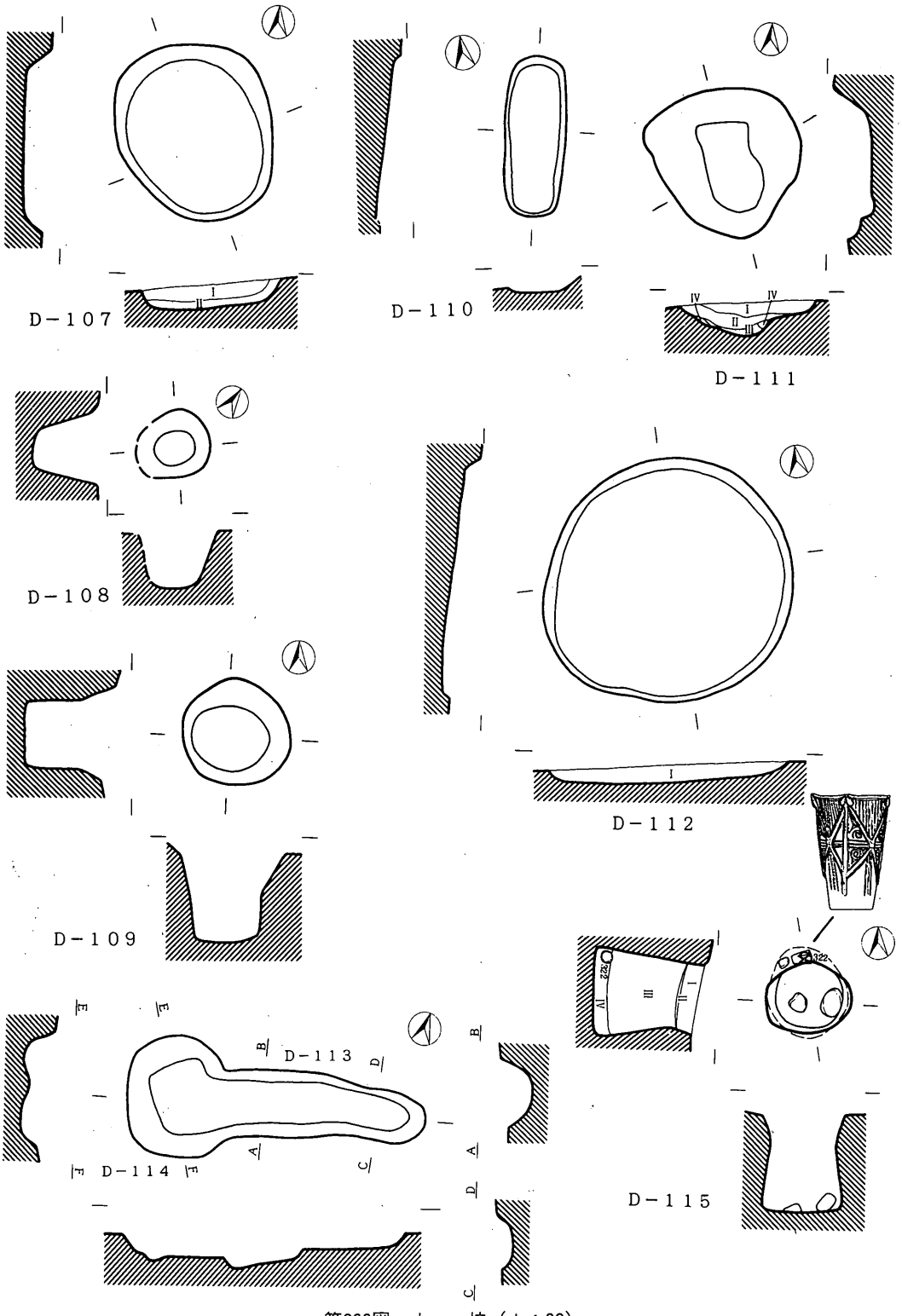




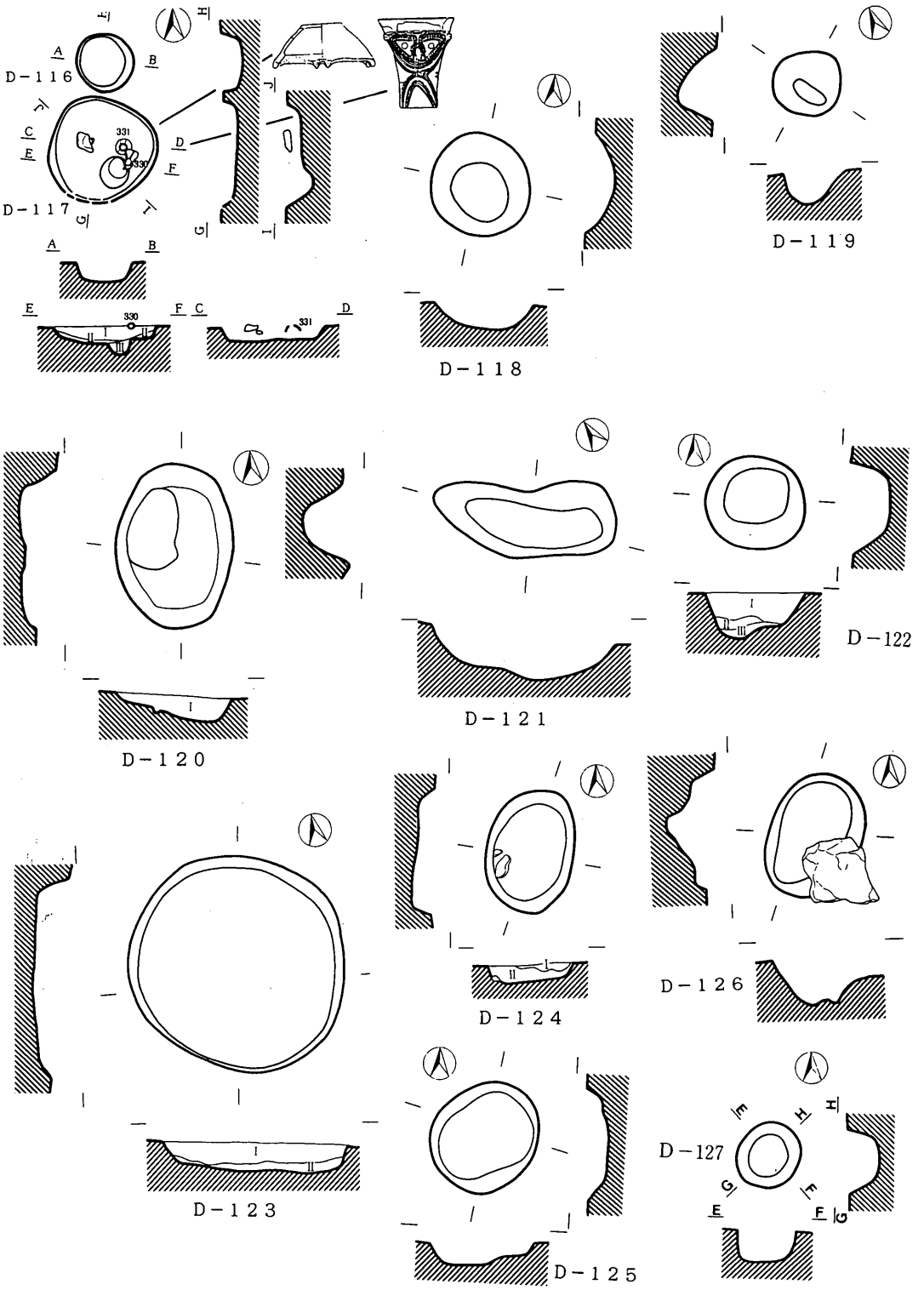




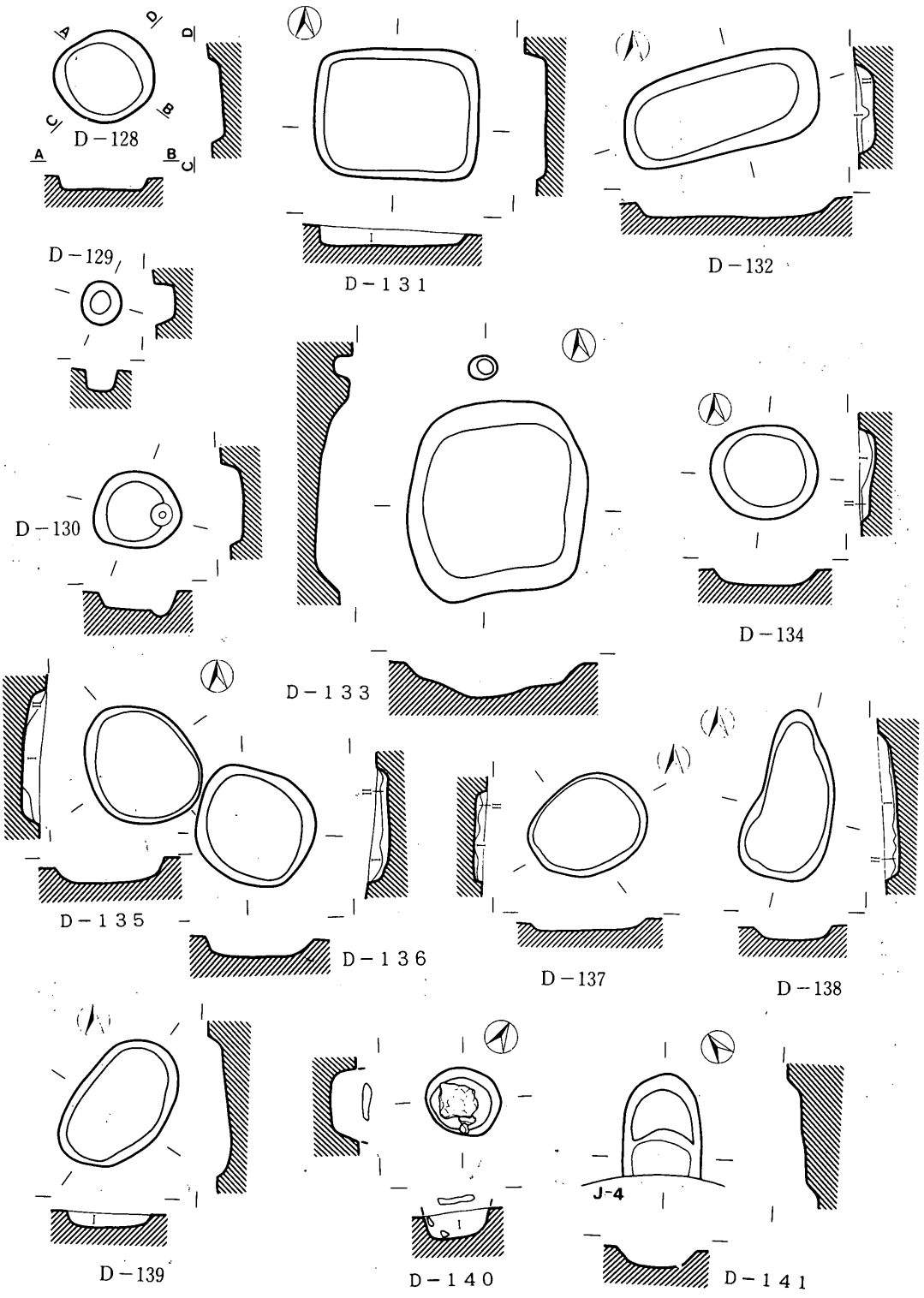
第265図　土　　坑（1：80）



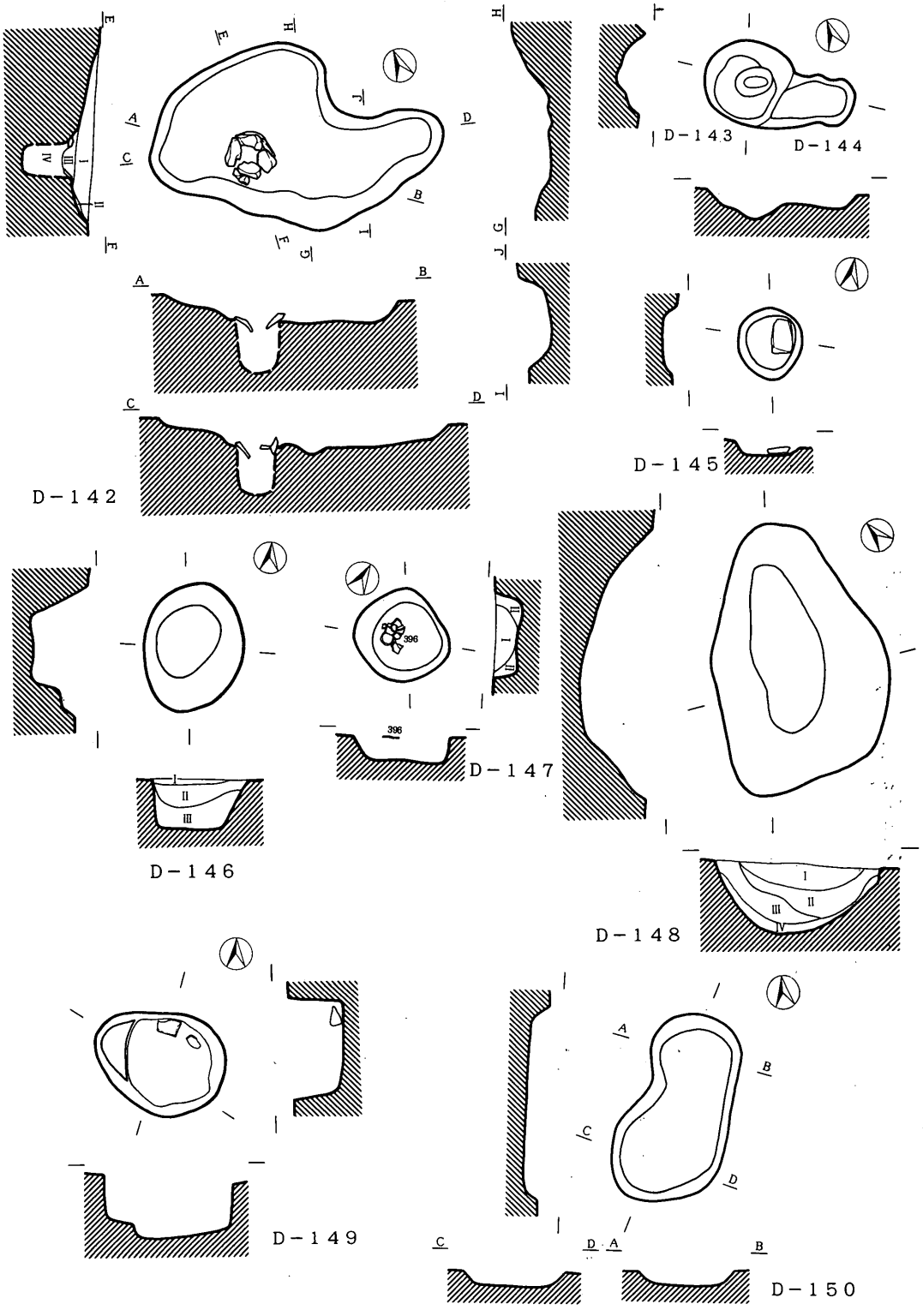
第266図　土　　坑（1：80）



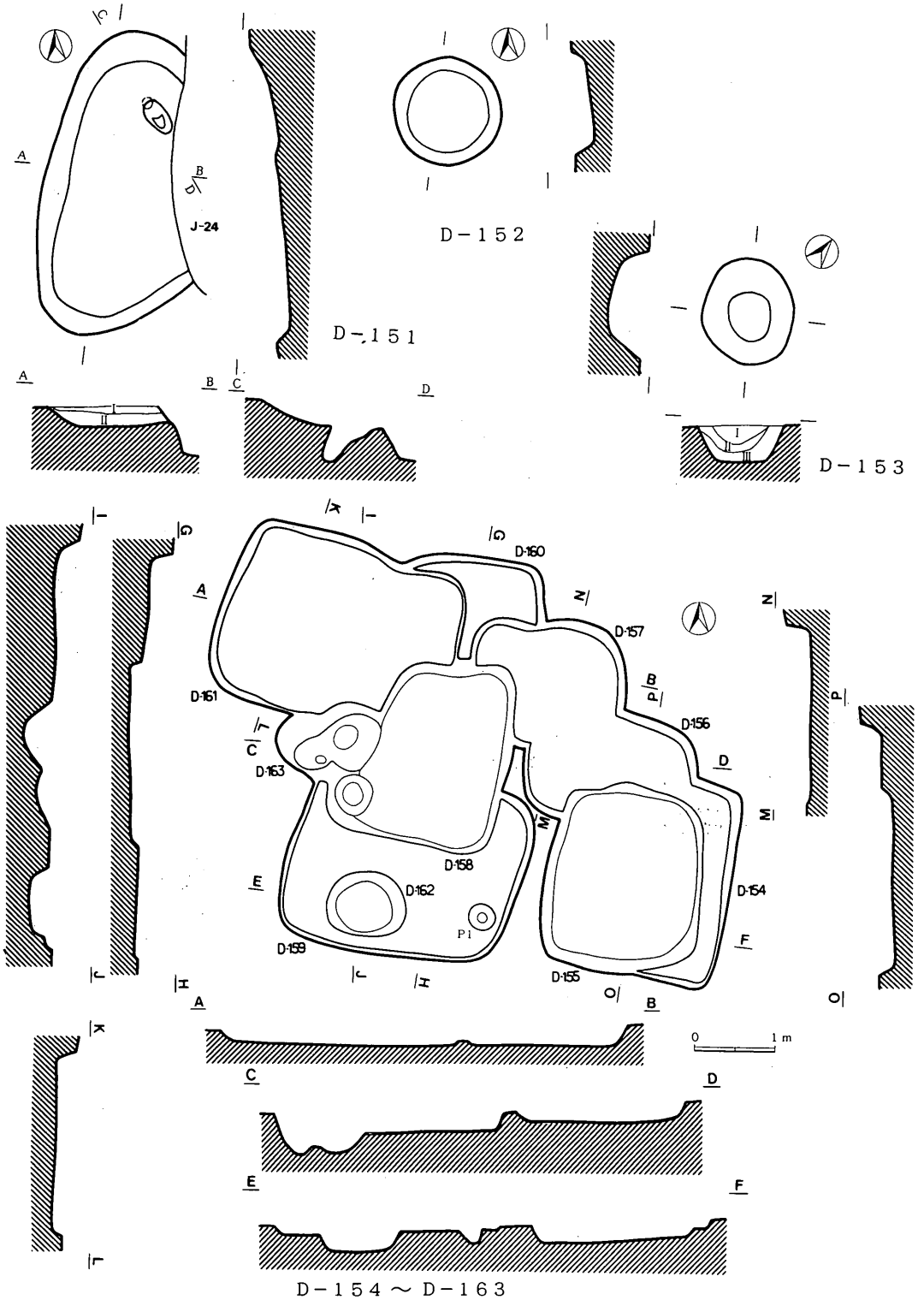
第267図　土　　坑（1：80）


A
B
C
D
D－128
D－129
D－130
D－131
D－132
D－133
D－134
D－135
D－136
D－137
D－138
D－139
D－140
J-4
D－141

第268図　土　　坑（1：80）

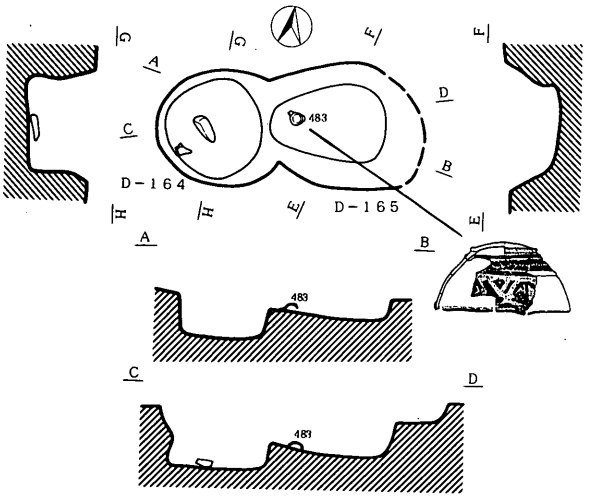


第269図　土　　坑（1：80）

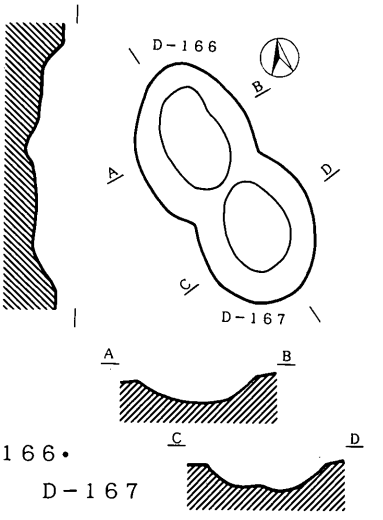


D－１５４～D－１６３

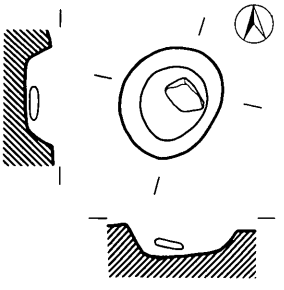
第270図　土　　坑（１：80）



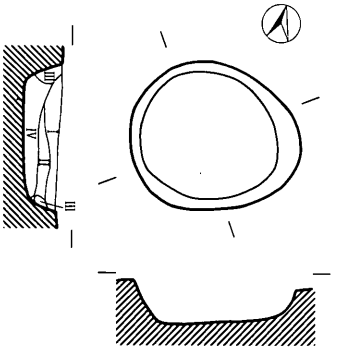
D－164・D－165



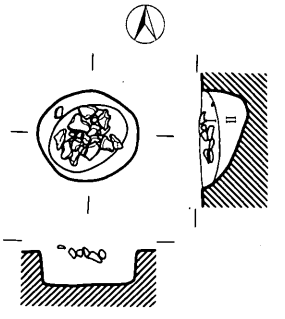
D－166・
D－167



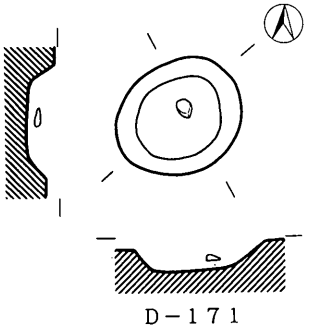
D－168



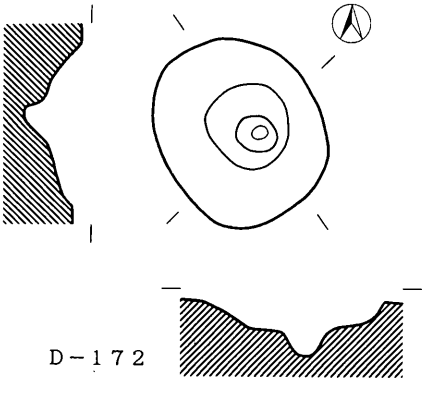
D－169



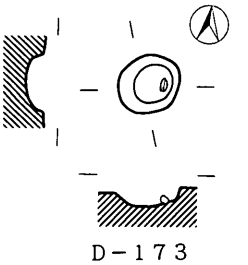
D－170



D－171

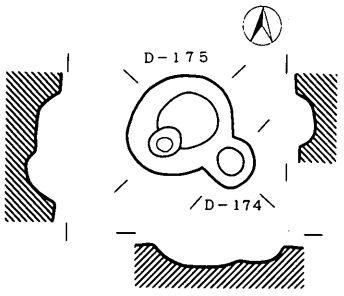


D－172

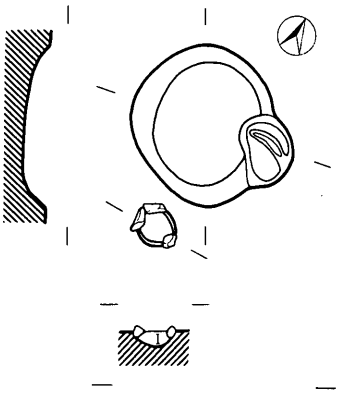


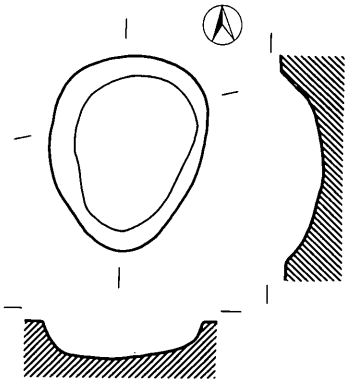
D－173

第271図　土　　坑（1：80）

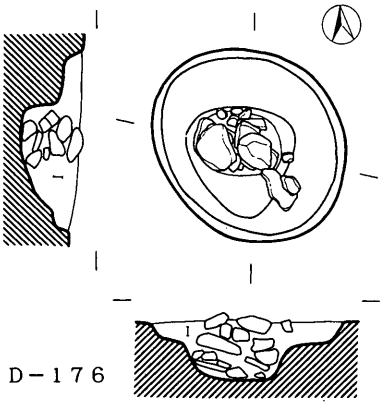


D－174・D－175

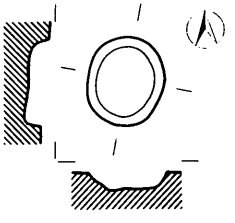




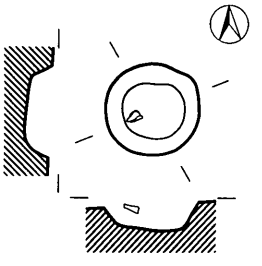
D－179



D－176

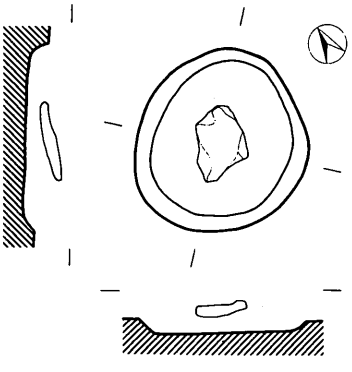


D－177

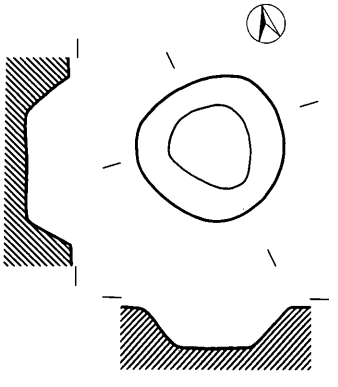


D－180

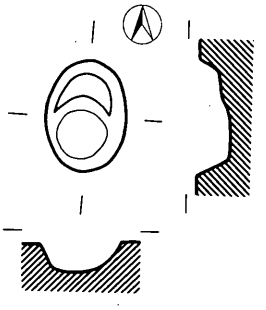
D－178



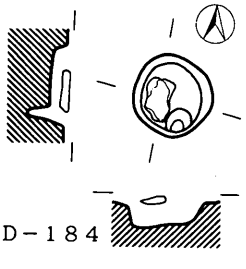
D－181



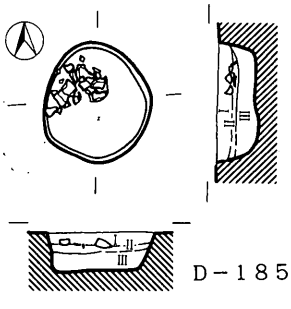
D－182



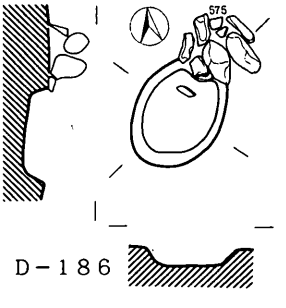
D－183



D－184

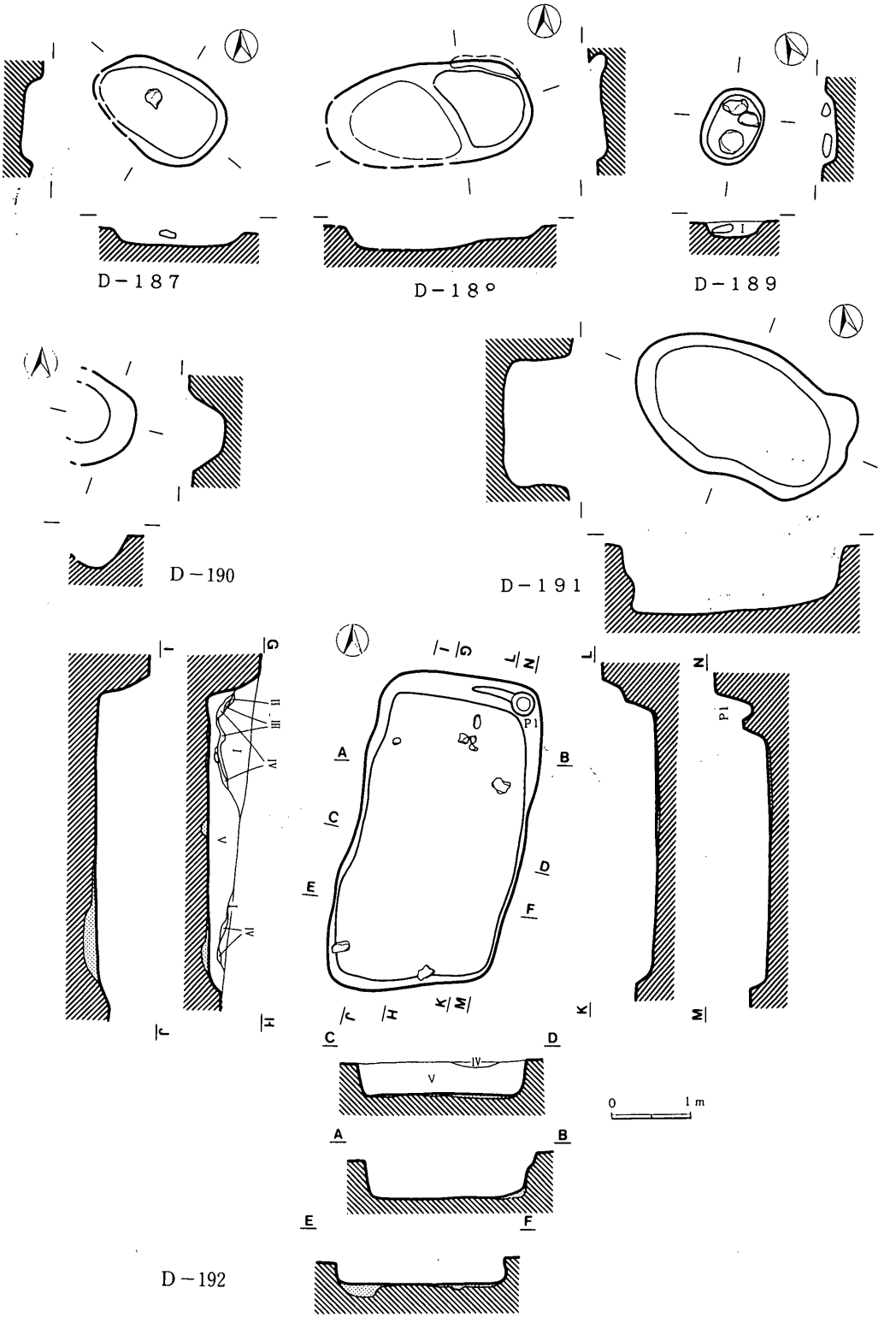


D－185

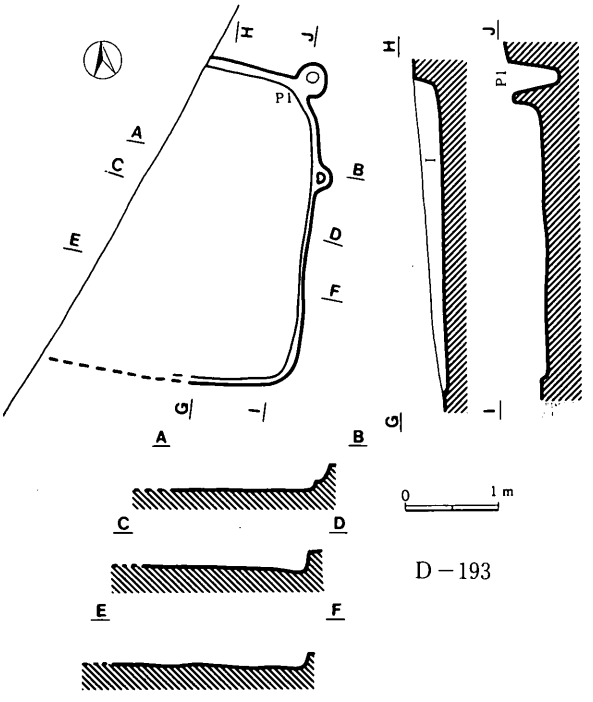


D－186

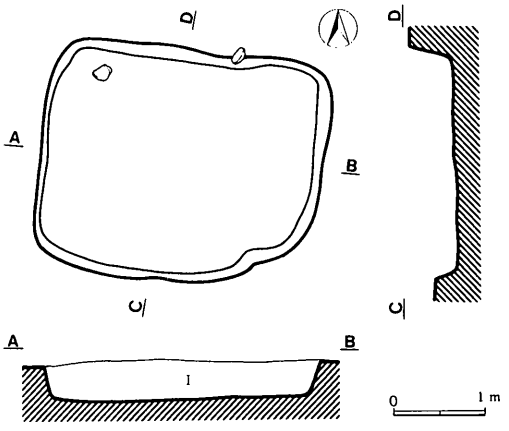
第272図　土　　坑（１：80）


D－187
D－188
D－189
D－190
D－191
D－192
P1
I
II
III
IV
V
A
B
C
D
E
F
G
H
J
K
L
M
N
0
1 m

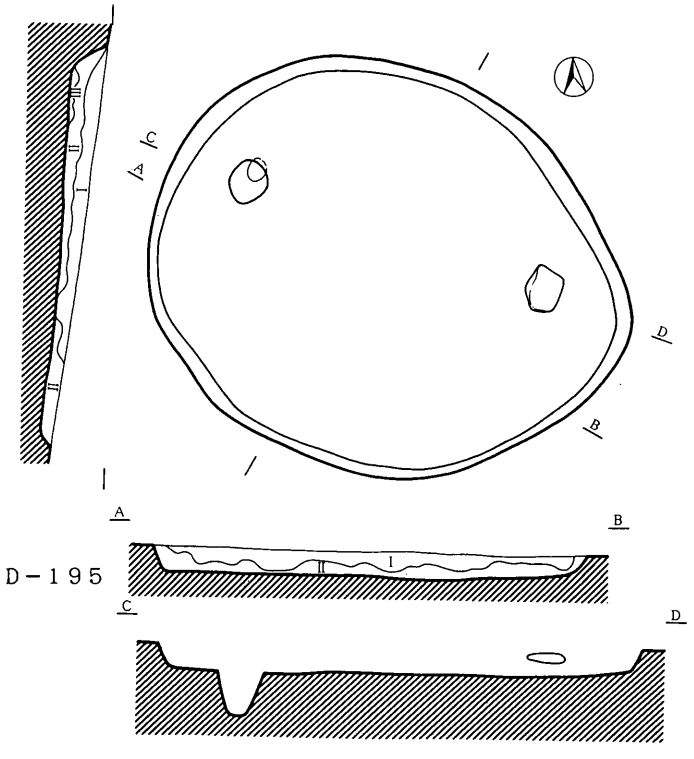
第273図　土　　坑（1：80）



D－193

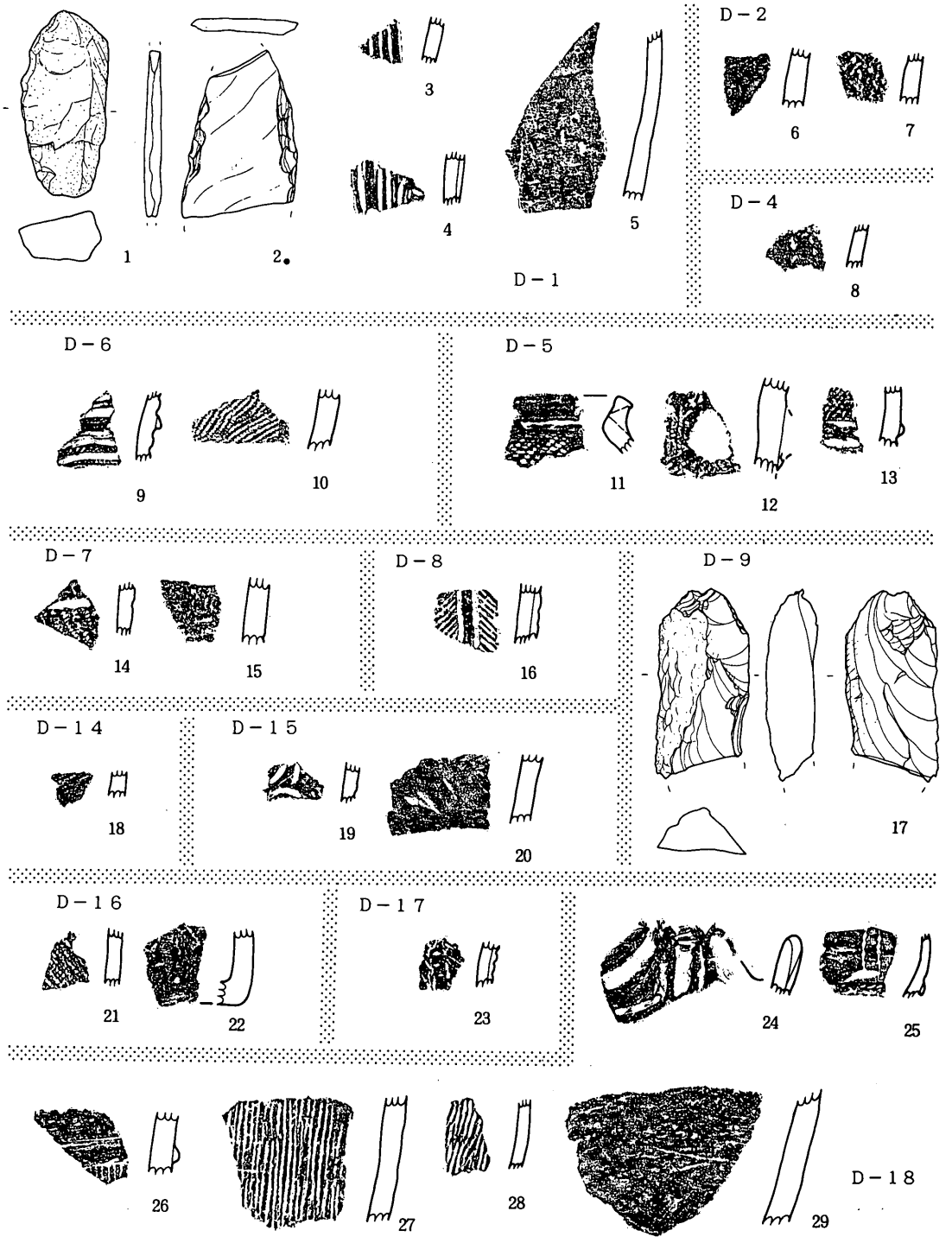


D－194

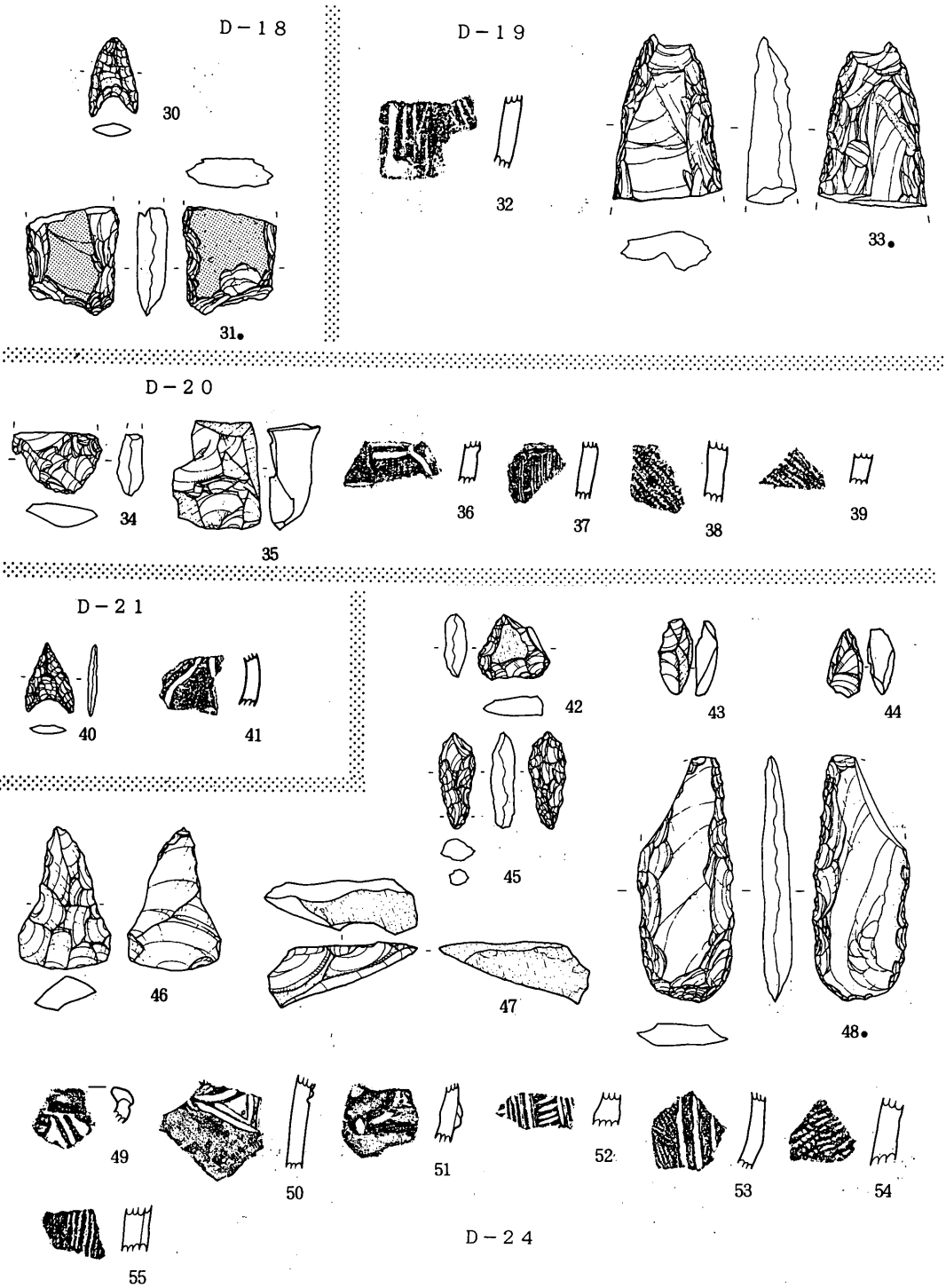


D－195

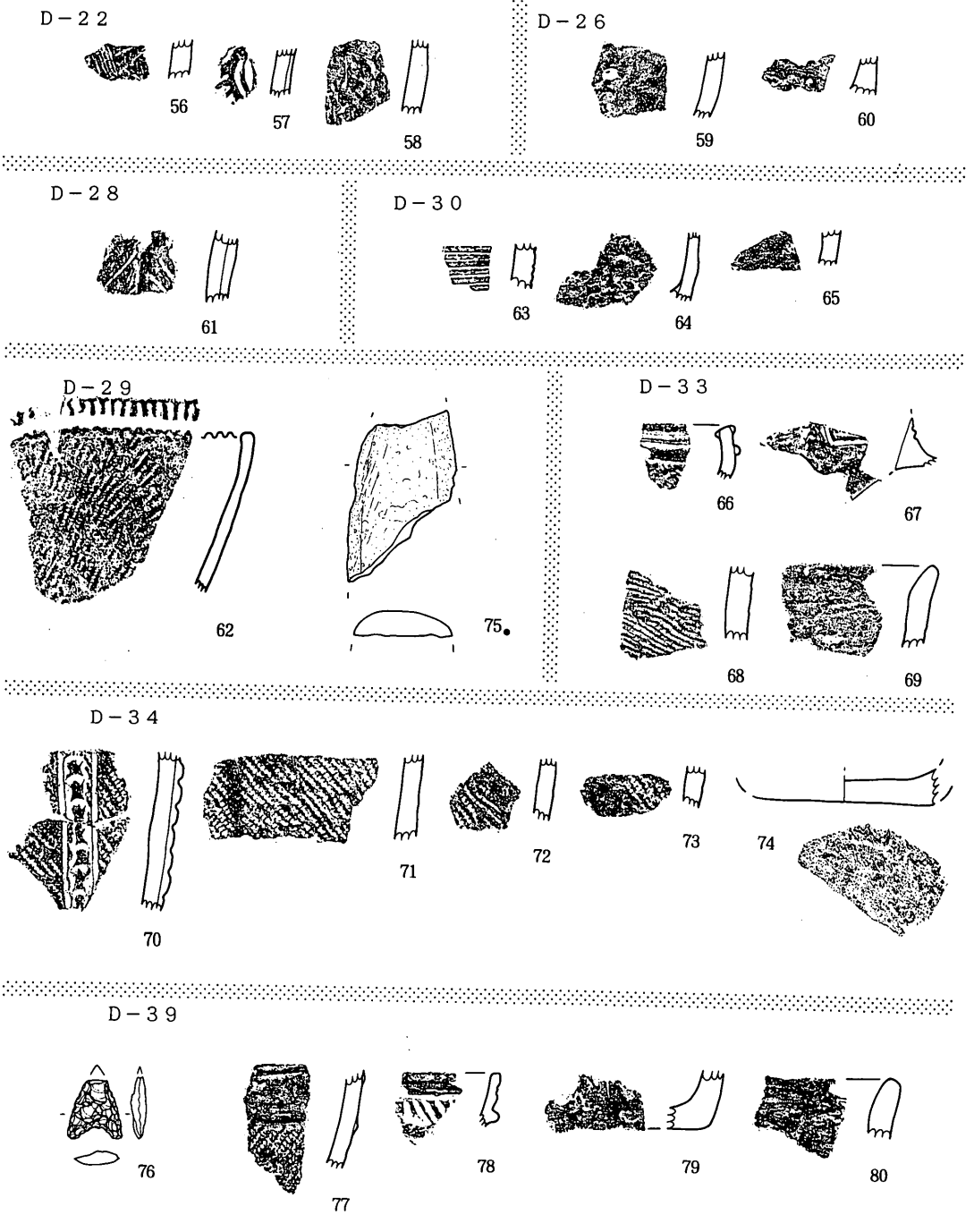
第274図　土　　坑（1：80）



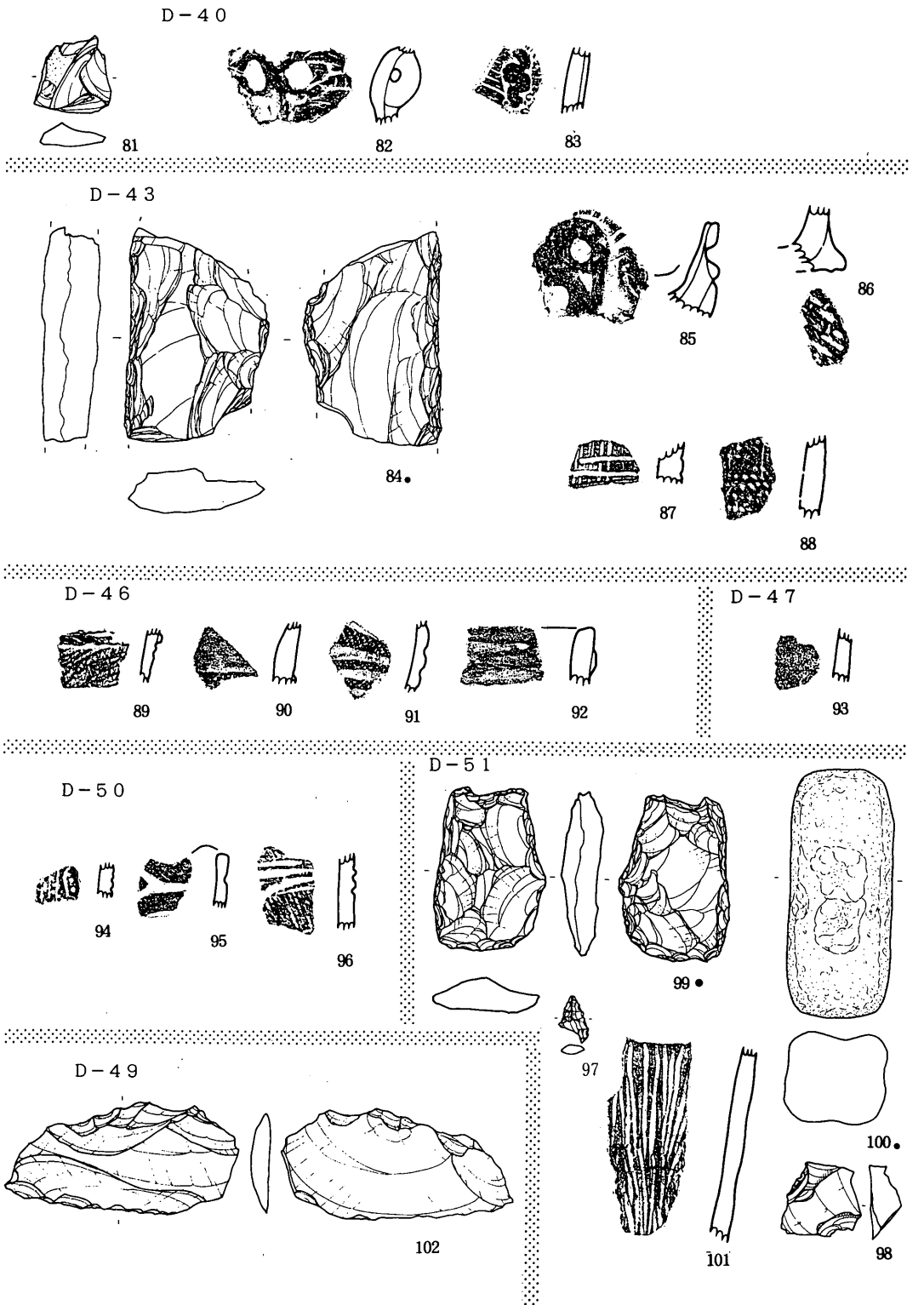
第275図　土坑出土遺物（土器１：４，石器＝１：２，●石器＝１：３）



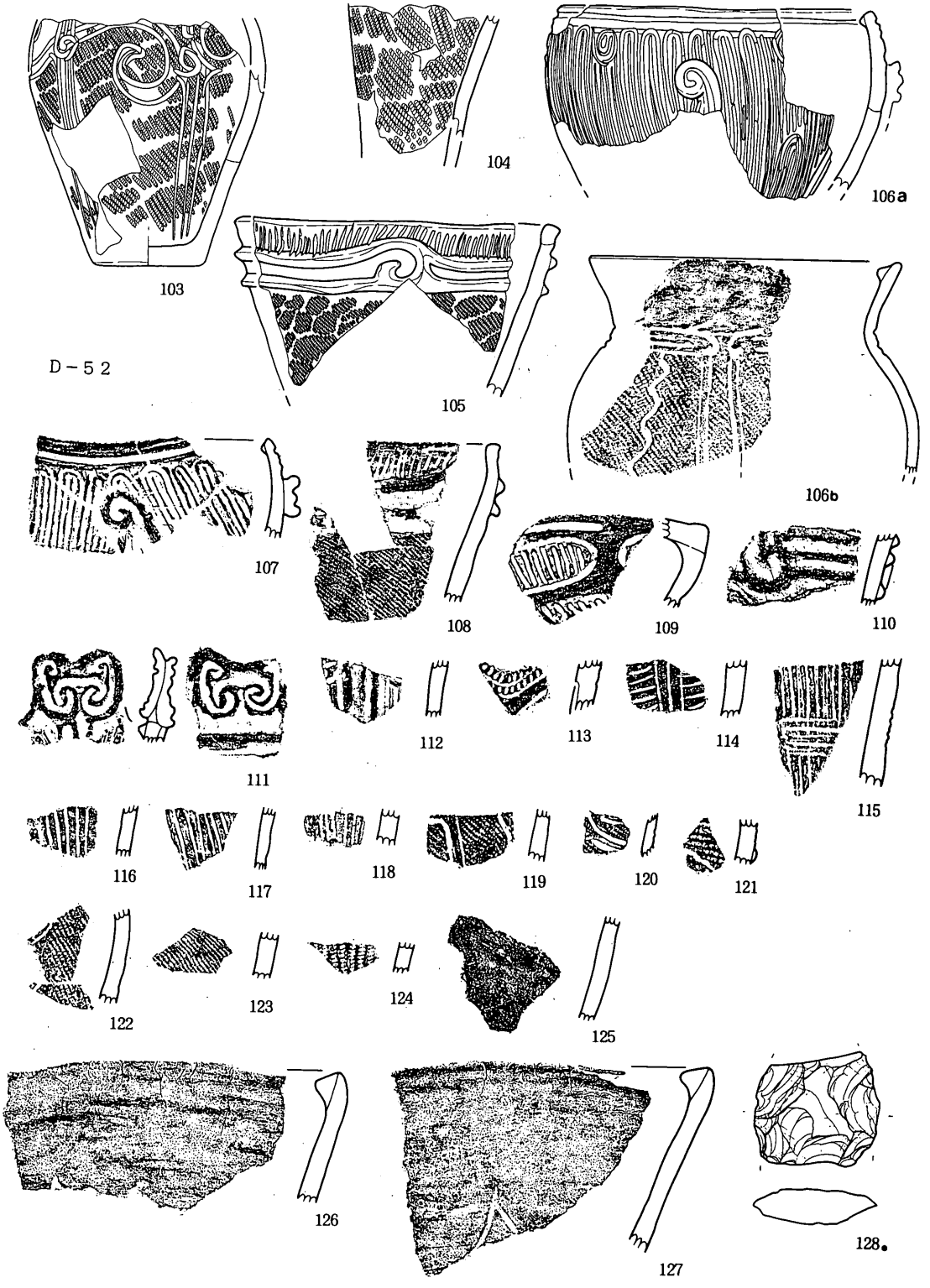
第276図　土坑出土遺物（土器＝1：4，石器＝1：2，●石器＝1：3）



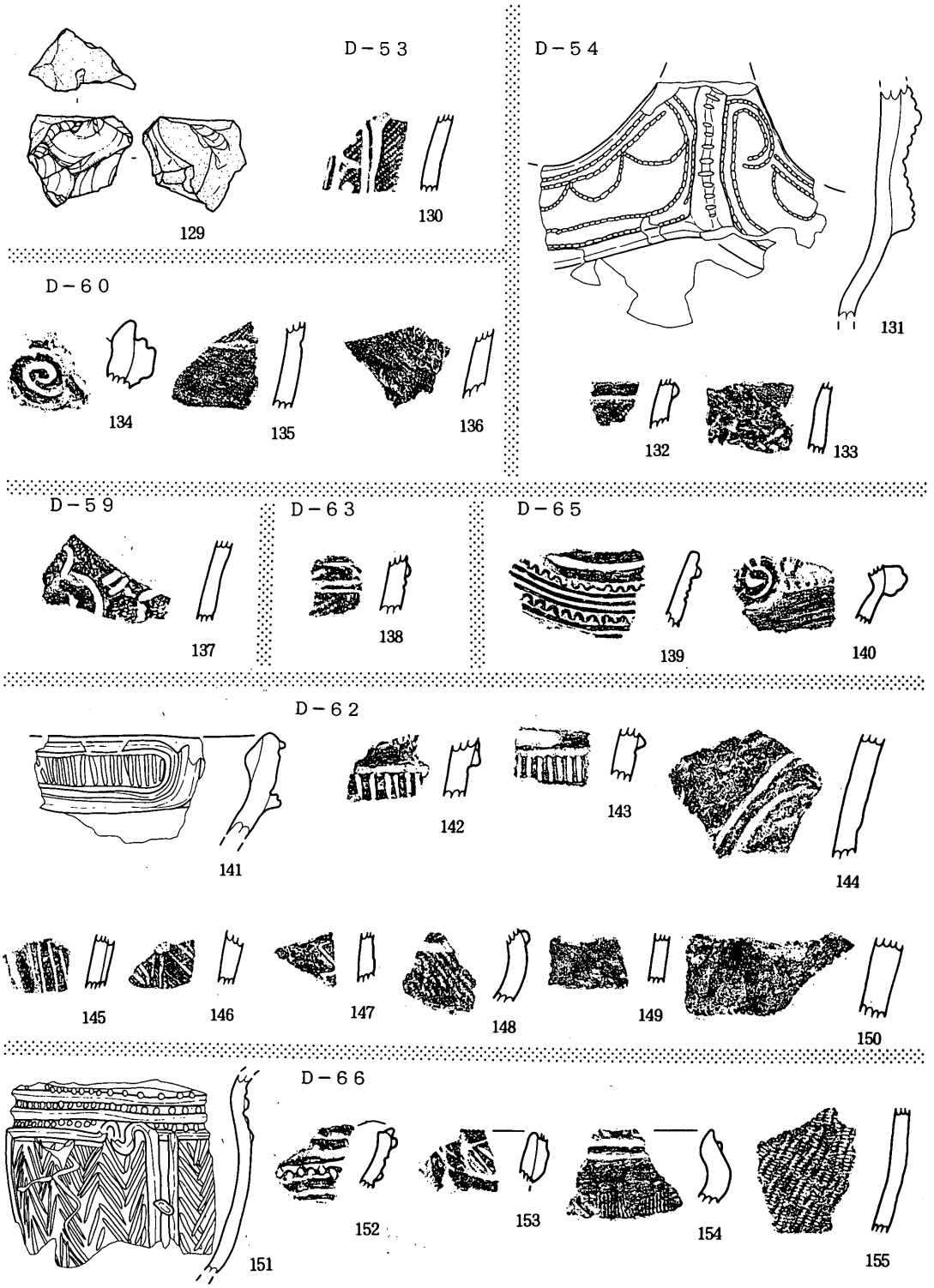
第277図　土坑出土遺物（土器＝1：4，石器＝1：2，●石器＝1：3）



第278図　土坑出土遺物（土器＝1：4，石器＝1：2，●石器＝1：3）

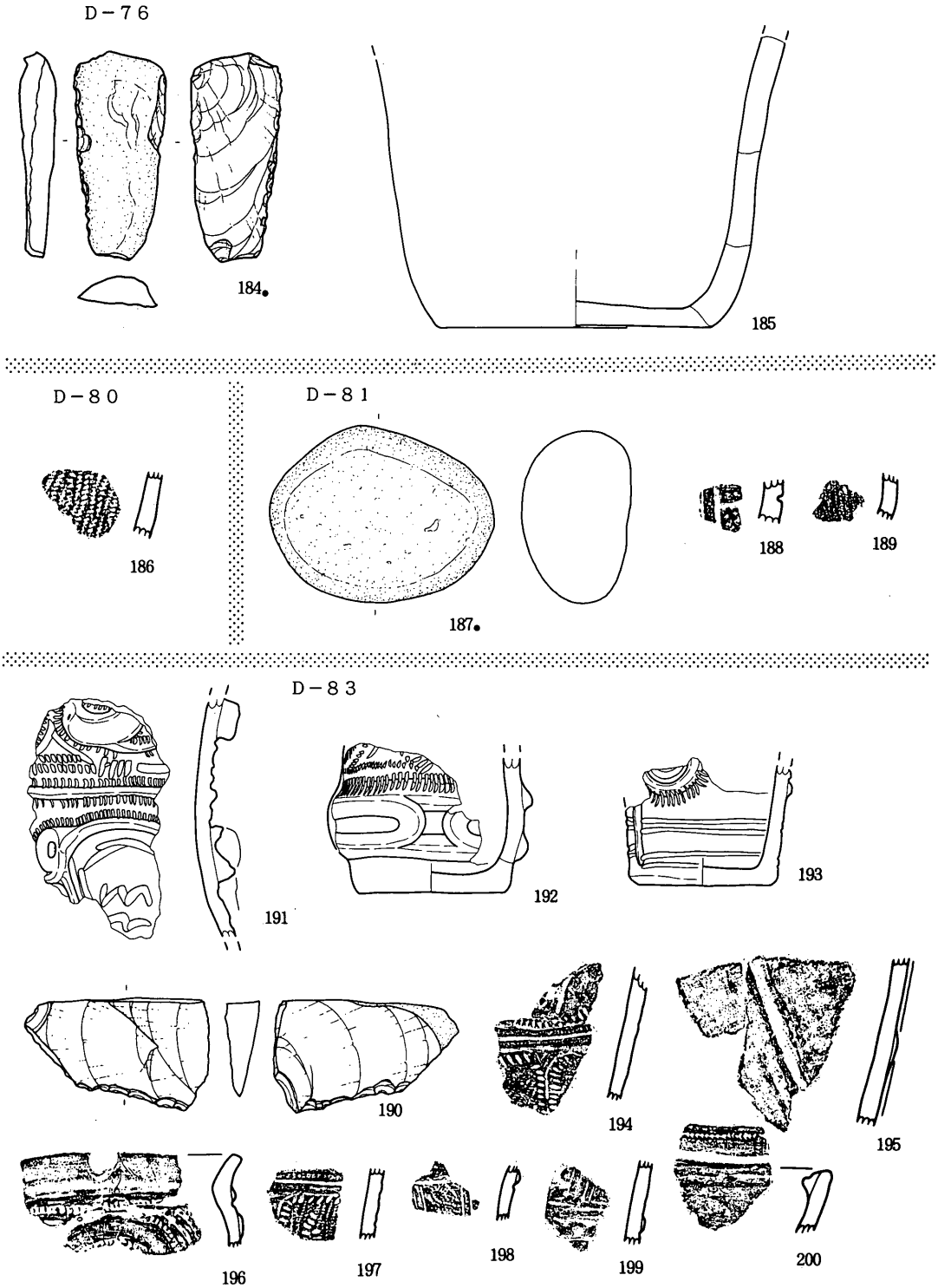


第279図　土坑出土遺物（土器＝1：4，石器＝1：2，●石器＝1：3）



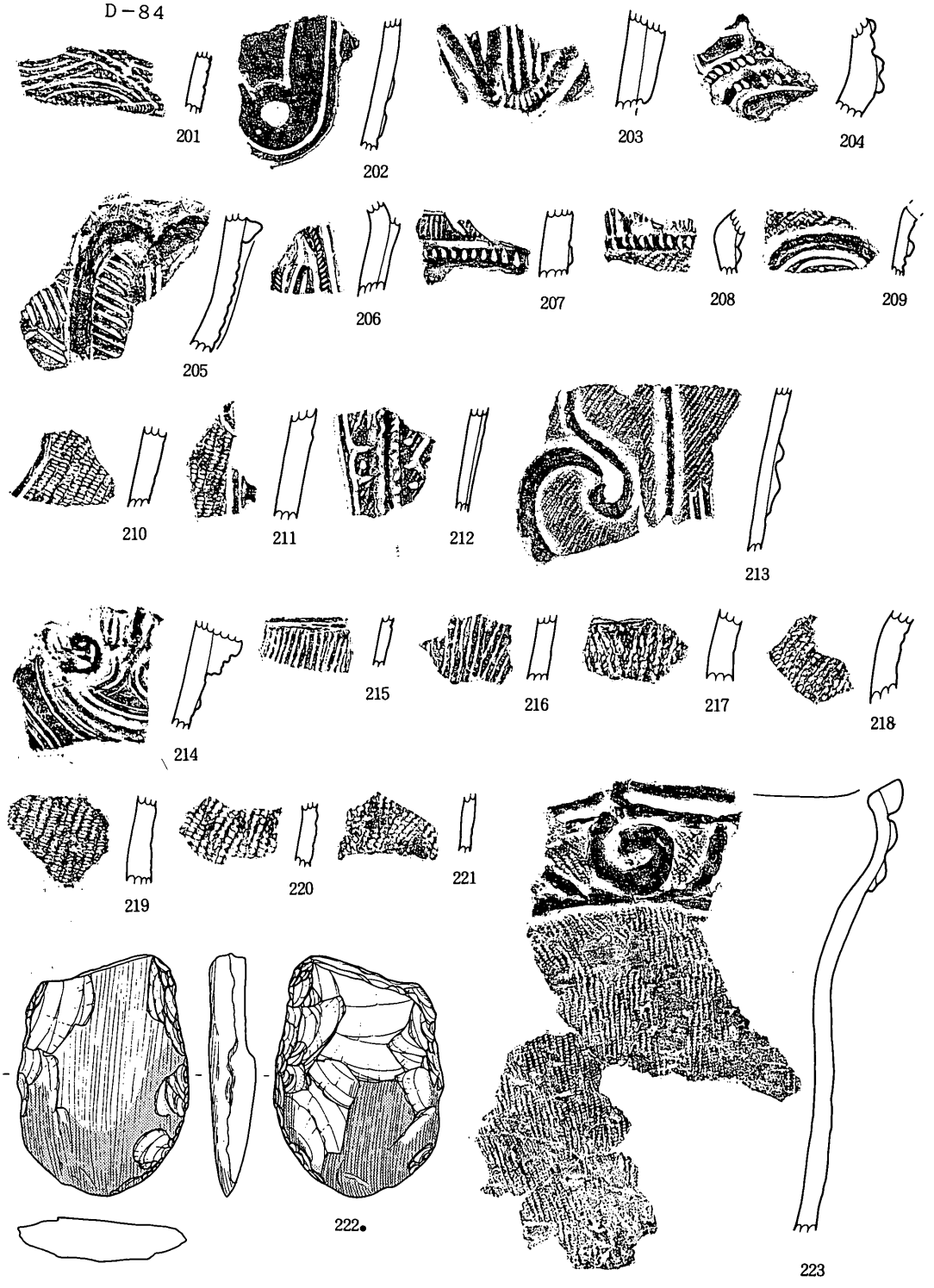
第280図　土坑出土遺物（土器＝1：4，石器＝1：2，●石器＝1：3）

第281図　土坑出土遺物（土器＝1：4，石器＝1：2，●石器＝1：3）



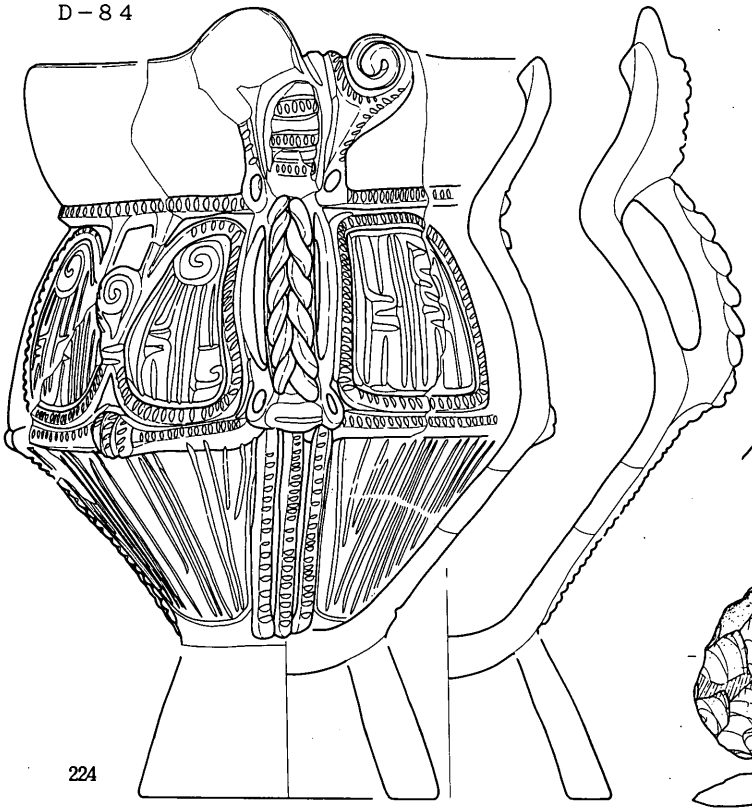
第282図　土坑出土遺物（土器＝１：４，石器＝１：２，●石器＝１：３）

D－84

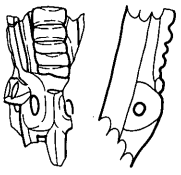


第283図　土坑出土遺物（土器＝Ⅰ：4，石器＝Ⅰ：2，●石器＝Ⅰ：3）

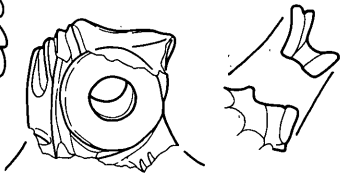
D－８４



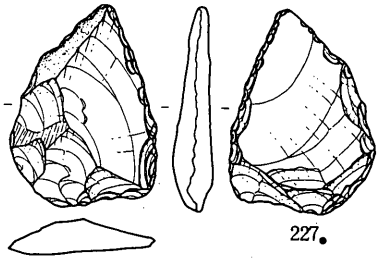
224



225

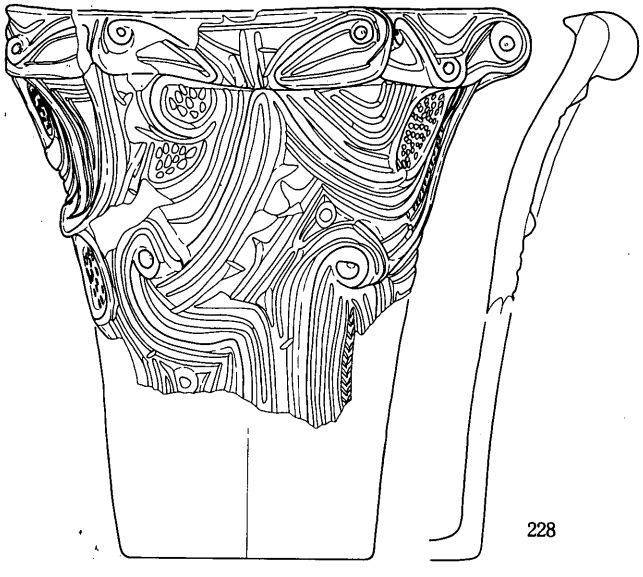


226



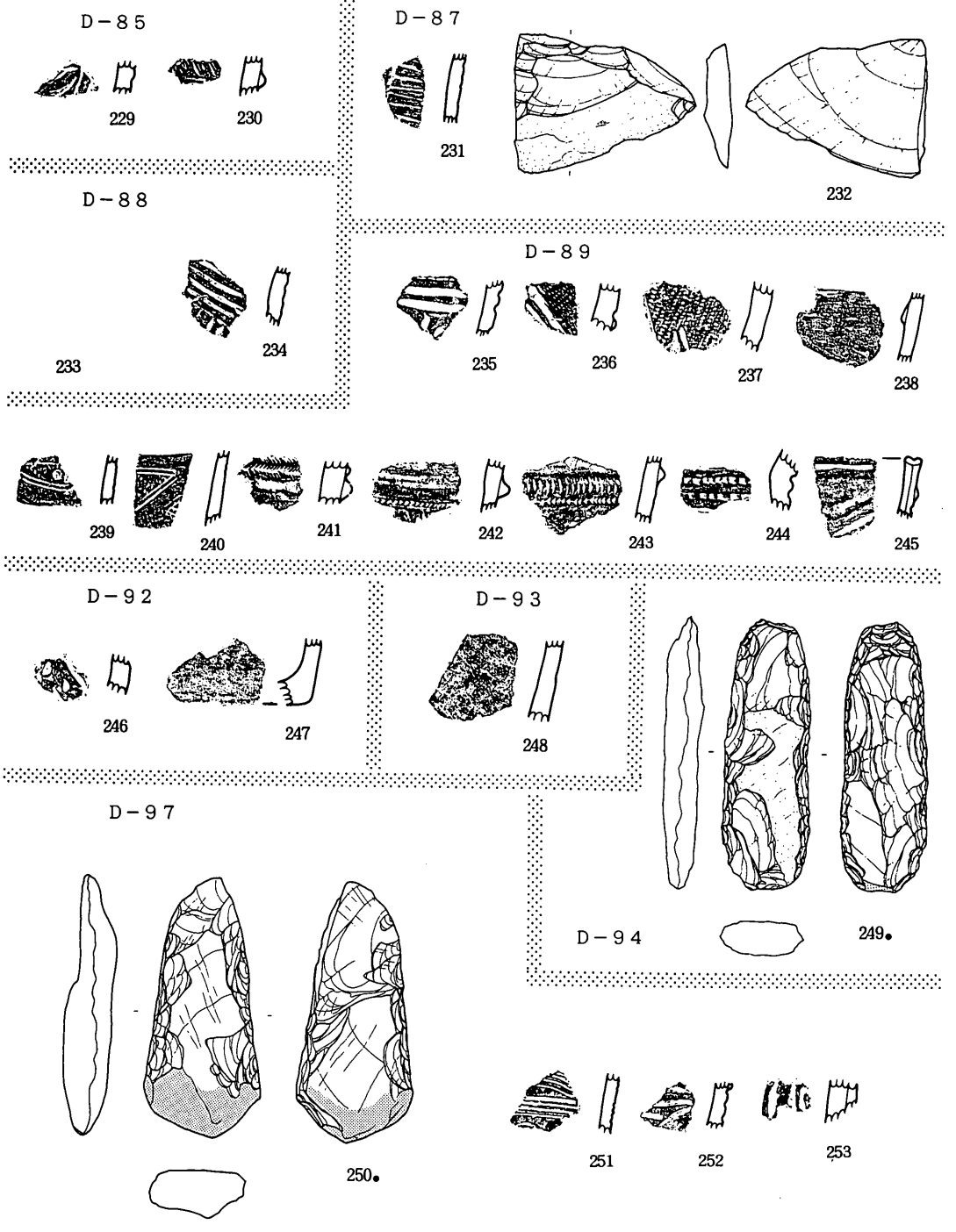
227●

D－７７



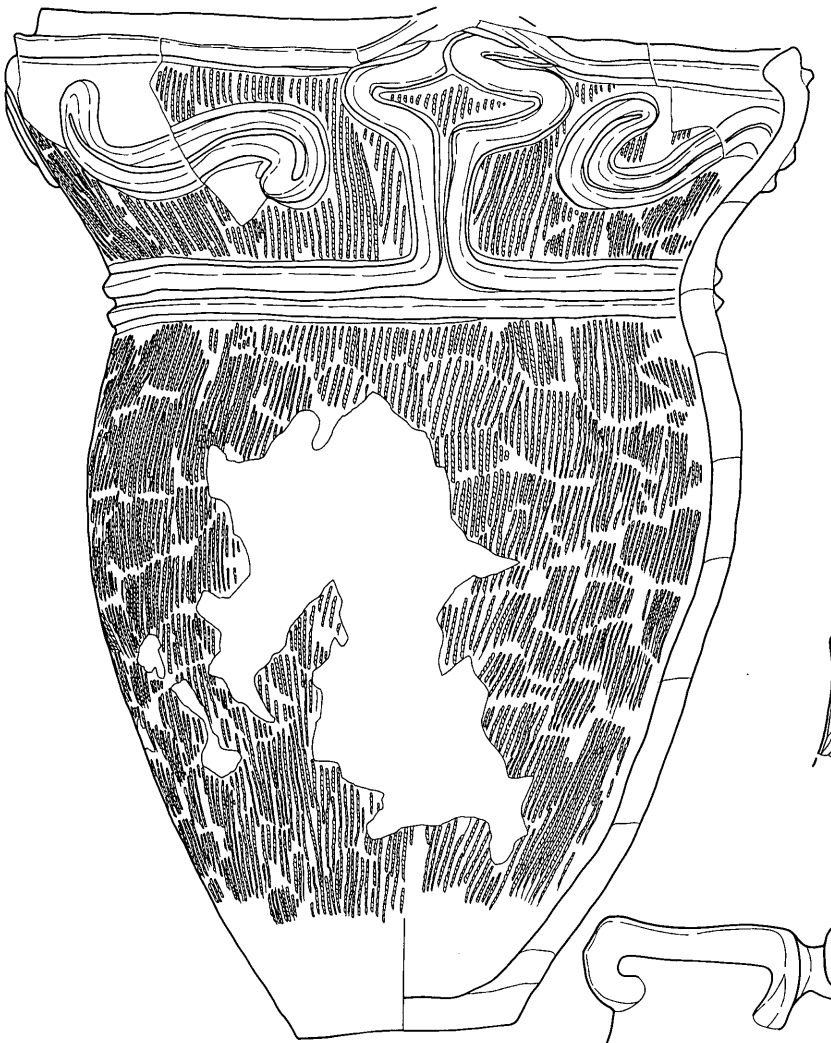
228

第284図　土坑出土遺物（土器＝１：４，石器＝１：２，●石器＝１：３）

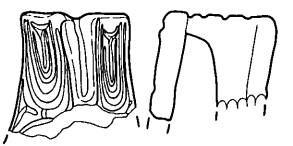


第285図　土坑出土遺物（土器＝1：4，石器＝1：2，●石器＝1：3）

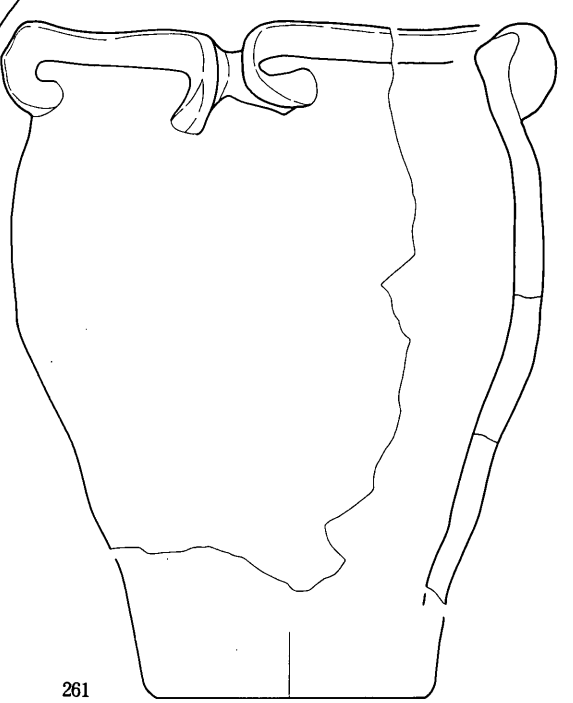
D－91



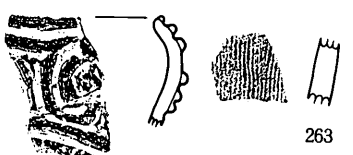
259



260



261



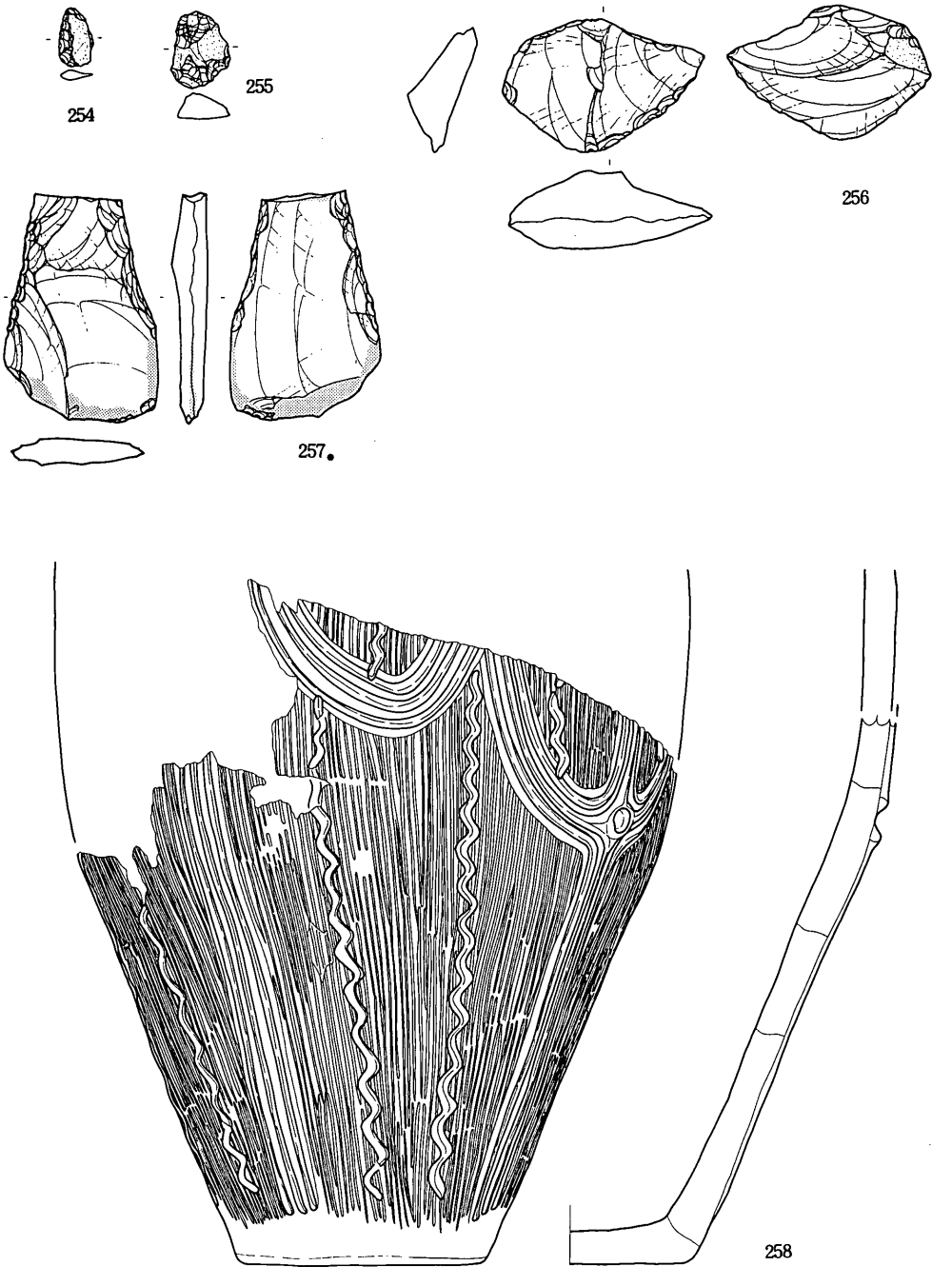
262

263

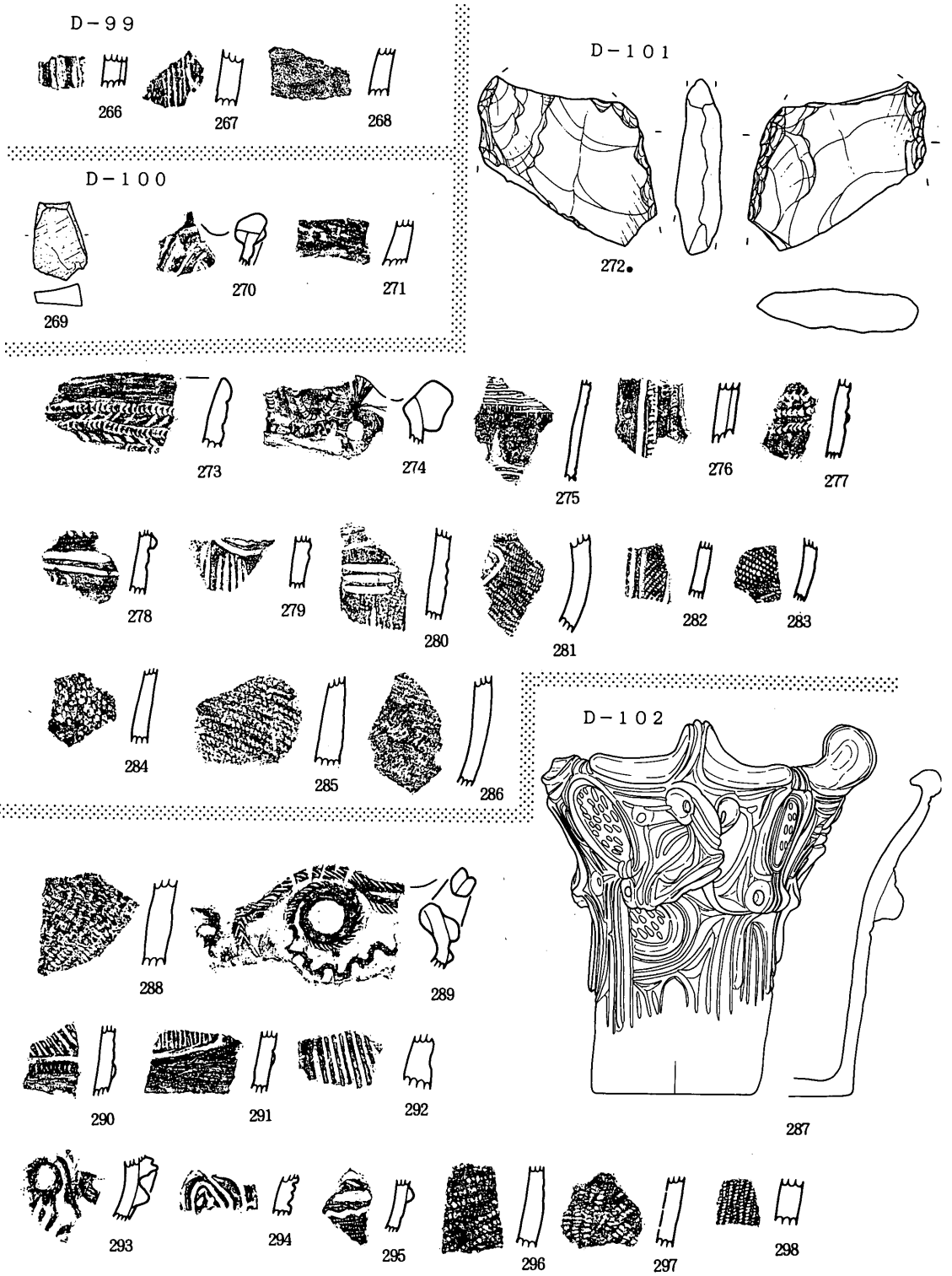
264

265

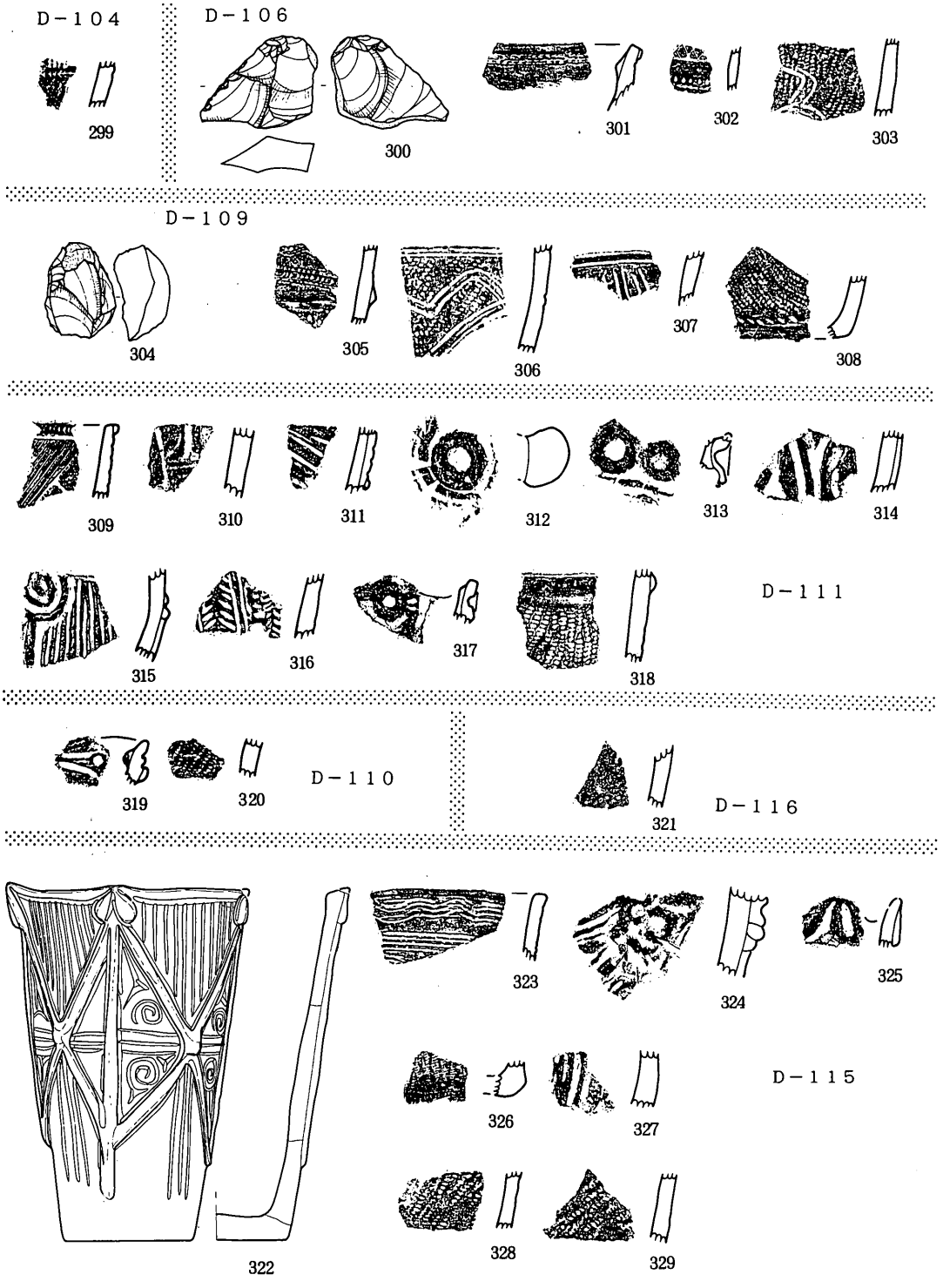
第286図　土坑出土遺物（土器＝１：４，石器＝１：２，●石器＝１：３）



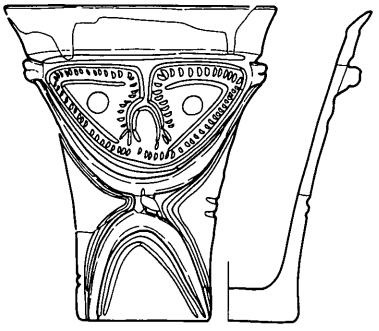
第287図　土坑出土遺物（土器＝1：4，石器＝1：2，●石器＝1：3）



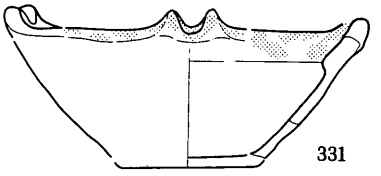
第288図　土坑出土遺物（土器＝1：4，石器＝1：2，●石器＝1：3）



第289図　土坑出土遺物（土器＝1：4，石器＝1：2，●石器＝1：3）



330

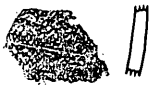


331

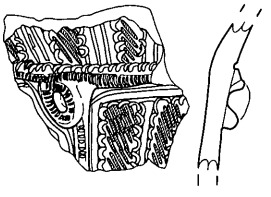
D－１１７

332　333　334

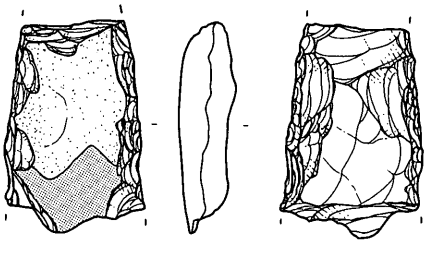
D－１２０



335

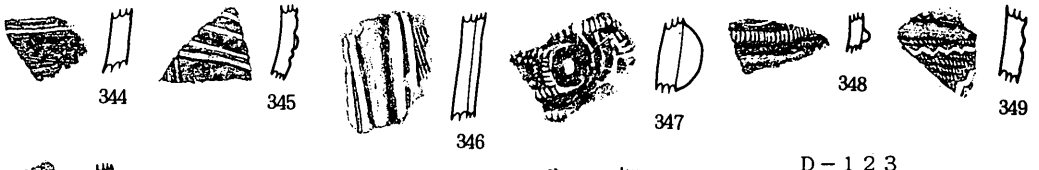


337



336●

338　339　340　341　342　343



344　345　346　347　348　349

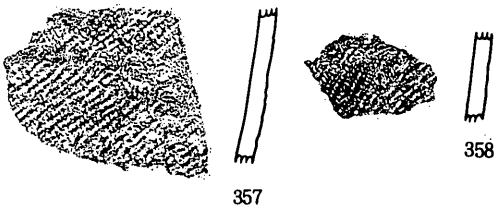
D－１２３

350　351　352　353

D－１２４

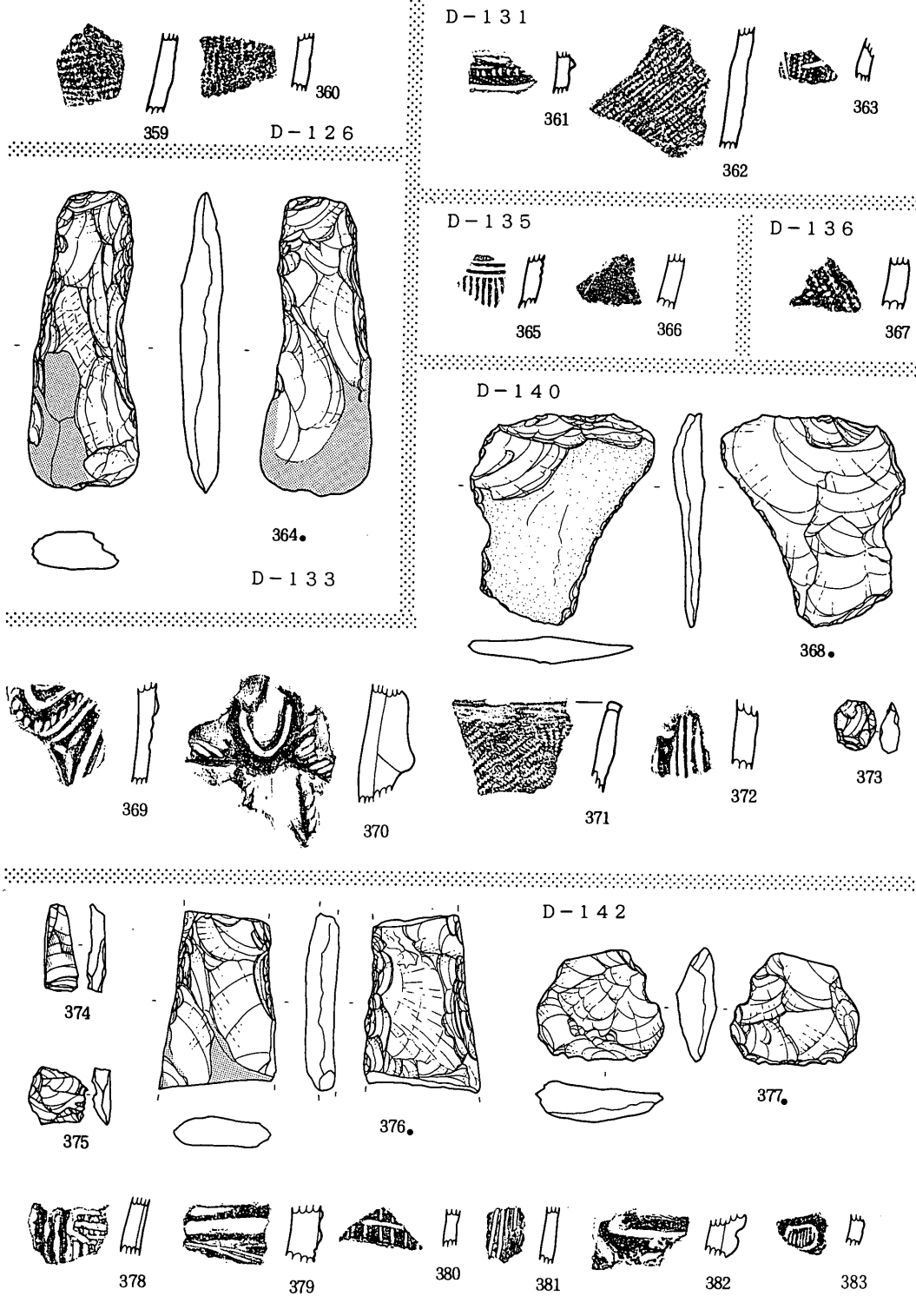
354　355　356

D－１２５

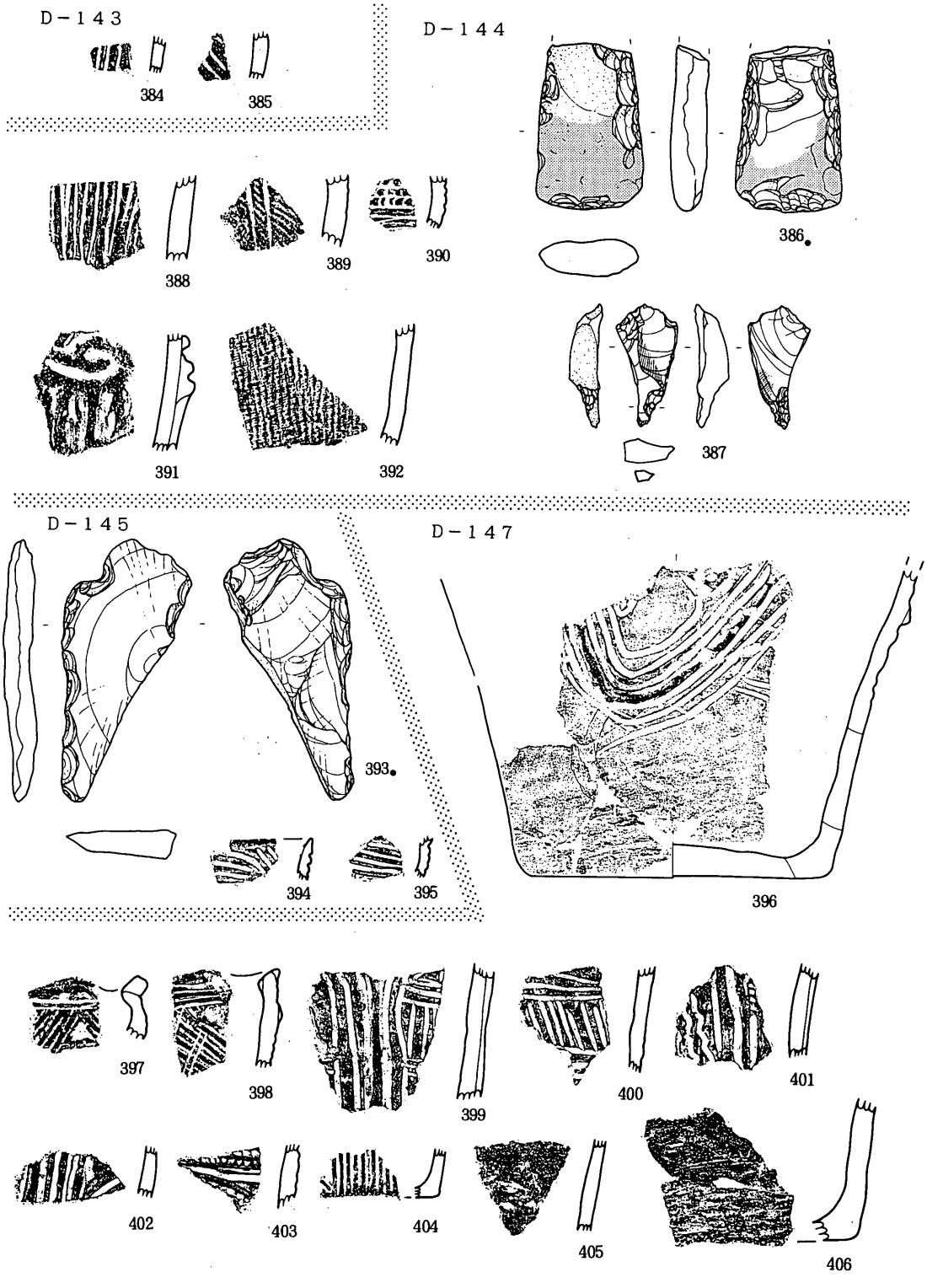


357　358

第290図　土坑出土遺物（土器＝１：４，石器＝１：２，●石器＝１：３）

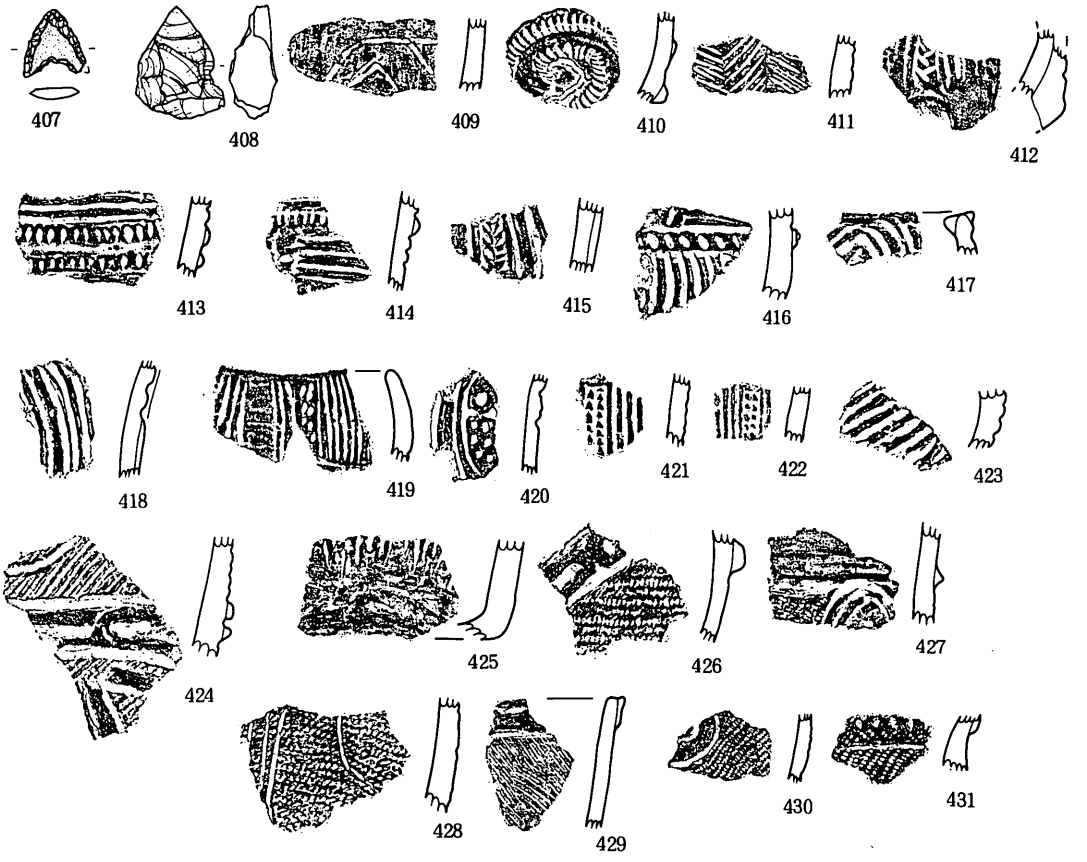


第291図　土坑出土遺物（土器＝1：4，石器＝1：2，●石器＝1：3）

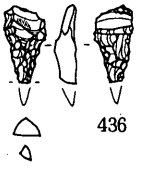


第292図　土坑出土遺物（土器＝1：4，石器＝1：2，●石器＝1：3）

D－１４８

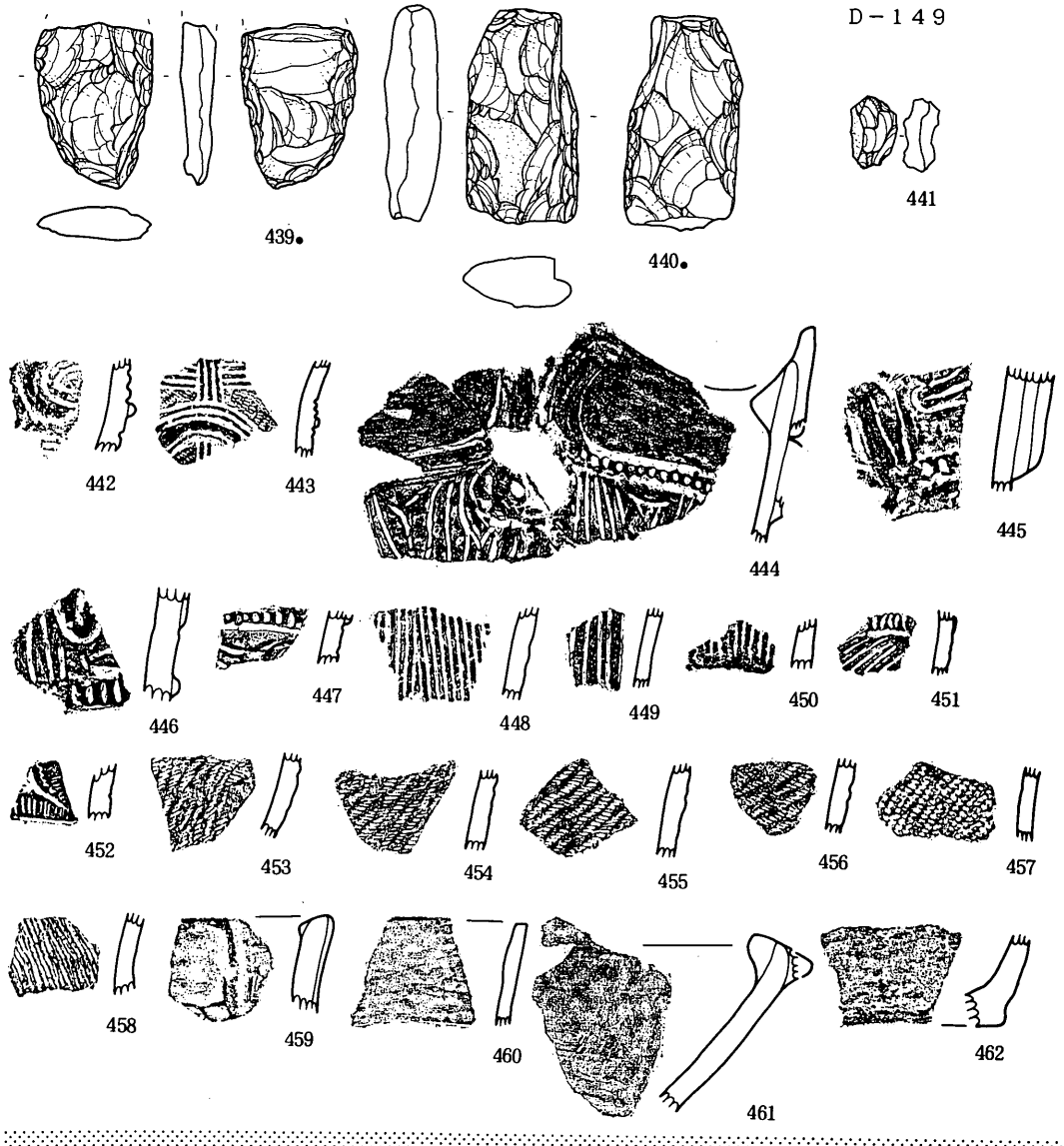


D－１５１

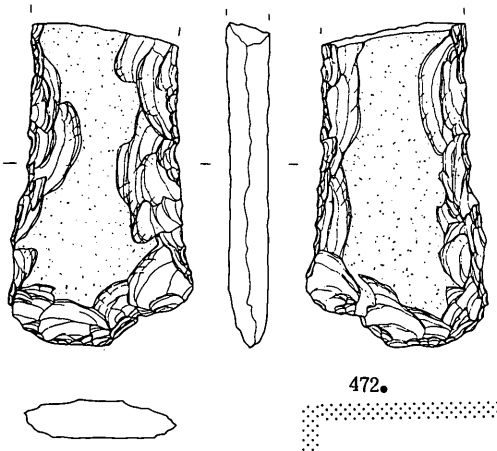


D－１５３

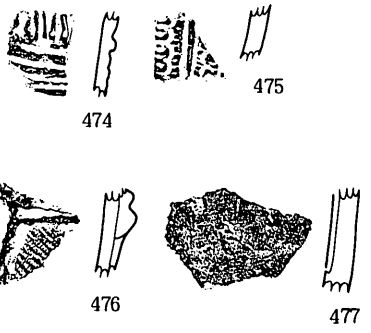
第293図　土坑出土遺物（土器＝１：４，石器＝１：２，●石器＝１：３）

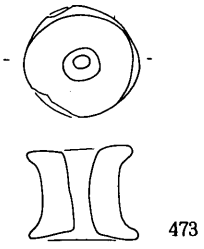


第294図　土坑出土遺物（土器＝1：4，石器＝1：2，●石器＝1：3）



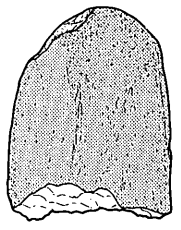
D－161



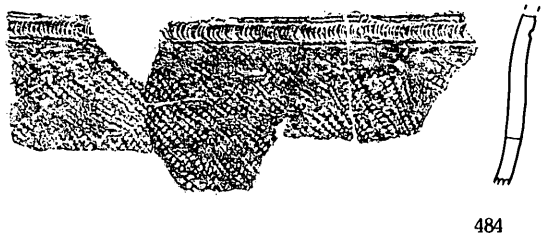


D－155

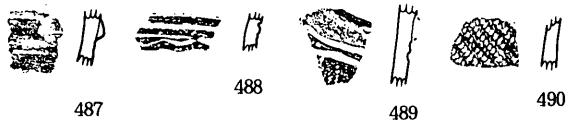
D－162



D－165

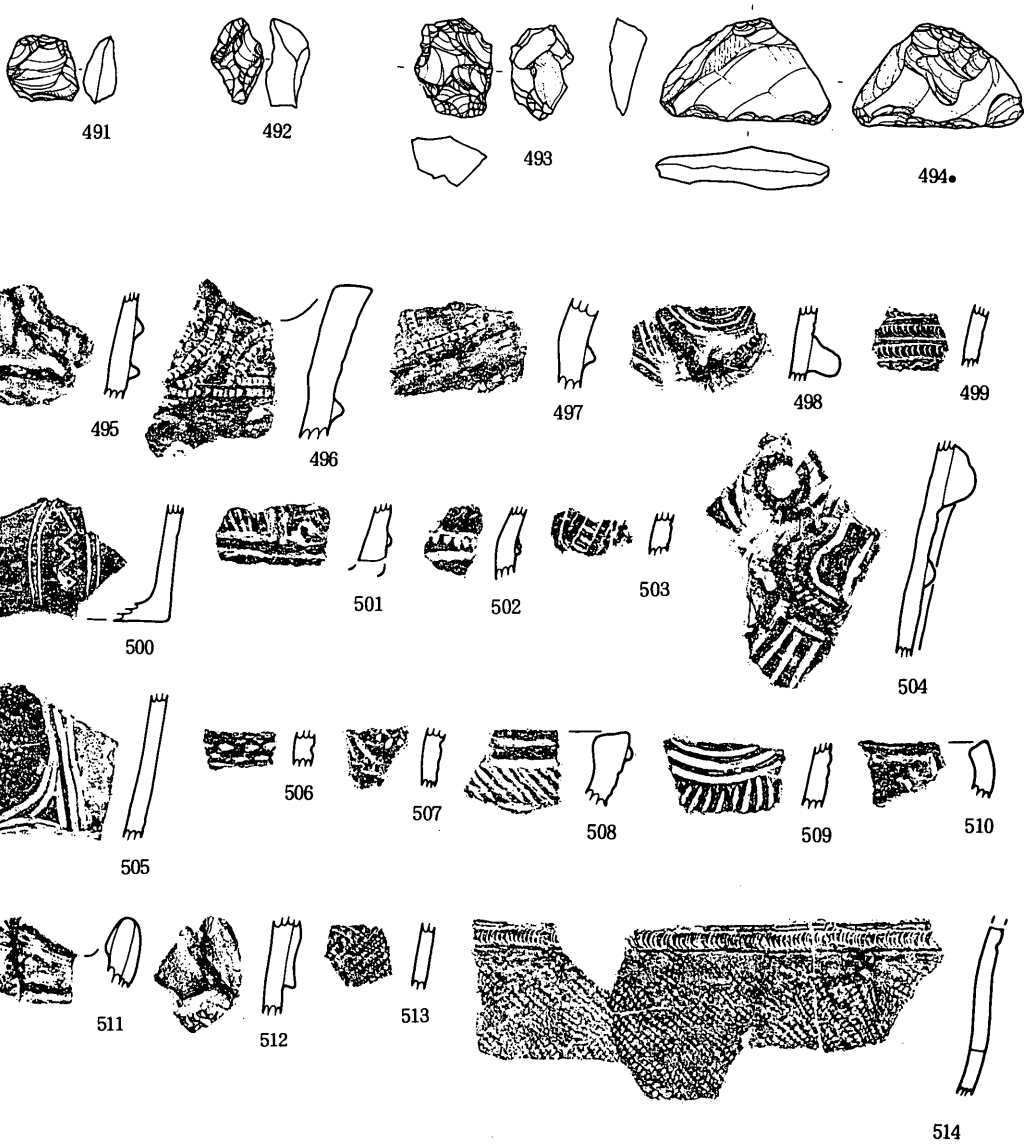


D－166

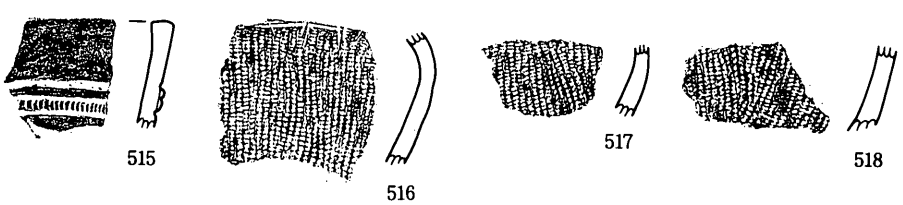


第295図　土坑出土遺物（土器＝1：4，石器＝1：2，●石器＝1：3）

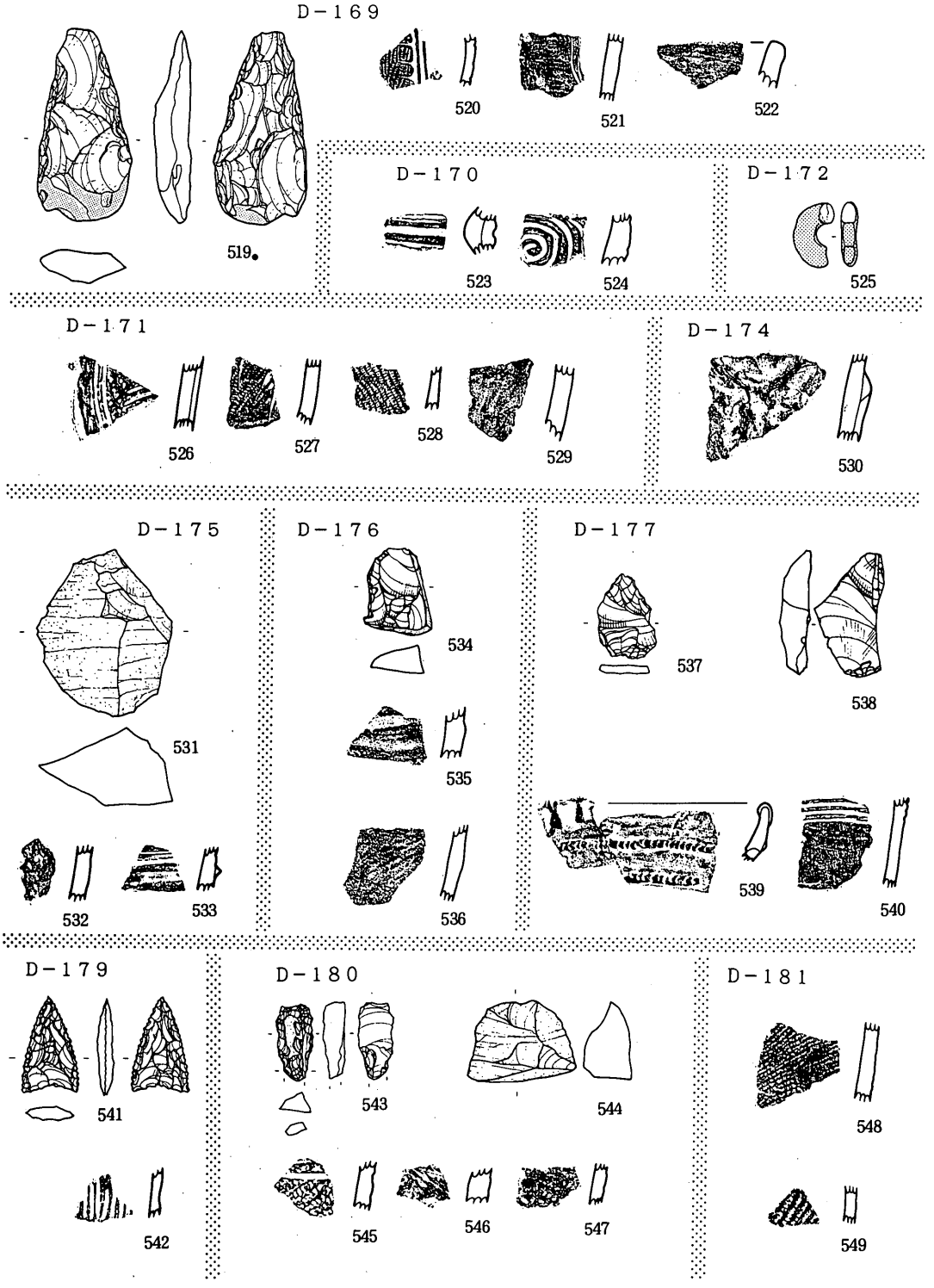
D－１６４



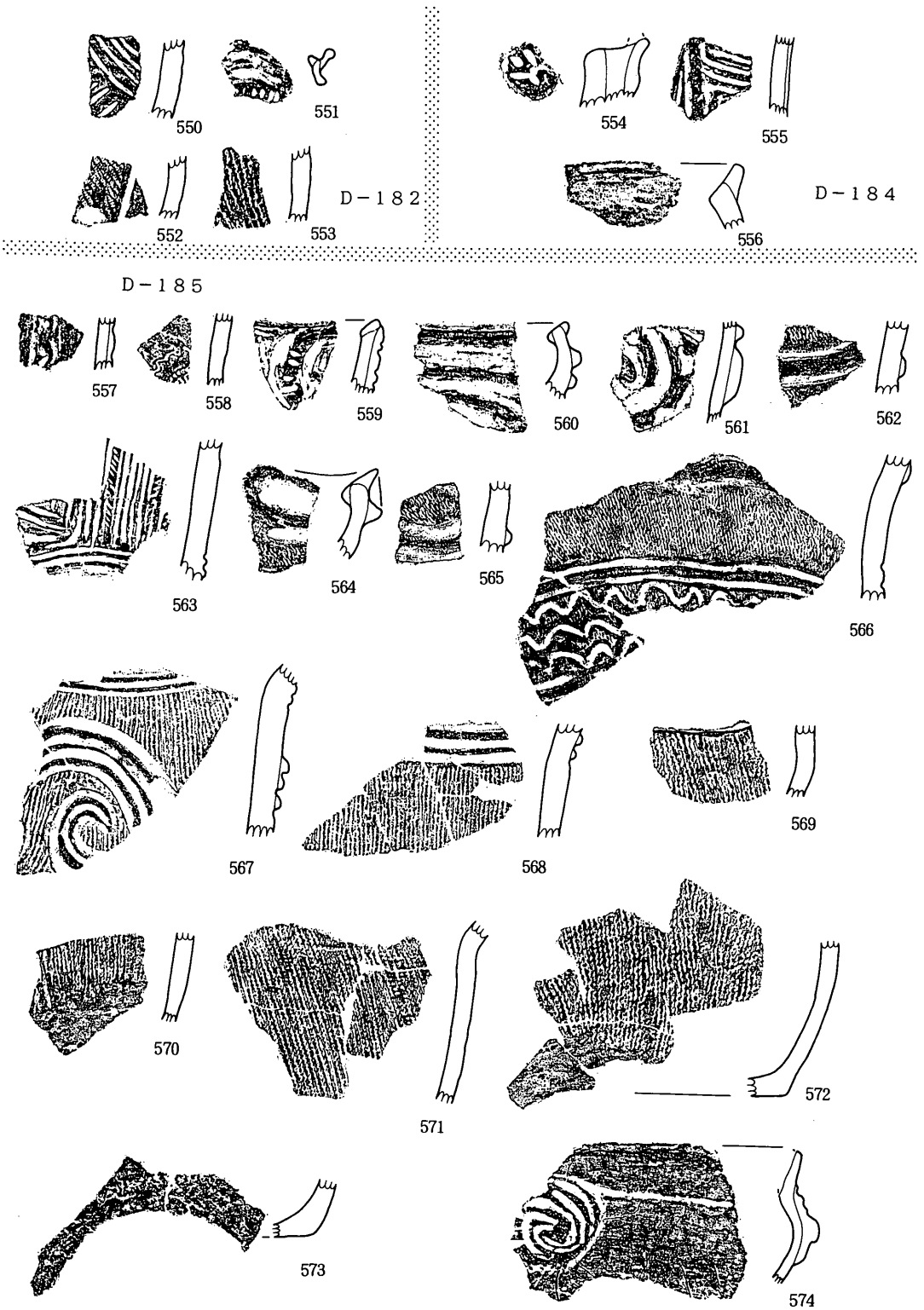
D－１６８



第296図　土坑出土遺物（土器＝１：４，石器＝１：２，●石器＝１：３）

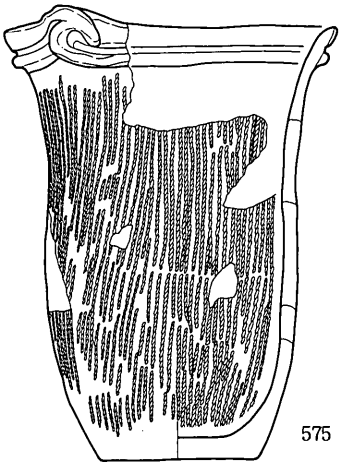


第297図　土坑出土遺物（土器＝1：4，石器＝1：2，●石器＝1：3）



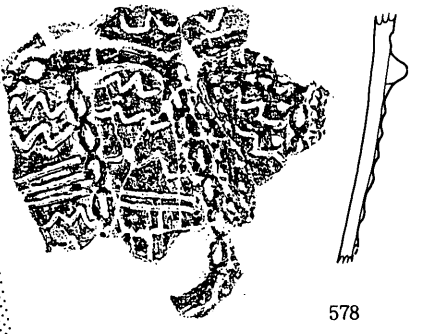
第298図　土坑出土遺物（土器＝1：4，石器＝1：2，●石器＝1：3）

D－186



575

D－187



578

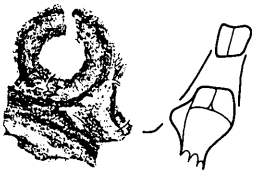
D－188

579

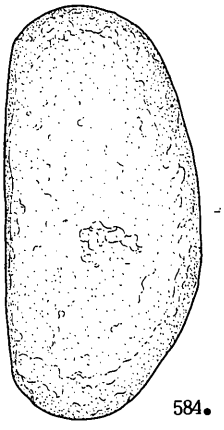
580

D－191

576 577



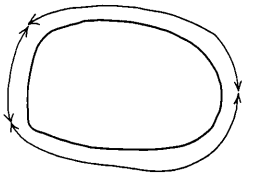
583



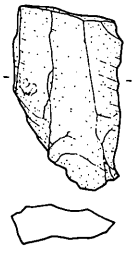
584●

D－189

581 582



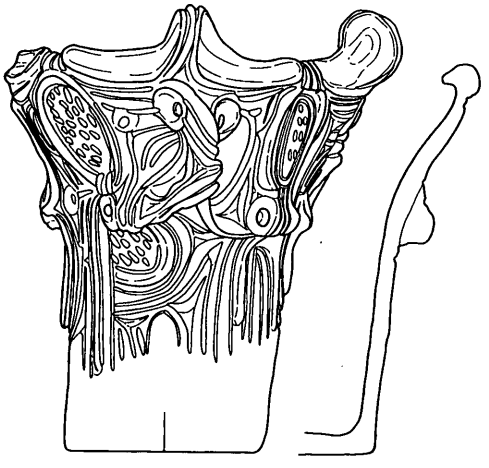
D－195



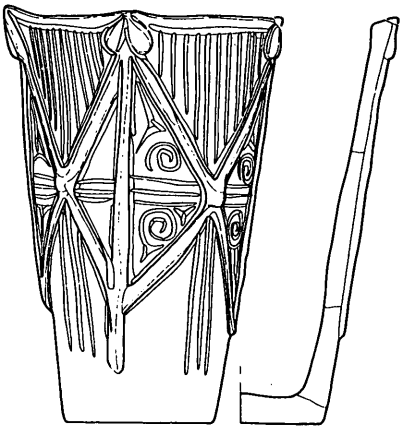
585

第299図　土坑出土遺物（土器＝1：4，石器＝1：2，●石器＝1：3）

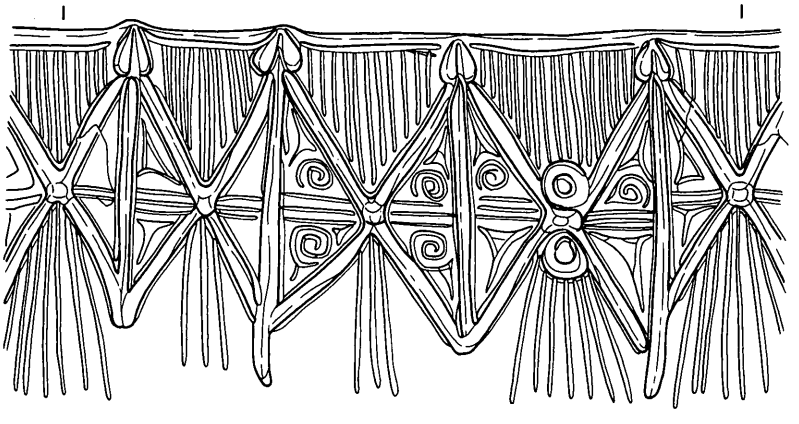
287



D－102　287



D－115　322



322

第300図　土坑出土土器展開図（1：4）

第169表　川原田遺跡土坑一覧表　＜１＞

遺構番号	規模（cm）			形態	覆土	遺物	時期	その他
	長	幅	深					
D-1	190	90	15	楕円形	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 2/3)ローム粒子をよく含む Ⅱ層・暗褐色土層(10YR 3/4)ロームをブロック状に含む Ⅲ層・褐色土層(10YR 4/6)砂礫層	土師甕2片 縄文3片 打斧1・剥片3	平安	
D-2	160	160	60	隅丸方形	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 2/3)ローム粒子は含まない Ⅱ層・暗褐色土層(10YR 3/3)ローム粒子を大量に含む(埋土？)	土師坏6片 土師甕7片 縄文2片 剥片3	平安	
D-3	100	90	10	円形	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 2/3)ローム粒子をよく含む Ⅱ層・褐色土層(10YR 4/4)ロームのブロック状堆積	土師甕1片 鉄金具1	平安	
D-4	160	120	40	方形	記載なし	縄文1片	中世	D－6と重複、新旧不明
D-5	220	190	40	不整円形	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 3/2)ローム粒子が全体に混入する。埋土か？ Ⅱ層・暗褐色土層(10YR 3/3)ローム粒子が全体に多量に混入する。埋土か？ Ⅲ層・褐色土層(10YR 4/4)ロームがブロック状に混入する。埋土か？	土師6片 内耳鍋8片 縄文3片 剥片1	中世	
D-6	130	130	15	円形	記載なし	縄文3片	不明	D－4と重複、新旧不明
D-7	120	125	30	隅丸方形	Ⅰ層・ローム粒子をよく含む黒褐色土層(埋土？)(10YR 2/3) Ⅱ層・ロームをブロック状に含む暗褐色土層(10YR 3/4)	土師坏1片 縄文3片 砥石1　剥片1	平安	
D-8	185	110	16	不整楕円	Ⅰ層・ローム粒子をよく含む黒褐色土層(埋土？)(10YR 2/2) Ⅱ層・ロームをブロック状に含む暗褐色土層(10YR 3/4)	縄文1片 剥片1	不明	
D-9	170	165	18	不整円	Ⅰ層・ローム粒子を多く含む黒褐色土層(10YR 2/3)おそらく埋土であろう Ⅱ層・ロームをブロック状に含む暗褐色土層(10YR 3/4)	スクレイパー1	不明	
D-10	135	115	80	円形	Ⅰ層・ローム粒子をよく含む黒色土層(10YR 2/1) Ⅱ層・ローム粒子を大量に含む黒褐色土層(10YR 3/2) Ⅲ層・ローム粒子を大大量に含む褐色土層(10YR 4/4) Ⅳ層・ローム粒子を大量に含む黒褐色土層(10YR 3/2) Ⅴ層・ローム粒子を大大大量に含む褐色土層(10YR 4/6) Ⅰ層～Ⅴ層まで、いずれも埋土と考えられる。	土師甕2片 縄文2片	平安	
D-11	75	65	10	円形	Ⅰ層・ローム粒子をよく含む黒褐色土層(10YR 2/3) Ⅱ層・ロームをブロック状に含む暗褐色土層(10YR 3/4)		不明	
D-12	85	80	10	円形	Ⅰ層・ローム粒子をよく含む褐色土層(埋土？)(10YR 4/4)		不明	
D-13	70	70	10	円形	Ⅰ層・ローム粒子をよく含む褐色土層(埋土？)(10YR 4/4)		不明	
D-14	150	130	30	円形	Ⅰ層・ローム粒子を多量に含む埋土暗褐色土層(10YR 3/3) Ⅱ層・ロームをブロック状に含む暗褐色土層(10YR 3/4)	土師坏1片 土師甕1片 縄文1片・砕片1	平安	中央に小ピット
D-15	180	155	50	隅丸方形	Ⅰ層・ローム粒子を含まない黒褐色土層(埋土？)(10YR 2/3) Ⅱ層・ロームをブロック状に含む暗褐色土層(埋土？)(10YR 3/3)	土師坏2片 土師甕2片 縄文2片	平安	
D-16	110	90	20	円形	Ⅰ層・ローム小ブロックを含む暗褐色土層(埋土？)(10YR 3/3)	土師甕3片 縄文1片	平安	
D-17	90	80	20	円形	Ⅰ層・ローム粒子を若干含む黒色土層(埋土？)(10YR 1.7/1)	内耳鍋1片 縄文1片	中世	
D-18	300	105	30	不整楕円	Ⅰ層・ローム粒子を含む黒色土層(10YR 2/1) Ⅱ層・ローム粒子をよく含むにぶい黄褐色土層(10YR 4/3)	縄文6片 打斧1　石鏃1 剥片1	不明	
D-19	100	90	20	方形	Ⅰ層・わずかにローム粒子を含み小砂利を多く含む黒褐色土層(10YR 2/3)(埋土はどうか不明)	須恵甕1片 縄文1片　打斧1	中世	方形に石囲いがなされる

第170表　川原田遺跡土坑一覧表　＜２＞

遺構番号	規模（cm）			形態	覆土	遺物	時期	その他
	長	幅	深					
D-20	180	170	60	円形	Ⅰ層・ローム粒子が大量に混じる褐色土層(10YR 4/6)(埋土)	土師坏１片 土師甕３片 縄文10片　剥片１ 石鏃未成品１	平安	D－21と重複
D-21	120	100	20	隅丸方形	記載なし	土師甕３片 磁器１片 石鏃１	中世	D－20と重複
D-22	150	140	38	隅丸方形	Ⅰ層・ローム粒子を多量に含む褐色土層(10YR 4/4)(埋土) Ⅱ層・ローム粒子を大量に含む褐色土層(10YR 4/6)(埋土) Ⅲ層・ローム粒子を多量に含む暗褐色土層(10YR 3/3)(埋土) Ⅳ層・二次堆積黄褐色ローム層(10YR 5/6)	縄文３片	不明	
D-23	95	80	20	円形	記載なし		不明	D－10と重複
D-24	180	150	70	楕円形	記載なし	縄文数十片 石鏃未成品１ 石錐１　ピエス２ 剥片等24点	不明	
D-25	70	70	20	円形	Ⅰ層・大量のローム粒子によって構成される褐色土層(10YR 4/6) Ⅱ層・二次堆積黄褐色ローム層(10YR 5/8)	土師甕３片	平安	
D-26	180	70	15	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子を多量に含む埋土にぶい黄褐色土層(10YR 4/3) Ⅱ層・大量のローム粒子で構成される褐色土層(10YR 4/6)	土師坏１片 縄文３片	平安	
D-27	90	86	18	円形	Ⅰ層・ローム粒子をよく含む暗褐色土層(埋土？)(10YR 3/4) Ⅱ層・ローム粒子を多量に含む褐色土層(10YR 4/4)		不明	
D-28	104	85	30	円形	記載なし	縄文６片	不明	
D-29	105	120	40	円形	Ⅰ層・カーボンをよく含み、ローム粒子が若干入る黒褐色土層(10YR 3/2)(埋土？) Ⅱ層・大量のローム粒子によって構成される褐色土層(10YR 4/6)	縄文２片 剥片２ 石棒？１	不明	
D-30	85	75	20	円形	記載なし	縄文８片	不明	
D-31	95	75	20	不整円形	記載なし	土師坏１片	不明	
D-32	145	85	60	楕円形	記載なし		不明	小ピットが付属する
D-33	80	70	20	円形	記載なし	土師甕１片 縄文４片	平安	
D-34	70	60	40	円形	記載なし	縄文９片	不明	安山岩礫が入る
D-35	140	100	80	楕円形	Ⅰ層・ロームがブロック状に入る暗褐色(10YR 3/3) Ⅱ層・ロームが大量に入る暗褐色土層(10YR 3/4)		不明	
D-36	155	145	50	円形	記載なし	縄文４片	不明	小ピットが付属する
D-37	75	80	15	円形	Ⅰ層・ローム粒子を若干含む暗褐色土層(10YR 3/3)埋土？ Ⅱ層・大量のローム粒子を含む黄褐色土層(10YR 5/6)	剥片３	不明	
D-38	150	115	60	楕円形	記載なし	土師坏20片 土師甕22片 灰釉陶器１片 須恵器１片	平安	
D-39	330	172	30	不整楕円	Ⅰ層・ローム粒子を若干含む黒色土層(10YR 2/1) Ⅱ層・ローム粒子をよく含む黒褐色土層(10YR 3/2) Ⅲ層・ローム粒子を多量に含む褐色土層(10YR 4/4)	縄文10片 石鏃１ 剥片２	不明	D－40と重複
D-40	170	110	15	不整楕円	Ⅰ層・ローム粒子を多量に含む褐色土層(10YR 4/4)	土師坏６片 土師甕１片 縄文３片 剥片２	平安	D－39と重複

第171表　川原田遺跡土坑一覧表　＜3＞

遺構番号	規模（cm）			形態	覆土	遺物	時期	その他
	長	幅	深					
D-41	110	80	15	不整楕円	Ⅰ層・ローム粒子を含む黒褐色土層(10YR 2/3)(埋土？) Ⅱ層・二次堆積黄褐色ローム層(10YR 5/6)		不明	
D-42	90	80	20	不整楕円	Ⅰ層・ローム粒子を多く含む暗褐色土層(10YR 3/3) Ⅱ層・ロームをブロック状に多量に含む褐色土層(10YR 4/6)		不明	
D-43	180	155	120	楕円形	Ⅰ層・ロームを小ブロック状に若干含む黒褐色土層(10YR 2/3)(埋土？) Ⅱ層・ローム粒子を少量含む暗褐色土層(10YR 3/4)(埋土？) Ⅲ層・ローム粒子を多量に含む褐色土層(10YR 4/4)	土師坏20片 土師甕70片 縄文10片 打斧1　剝片1点	平安	
D-44	90	80	15	円形	Ⅰ層・ローム粒子を多く含む褐色土層(10YR 4/6) Ⅱ層・二次堆積黄褐色ローム層(10YR 5/8)	剝片1点	不明	
D-45	90	80	10	円形	Ⅰ層・ローム粒子を大量に含む黄褐色土層(10YR 5/8) Ⅱ層・二次堆積明黄褐色ローム層(10YR 6/8)		不明	
D-46	185	150	50	隅丸方形	Ⅰ層・若干の黒色土を含むローム褐色土層(10YR 4/6) Ⅱ層・ローム粒子を多量に含む黒褐色土層(10YR 2/3) Ⅲ層・若干の黒色土を含むローム褐色土層(10YR 4/6) Ⅳ層・ローム粒子を多量に含む黒褐色土層(10YR 2/3) Ⅴ層・若干の黒色土を含むローム褐色土層(10YR 4/6) いずれも埋土と考えられる。	土師坏1片 土師甕4片 縄文12片 剝片1点	平安	
D-47	95	70	25	不整円形	Ⅰ層・ローム粒子を多量に含む黄褐色土層(10YR 5/8)(埋土？) Ⅱ層・ローム粒子を大量に含む明黄褐色土層(10YR 6/8)(埋土？) Ⅲ層・二次堆積明黄褐色ローム層(10YR 6/6)	縄文3片	不明	
D-48	160	120	28	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子をよく含む暗褐色土層(10YR 3/3)		縄文中期？	J－42と重複
D-49	200	125	12	楕円形	Ⅰ層・ロームをブロック状に多量に含む褐色土層(10YR 4/4)	スクレイパー1 剝片1	縄文中期？	
D-50	110	105	52	円形	記載なし	縄文6片	縄文中期？	J-39･44と重複
D-51	135	125	40	楕円形	記載なし	縄文18片　石鏃1 凹石1　打斧1 ピエス1　剝片2	縄文中期	
D-52	105	105	75	円形	Ⅰ層・ローム粒子・カーボンを含む暗褐色土層(10YR 3/4)(埋土)	縄文5個体　86片 打斧1　剝片2	縄文中期	
D-53	105	100	12	円形	記載なし	縄文4片　石核1	縄文中期？	
D-54	220	190	95	楕円形	記載なし	縄文13片　剝片2	縄文中期？	
D-55	130	105	25	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子を含む褐色土層(10YR 4/4)	土師甕4片	縄文中期？	
D-56	150	110	15	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子を含む褐色土層(10YR 4/4)		縄文中期？	
D-57	150	120	25	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子をよく含む暗褐色土層(10YR 3/4) Ⅱ層・ローム粒子を大量に含む褐色土層(10YR 4/6)	縄文1片 剝片1	縄文中期？	
D-58	260	135	60	不整楕円	Ⅰ層・ローム粒子をやや多く含む褐色土層(10YR 4/4) Ⅱ層・ロームブロックを少量含む暗褐色土層(10YR 3/3) Ⅲ層・ローム粒子を含む褐色土層(10YR 4/6)	土師坏6片 土師甕8片	平安	
D-59	175	125	35	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子が少量混入する暗褐色土層(10YR 3/4) Ⅱ層・ロームブロックが混入する褐色土層(10YR 4/6)	土師坏1片 縄文1片	不明	
D-60	85	60	30	楕円形	記載なし	縄文10片	不明	
D-61	100	80	25	不整楕円	Ⅰ層・ロームをブロック状に少量含む暗褐色土層(10YR 3/4) Ⅱ層・ローム粒子をよく含む褐色土層(10YR 4/4)	縄文6片	不明	
D-62	270	140	75	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子を大量に含む暗褐色土層(10YR 5/6) Ⅱ層・ローム粒子を多量に含む黒褐色土層(10YR 2/2) Ⅲ層・ローム粒子を大量に含む褐色土層(10YR 4/4) Ⅳ層・ロームをブロック状に含む黒色土層(10YR 2/1) Ⅴ層・ローム粒子を多量に含む暗褐色土層(10YR 3/3) Ⅰ層～Ⅲ層は埋土か？	土師坏4片 縄文10片 剝片1	平安	

第172表　川原田遺跡土坑一覧表　＜4＞

遺構番号	規模（cm）			形態	覆土	遺物	時期	その他
	長	幅	深					
D-63	170	130	25	不整楕円	Ⅰ層・ローム粒子を含む暗褐色土層(10YR 3/4) Ⅱ層・ロームブロックを含む黄褐色土層(10YR 5/8)	土師坏1片 土師甕2片 縄文6片	平安	
D-64	150	110	15	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子をよく含むにぶい黄褐色土層(10YR 4/3) Ⅱ層・ロームを多量に含む黄褐色土層(10YR 5/6)		不明	上部に安山岩礫あり
D-65	115	85	15	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子を若干含み、焼土・炭化材をわずかに含む褐色土層(10YR 4/4) Ⅱ層・ローム粒子を多量に含む黄褐色土層(10YR 5/6)	縄文3片	縄文中期	安山岩礫あり 屋外の石囲い炉か？
D-66	135	95	25	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子を若干含み、焼土をよく含む褐色土層(10YR 4/4) Ⅱ層・焼土を多量に含む明赤褐色土層(2.5YR 5/6) Ⅲ層・ローム粒子を多量に含み、焼土をわずかに含む褐色土層(10YR 4/6)	縄文13片 砕片3	縄文中期	
D-67	80	70	30	円形	記載なし		不明	安山岩礫あり
D-68	130	110	20	円形	記載なし		不明	
D-69	245	150	30	不整楕円	記載なし	縄文12片	不明	
D-70	130	120	30	円形	記載なし	縄文3片 石鏃1 磨製石斧1	平安	D－71・D－72と重複
D-71	190	150	50	不整円形	記載なし	土師甕1片	平安	D－70・D－72と重複
D-72	200	180	40	不整円形	記載なし	土師甕1片 須恵甕1片 縄文1片　剥片1	平安	D－70・D－71と重複
D-73	170	135	48	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子はあまり含まない黒褐色土層(10YR 2/3) Ⅱ層・ローム粒子を多量に含む暗褐色土層(10YR 3/3)(埋土か？)	縄文1個体　35片	縄文中期	
D-74	155	140	60	円形	記載なし	剥片2	不明	M－10を切る
D-75	185	120	70	不整楕円	Ⅰ層・パミスを含み、ローム粒子は含まない暗褐色土層(10YR 3/3) Ⅱ層・パミス、スコリアを多く含む黒褐色土層(10YR 2/3) Ⅲ層・ロームをブロック状に含む褐色土層(10YR 4/4)		不明	
D-76	135	120	35	楕円形	Ⅰ層・カーボンを多量に含む黒褐色土層(10YR 2/3) Ⅱ層・ローム粒子を含む褐色土層(10YR 4/4)(埋土)	縄文1個体　4片 スクレイパー1 剥片4	不明	
D-77	200	180	80	円形	Ⅰ層・ローム粒子をよく含む暗褐色土層(10YR 3/4) Ⅱ層・ローム粒子は含まず、若干のパミスを含む黒褐色土層(10YR 3/2) Ⅲ層・ローム粒子は含まず、若干のパミスを含む黒褐色土層(10YR 3/2) Ⅳ層・ローム粒子を多量に含む暗褐色土層(10YR 3/4)(埋土？) Ⅴ層・ローム粒子を大量に含む褐色土層(10YR 4/4)(埋土？)	縄文1個体　17片 剥片1	縄文中期	底面に礫が密集する
D-78	290	210	20	楕円形	Ⅰ層・ロームを多量に含む暗褐色土層(10YR 3/3)(埋土) Ⅱ層・ロームに黒色土が若干混じる黄褐色土層(10YR 5/6)(埋土)	縄文7片	不明	
D-79	105	90	15	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子を若干含む褐色土層(10YR 4/4) Ⅱ層・ローム粒子を多量に含む褐色土層(10YR 4/6)	剥片3	不明	D－82と重複
D-80	125	100	40	円形	Ⅰ層・ローム粒子を多く含む褐色土層(10YR 4/6)(埋土？) Ⅱ層・ローム粒子を大量に含む黄褐色土層(10YR 5/6)(埋土？)	縄文3片 剥片1	不明	
D-81	140	100	32	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子を若干含む暗褐色土層(10YR 3/3) Ⅱ層・ローム粒子を多量に含む褐色土層(10YR 4/4)	縄文 磨り石1	不明	
D-82	75	45	40	楕円形	記載なし		不明	D－79と重複
D-83	105	100	45	円形	Ⅰ層・パミスを若干含む褐色土層(10YR 4/4) Ⅱ層・ローム粒子を大量に含む暗褐色土層(10YR 5/4)	縄文2個体　10片 スクレイパー1 剥片2	縄文中期？	

第173表　川原田遺跡土坑一覧表　＜5＞

遺構番号	規模（cm）			形態	覆土	遺物	時期	その他
	長	幅	深					
D-84	105	105	120	円形	Ⅰ層・カーボンを多量に含み、焼土をブロック状に含む黒褐色土層(10YR 2/2) Ⅱ層・明赤褐色焼土層(5YR 4/6) Ⅲ層・カーボンの黒色土層(10YR 1.7/1) Ⅳ層・ローム粒子、カーボンを含む暗褐色土層(10YR 3/3)(埋土)	縄文2個体 120片 打斧1 スクレイパー1 ピエス1 剥片2	縄文中期	断面フラスコ状。Ⅰ層より土器片多数出土Ⅲ層には種子がぎっしりとつまる
D-85	95	80	15	円形	記載なし	縄文3片	不明	安山岩礫あり
D-86	85	80	20	円形	Ⅰ層・ローム粒子を含む黒褐色土層(10YR 3/2)	縄文5片 剥片1	不明	安山岩礫4個が入る
D-87	300	135	45	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子を若干含む黒褐色土層(10YR 2/3) Ⅱ層・ローム粒子を多量に含む暗褐色土層(10YR 3/4) Ⅲ層・ローム粒子を大量に含む褐色土層(10YR 4/6)	縄文5片 スクレイパー1 剥片1	縄文中期?	
D-88	220	200	28	隅丸方形	Ⅰ層・ローム粒子を多量に含む褐色土層(10YR 4/4) Ⅱ層・ローム粒子を大量に含む褐色土層(10YR 4/6)	縄文8片 石鏃1　剥片4 砕片1	不明	
D-89	135	110	28	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子・カーボンを若干含む黒褐色土層(10YR 3/2) Ⅱ層・ローム粒子を多量に含む褐色土層(10YR 4/6)	縄文11片 剥片3	不明	中央に礫の集中がみられる
D-90	135	110	35	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子は含まない暗褐色土層(10YR 3/3) Ⅱ層・ロームをブロック状に含む褐色土層(10YR 4/6)		不明	
D-91	170	160	55	円形	Ⅰ層・ロームをブロック状に含む黒褐色土層(10YR 2/2) Ⅱ層・ロームをブロック状に含む黒褐色土層(10YR 4/4) Ⅲ層・ローム粒子を多量に含む灰黄褐色土層(10YR 4/2)	縄文2個体　8片 剥片1	不明	
D-92	100	95	15	円形	Ⅰ層・ロームをブロック状に少量含む黒褐色土層(10YR 3/1) Ⅱ層・ロームを大量に含むにぶい黄褐色土層(10YR 4/3)	縄文3片 剥片1	不明	
D-93	170	110	20	不整円形	Ⅰ層・ローム粒子を若干含む黒色土層(10YR 2/1) Ⅱ層・ロームを大量に含む黄褐色土層(10YR 4/3)	縄文1片	不明	
D-94	70	60	15	円形	記載なし	打斧1	不明	
D-95	120	95	25	楕円形	記載なし		縄文中期?	J－11と重複
D-96	150	135	65	不整楕円	記載なし	縄文1個体 石鏃未成品2 スクレイパー1 剥片4　砕片3	縄文中期	D－97・98と重複
D-97	110	95	72	楕円形	記載なし	縄文5片　打斧1 剥片2	縄文中期?	D－96·98·99と重複
D-98	－	－	52	楕円形	記載なし		縄文中期?	D－96·97·99と重複
D-99	110	95	55	楕円形	記載なし	縄文3片	縄文中期?	D－97・98と重複
D-100	190	105	120	楕円形	Ⅰ層・ロームをよく含む黒褐色土層(10YR 3/2) Ⅱ層・ロームを若干含む黒色土層(10YR 2/1) Ⅲ層・ロームを多量に含む暗褐色土層(10YR 3/3) Ⅳ層・ロームをブロック状に大量に含むにぶい黄褐色土層(10YR 4/3) Ⅴ層・ロームを多量に含む暗褐色土層(10YR 3/3) Ⅵ層・ロームをブロック状に含む黄褐色土層(10YR 5/6) Ⅶ層・ロームを若干含む黒色土層(10YR 2/1)	縄文3片 原石1	縄文中期?	陥し穴
D-101	240	235	55	不整円形	Ⅰ層・ローム粒子を若干含む暗褐色土層(10YR 3/3) Ⅱ層・ロームをブロック状に多量に含む褐色土層(10YR 4/4) Ⅲ層・ローム粒子·カーボンをわずかに含む黒褐色土層(10YR 2/3) Ⅳ層・ロームをブロック状によく含む褐色土層(10YR 4/6) Ⅴ層・ロームをブロック状に多量に含む黄褐色土層(10YR 5/6)	縄文91片 打斧1 剥片15	縄文中期?	
D-102	175	120	48	不整楕円	記載なし	縄文1個体　33片 剥片1	縄文中期	
D-103	105	95	28	不整円形	記載なし		縄文中期?	

第174表　川原田遺跡土坑一覧表　＜6＞

遺構番号	規模（cm）			形態	覆土	遺物	時期	その他
	長	幅	深					
D-104	240	232	28	不整円形	Ⅰ層・にぶい黄褐色土層(10YR 4/3)ローム粒子をよく含む Ⅱ層・褐色土層(10YR 4/4)ローム粒子を多量に含む Ⅲ層・黄褐色土層(10YR 5/6)ローム粒子を大量に含む	縄文1片 剥片1	縄文中期?	
D-105	220	168	55	不整楕円	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 3/2)ローム粒子を多量に含む Ⅱ層・褐色土層(10YR 4/6)ローム粒子を大量に含む		縄文中期?	
D-106	210	185	28	不整円形	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 3/2)ローム粒子・カーボンを若干含む Ⅱ層・褐色土層(10YR 4/4)ロームをブロック状によく含む	縄文7片 使用痕ある剥片1 剥片1	不明	
D-107	230	196	28	不整円形	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 2/3)ローム粒子を若干含む Ⅱ層・褐色土層(10YR 4/4)ロームをブロック状によく含む		不明	
D-108	90	85	68	不整円形	記載なし		縄文中期?	
D-109	135	130	120	円形	記載なし	縄文14片 ピエス1　剥片1	縄文中期?	
D-110	195	75	15	隅丸方形	記載なし	縄文3片	不明	
D-111	195	184	40	不整円形	Ⅰ層・暗褐色土層(10YR 3/4)ローム粒子を大量に含む(埋土) Ⅱ層・黒褐色土層(10YR 3/2)ローム粒子を若干含む	縄文47片 剥片4	縄文中期?	
D-112	310	300	20	円形	Ⅰ層・褐色土層(10YR 4/4)ローム粒子を若干含む	剥片2	不明	
D-113	270	85	40	不整楕円	記載なし		不明	D-14と重複
D-114	150	125	32	楕円形	記載なし		不明	D-13と重複
D-115	110	90	120	楕円形	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 2/3)ローム粒子・カーボンを若干含む Ⅱ層・褐色土層(10YR 4/4)ロームをブロック状に多量に含む Ⅲ層・黒褐色土層(10YR 2/2)ロームをブロック状によく含み、焼土・カーボンを若干含む Ⅳ層・黄褐色土層(10YR 5/6)ロームを大量に含む(埋土)	縄文1個体　30片	縄文中期	断面フラスコ状
D-116	72	72	25	円形	記載なし	縄文2片	縄文中期?	
D-117	145	140	20	不整円形	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 2/3)ローム粒子を若干含む Ⅱ層・暗褐色土層(10YR 3/4)ローム粒子を多量に含む Ⅲ層・黒褐色土層(10YR 3/2)ローム粒子を若干含む	縄文2個体　11片 剥片1	縄文中期	
D-118	128	125	32	円形	記載なし		不明	
D-119	90	85	40	不整円形	記載なし		不明	
D-120	205	150	28	楕円形	Ⅰ層(10YR 3/6)ロームをブロック状に含む(埋土か？)	縄文1片	不明	
D-121	230	95	55	不整楕円	記載なし		不明	
D-122	125	115	55	円形	Ⅰ層・ロームを若干含む黒褐色土層(10YR 2/2) Ⅱ層・ロームをよく含む暗褐色土層(10YR 3/3) Ⅲ層・ロームを大量に含む褐色土層(10YR 4/6)	縄文1片	不明	
D-123	280	275	35	円形	Ⅰ層・黒色土層(10YR 2/1)ローム粒子を若干含む Ⅱ層・暗褐色土層(10YR 3/3)ローム粒子をよく含む	縄文93片　打斧1 剥片4　砕片3	縄文中期?	
D-124	150	105	20	楕円形	Ⅰ層・黒色土層(10YR 2/2)ローム粒子をまったく含まない Ⅱ層・黄褐色土層(10YR 5/6)ローム粒子を大量に含む	縄文10片	不明	安山岩礫が入る
D-125	170	140	20	楕円形	記載なし	縄文3片	不明	
D-126	115	115	50	楕円形	記載なし	縄文3片	不明	上部に巨礫が被さる
D-127	80	75	35	円形	記載なし		不明	
D-128	125	115	10	円形	記載なし		不明	
D-129	50	50	25	円形	記載なし		不明	
D-130	110	95	30	円形	記載なし	剥片	不明	中央に小ピット

第175表　川原田遺跡土坑一覧表　＜7＞

遺構番号	規模（cm）			形態	覆土	遺物	時期	その他
	長	幅	深					
D-131	200	150	20	隅丸方形	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 3/2)ローム粒子を多量に含む	縄文6片	中世	
D-132	250	110	20	長楕円形	Ⅰ層・若干のローム粒子を含む黒褐色土層(10YR 2/3) Ⅱ層・ローム粒子を多量に含む、パミス若干含む暗褐色土層(10YR 3/4)	剥片1	不明	中央に小ピット
D-133	230	220	40	方形	記載なし	打斧1	縄文中期?	
D-134	145	110	20	円形	Ⅰ層・ローム粒子、パミスわずかに含む黒褐色土層(10YR 3/2) Ⅱ層・ローム粒子、パミス多量に含む褐色土層(10YR 4/4)		不明	
D-135	165	130	20	楕円形	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 2/3)ローム粒子を若干含む Ⅱ層・褐色土層(10YR 4/6)ロームをブロック状に含む	縄文10片	不明	
D-136	160	145	20	楕円形	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 2/3)ローム粒子を若干含む Ⅱ層・褐色土層(10YR 4/6)ロームをブロック状に含む	縄文1片	不明	
D-137	300	105	30	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子をよく含む黒褐色土層(10YR 2/1) Ⅱ層・二次堆積ローム褐色土層(10YR 4/4)		不明	
D-138	210	110	15	不整楕円	Ⅰ層・若干のローム粒子を含む黒褐色土層(10YR 2/2) Ⅱ層・ローム粒子を多量に含む褐色土層(10YR 4/4)		不明	
D-139	180	110	20	楕円形	Ⅰ層・ローム粒子を多量に含む暗褐色土層(10YR 3/4)	剥片1	不明	
D-140	90	80	32	円形	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 2/3)ローム粒子・カーボン・骨片を若干含む	縄文8片 スクレイパー1 ピエス1　剥片1	縄文中期	上部に礫が被さる
D-141	－	100	20	楕円形	記載なし		縄文中期?	J-4と重複
D-142	365	230	25	不整楕円	Ⅰ層・暗褐色土層(10YR 3/3)カーボンを若干含む Ⅱ層・褐色土層(10YR 4/6)ローム粒子を大量に含む Ⅲ層・暗褐色土層(10YR 3/4)焼土・カーボンを若干含む Ⅳ層・褐色土層(10YR 4/4)ローム粒子を含む(埋土か?)	縄文42片 打斧1 スクレイパー1 ピエス2　剥片15	縄文中期	中央に深さ60cmを計る石囲いピットあり
D-143	110	100	32	円形	記載なし	縄文6片	縄文中期?	D-144と重複
D-144	－	65	32	楕円形	記載なし	縄文15片　打斧1 石錐1　剥片3	縄文中期?	D-143と重複
D-145	80	80	15	円形	記載なし	縄文2片 スクレイパー1 剥片4	縄文中期?	
D-146	165	125	60	楕円形	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 2/2)ロームを若干含む Ⅱ層・暗褐色土層(10YR 3/3)ロームをよく含む Ⅲ層・黒褐色土層(10YR 2/3)ロームを多量に含む		縄文中期?	
D-147	120	115	32	不整円形	Ⅰ層・黒色土層(10YR 2/1)ロームをブロック状に含む Ⅱ層・暗褐色土層(10YR 3/3)ロームをブロック状に大量に含む	縄文1個体　45片 剥片2片	縄文中期	
D-148	335	220	90	不整楕円	Ⅰ層・暗褐色土層(10YR 3/3)ローム粒子は含まない Ⅱ層・黒褐色土層(10YR 2/3)ローム粒子は含まない Ⅲ層・黒褐色土層(10YR 2/2)ロームをブロック状に含む Ⅳ層・黄褐色土層(10YR 5/6)ロームをブロック状に大量に含む	縄文205片 土偶1 石鏃1　ピエス1 剥片25	不明	風倒木痕?
D-149	170	130	65	楕円形	記載なし	縄文95 打斧2　ピエス1 剥片8	縄文中期	
D-150	240	135	20	不整楕円	記載なし		縄文中期?	
D-151	375	－	25	楕円形	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 2/2)ローム粒子をわずかに含む Ⅱ層・暗褐色土層(10YR 3/4)ローム粒子を多量に含む	縄文1片 石錐1　剥片1	不明	J-24と重複
D-152	135	135	25	円形	記載なし		縄文中期?	J-24と重複
D-153	130	110	45	楕円形	Ⅰ層・黒色土層(10YR 2/1)ローム粒子は含まない Ⅱ層・黒褐色土層(10YR 2/2)ローム粒子をよく含む Ⅲ層・暗褐色土層(10YR 3/3)ロームをブロック状に含む	縄文3片 剥片1	縄文中期?	

第176表　川原田遺跡土坑一覧表　＜8＞

遺構番号	規模（cm）			形態	覆土	遺物	時期	その他
	長	幅	深					
D-154	250	200	10	隅丸方形	記載なし	土師坏1片 土師甕1片 内耳鍋3片	中世	
D-155	230	200	25	隅丸方形	記載なし	鉄製品2点 北宋銭4枚 打斧1　耳飾り1	中世	
D-156	215	150	25	隅丸方形	記載なし		中世	
D-157	200	160	30	隅丸方形	記載なし		中世	
D-158	235	210	40	隅丸方形	記載なし	土師甕1片 古銭1枚 縄文2片	中世	
D-159	280	240	15	隅丸方形	記載なし		中世	
D-160	180	150	35	隅丸方形	記載なし	縄文10片 剥片3片	中世	
D-161	290	230	15	隅丸方形	記載なし	土師甕1片 鉄製品1点 縄文9片	中世	
D-162	100	80	30	楕円形	記載なし	縄文4片 磨石1	中世	
D-163	−	−	50	楕円形	記載なし		中世	
D-164	135	125	45	円形	記載なし	縄文80片 スクレイパー1 剥片12	縄文中期？	
D-165	180	135	20	楕円形	記載なし	縄文1個体　5片	縄文前期	
D-166	−	125	25	楕円形	記載なし	縄文6片　剥片1	縄文中期？	
D-167	−	125	28	楕円形	記載なし		縄文中期？	
D-168	120	105	32	楕円形	記載なし	縄文5片	縄文中期？	
D-169	180	160	45	楕円形	Ⅰ層・暗褐色土層(10YR 3/3)ローム粒子をよく含む(埋土か？) Ⅱ層・褐色土層(10YR 4/4)ローム粒子を多量に含む(埋土か？) Ⅲ層・褐色土層(10YR 4/6)ロームをブロック状に大量に含む Ⅳ層・暗褐色土層(10YR 3/3)ローム粒子をよく含む	縄文7片 打斧1 剥片2	縄文中期？	
D-170	105	95	48	円形	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 2/2)ローム粒子は含まない Ⅱ層・暗褐色土層(10YR 3/3)ローム粒子をよく含む	縄文2片 剥片1	縄文中期？	中央上面に安山岩礫の集中がみられる
D-171	140	120	25	楕円形	記載なし	縄文9片	縄文中期？	
D-172	200	170	55	楕円形	記載なし	石製耳飾り1 剥片2	縄文前期	
D-173	65	60	15	楕円形	記載なし	剥片3	縄文中期？	
D-174	50	50	32	円形	記載なし	縄文6片　剥片1	縄文中期？	
D-175	120	100	20	楕円形	記載なし	縄文5片 黒曜石原石1 剥片5	縄文中期？	
D-176	210	190	60	楕円形	Ⅰ層・暗褐色土層(10YR 3/4)ローム粒子はあまり含まない	縄文7片 スクレイパー1 剥片3	縄文中期？	中央に礫の集積がみられる（踏み込まれてつまった感じ）
D-177	180	160	52	楕円形	記載なし	縄文6片 石鏃未成品1 ピエス1 剥片7	縄文中期？	隣接して石囲い炉がみられる

第177表　川原田遺跡土坑一覧表　＜９＞

遺構番号	規模（cm）			形態	覆土	遺物	時期	その他
	長	幅	深					
ﾌﾗ	50	40	15	楕円形	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 2/2)ローム粒子を若干含む		縄文中期	
D-178	100	80	15	円形	記載なし		縄文中期?	
D-179	205	160	40	楕円形	記載なし	縄文１片 石鏃１　剥片１	縄文中期?	
D-180	100	100	25	円形	記載なし	縄文７片 石錐１　剥片１ 黒曜石原石１	縄文中期?	
D-181	195	180	15	楕円形	記載なし	縄文４片 剥片５	縄文中期?	
D-182	155	150	40	円形	記載なし	縄文５片	縄文中期?	
D-183	115	85	28	楕円形	記載なし		縄文中期?	
D-184	85	80	40	円形	記載なし	縄文７片	縄文中期?	南壁際にピットあり。上面に礫が被さる
D-185	125	115	40	楕円形	Ⅰ層・黒褐色土層(10YR 2/3)ローム粒子・骨片を若干含む Ⅱ層・黒褐色土層(10YR 2/3)カーボンを多量に含む Ⅲ層・暗褐色土層(10YR 3/4)ロームを多量に含み、カーボンを若干含む	縄文92片 剥片５	縄文中期	
D-186	130	95	20	楕円形	記載なし	縄文１個体　２片	縄文中期	
D-187	165	115	15	楕円形	記載なし	縄文７片 剥片１	縄文中期	
D-188	260	130	28	楕円形	記載なし	縄文７片 剥片１	縄文中期?	Ｊ－41と重複
D-189	95	70	20	楕円形	Ⅰ層・黒色土層(10YR 2/1)ローム粒子はあまり含まず、カーボンを若干含む	縄文19片 剥片１	縄文中期?	
D-190	115	－	－		記載なし		不明	
D-191	285	170	85	不整楕円	記載なし	縄文３片 磨石１	縄文中期?	
D-192	400	220	60	隅丸方形	Ⅰ層・ロームを若干含む暗褐色土層(10YR 3/4)埋土 Ⅱ層・明赤褐色焼土層(5YR 5/8) Ⅲ層・灰褐色灰層(10YR 4/1) Ⅳ層・灰を均一に含む黒褐色土層(10YR 2/3) Ⅴ層・ローム粒子をよく含む暗褐色土層(10YR 5/6)埋土 Ⅴ層が埋められた後、そのくぼみにおいて火が焚かれてⅣ・Ⅲ・Ⅱ層が堆積し、その上にⅠ層が埋められたものと考えられる。	土師甕２片 縄文８片 磨石１	中世	
D-193	335	－	40	隅丸方形	Ⅰ層・ロームを若干含む黒色土層(10YR 2/1)	土師坏１片 土師甕10片 内耳鍋４片 縄文10片 砥石１	中世	
D-194	300	250	40	隅丸方形	Ⅰ層・ロームを大量に含む暗褐色土層(10YR 3/4)埋土	土師高台坏２片 土師甕６片 縄文12片	中世	
D-195	515	425	75	楕円形	Ⅰ層・暗褐色土層(10YR 3/4)ロームをブロック状に含む Ⅱ層・褐色土層(10YR 4/6)漸移層的なローム層堆積 Ⅲ層・黄褐色土層(10YR 5/6)ローム層(一次堆積？)	原石１	不明	自然の落ち込みの可能性あり

第178表　土坑出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
3	深鉢	胴部	—	半隆起線	ナデ	角閃石	暗赤褐色 5YR 3/6	にぶい黄褐色 10YR 5/3	通常	D－14	中期
4	深鉢	胴部	—	沈線、隆線	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/8	明黄褐色 10YR 6/6	通常	D－1	中期
5	深鉢	胴部	—	無文	ヨコナデ	風化岩片	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	D－1	中期
6	深鉢	胴部	—	無文	不明	風化岩片	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	D－2	中期
7	深鉢	胴部	—	縄文	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	D－2	中期
8	深鉢	胴部	—	無文	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	D－4	中期
9	深鉢	胴部	—	隆線、横位沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	D－6	中期
10	深鉢	胴部	—	縄文ＬＲ	ナデ	角閃石	橙色 7.5YR 6/6	にぶい褐色 7.5YR 5/3	通常	D－6	中期
11	深鉢	口縁	—	縄文ＬＲ	ヨコミガキ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	良好	D－5	中期
12	深鉢	胴部	—	縄文ＬＲ	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	D－5	中期
13	深鉢	胴部	—	縄文ＬＲ 横位隆線	ナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－5	中期
14	深鉢	胴部	—	縄文ＲＬ 横位沈線	不明	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/3	橙色 7.5YR 6/6	通常	D－7	中期
15	深鉢	胴部	—	無文	不明	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 7/3	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	D－7	中期
16	深鉢	胴部	—	隆線と半隆起線による矢羽根状の構成	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－8	中期
18	深鉢	胴部	—	無文	不明	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	D－14	中期
19	深鉢	胴部	—	沈線			にぶい黄橙色 10YR 7/3	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	D－15	中期
20	深鉢	胴部	—	無文	ヨコナデ	角閃石	橙色 7.5YR 7/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	良好	D－15	中期
21	深鉢	胴部	—	縄文ＲＬ	ナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	D－16	中期
22	深鉢	底部	—	無文	ナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	D－16	中期
23	深鉢	胴部	—	刻みのある隆帯	ナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	D－17	中期
24	深鉢	口縁	—	隆線	ナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－18	中期
25	深鉢	口辺	—	連続する刺突文	ヨコミガキ	角閃石	にぶい黄橙色 10YR 6/3	にぶい黄褐色 10YR 5/3	通常	D－18	中期
26	深鉢	胴部	—	横位隆帯 撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい橙色 2.5YR 6/4	通常	D－18	中期
27	深鉢	胴部	—	撚糸文Ｌ	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	D－18	中期
28	深鉢	胴部	—	撚糸文Ｌ	ナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－18	中期
29	浅鉢	口辺	—	無文	ナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	灰黄褐色 10YR 4/2	通常	D－18	中期
32	深鉢	胴部	—	擬位沈線	不明	白色粒子	橙色 2.5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	D－19	中期
36	深鉢	胴部	—	沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/4	灰褐色 5YR 5/2	通常	D－20	中期
37	深鉢	胴部	—	擬位の集合細沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい褐色 7.5YR 5/3	にぶい褐色 7.5YR 6/3	通常	D－20	中期
38	深鉢	胴部	—	縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	通常	D－20	中期
39	深鉢	胴部	—	縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 7/4	通常	D－20	中期
41	深鉢	胴部	—	沈線	タテナデ	角閃石	橙色 7.5YR 7/6	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	D－21	中期
49	深鉢	口縁	—	沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 4/3	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	D－24	中期
50	深鉢	胴部	—	沈線による三角状の構成	ヨコミガキ	角閃石	灰黄褐色 10YR 5/2	灰黄褐色 10YR 5/2	良好	D－24	中期
51	深鉢	胴部	—	隆線	ヨコナデ	角閃石	灰褐色 5YR 4/2	にぶい橙色 5YR 6/3	通常	D－24	中期

（単位cm）

第179表　土坑出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
52	深鉢	胴部		平行沈線	不明	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 6/3	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	D－24	中期
53	深鉢	胴部		沈線 縄文R	不明	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	通常	D－24	中期
54	深鉢	胴部		縄文L	不明	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－24	中期
55	深鉢	胴部		撚糸文L	不明	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	D－24	中期
56	深鉢	胴部		縦位条痕	ナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 5/3	にぶい黄橙色 10YR 6/3	通常	D－22	中期
57	深鉢	胴部		沈線	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	D－22	中期
58	深鉢	胴部		無文	ヨコミガキ	角閃石	明黄褐色 10YR 7/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	D－22	中期
59	深鉢	胴部		無文	不明	角閃石	にぶい黄橙色 10YR 7/3	にぶい黄橙色 10YR 7/2	通常	D－26	中期
60	深鉢	底部		無文	不明	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－26	中期
61	深鉢	胴部		隆帯、沈線	不明	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	D－28	中期
62	深鉢	口縁		棒状工具の押圧による口唇状の刻み	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	通常	D－29	中期
63	深鉢	胴部		沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	D－30	中期
64	深鉢	底部		無文	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	にぶい黄褐色 10YR 5/3	通常	D－30	中期
65	深鉢	胴部		無文	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	D－30	中期
66	深鉢	口縁		隆線	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	D－33	中期
67	深鉢	口縁		沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－33	中期
68	深鉢	胴部		縄文R L	ヨコナデ	角閃石多量	橙色 5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	D－33	中期
69	深鉢	口縁		無文	ヨコナデ	白色粒子	浅黄橙色 10YR 8/4	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	D－33	中期
70	深鉢	胴部		刻みのある縦位隆帯 沈線	不明	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	D－34	中期
71	深鉢	胴部		縄文R L	不明	黒雲母 角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	D－34	中期
72	深鉢	胴部		縄文R L	不明	黒雲母 角閃石	橙色 7.5YR 7/6	橙色 7.5YR 7/6	通常	D－34	中期
73	深鉢	胴部		縄文R L	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	D－34	中期
74	深鉢	底部		無文	ナデ	黒雲母多量	橙色 2.5YR 6/6	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	D－34	中期
77	深鉢	口縁		縄文L R	ナデ	角閃石	橙色 7.5YR 7/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	D－39	中期
78	深鉢	口縁		平行沈線	ナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	D－39	中期
79	深鉢	底部		無文	ヨコナデ	角閃石	にぶい黄橙色 10YR 7/4	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	D－39	中期
80	深鉢	口縁		無文	ヨコミガキ	角閃石	橙色 7.5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	D－39	中期
82	深鉢	突起		環状突起	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	にぶい赤褐色 2.5YR 5/4	通常	D－40	中期
83	深鉢	胴部		蛇行する隆線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－40	中期
85	深鉢	突起		環状突起	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	D－43	中期
86	深鉢	底部		網代底	ナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	D－43	中期
87	深鉢	胴部		交差する沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	D－43	中期
88	深鉢	胴部		縄文	ヨコナデ	角閃石	橙色 7.5YR 7/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	D－43	中期
89	深鉢	胴部		無節の縄文 横位隆帯	不明	風化岩片	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	D－46	中期
90	深鉢	胴部		隆線に沿う連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	D－46	中期

（単位cm）

第180表　土坑出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
91	深鉢	胴部	— — —	沈線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－46	中期
92	深鉢	口縁	— — —	無文	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－46	中期
93	深鉢	胴部	— — —	無文	不明	角閃石	にぶい黄橙色 10YR 7/4	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	D－47	中期
94	深鉢	胴部	— — —	沈線 連点刺突	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	D－50	中期
95	深鉢	口縁	— — —	沈線	不明	透明粒子	にぶい黄橙色 10YR 7/3	灰黄褐色 10YR 6/2	通常	D－50	中期
96	深鉢	胴部	— — —	沈線 撚糸文？	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 5YR 6/3	通常	D－50	中期
101	深鉢	胴部	— — —	中太の縦位集合沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	D－51	中期
103	深鉢	胴部 ↓ 底部	— — 6.5	縄文ＲＬ 蕨状の沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－52	中期
104	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	不明	白色粒子	にぶい橙色 5YR 7/4	にぶい橙色 5YR 7/3	通常	D－52	中期
105	深鉢	口縁	20.8 — —	２条の横Ｓ字状隆線 縄文ＲＬ、平行沈線	ヨコミガキ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	D－52	中期
106a	鉢	口縁	(20.0) — —	縦位平行沈線で器面を埋める 蕨状の隆帯	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 7.5YR 7/6	通常	D－52	中期 107と同一個体
106b	深鉢	口縁 ↓ 胴部	19.6 — —	縄文ＲＬ 縦位平行沈線、蛇行沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	にぶい橙色 2.5YR 6/4	通常	D－52	
107	鉢	口縁	(20.0) — —	縦位平行沈線で器面を埋める 蕨状の隆帯	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	橙色 5YR 6/6	通常	D－52	106aと同一個体 中期
108	深鉢	口縁	— — —	縄文ＲＬ 横Ｓ字状隆帯	ヨコミガキ	角閃石	橙色 7.5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	D－52	105と同一個体 中期
109	深鉢	口縁	— — —	楕円区画内に縦位平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい黄橙色 10YR 7/4	明黄褐色 10YR 7/6	通常	D－52	中期
110	深鉢	胴部	— — —	横位隆線	ナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/3	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	D－52	中期
111	深鉢	突起	— — —	蝶羽状の装飾突起	ナデ	黒雲母多量	橙色 7.5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	D－52	中期
112	深鉢	胴部	— — —	縦位隆線 縦位沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	D－52	中期
113	深鉢	胴部	— — —	平行沈線間に連続する棒状工具の押圧	ナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	D－52	中期
114	深鉢	胴部	— — —	縦横の平行沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 7/4	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	D－52	中期
115	深鉢	胴部	— — —	縦横の平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－52	中期
116	深鉢	胴部	— — —	平行沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい黄橙色 10YR 7/2	にぶい黄橙色 10YR 7/2	通常	D－52	中期
117	深鉢	胴部	— — —	平行沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	通常	D－52	中期
118	深鉢	胴部	— — —	平行沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	D－52	中期
119	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ 沈線	丁寧なナデ	黒雲母	にぶい橙色 5YR 6/4	灰褐色 5YR 5/2	通常	D－52	中期
120	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ 沈線	不明	黒雲母	明赤褐色 5YR 5/6	明赤褐色 5YR 5/6	通常	D－52	中期
121	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－52	中期
122	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	丁寧なヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	灰黄褐色 10YR 4/2	通常	D－52	中期
123	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコミガキ	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	D－52	中期
124	深鉢	胴部	— — —	縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/4	橙色 5YR 6/6	通常	D－52	中期
125	浅鉢？	胴部	— — —	表面タテミガキ	ヨコミガキ	角閃石	橙色 5YR 6/6	褐灰色 10YR 4/1	通常	D－52	中期
126	深鉢	口縁	— — —	無文	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	D－52	中期
127	深鉢	口縁	— — —	沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	D－52	中期
130	深鉢	胴部	— — —	縄文ＬＲ 沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい黄橙色 10YR 6/4	通常	D－53	
131	深鉢	口縁	— — —	刻みのある縦位隆帯 有節沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい橙色 5YR 6/4	橙色 7.5YR 6/6	不良	D－54	中期

（単位cm）

第181表　土坑出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
132	深鉢	胴部	—	横位隆線 縄文ＬＲ	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	良好	Ｄ－54	中期
133	深鉢	胴部	—	無文	ヨコナデ	黒雲母粗製	明赤褐色 5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	不良	Ｄ－54	中期
134	深鉢	突起	—	渦巻き状突起	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ｄ－60	中期
135	深鉢	胴部	—	縄文ＬＲ	ヨコミガキ	角閃石	橙色 7.5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	Ｄ－60	中期
136	深鉢	胴部	—	無文	ヨコナデ	白色粒子	にぶい黄橙色 10YR 7/4	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	Ｄ－60	中期
137	深鉢	胴部	—	縄文ＲＬ 曲隆線？、沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	Ｄ－59	中期
138	深鉢	胴部	—	縄文ＲＬ 縦位隆線、縦位沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい黄橙色 10YR 7/4	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	Ｄ－63	中期
139	深鉢	口縁	—	横位沈線、横位隆線交互の刺突による蛇行効果	ヨコミガキ	角閃石 透明粒子	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい黄橙色 10YR 6/4	良好	Ｄ－65	中期
140	深鉢	口縁	—	ヘソ状突起 連続刺突文	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	良好	Ｄ－65	中期
141	深鉢	口縁	—	隆帯による楕円区画内に縦位平行沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	Ｄ－62	中期
142	深鉢	胴部	—	太い横位隆線 縦位平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	Ｄ－62	中期
143	深鉢	胴部	—	太い横位隆線 縦位平行沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい黄橙色 10YR 7/4	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	Ｄ－62	中期
144	深鉢	胴部	—	太い沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい褐色 7.5YR 5/3	不良	Ｄ－62	中期
145	深鉢	胴部	—	縦位隆線、縦位沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 6/4	不良	Ｄ－62	中期
146	深鉢	胴部	—	斜行する平行沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい褐色 7.5YR 5/4	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	Ｄ－62	中期
147	深鉢	胴部	—	蛇行沈線	ヨコナデ	白色粒子	にぶい橙色 5YR 6/4	橙色 5YR 6/6	通常	Ｄ－62	中期
148	深鉢	口縁	—	横位隆線 縄文ＲＬ	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 6/3	通常	Ｄ－62	中期
149	深鉢	胴部	—	無文	ヨコナデ	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	Ｄ－62	中期
150	深鉢	底部付近	—	無文	ヨコナデ	白色粒子	橙色 7.5YR 6/6	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	Ｄ－62	中期
151	深鉢	胴部	—	粘土紐の貼り付け 連続する円形刺突 ハの字状の沈線	ヨコナデ	黒雲母多量	橙色 7.5YR 6/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ｄ－66	中期
152	深鉢	口縁	—	横位隆線 交互の刺突による蛇行文	ヨコナデ	白色粒子	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	Ｄ－66	中期
153	深鉢	口縁	—	ねじりの加えられた粘土紐の貼り付け	ヨコナデ	黒雲母多量	にぶい赤褐色 5YR 5/4	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	Ｄ－66	中期
154	深鉢	口縁	—	撚糸文Ｌ 横位隆線	ヨコミガキ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	Ｄ－66	中期
155	深鉢	胴部	—	縄文ＬＲ	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	Ｄ－66	中期
156	深鉢	胴部	—	楕歯状工具により連続する弧状文を描く	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい橙色 5YR 7/3	通常	Ｄ－69	中期
157	深鉢	胴部	—	縄文ＬＲ	ヨコナデ	白色粒子	橙色 2.5YR 6/6	にぶい橙色 7.5YR 7/3	通常	Ｄ－69	中期
158	深鉢	胴部	—	縄文ＬＲ	ヨコナデ	白色粒子	灰赤色 2.5YR 4/2	橙色 2.5YR 6/6	通常	Ｄ－69	中期
159	深鉢	胴部	—	無文	不明	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	やや不良	Ｄ－69	中期
163	深鉢	胴部	—	縦位平行沈線	不明	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	通常	Ｄ－70	中期
164	深鉢	胴部	—	無文	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	にぶい褐色 7.5YR 5/4	通常	Ｄ－70	中期
166	深鉢	胴部	—	深い平行沈線	不明	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	Ｄ－72	中期
167	深鉢	胴部	—	縦横の平行沈線	不明	角閃石	にぶい橙色 7.5YR 7/4	橙色 2.5YR 6/6	通常	Ｄ－72	中期
168	深鉢	胴部	—	縄文	不明	角閃石	にぶい黄橙色 10YR 7/3	にぶい黄橙色 10YR 7/4	通常	Ｄ－72	中期
169	深鉢	胴部～底部	— (8.0)	編み込み状隆帯 斜の刻みの入る隆帯	ヨコナデ	黒雲母多量	明赤褐色 5YR 5/8	橙色 5YR 6/6	通常	Ｄ－73	Ｊ－１の９と同一品 中期
170	深鉢	把手	—	編み込み状隆帯 斜の刻みの入る隆帯	ヨコナデ	角閃石	にぶい橙色 5YR 7/4	にぶい橙色 5YR 7/4	通常	Ｄ－73	中期

（単位cm）

第182表　土坑出土遺物一覧表　＜縄文土器＞

挿図番号	器種	部位	法量	器形および文様	調整（内面）	胎土	色調 外面	色調 断面	焼成	註記	備考
171	深鉢	口縁	— — —	横S字状隆線	丁寧なヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－73	中期
172	深鉢	胴部	— — —	縄文LR、横位隆線 縦位沈線	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 7.5YR 6/4	通常	D－73	中期
173	深鉢	胴部	— — —	刻みのある隆帯	ヨコナデ	風化岩片 粗製	にぶい橙色 7.5YR 6/4	にぶい褐色 7.5YR 5/4	不良	D－73	中期
174	深鉢	胴部	— — —	縦位平行沈線	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	D－73	中期
175	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	D－73	中期
176	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	D－73	中期
177	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	通常	D－73	中期
178	深鉢	胴部	— — —	縄文LR	ヨコナデ	角閃石	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 7/6	通常	D－73	中期
179	深鉢	胴部	— — —	蛇行する粘土紐の貼り付け	不明	角閃石	橙色 5YR 7/6	浅黄橙色 7.5YR 8/4	通常	D－77	中期
180	深鉢	胴部	— — —	縦位隆線とそれに沿う沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 7/6	橙色 2.5YR 7/6	通常	D－77	中期
181	深鉢	胴部	— — —	縦位沈線	ヨコナデ	角閃石	橙色 7.5YR 6/6	橙色 7.5YR 6/6	通常	D－77	中期
182	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	角閃石	にぶい赤褐色 5YR 5/3	橙色 2.5YR 6/6	通常	D－77	中期
183	深鉢	胴部	— — —	撚糸文L	不明	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－78	中期
185	深鉢	底部	— — 16.0	無文	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－76	中期
186	深鉢	胴部	— — —	縄文RL	ヨコナデ	角閃石	明褐色 7.5YR 5/6	明褐色 7.5YR 5/6	通常	D－80	中期
188	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	角閃石	赤褐色 2.5YR 4/6	赤褐色 2.5YR 4/6	通常	D－81	中期
189	深鉢	胴部	— — —	縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい赤褐色 5YR 4/3	通常	D－81	中期
191	深鉢	胴部	— — —	隆線、環状突起 有節沈線	ヨコミガキ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－83	中期
192	深鉢	底部	— — 8.5	楕円形の貼り付け4単位 ペン先状刺突文 爪形状の連続刺突文	ヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/6	橙色 2.5YR 6/6	通常	D－83	中期
193	深鉢	底部	— — 8.5	垂下隆線、横位平行沈線	丁寧なヨコナデ	角閃石	橙色 2.5YR 6/8	にぶい橙色 7.5YR 7/4	通常	D－83	中期
194	深鉢	胴部	— — —	沈線	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－83	中期
195	深鉢	胴部	— — —	隆線	ヨコミガキ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－83	中期
196	深鉢	口縁	— — —	幅広隆帯 有節沈線	ヨコミガキ	黒雲母	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－83	中期
197	深鉢	胴部	— — —	沈線 縄文	ヨコナデ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	灰褐色 5YR 4/2	通常	D－83	中期
198	深鉢	胴部	— — —	平行沈線 縄文RL	ヨコナデ	黒雲母	にぶい赤褐色 5YR 5/4	にぶい赤褐色 5YR 5/4	通常	D－83	中期
199	深鉢	胴部	— — —	平行沈線 横位隆線	ヨコナデ	黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	D－83	中期
200	深鉢	口縁	— — —	口唇にペン先状の連続刺突	ヨコミガキ	角閃石	にぶい橙色 5YR 6/4	灰褐色 7.5YR 4/2	通常	D－83	中期
201	深鉢	胴部	— — —	平行沈線 爪形状の連続刺突文	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 5YR 6/3	通常	D－84	中期
202	深鉢？	胴部	— — —	円形のモチーフ	ヨコミガキ	白色粒子	黒褐色 5YR 2/1	黒褐色 5YR 2/1	通常	D－84	中期
203	深鉢	胴部	— — —	刻みのある隆線	ヨコナデ	白色粒子	明赤褐色 2.5YR 5/6	にぶい橙色 5YR 7/4	通常	D－84	中期
204	深鉢	胴部	— — —	刻みのある隆帯	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 2.5YR 4/3	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	D－84	中期
205	深鉢	胴部	— — —	幅広隆帯 平行沈線	不明	角閃石 黒雲母	橙色 5YR 6/6	橙色 5YR 6/6	通常	D－84	中期
206	深鉢	胴部	— — —	刻みのある隆帯 沈線	ヨコミガキ	白色粒子	赤褐色 2.5YR 4/6	明赤褐色 2.5YR.5/6	通常	D－84	中期
207	深鉢	胴部	— — —	刻みのある隆帯 撚糸文L	ヨコミガキ	白色粒子	にぶい赤褐色 2.5YR 4/4	にぶい橙色 5YR 6/4	通常	D－84	中期
208	深鉢	胴部	— — —	刻みのある隆帯 縄文LR	ヨコミガキ	角閃石	明赤褐色 2.5YR 5/6	明赤褐色 2.5YR 5/6	通常	D－84	中期

（単位cm）